

志賀原子力発電所2号炉  
敷地の地質・地質構造について

【データ集】

平成29年3月10日  
北陸電力株式会社

本資料には商業機密または防護上の観点から公開できないデータを含んでいます。

# 目次

---

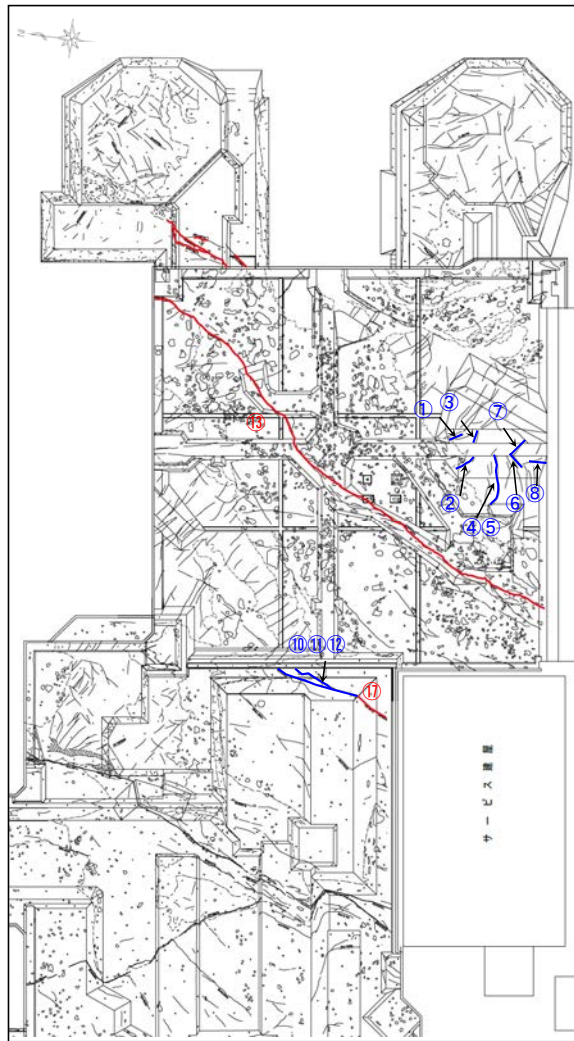
<u>データ集1</u>	
試掘坑・基礎掘削面における破砕部の幅と長さの検討	.....1-1
<u>データ集2-1</u>	
破砕部性状一覧表(陸域)	.....2-1
<u>データ集2-2</u>	
前回審査会合時点からの主な変更点	.....2-35
<u>データ集2-3</u>	
破砕部性状一覧表(海岸部)	.....2-39
<u>データ集3-1</u>	
b-1～b-4の連続性	.....3-1
<u>データ集3-2</u>	
b-5～b-13の連続性	.....3-13
<u>データ集4</u>	
露頭調査結果	.....4-1
<u>データ集5</u>	
切り合い関係を確認したボーリングコア写真	.....5-1
<u>データ集6-1</u>	
S-1の運動方向	.....6-1
<u>データ集6-2</u>	
S-2・S-6の運動方向	.....6-103

---

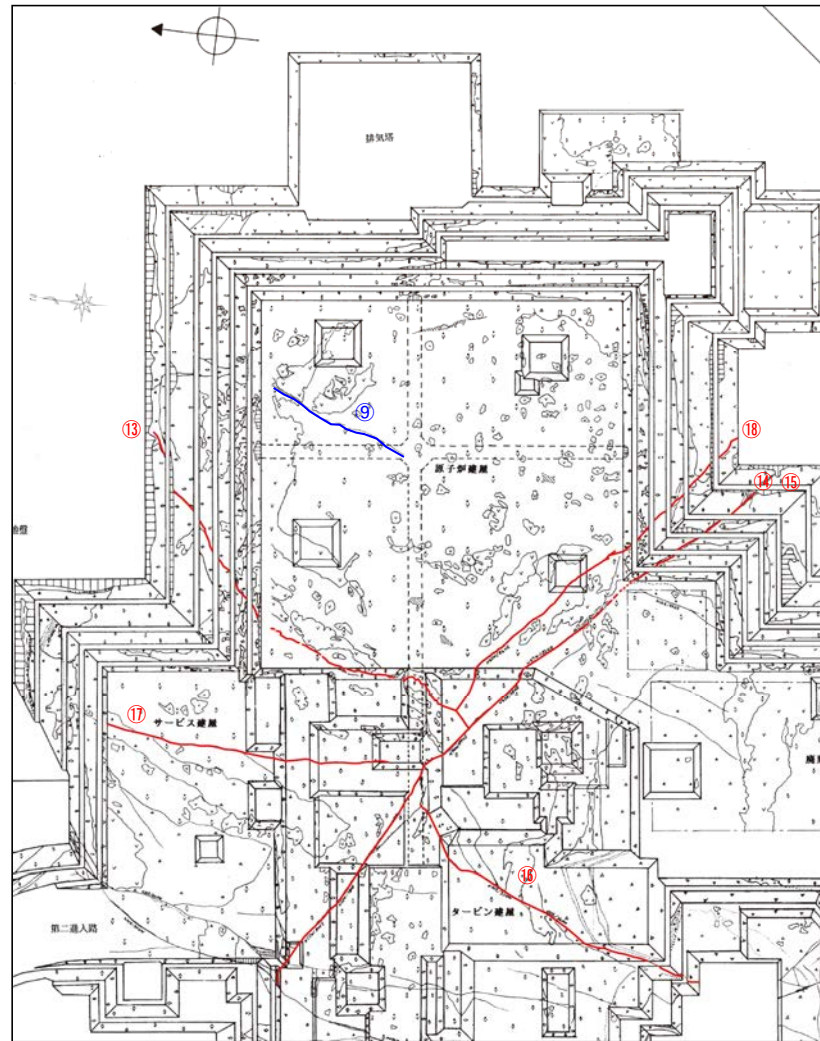
## データ集1

試掘坑・基礎掘削面における破砕部の幅と長さの検討

# 全体位置図



2号機基礎掘削面



1号機基礎掘削面

○番号: 試掘坑と基礎掘削面に対応が確認できた破砕部  
 赤字は長さ50m以上のもの  
 青字は長さ50m未満のもの

凡 例	
	安山岩 (均質)
	安山岩 (角礫質)
	凝灰角礫岩
	安山岩礫
	シ ー ム ※1
	節 理
	変 質 部
	凝灰質な粗粒部 ※2

※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破砕部」に対応する。

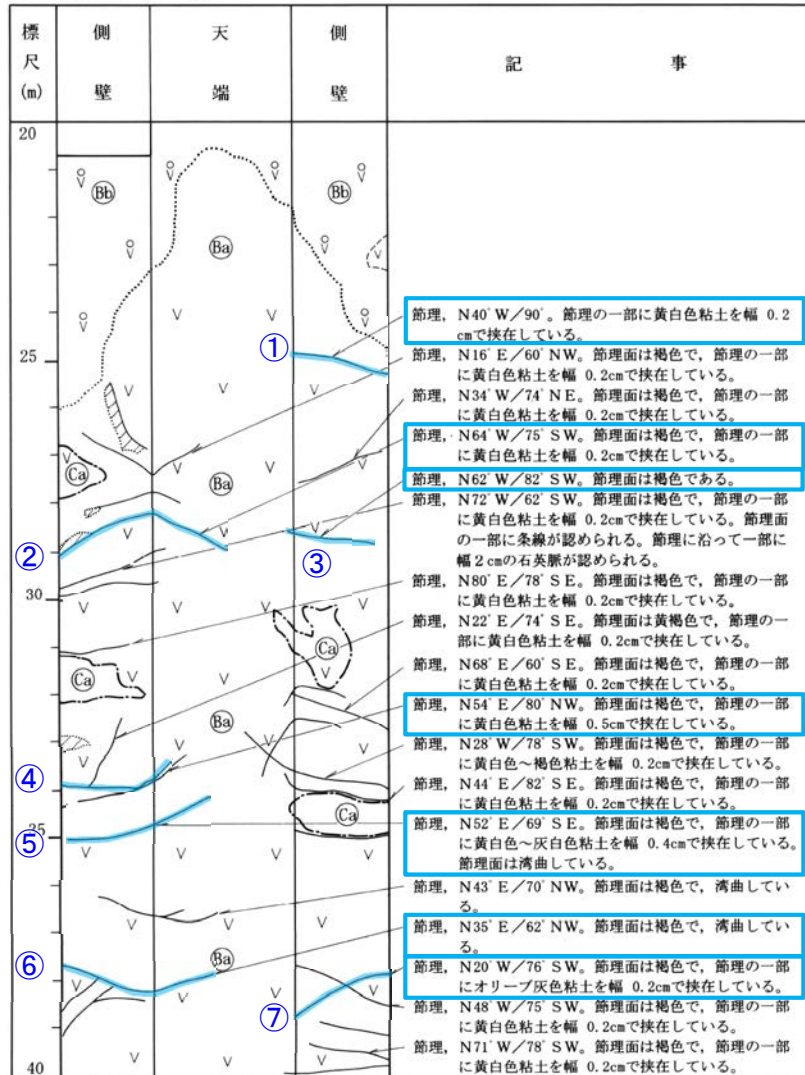
※2 スケッチ時の記載用語。「固結した粘土・砂状破砕部」に対応する。

---

(1) 長さ50m未満

試掘坑調査結果(2号炉試掘坑A)

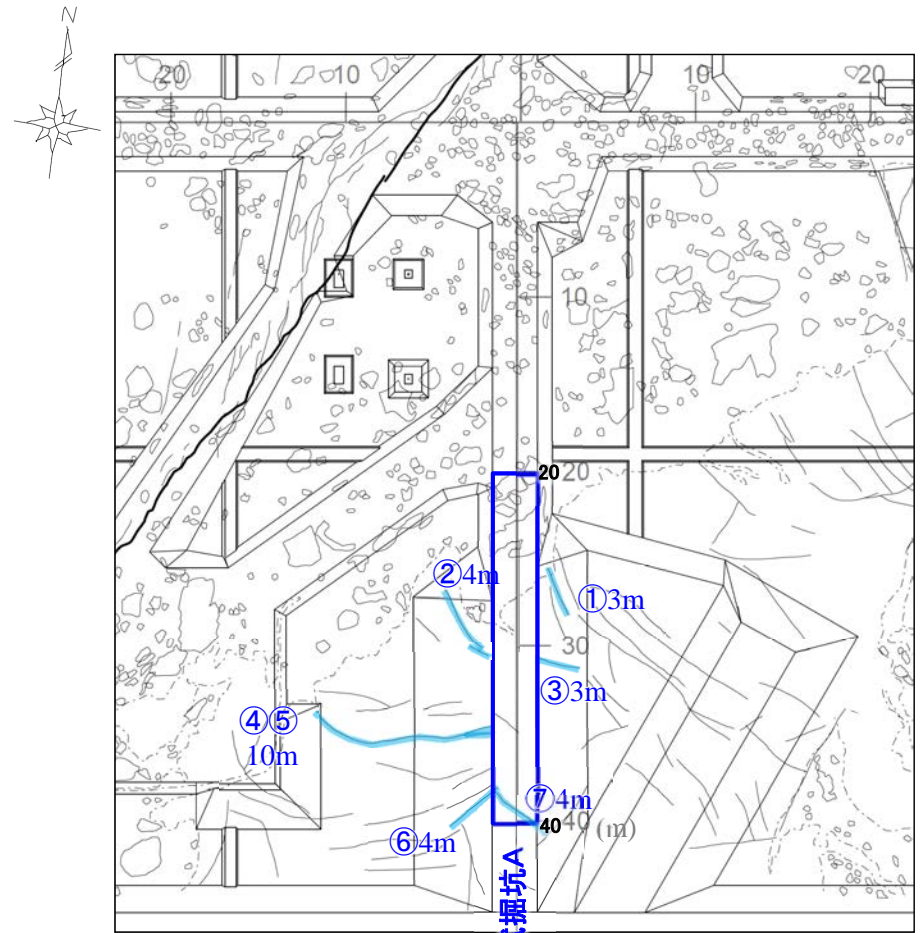
試掘坑A (4の2)



試掘坑展開図

番号	破砕部の幅	備考
①	0.2cm	記事欄に記載の●●色粘土は、スケッチ時の記載用語。「粘土状破砕部」に対応する。なお、周辺には固結した粘土・砂状破砕部に対応する記載はない。
②	0.2cm	
③	0cm	
④	0.5cm	
⑤	0.4cm	
⑥	0cm	
⑦	0.2cm	

基礎掘削面調査結果(2号機)

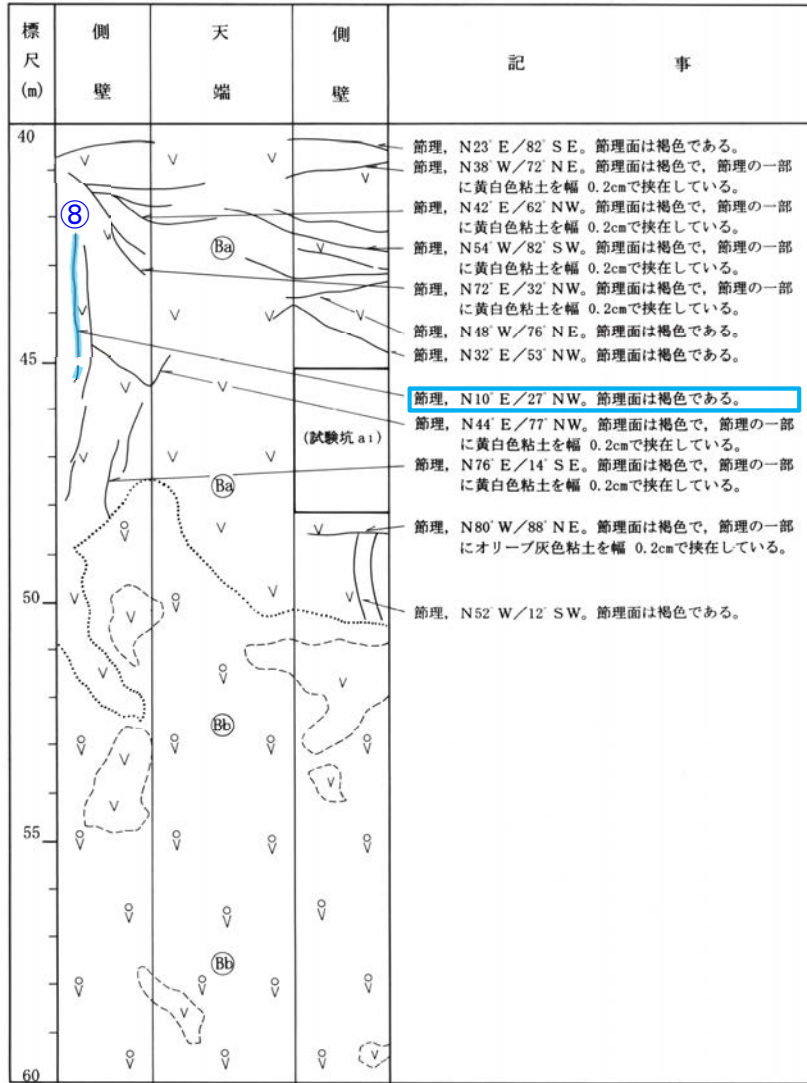


基礎掘削面スケッチ(2号機)

番号	破砕部の長さ	備考
①	3m	基礎掘削面スケッチ上の長さ
②	4m	
③	3m	
④	10m	
⑤	10m	
⑥	4m	
⑦	4m	

試掘坑調査結果  
(2号炉試掘坑A)

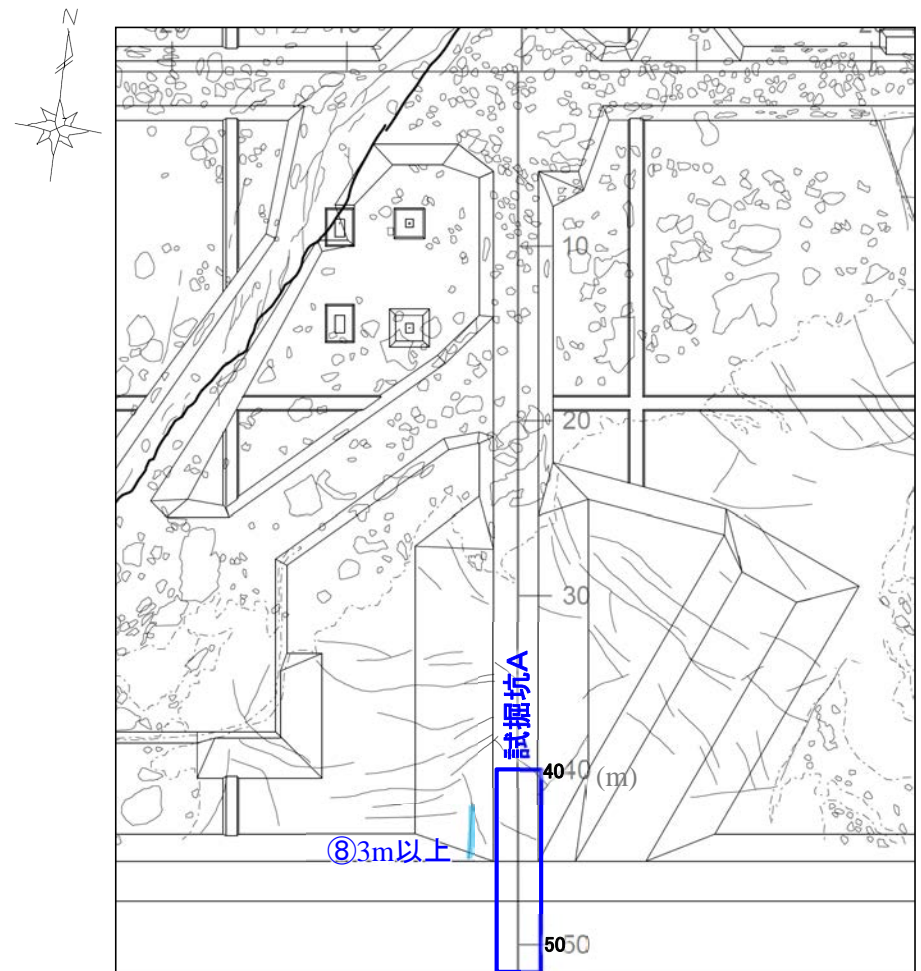
試掘坑A (4の3)



試掘坑展開図

番号	破碎部の幅	備考
⑧	0cm	記事欄に粘土状破碎部や固結した粘土・砂状破碎部に対応する記載はない。

基礎掘削面調査結果  
(2号機)



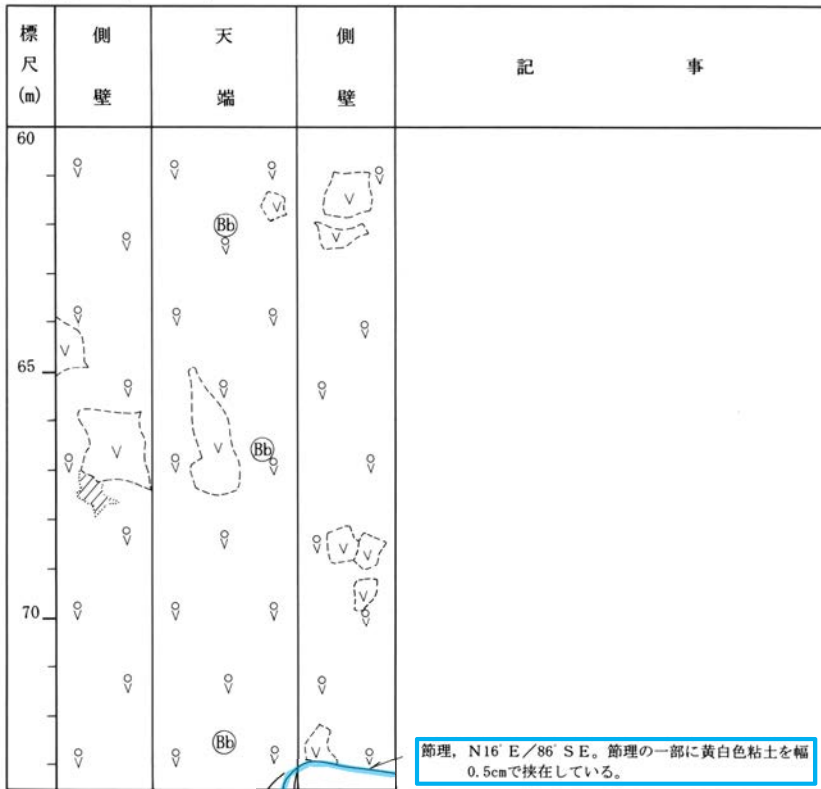
基礎掘削面スケッチ(2号機)

番号	破碎部の長さ	備考
⑧	3m以上	基礎掘削面スケッチ上の長さ

試掘坑調査結果  
(2号炉試掘坑A)

基礎掘削面調査結果  
(1号機)

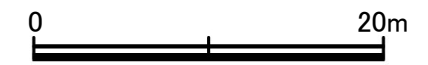
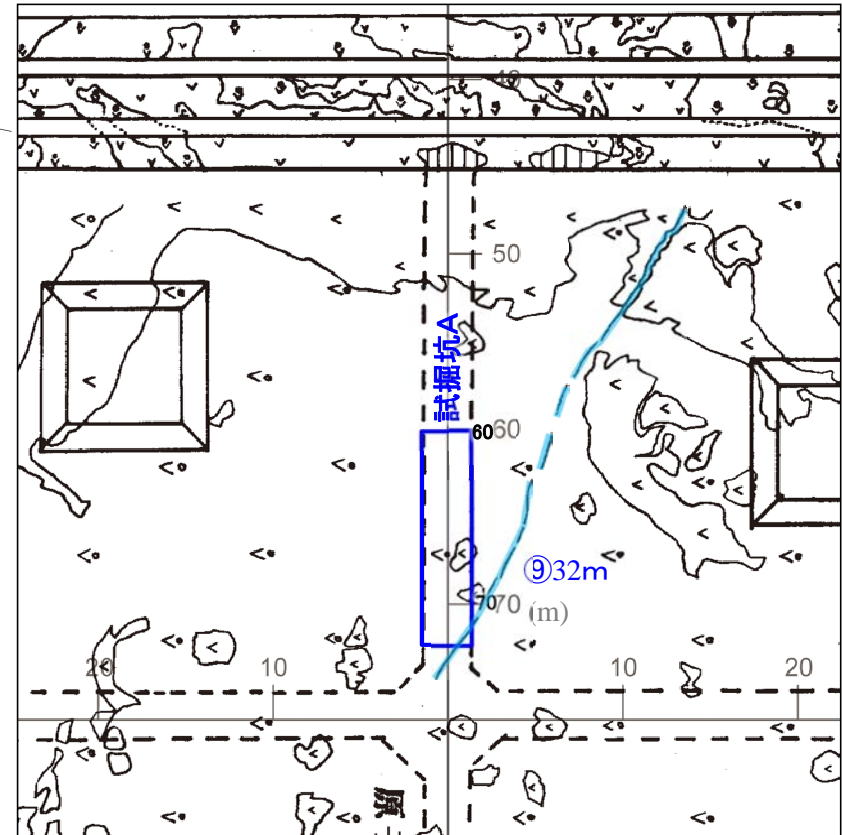
試掘坑A (4の4)



⑨

試掘坑展開図

番号	破碎部の幅	備考
⑨	0.5cm	記事欄に記載の●●色粘土は、スケッチ時の記載用語。「粘土状破碎部」に対応する。なお、周辺には固結した粘土・砂状破碎部に対応する記載はない。



左展開図範囲

基礎掘削面スケッチ(1号機)

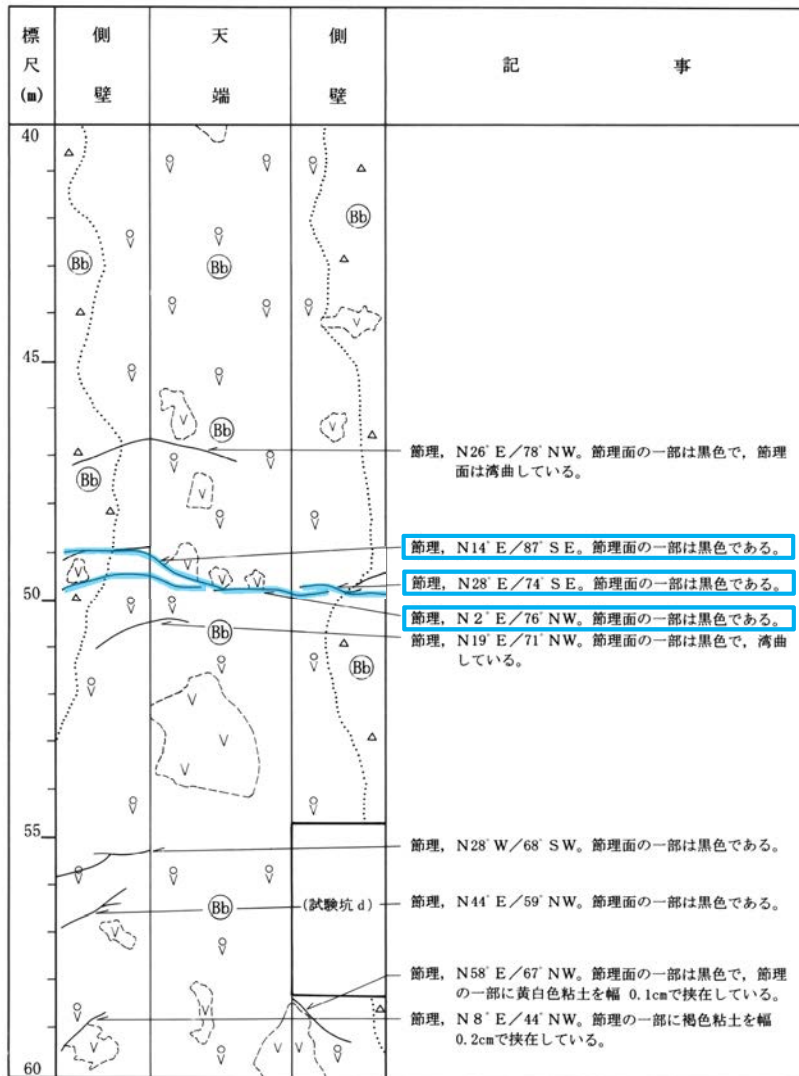
番号	破碎部の長さ	備考
⑨	32m	基礎掘削面スケッチ上の長さ



試掘坑調査結果  
(2号炉試掘坑E)

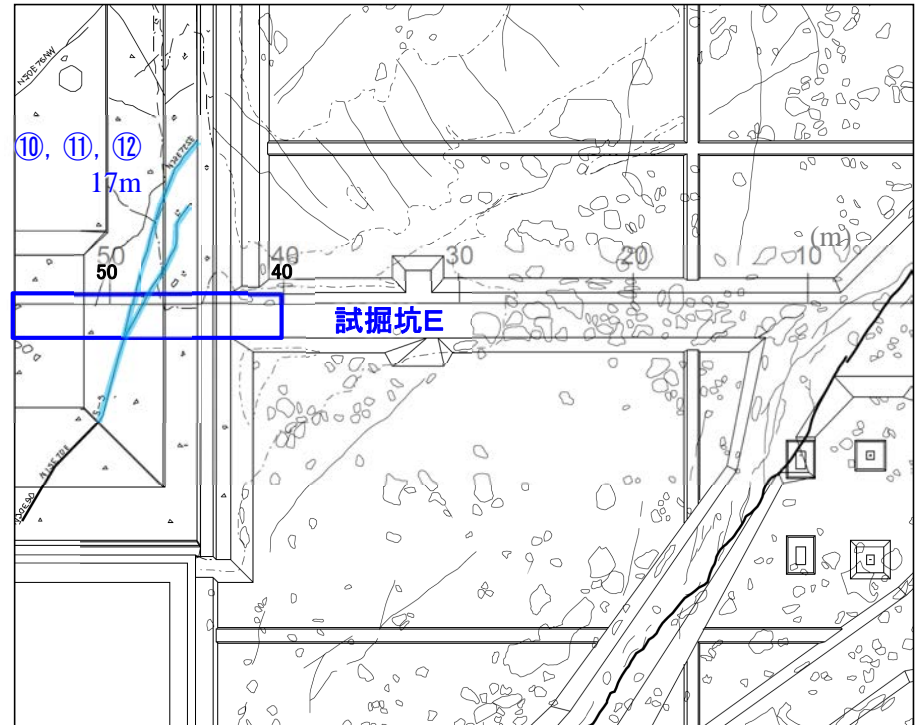
基礎掘削面調査結果  
(2号機)

試掘坑E (4の3)



試掘坑展開図

番号	破砕部の幅	備考
⑩	0cm	記事欄に粘土状破砕部や固結した粘土・砂状破砕部に対応する記載はない。
⑪	0cm	
⑫	0cm	



試掘坑E



左展開図範囲



基礎掘削面スケッチ(2号機)

番号	破砕部の長さ	備考
⑩	17m	基礎掘削面スケッチ上の長さ
⑪	17m	
⑫	17m	

---

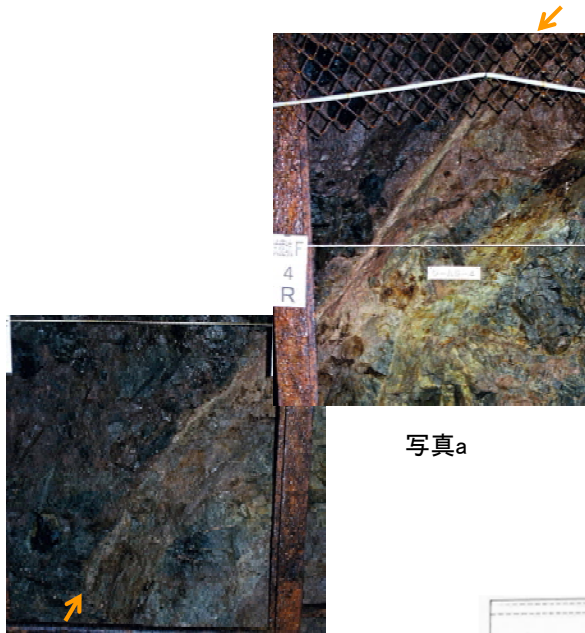
余白

---

(2) 長さ50m以上

試掘坑調査結果  
(2号炉試掘坑F 5~7m付近)(東側側壁)

基礎掘削面調査結果  
(2号機)



写真a

写真b



スケッチ

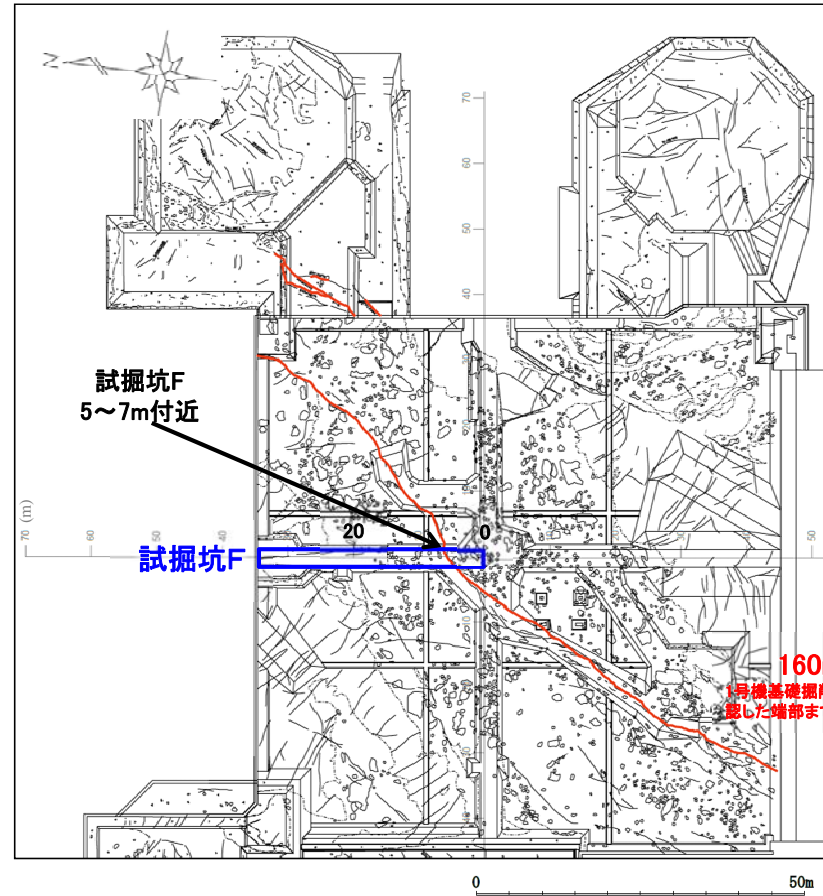
【スケッチの記事】

- ① 岩片混じりの粘土※1。  
厚さ0.5~10cm。赤褐色ないし黄褐色を呈する。走向傾斜はN45° E/66° NW
- ③-1 凝灰質な細粒部※2。  
硬さは中硬質。赤褐色を呈する。粘土(①)に沿って部分的に認められる。厚さ1~3cm。  
表面に鏡肌・条線が認められる。

※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破砕部」に対応する。

※2 スケッチ時の記載用語。「固結した粘土・砂状破砕部」に対応する。

この事例における破砕部の幅は13cm(①+③-1)である。



基礎掘削面スケッチ(2号機)

この事例における破砕部の長さは160mである。

試掘坑調査結果  
(1号炉試掘坑A 32m付近)(西側側壁)



写真



スケッチ

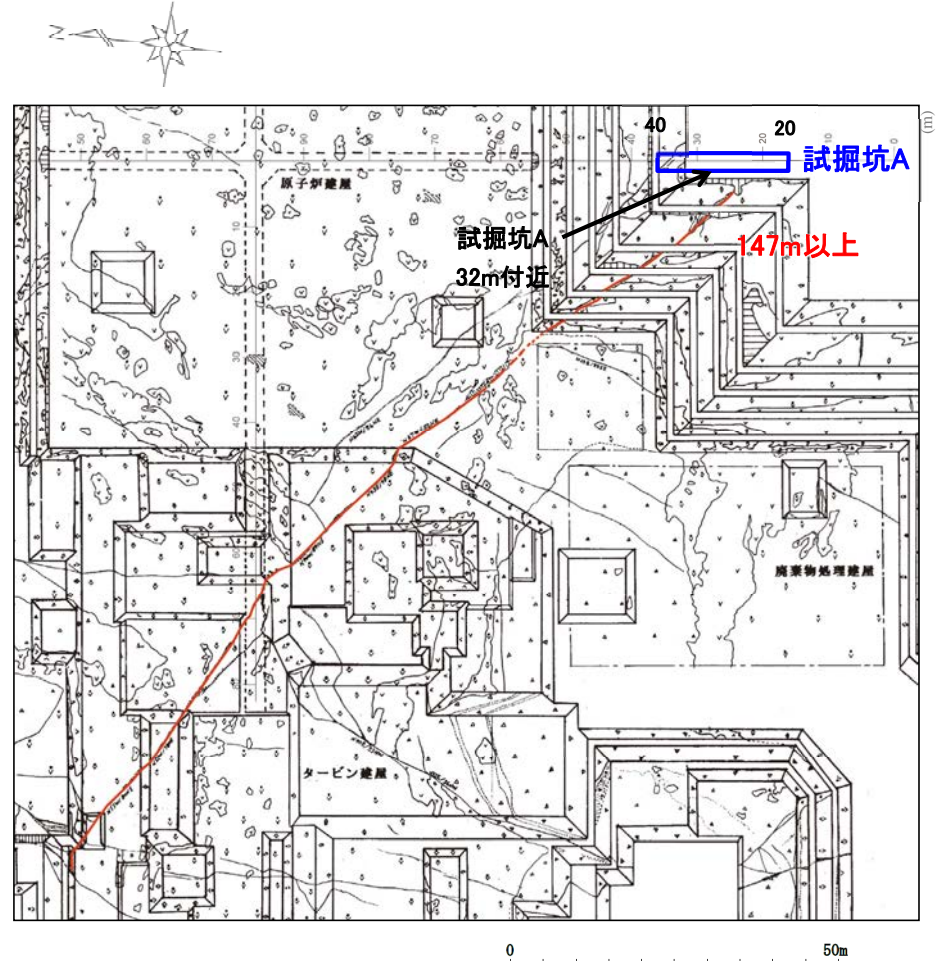
【スケッチの記事】

- ① 岩片混じりの粘土※1。  
厚さ0.1~3cm。赤褐色ないし黄褐色を呈する。走向傾斜はN45° W/73° NE
- ③-1 凝灰質な細粒部※2。  
硬さは中硬質。赤褐色を呈する。粘土(①)に沿って認められる。厚さ1~2cm。表面に鏡肌が認められる。

※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破砕部」に対応する。  
※2 スケッチ時の記載用語。「固結した粘土・砂状破砕部」に対応する。

この事例における破砕部の幅は5cm(①+③-1)である。

基礎掘削面調査結果  
(1号機)



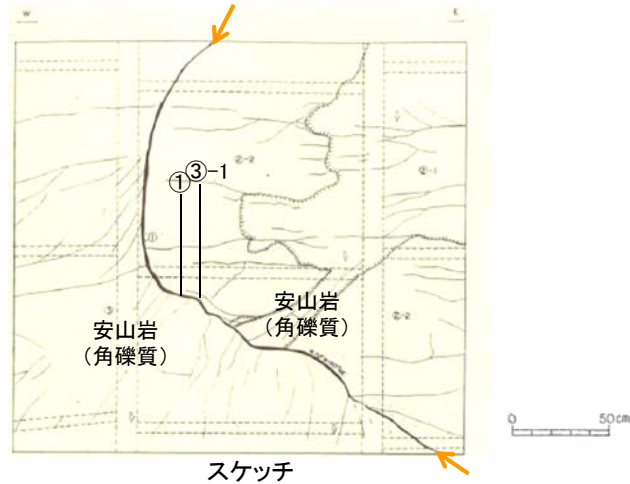
基礎掘削面スケッチ(1号機)

この事例における破砕部の長さは147m以上である。

試掘坑調査結果  
(1号炉試掘坑C 68~70m付近)(北側側壁)



写真



スケッチ

【スケッチの記事】

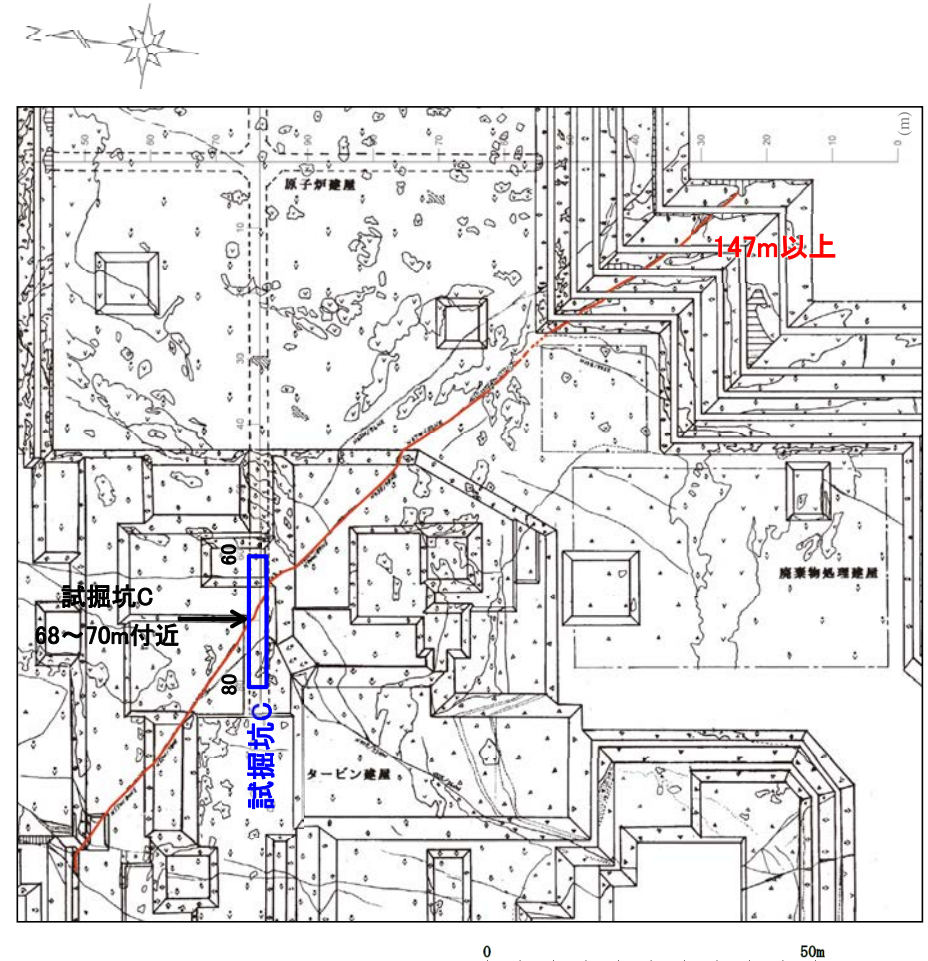
- ① 岩片混じりの粘土※1。  
厚さ0.1~3cm。赤褐色ないし黄褐色を呈する。走向傾斜はN70° W/80° NE。
- ③-1 凝灰質な細粒部※2。  
硬さは中硬質。赤褐色を呈する。粘土(①)に沿って認められる。厚さ1~2cm。  
表面に鏡肌・条線が認められる。

※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破碎部」に対応する。

※2 スケッチ時の記載用語。「固結した粘土・砂状破碎部」に対応する。

この事例における破碎部の幅は5cm(①+③-1)である。

基礎掘削面調査結果  
(1号機)



基礎掘削面スケッチ(1号機)

この事例における破碎部の長さは147m以上である。

試掘坑調査結果  
(1号炉試掘坑C 72~73m付近)(南側側壁)



写真



スケッチ

【スケッチの記事】

① 岩片混じりの粘土※1。

厚さ0.5~2cm。赤褐色を呈する。走向傾斜はN58° E/50° NW。

③-1 凝灰質な細粒部※2。

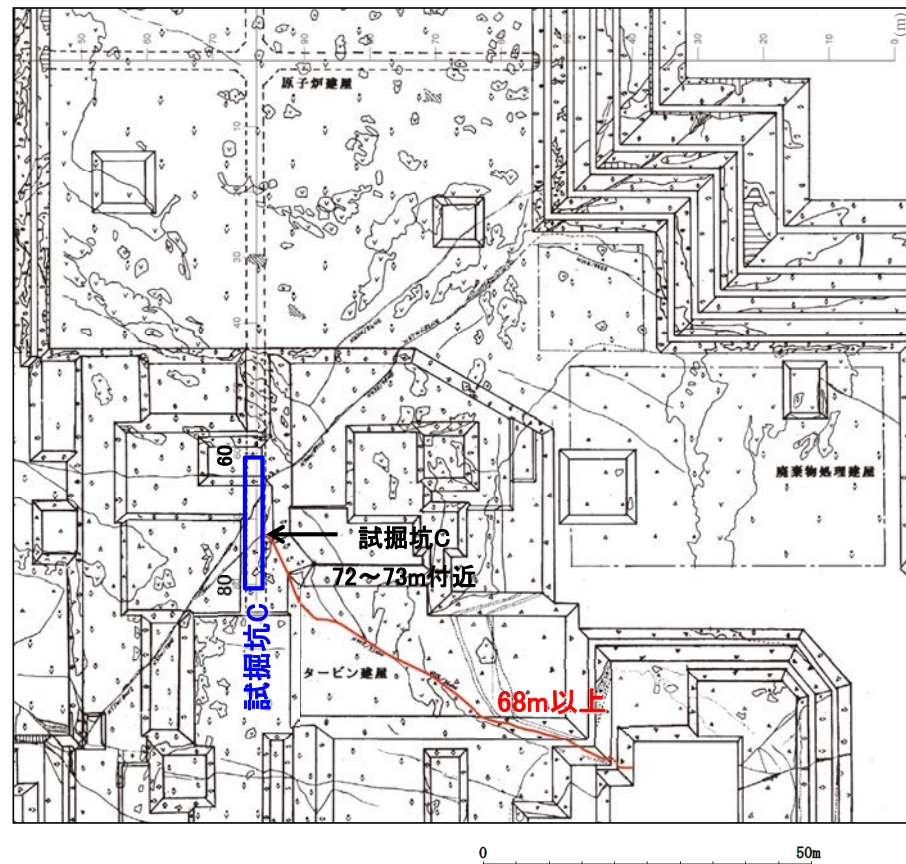
硬さは中硬質。赤褐色を呈する。粘土(①)に沿って認められる。厚さ1~10cm。表面に鏡肌・条線が認められる。

※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破砕部」に対応する。

※2 スケッチ時の記載用語。「固結した粘土・砂状破砕部」に対応する。

この事例における破砕部の幅は12cm(①+③-1)である。

基礎掘削面調査結果  
(1号機)



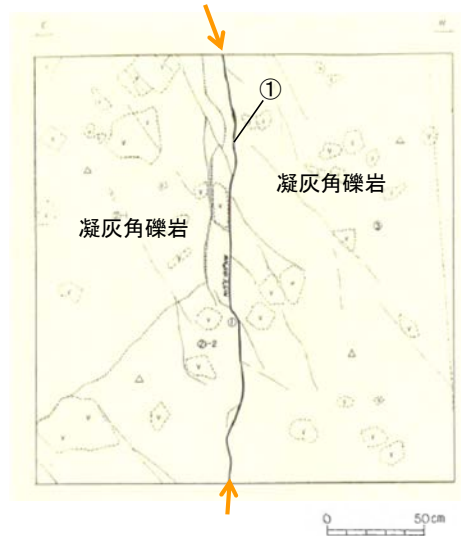
基礎掘削面スケッチ(1号機)

この事例における破砕部の長さは68m以上である。

試掘坑調査結果  
(1号炉試験坑d)(切羽)



写真



スケッチ

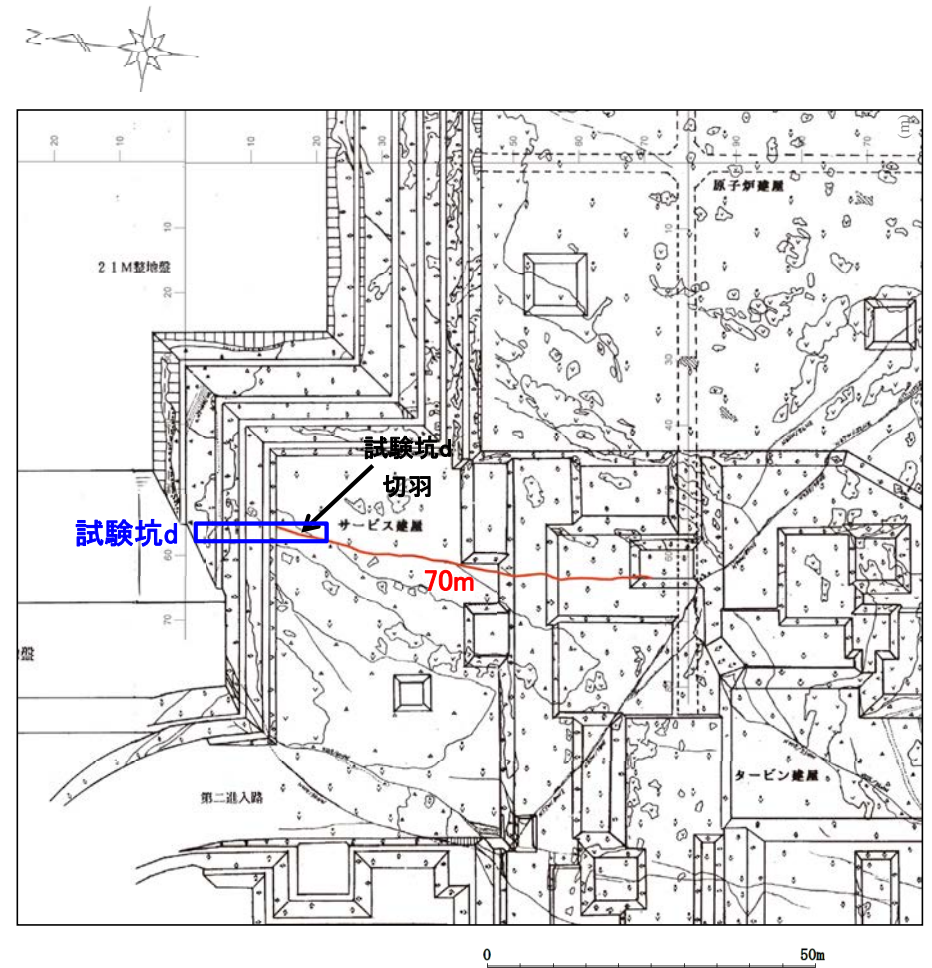
【スケッチの記事】

①岩片混じりの粘土※1。  
厚さ0.1~3cm。赤褐色ないし黄褐色を呈する。走向傾斜はN15° E/88° NW。

※1 スケッチ時の記載用語。「粘土状破碎部」に対応する。なお、周辺には固結した粘土・砂状破碎部に対応する記載はない。

この事例における破碎部の幅は3cm(①)である。

基礎掘削面調査結果  
(1号機)



基礎掘削面スケッチ(1号機)

この事例における破碎部の長さは70mである。



岩盤調査坑調査結果

基礎掘削面調査結果  
(1号機)



下記写真箇所

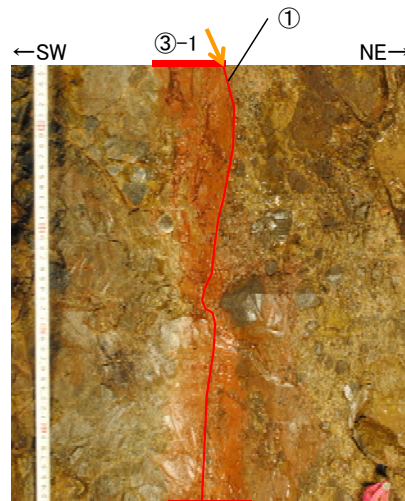
【破碎部の性状】

- ①粘土状破碎部。  
厚さはフィルム状~0.5cm。  
褐色~赤褐色を呈する。  
走向傾斜はN30~75° W/78° NE~80° SW。
- ③-1固結した粘土・砂状破碎部。  
硬さは中硬質。赤褐色を呈する。①に沿って部分的に認められる。厚さ0~10cm。

岩盤調査坑写真(全景写真)

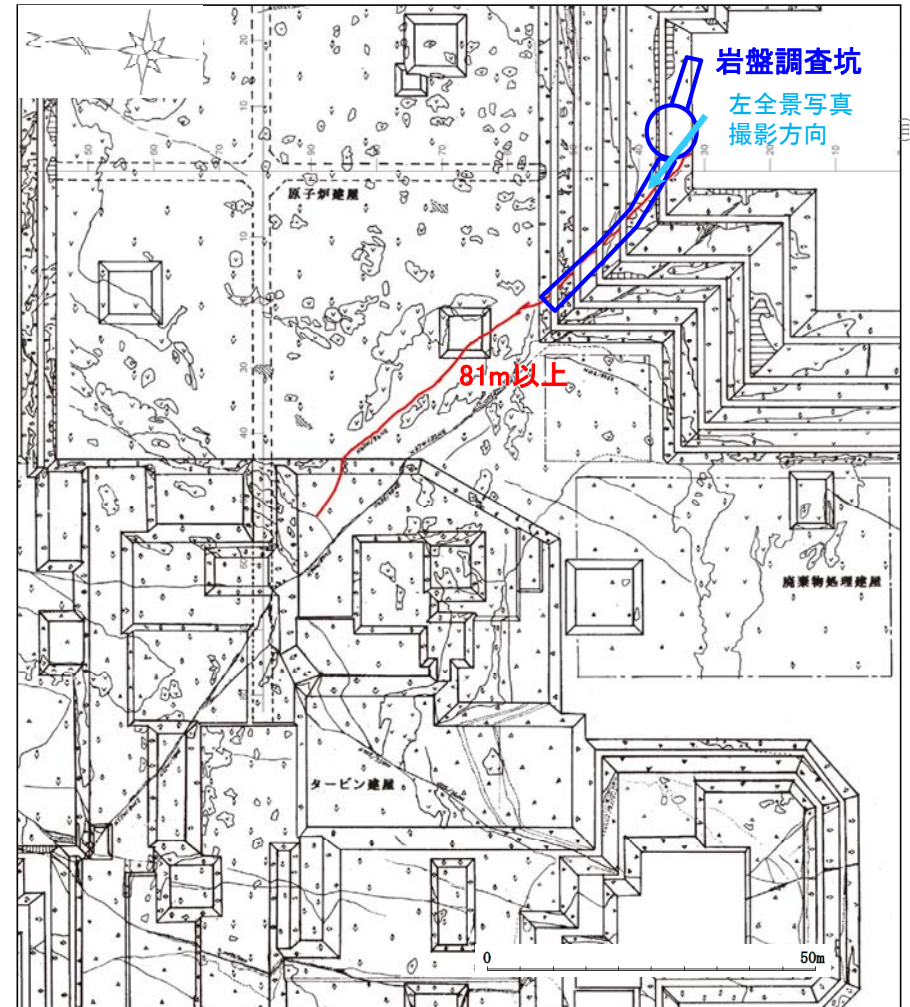


No.7付近底盤写真



No.7付近底盤写真(破碎部加筆)

この事例における破碎部の幅は10cm (①+③-1)である。



岩盤調査坑  
左全景写真  
撮影方向

81m以上

基礎掘削面スケッチ(1号機)

この事例における破碎部の長さは81m以上である。

---

余白

---

## データ集2-1

### 破砕部性状一覧表(陸域)

# 破砕部の性状一覧表

■破砕部の性状の一覧表を以下に示す。(断層については、幅3cm以上の破砕部に加え、断層面上に位置する幅3cm未満の破砕部やコア形状が不良で判断できない箇所も含む)。

断層の破砕部性状一覧表  
(1/3)

名称	孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	破砕部の幅 (cm)	破砕部の幅 平均値 (cm)
S-1	R-7	153.35	EL-142.07	17	14
	H-7	82.85	EL-66.93	※	
	Sd-2	62.71	EL-6.54	11	
	I-8	49.73	EL-27.83	14	
	V-2	119.55	EL-96.37	13	
	X-2	37.38	EL-15.99	14	
	I-9	214.83	EL-186.18	10	
	X-4	143.95	EL-118.01	19	
	J-9	58.65	EL-34.50	8	
	J-9'	28.67	EL-7.52	8	
	J-9''	29.33	EL-8.23	16	
	T-1	3.34	EL-13.85	25	
	T-2	2.85	EL-14.85	22	
	T-3	2.55	EL-15.45	6	
	T-4	2.00	EL-16.85	4	
	K-10	16.95	EL15.64	8	
	K-11	110.53	EL-82.67	15	
	L-12.2	41.93	EL-10.97	27	
	L-12.5	174.18	EL-138.38	9	
	M-12.5	63.43	EL-35.33	8	
	M-12.5'	51.65	EL-26.59	10	
	M-12.5''	50.00	EL-23.90	8	
	N-13	11.10	EL26.53	18	
	N-13'	23.39	EL15.13	26	
	N-13.5'	10.90	EL29.74	23	
	N-14	30.97	EL11.78	12	
	N-14.5	21.31	EL26.25	11	
	O-14.5	26.93	EL14.42	8	
	O-16	20.36	EL12.72	18	
	O-17	16.28	EL25.11	22	
	O-17.3	41.82	EL8.81	16	
	O-17.5	25.29	EL22.77	6	

断層の破砕部性状一覧表  
(2/3)

名称	孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	破砕部の幅 (cm)	破砕部の幅 平均値 (cm)		
S-2・S-6	M-5	51.75	EL-42.00	17	26		
	L-6'	13.82	EL-2.29	33			
	K-5	94.44	EL-80.13	39			
	K-6	39.17	EL-23.31	54			
	I-5	126.15	EL-107.91	15			
	I-6	67.20	EL-47.27	※			
	R-4.5	184.44	EL-173.37	4			
	R-5	155.50	EL-144.38	14			
	SC-1	36.27	EL-6.20	16			
	SE-2	52.18	EL-6.46	43			
	H-7	20.59	EL-4.67	20			
	R-6	90.90	EL-79.67	26			
	SC-4	63.65	EL-6.10	19			
	R-7	28.23	EL-16.95	39			
	G-7	53.85	EL-38.60	24			
	F-8	26.40	EL-5.66	※			
	F-8.5	8.93	EL12.13	29			
	E-8.5	14.40	EL6.74	18			
	E-8	38.05	EL-21.91	14			
	E-8.6	11.70	EL9.41	55			
	E-8.7	10.09	EL10.93	56			
	C-9.1	10.82	EL11.03	1			
	C-9.2	10.56	EL11.52	1			
	S-4	I-8	38.10	EL-16.20		4	8
		R-7	112.30	EL-101.02		3	
		H-8	58.15	EL-38.78		※	
2X-2		24.70	EL-12.18	※			
SE-1		35.90	EL-6.29	※			
No.3		25.35	EL-6.38	16			
R-8		61.45	EL-48.34	1			
2V-2		46.40	EL-33.12	8			
No.2		13.60	EL-6.37	※			
2V-3		37.30	EL-17.47	※			
R-9		19.33	EL1.72	20			
2U-4		39.45	EL-18.32	8			
2V-5		10.97	EL10.06	※			
G-9		59.44	EL-37.77	16			
No.4		10.85	EL-6.47	8			
2T-4		62.15	EL-41.00	※			
SA-2		18.28	EL-6.04	※			
2T-6		26.78	EL-5.62	※			
F-9'		107.63	EL-86.45	4			
No.1		30.15	EL-6.36	1			

断層の破砕部性状一覧表  
(3/3)

名称	孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	破砕部の幅 (cm)	破砕部の幅 平均値 (cm)
S-5	SC-2	32.68	EL-6.29	1	2
	R-8	25.50	EL-12.39	2	
	H-8	35.55	EL-16.18	※	
S-7	I-5	112.19	EL-93.95	25	9
	I-6	41.05	EL-21.12	※	
	R-5	47.85	EL-36.73	3	
	R-4.5	84.20	EL-73.13	3	
S-8	G-5	29.68	EL-16.02	3	16
	G-7	51.65	EL-36.40	18	
	F-7	24.50	EL-5.10	13	
S-9	J-7	13.51	EL2.97	19	11
	SC-5	10.39	EL-6.13	12	
	I-7	53.10	EL-32.63	2	

断層の破砕部性状一覧表(取水路トンネル)

名称	トンネル始点 からの距離(m)	破砕部の幅 (cm)
K-2	114~121	30

b-1~b-4の破砕部性状一覧表

名称	孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	破砕部の幅 (cm)
b-1	R-4.5	55.50	EL-44.43	7
b-2	R-4.5	137.24	EL-126.17	18
b-3	R-4.5	144.80	EL-133.73	9
b-4	2V-2	191.45	EL-178.17	4

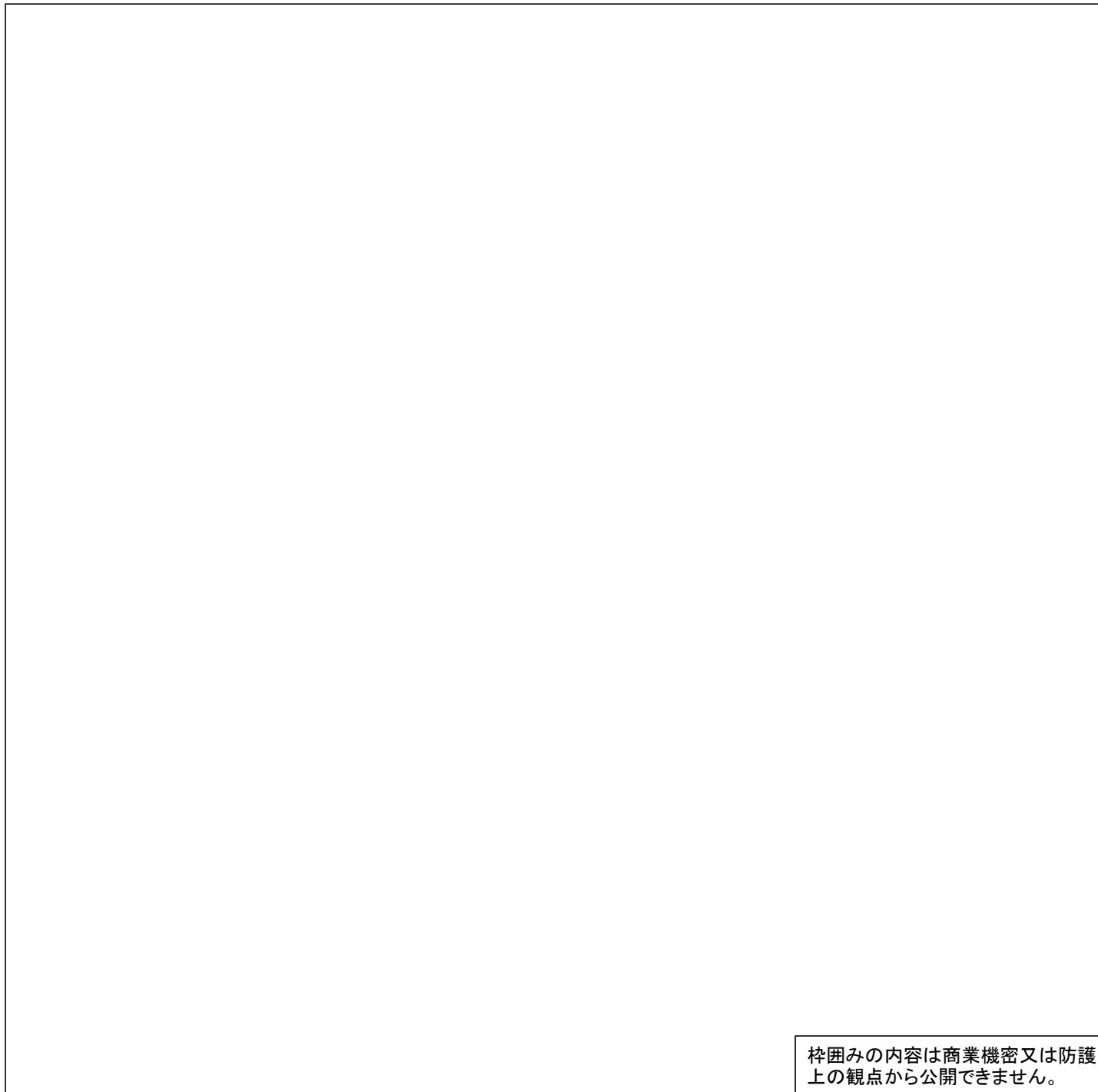
S-1の連続性追跡ボーリングで確認した  
b-5~b-13の破砕部性状一覧表

名称	孔名	確認深度 (m)	標高 (m)	破砕部の幅 (cm)
b-5	M-14'	181.96	EL-139.90	14
b-6	M-14	361.69	EL-327.59	18
b-7	L-13.5	293.88	EL-258.98	4
b-8	L-13.7	314.62	EL-279.42	9
b-9	M-13'	105.82	EL-67.90	4
b-10	L-13.7	93.15	EL-57.94	9
	L-14'	86.71	EL-49.23	16
b-11	L-13.5	159.03	EL-124.13	4
	L-13.7	161.27	EL-126.12	15
	L-14'	152.45	EL-113.36	6
b-12	L-14'	158.21	EL-119.00	11
b-13	M-14'	88.59	EL-50.41	16

※:コアが岩片状、細片状、土砂状を呈している、あるいは掘進時のコア採取不良区間、逸水により、破砕部の有無が確認できないが、周辺ボーリング孔で確認された断層の出現深度、走向傾斜から考慮して、断層が連続すると判断して抽出したもの。

# 破砕部の性状確認位置図

■破砕部の性状を確認した位置(下図赤色部)について、以下に示す。



凡 例

- 鉛直ボーリング孔
- 水平ボーリング孔
- 斜めボーリング孔
- トレンチ
- 表土はぎ
- 試掘坑・試験坑・斜坑
- 岩盤調査坑
- 基礎掘削面(1・2号機建設時の掘削範囲)

赤色部が破砕部を確認した位置

重要な安全機能を有する施設  
(検討中のものを含む)

- 耐震重要施設
- 重大事故等対処施設

露頭調査範囲

枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

# S-1の性状一覧表(1/8)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
S-1	R-7	153.35 (EL-142.07)	70° ◆	17	<p>152.9 153.0 153.1 153.2 153.3 153.4 153.5 (m)</p> <p>③-2 ① ③-2</p>
	H-7	82.85 (EL-66.93)	—	※	<p>82.5 82.6 82.7 82.8 82.9 83.0 83.1 (m)</p> <p>83 57</p>
	Sd-2 (水平)	62.71 (EL-6.54)	70° ◆	11	<p>62.4 62.5 62.6 62.7 62.8 62.9 63.0 (m)</p> <p>③-1 ① ③-1</p>
	I-8	49.73 (EL-27.83)	—	14	<p>49.4 49.5 49.6 49.7 49.8 49.9 50.0 (m)</p> <p>③-2(岩片状)</p>
	V-2	119.55 (EL-96.37)	N49° W/65° NE	13	<p>119.3 119.4 119.5 119.6 119.7 119.8 119.9 (m)</p> <p>③-2 ① ③-2</p>

◆:コア観察による傾斜 ※:コア形状が不良で確認できない

# S-1の性状一覧表(2/8)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="width: 15px; height: 10px; background-color: red; margin-right: 5px;"></div> <span>破碎部</span> </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>① 粘土状破碎部</p> <p>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</p> <p>③-2 固結した角礫状破碎部</p> </div>
S-1	X-2	37.38 (EL-15.99)	N40° W/78° NE	14	<p>36.7 36.8 36.9 37.0 37.1 37.2 37.3 (m)</p> <p>③-2(岩片状)</p>
	I-9	214.83 (EL-186.18)	N43° W/75° NE	10	<p>214.6 214.7 214.8 214.9 215.0 215.1 215.2 (m)</p> <p>③-2(岩片状) ① ③-2(岩片状)</p>
	X-4	143.95 (EL-118.01)	—	19	<p>143.2 143.3 143.4 143.5 143.6 143.7 143.8 (m)</p> <p>③-2(岩片状)</p> <p>143.8 143.9 144.0 144.1 144.2 144.3 144.4 (m)</p> <p>③-2(岩片状) ① ③-2(岩片状)</p>

# S-1の性状一覧表(3/8)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="border-bottom: 2px solid red; width: 20px; height: 10px; margin-right: 5px;"></div> 破砕部           <div style="margin-left: 20px;">             ① 粘土状破砕部              ③-1 固結した粘土・砂状破砕部              ③-2 固結した角礫状破砕部           </div> </div>
S-1	J-9	58.65 (EL-34.50)	N36° W/80° NE	8	
	J-9'	28.67 (EL-7.52)	N72° W/74° NE	8	
	J-9''	29.33 (EL-8.23)	N83° E/73° NW	16	
	T-1 (水平)	3.34 (EL-13.85)	N60° W/68° NE	25	



# S-1の性状一覧表(4/8)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 破砕部 ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部
S-1	T-2 (水平)	2.85 (EL-14.85)	N62° W/65° NE	22	
	T-3 (水平)	2.55 (EL-15.45)	N61° W/67° NE	6	
	T-4 (水平)	2.00 (EL-16.85)	N62° W/71° NE	4	
	K-10	16.95 (EL15.64)	N69° W/66° NE	8	
	K-11	110.53 (EL-82.67)	—	15	

# S-1の性状一覧表(5/8)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 破砕部 ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部
S-1	L-12.2 (傾斜80°)	41.93 (EL-10.97)	N38° W/79° NE	27	
	L-12.5	174.18 (EL-138.38)	N85° W/66° NE	9	
	M-12.5	63.43 (EL-35.33)	N62° W/72° NE	8	
	M-12.5'	51.65 (EL-26.59)	N51° W/76° NE	10	

# S-1の性状一覧表(6/8)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="width: 20px; height: 5px; background-color: red; margin-right: 5px;"></div> 破碎部                 </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; margin-left: 10px;"> <div style="width: 10px; height: 10px; border: 1px solid black; border-radius: 50%; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-bottom: 2px;">①</div> 粘土状破碎部                 </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; margin-left: 10px;"> <div style="width: 10px; height: 10px; border: 1px solid black; border-radius: 50%; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-bottom: 2px;">③-1</div> 固結した粘土・砂状破碎部                 </div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center; margin-left: 10px;"> <div style="width: 10px; height: 10px; border: 1px solid black; border-radius: 50%; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-bottom: 2px;">③-2</div> 固結した角礫状破碎部                 </div>
S-1	M-12.5'	50.00 (EL-23.90)	N51° W/79° NE	8	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">49.8</div> <div style="margin-right: 10px;">49.9</div> <div style="margin-right: 10px;">50.0</div> <div style="margin-right: 10px;">50.1</div> <div style="margin-right: 10px;">50.2</div> <div style="margin-right: 10px;">50.3</div> <div style="margin-right: 10px;">50.4(m)</div> </div>
	N-13	11.10 (EL26.53)	N50° W/75° NE	18	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">10.4</div> <div style="margin-right: 10px;">10.5</div> <div style="margin-right: 10px;">10.6</div> <div style="margin-right: 10px;">10.7</div> <div style="margin-right: 10px;">10.8</div> <div style="margin-right: 10px;">10.9</div> <div style="margin-right: 10px;">11.0 (m)</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="margin-right: 10px;">11.0</div> <div style="margin-right: 10px;">11.1</div> <div style="margin-right: 10px;">11.2</div> <div style="margin-right: 10px;">11.3</div> <div style="margin-right: 10px;">11.4</div> <div style="margin-right: 10px;">11.5</div> <div style="margin-right: 10px;">11.6 (m)</div> </div>
	N-13'	23.39 (EL15.13)	N52° W/69° NE	26	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">22.8</div> <div style="margin-right: 10px;">22.9</div> <div style="margin-right: 10px;">23.0</div> <div style="margin-right: 10px;">23.1</div> <div style="margin-right: 10px;">23.2</div> <div style="margin-right: 10px;">23.3</div> <div style="margin-right: 10px;">23.4 (m)</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="margin-right: 10px;">11.0</div> <div style="margin-right: 10px;">11.1</div> <div style="margin-right: 10px;">11.2</div> <div style="margin-right: 10px;">11.3</div> <div style="margin-right: 10px;">11.4</div> <div style="margin-right: 10px;">11.5</div> <div style="margin-right: 10px;">11.6 (m)</div> </div>

# S-1の性状一覧表(7/8)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 破砕部 ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部
S-1	N-13.5' (傾斜73°)	10.90 (EL29.74)	N87° E/73° NW	23	
	N-14 (傾斜73°)	30.97 (EL11.78)	N36° W/80° NE	12	
	N-14.5 (傾斜73°)	21.31 (EL26.25)	N55° W/84° NE	11	
	O-14.5 (傾斜73°)	26.93 (EL14.42)	N72° W/89° NE	8	

# S-1の性状一覧表(8/8)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 破砕部 ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部
S-1	O-16 (傾斜73°)	20.36 (EL12.72)	N63° W/87° NE	18	
	O-17 (傾斜70°)	16.28 (EL25.11)	N74° W/85° NE	22	
	O-17.3 (傾斜45°)	41.82 (EL8.81)	N75° W/78° NE	16	
	O-17.5 (傾斜45°)	25.29 (EL22.77)	N76° W/80° NE	6	

# S-2・S-6の性状一覧表(1/7)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: flex-end;"> <span style="color: red; font-weight: bold; margin-right: 5px;">—</span> 破碎部           <div style="margin-left: 20px;">             ① 粘土状破碎部              ③-1 固結した粘土・砂状破碎部              ③-2 固結した角礫状破碎部           </div> </div>
S-2・S-6	M-5	51.75 (EL-42.00)	—	17	
	L-6'	13.82 (EL-2.29)	N12° E/58° NW	33	
	K-5	94.44 (EL-80.13)	70° ◆	39	

◆:コア観察による傾斜

# S-2・S-6の性状一覧表(2/7)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span>コア写真</span> <span>— 破碎部</span> <div style="font-size: small;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div> </div>
S-2・S-6	K-6	39.17 (EL-23.31)	N35° E/60° NW	54	
	I-5	126.15 (EL-107.91)	—	15	
	I-6	67.20 (EL-47.27)	—	※	

※:コア形状が不良で確認できない

# S-2・S-6の性状一覧表(3/7)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: flex-end;"> <span style="color: red; font-weight: bold; margin-right: 5px;">▬</span> 破碎部           <div style="margin-left: 20px;">             ① 粘土状破碎部              ③-1 固結した粘土・砂状破碎部              ③-2 固結した角礫状破碎部           </div> </div>
S-2・S-6	R-4.5	184.44 (EL-173.37)	N18° E/59° NW	4	
	R-5	155.50 (EL-144.38)	—	14	
	SC-1 (水平)	36.27 (EL-6.20)	N24° E/44° NW	16	
	SE-2 (水平)	52.18 (EL-6.46)	—	43	
	H-7	20.59 (EL-4.67)	N17° E/50° NW	20	



# S-2・S-6の性状一覧表(4/7)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="width: 15px; height: 10px; background-color: red; margin-right: 5px;"></div> 破碎部                 </div> <div style="margin-left: 20px;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div>
S-2・S-6	R-6	90.90 (EL-79.67)	N8° E/64° NW	26	
	SC-4 (水平)	63.65 (EL-6.10)	—	19	
	R-7	28.23 (EL-16.95)	N14° E/52° NW	39	
	G-7	53.85 (EL-38.60)	N12° E/60° NW	24	

# S-2・S-6の性状一覧表(5/7)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部                 <div style="margin-left: 20px;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div> </div>
S-2・S-6	F-8	26.40 (EL-5.66)	—	※	
	F-8.5	8.93 (EL12.13)	N3° E/50° NW	29	
	E-8.5	14.40 (EL6.74)	NS/55° W	18	
	E-8	38.05 (EL-21.91)	N18° E/77° NW	14	

※:コア形状が不良で確認できない

# S-2・S-6の性状一覧表(6/7)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 破砕部 ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部
S-2・S-6	E-8.6	11.70 (EL9.41)	NS/45° W	55	
	E-8.7	10.09 (EL10.93)	N10° E/56° NW	56	
	C-9.1	10.82 (EL11.03)	N27° E/57° NW	1	

# S-2・S-6の性状一覧表(7/7)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部           <div style="margin-left: 20px;">             ① 粘土状破碎部              ③-1 固結した粘土・砂状破碎部              ③-2 固結した角礫状破碎部           </div> </div>
S-2・S-6	C-9.2	10.56 (EL11.52)	N12° E/56° NW	1	

# S-4の性状一覽表(1/4)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: flex-end;"> <div style="margin-right: 10px;">— 破碎部</div> <div style="font-size: 0.8em;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div> </div>
S-4	I-8	38.10 (EL-16.20)	—	4	
	R-7	112.30 (EL-101.02)	—	3	
	H-8	58.15 (EL-38.78)	—	※	
	2X-2	24.70 (EL-12.18)	—	※	
	SE-1 (水平)	35.90 (EL-6.29)	—	※	

※:コア形状が不良で確認できない

# S-4の性状一覧表(2/4)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="width: 20px; height: 2px; background-color: red; margin-right: 5px;"></div> <span>破碎部</span> </div> <div style="margin-left: 20px;">           ① 粘土状破碎部            ③-1 固結した粘土・砂状破碎部            ③-2 固結した角礫状破碎部         </div>
S-4	No.3 (水平)	25.35 (EL-6.38)	N39° E/38° NW	16	
	R-8	61.45 (EL-48.34)	—	1	
	2V-2	46.40 (EL-33.12)	N43° E/63° NW	8	
	No.2 (水平)	13.60 (EL-6.37)	—	※	
	2V-3	37.30 (EL-17.47)	—	※	

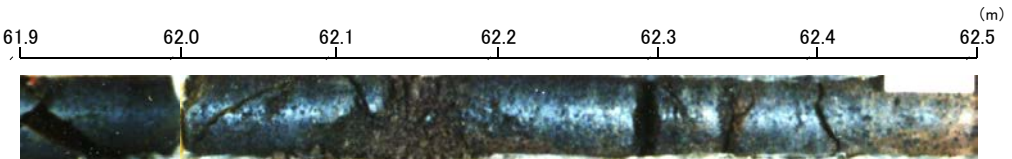

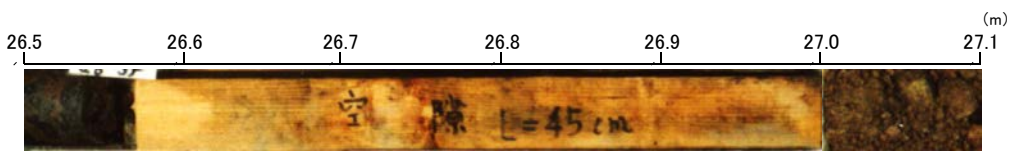
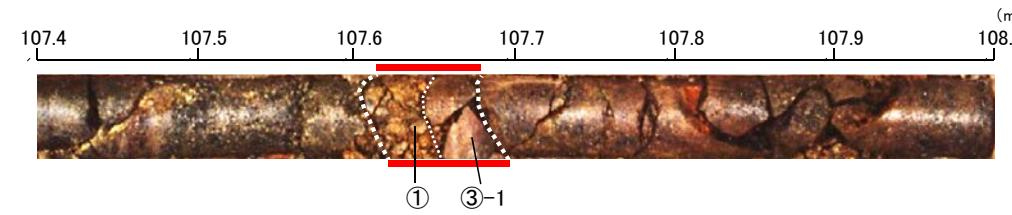
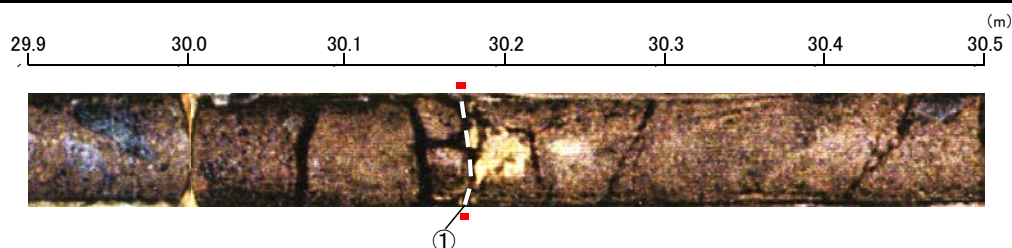
※: コア形状が不良または採取不良のため確認できない

# S-4の性状一覧表(3/4)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: flex-end;"> <span style="color: red; font-weight: bold; margin-right: 5px;">—</span> 破碎部           <div style="margin-left: 20px;">             ① 粘土状破碎部              ③-1 固結した粘土・砂状破碎部              ③-2 固結した角礫状破碎部           </div> </div>
S-4	R-9	19.33 (EL1.72)	N45° E/41° NW	20	
	2U-4	39.45 (EL-18.32)	N58° E/72° NW	8	
	2V-5	10.97 (EL10.06)	—	※	
	G-9	59.44 (EL-37.77)	N61° E/70° NW	16	
	No.4 (水平)	10.85 (EL-6.47)	N43° E/69° NW	8	

※: コア形状が不良で確認できない

# S-4の性状一覽表(4/4)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真	破砕部	① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部
S-4	2T-4	62.15 (EL-41.00)	—	※			
	SA-2 (水平)	18.28 (EL-6.04)	—	※			
	2T-6	26.78 (EL-5.62)	—	※			
	F-9'	107.63 (EL-86.45)	N31° E/62° NW	4			
	No.1 (水平)	30.15 (EL-6.36)	N29° E/44° NW	1			

※:コア形状が不良で確認できない



# S-5の性状一覧表(1/1)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="width: 20px; height: 2px; background-color: red; margin-right: 5px;"></div> <span>破碎部</span> </div> <div style="margin-left: 10px;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div>
S-5	SC-2 (水平)	32.68 (EL-6.29)	-	1	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">                         32.4      32.5      32.6      32.7      32.8      32.9      33.0  <span style="font-size: small;">(m)</span> </div> </div>
	R-8	25.50 (EL-12.39)	N13° E/ 70° SE	2	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">                         25.2      25.3      25.4      25.5      25.6      25.7      25.8  <span style="font-size: small;">(m)</span> </div> </div>
	H-8	35.55 (EL-16.13)	-	※	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">                         35.2      35.3      35.4      35.5      35.6      35.7      35.8  <span style="font-size: small;">(m)</span> </div> </div>

※:コア形状が不良で確認できない

# S-7の性状一覧表(1/2)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <div style="width: 15px; height: 10px; background-color: red; margin-right: 5px;"></div> 破碎部                 </div> <div style="margin-left: 20px;">                     ① 粘土状破碎部                      ③-1 固結した粘土・砂状破碎部                      ③-2 固結した角礫状破碎部                 </div>
S-7	I-5	112.19 (EL-93.95)	N41° W/60° SW	25	 
	I-6	41.05 (EL-21.12)	—	※	
	R-5	47.85 (EL-36.73)	—	3	
	R-4.5	84.20 (EL-73.13)	N43° W/55° SW	3	

※:コア形状が不良で確認できない

# S-7の性状一覧表(2/2)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真
S-7	G-5	29.68 (EL-16.02)	—	3	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;"> <p>① 粘土状破碎部</p> <p>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</p> <p>③-2 固結した角礫状破碎部</p> </div> <div style="margin-right: 10px;"> <p>== 破碎部</p> </div> <div> </div> </div>


# S-8の性状一覧表(1/1)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <span style="color: red; font-weight: bold;">==</span> 破碎部           <div style="margin-left: 20px;">             ① 粘土状破碎部              ③-1 固結した粘土・砂状破碎部              ③-2 固結した角礫状破碎部           </div> </div>
S-8	G-7	51.65 (EL-36.40)	—	18	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">             51.4      51.5      51.6      51.7      51.8      51.9      52.0              (m)           </div> </div> <p style="text-align: center;">③-1(岩片状)</p>
	F-7	24.50 (EL-5.10)	—	13	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">             24.2      24.3      24.4      24.5      24.6      24.7      24.8              (m)           </div> </div> <p style="text-align: center;">③-2</p>

# S-9の性状一覧表(1/1)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 破砕部 ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部
S-9	J-7	13.51 (EL2.97)	N36° E/72° NW	19	
	SC-5 (水平)	10.39 (EL-6.13)	N35° E/41° NW	12	
	I-7	53.10 (EL-32.63)	—	2	

# K-2の性状(取水路トンネル)

名称	トンネル始点からの距離(m)	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	切羽写真 <span style="float: right;">= 破碎部</span>
K-2	114~121	N13° E/80° SE	30	<div style="text-align: center;"> <p>←NW <span style="float: right;">SE→</span></p>  <p>117m付近(切羽番号99)</p> </div>

# b-1～b-4の性状一覧表(1/1)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部           <div style="margin-left: 20px;">             ① 粘土状破碎部              ③-1 固結した粘土・砂状破碎部              ③-2 固結した角礫状破碎部           </div> </div>
b-1	R-4.5	55.50 (EL-44.43)	N12° W/82° NE	7	
b-2	R-4.5	137.24 (EL-126.17)	N60° W/67° NE	18	
b-3	R-4.5	144.80 (EL-133.73)	N31° E/57° NW	9	
b-4	2V-2	191.45 (EL-178.17)	N21° E/73° SE	4	

# b-5～b-13の性状一覧表(1/4)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破砕部の幅 (cm)	コア写真 破砕部 ① 粘土状破砕部 ③-1 固結した粘土・砂状破砕部 ③-2 固結した角礫状破砕部
b-5	M-14' (傾斜73°)	181.96 (EL-139.90)	N52° W/86° NE	14	
b-6	M-14	361.69 (EL-327.59)	N51° W/68° NE	18	
b-7	L-13.5	293.88 (EL-258.98)	N2° W/85° NE	4	
b-8	L-13.7	314.62 (EL-279.42)	N20° W/65° NE	9	



# b-5～b-13の性状一覧表(2/4)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: flex-end;"> <div style="margin-right: 10px;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部         </div> <div style="font-size: small;">           ① 粘土状破碎部            ③-1 固結した粘土・砂状破碎部            ③-2 固結した角礫状破碎部         </div> </div>
b-9	M-13'	105.82 (EL-67.90)	N14° E/58° NW	4	
b-10	L-13.7	93.15 (EL-57.94)	N59° E/59° NW	9	
	L-14' (傾斜77°)	86.71 (EL-49.23)	N53° E/67° NW	16	

# b-5～b-13の性状一覧表(3/4)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red;">—</span> 破碎部           <div style="margin-left: 20px;">             ① 粘土状破碎部              ③-1 固結した粘土・砂状破碎部              ③-2 固結した角礫状破碎部           </div> </div>
b-11	L-13.5	159.03 (EL-124.13)	N59° E/70° NW	4	
	L-13.7	161.27 (EL-126.12)	N41° E/66° NW	15	
	L-14' (傾斜77°)	152.45 (EL-113.36)	N63° E/59° NW	6	
b-12	L-14' (傾斜77°)	158.21 (EL-119.00)	N44° E/49° NW	11	

# b-5～b-13の性状一覧表(4/4)

名称	孔名	深度(m) (標高(m))	走向・傾斜 (走向は真北)	破碎部の幅 (cm)	コア写真 <div style="display: flex; align-items: center; gap: 10px;"> <span style="color: red; font-weight: bold;">▬</span> 破碎部           <div style="margin-left: 20px;">             ① 粘土状破碎部              ③-1 固結した粘土・砂状破碎部              ③-2 固結した角礫状破碎部           </div> </div>
b-13	M-14' (傾斜73°)	88.59 (EL-50.41)	N40° E/74° NW	16	<p>The photograph shows a core sample with two sections. The top section is labeled with depths from 87.8m to 88.4m. A red line indicates a fracture zone between 88.2m and 88.4m. A label ③-2 points to a fracture at approximately 88.35m. The bottom section is labeled with depths from 88.4m to 89.0m. Red lines indicate fracture zones between 88.4m and 88.6m, and between 88.7m and 88.9m. Labels ③-2, ①, and ③-2 point to fractures at approximately 88.55m, 88.75m, and 88.85m respectively.</p>

---

余白

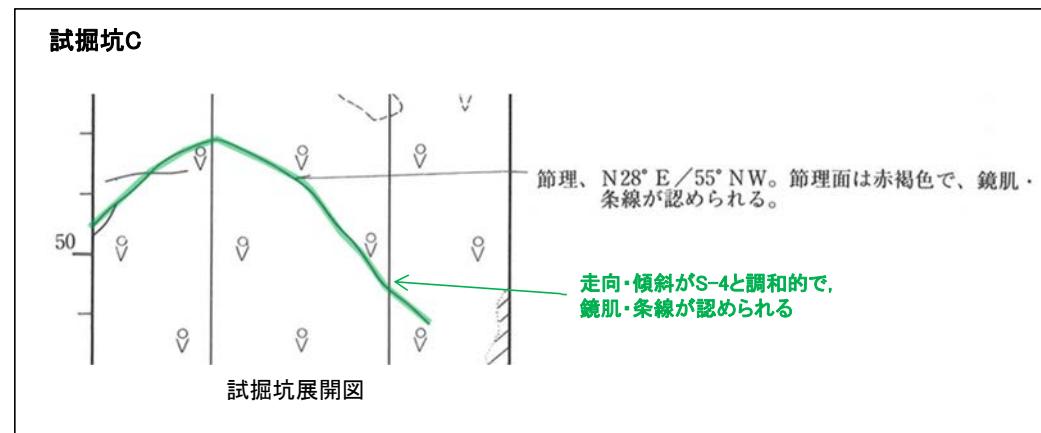
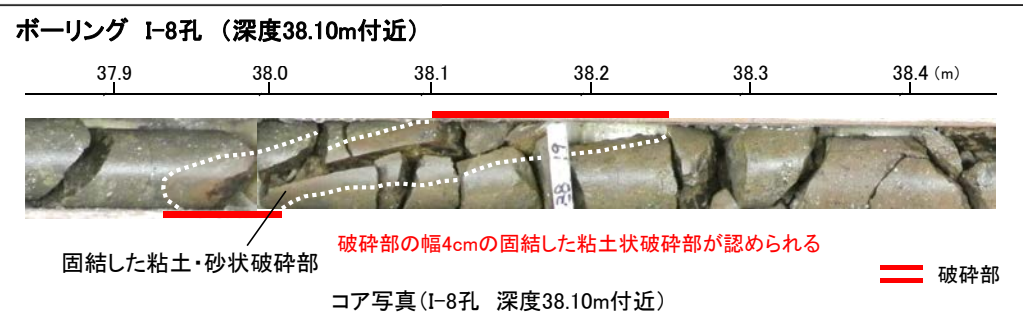
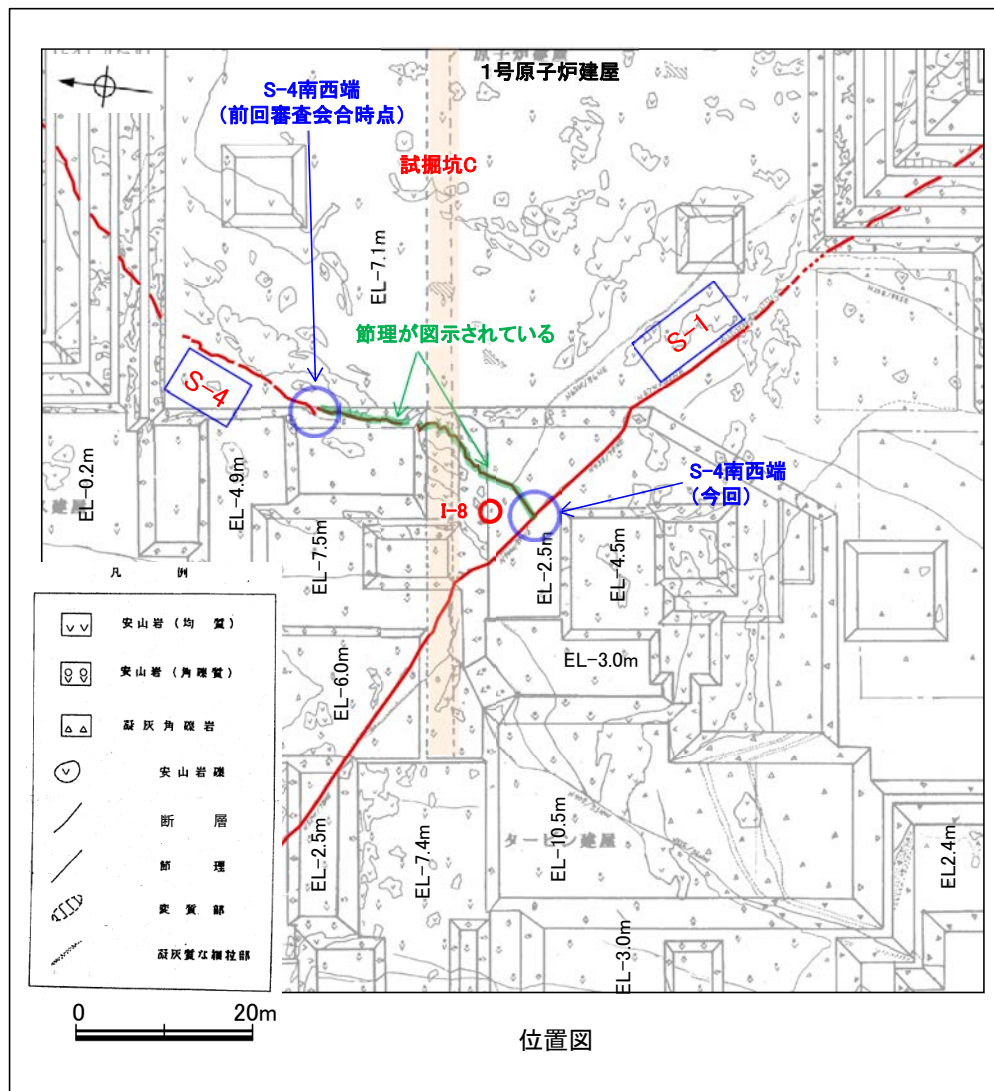
---

## データ集2-2

前回審査会合時点からの主な変更点

# S-4の南西端

■S-4の南西端について、前回審査会合時点からの変更点を以下に示す。



前回

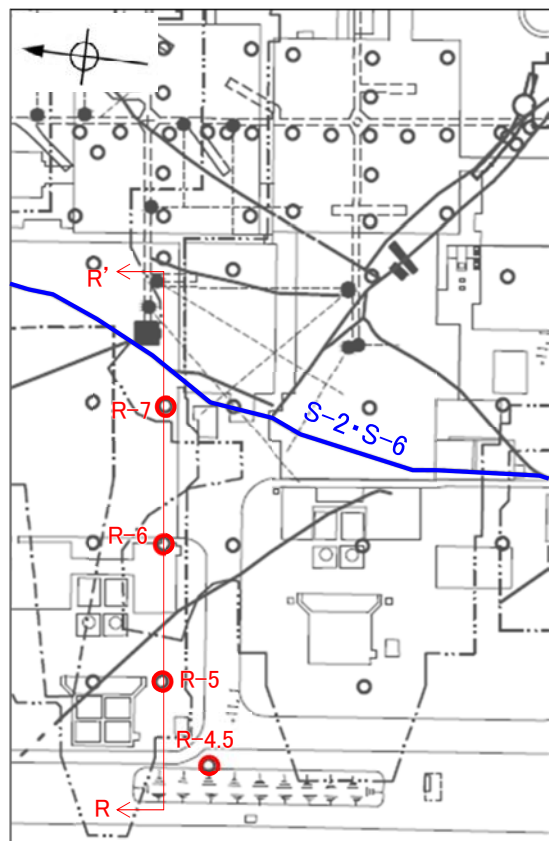
- 粘土質薄層(シーム)に着目し、シームが認められなくなる1号原子炉建屋西側法面をS-4の南西端と判断していた。

今回

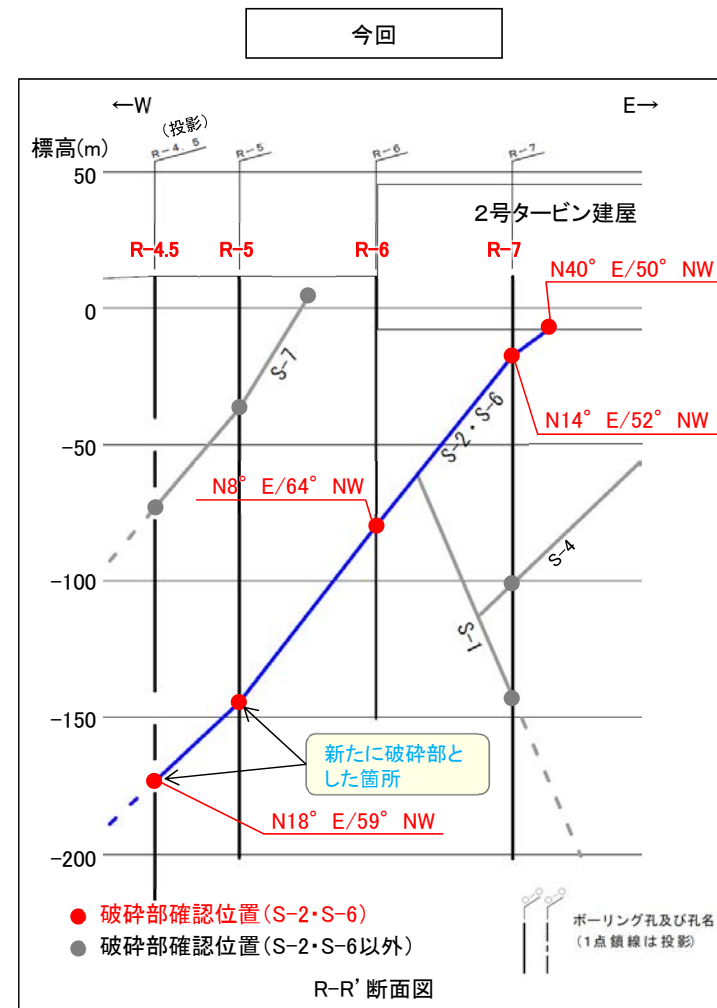
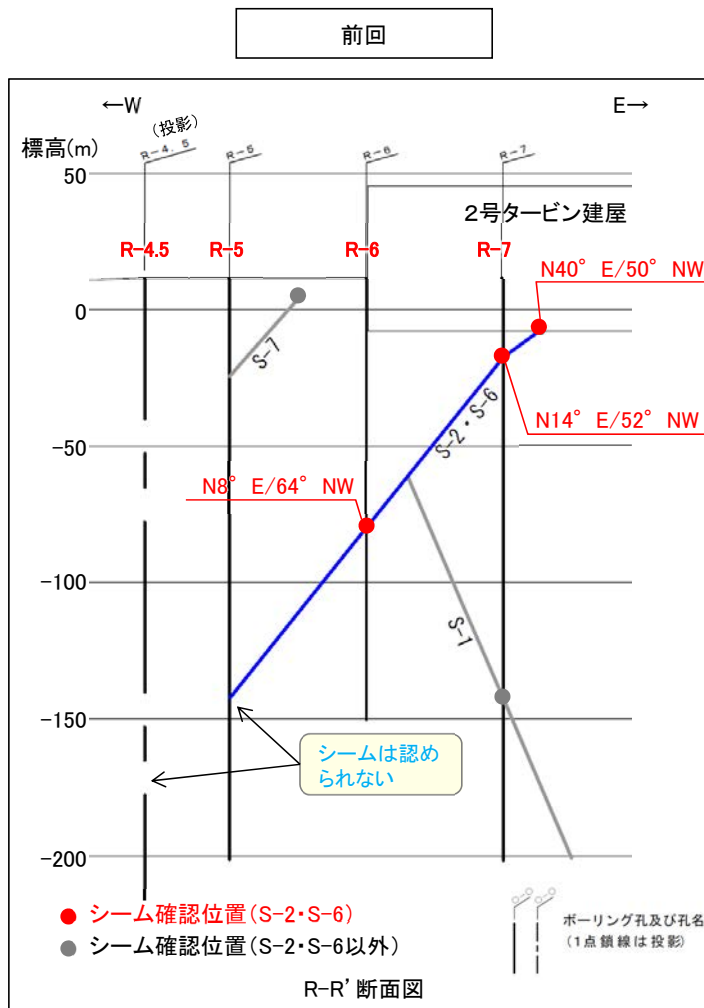
- I-8孔において、S-4想定延長位置付近に固結した破砕部が認められる。
- 基礎掘削面スケッチでは、当初のS-4の南西延長部にも節理が図示されており、S-1まで断続的に延びる。
- 試掘坑Cの地質展開図においても、走向・傾斜がS-4と調和的な節理が図示されており、「鏡肌・条線が認められる」と記載されている。
- 以上のことを踏まえ、S-4南西方向の延長は、S-1まで連続すると判断した。

# S-2・S-6の深部連続性

■S-2・S-6の深部連続性について、前回審査会合時点からの変更点を以下に示す。



位置図

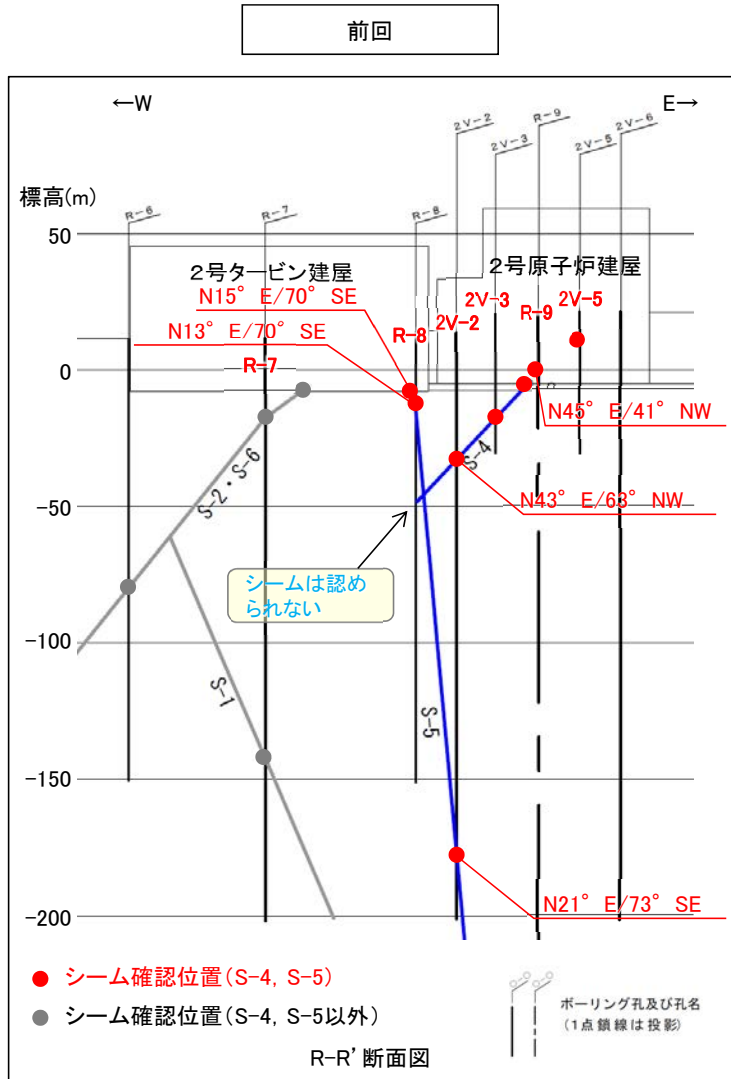
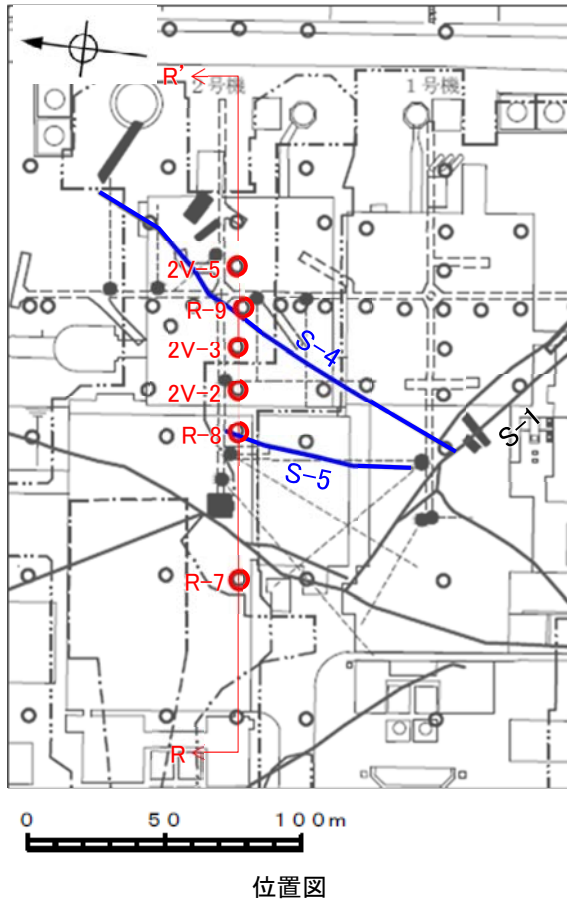


● R-5孔及びR-4.5孔において想定延長位置付近にシームが認められないことから、S-2・S-6は深部(標高約-140m以深)に連続しないと判断した。

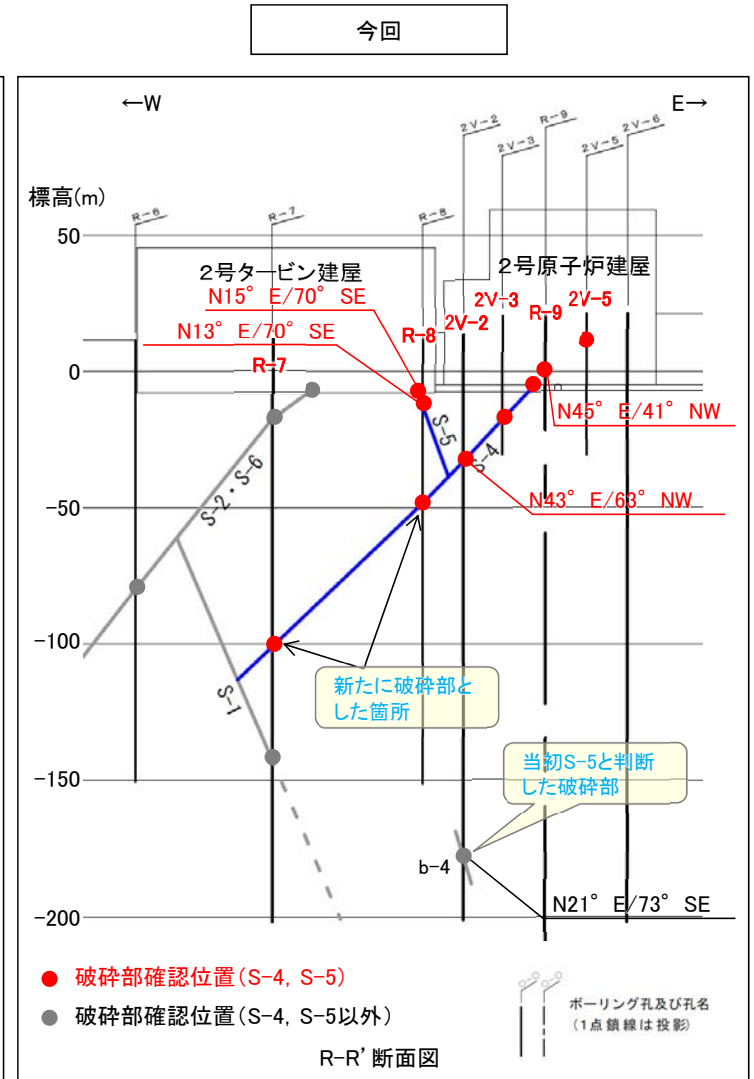
● R-5孔及びR-4.5孔においてS-2・S-6想定延長位置付近に固結した破砕部が認められることから、走向・傾斜と深部方向の直線性を踏まえ、これらをS-2・S-6とし、さらに深部(標高約-170m以深)に連続すると判断した。

# S-4及びS-5の深部連続性

■S-4及びS-5の深部連続性について、前回審査会合時点からの変更点を以下に示す。



- R-8孔においてS-4の想定延長位置付近にシームが認められないことから、S-4は深部(標高約-50m以深)に連続しないと判断した。
- また、出現位置がS-5の想定延長位置と異なるが、2V-2孔で認められたシームをS-5とし、S-5はさらに深部(標高約-180m以深)に連続すると判断した。



- R-8孔及びR-7孔においてS-4の想定延長位置付近に固結した破碎部が認められることから、走向・傾斜と深部方向の直線性を踏まえ、これらをS-4とし、S-4の深部はS-1まで連続すると判断した。
- 当初S-5と判断していた2V-2孔のシーム(粘土状破碎部)については、S-4の水平・深部方向の連続性を踏まえ、S-5とは連続せず、個別の破碎部(b-4に対応)と判断した。

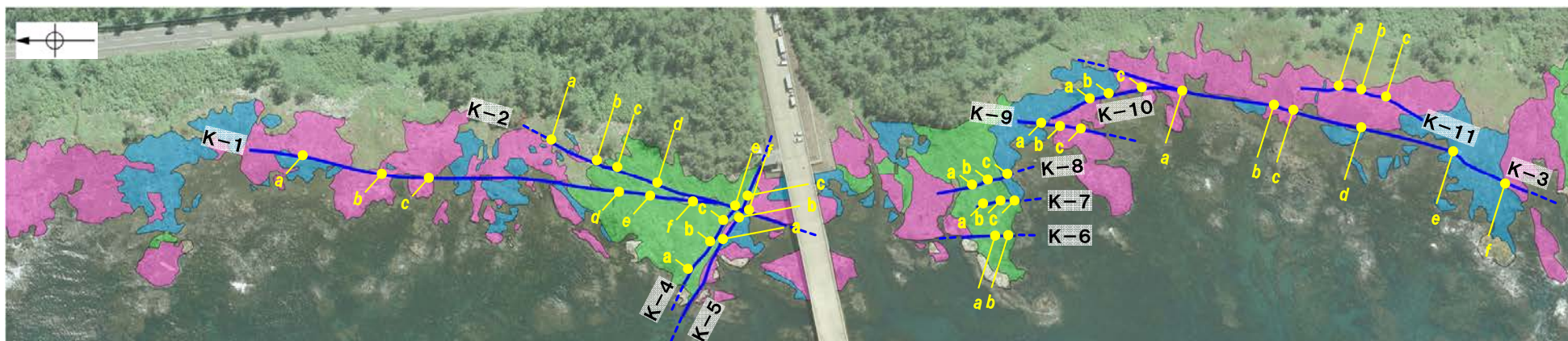


---

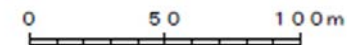
## データ集2-3

### 破砕部性状一覧表(海岸部)

# 調査結果



調査位置図



## 凡例

- 穴水累層 安山岩(均質)
- 穴水累層 安山岩(角礫質)
- 穴水累層 凝灰角礫岩
- 断層(地表面)  
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)
- 破碎部の性状確認位置


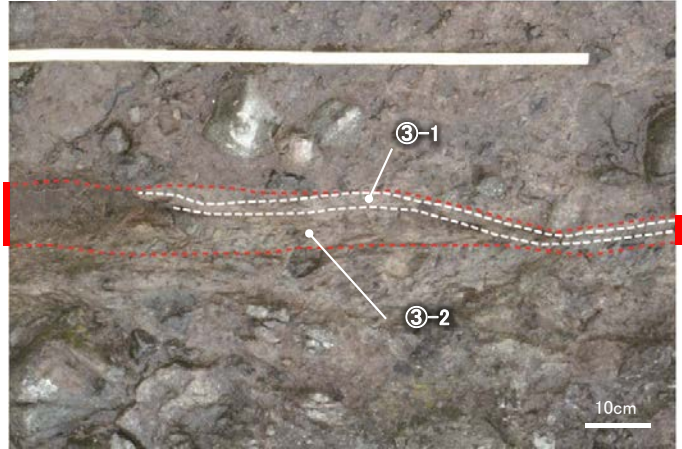

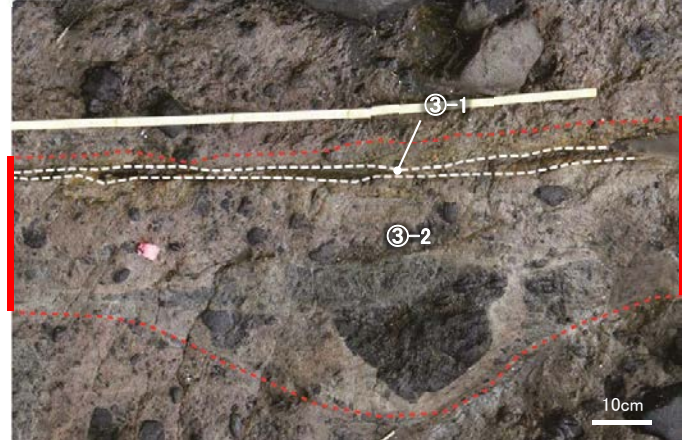
## 断層一覧表

名称	断層長さ	一般走向 (真北)	傾斜	破碎部の幅* (cm)	破碎部の性状
K-1	205m	4° E	58° SE	11	③-1 固結した粘土・砂状破碎部, ③-2 固結した角礫状破碎部
K-2	120m以上	19° E	72° SE	16	③-1 固結した粘土・砂状破碎部, ③-2 固結した角礫状破碎部
K-3	200m以上	16° E	70° SE	15	③-1 固結した粘土・砂状破碎部, ③-2 固結した角礫状破碎部
K-4	45m以上	56° W	85° NE	15	③-1 固結した粘土・砂状破碎部, ③-2 固結した角礫状破碎部
K-5	75m以上	63° W	64° NE	11	③-1 固結した粘土・砂状破碎部, ③-2 固結した角礫状破碎部
K-6	25m以上 160m以下	2° W	60° NE	7	③-2 固結した角礫状破碎部
K-7	20m以上 55m以下	8° W	88° NE	8	③-1 固結した粘土・砂状破碎部, ③-2 固結した角礫状破碎部
K-8	35m以上 70m以下	15° W	80° NE	11	③-1 固結した粘土・砂状破碎部, ③-2 固結した角礫状破碎部
K-9	40m以上 120m以下	10° E	88° SE	7	③-2 固結した角礫状破碎部
K-10	60m	16° W	62° NE	9	③-1 固結した粘土・砂状破碎部, ③-2 固結した角礫状破碎部
K-11	60m	14° E	70° NW	9	③-1 固結した粘土・砂状破碎部, ③-2 固結した角礫状破碎部

\*: 地表面で測定した最大幅を面の傾斜角を考慮し、直角方向の幅に補正した平均の値



・K-1～K-11は、いずれも固結した粘土・砂状破碎部や固結した角礫状破碎部からなる。

# K-1~K-11の性状一覧表(1/6)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		露頭写真	
		測点番号	幅※(cm)		
K-1	N4° E/58° SE	a	3~5	 <p>測定番号e地点 遠景</p>	 <p>測定番号e地点の破碎部の状況</p>
		b	10~15		
		c	20~22		
		d	10		
		e	4~12		
		f	10~15		
K-2	N19° E/72° SE	a	8~10	 <p>測定番号e地点 遠景</p>	 <p>測定番号e地点の破碎部の状況</p>
		b	6~10		
		c	6~10		
		d	12~15		
		e	25~40		
		f	11~13		


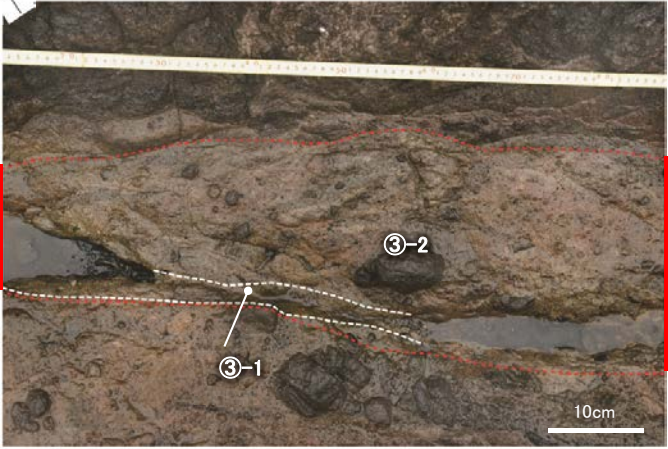
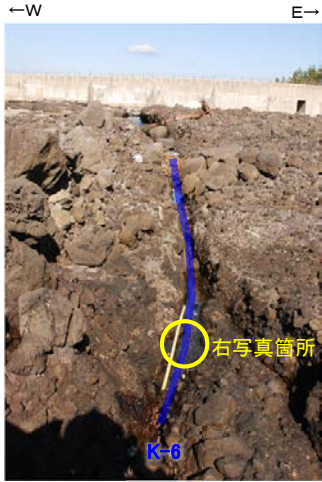
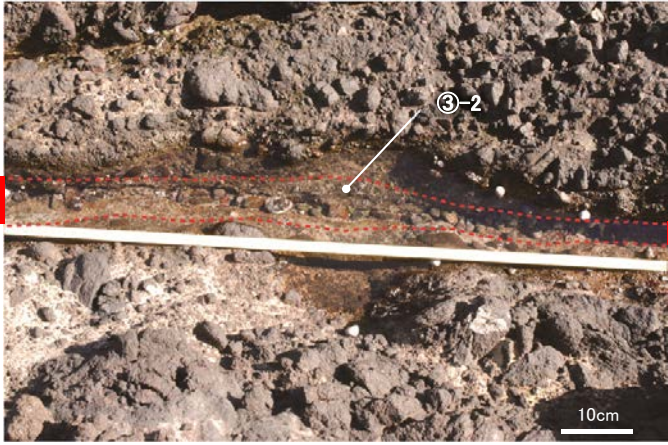
代表写真箇所 ※:地表面で測定した幅

# K-1~K-11の性状一覧表(2/6)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		露頭写真
		測点番号	幅※(cm)	
K-3	N16° E/70° SE	a	15~18	 <p>測定番号b地点 遠景</p>
		b	10~18	
		c	14~20	
		d	4~10	
		e	4~12	
		f	5~18	
K-4	N56° W/85° NE	a	10~26	 <p>測定番号b地点 遠景</p>
		b	6~10	
		c	7~10	
				<p>③-1 固結した粘土・砂状破碎部</p> <p>③-2 固結した角礫状破碎部</p>


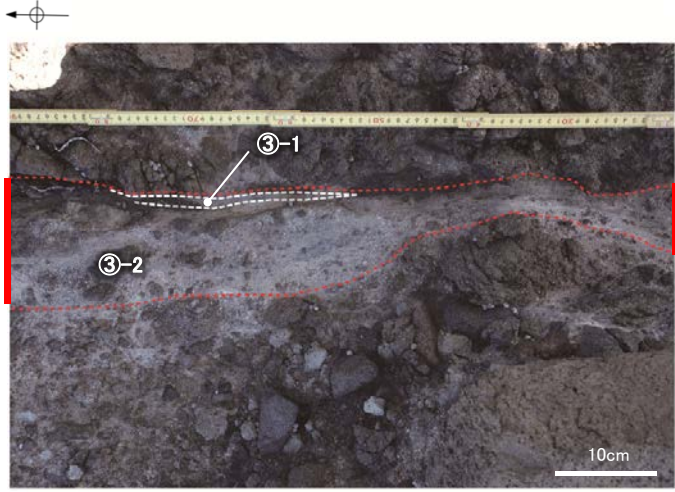

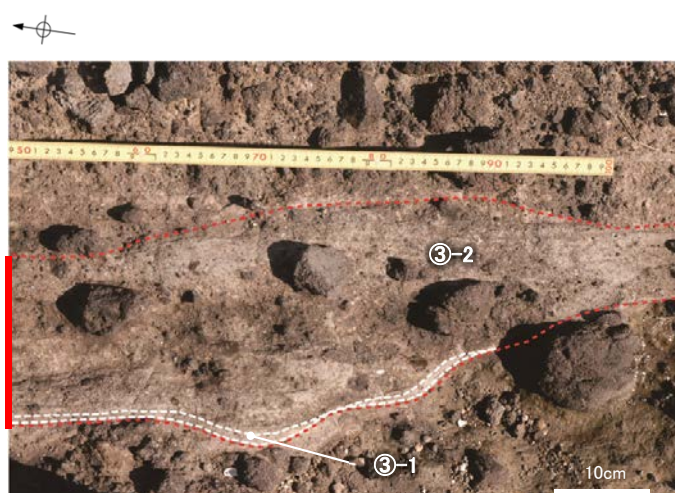
代表写真箇所 ※:地表面で測定した幅

# K-1~K-11の性状一覧表(3/6)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		露頭写真	
		測点番号	幅※(cm)		
K-5	N63° W/64° NE	a	12~20	 <p>測定番号a地点 遠景</p>	
		b	8~12		 <p>測定番号a地点の破碎部の状況</p>
		c	3~5		
K-6	N2° W/60° NE	a	4~6	 <p>測定番号b地点 遠景</p>	
		b	5~10		 <p>測定番号b地点の破碎部の状況</p>



代表写真箇所 ※:地表面で測定した幅

# K-1~K-11の性状一覧表(4/6)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		露頭写真	<span style="color:red">—</span> 破碎部    ③-1 固結した粘土・砂状破碎部 ③-2 固結した角礫状破碎部
		測点番号	幅※(cm)		
K-7	N8° W/88° NE	a	2~11		
		b	1~2		
		c	4~11		
K-8	N15° W/80° NE	a	10~21		
		b	1.5~10		
		c	3~4		


代表写真箇所    ※: 地表面で測定した幅

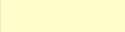
# K-1~K-11の性状一覧表(5/6)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		露頭写真
		測点番号	幅※(cm)	
K-9	N10° E/88° SE	a	10~12	
		b	2~4	
		c	2~6	
				<p>測定番号b地点 遠景</p> <p>測定番号b地点の破碎部の状況</p>
K-10	N16° W/62° NE	a	4~10	
		b	3~11	
		c	7~9	
				<p>測定番号a地点 遠景</p> <p>測定番号a地点の破碎部の状況</p>

代表写真箇所 ※:地表面で測定した幅

# K-1~K-11の性状一覧表(6/6)

名称	一般走向・傾斜 (真北)	破碎部		露頭写真
		測点番号	幅※(cm)	
K-11	N14° E/70° NW	a	2~8	 <p>←WNW                      ESE→</p> <p>右写真箇所</p> <p>K-11</p> <p>測定番号a地点 遠景</p>
		b	3~10	
		c	3~10	

 代表写真箇所 ※:地表面で測定した幅



---

## データ集3-1

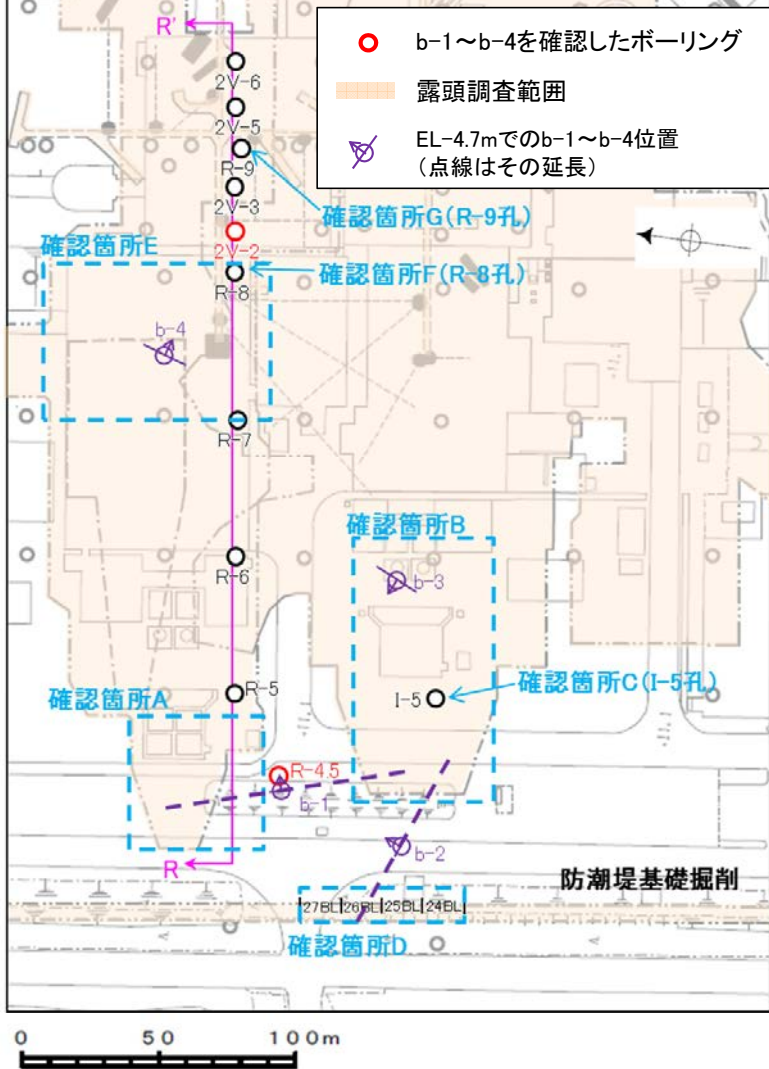
$b-1 \sim b-4$ の連続性

# b-1～b-4の分布

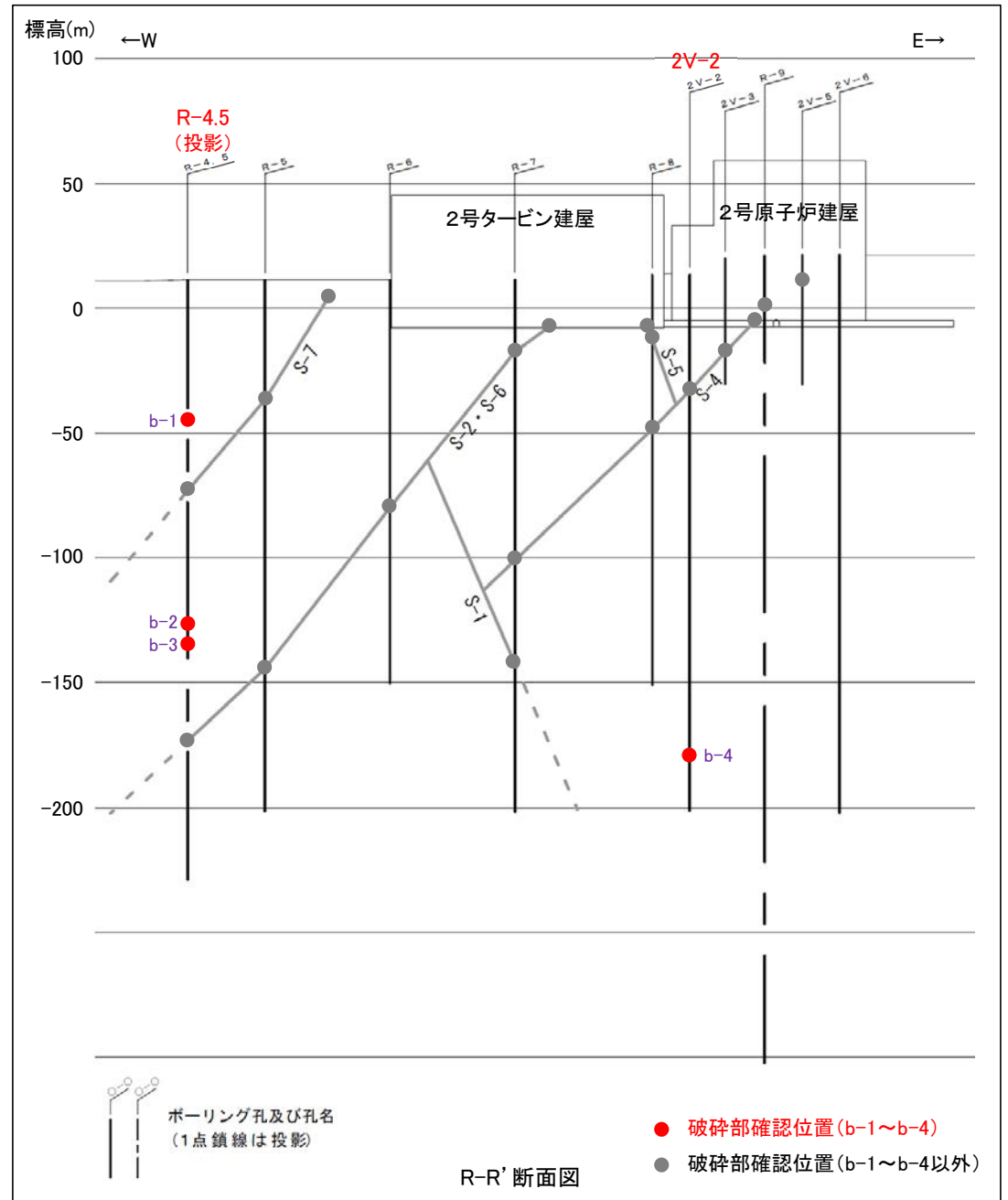
■敷地内のボーリング調査のみで確認された幅3cm以上の破砕部(b-1～b-4)の分布を示す。

ボーリング調査のみで確認された幅3cm以上の破砕部

名称	孔名:深度	標高	走向/傾斜 (走向は真北)
b-1	R-4.5: 55.50m	EL-44.43m	N12° W/82° NE
b-2	R-4.5: 137.24m	EL-126.17m	N60° W/67° NE
b-3	R-4.5: 144.80m	EL-133.73m	N31° E/57° NW
b-4	2V-2: 191.45m	EL-178.17m	N21° E/73° SE



調査位置図



R-R' 断面図

# b-1～b-4の連続性検討

■ 敷地内のボーリング調査のみで確認された破砕部(b-1～b-4)についての連続性の検討結果を以下に示す。検討にあたっては、基礎掘削面及び隣接孔による深部及び浅部への連続性について確認した。

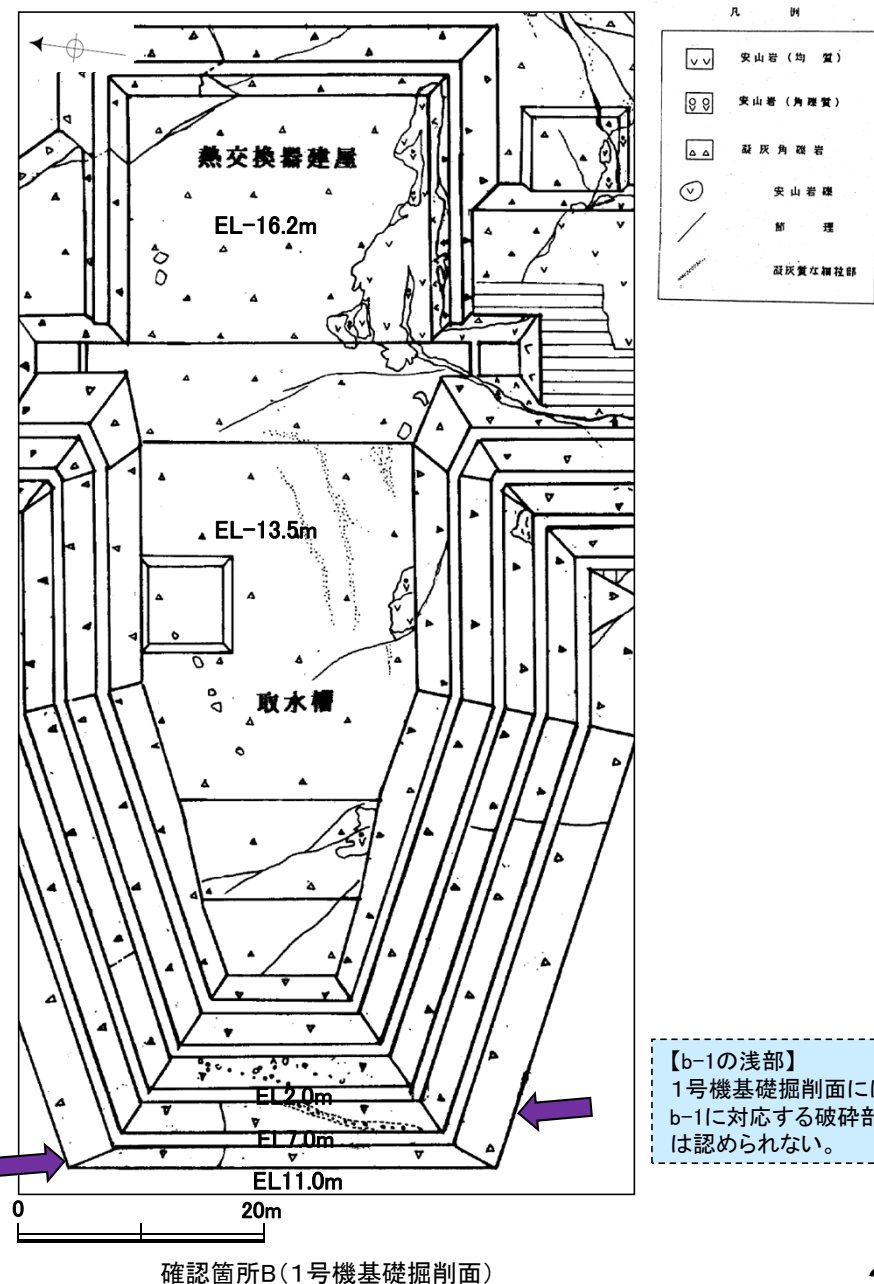
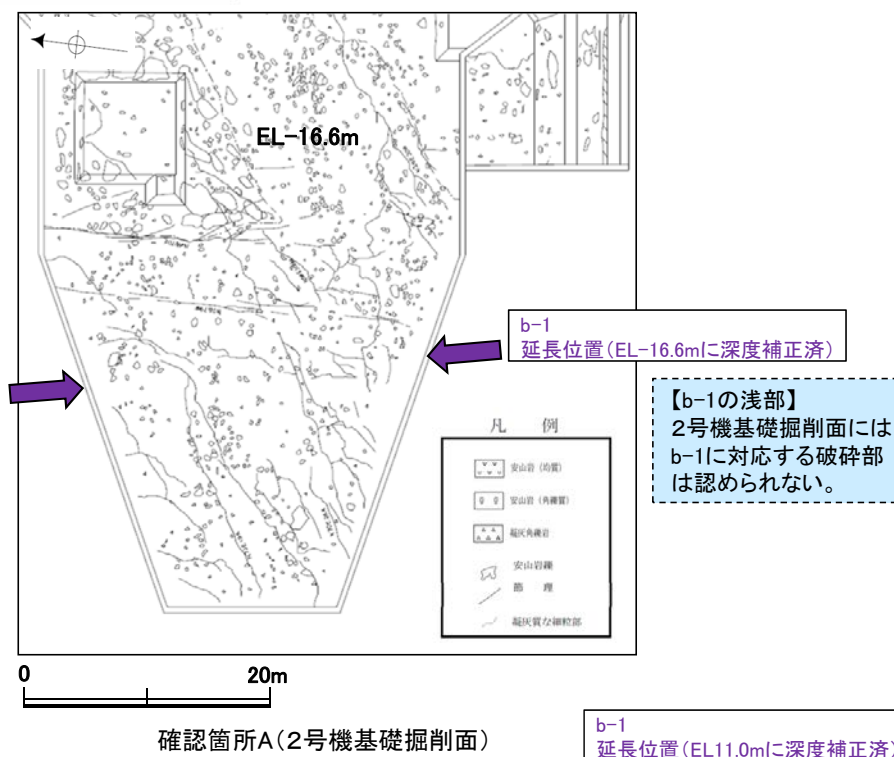
名称	孔名	深度 (m)	破砕部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)	検討結果	
					深部への連続性	浅部への連続性
b-1	R-4.5	55.50	7	N12° W/82° NE	—	・基礎掘削面で認められない。
b-2	R-4.5	137.24	18	N60° W/67° NE	—	・基礎掘削面で認められない。 ・I-5孔で認められない。 ・防潮堤基礎部で認められない。
b-3	R-4.5	144.80	9	N31° E/57° NW	—	・基礎掘削面で認められない。
b-4	2V-2	191.45	4	N21° E/73° SE	・R-9孔で認められない。	・R-8孔, 基礎掘削面で認められない。

• b-1～b-4のいずれの破砕部も、隣接するボーリング孔や露頭で、深部または浅部方向で認められず、連続性がないことを確認。

# b-1の連続性 確認箇所A・B

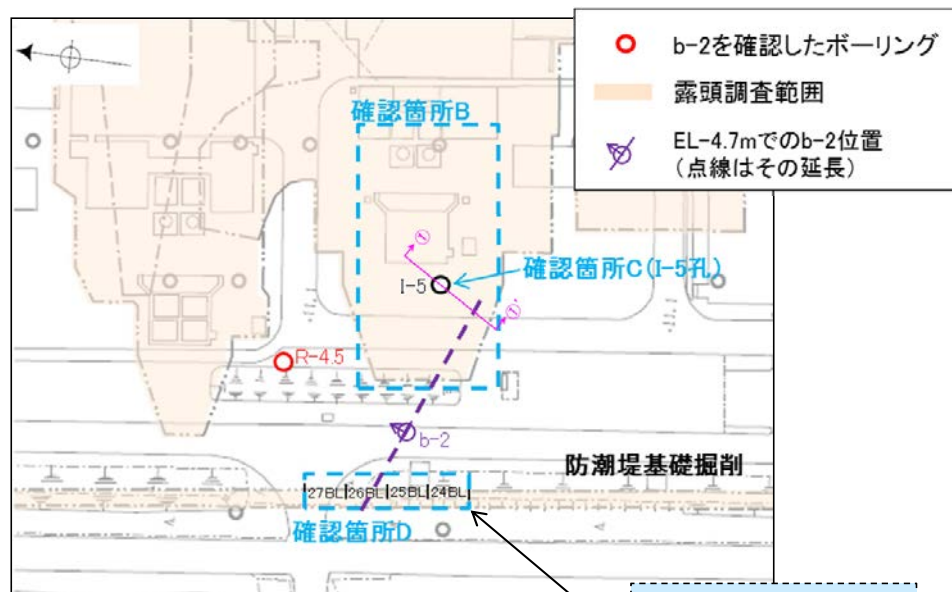
■ボーリング調査のみで確認されたb-1～b-4について、深部及び浅部への連続性及び重要施設設置面との関係を検討。

名称	孔名:深度	標高	破碎部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)
b-1	R-4.5: 55.50m	EL-44.43m	7	N12° W/82° NE



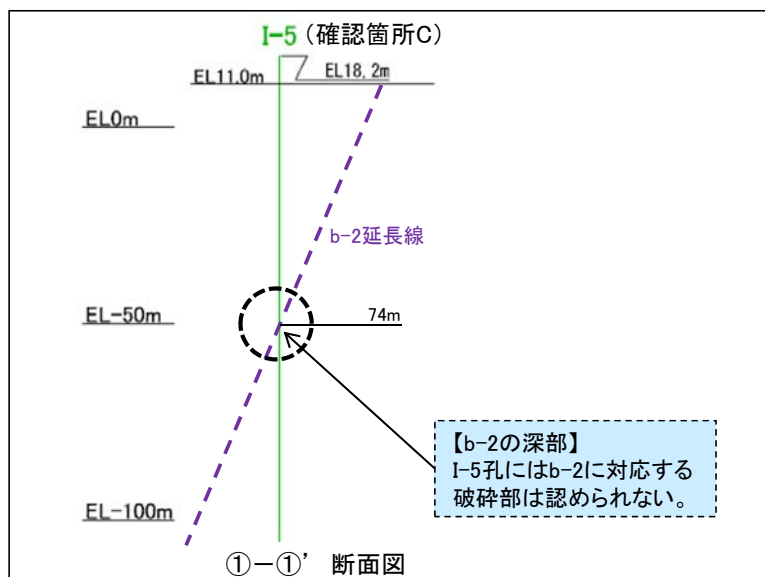
• b-1は、R-4.5孔の深度55.50mのみで認められ、浅部方向の基礎掘削面では認められないことから、浅部方向へ連続しないと判断。

# b-2の連続性 確認箇所B・C・D



調査位置図

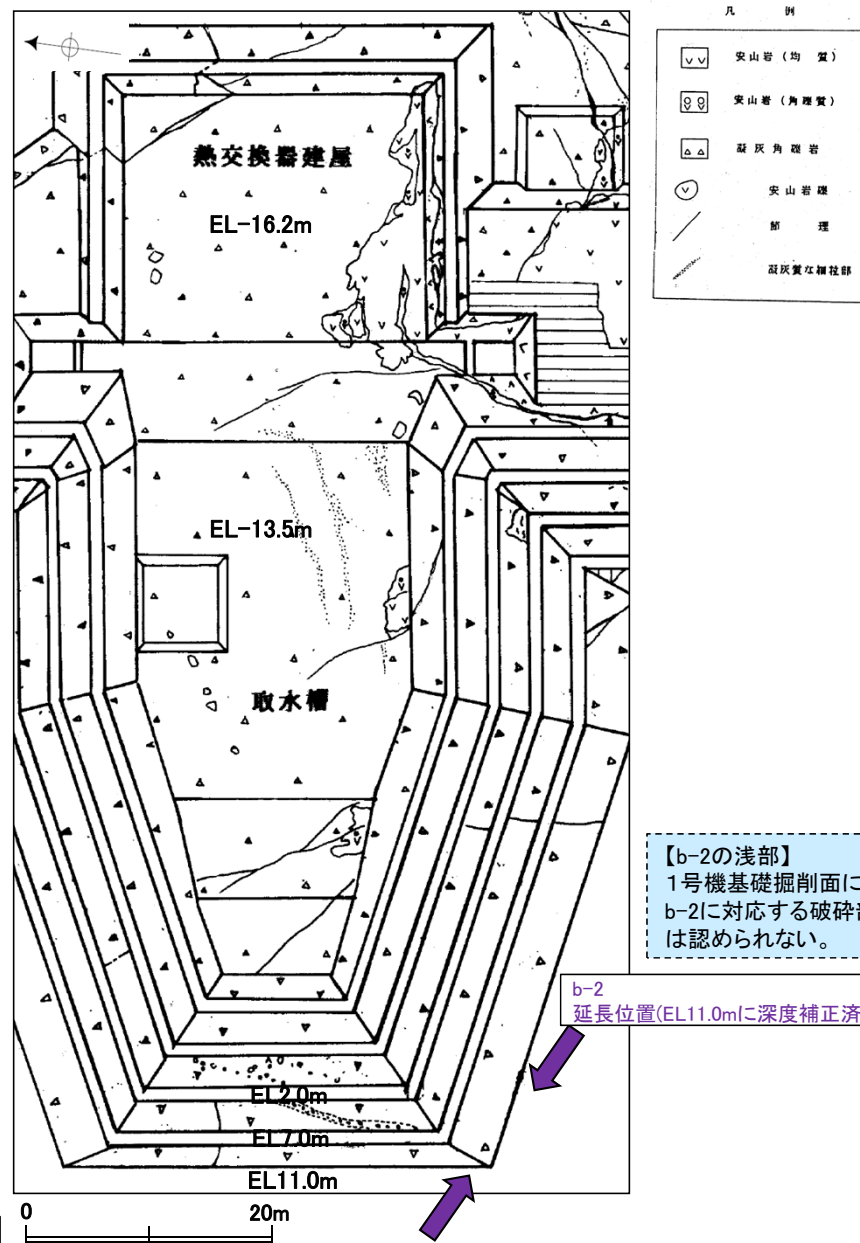
【b-2の浅部】  
防潮堤基礎部にはb-2に対応する破碎部は認められない。



①-①' 断面図

• b-2は、R-4.5孔の深度137.24mのみで認められ、浅部方向の基礎掘削面、ボーリング孔及び防潮堤基礎部では認められないことから、浅部方向へ連続しないと判断。

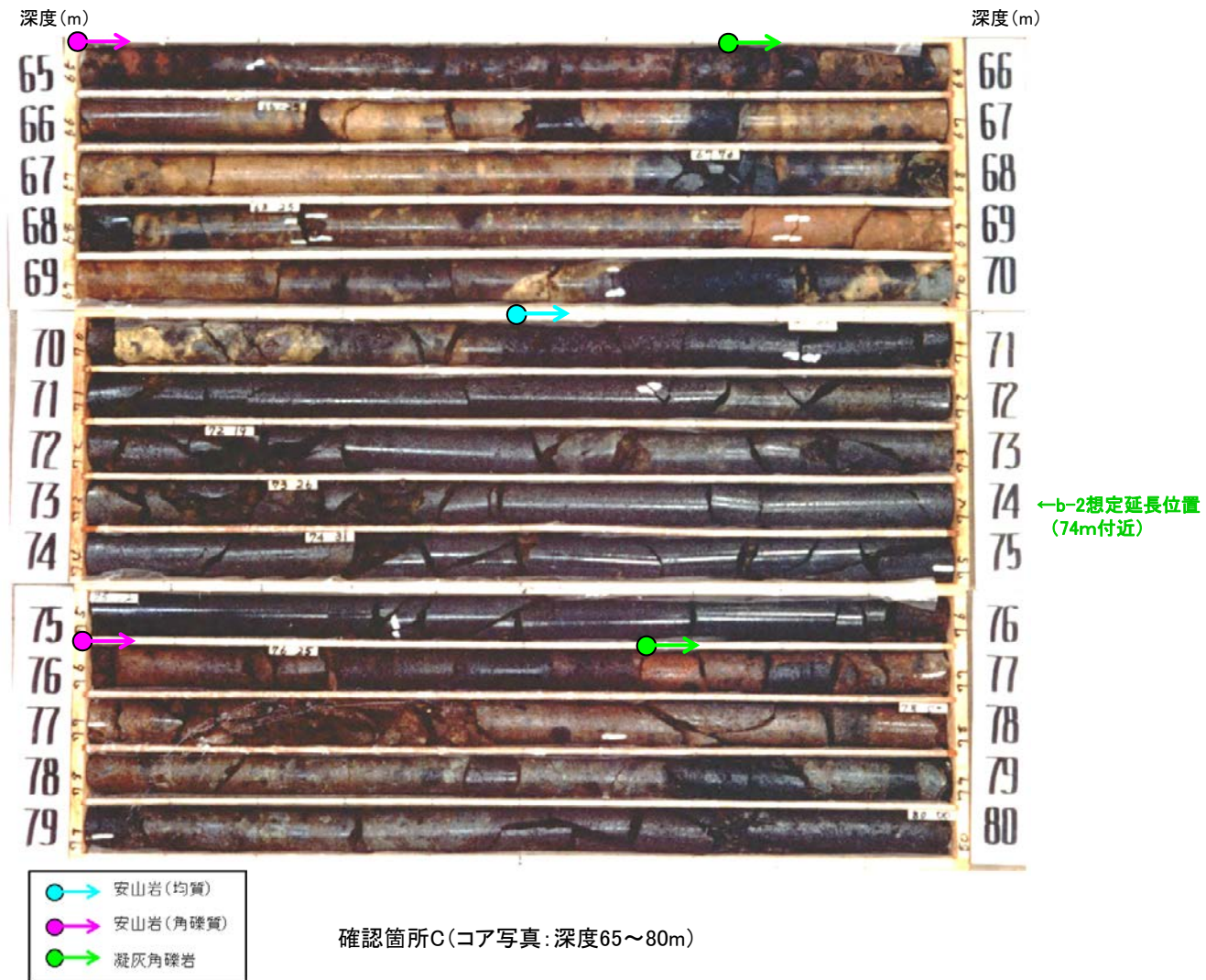
名称	孔名:深度	標高	破碎部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)
b-2	R-4.5:137.24m	EL-126.17m	18	N60° W/67° NE



確認箇所B(1号機基礎掘削面)

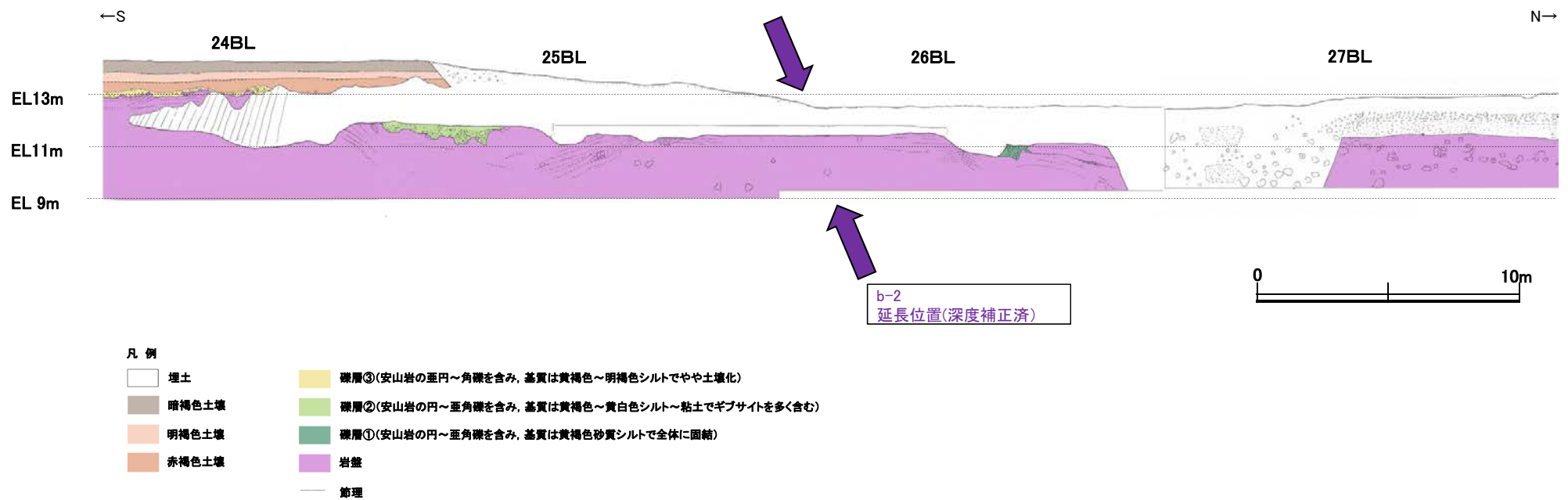
【b-2の浅部】  
1号機基礎掘削面にはb-2に対応する破碎部は認められない。

# b-2の連続性 浅部延長(確認箇所C:I-5孔)



・b-2の浅部延長に位置するI-5孔には、b-2に対応する破碎部は認められない。

# b-2の連続性 浅部延長(確認箇所D:防潮堤基礎部)



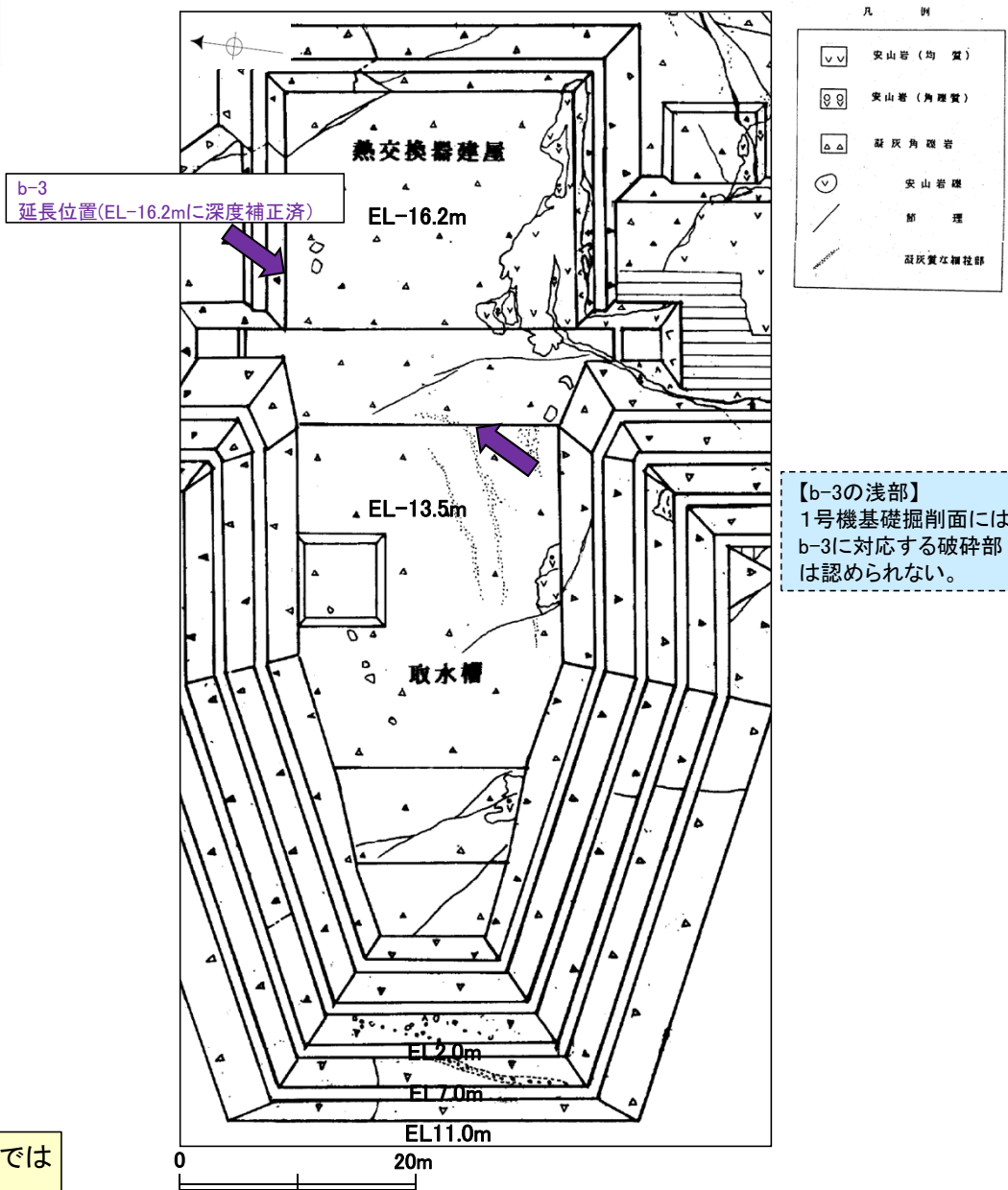
確認箇所D(防潮堤基礎掘削西面)

・b-2の浅部延長に位置する防潮堤基礎部には、b-2に対応する破碎部は認められない。

# b-3の連続性 確認箇所B



名称	孔名:深度	標高	破碎部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)
b-3	R-4.5	EL-133.73m	9	N31° E/57° NW

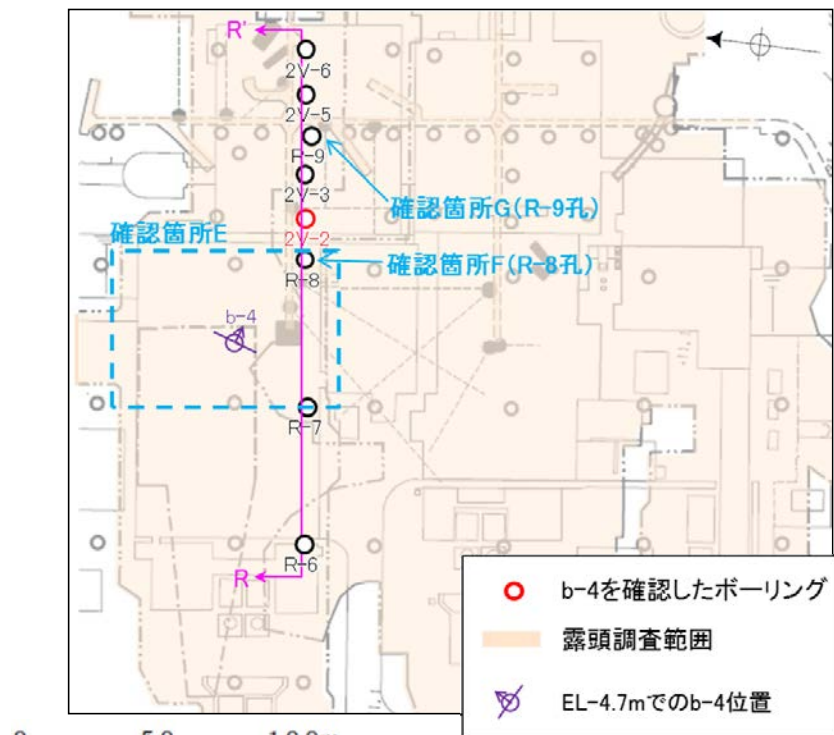


【b-3の浅部】  
1号機基礎掘削面には  
b-3に対応する破碎部  
は認められない。

• b-3は、R-4.5孔の深度144.80mのみで認められ、浅部方向の基礎掘削面では認められないことから、浅部方向へ連続しないと判断。



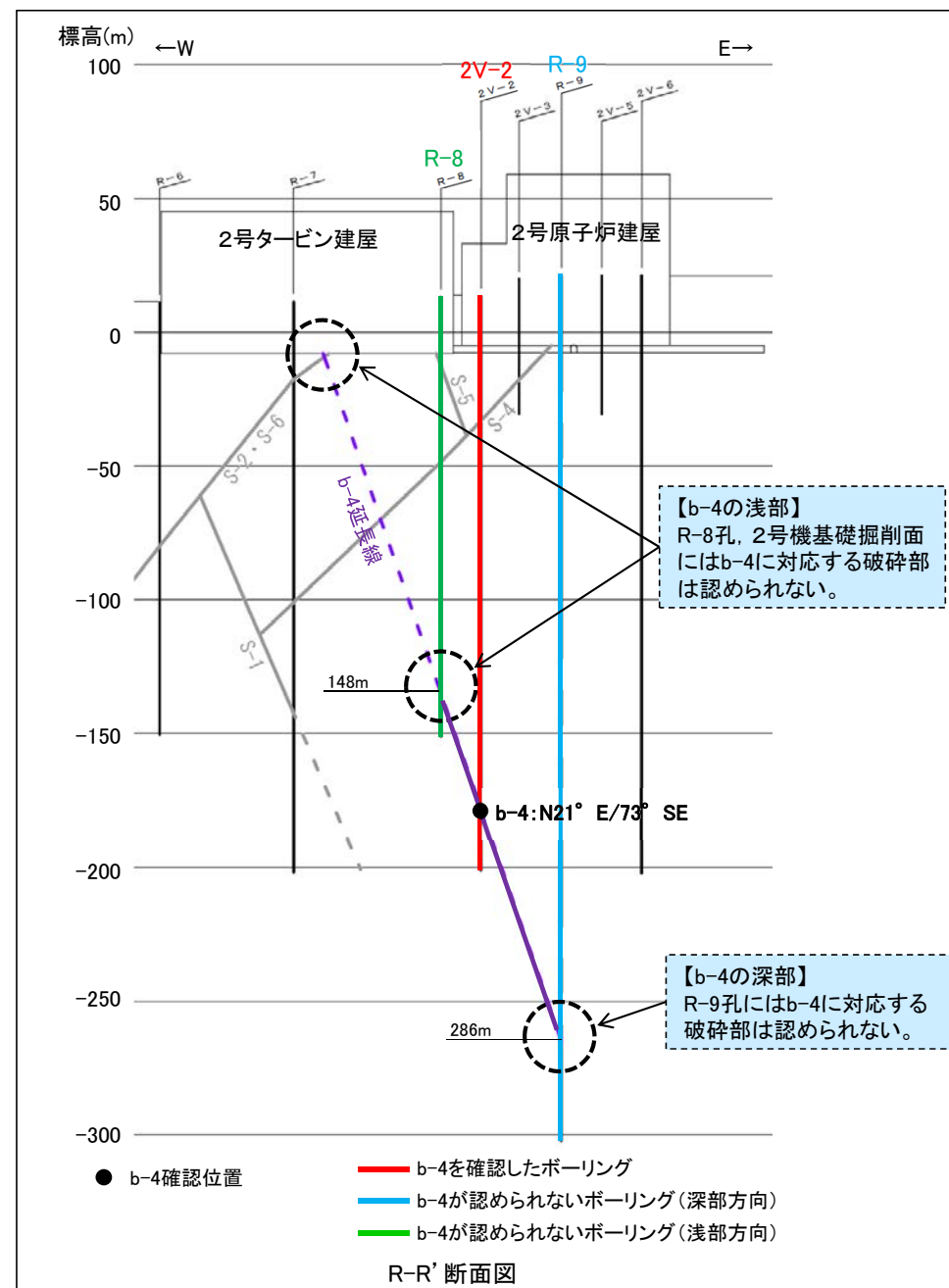
# b-4の連続性 確認箇所E・F・G



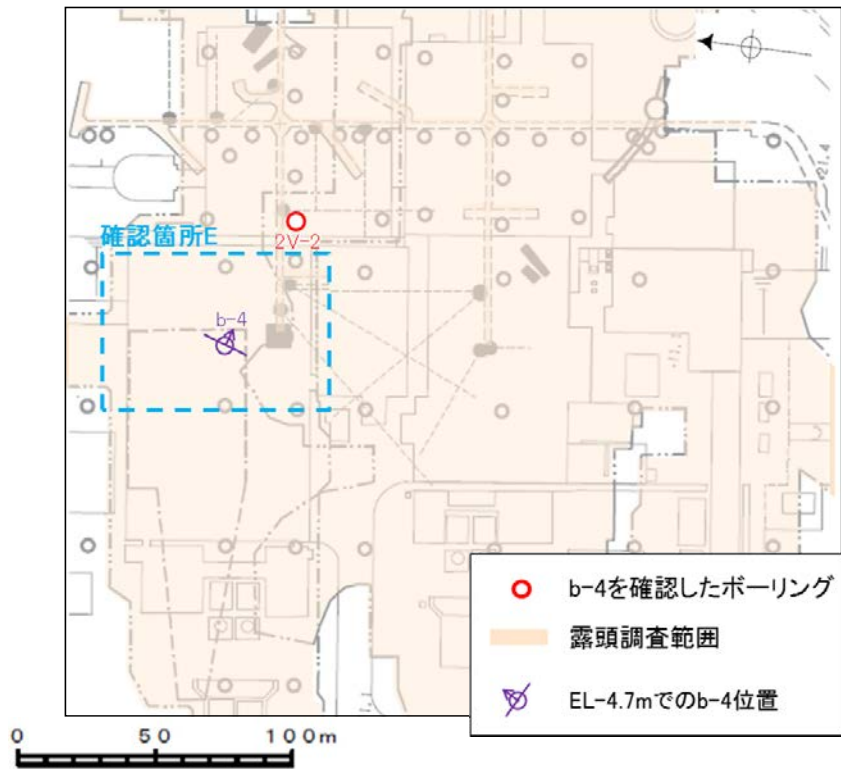
調査位置図

名称	孔名:深度	標高	破砕部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)
b-4	2V-2	EL-178.17m	4	N21° E/73° SE

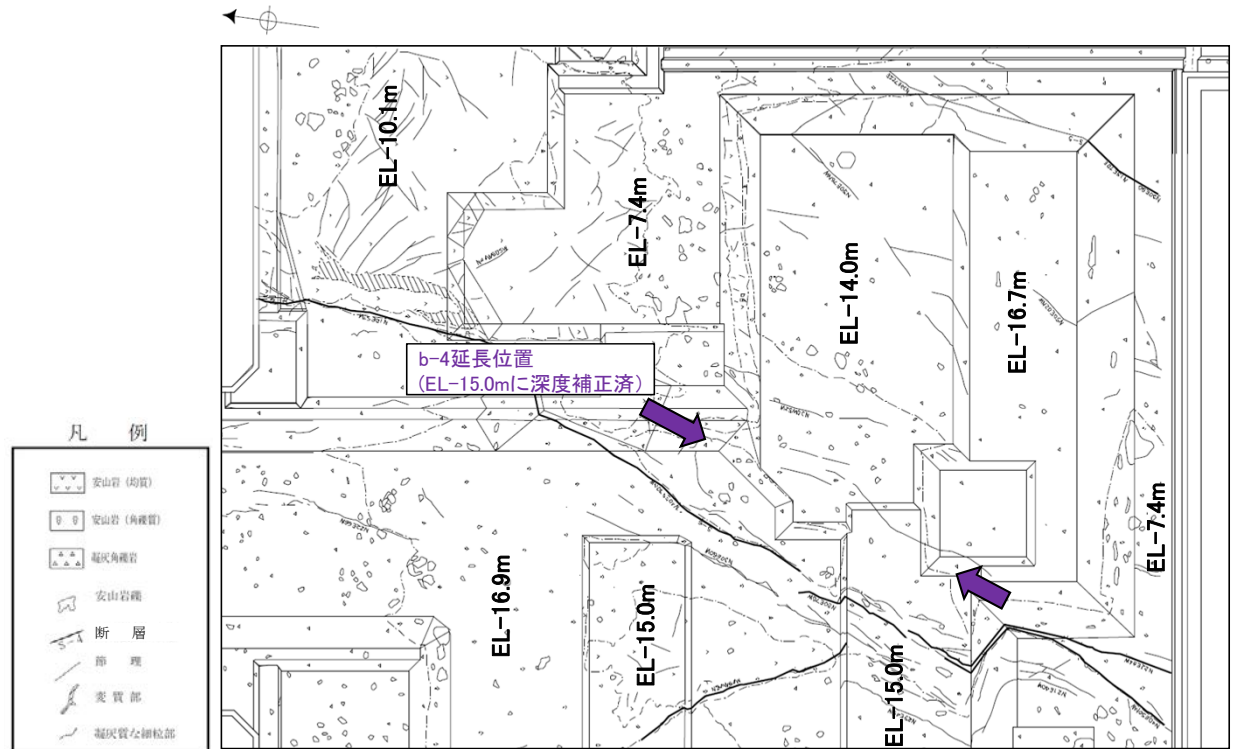
- b-4は、2V-2孔の深度191.45mのみで認められ、深部方向のボーリング孔及び浅部方向のボーリング孔・基礎掘削面では認められないことから、深部及び浅部方向へ連続しないと判断。



# b-4の連続性 浅部延長(確認箇所E:2号機基礎掘削面)



調査位置図



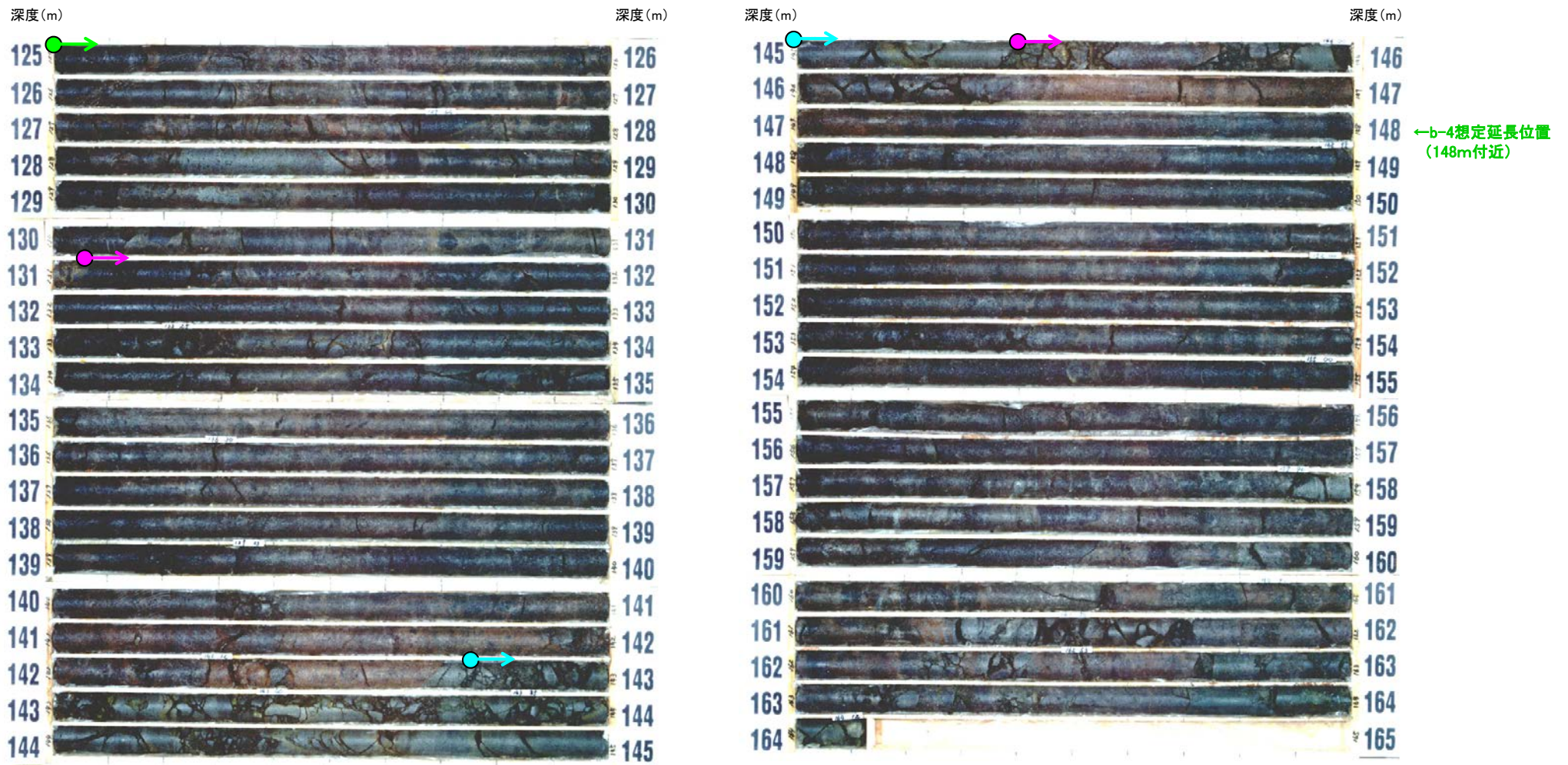
0 20m

確認箇所E(2号機基礎掘削面)

【b-4の浅部】  
2号機基礎掘削面には  
b-4に対応する破砕部  
は認められない。

・b-4の浅部延長に位置する2号機基礎掘削面には、b-4に対応する破砕部は認められない。

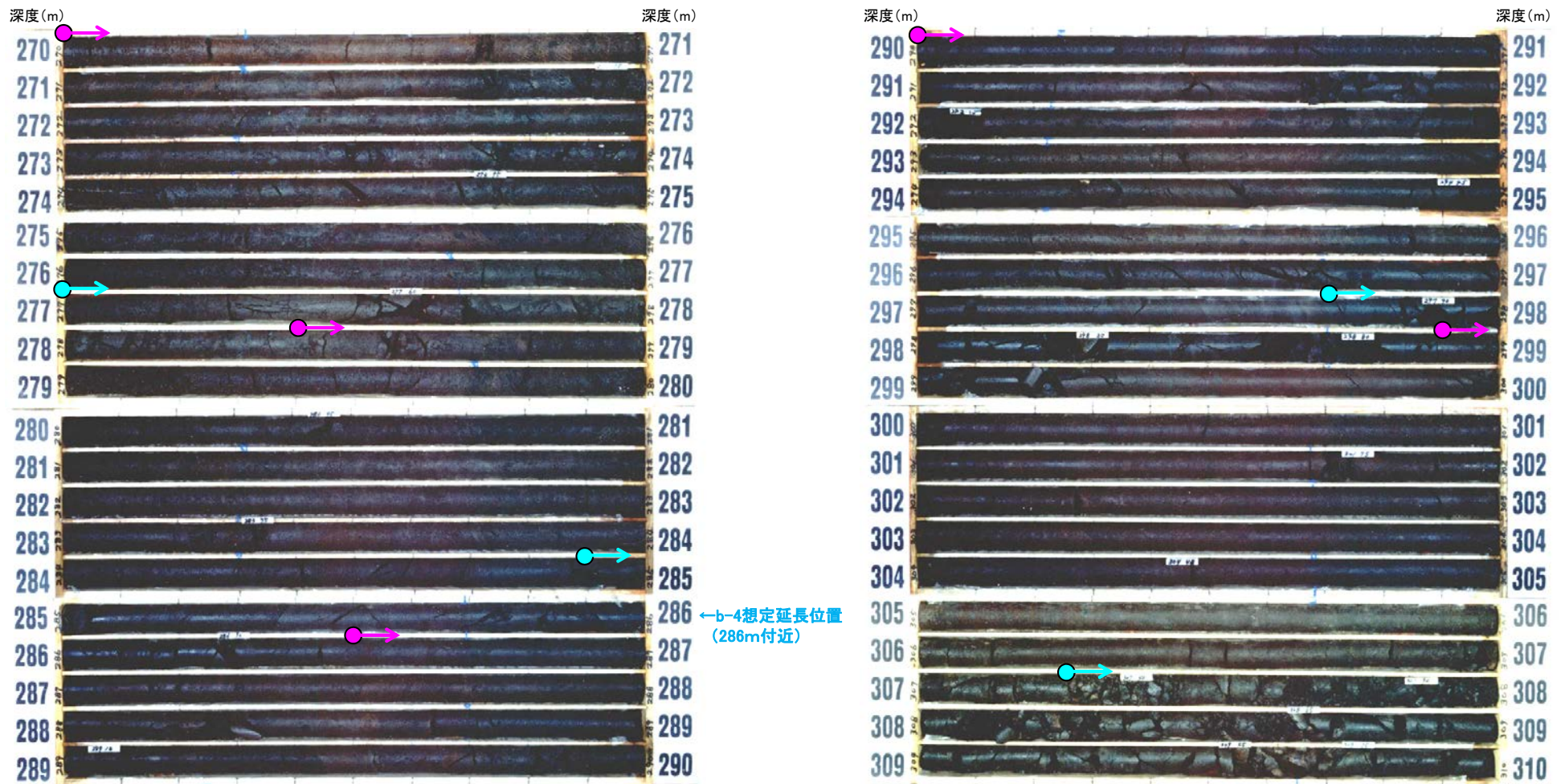
# b-4の連続性 浅部延長(確認箇所F:R-8孔)



- → 安山岩(均質)
- → 安山岩(角礫質)
- → 凝灰角礫岩

・b-4の浅部延長に位置するR-8孔には, b-4に対応する破碎部は認められない。

# b-4の連続性 深部延長(確認箇所G:R-9孔)



- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

・b-4の深部延長に位置するR-9孔には、b-4に対応する破砕部は認められない。

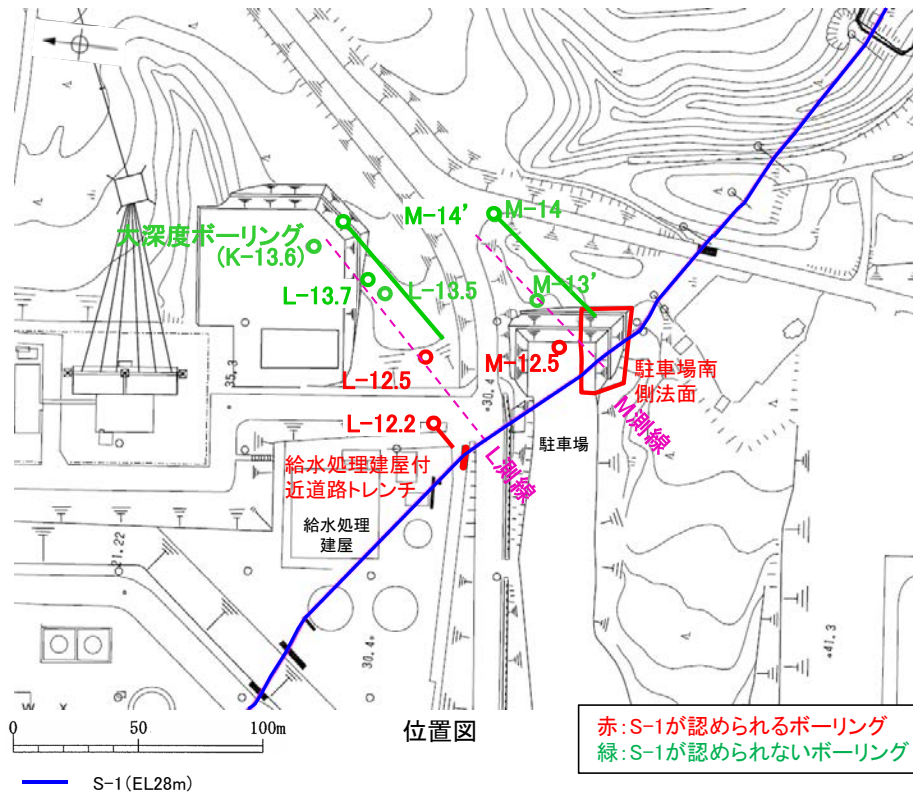
---

## データ集3-2

b-5～b-13の連続性

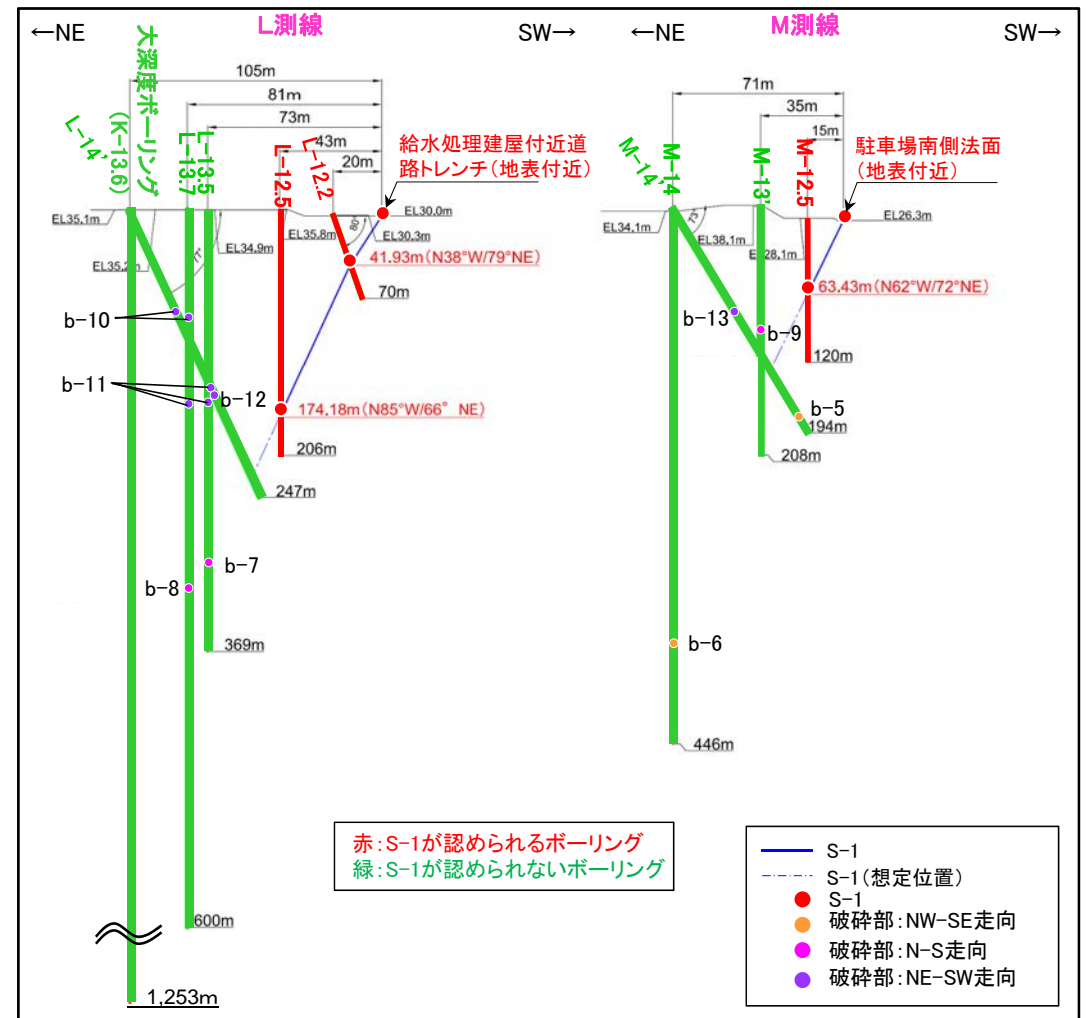
# b-5～b-13の分布

■重要施設設南東方で実施した、S-1の連続性追跡ボーリングで確認したS-1以外の幅3cm以上の破砕部(b-5～b-13)の分布を示す。



S-1の連続性追跡ボーリングで確認したS-1以外の幅3cm以上の破砕部

名称	孔名:深度	標高	走向/傾斜(走向は真北)
b-5	M-14':181.96m	EL-139.90m	N52° W/86° NE
b-6	M-14':361.69m	EL-327.59m	N51° W/68° NE
b-7	L-13.5:293.88m	EL-258.98m	N2° W/85° NE
b-8	L-13.7:314.62m	EL-279.42m	N20° W/65° NE
b-9	M-13':105.82m	EL-67.90m	N14° E/58° NW
b-10	L-13.7:93.15m	EL-57.94m	N59° E/59° NW
	L-14':86.71m	EL-49.23m	N53° E/67° NW
b-11	L-13.5:159.03m	EL-124.13m	N59° E/70° NW
	L-13.7:161.27m	EL-126.12m	N41° E/66° NW
	L-14':152.45m	EL-113.36m	N63° E/59° NW
b-12	L-14':158.21m	EL-119.00m	N44° E/49° NW
b-13	M-14':88.59m	EL-50.41m	N40° E/74° NW



投影断面図(H:V=2:1)

- S-1深部確認ボーリングで認められる12箇所の破砕部は、NW-SE走向、N-S走向、NE-SW走向に分類され、隣接孔との連続性を検討した結果、b-5～b-13の9条にまとめられる。
- これらの破砕部は、走向の違い及び浅部からの連続性の観点から、S-1と対応するものではない。

# b-5～b-13の連続性検討

■ S-1の連続性追跡ボーリングで確認された破砕部(b-5～b-13)についての連続性の検討結果を以下に示す。検討にあたっては、隣接孔等による深部及び浅部への連続性について確認した。

名称	孔名	深度 (m)	破砕部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)	検討結果	
					深部への連続性	浅部への連続性
b-5	M-14' (傾斜73°)	181.96	14	N52°W/86°NE	—	・駐車場南側法面で認められない。 (S-1に切られていると判断)
b-6	M-14	361.69	18	N51°W/68°NE	・L-13.7孔, K-13.6孔で認められない。	—
b-7	L-13.5	293.88	4	N2°W/85°NE	・L-13.7孔, K-13.6孔で認められない。	・L-14' 孔で認められない。
b-8	L-13.7	314.62	9	N20°W/65°NE	・M-14孔, K-13.6孔で認められない。	・L-13.5孔で認められない。
b-9	M-13'	105.82	4	N14°E/58°NW	・L-12.5孔, L-13.7孔, L-14' 孔, K-13.6孔で認められない。	・M-14孔, M-14' 孔で認められない。
b-10	L-13.7	93.15	9	N59°E/59°NW	・K-13.6孔で認められない。	・M-13' 孔で認められない。
	L-14' (傾斜77°)	86.71	16	N53°E/67°NW		
b-11	L-13.5	159.03	4	N59°E/70°NW	・K-13.6孔で認められない。	・M-12.5孔, M-13' 孔, M-14孔で認められない。
	L-13.7	161.27	15	N41°E/66°NW		
	L-14' (傾斜77°)	152.45	6	N63°E/59°NW		
b-12	L-14' (傾斜77°)	158.21	11	N44°E/49°NW	・L-12.5孔, K-13.6孔で認められない。	・M-12.5孔, M-13' 孔, M-14孔で認められない。
b-13	M-14' (傾斜73°)	88.59	16	N40°E/74°NW	・M-13' 孔, L-13.7孔, K-13.6孔で認められない。	・N-13.5' 孔で認められない。

・ b-5～b-13のいずれの破砕部も、隣接するボーリング孔や露頭で、深部または浅部方向で認められず、連続性がないことを確認。

# b-5～b-13の連続性検討 b-5の連続性

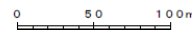
■ボーリング調査のみで確認されたb-5～b-13について、深部及び浅部への連続性及び重要施設設置面との関係を検討。

名称	孔名:深度	標高	破碎部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)
b-5	M-14': 181.96m	EL-139.90m	14	N52° W/86° NE



枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図



露頭調査範囲

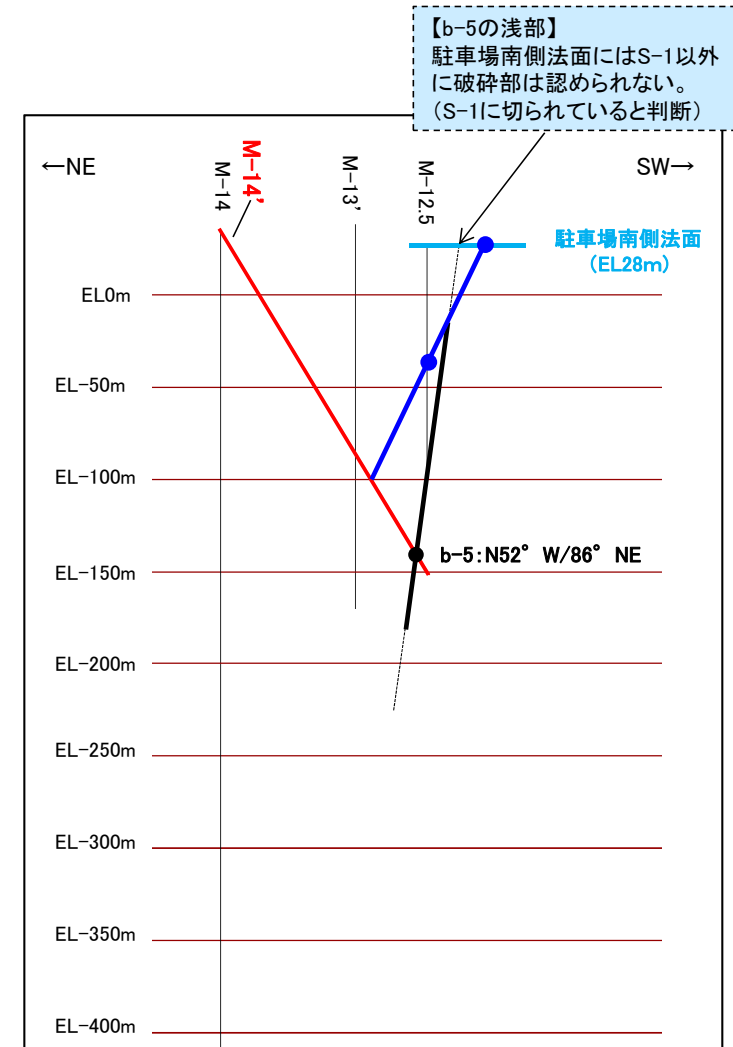
断層(敷地内 EL-4.7m)

b-5確認位置

↑↑ 投影測線

○ b-5を確認したボーリング

□ b-5が認められない露頭



【b-5の浅部】  
駐車場南側法面にはS-1以外に破碎部は認められない。  
(S-1に切られていると判断)

投影断面図(H:V=2:1)

● S-1確認位置

● b-5確認位置

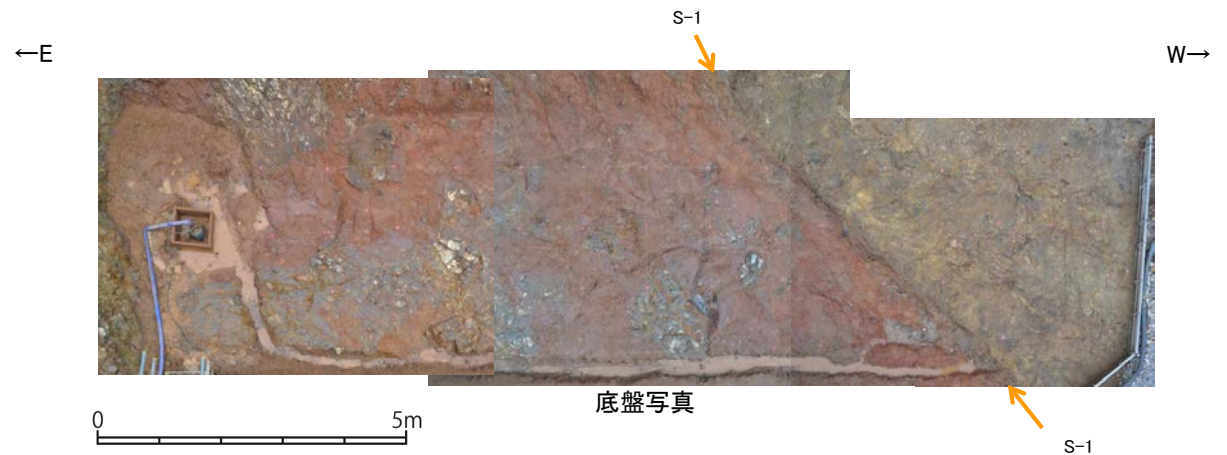
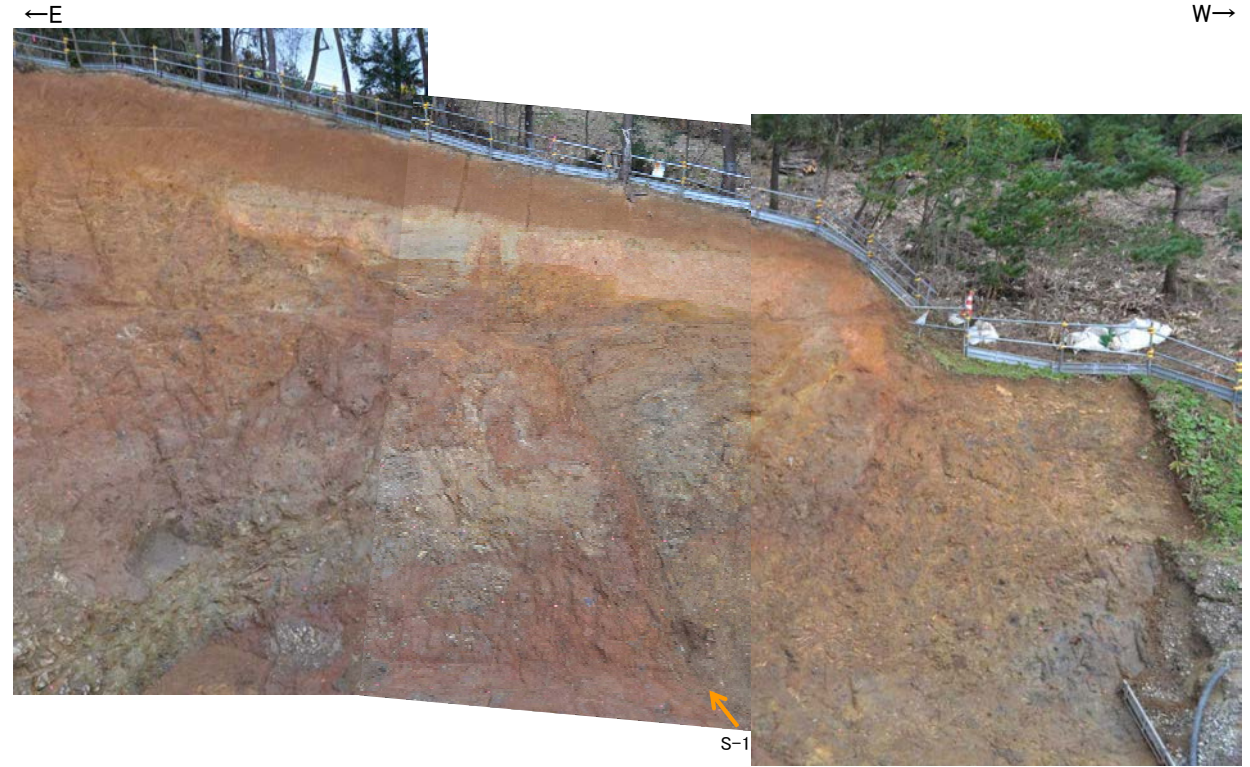
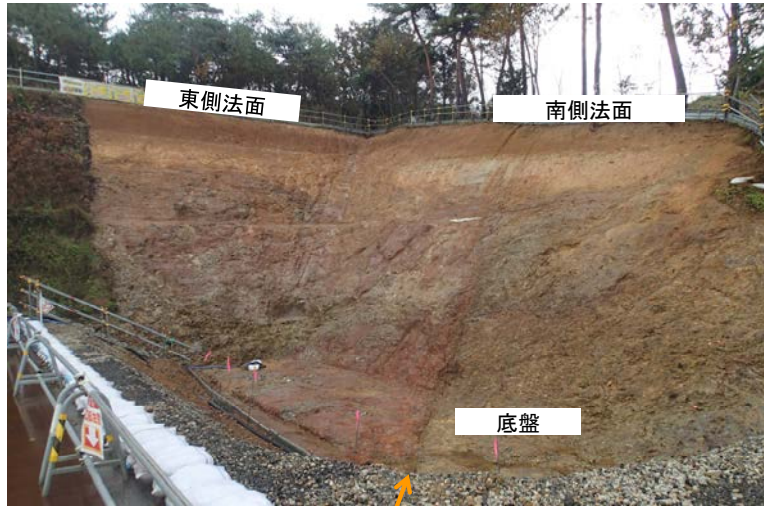
— b-5を確認したボーリング

— b-5が認められない露頭

• b-5は、M-14' 孔の深度181.96mのみで認められ、浅部方向の駐車場南側法面では認められないことから、浅部方向へ連続せず、S-1に切られていると判断。



# b-5～b-13の連続性検討 b-5の連続性：浅部延長（駐車場南側法面）



・駐車場南側法面にS-1以外に破碎部は認められない。

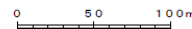
# b-5～b-13の連続性検討 b-6の連続性

名称	孔名:深度	標高	破砕部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)
b-6	M-14:361.69m	EL-327.59m	18	N51° W/68° NE



枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図



露頭調査範囲

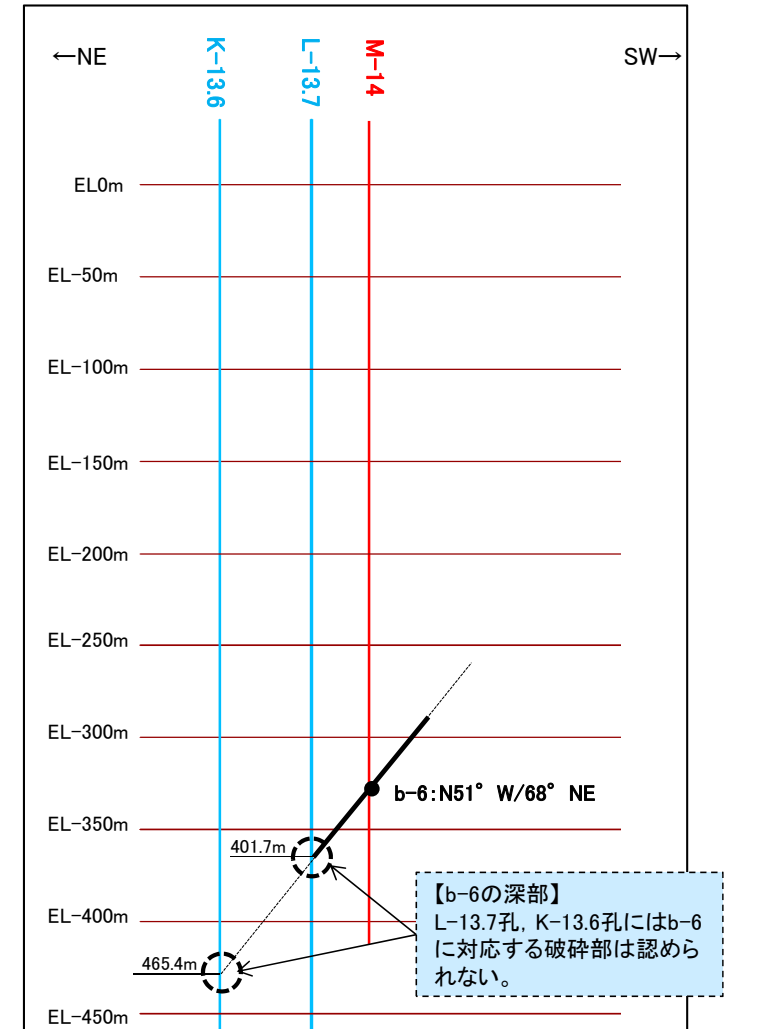
断層(敷地内 EL-4.7m)

b-6確認位置

↑ 投影測線

○ b-6を確認したボーリング

○ b-6が認められないボーリング(深部方向)



投影断面図(H:V=2:1)

● b-6確認位置

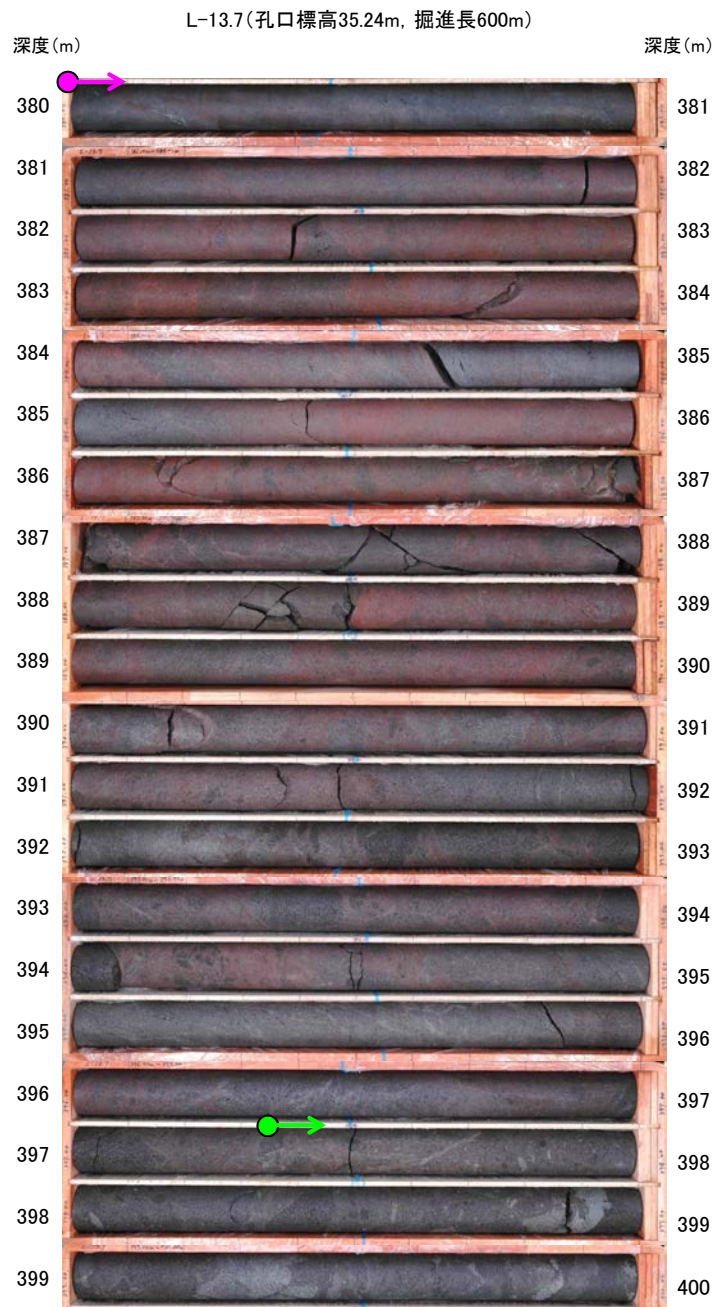
— b-6を確認したボーリング

— b-6が認められないボーリング(深部方向)

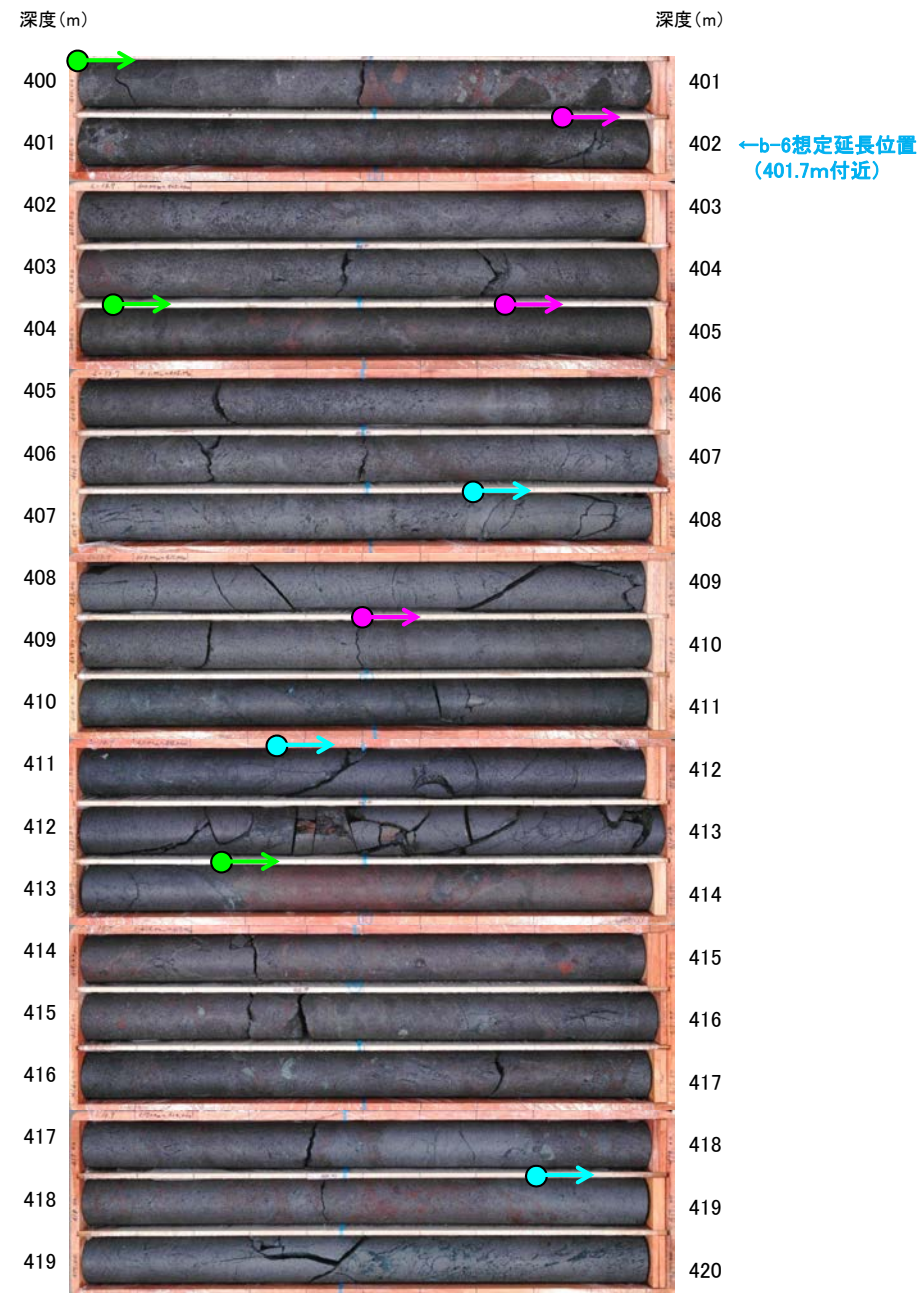
【b-6の深部】  
L-13.7孔, K-13.6孔にはb-6  
に対応する破砕部は認めら  
れない。

• b-6は、M-14孔の深度361.69mのみで認められ、深部方向のボーリング孔では認められないことから、深部方向へ連続しないと判断。

# b-5～b-13の連続性検討 b-6の連続性:深部延長①(L-13.7孔)



コア写真(深度380～400m)



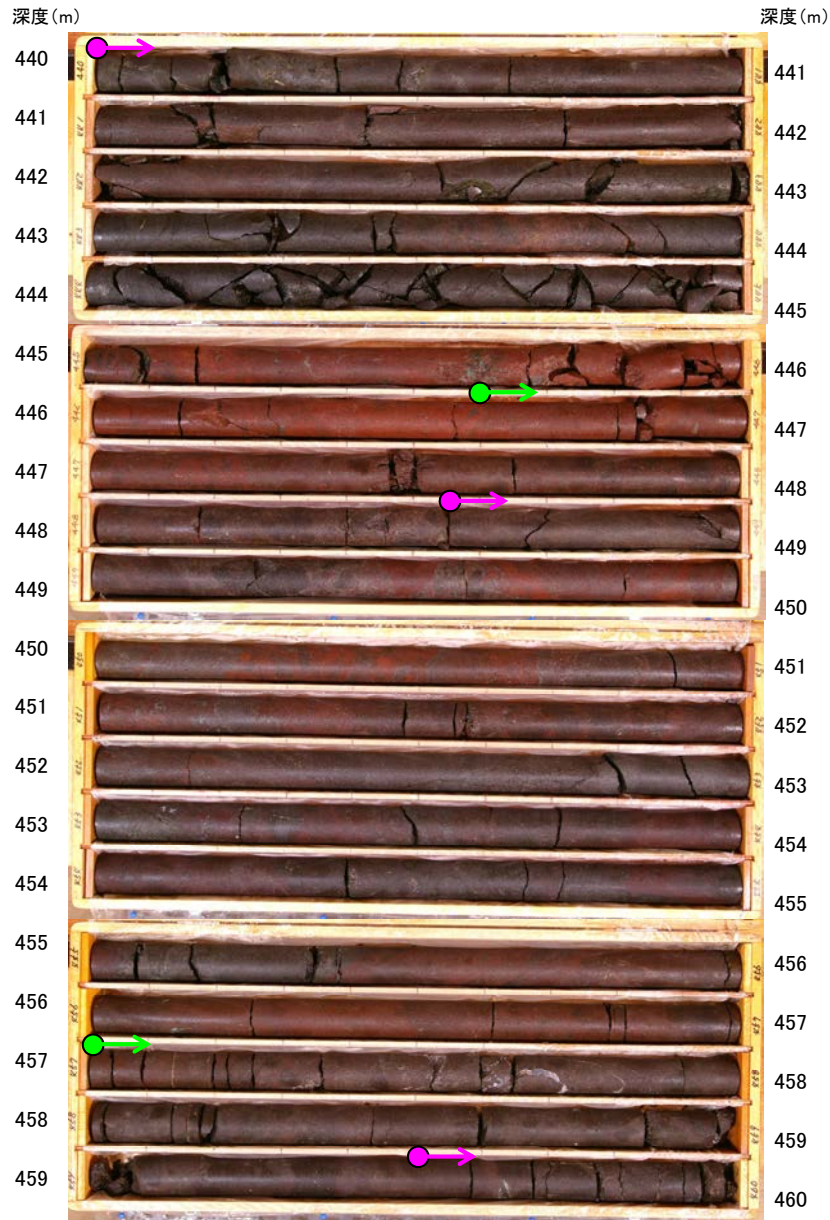
コア写真(深度400～420m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

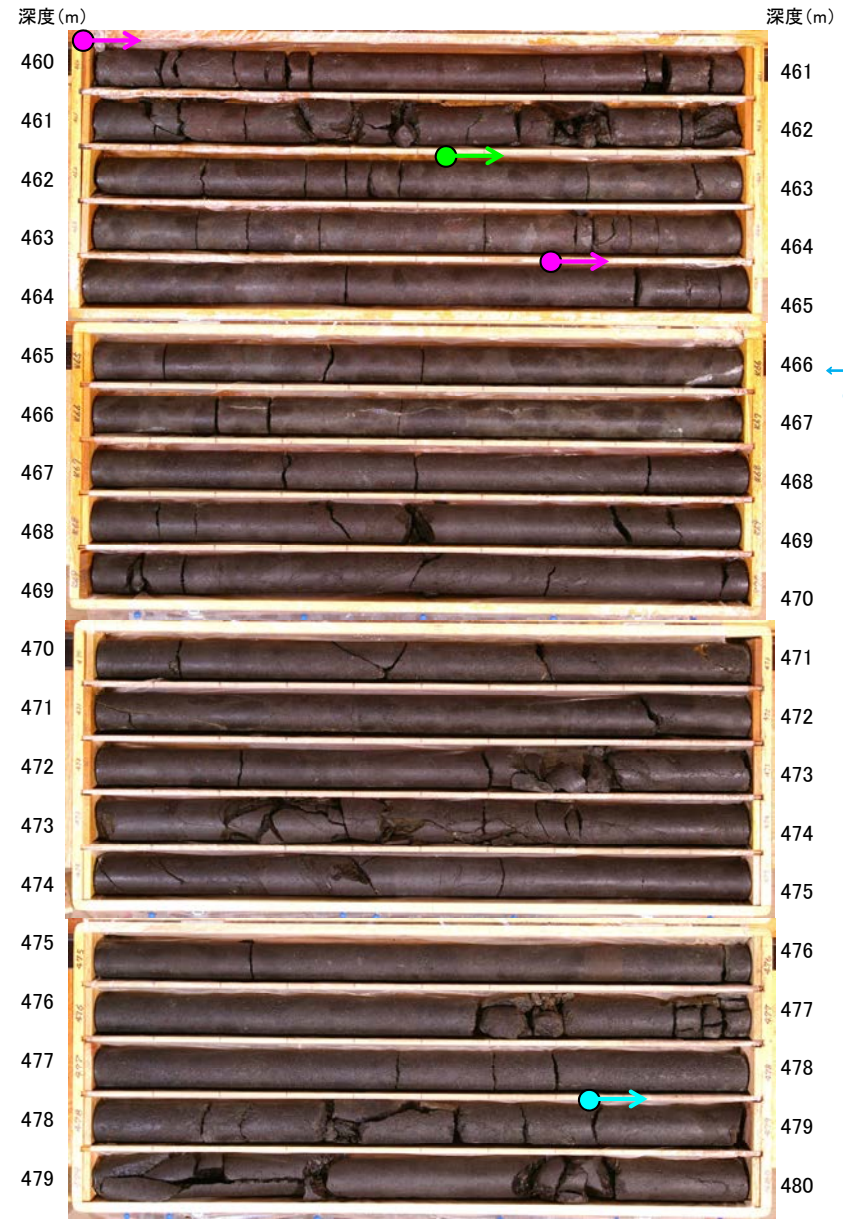
・b-6の深部延長に位置するL-13.7孔には、b-6に対応する破碎部は認められない。

# b-5～b-13の連続性検討 b-6の連続性:深部延長②(K-13.6孔)

K-13.6(孔口標高35.22m, 掘進長1.253m)



コア写真(深度440～460m)



←b-6想定延長位置  
(465.4m付近)

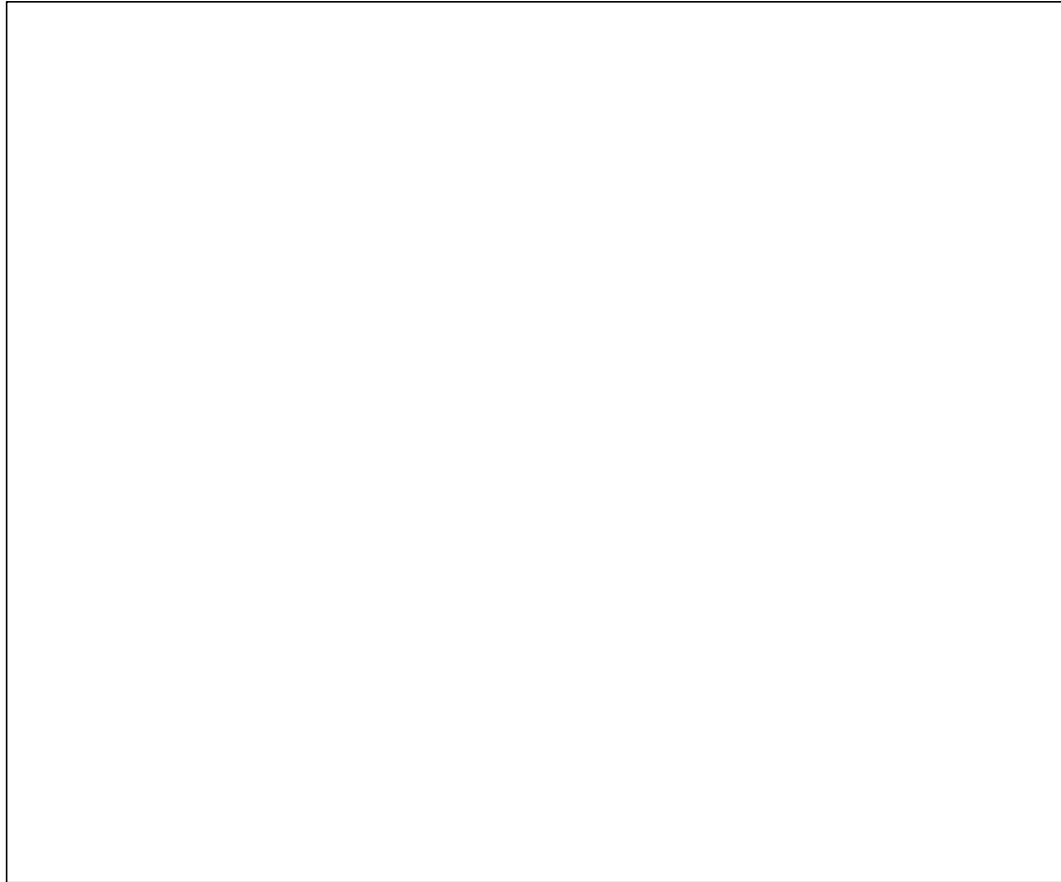
コア写真(深度460～480m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

・b-6の深部延長に位置するK-13.6孔には、b-6に対応する破碎部は認められない。

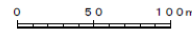
# b-5~b-13の連続性検討 b-7の連続性

名称	孔名:深度	標高	破砕部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)
b-7	L-13.5: 293.88m	EL-258.98m	4	N2° W/85° NE



枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図



露頭調査範囲

断層(敷地内 EL-4.7m)

b-7確認位置

↑ 投影測線

● b-7を確認したボーリング

○ b-7が認められないボーリング(深部方向)

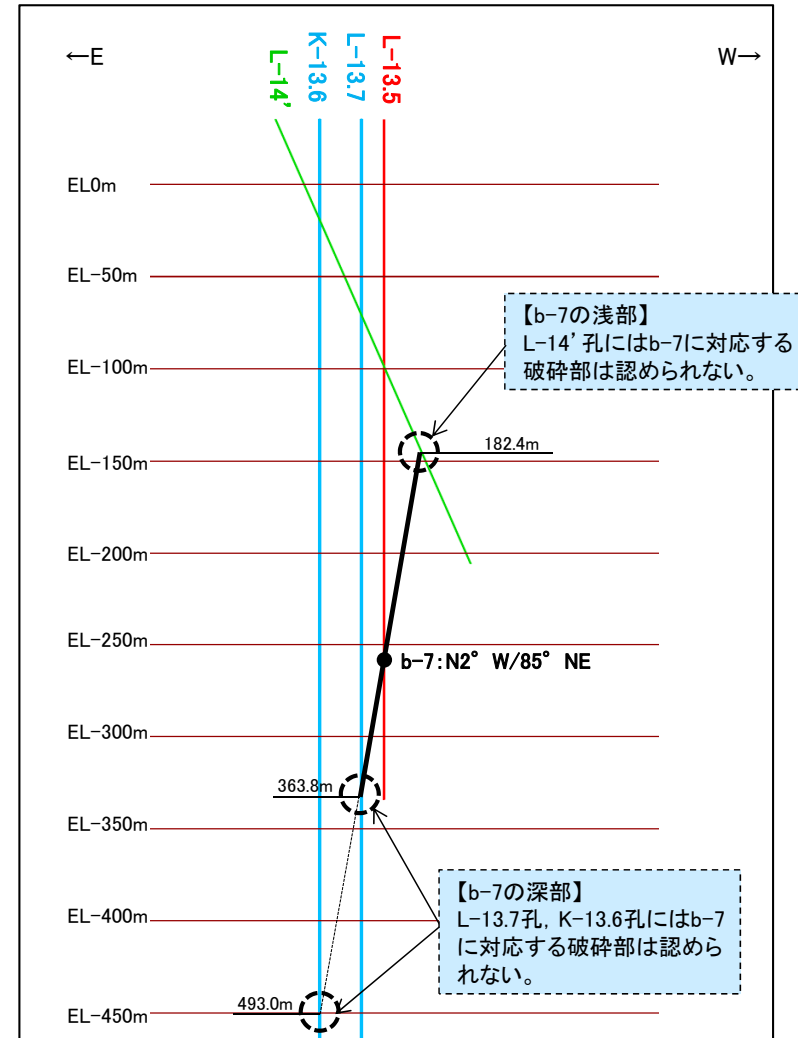
○ b-7が認められないボーリング(浅部方向)

● b-7確認位置

— b-7を確認したボーリング

— b-7が認められないボーリング(深部方向)

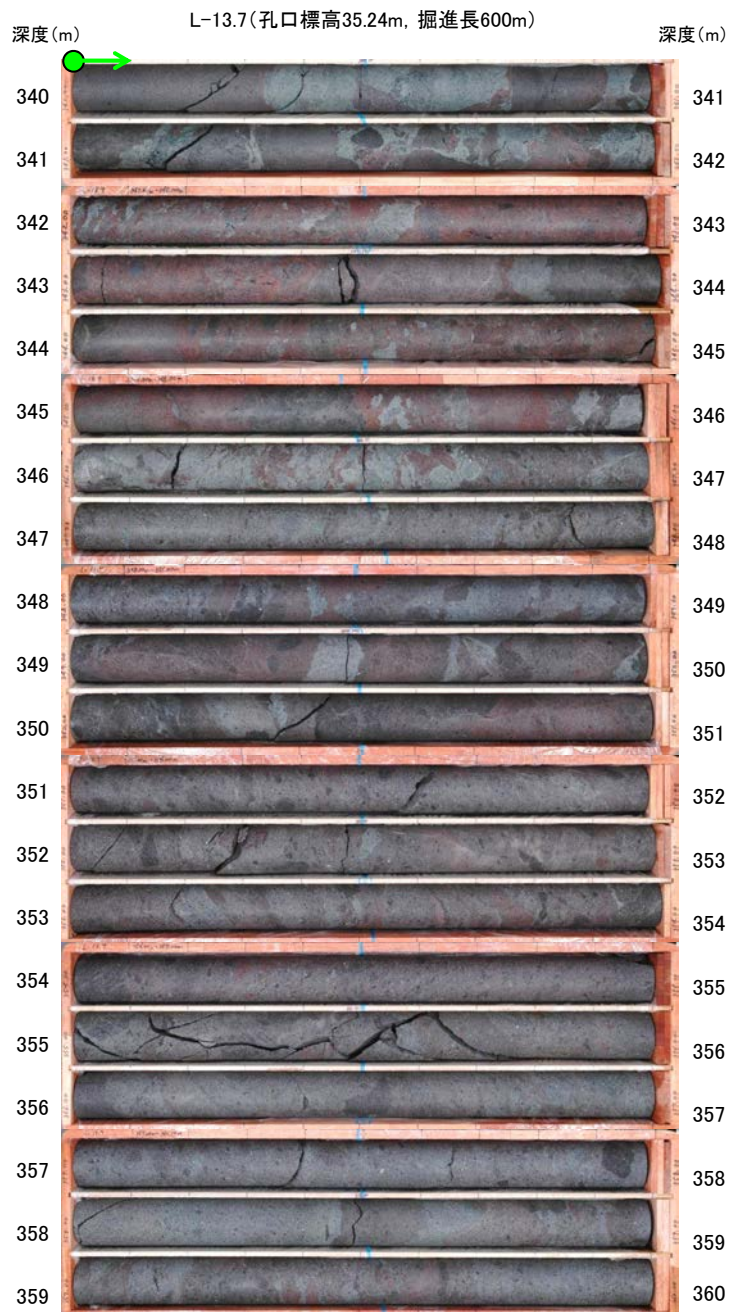
— b-7が認められないボーリング(浅部方向)



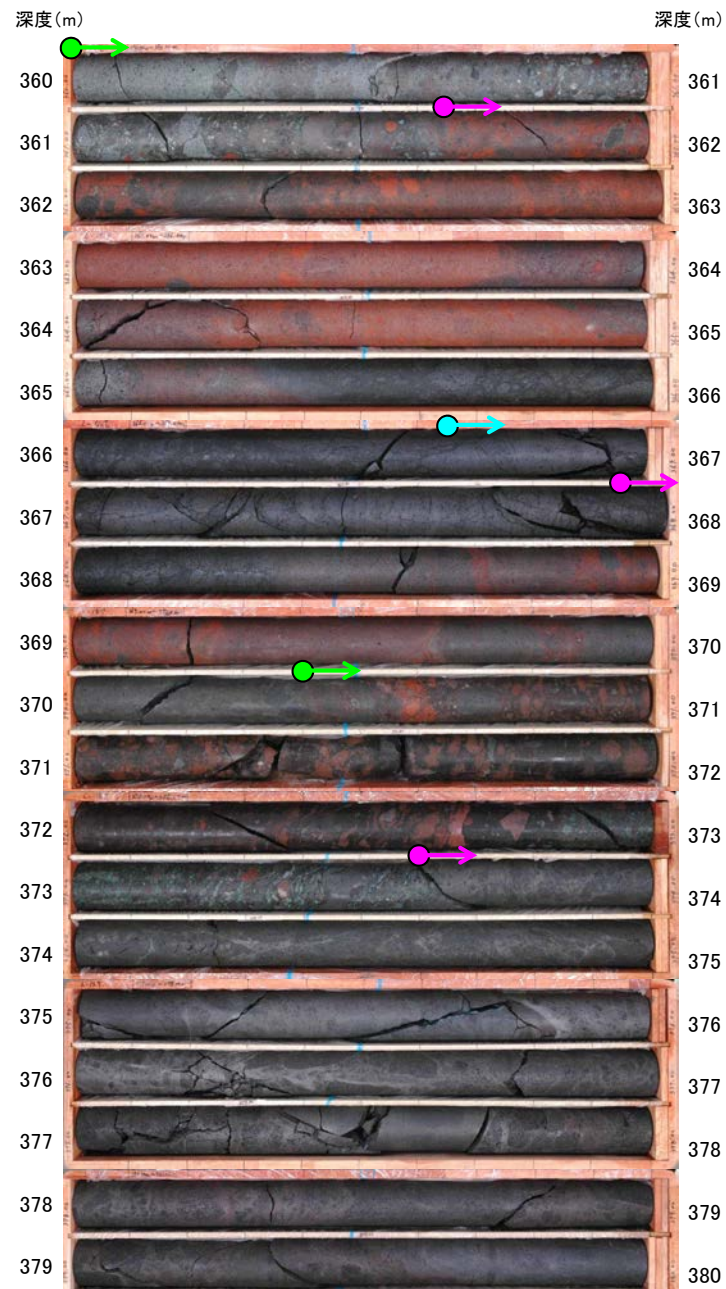
投影断面図(H:V=2:1)

- b-7は、L-13.5孔の深度293.88mのみで認められ、深部及び浅部方向のボーリング孔では認められないことから、深部及び浅部方向へ連続しないと判断。

# b-5～b-13の連続性検討 b-7の連続性:深部延長①(L-13.7孔)



コア写真(深度340～360m)



←b-7想定延長位置  
(363.8m付近)

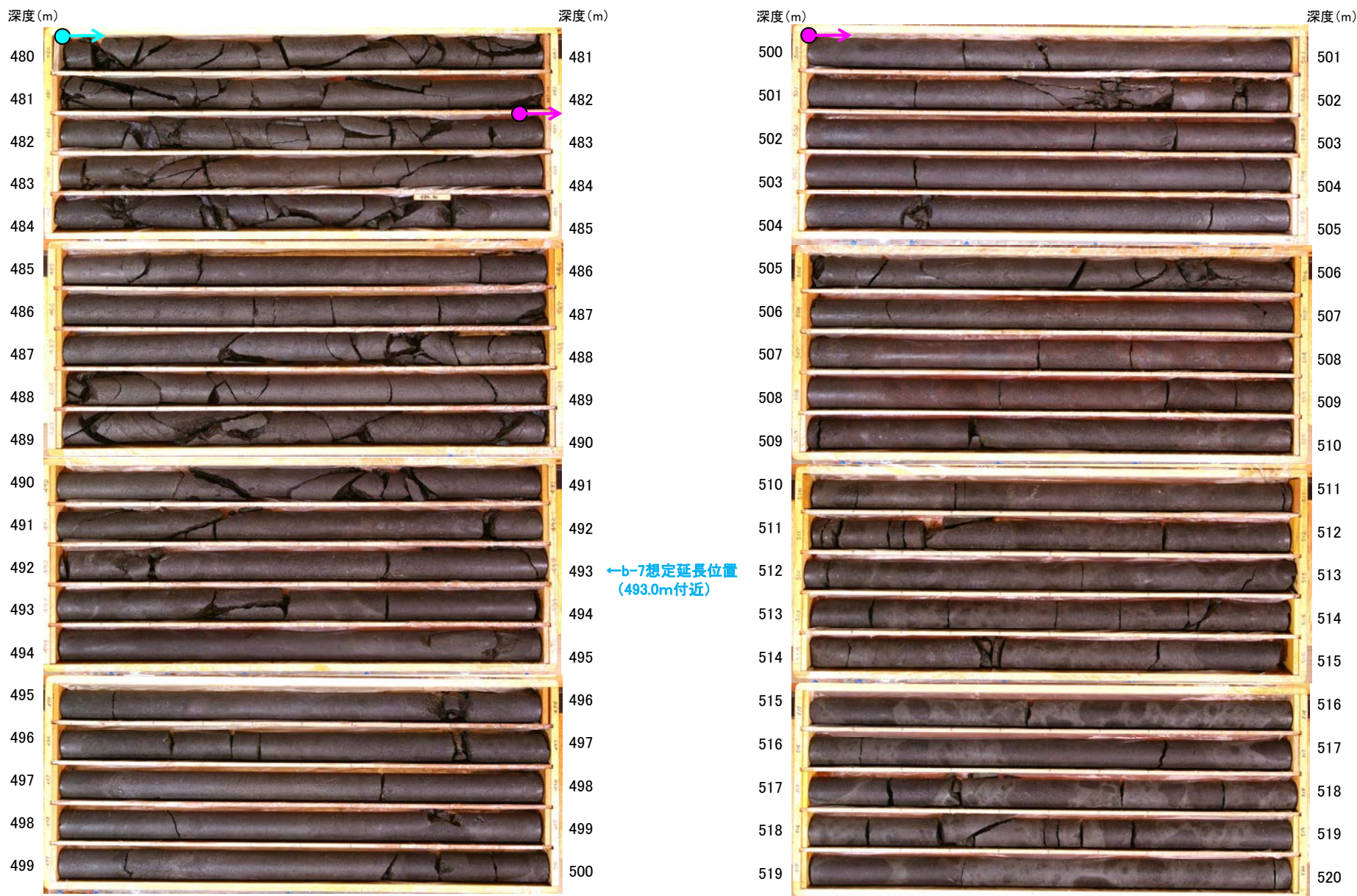
コア写真(深度360～380m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

・b-7の深部延長に位置するL-13.7孔には、b-7に対応する破砕部は認められない。

# b-5~b-13の連続性検討 b-7の連続性:深部延長②(K-13.6孔)

K-13.6(孔口標高35.22m, 掘進長1,253m)



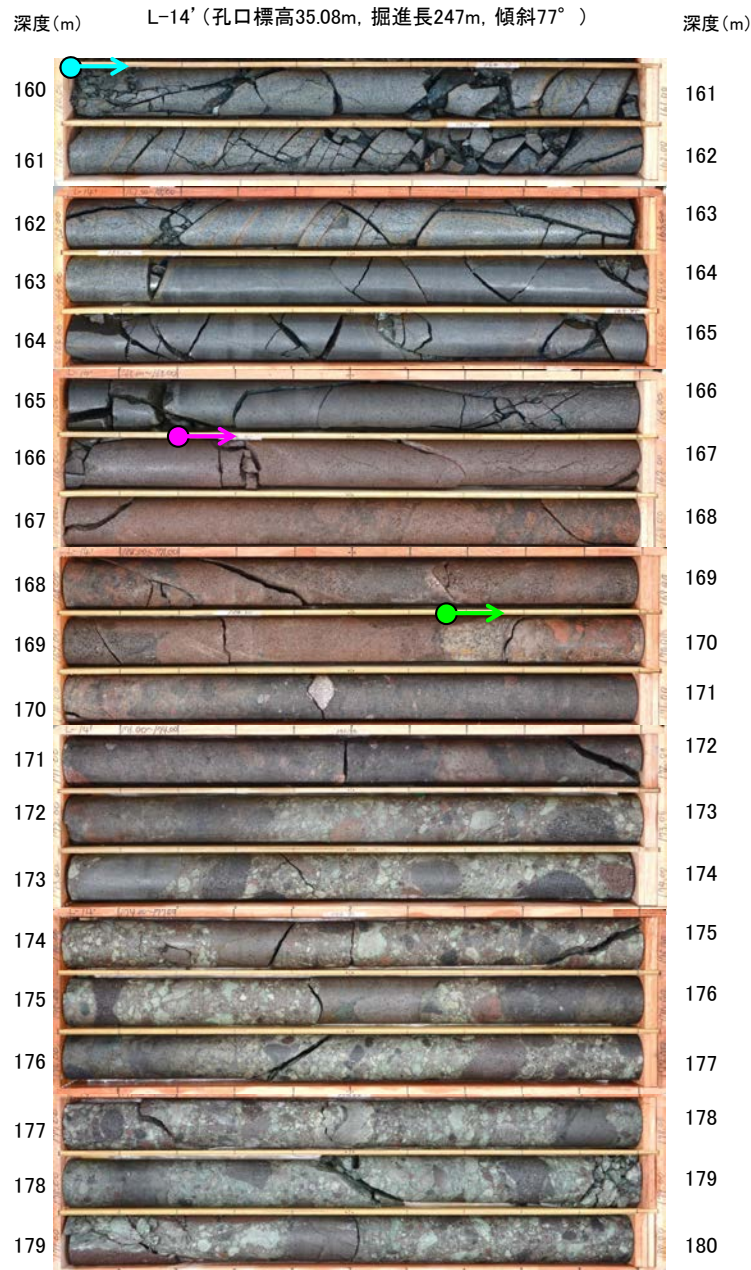
コア写真(深度480~500m)

コア写真(深度500~520m)

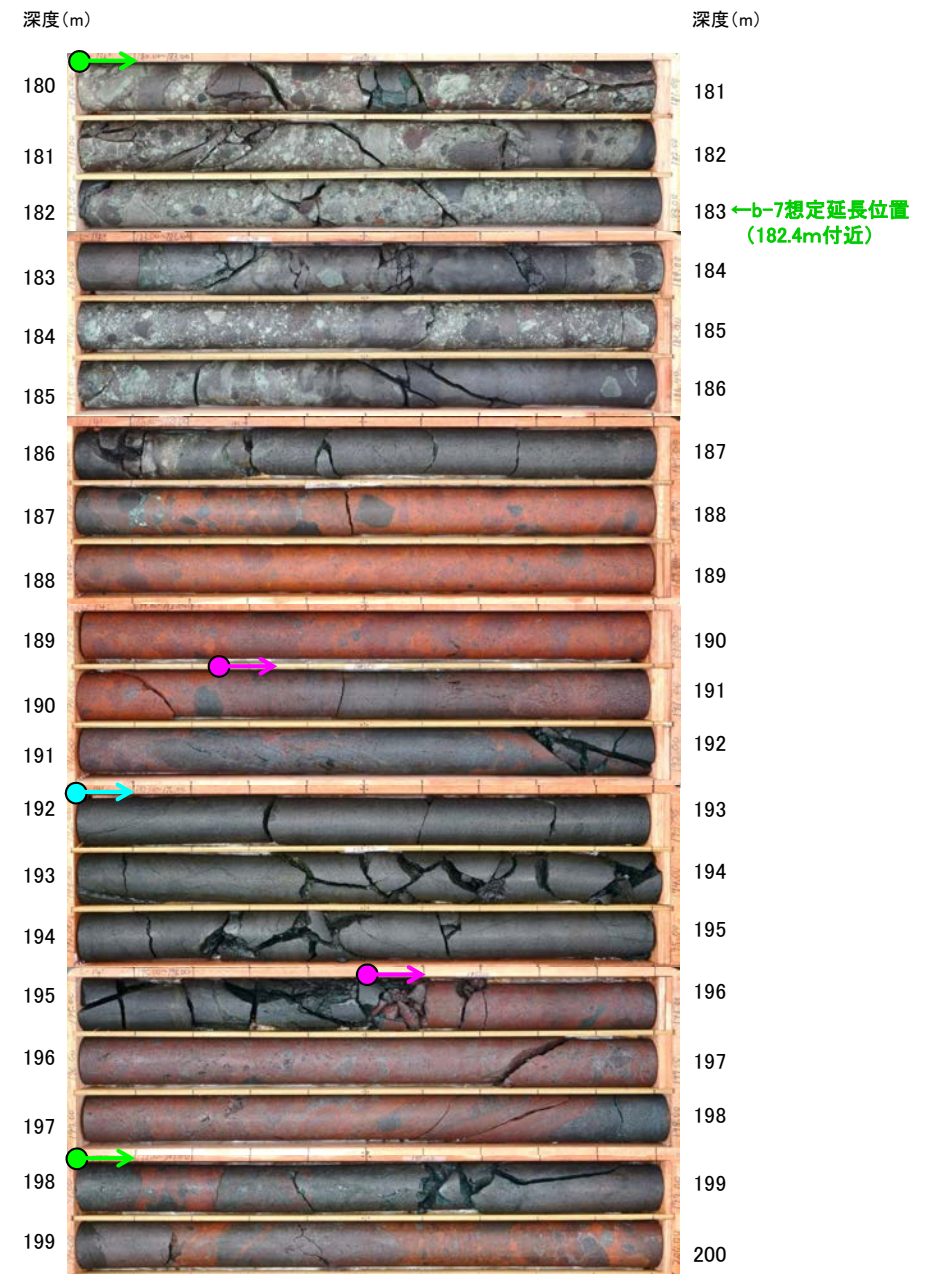
- → 安山岩(均質)
- → 安山岩(角礫質)

・b-7の深部延長に位置するK-13.6孔には、b-7に対応する破碎部は認められない。

# b-5～b-13の連続性検討 b-7の連続性:浅部延長(L-14' 孔)



コア写真(深度160～180m)



コア写真(深度180～200m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

・b-7の浅部延長に位置するL-14' 孔には、b-7に対応する破碎部は認められない。



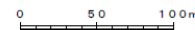
# b-5～b-13の連続性検討 b-8の連続性

名称	孔名:深度	標高	破碎部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)
b-8	L-13.7:314.62m	EL-279.42m	9	N20° W/65° NE



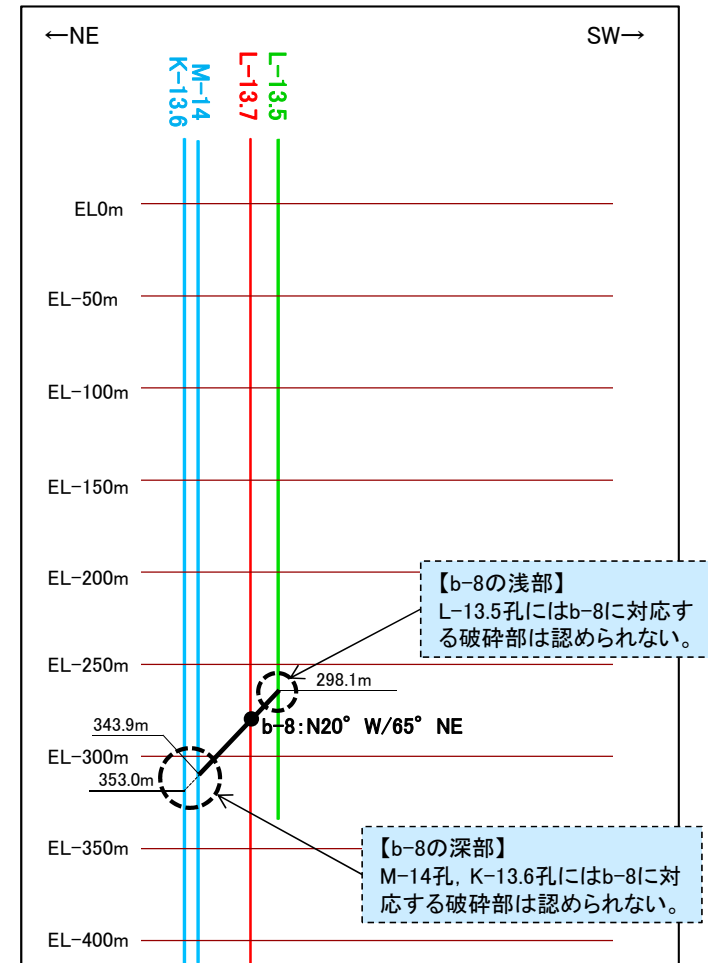
枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図



- 露頭調査範囲
- 断層(敷地内 EL-4.7m)
- b-8確認位置

- 投影測線
- b-8を確認したボーリング
- b-8が認められないボーリング(深部方向)
- b-8が認められないボーリング(浅部方向)



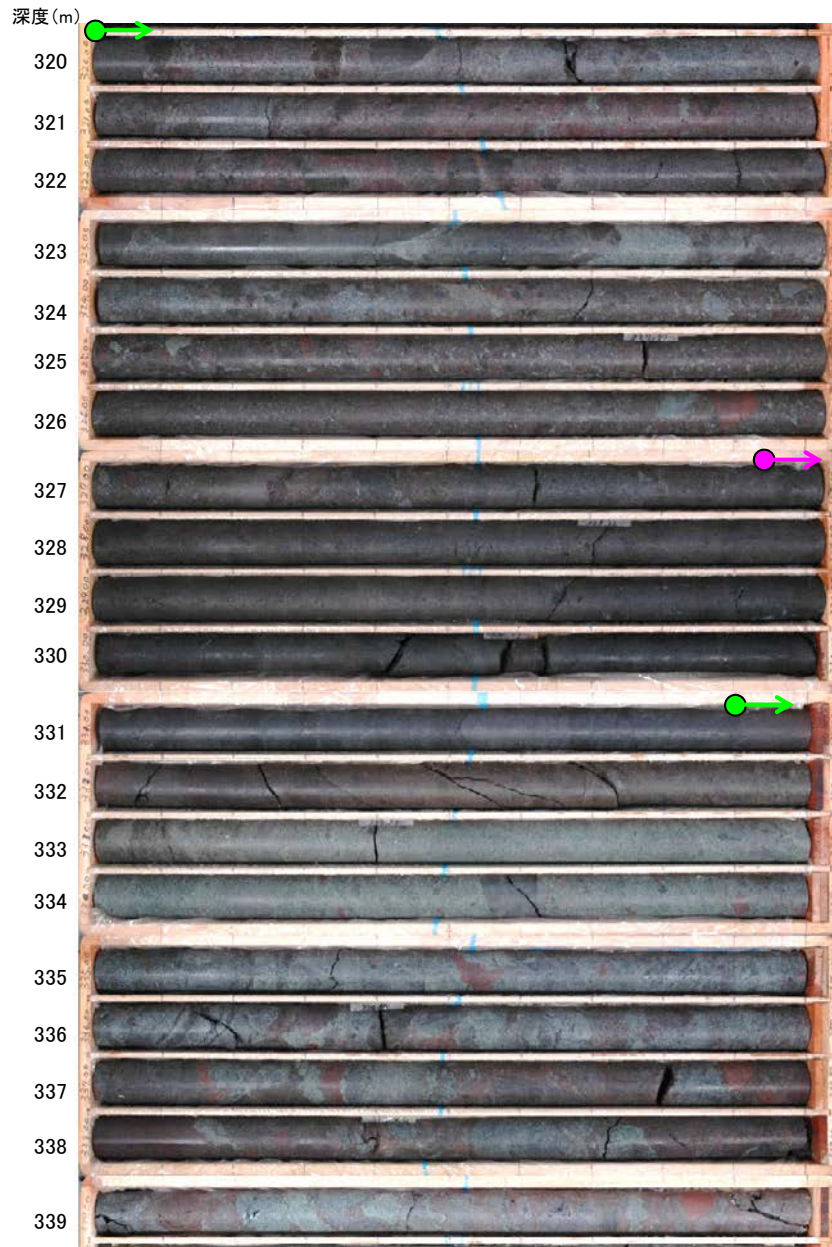
投影断面図(H:V=2:1)

- b-8確認位置
- b-8を確認したボーリング
- b-8が認められないボーリング(深部方向)
- b-8が認められないボーリング(浅部方向)

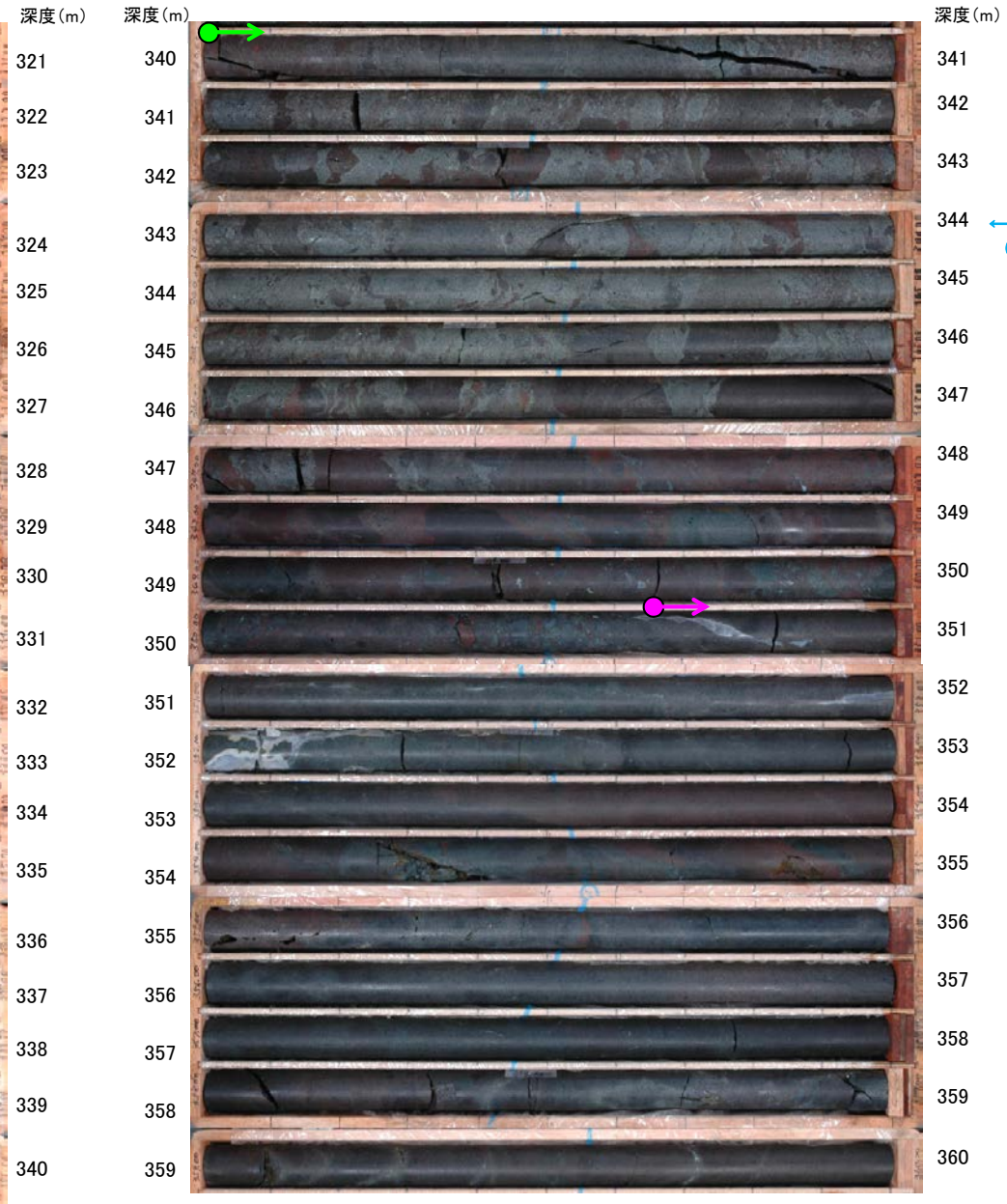
● b-8は、L-13.7孔の深度314.62mのみで認められ、深部及び浅部方向のボーリング孔では認められないことから、深部及び浅部方向へ連続しないと判断。

# b-5～b-13の連続性検討 b-8の連続性:深部延長①(M-14孔)

M-14(孔口標高34.08m, 掘進長446m)



コア写真(深度320～340m)

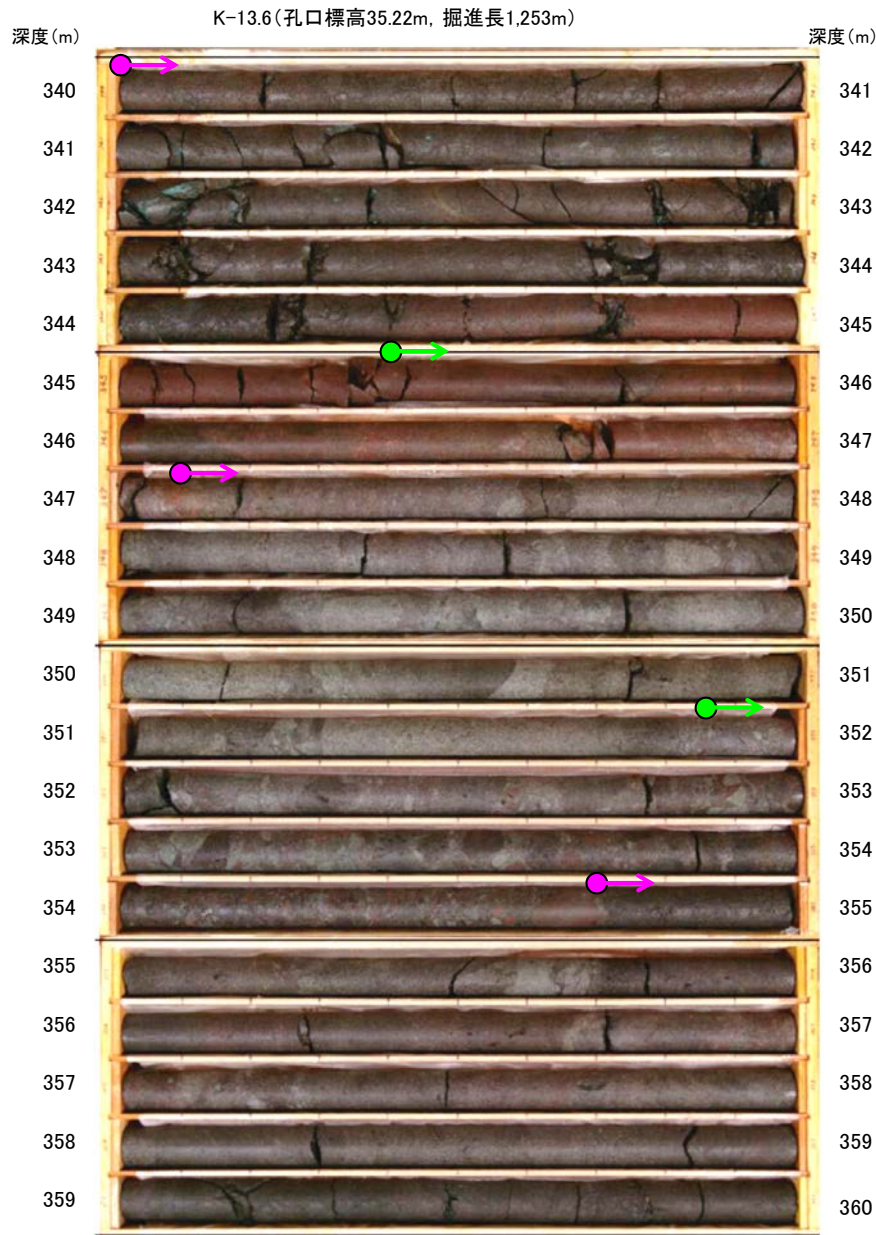


コア写真(深度340～360m)

- → 安山岩(角礫質)
- → 凝灰角礫岩

・b-8の深部延長に位置するM-14孔には、b-8に対応する破碎部は認められない。

# b-5~b-13の連続性検討 b-8の連続性:深部延長②(K-13.6孔)



コア写真(深度340~360m)



コア写真(深度360~380m)

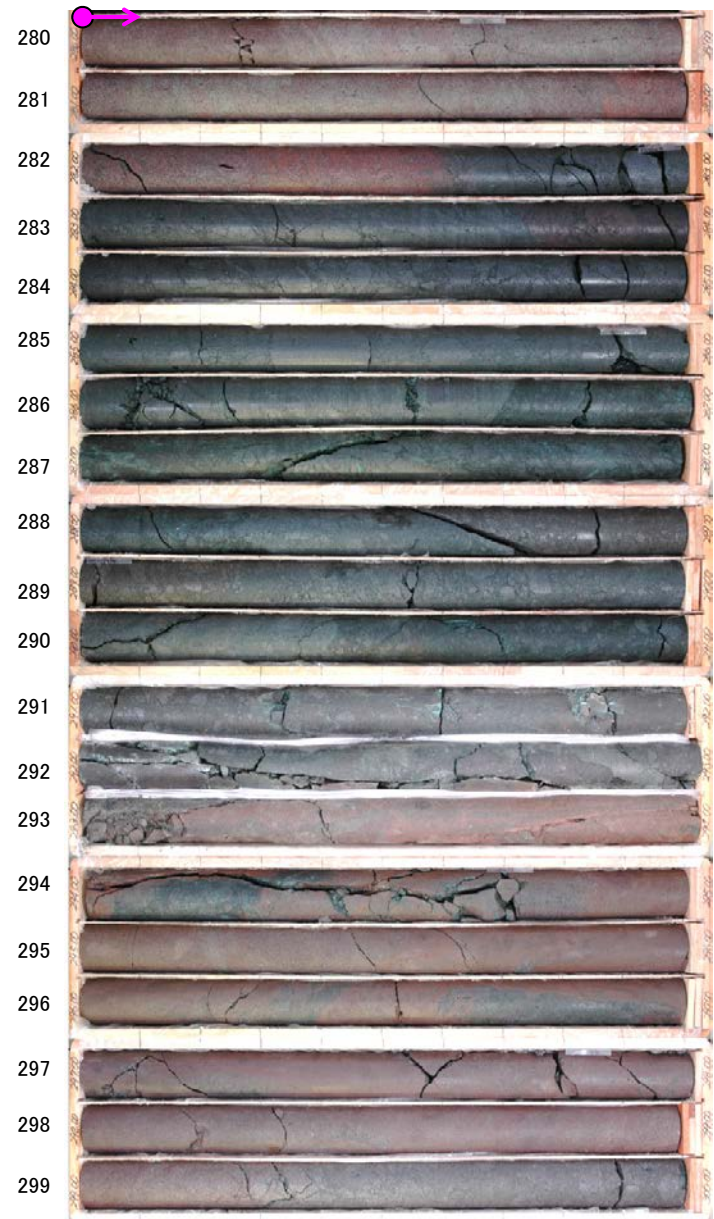
←b-8想定延長位置  
(353.0m付近)



・b-8の深部延長に位置するK-13.6孔には、b-8に対応する破碎部は認められない。

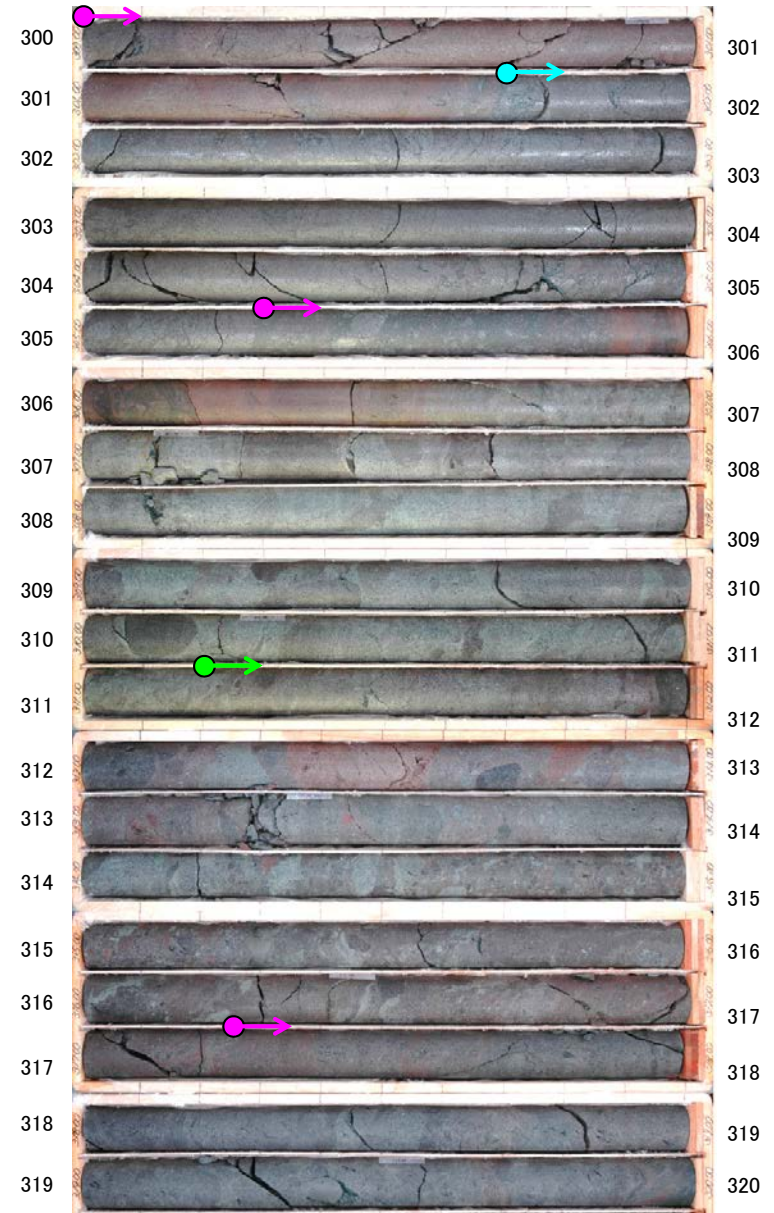
# b-5～b-13の連続性検討 b-8の連続性：浅部延長(L-13.5孔)

深度(m) L-13.5 (孔口標高34.90m, 掘進長369m) 深度(m)



コア写真(深度280～300m)

深度(m) 深度(m)



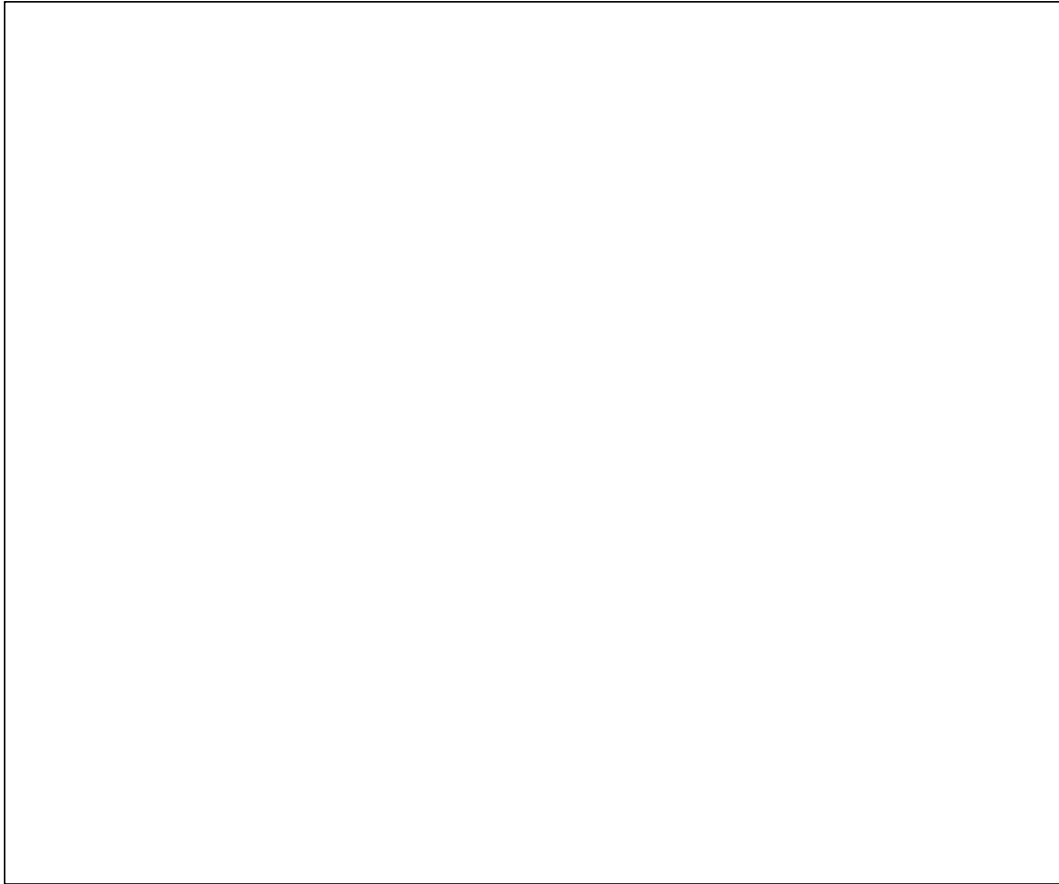
コア写真(深度300～320m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

・b-8の浅部延長に位置するL-13.5孔には、b-8に対応する破碎部は認められない。

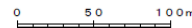
# b-5~b-13の連続性検討 b-9の連続性

名称	孔名:深度	標高	破碎部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)
b-9	M-13' : 105.82m	EL-67.90m	4	N14° E/58° NW



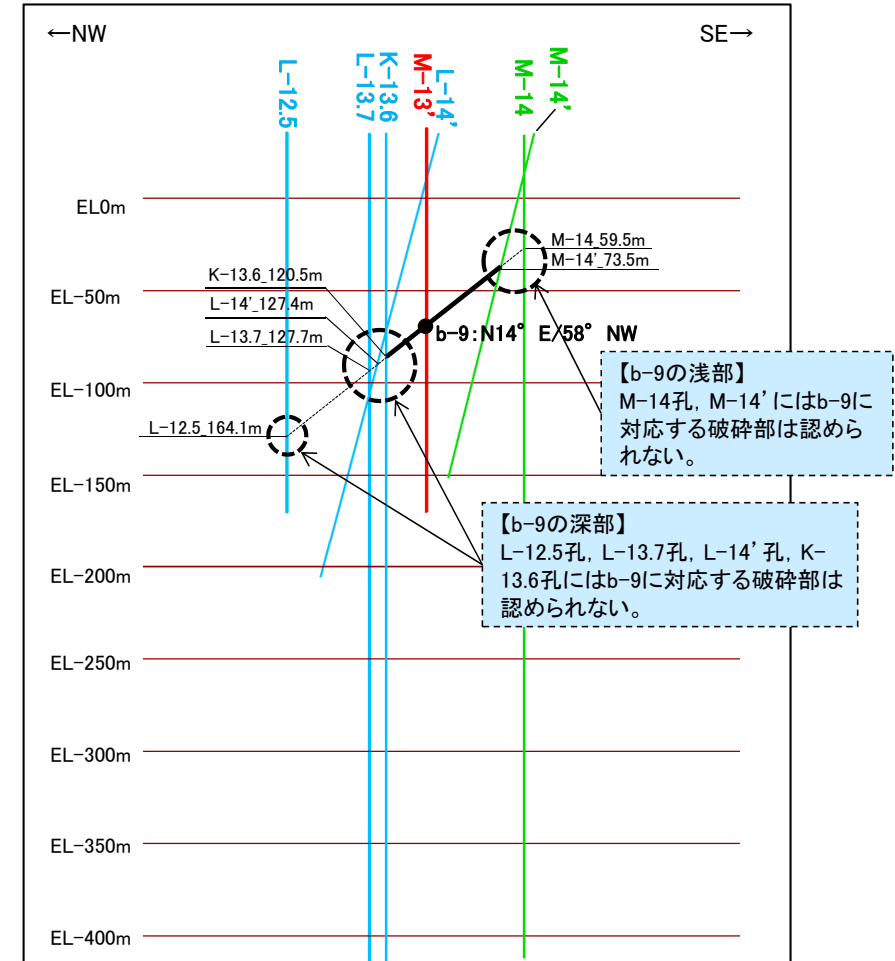
枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図



- 露頭調査範囲
- 断層(敷地内 EL-4.7m)
- b-9確認位置

- 投影測線
- b-9を確認したボーリング
- b-9が認められないボーリング(深部方向)
- b-9が認められないボーリング(浅部方向)

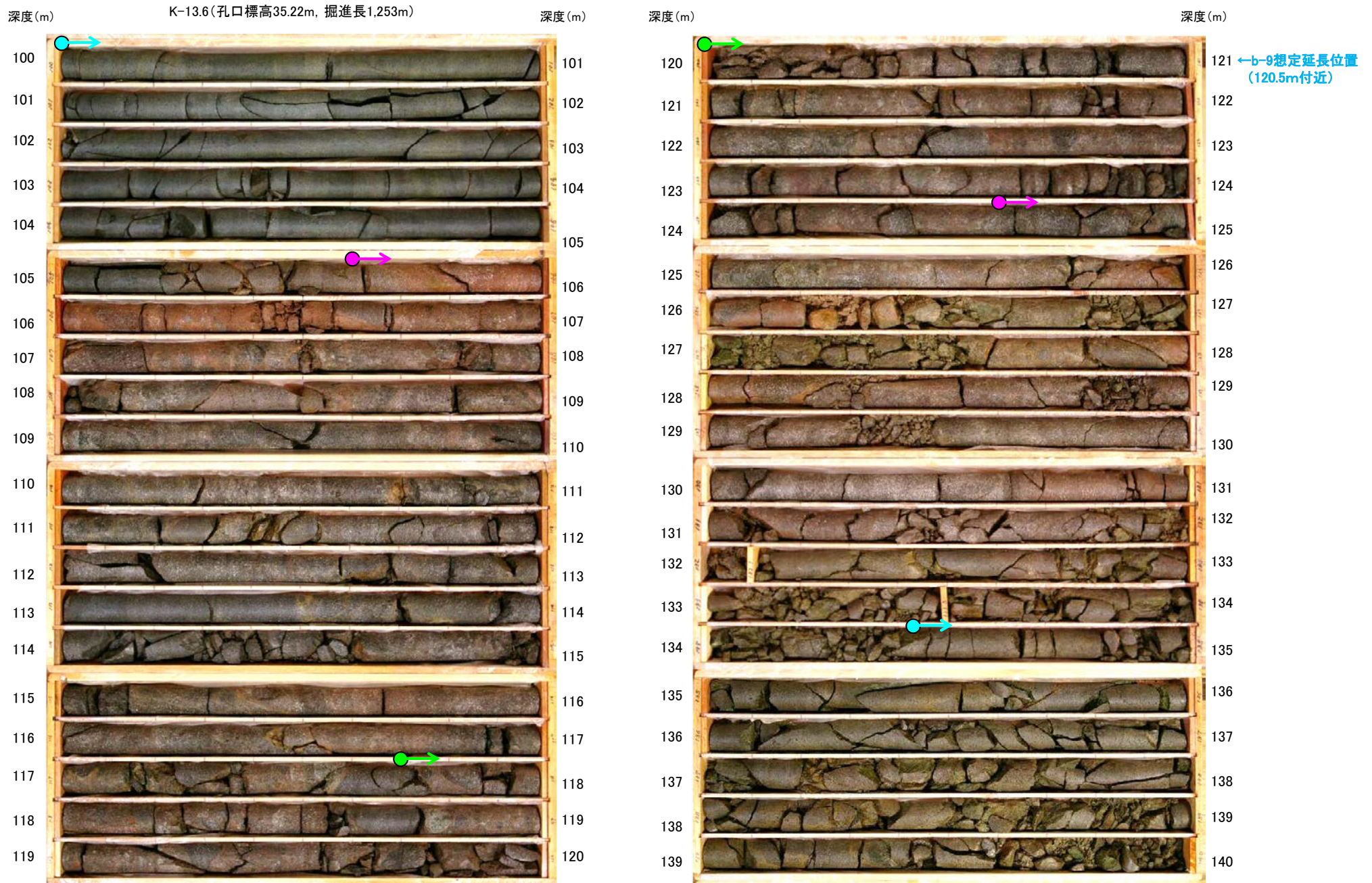


投影断面図(H:V=2:1)

- b-9確認位置
- b-9を確認したボーリング
- b-9が認められないボーリング(深部方向)
- b-9が認められないボーリング(浅部方向)

• b-9は、M-13' 孔の深度105.82mのみで認められ、深部及び浅部方向のボーリング孔では認められないことから、深部及び浅部方向へ連続しないと判断。

# b-5~b-13の連続性検討 b-9の連続性:深部延長①(K-13.6孔)



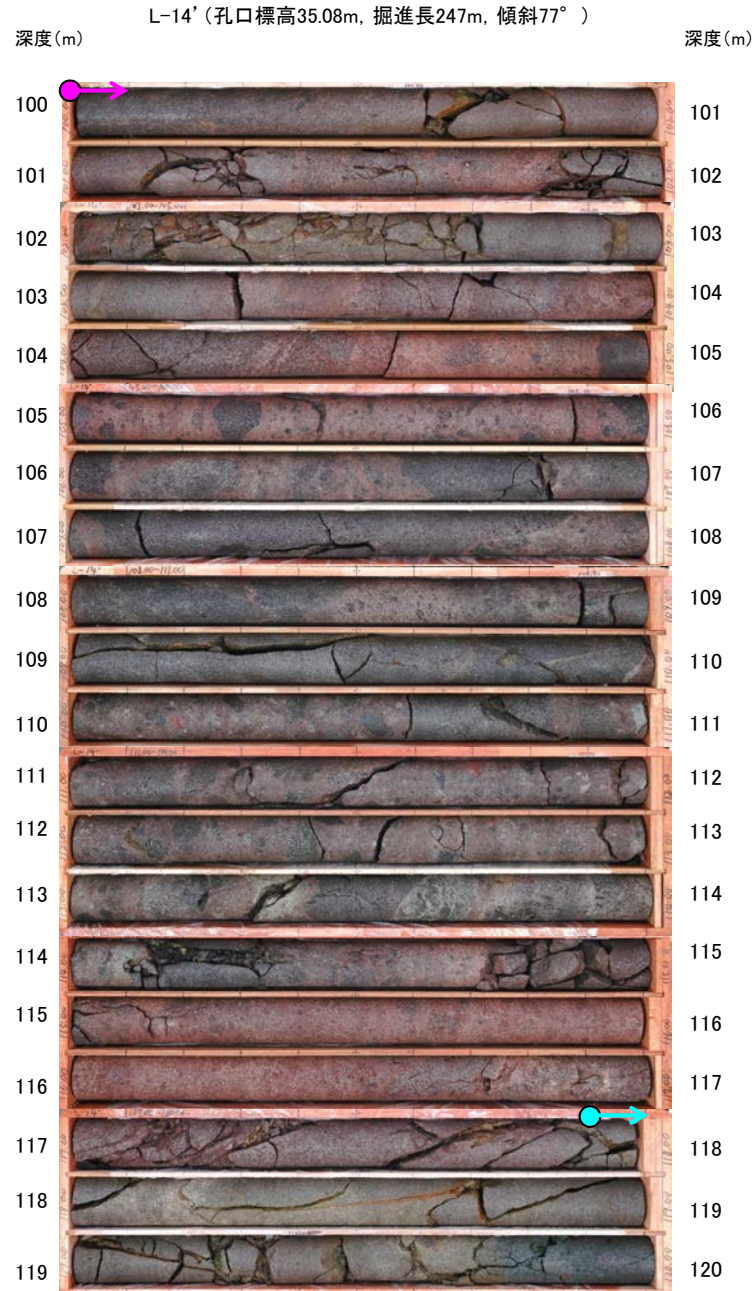
コア写真(深度100~120m)

コア写真(深度120~140m)

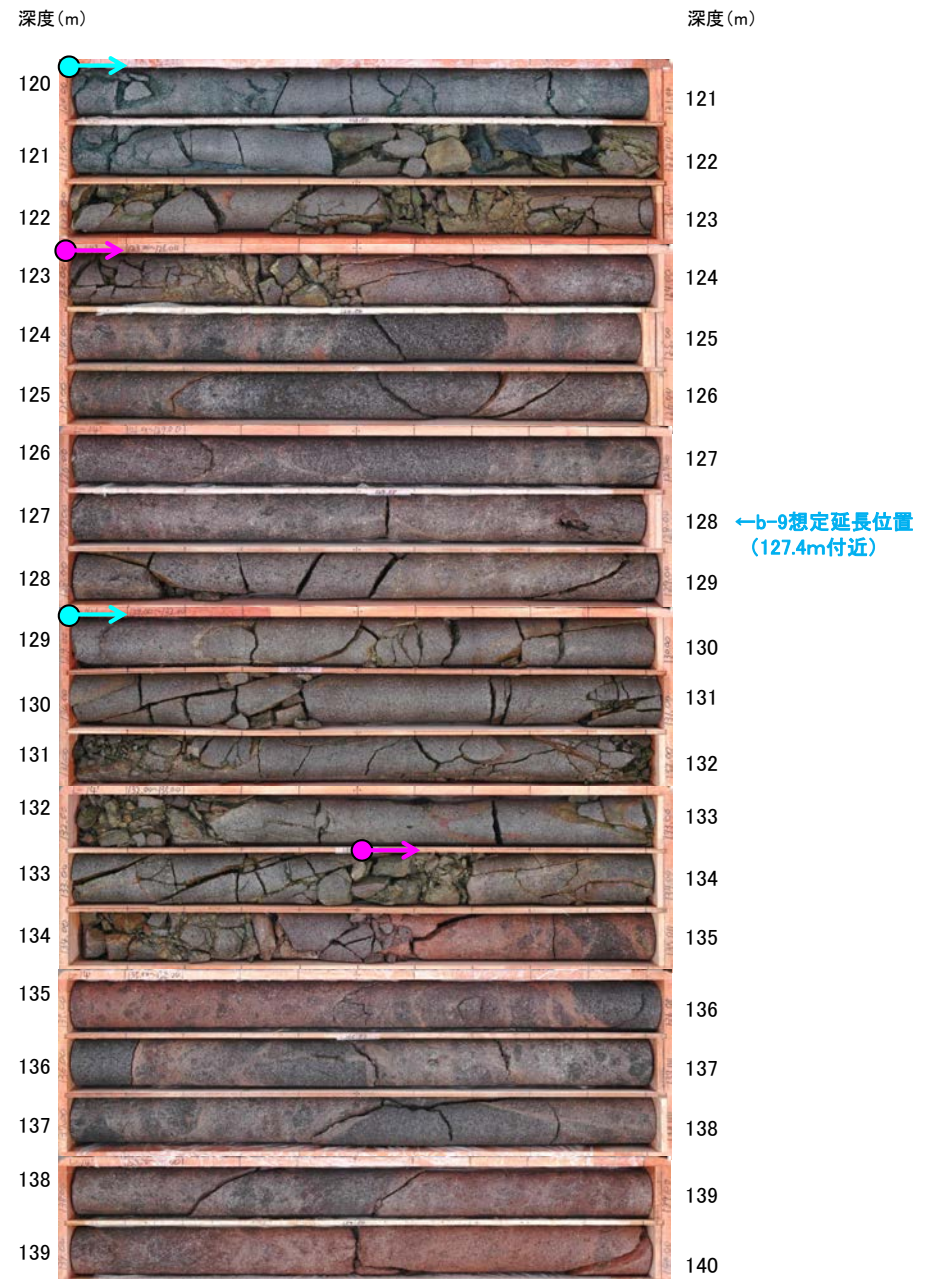
- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

・b-9の深部延長に位置するK-13.6孔には、b-9に対応する破碎部は認められない。

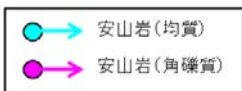
# b-5～b-13の連続性検討 b-9の連続性:深部延長②(L-14'孔)



コア写真(深度100～120m)



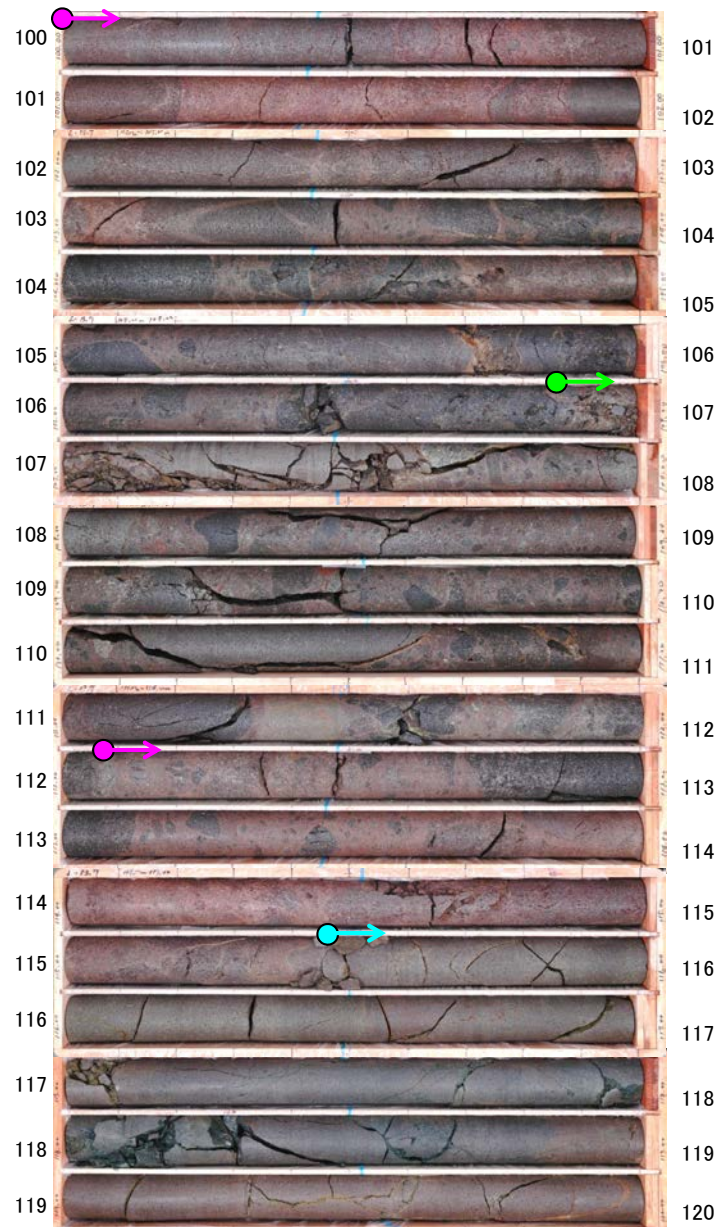
コア写真(深度120～140m)



・b-9の深部延長に位置するL-14' 孔には、b-9に対応する破碎部は認められない。

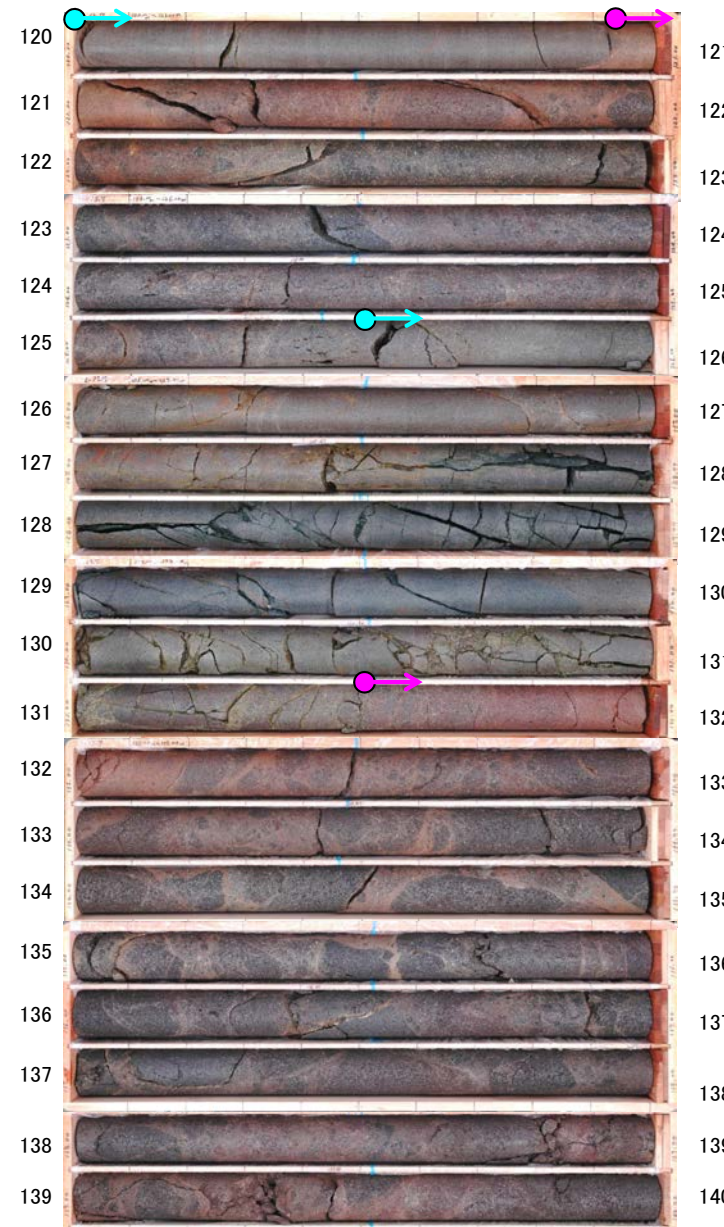
# b-5～b-13の連続性検討 b-9の連続性:深部延長③(L-13.7孔)

深度(m) L-13.7 (孔口標高35.24m, 掘進長600m) 深度(m)



コア写真(深度100～120m)

深度(m) 深度(m)



コア写真(深度120～140m)

←b-9想定延長位置  
(127.7m付近)

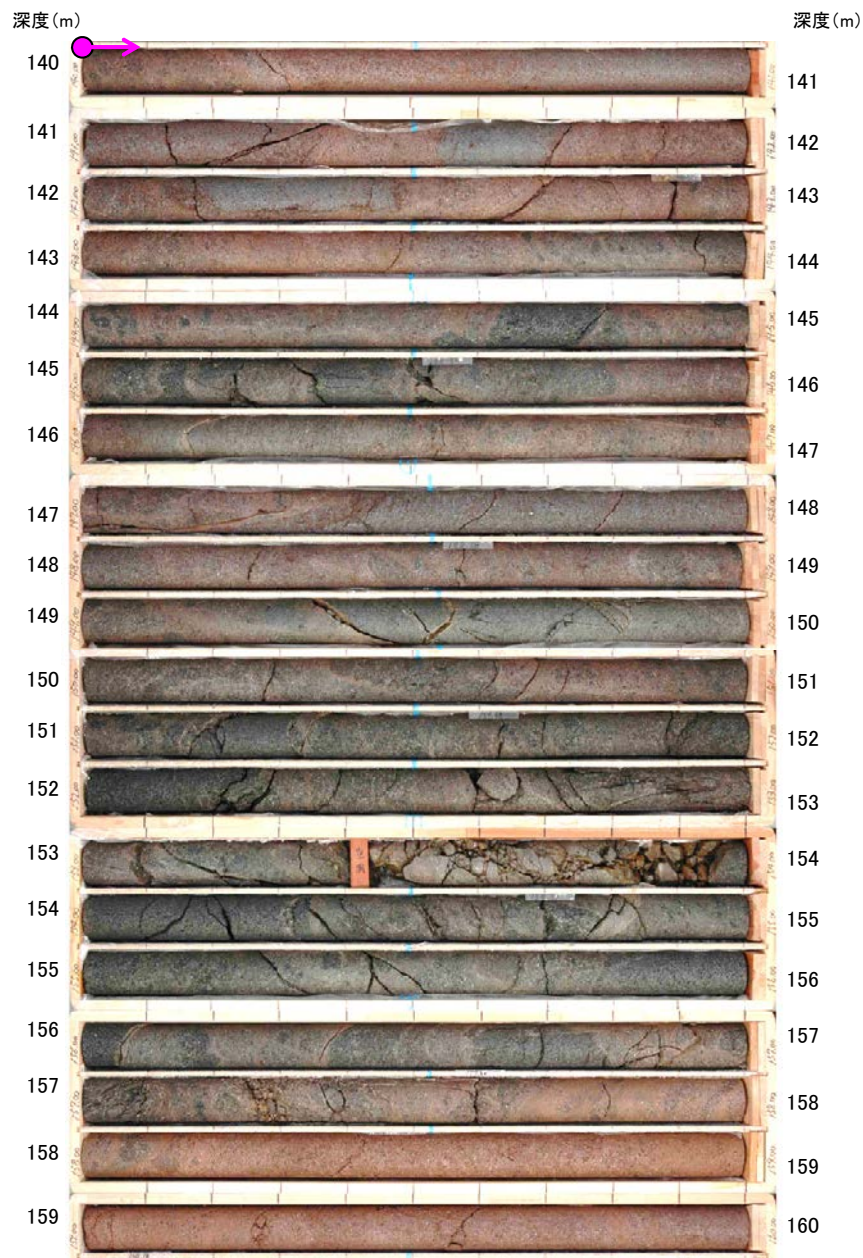
- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

・b-9の深部延長に位置するL-13.7孔には、b-9に対応する破砕部は認められない。

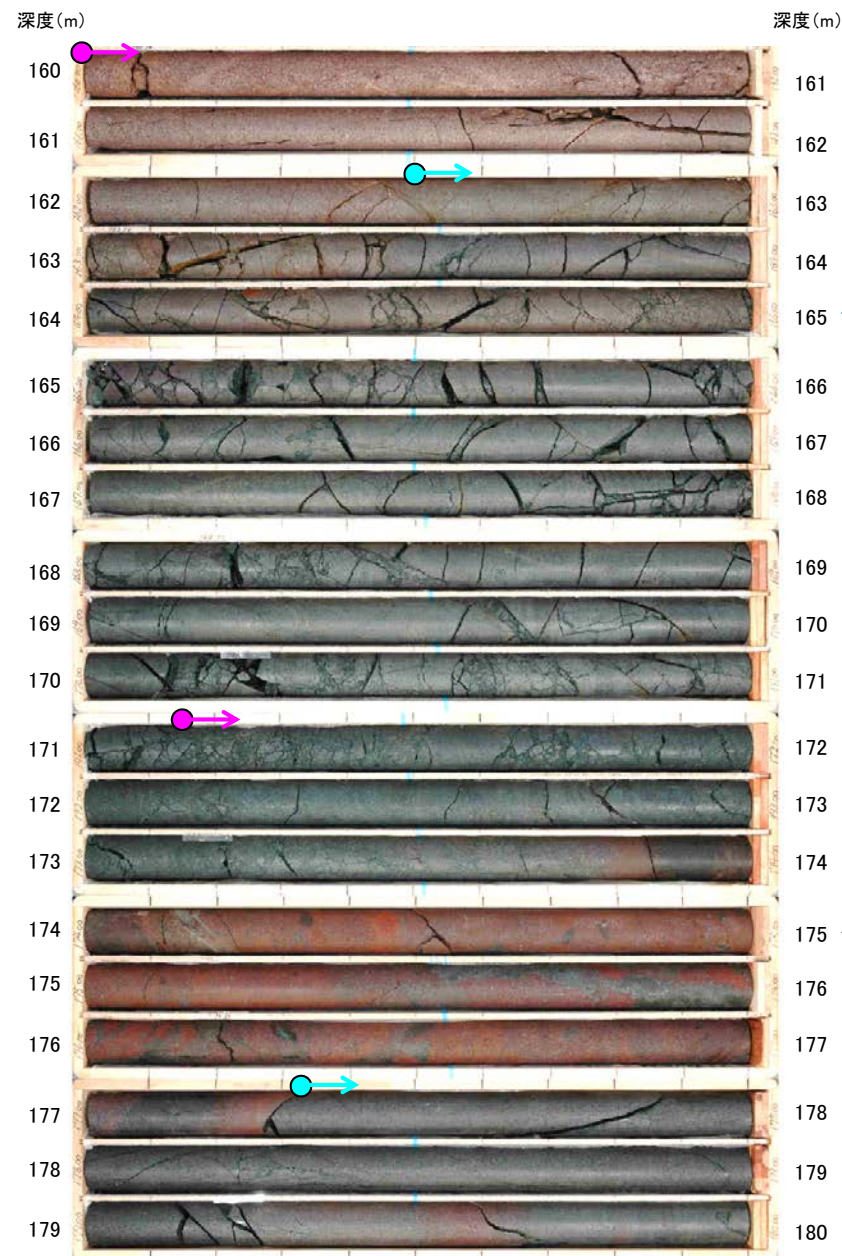


# b-5~b-13の連続性検討 b-9の連続性:深部延長④(L-12.5孔)

L-12.5 (孔口標高35.80m, 掘進長206m)



コア写真(深度140~160m)



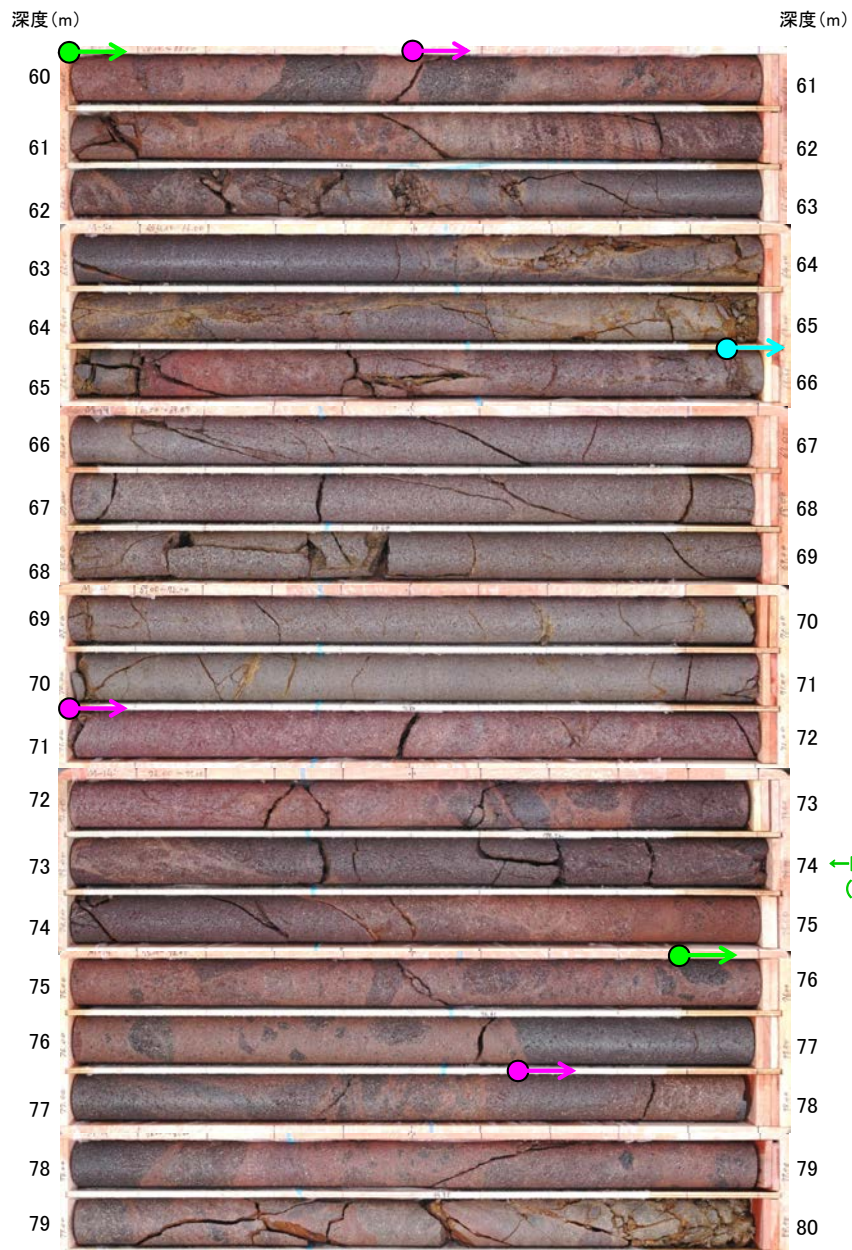
コア写真(深度160~180m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)

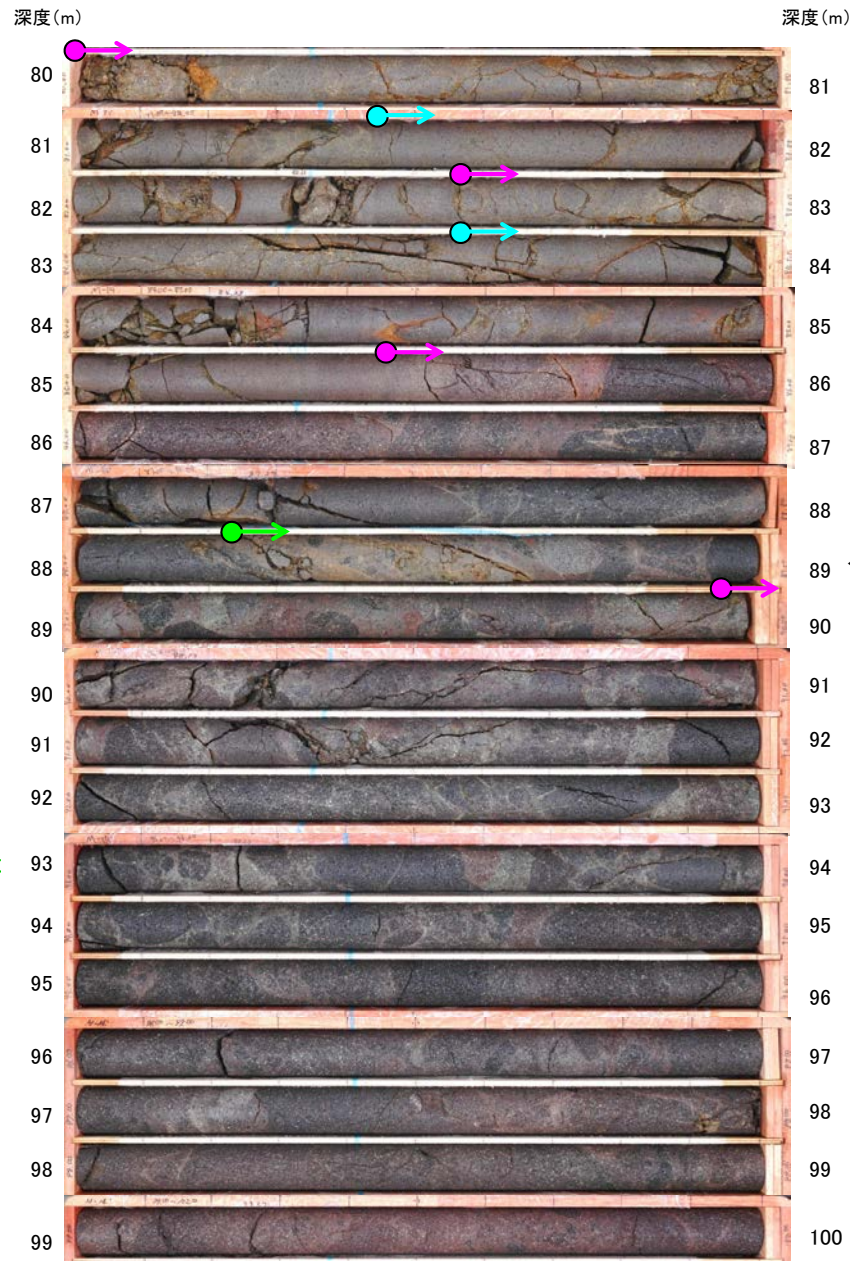
・b-9の深部延長に位置するL-12.5孔には、b-9に対応する破碎部は認められない。

# b-5~b-13の連続性検討 b-9の連続性:浅部延長①(M-14'孔)

M-14' (孔口標高34.40m, 掘進194m, 傾斜73°)



コア写真(深度60~80m)



コア写真(深度80~100m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

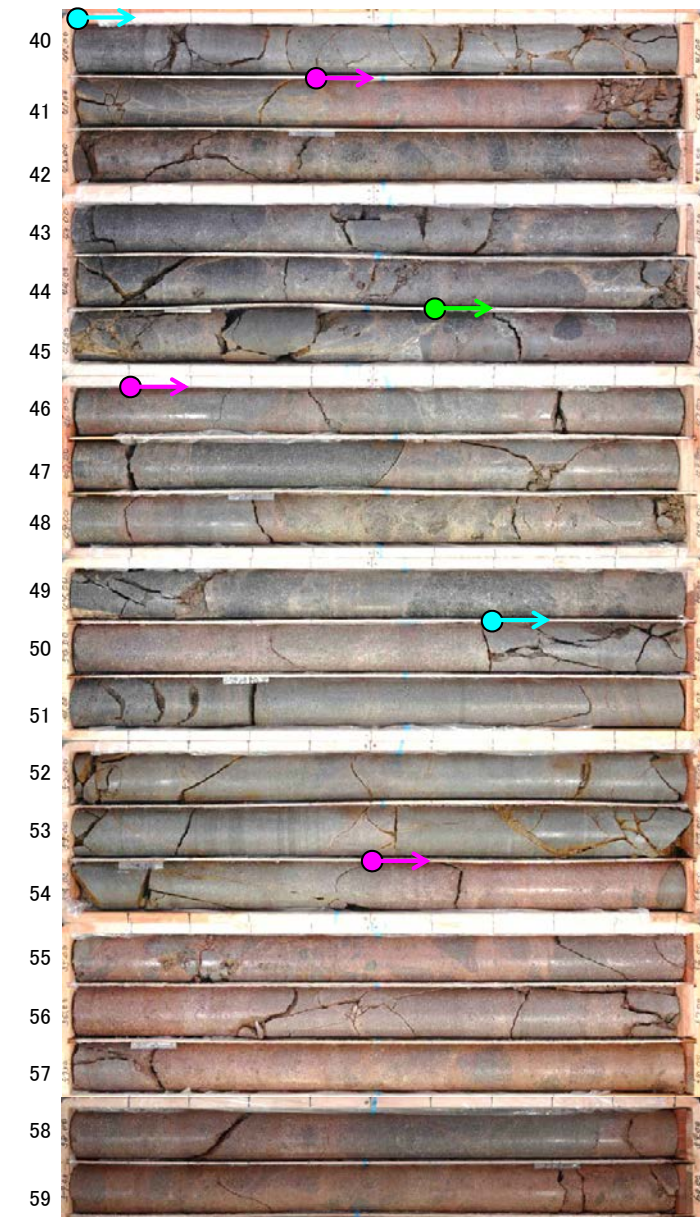
←b-9想定延長位置  
(73.5m付近)

←88.59m  
「b-13」  
N40° E/74° NW

・b-9の浅部延長に位置するM-14' 孔には、b-9に対応する破碎部は認められない。

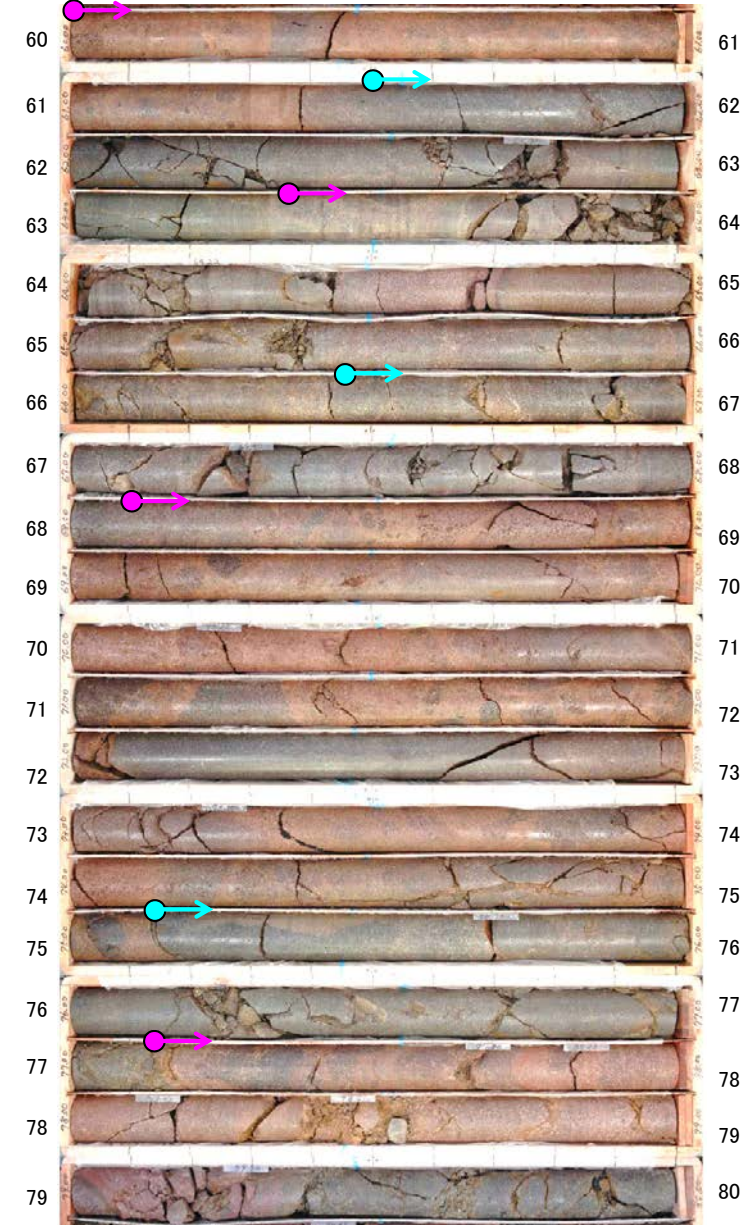
# b-5～b-13の連続性検討 b-9の連続性：浅部延長②(M-14孔)

深度(m) M-14(孔口標高34.08m, 掘進長446m) 深度(m)



コア写真(深度40～60m)

深度(m) 深度(m)



コア写真(深度60～80m)

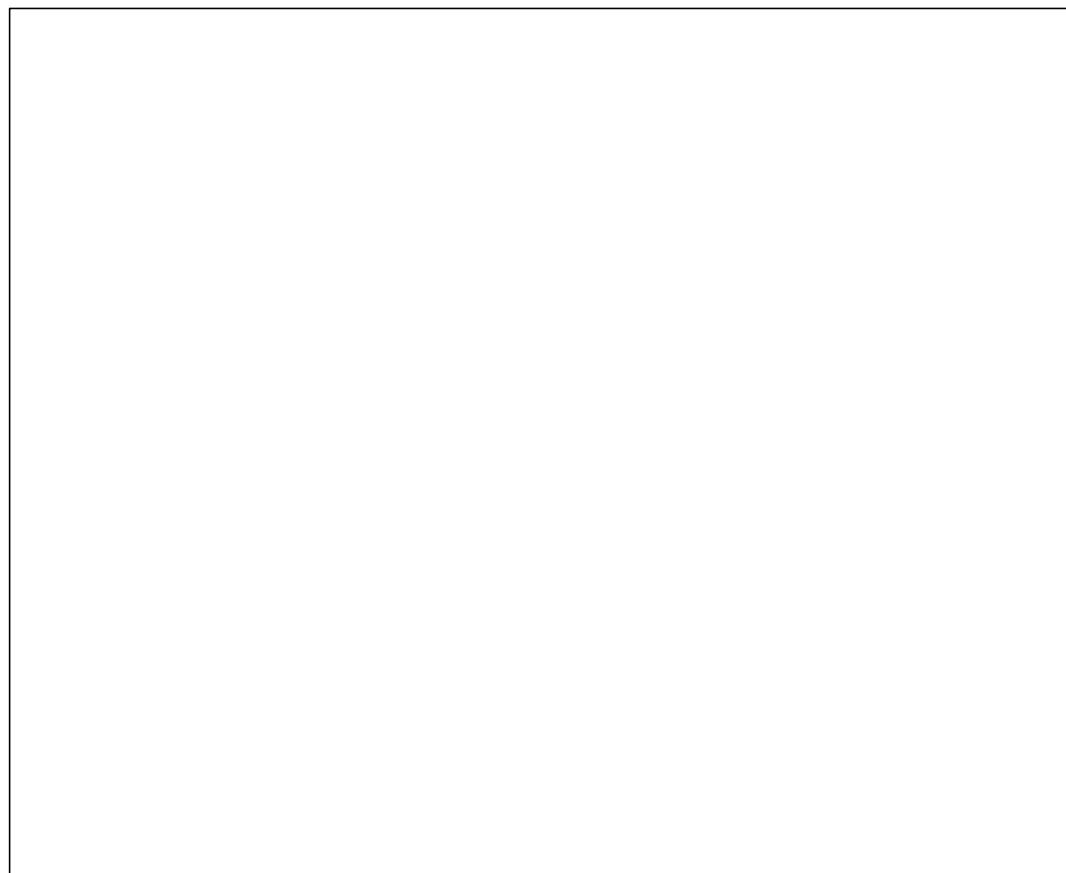
- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

←b-9想定延長位置  
(59.5m付近)

・b-9の浅部延長に位置するM-14孔には、b-9に対応する破碎部は認められない。

# b-5~b-13の連続性検討 b-10の連続性

名称	孔名:深度	標高	破砕部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)
b-10	L-13.7:93.15m	EL-57.94m	9	N59° E/59° NW
	L-14':86.71m	EL-49.23m	16	



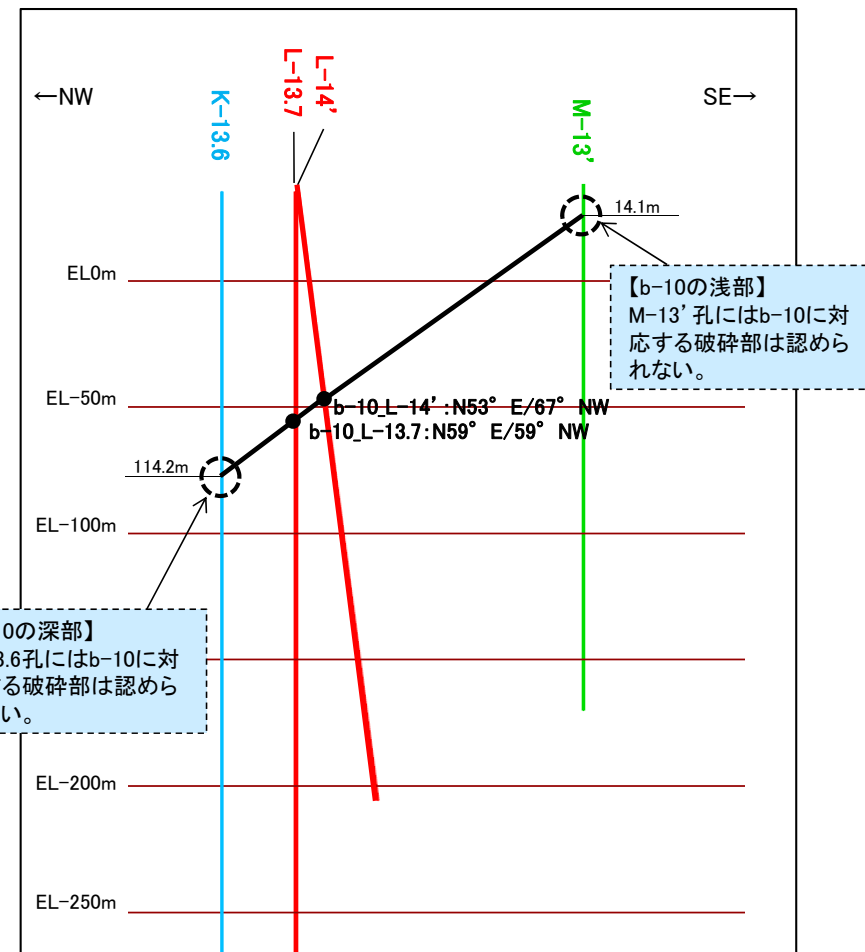
枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図



- 露頭調査範囲
- 断層(敷地内 EL-4.7m)
- b-10確認位置

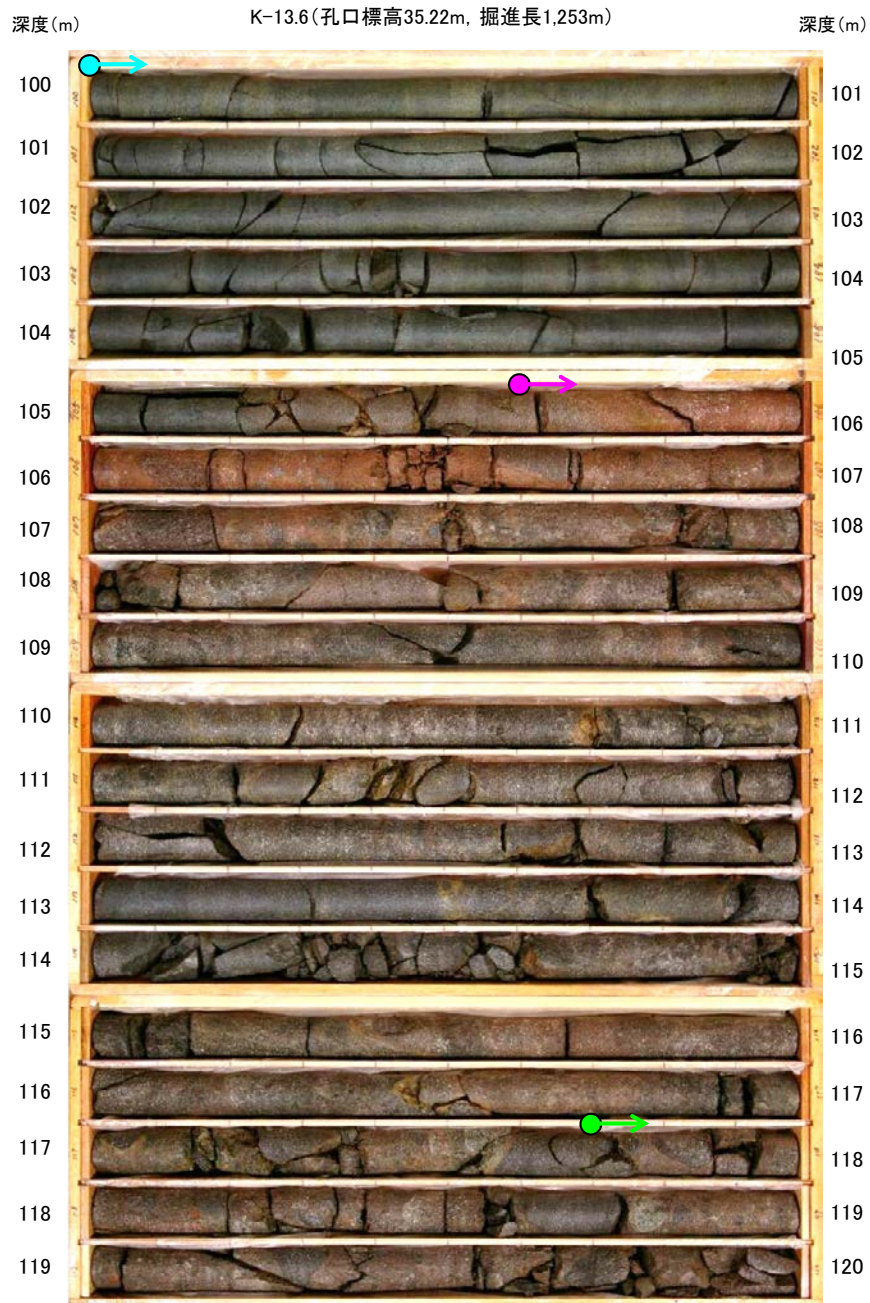
- 投影測線
- b-10を確認したボーリング
- b-10が認められないボーリング(深部方向)
- b-10が認められないボーリング(浅部方向)



・L-13.7孔の深度93.15m及びL-14'孔の深度86.71mの破砕部は、近接したボーリング孔の同程度の深度で確認され、走向傾斜が類似していることから、同一の構造であると判断。

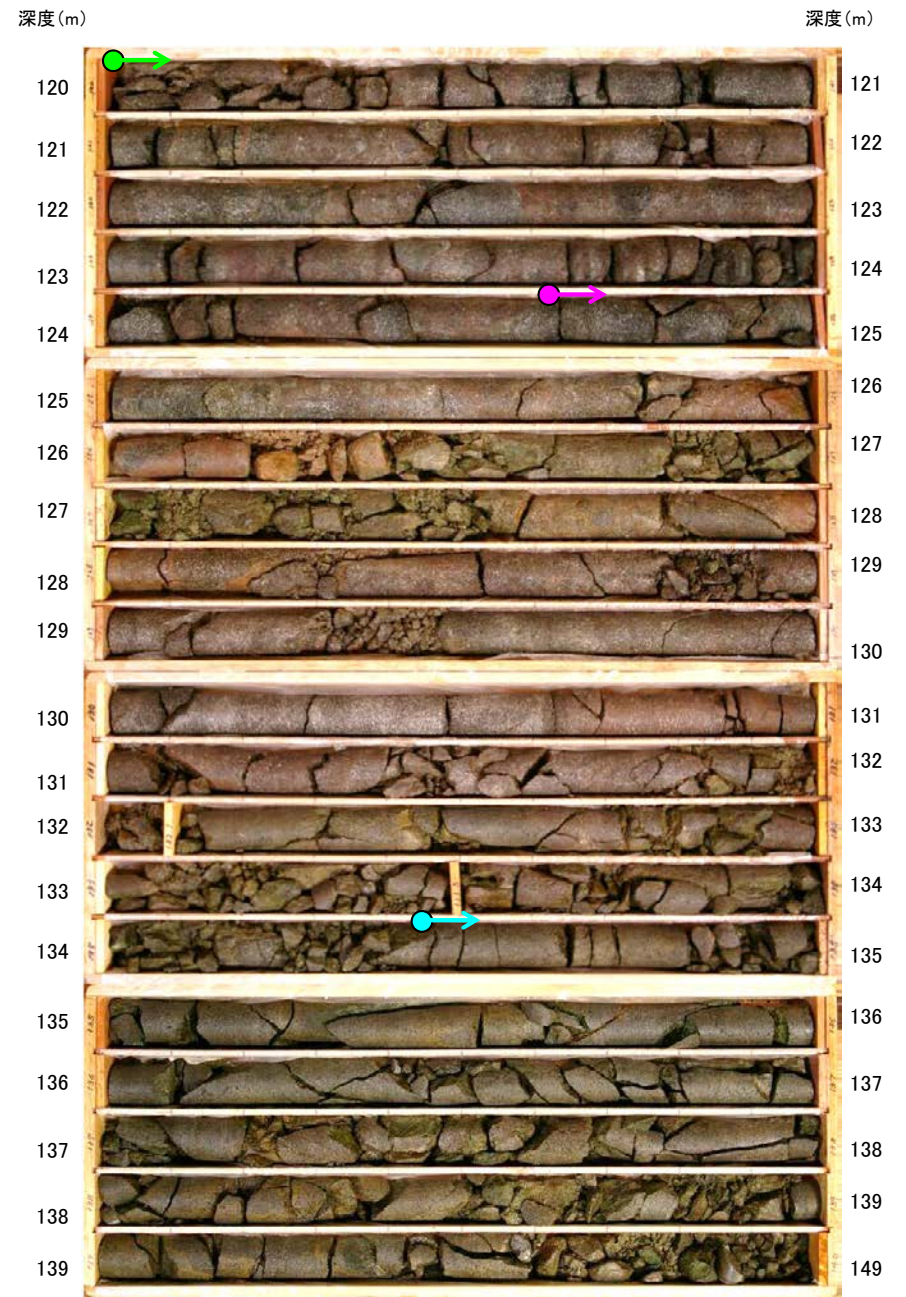
・b-10は、L-13.7孔の深度93.15m、L-14'孔の深度86.71mのみで認められ、深部及び浅部方向のボーリング孔では認められないことから、深部及び浅部方向へ連続しないと判断。

# b-5~b-13の連続性検討 b-10の連続性:深部延長(K-13.6孔)



コア写真(深度100~120m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

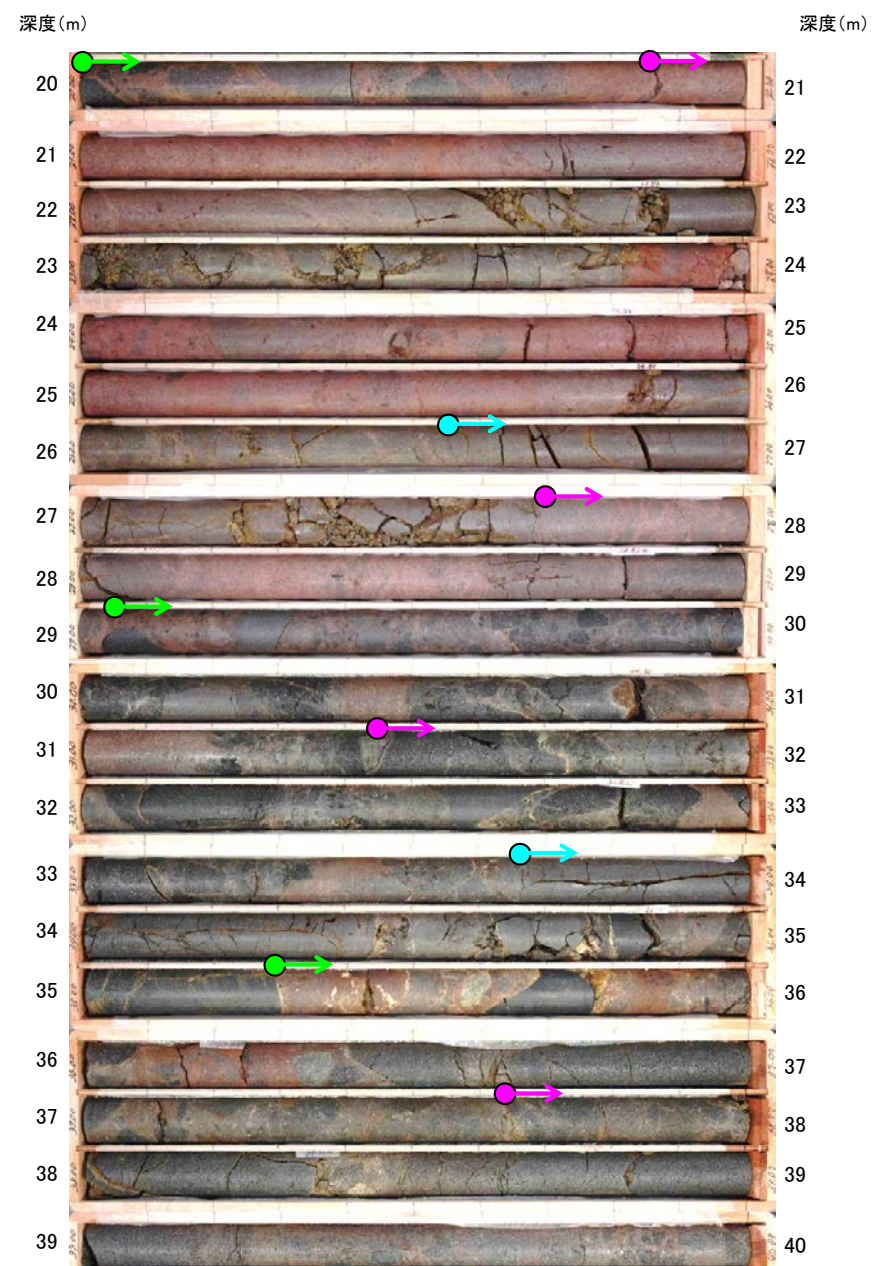


コア写真(深度120~140m)

←b-10想定延長位置  
(114.2m付近)

・b-10の深部延長に位置するK-13.6孔には、b-10に対応する破砕部は認められない。

# b-5～b-13の連続性検討 b-10の連続性:浅部延長(M-13' 孔)



- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

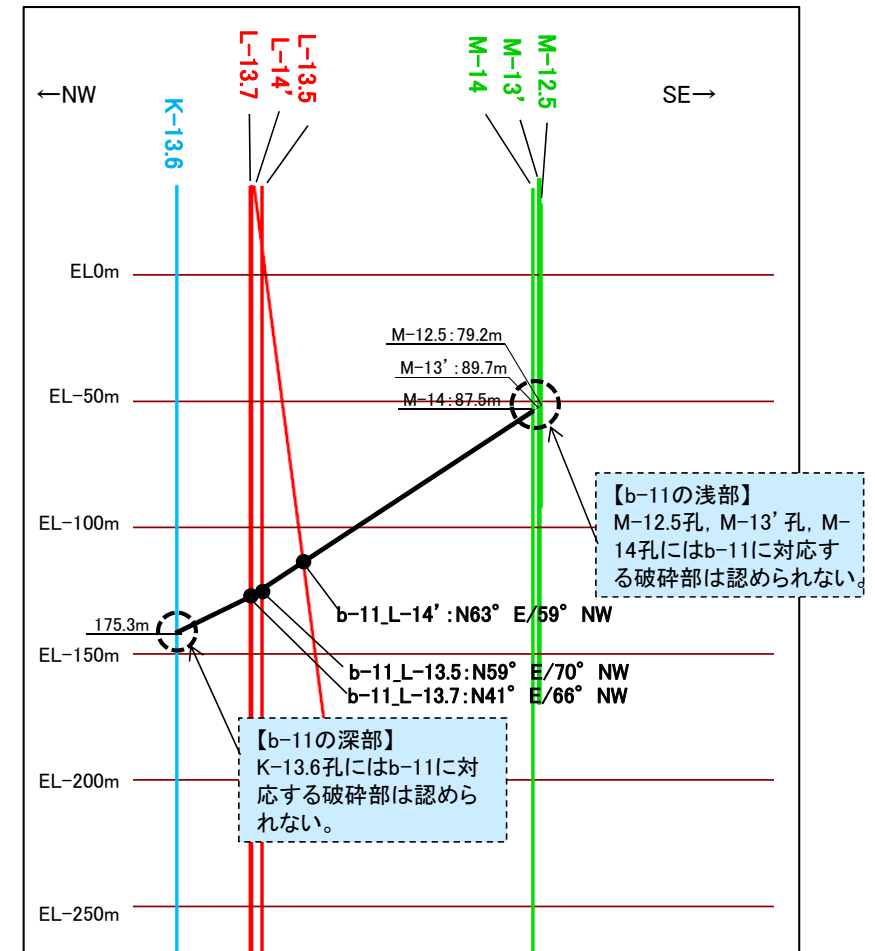
コア写真(深度0～20m)

コア写真(深度20～40m)

・b-10の浅部延長に位置するM-13' 孔には、b-10に対応する破砕部は認められない。

# b-5~b-13の連続性検討 b-11の連続性

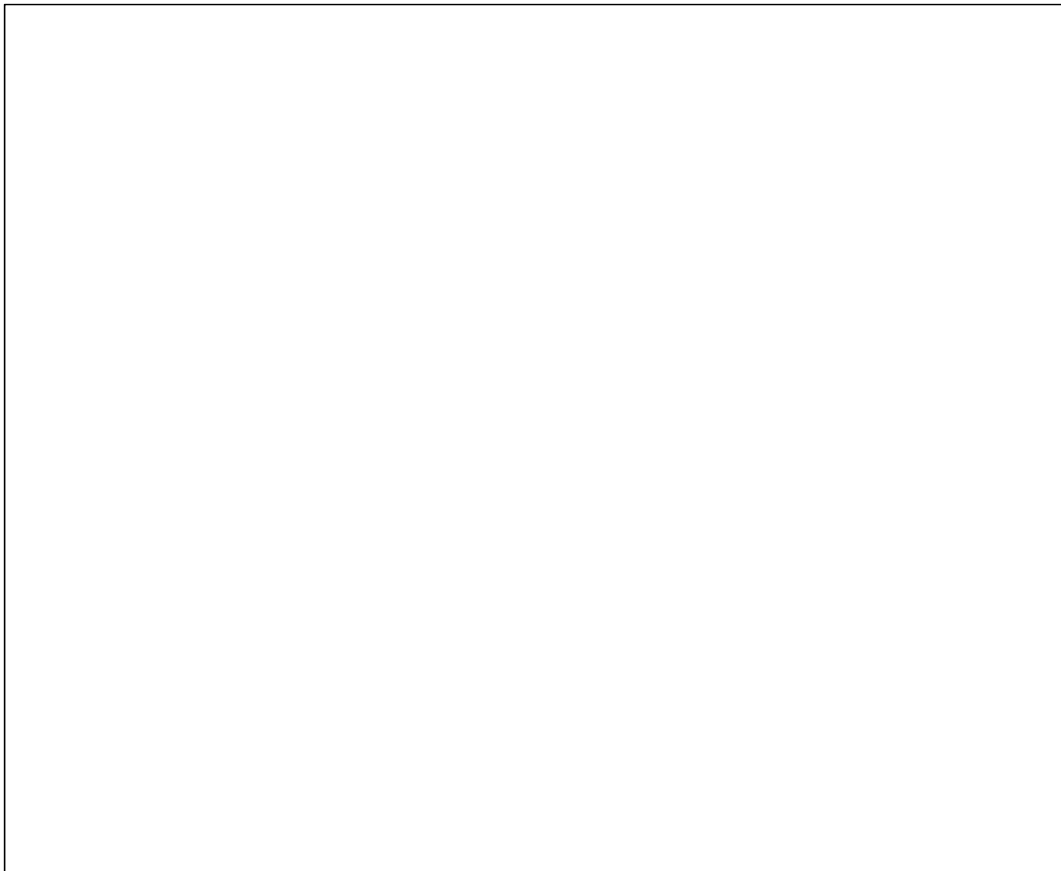
名称	孔名:深度	標高	破碎部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)
b-11	L-13.5:159.03m	EL-124.13m	4	N59° E/70° NW
	L-13.7:161.27m	EL-126.12m	15	N41° E/66° NW
	L-14':152.45m	EL-113.36m	6	N63° E/59° NW



投影断面図 (H:V=2:1)

- b-11確認位置
- b-11を確認したボーリング (深部方向)
- b-11が認められないボーリング (深部方向)
- b-11が認められないボーリング (浅部方向)

・L-13.5孔の深度159.03m, L-13.7孔の深度161.27m及びL-14'孔の深度152.45mの破碎部は、近接したボーリング孔の同程度の深度で確認され、走向傾斜が類似していることから、同一の構造であると判断。



枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

- 露頭調査範囲
- 断層(敷地内 EL-4.7m)
- b-11確認位置

位置図

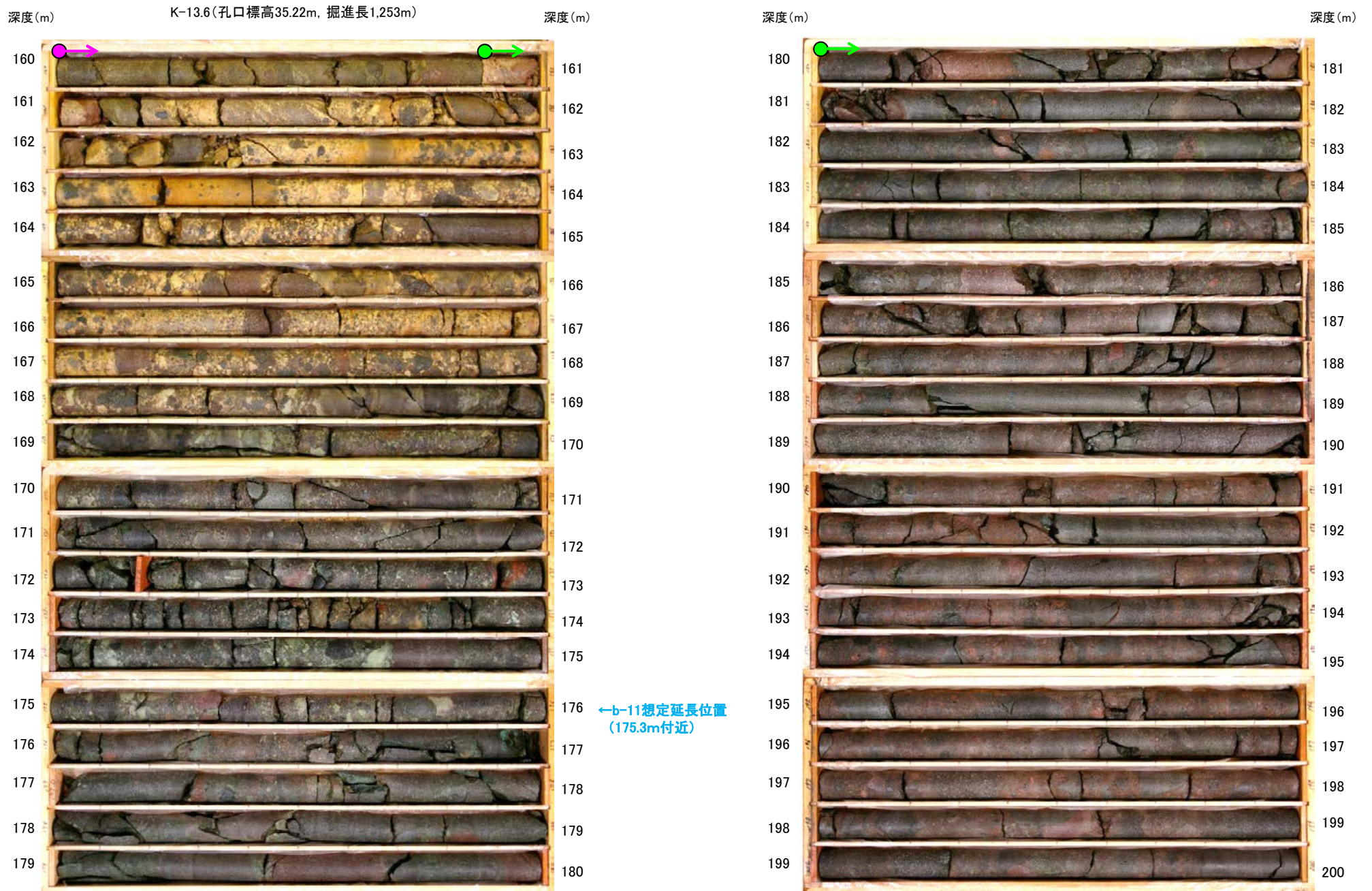
↑ 投影測線

- b-11を確認したボーリング
- b-11が認められないボーリング (深部方向)
- b-11が認められないボーリング (浅部方向)

0 50 100m

・ b-11は、L-13.5孔の深度159.03m, L-13.7孔の深度161.27m, L-14'孔の深度152.45mで認められ、深部及び浅部方向のボーリング孔では認められないことから、深部及び浅部方向へ連続しないと判断。

# b-5~b-13の連続性検討 b-11の連続性:深部延長(K-13.6孔)



コア写真(深度160~180m)

コア写真(深度180~200m)

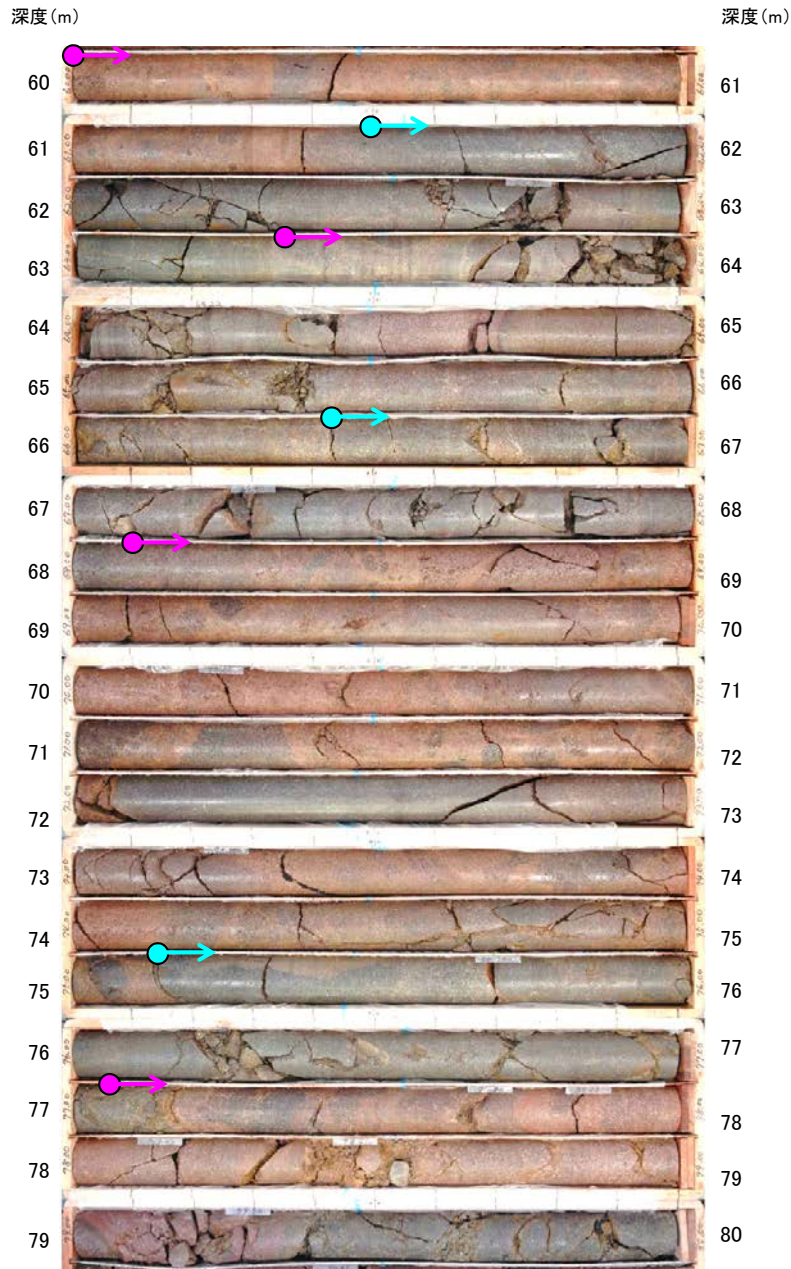
- → 安山岩(角礫質)
- → 凝灰角礫岩

・b-11の深部延長に位置するK-13.6孔には、b-11に対応する破砕部は認められない。



# b-5～b-13の連続性検討 b-11の連続性:浅部延長①(M-14孔)

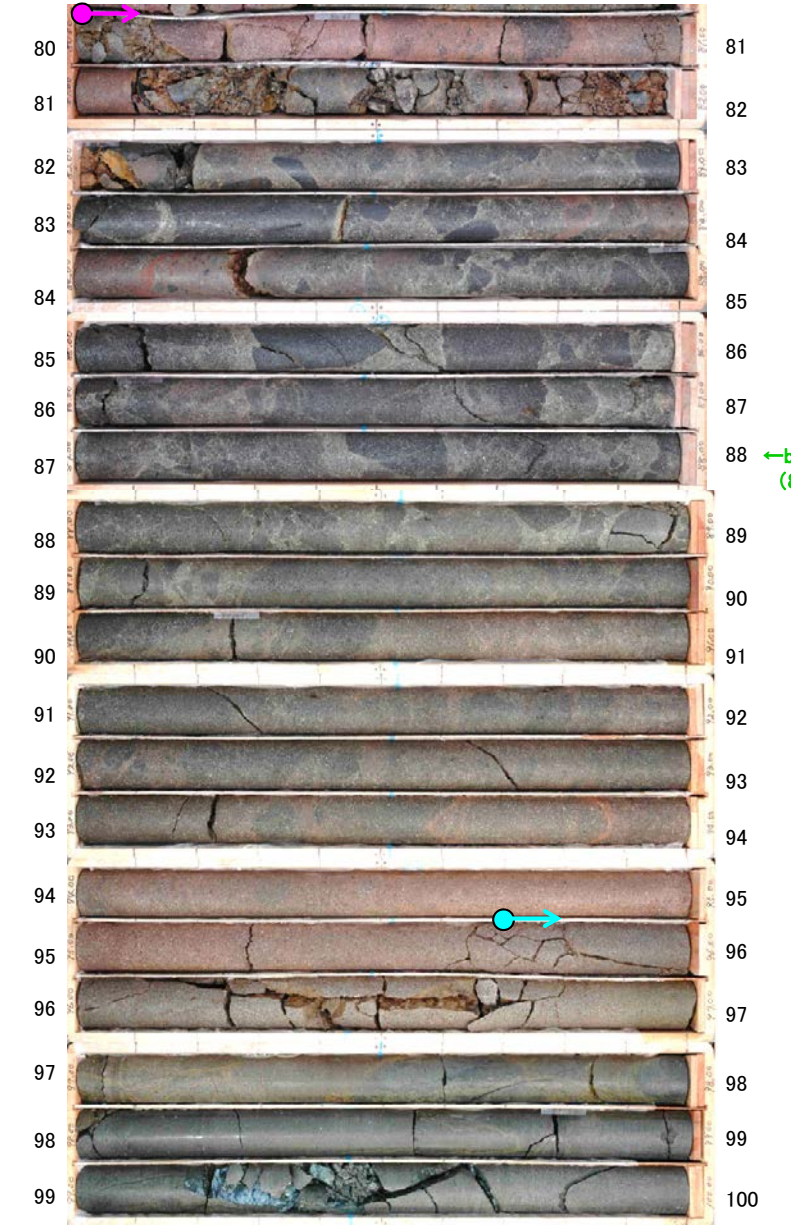
M-14(孔口標高34.08m, 掘進長446m)



コア写真(深度60～80m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)

深度(m)

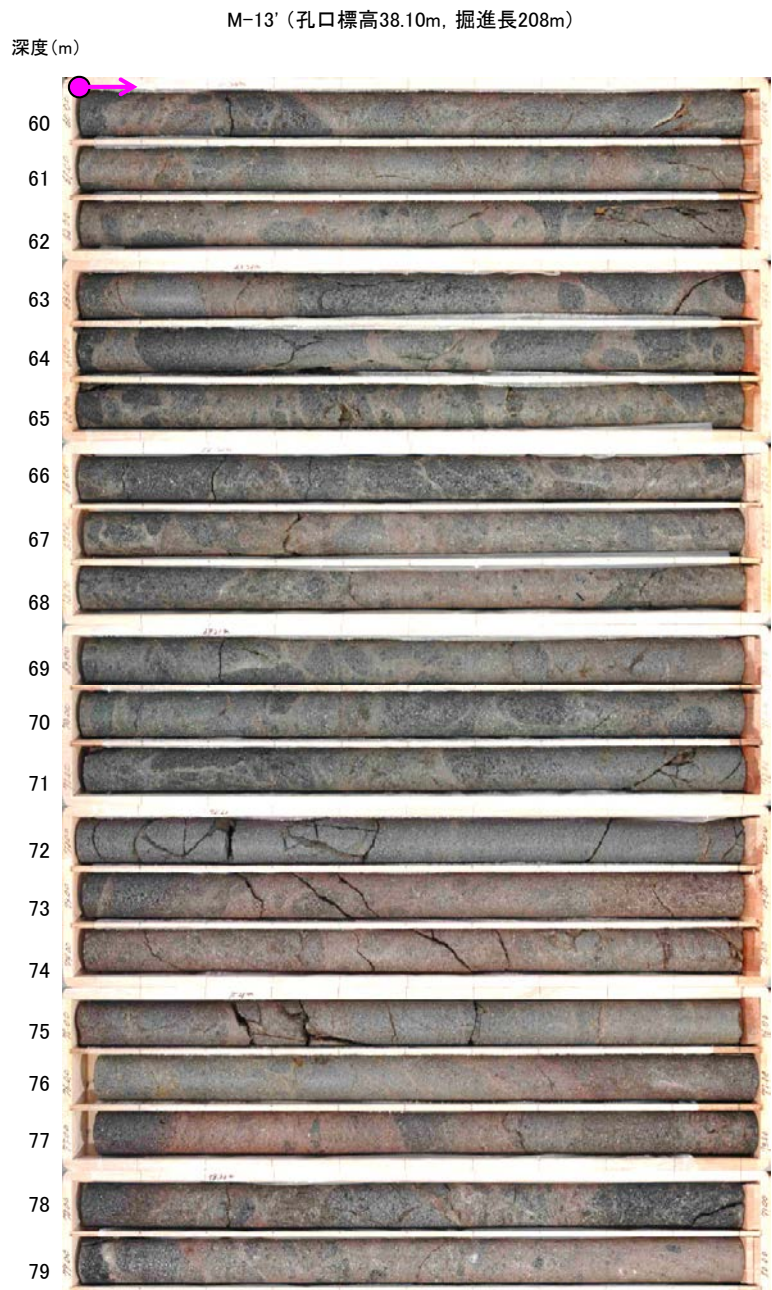


←b-11想定延長位置  
(87.5m付近)

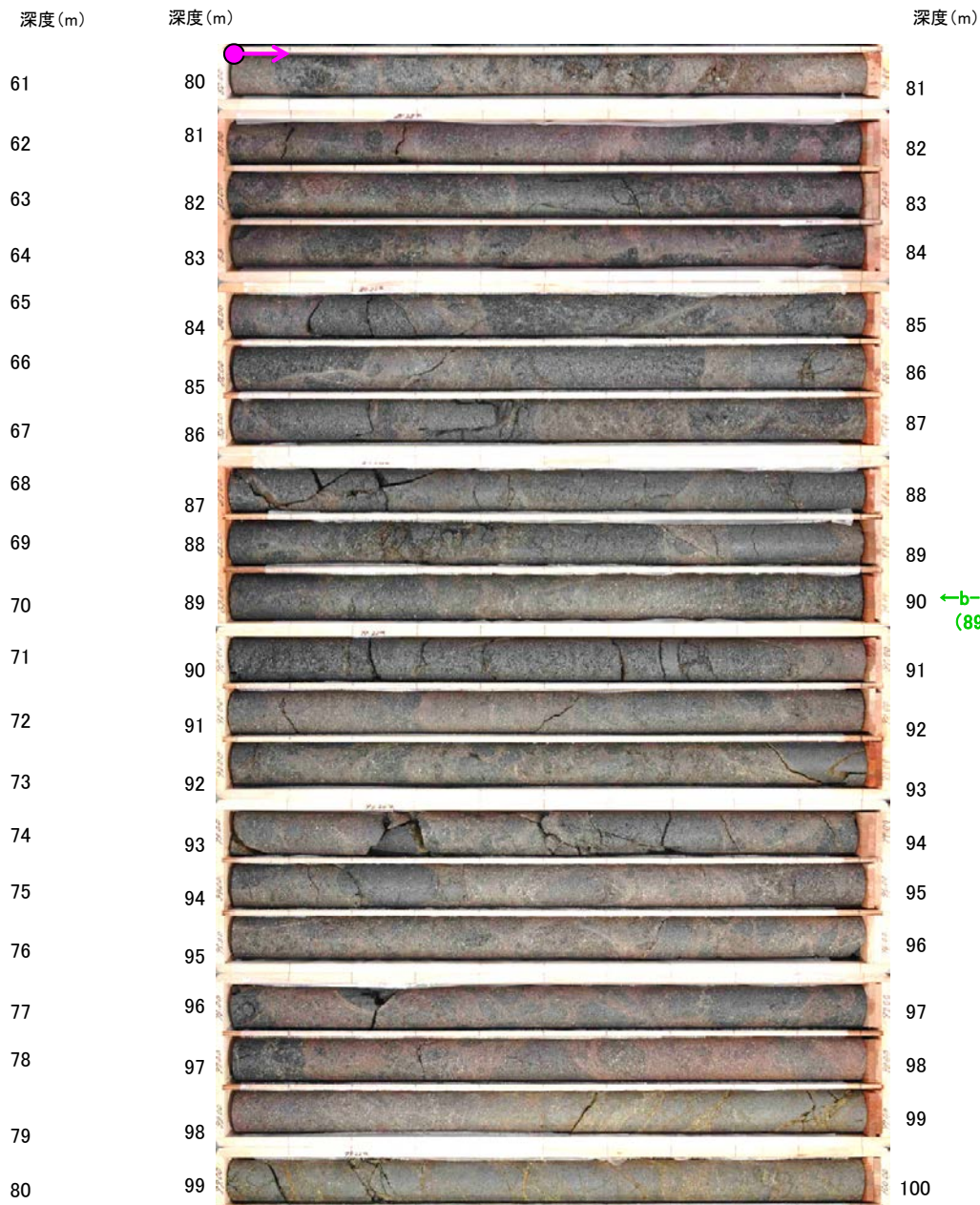
コア写真(深度80～100m)

・b-11の浅部延長に位置するM-14孔には、b-11に対応する破碎部は認められない。

# b-5～b-13の連続性検討 b-11の連続性:浅部延長②(M-13'孔)



コア写真(深度60～80m)



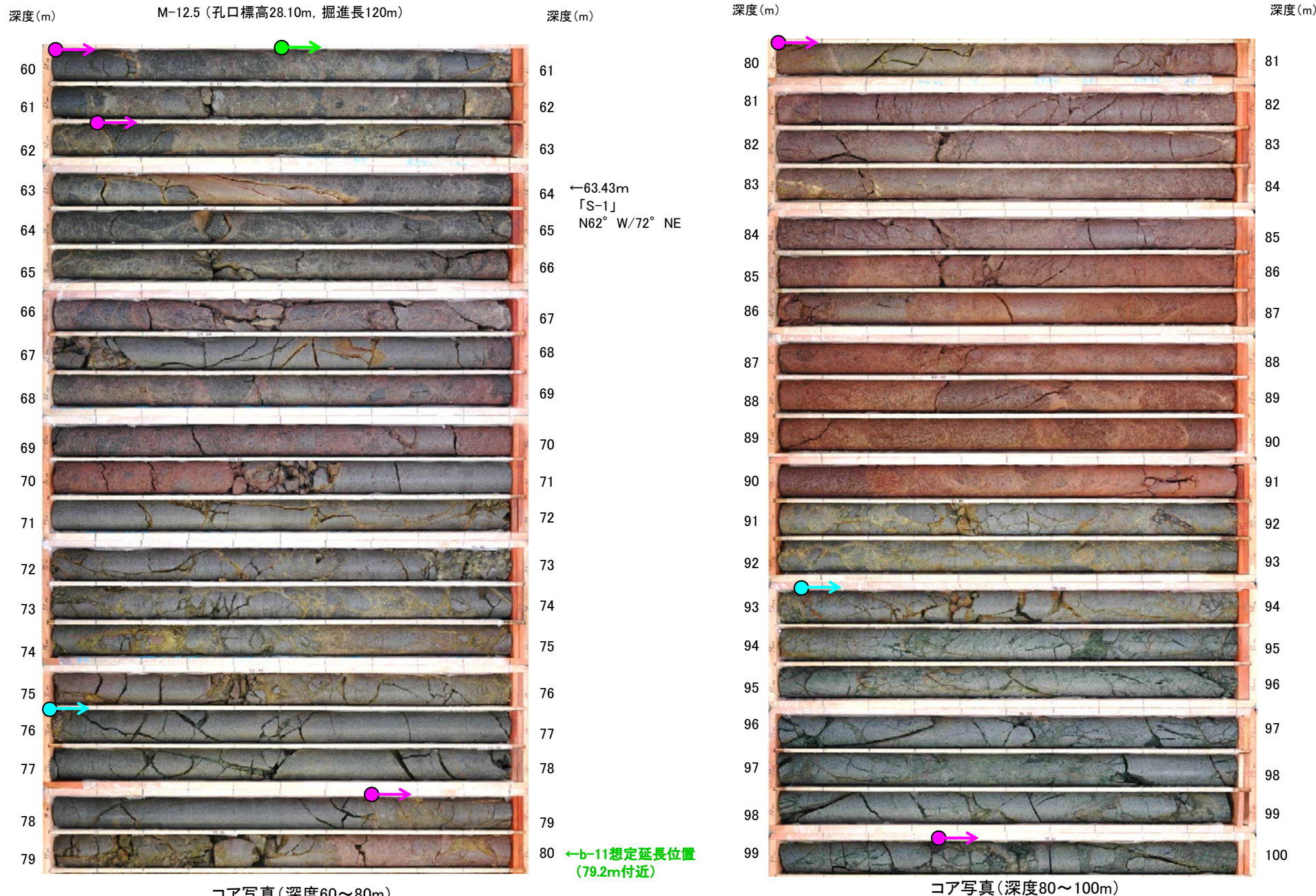
コア写真(深度80～100m)

←b-11想定延長位置  
(89.7m付近)

●→ 安山岩(角礫質)

・b-11の浅部延長に位置するM-13' 孔には、b-11に対応する破砕部は認められない。

# b-5~b-13の連続性検討 b-11の連続性:浅部延長③(M-12.5孔)

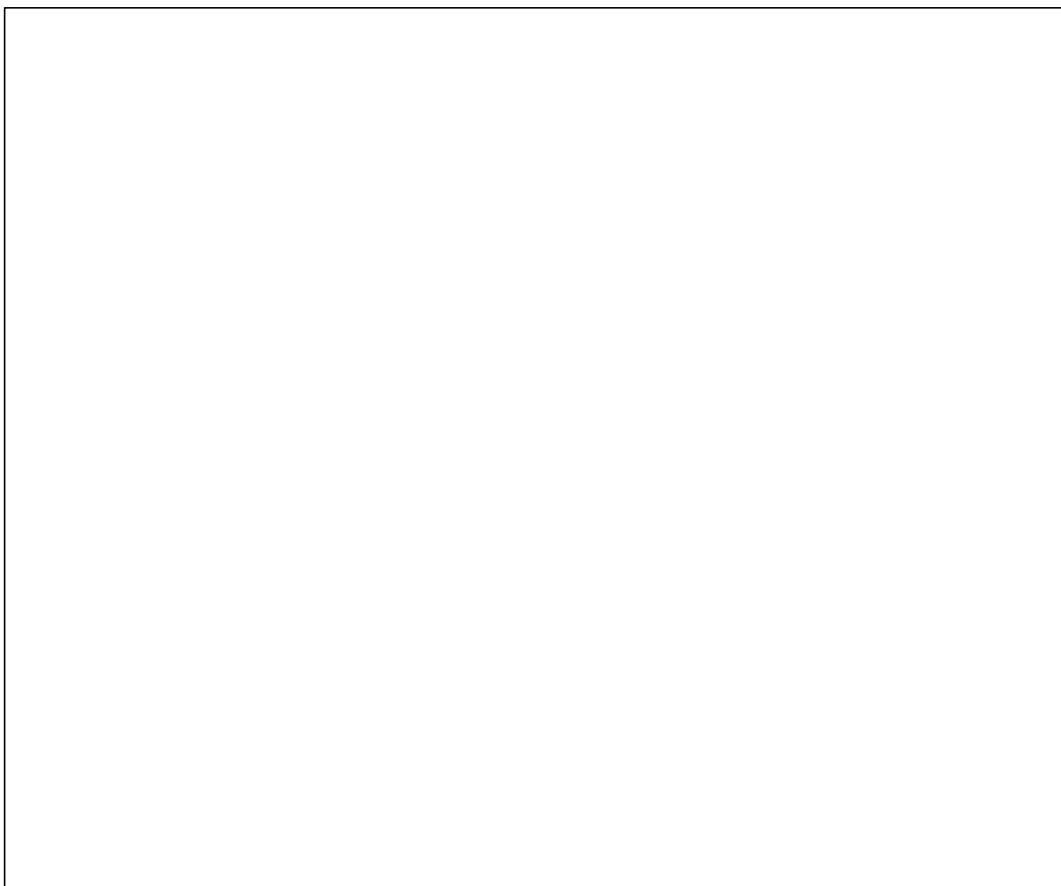


- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

・b-11の浅部延長に位置するM-12.5孔には、b-11に対応する破碎部は認められない。

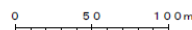
# b-5~b-13の連続性検討 b-12の連続性

名称	孔名:深度	標高	破碎部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)
b-12	L-14':158.21m	EL-119.00m	11	N44° E/49° NW



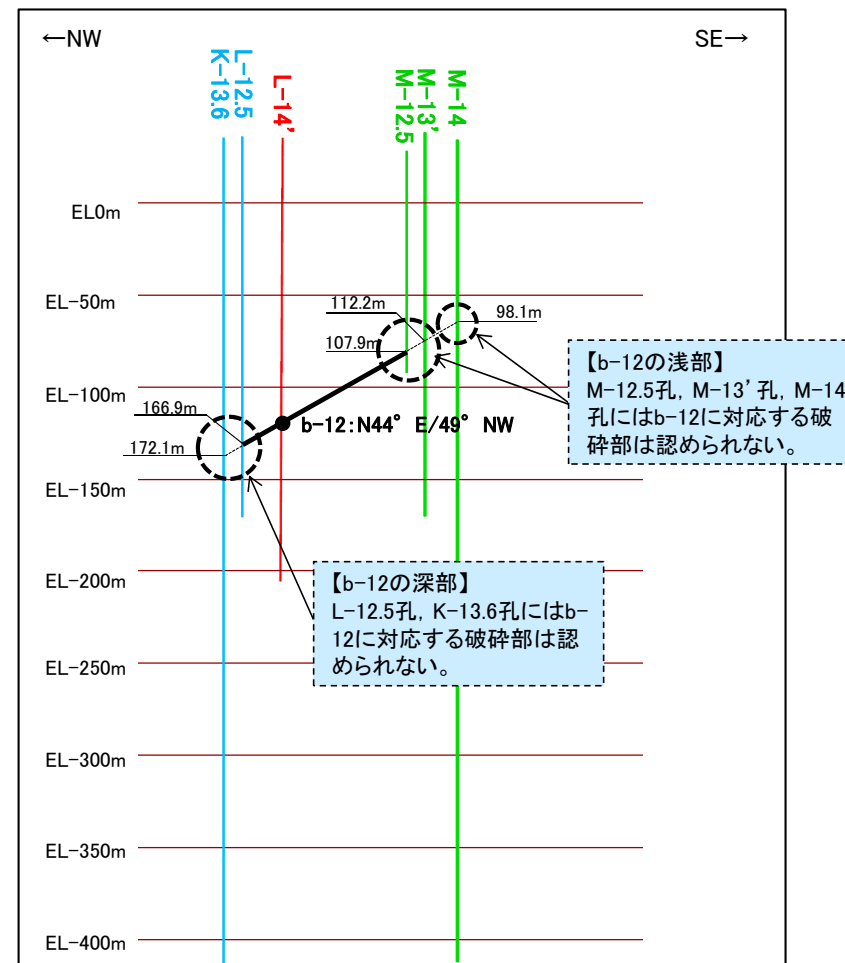
枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図



- 露頭調査範囲
- 断層(敷地内 EL-4.7m)
- b-12確認位置

- 投影測線
- b-12を確認したボーリング
- b-12が認められないボーリング(深部方向)
- b-12が認められないボーリング(浅部方向)



投影断面図(H:V=2:1)

- b-12確認位置
- b-12を確認したボーリング
- b-12が認められないボーリング(深部方向)
- b-12が認められないボーリング(浅部方向)

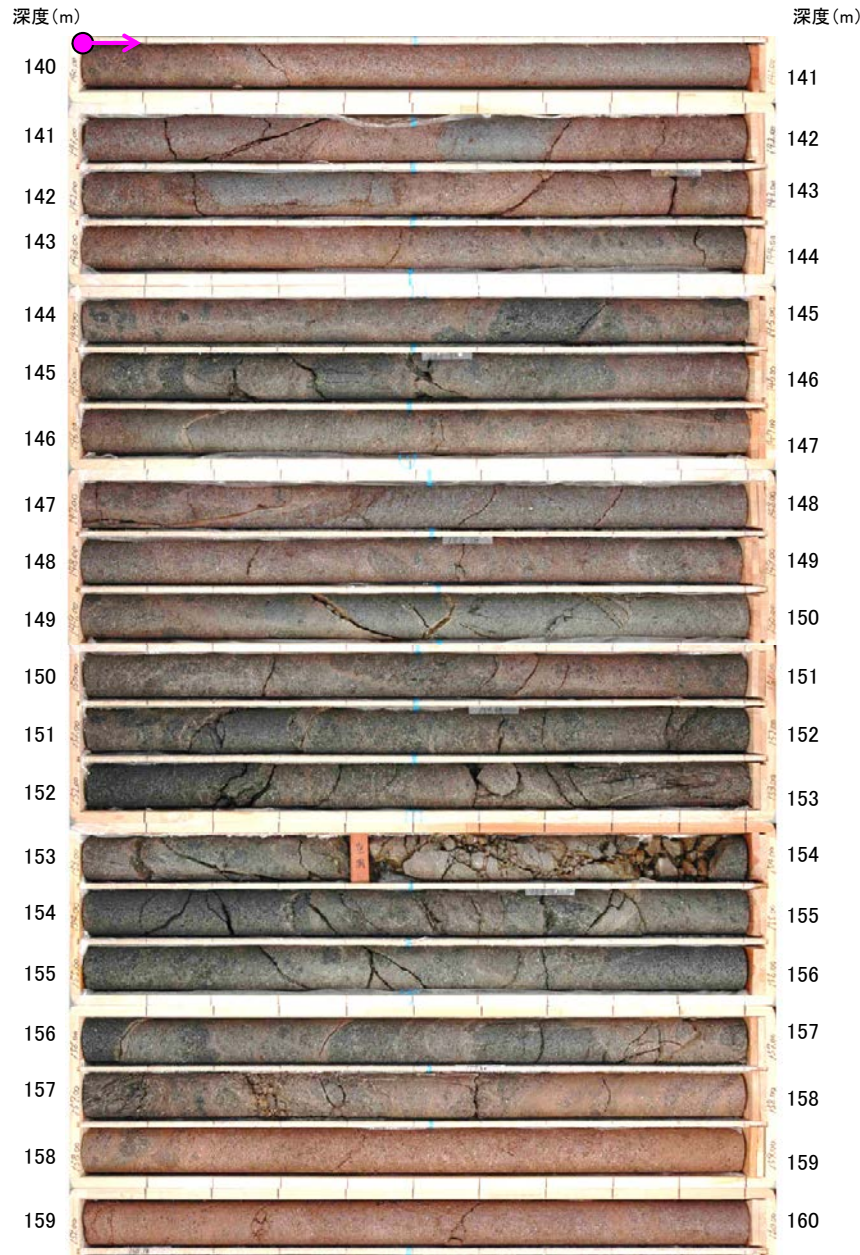
【b-12の浅部】  
M-12.5孔, M-13'孔, M-14孔にはb-12に対応する破碎部は認められない。

【b-12の深部】  
L-12.5孔, K-13.6孔にはb-12に対応する破碎部は認められない。

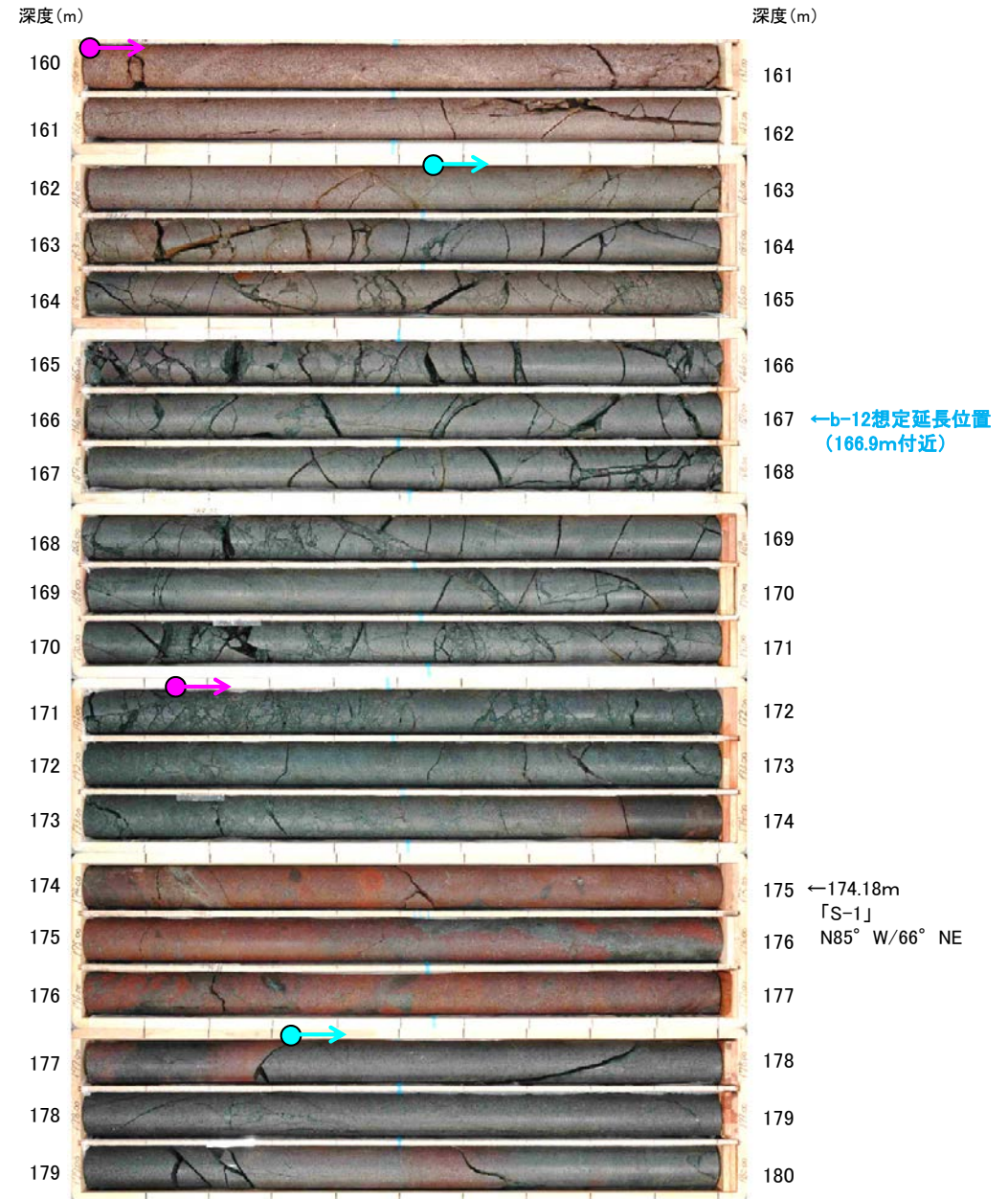
• b-12は、L-14'孔の深度158.21mのみで認められ、深部及び浅部方向のボーリング孔では認められないことから、深部及び浅部方向へ連続しないと判断。

# b-5~b-13の連続性検討 b-12の連続性:深部延長①(L-12.5孔)

L-12.5 (孔口標高35.80m, 掘進長206m)



コア写真(深度140~160m)

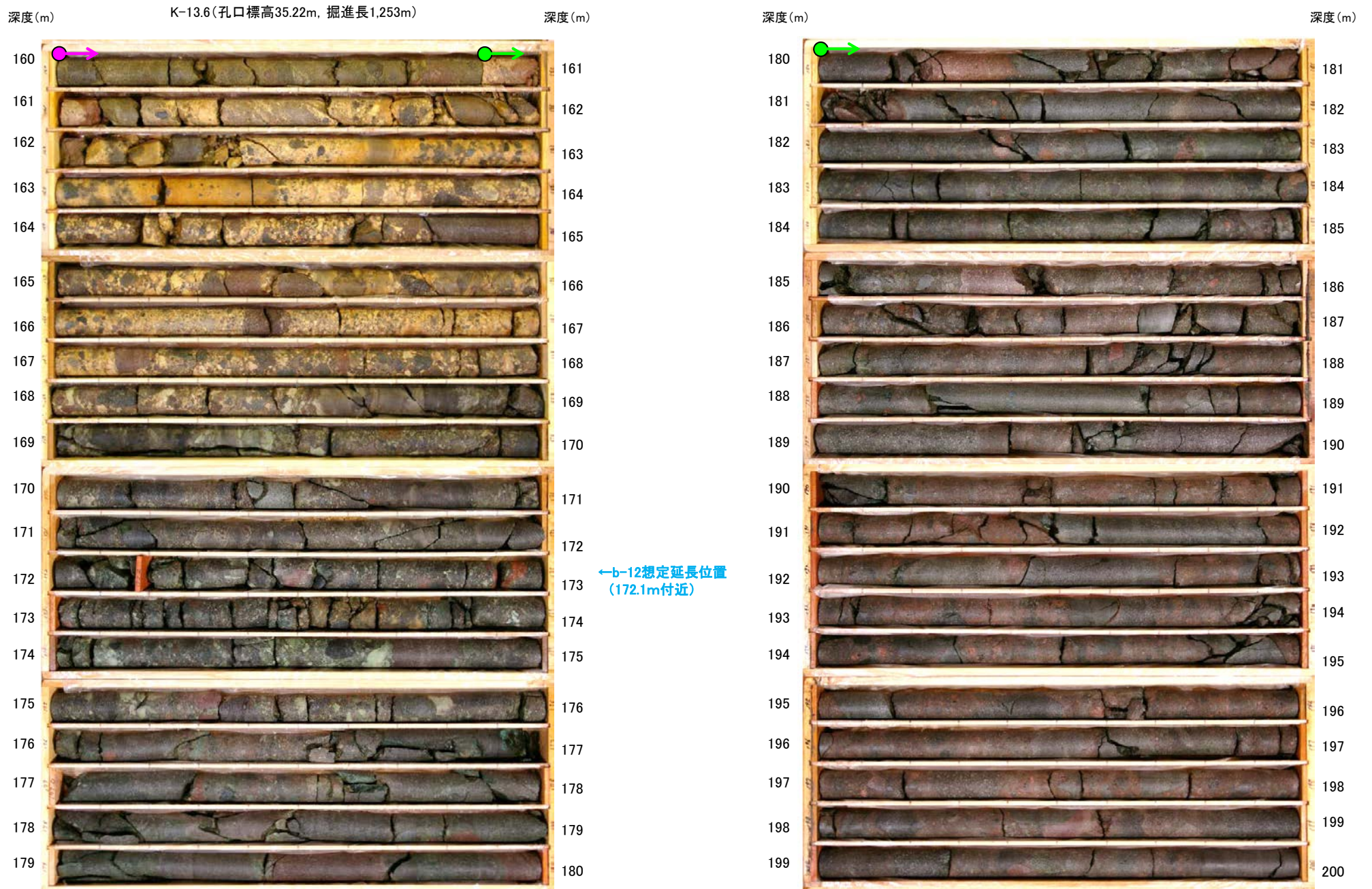


コア写真(深度160~180m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)

・b-12の深部延長に位置するL-12.5孔には、b-12に対応する破砕部は認められない。

# b-5～b-13の連続性検討 b-12の連続性:深部延長②(K-13.6孔)



コア写真(深度160～180m)

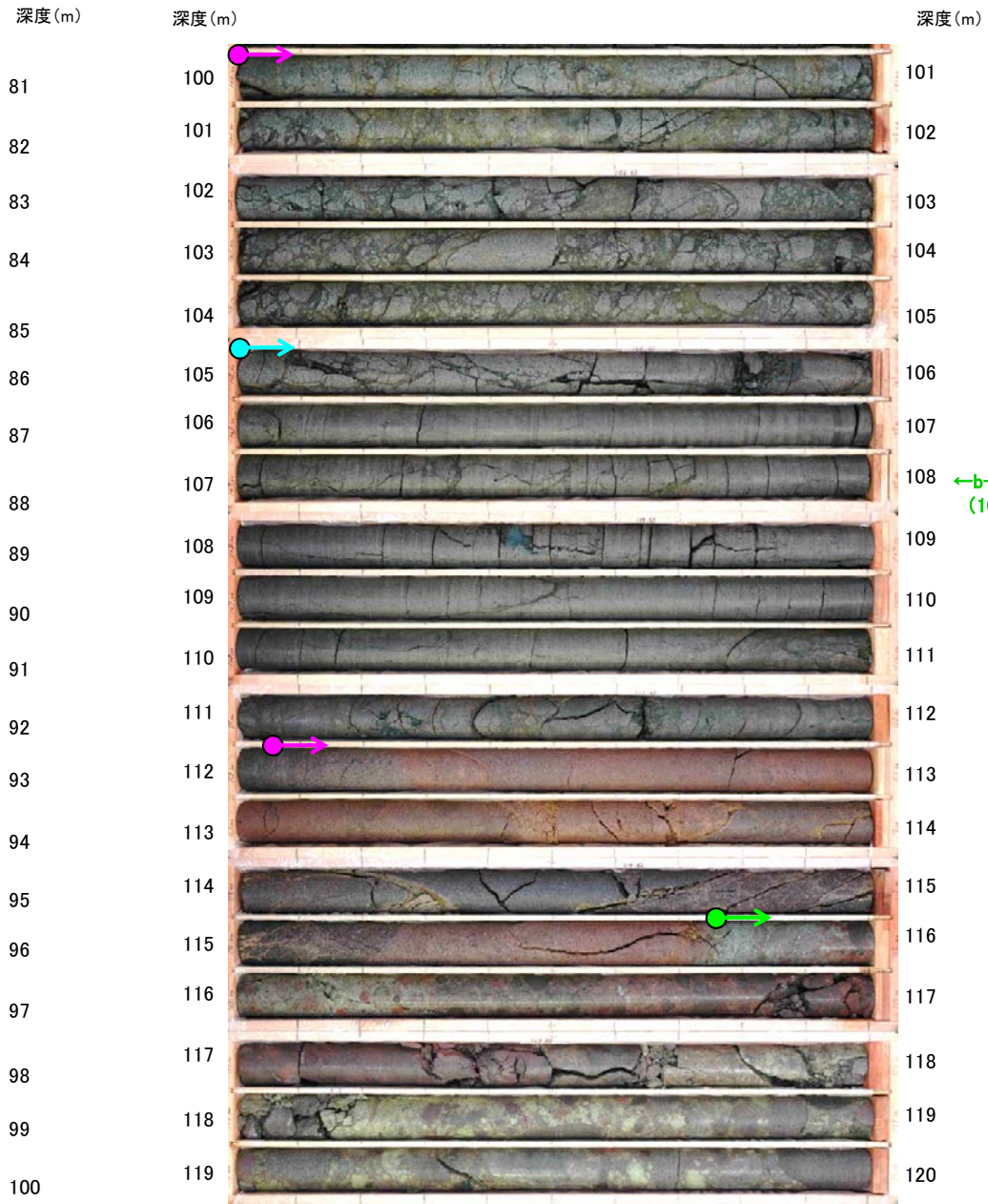
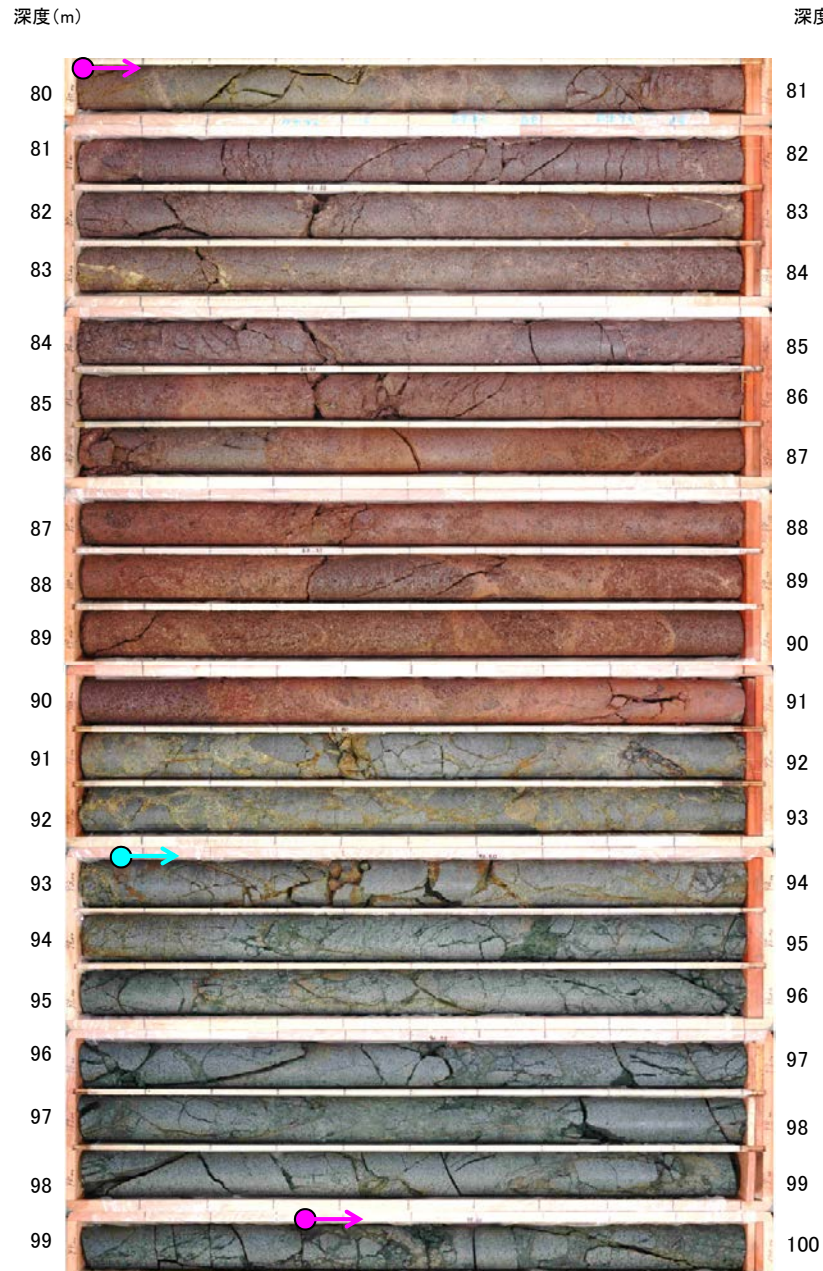
コア写真(深度180～200m)

- → 安山岩(角礫質)
- → 凝灰角礫岩

・b-12の深部延長に位置するK-13.6孔には、b-12に対応する破碎部は認められない。

# b-5~b-13の連続性検討 b-12の連続性:浅部延長①(M-12.5孔)

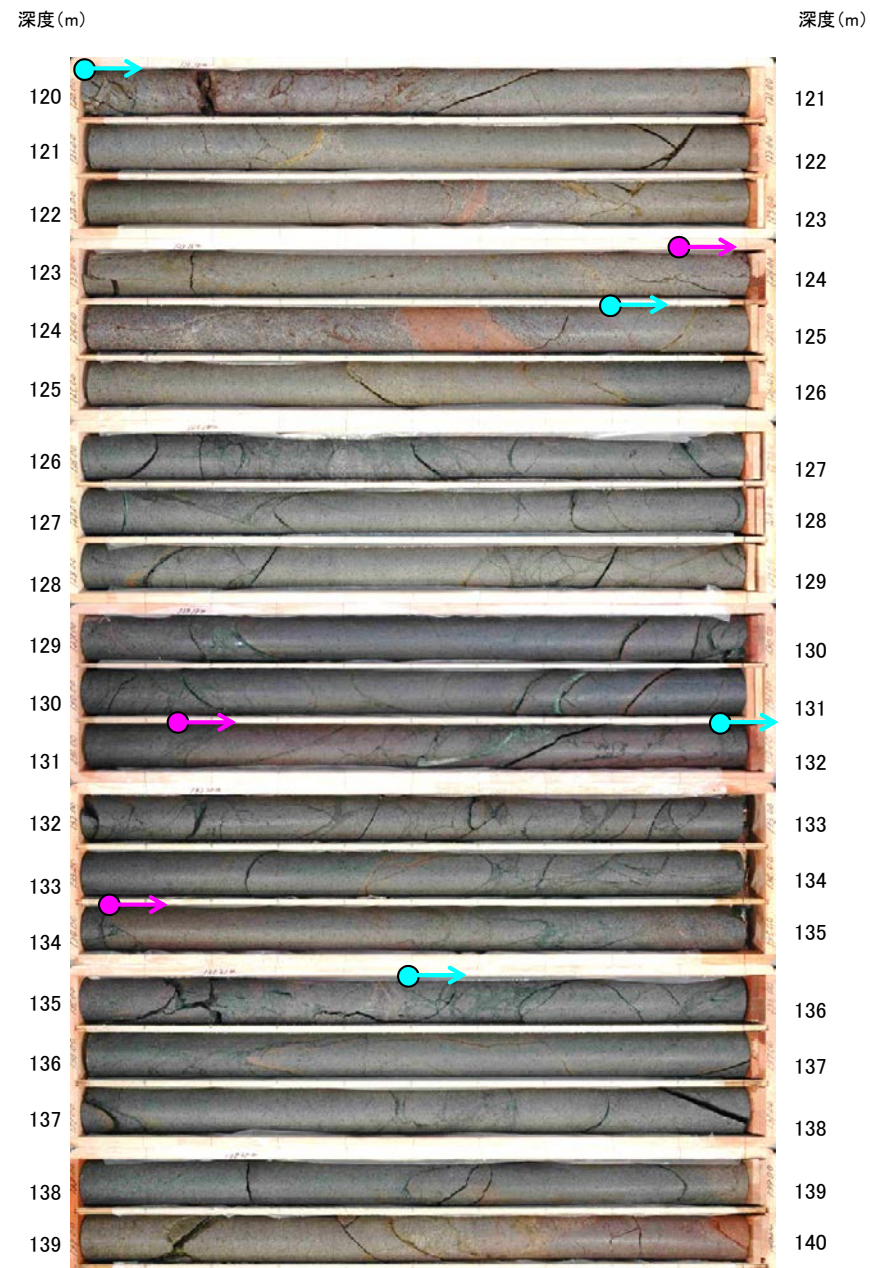
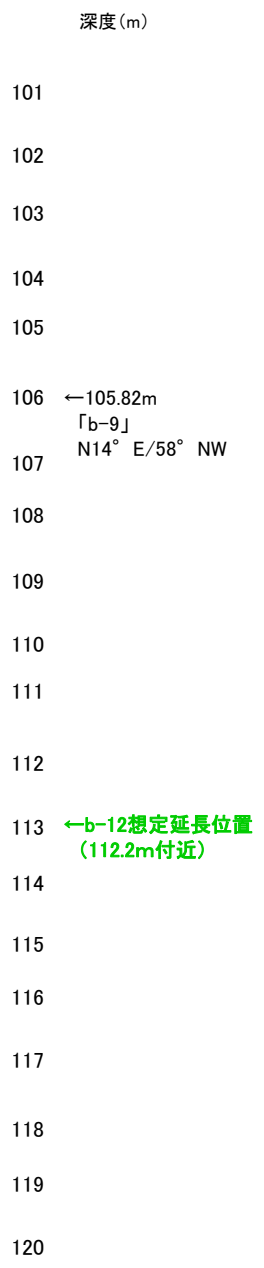
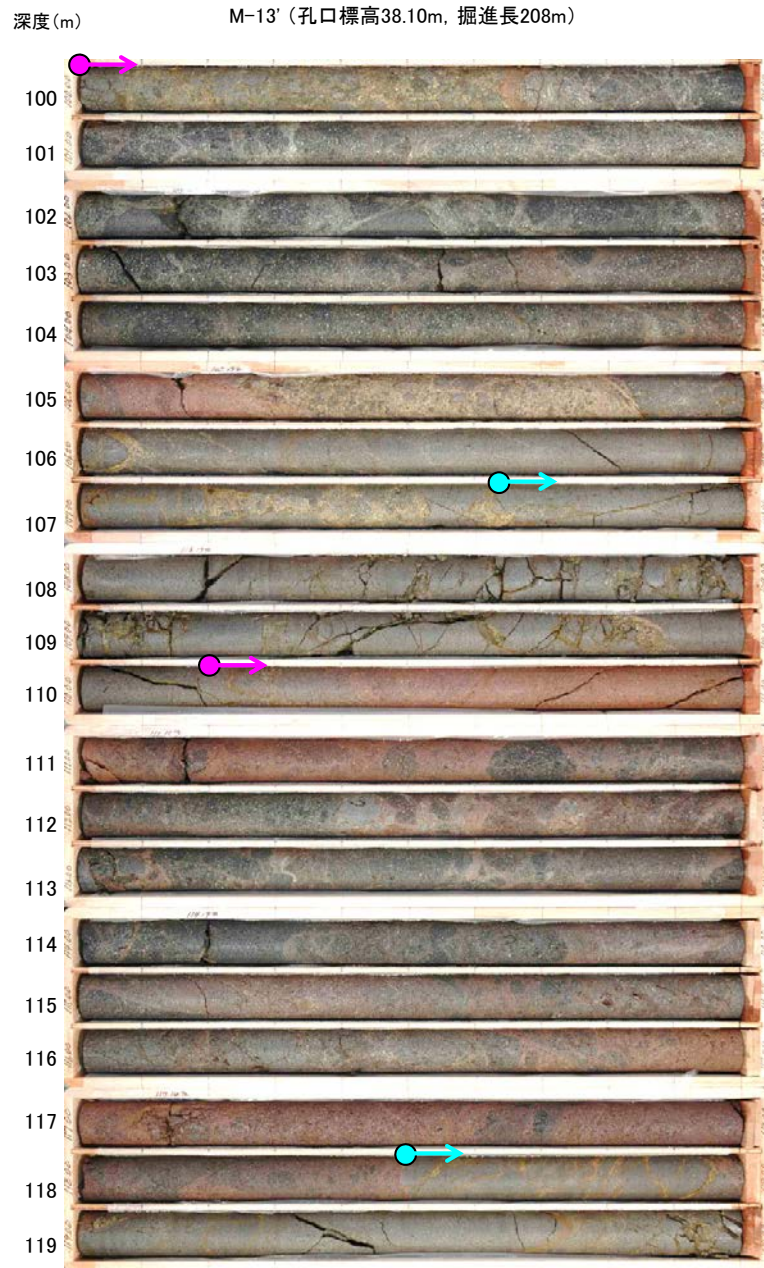
M-12.5 (孔口標高28.10m, 掘進長120m)



- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

・b-12の浅部延長に位置するM-12.5孔には、b-12に対応する破碎部は認められない。

# b-5~b-13の連続性検討 b-12の連続性:浅部延長②(M-13'孔)



コア写真(深度100~120m)

コア写真(深度120~140m)

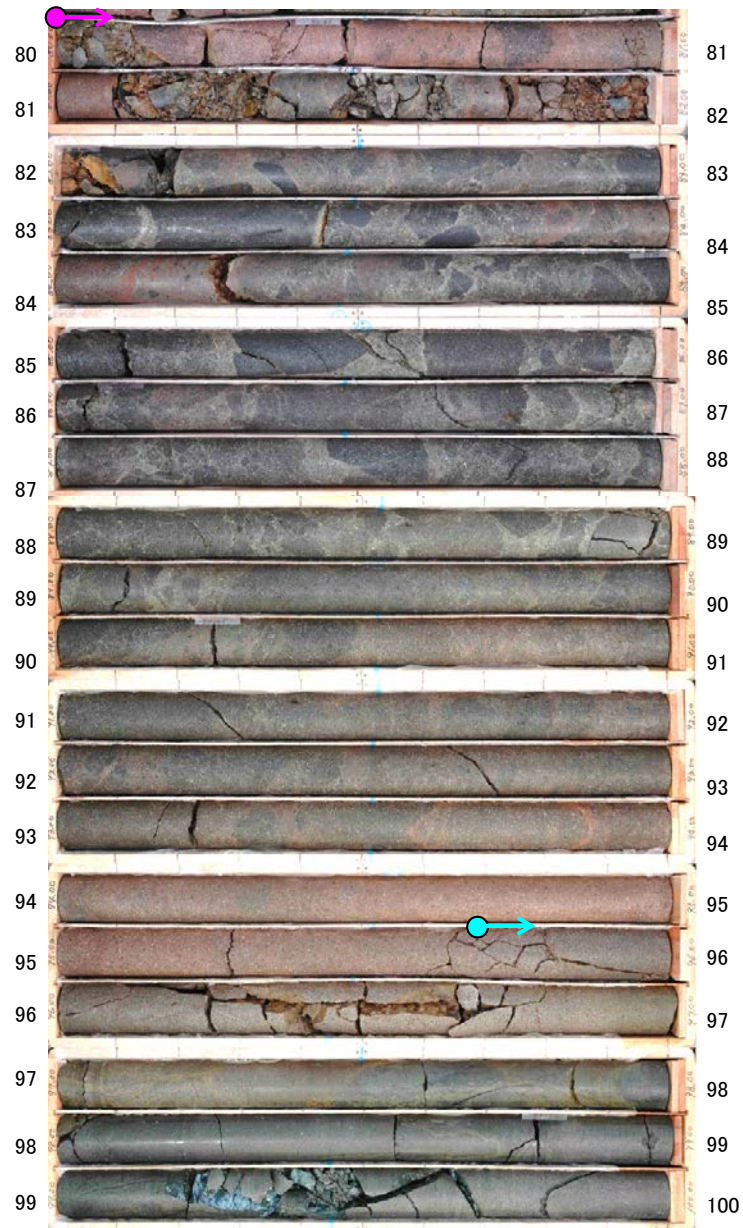
- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)

・b-12の浅部延長に位置するM-13' 孔には、b-12に対応する破碎部は認められない。



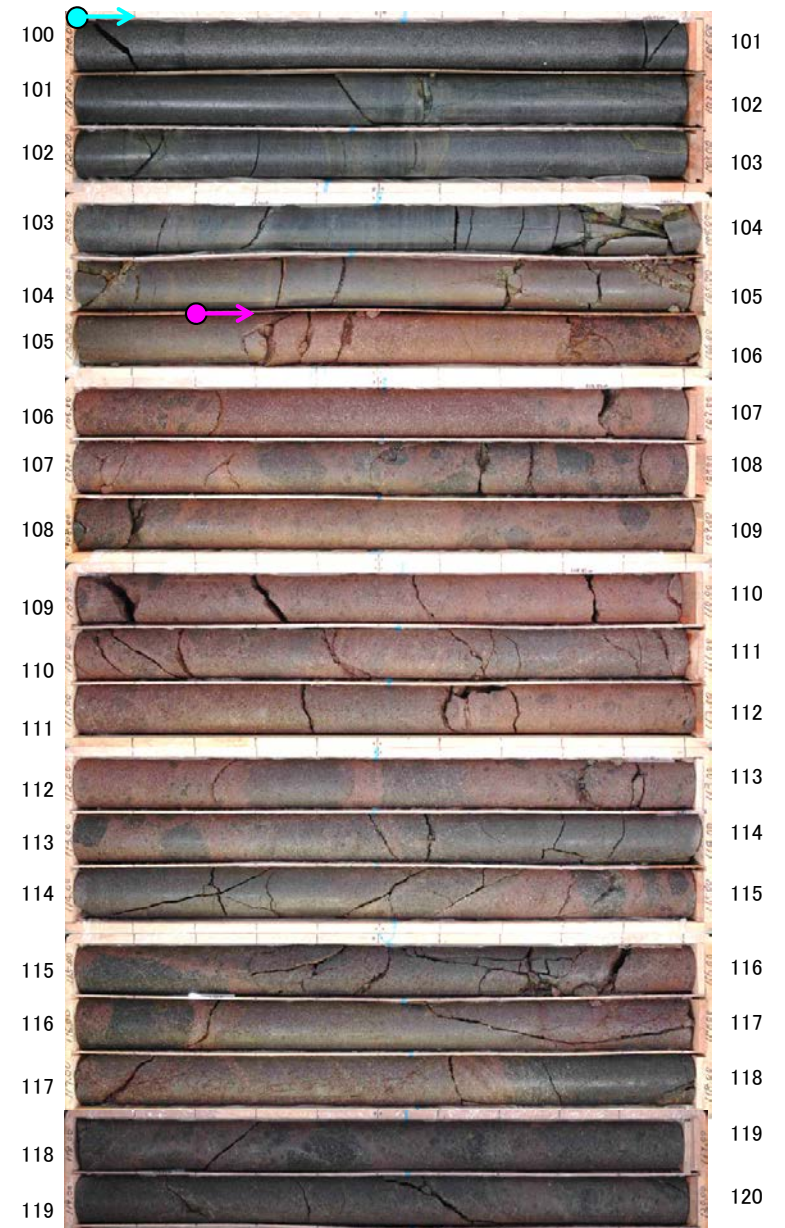
# b-5～b-13の連続性検討 b-12の連続性:浅部延長③(M-14孔)

深度(m) M-14(孔口標高34.08m, 掘進長446m) 深度(m)



コア写真(深度80~100m)

深度(m) 深度(m)



コア写真(深度100~120m)

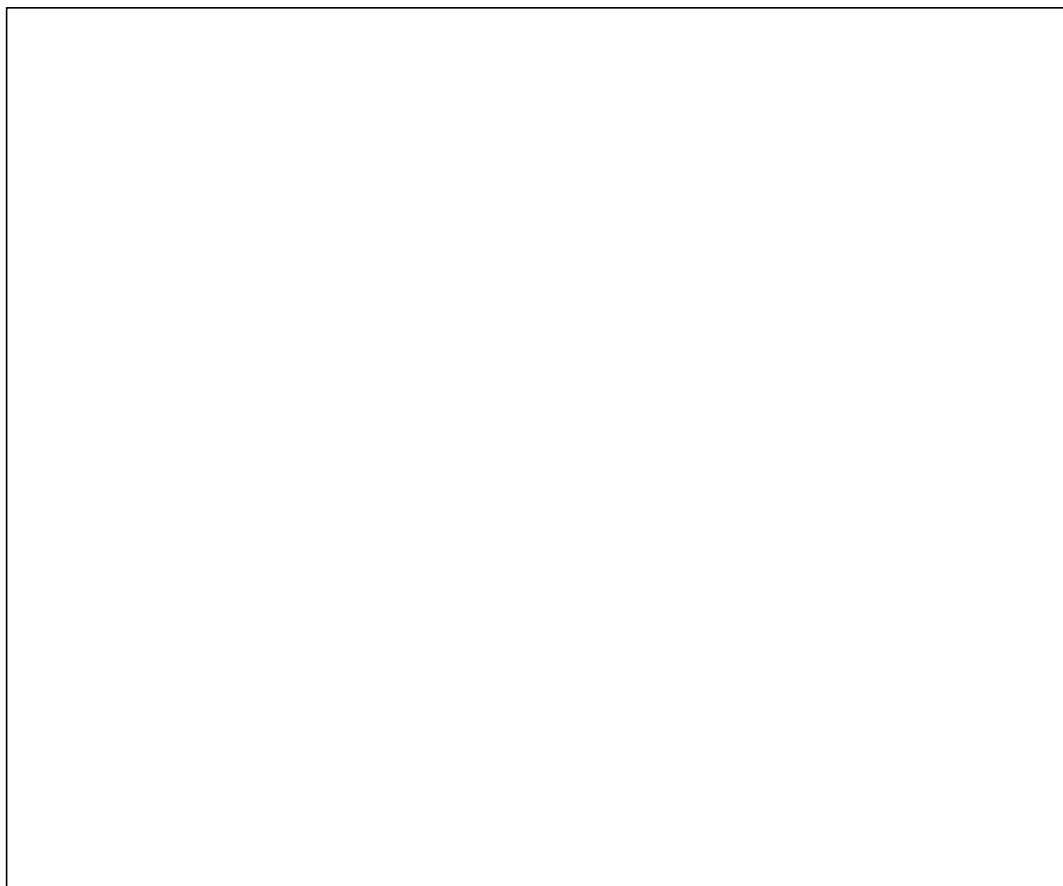
- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)

←b-12想定延長位置  
(98.1m付近)

・b-12の浅部延長に位置するM-14孔には、b-12に対応する破碎部は認められない。

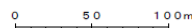
# b-5~b-13の連続性検討 b-13の連続性

名称	孔名:深度	標高	破碎部の幅 (cm)	走向・傾斜 (走向は真北)
b-13	M-14':88.59m	EL-50.41m	16	N40° E/74° NW



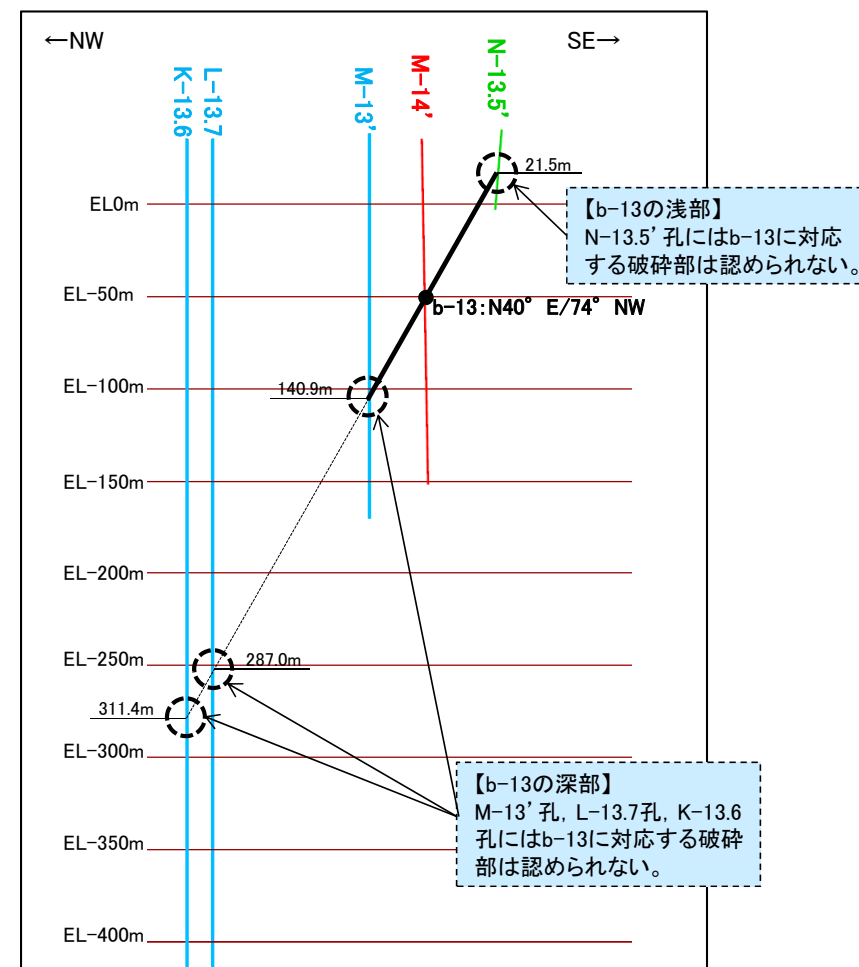
枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図



- 露頭調査範囲
- 断層(敷地内 EL-4.7m)
- b-13確認位置

- 投影測線
- b-13を確認したボーリング
- b-13が認められないボーリング(深部方向)
- b-13が認められないボーリング(浅部方向)

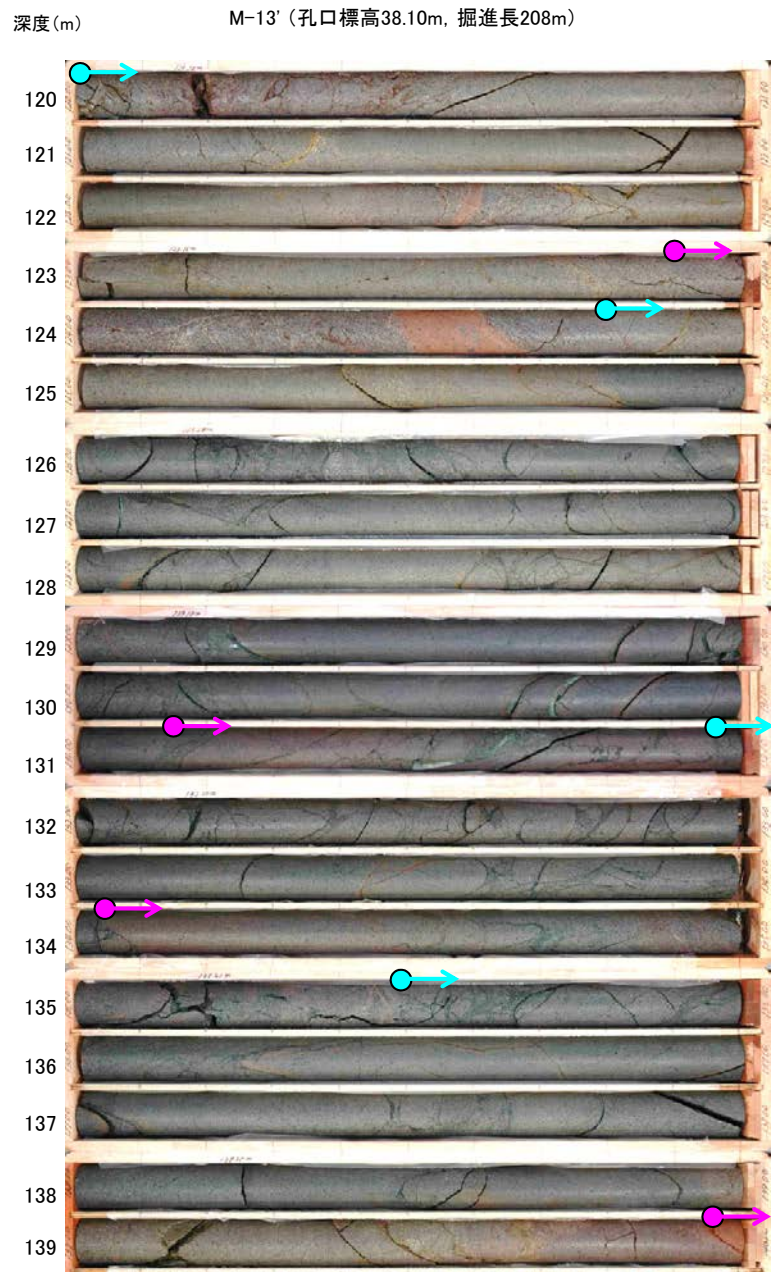


投影断面図(H:V=2:1)

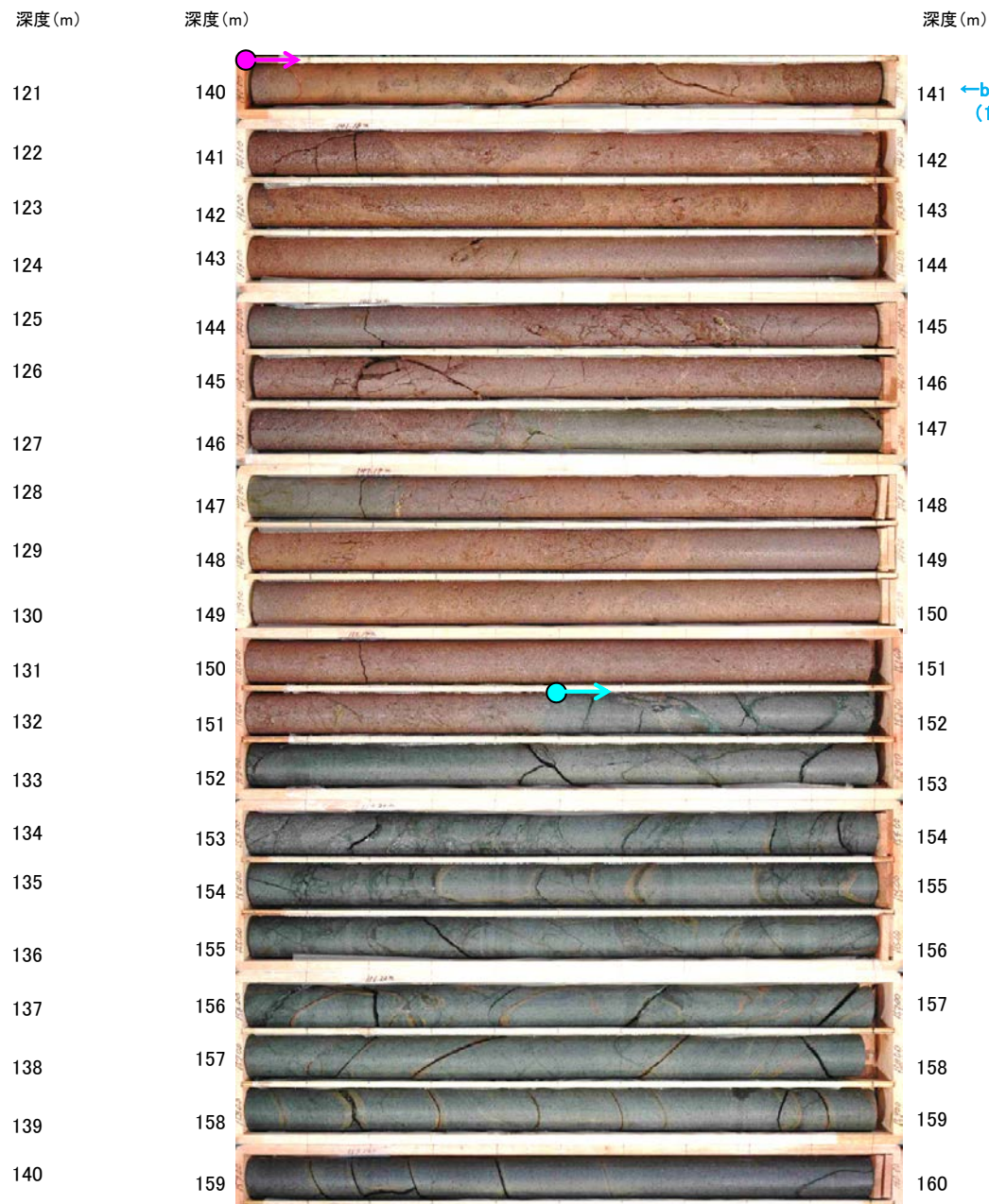
- b-13確認位置
- b-13を確認したボーリング
- b-13が認められないボーリング(深部方向)
- b-13が認められないボーリング(浅部方向)

• b-13は、M-14' 孔の深度88.59mのみで認められ、深部及び浅部方向のボーリング孔では認められないことから、深部及び浅部方向へ連続しないと判断。

# b-5~b-13の連続性検討 b-13の連続性:深部延長①(M-13'孔)



コア写真(深度120~140m)



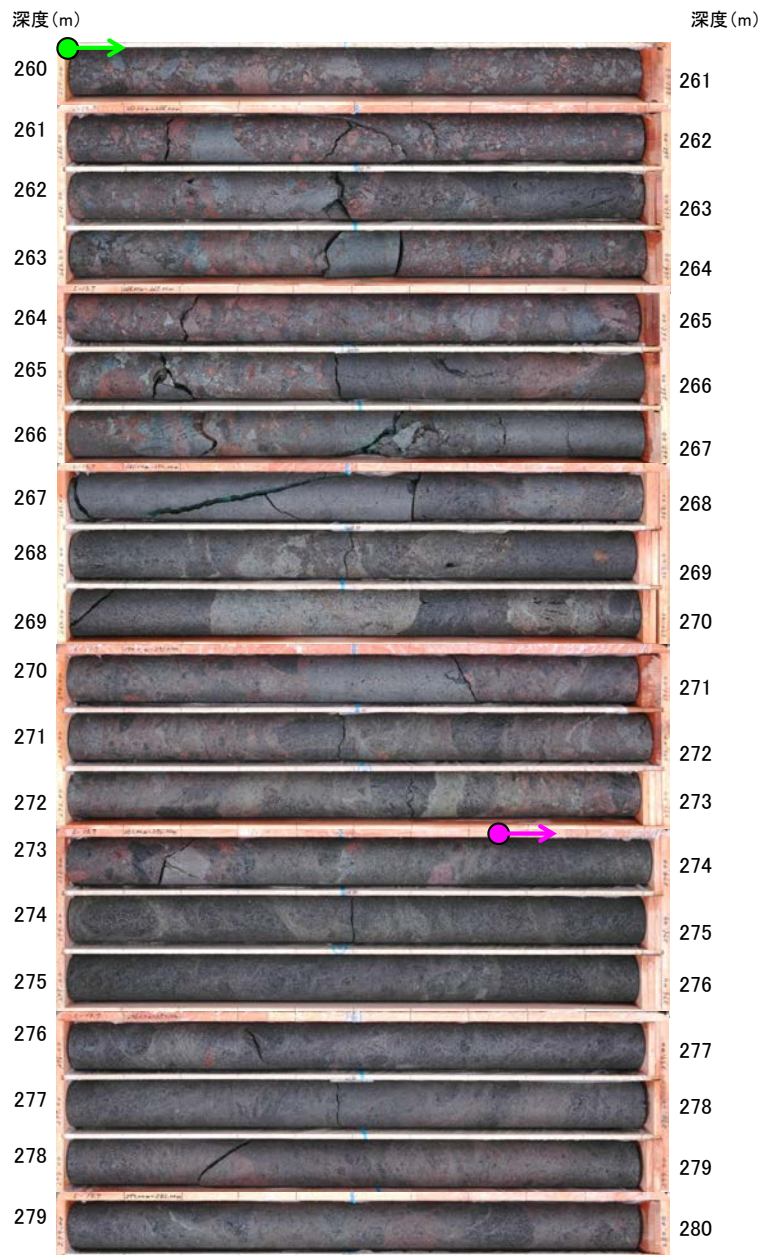
コア写真(深度140~160m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)

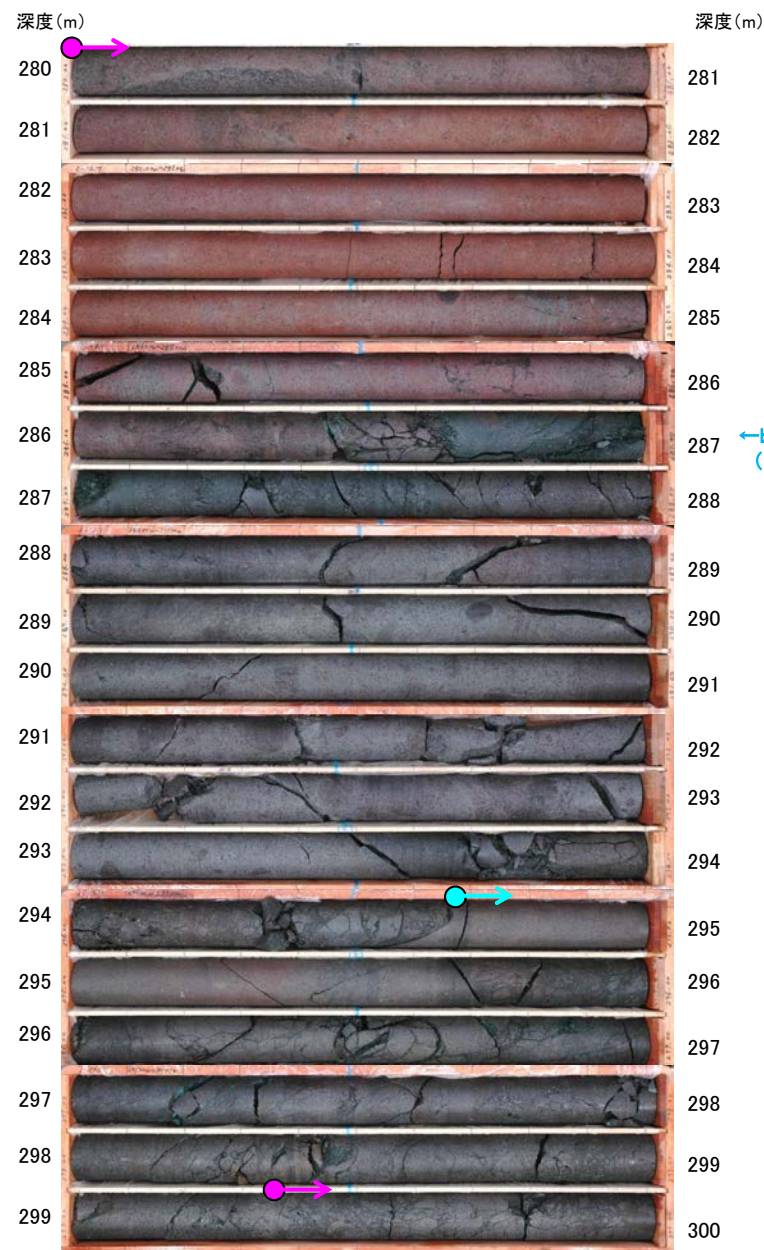
・b-13の深部延長に位置するM-13' 孔には、b-13に対応する破碎部は認められない。

# b-5～b-13の連続性検討 b-13の連続性: 深部延長②(L-13.7孔)

L-13.7 (孔口標高35.24m, 掘進長600m)



コア写真(深度260～280m)



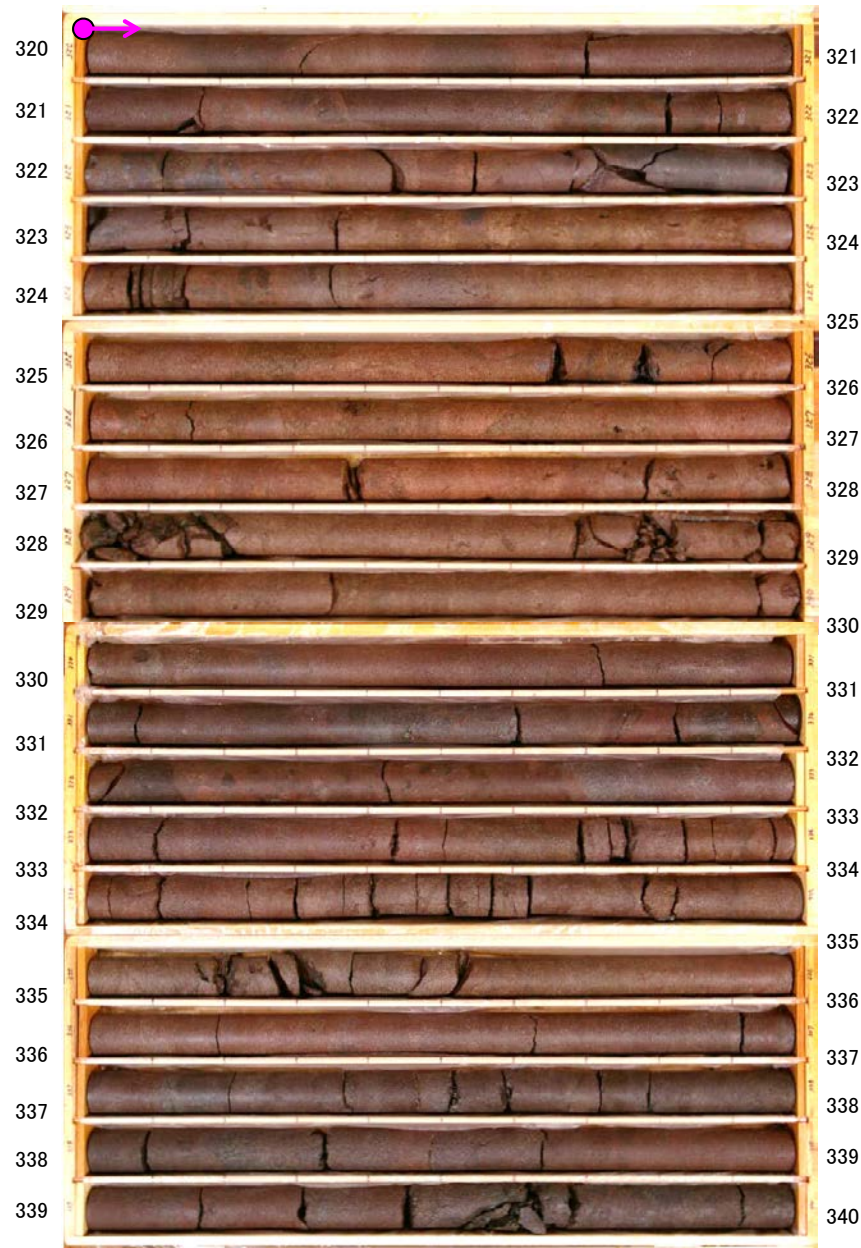
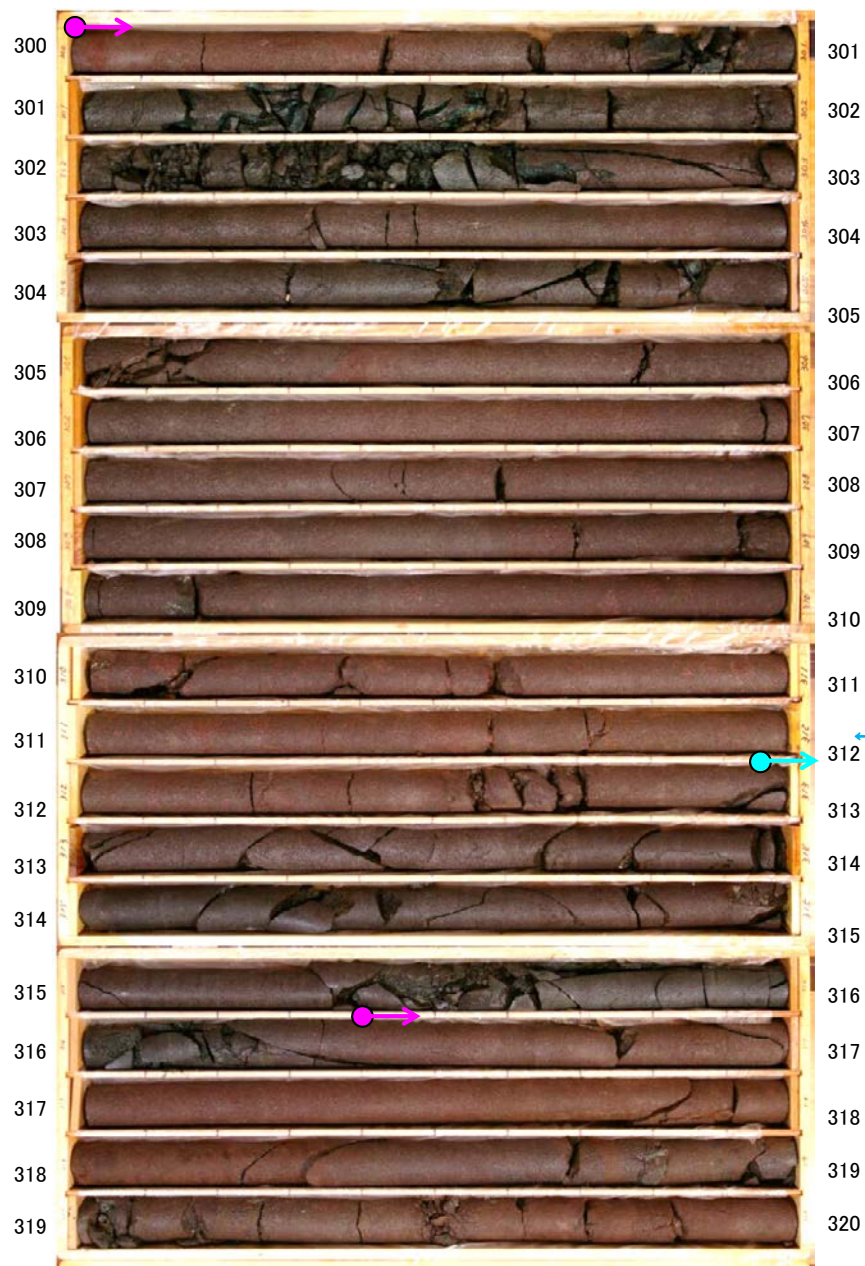
コア写真(深度280～300m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

・b-13の深部延長に位置するL-13.7孔には、b-13に対応する破碎部は認められない。

# b-5～b-13の連続性検討 b-13の連続性: 深部延長③(K-13.6孔)

K-13.6(孔口標高35.22m, 掘進長1,253m)



←b-13想定延長位置  
(311.4m付近)

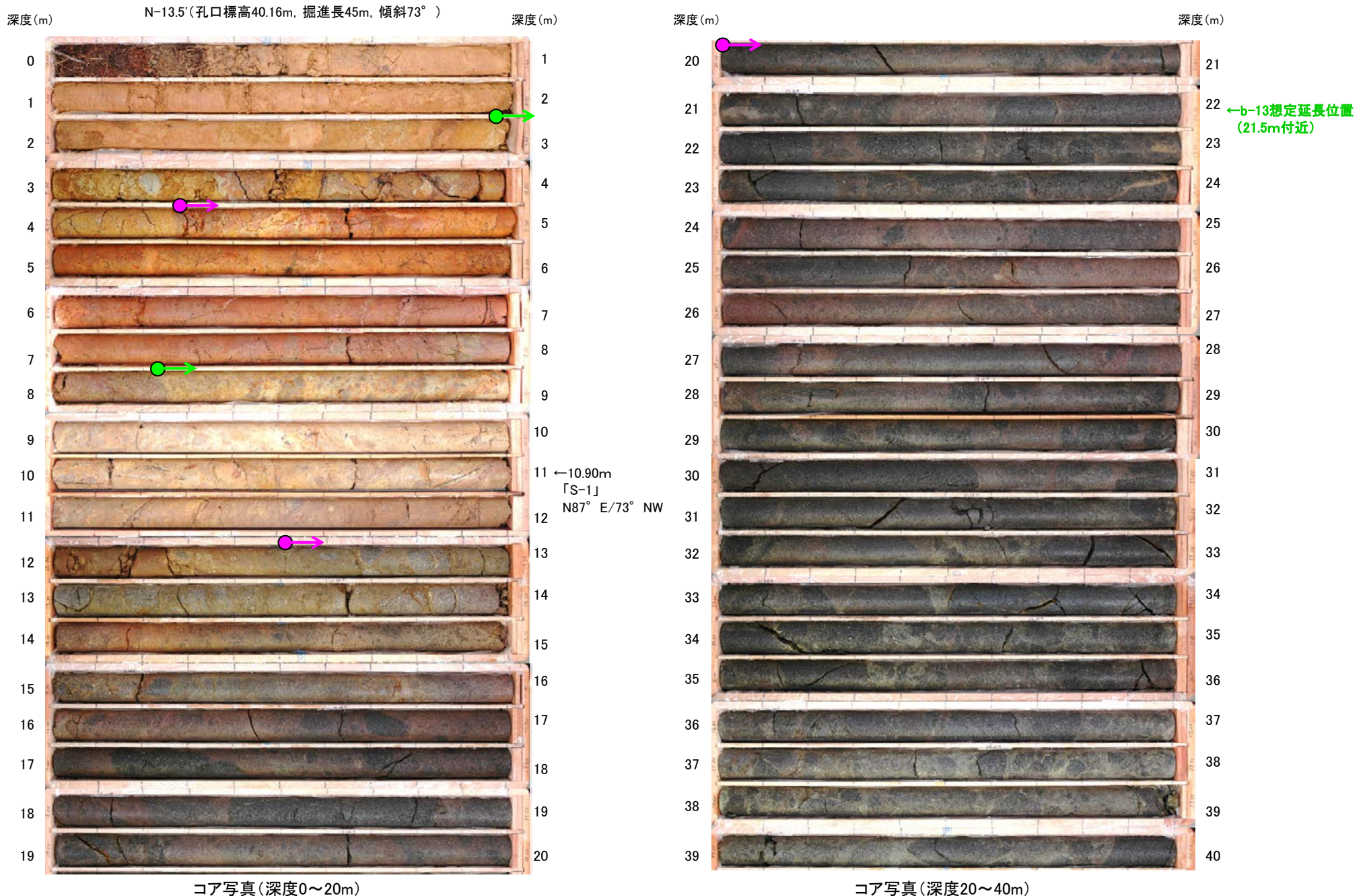
コア写真(深度320～340m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)

コア写真(深度300～320m)

・b-13の深部延長に位置するK-13.6孔には、b-13に対応する破碎部は認められない。

# b-5~b-13の連続性検討 b-13の連続性:浅部延長(N-13.5' 孔)



- → 安山岩(角礫質)
- → 凝灰角礫岩

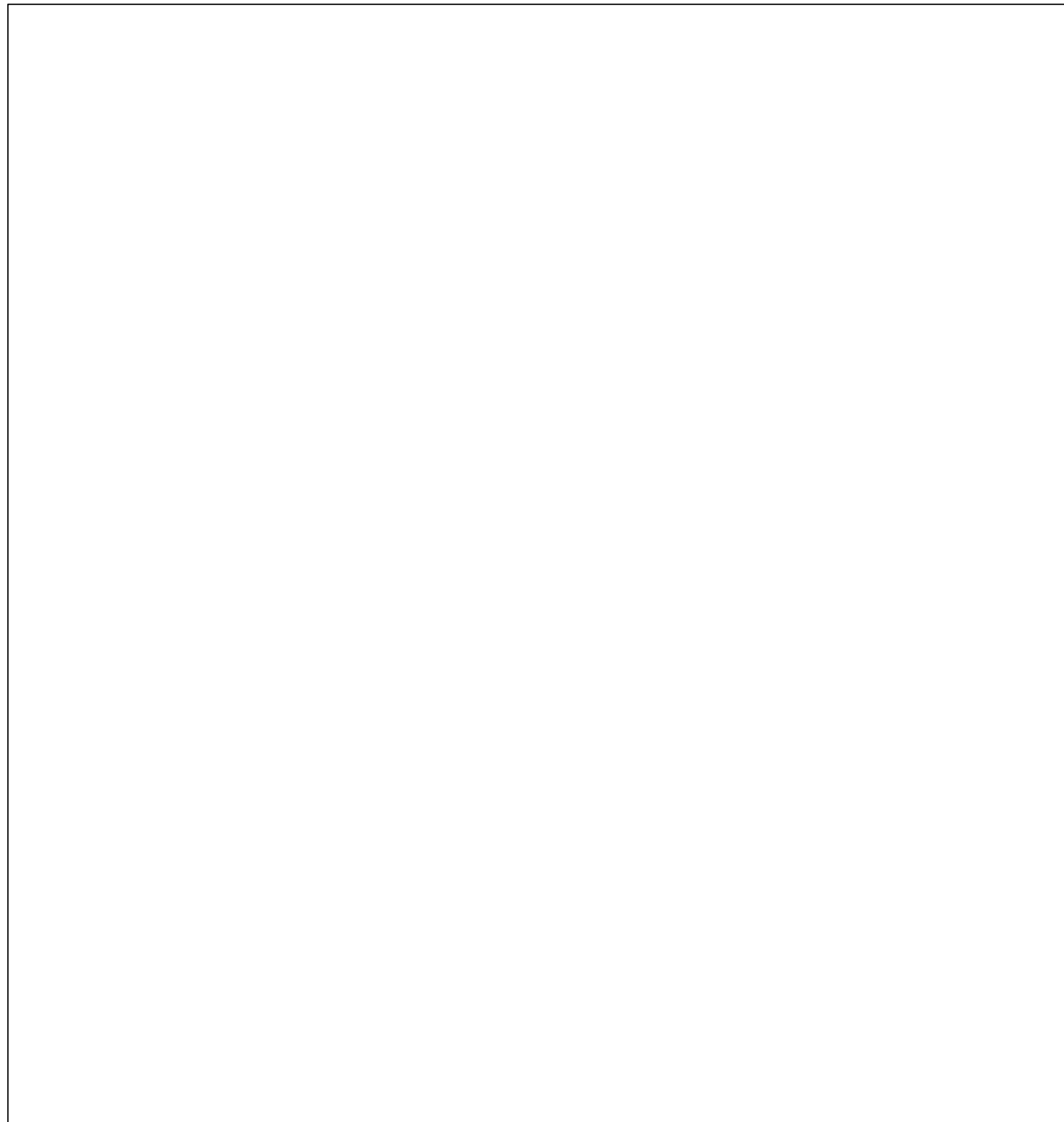
・b-13の浅部延長に位置するN-13.5' 孔には、b-13に対応する破碎部は認められない。

---

## データ集4


### 露頭調査結果

# 重要な安全機能を有する施設 位置図



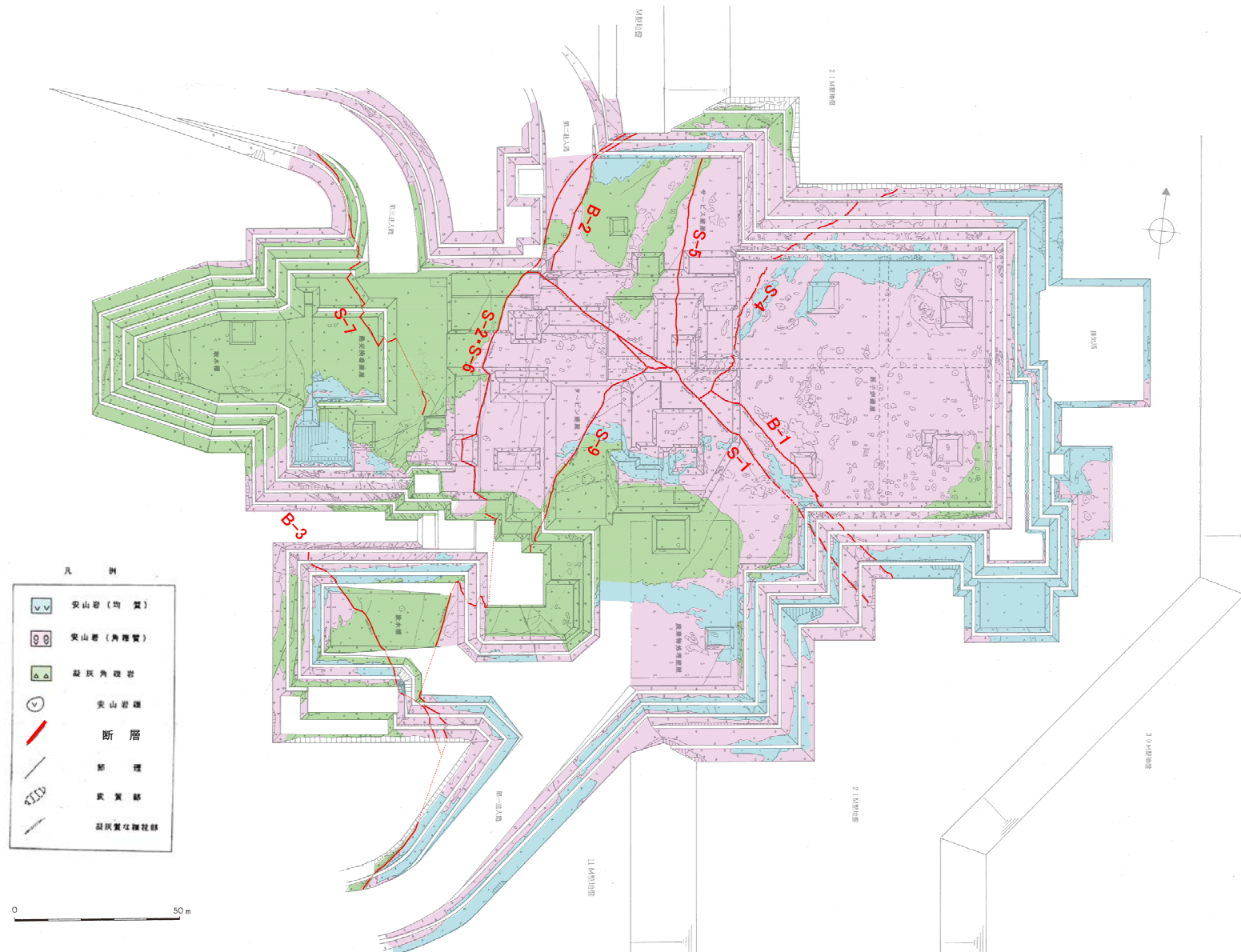
重要な安全機能を有する施設  
(検討中のものを含む)

 耐震重要施設

 重大事故等対処施設



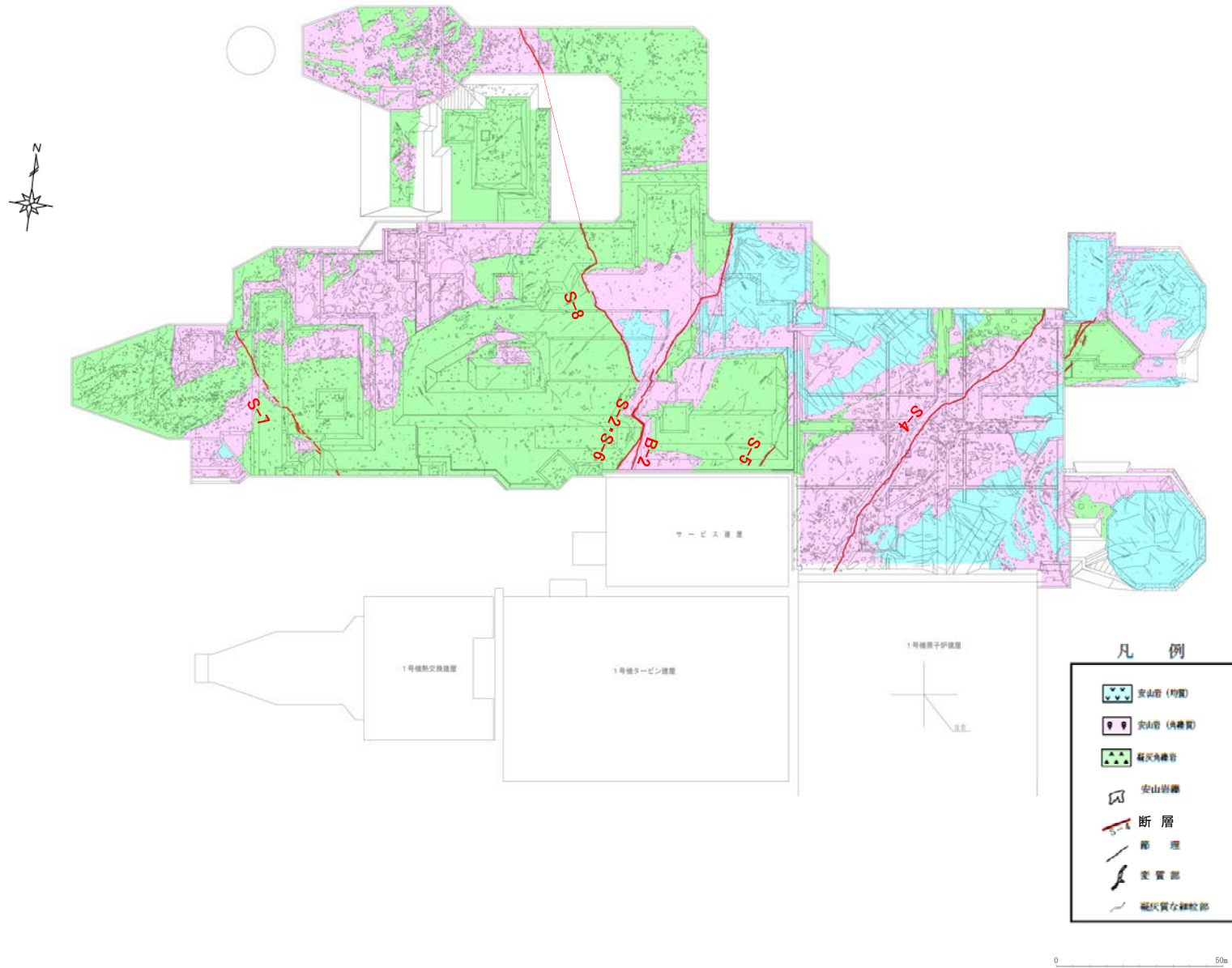
# 1号機基礎掘削面スケッチ



1号機基礎掘削面スケッチ

・1号機基礎掘削面では、断層が9条確認される。

# 2号機基礎掘削面スケッチ

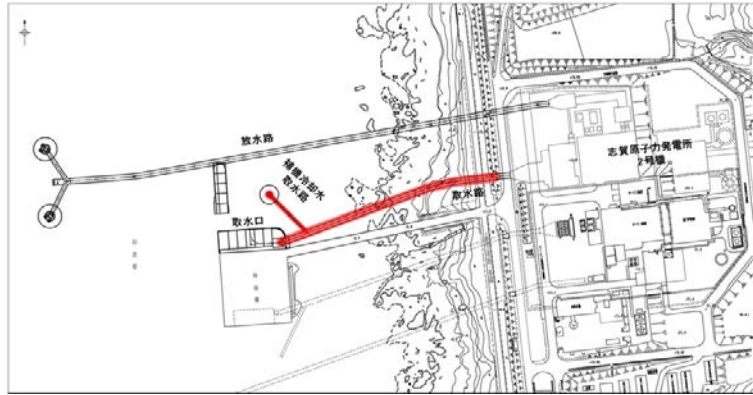


2号機基礎掘削面スケッチ

・2号機基礎掘削面では、断層が6条確認される。

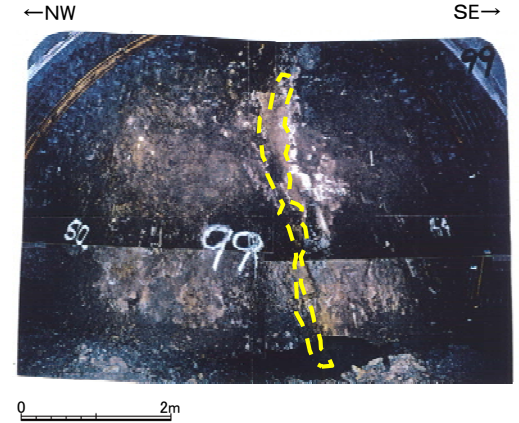
# 2号機取水路トンネル①

■ 2号機取水路トンネルにおいて、破砕部の抽出を行った結果を以下に示す。なお、抽出に当たっては破砕部の最大幅3cm以上のものを対象とした。ただし、連続性の観点からトンネル全周に亘り認められる破砕部は幅が小さくても抽出し、その性状の類似性を確認した上で幅が大きいものに代表させた。

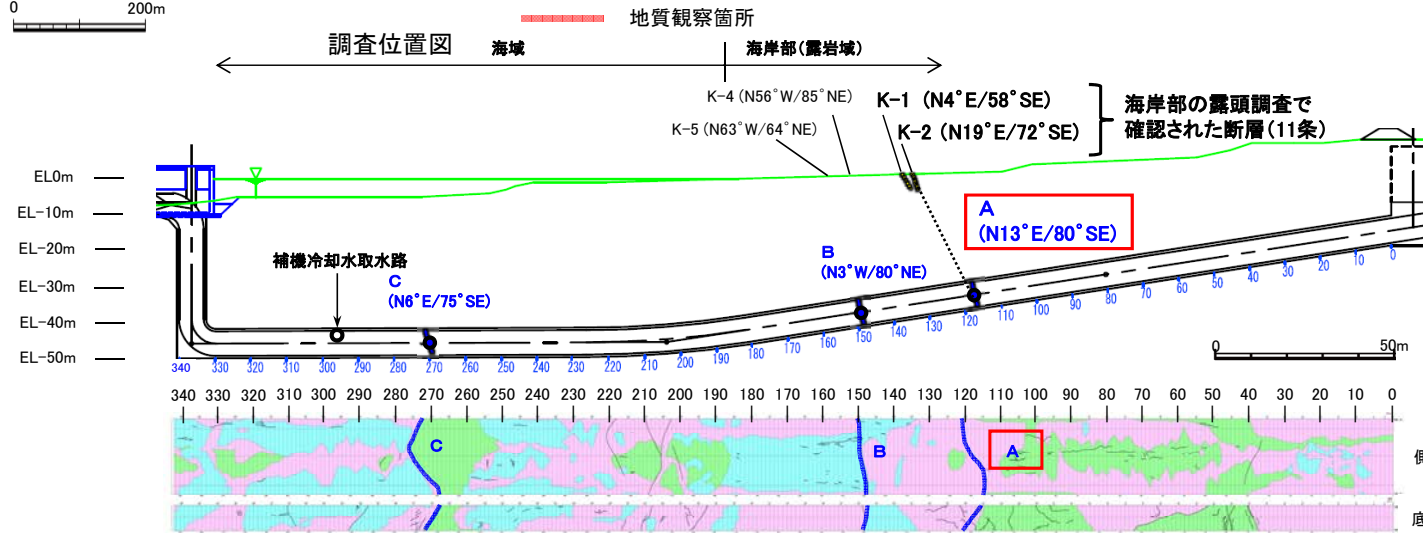


トンネル全周に亘り認められる3条の破砕部の性状

	破砕部A	破砕部B	破砕部C
①走向・傾斜 (走向は真北)	N13°E/80°SE	N3°W/80°NE	N6°E/75°SE
②鏡肌の有無	あり	なし	なし
③挟在物	厚さ	0.1~1cm	1cm
	物	粘土	粘性土 粘性土 ~固結シルト
④直線性	直線性に乏しく凹凸する		
⑤破砕部の幅	30cm	1cm	1cm



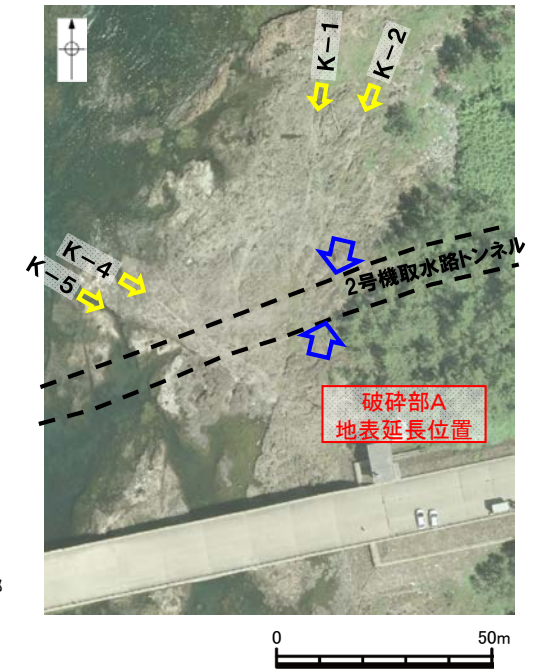
破砕部A(基数番号99) 切羽写真  
(黄点線:破砕部を加筆)



取水路(断面図及び地質展開図)

※地質展開図の拡大は次頁参照

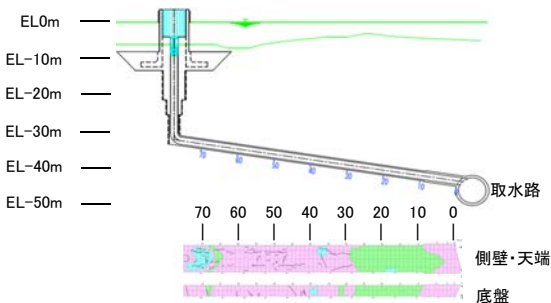
- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩
- トンネル全周に亘り認められる破砕部
- 幅3cm以上の破砕部



破砕部Aの地表延長位置

・幅3cm以上の破砕部が1条確認された。その他、トンネル全周に亘り認められる幅3cm未満の破砕部が2条確認された。これらは、いずれも性状が類似することから、相対的に破砕部の幅が大きい破砕部Aを代表とした。この破砕部Aについては、上方延長が海岸部の露岩域のK-2断層付近となり、その走向傾斜や破砕部の幅も類似することから、K-2断層に対応すると考えられる。

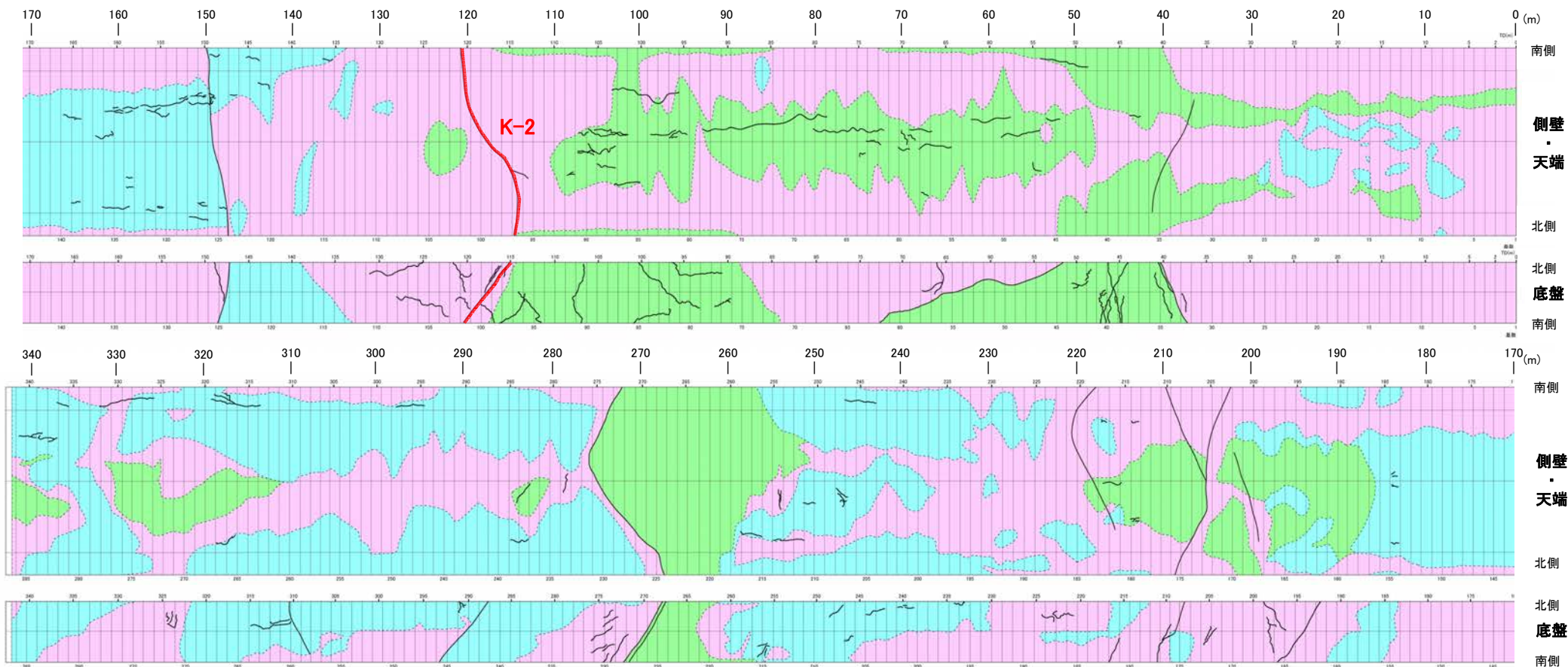
・なお、海岸部で確認されたK-1, K-4, K-5断層に対応する破砕部は取水路トンネルでは確認されない。



補機冷却水取水路(断面図及び地質展開図)

# 2号機取水路トンネル②

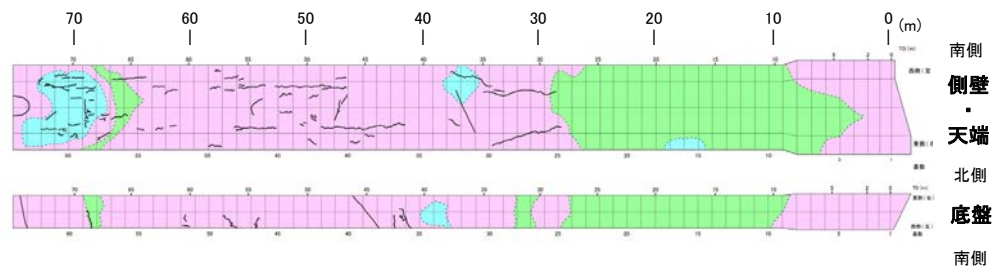
■前頁で示した地質展開図の拡大を以下に示す。



取水路地質展開図

## 凡例

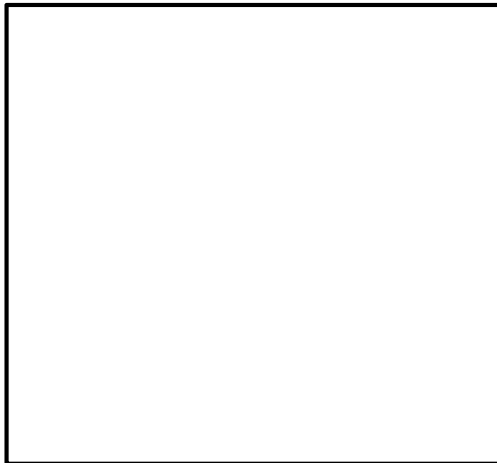
- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩
- 断層
- 節理



補機冷却水路地質展開図

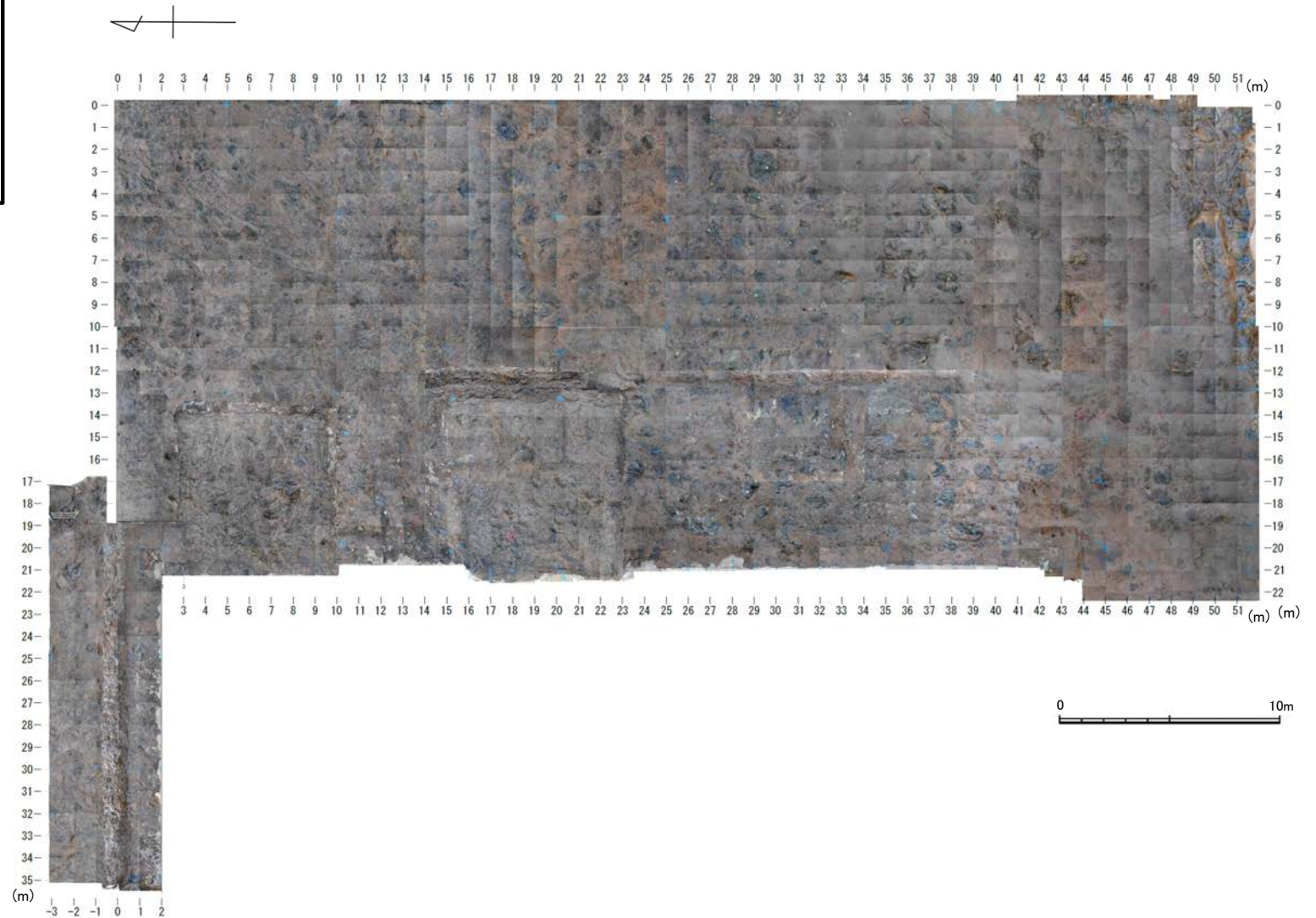
・取水路トンネルでは、断層が1条確認される。

# 緊急時対策所① 基礎底盤写真



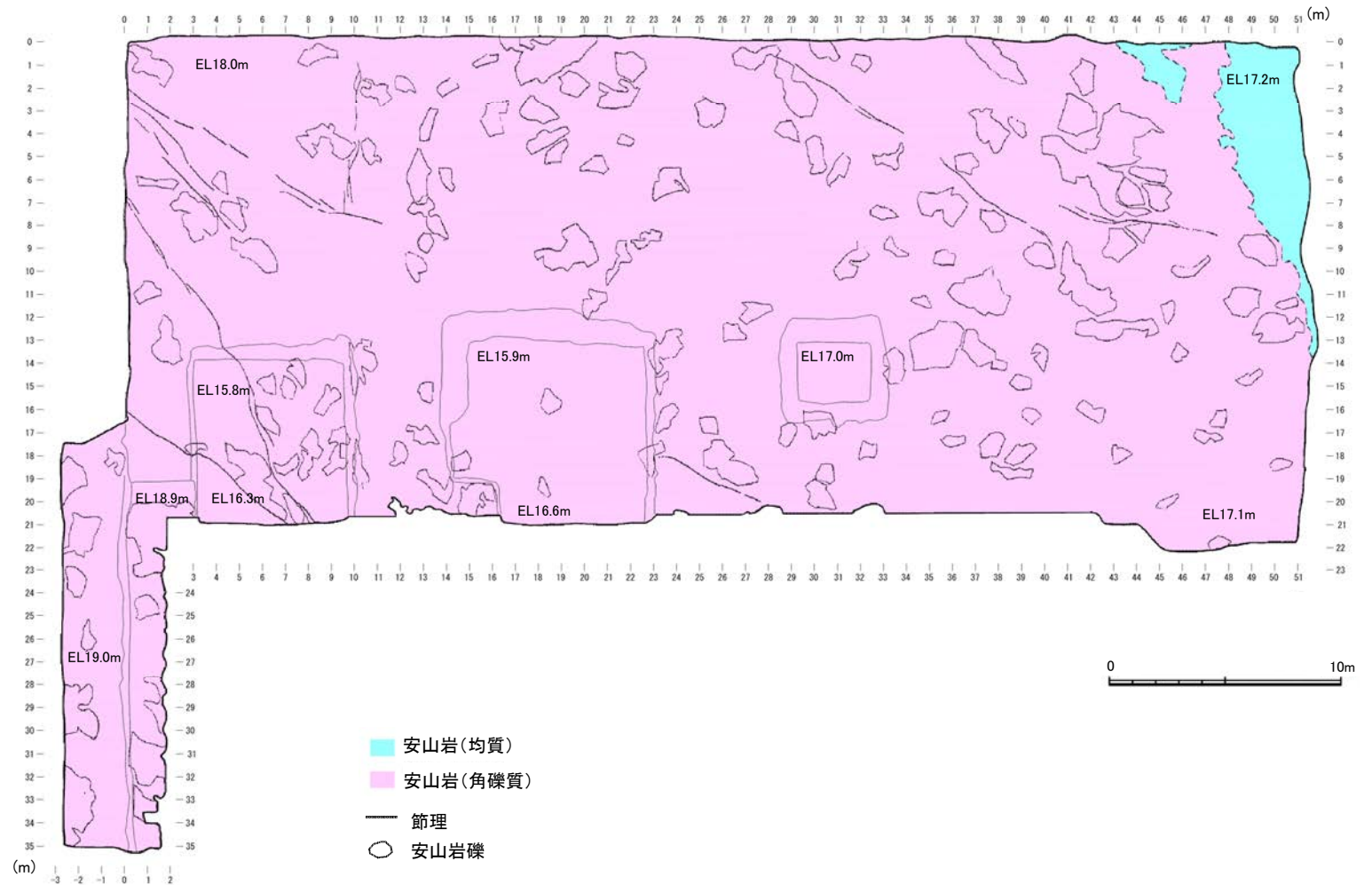
枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図



緊急時対策所 基礎底盤写真

## 緊急時対策所② 基礎底盤スケッチ

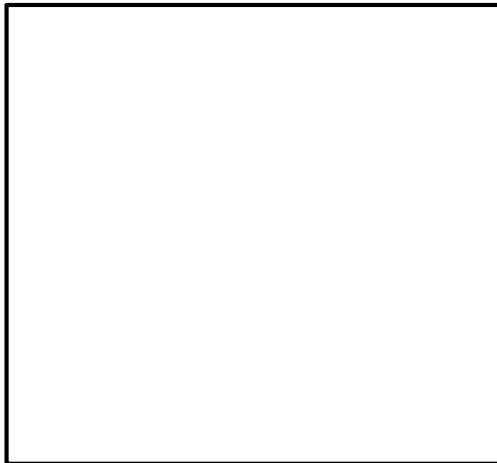


スケッチ

・緊急時対策所基礎底盤において認められる割れ目は、いずれも密着しており、破砕部を伴わない。

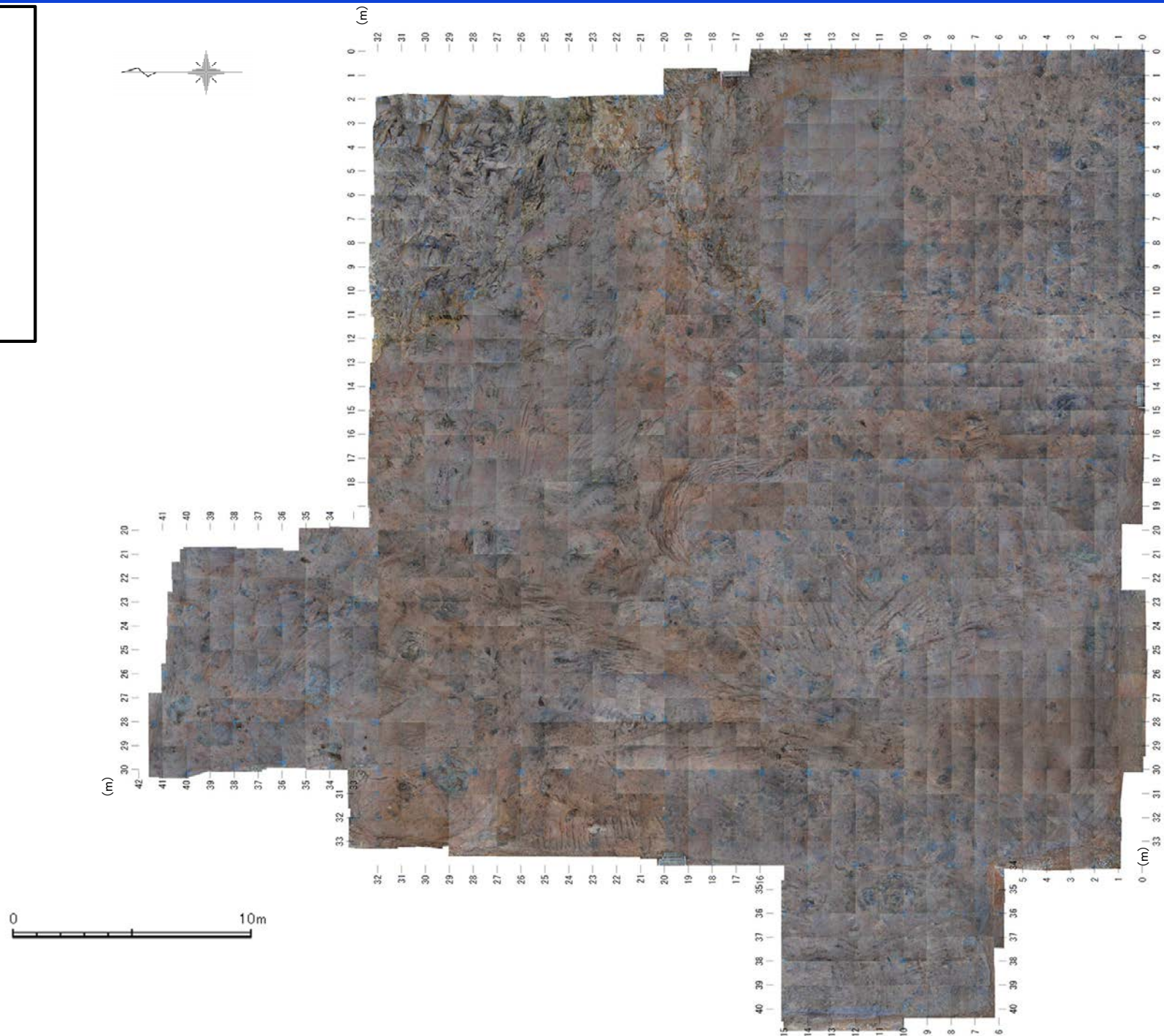
・緊急時対策所基礎底盤には、断層は認められない。

# 淡水貯水槽(南側)① 基礎底盤写真

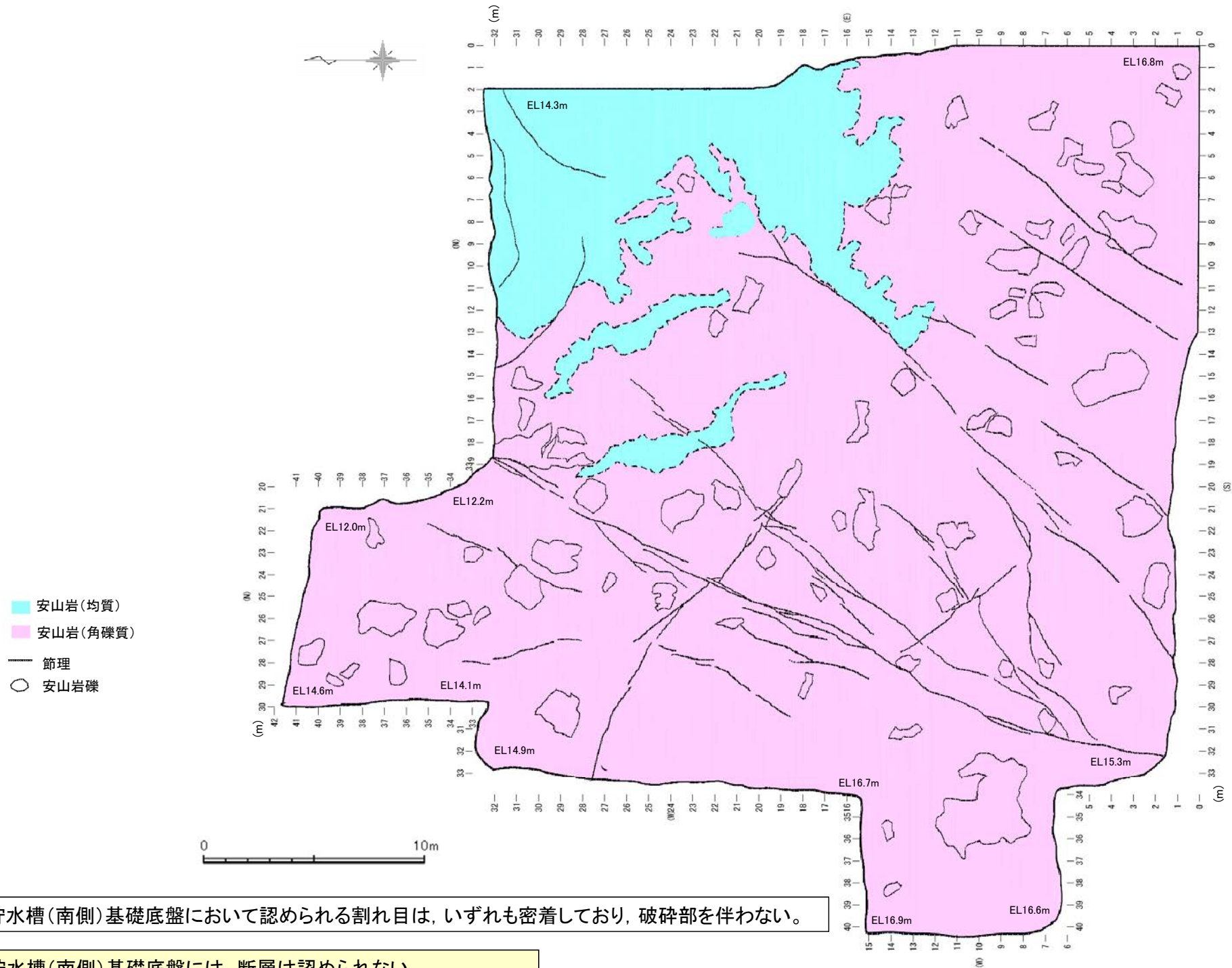


枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図

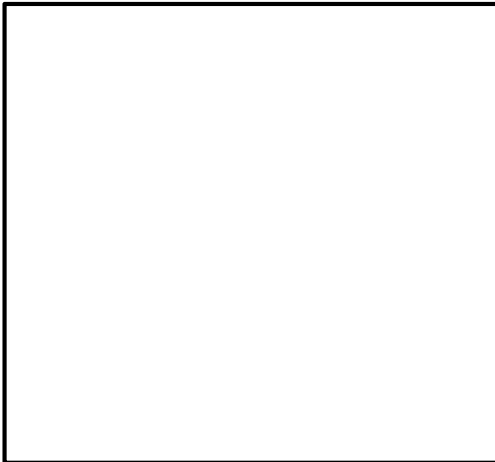


# 淡水貯水槽(南側)② 基礎底盤スケッチ





# 淡水貯水槽(東側)① 基礎底盤写真



枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

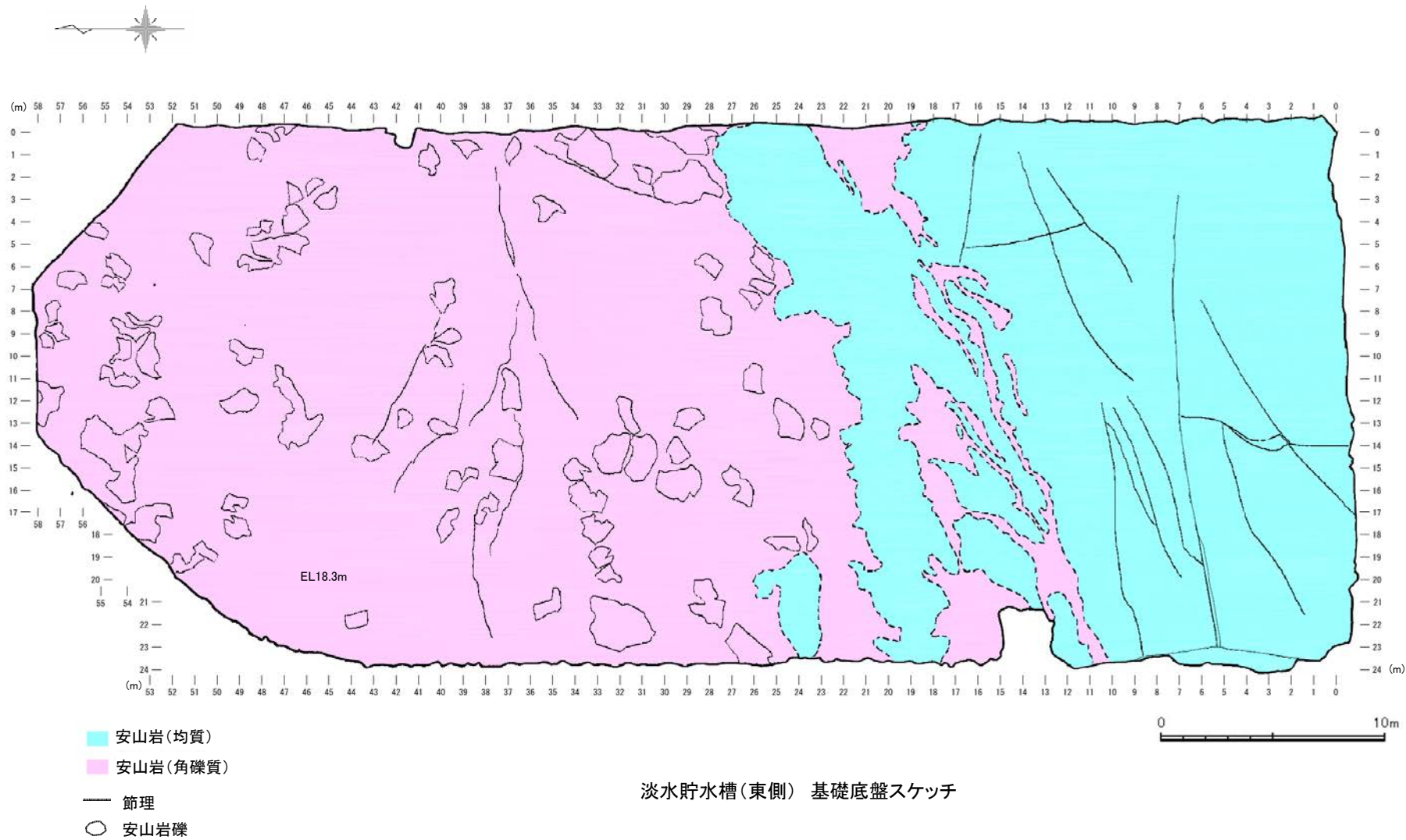
位置図



淡水貯水槽(東側) 基礎底盤写真



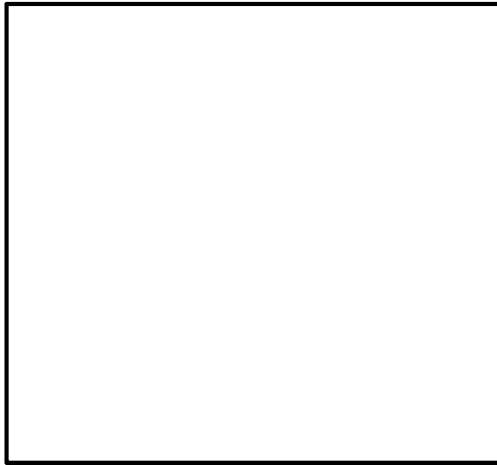
# 淡水貯水槽(東側)② 基礎底盤スケッチ



・淡水貯水槽(東側)基礎底盤において認められる割れ目は、いずれも密着しており、破碎部を伴わない。

・淡水貯水槽(東側)基礎底盤には、断層は認められない。

# フィルタ付格納容器ベント装置① 基礎底盤写真



枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図

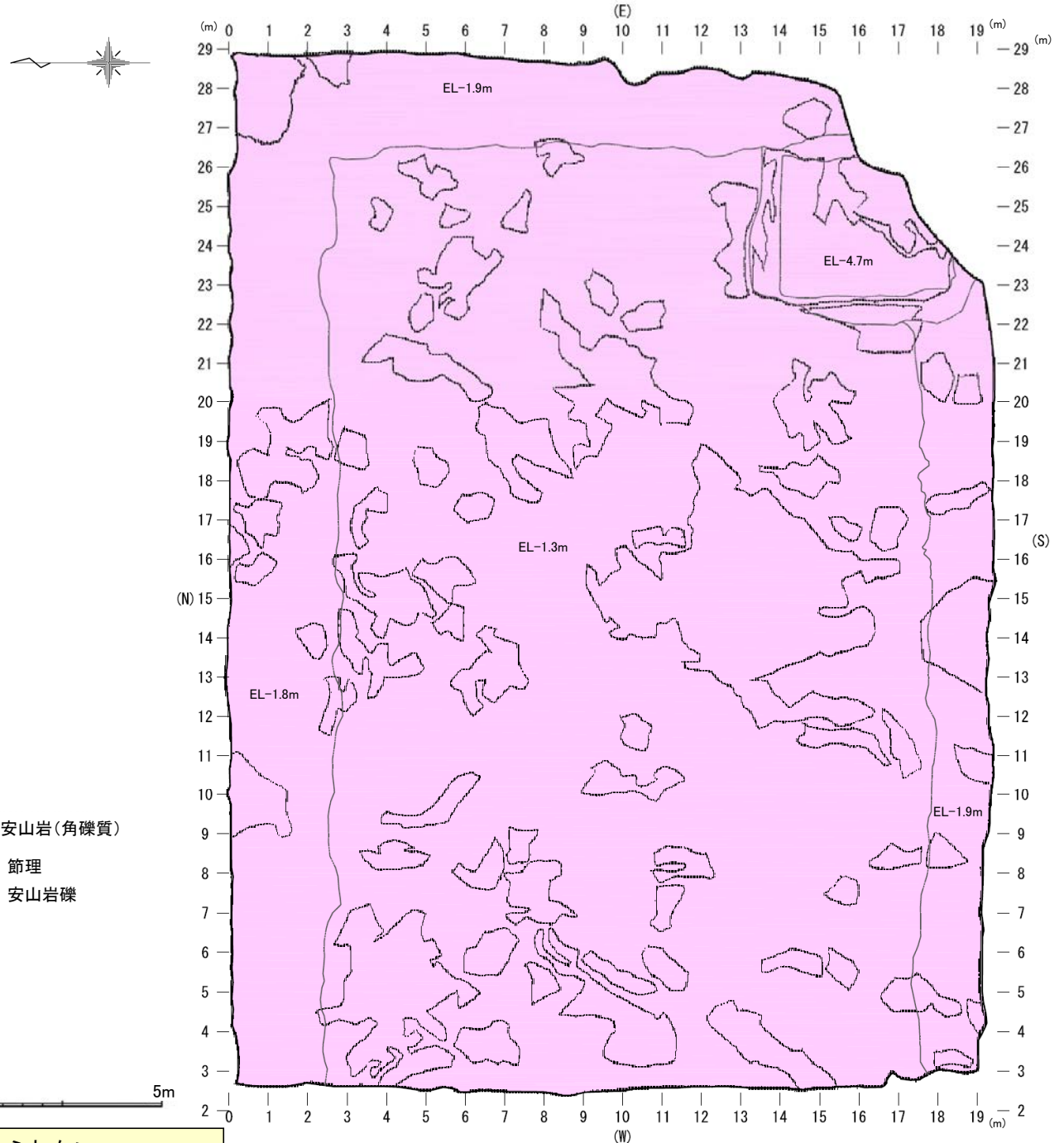


0 5m



フィルタ付格納容器ベント装置 基礎底盤写真

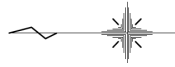
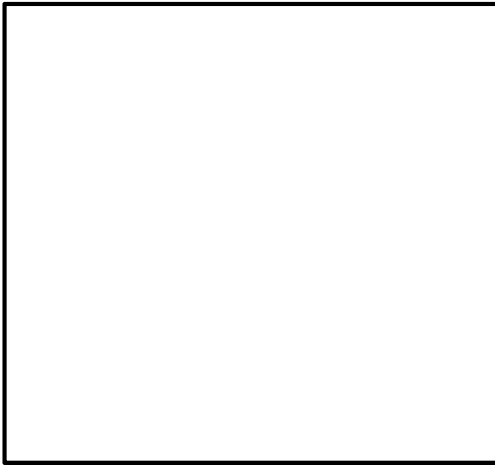
# フィルタ付格納容器ベント装置② 基礎底盤スケッチ



・フィルタ付格納容器ベント装置基礎底盤において、連続性のある割れ目は認められない。

・フィルタ付格納容器ベント装置基礎底盤には、断層は認められない。

# 地下式軽油タンク(非常用ディーゼル発電機用)① 基礎底盤写真

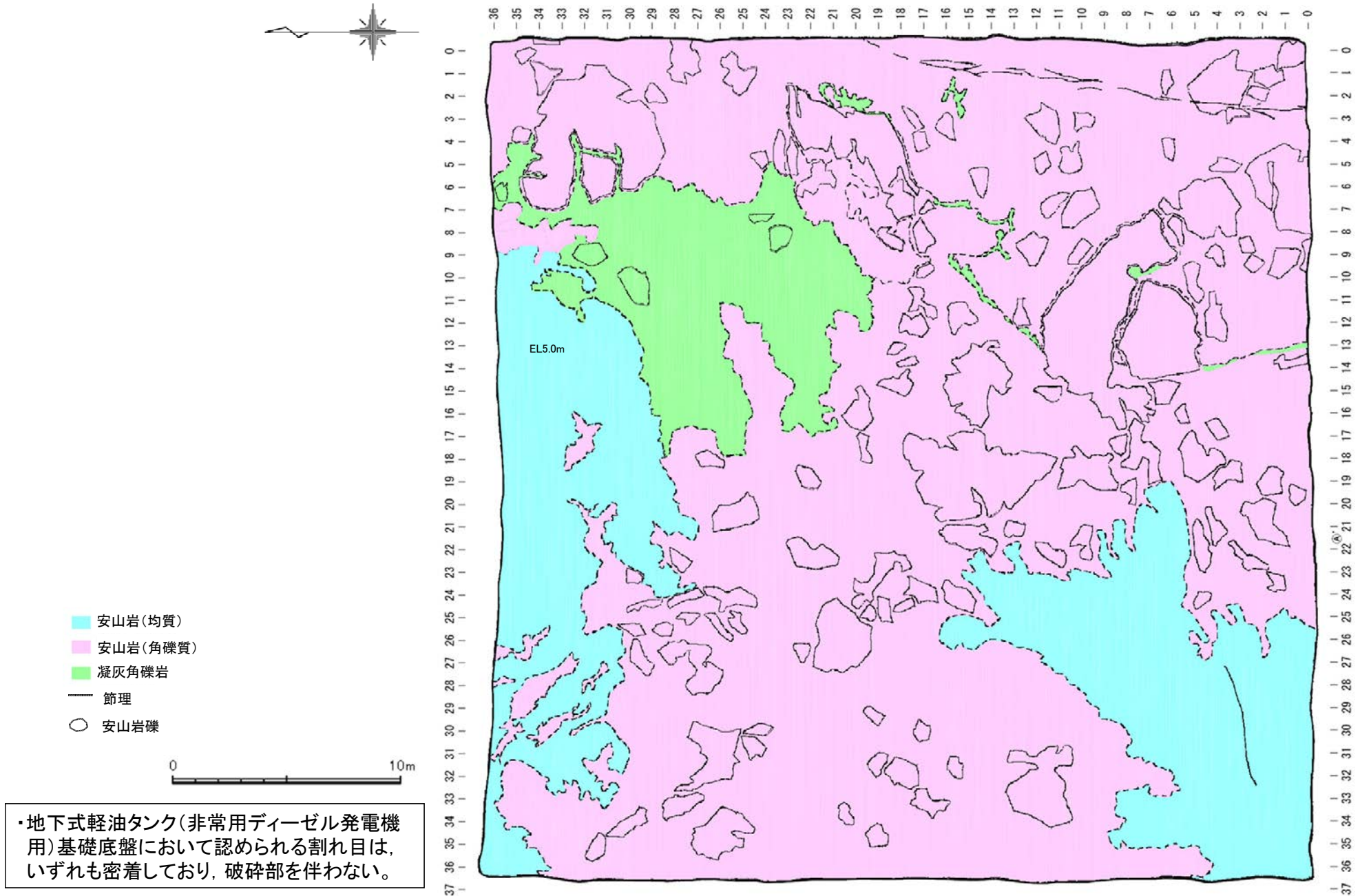


枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図



# 地下式軽油タンク(非常用ディーゼル発電機用)② 基礎底盤スケッチ

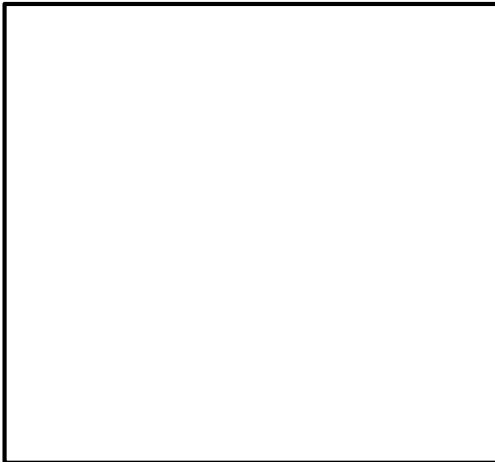


・地下式軽油タンク(非常用ディーゼル発電機用)基礎底盤において認められる割れ目は、いずれも密着しており、破碎部を伴わない。

・地下式軽油タンク(非常用ディーゼル発電機用)基礎底盤には、断層は認められない。

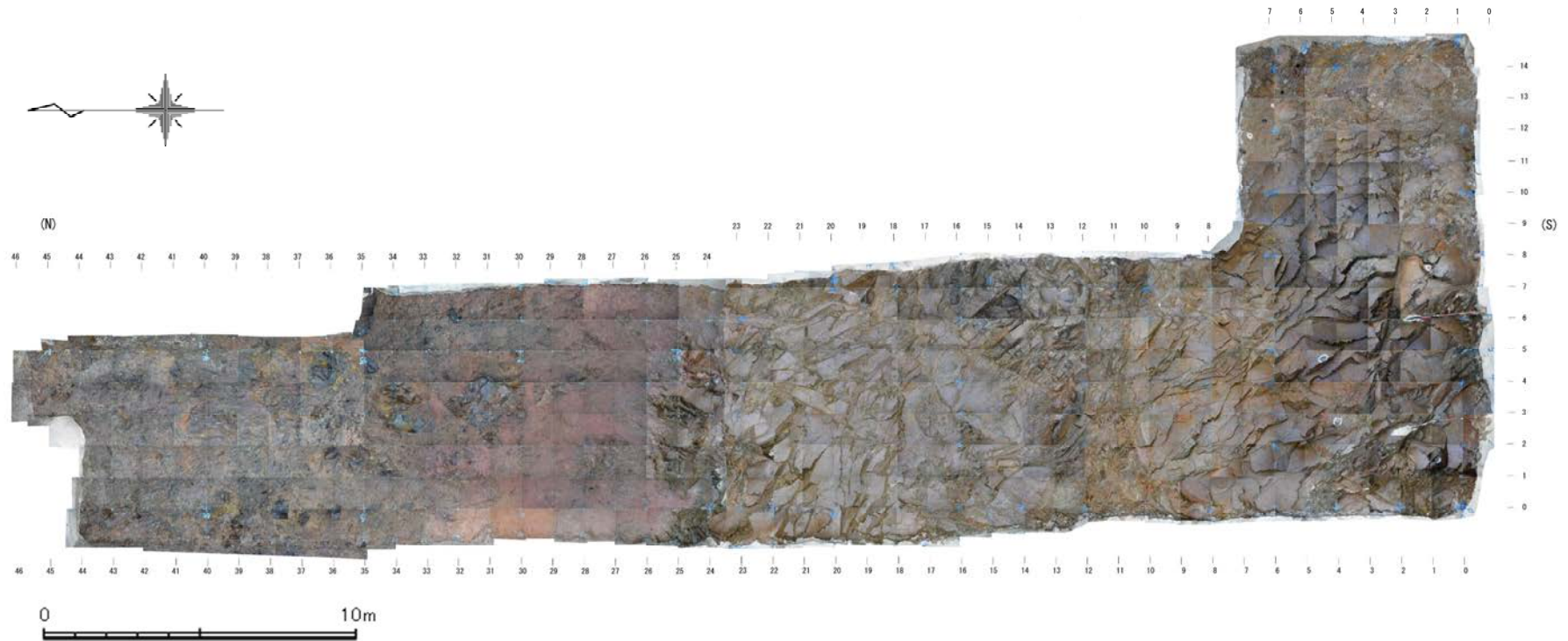
地下式軽油タンク(非常用ディーゼル発電機用) 基礎底盤スケッチ

# 地下式軽油タンク(非常用ディーゼル発電機用)トレンチ① 底盤写真



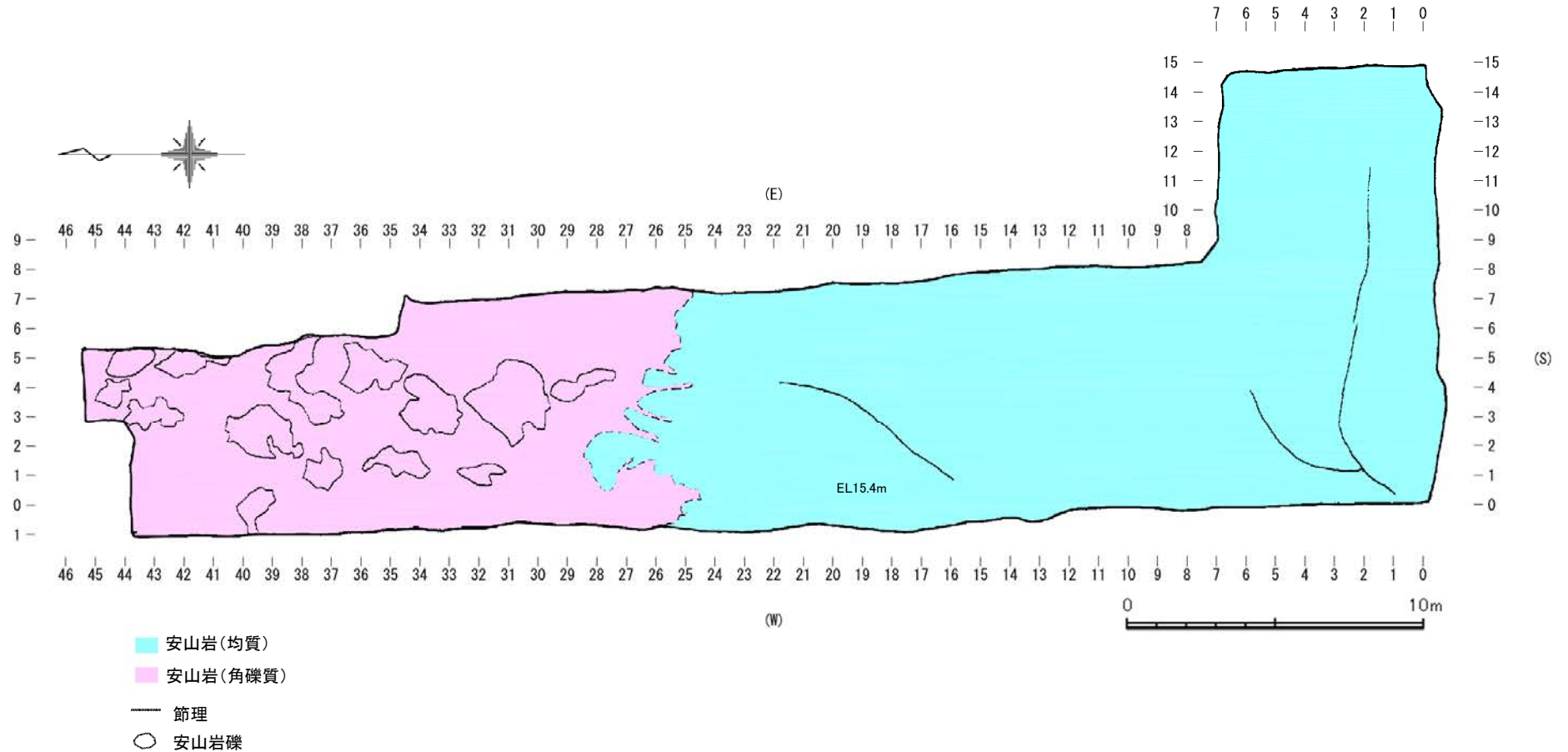
枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図



地下式軽油タンク(非常用ディーゼル発電機用)トレンチ 底盤写真

# 地下式軽油タンク(非常用ディーゼル発電機用)トレンチ② 基礎底盤スケッチ



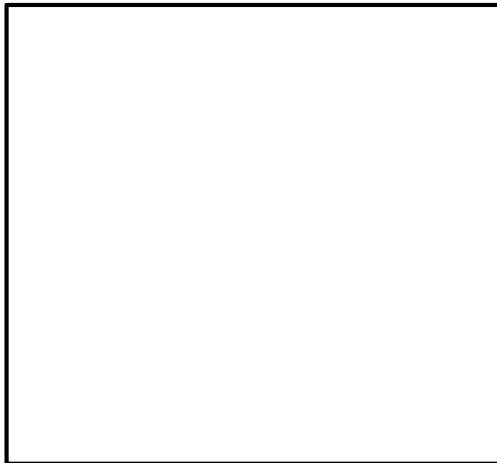
地下式軽油タンク(非常用ディーゼル発電機用)トレンチ 底盤スケッチ

・地下式軽油タンク(非常用ディーゼル発電機用)トレンチ基礎底盤において認められる割れ目は、いずれも密着しており、破砕部を伴わない。

・地下式軽油タンク(非常用ディーゼル発電機用)トレンチ基礎底盤には、断層は認められない。



# 代替所内電気設備建屋① 基礎底盤写真

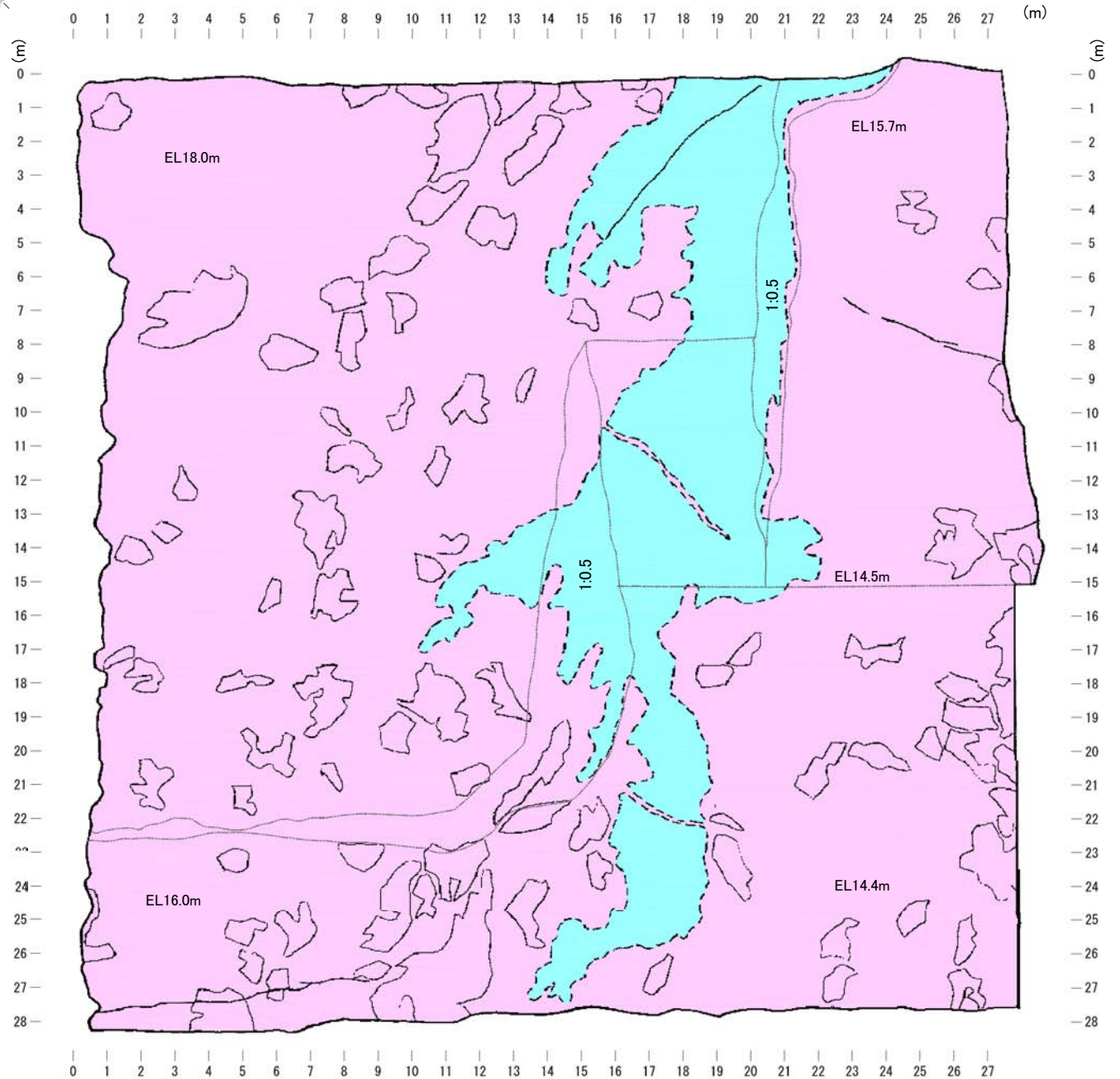
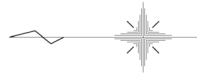


枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図



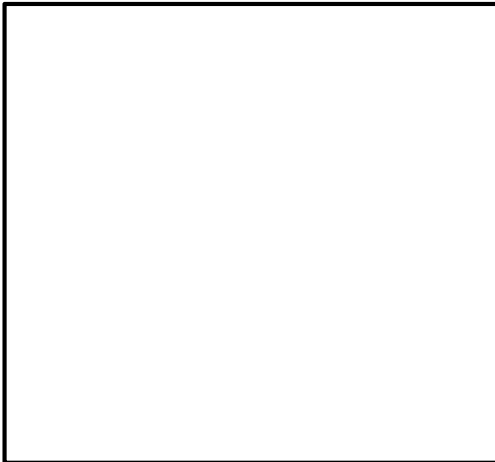
# 代替所内電気設備建屋② 基礎底盤スケッチ



・代替所内電気設備建屋基礎底盤において認められる割れ目は、いずれも密着しており、破砕部を伴わない。

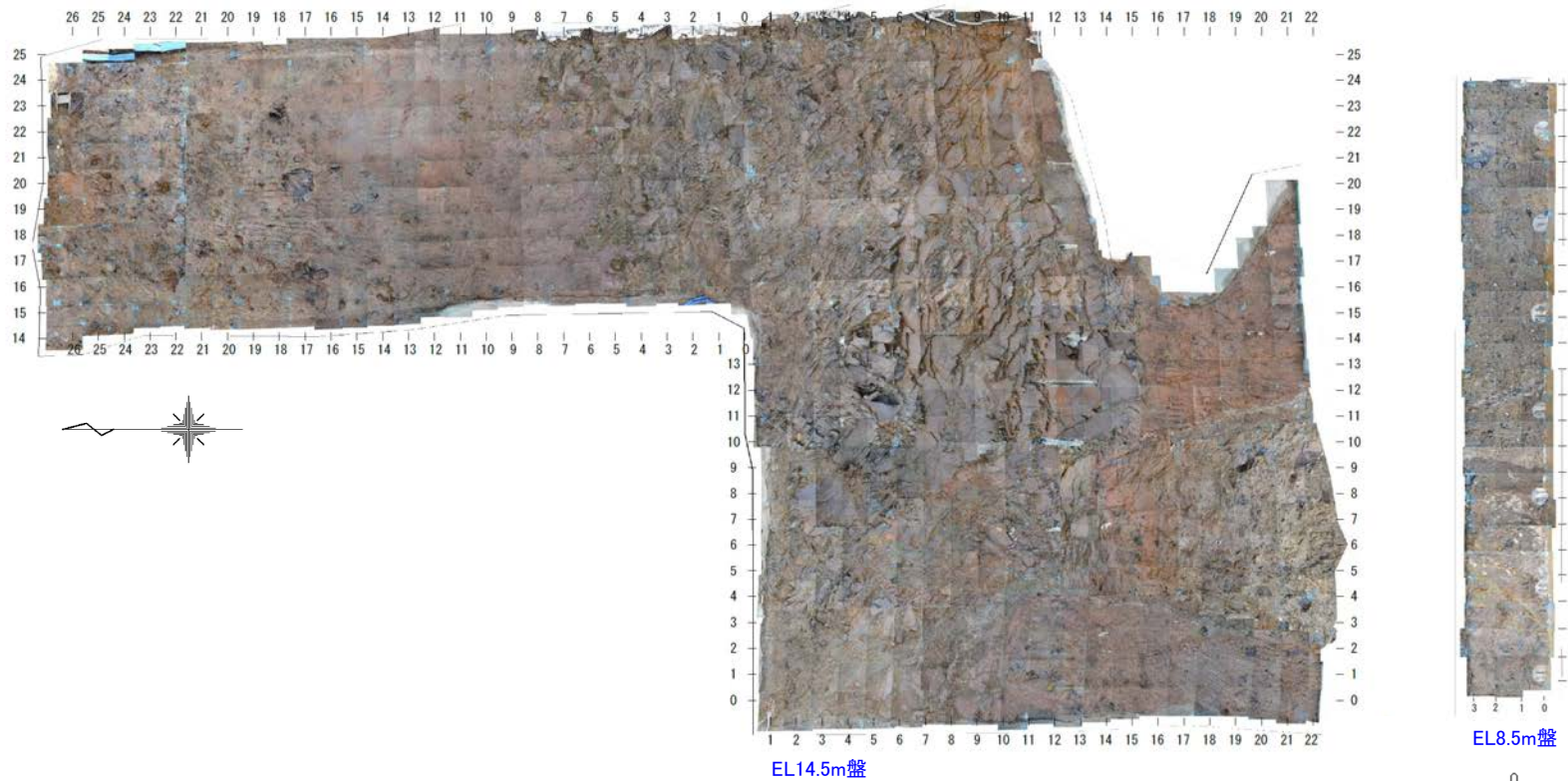
・代替所内電気設備建屋基礎底盤には、断層は認められない。

# 代替所内電気設備建屋トレンチ① 底盤写真

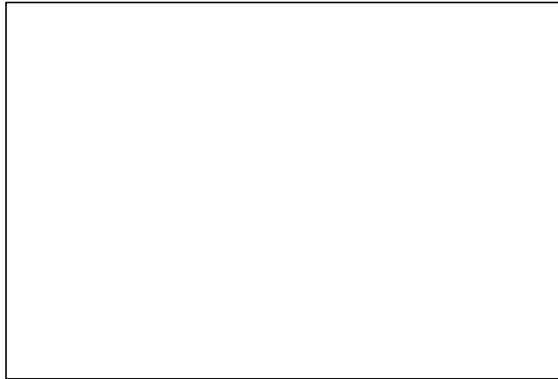


枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図

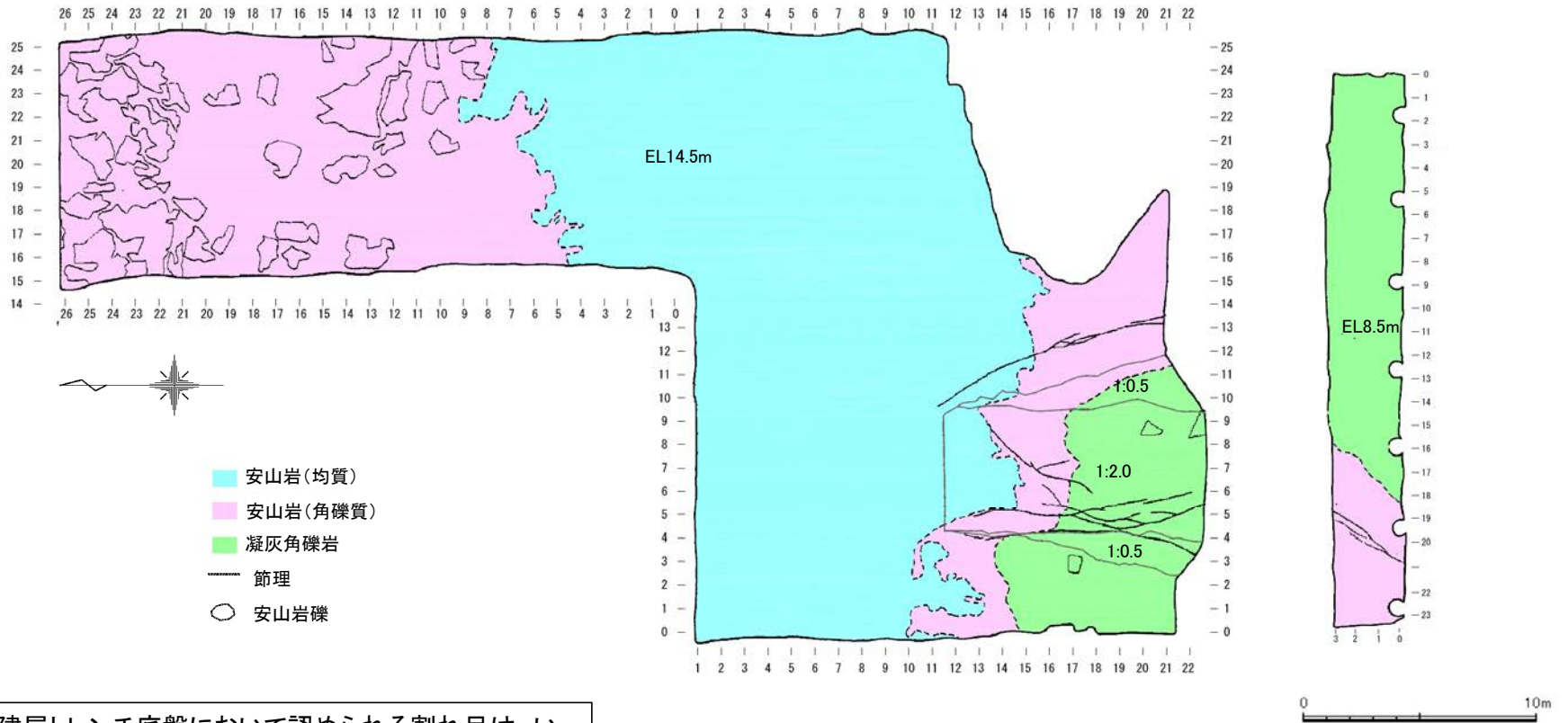


# 代替所内電気設備建屋トレンチ② 底盤スケッチ



枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

スケッチ位置図

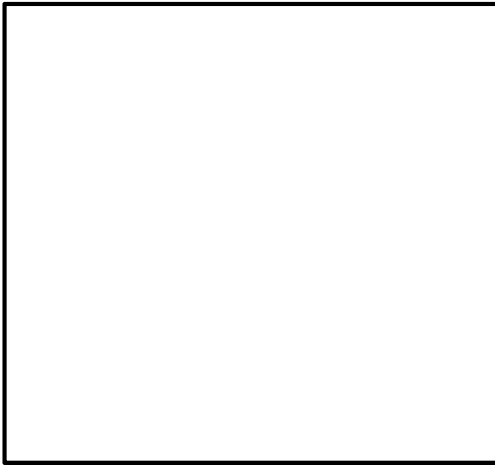


・代替所内電気設備建屋トレンチ底盤において認められる割れ目は、いずれも密着しており、破碎部を伴わない。

代替所内電気設備建屋トレンチ 底盤スケッチ

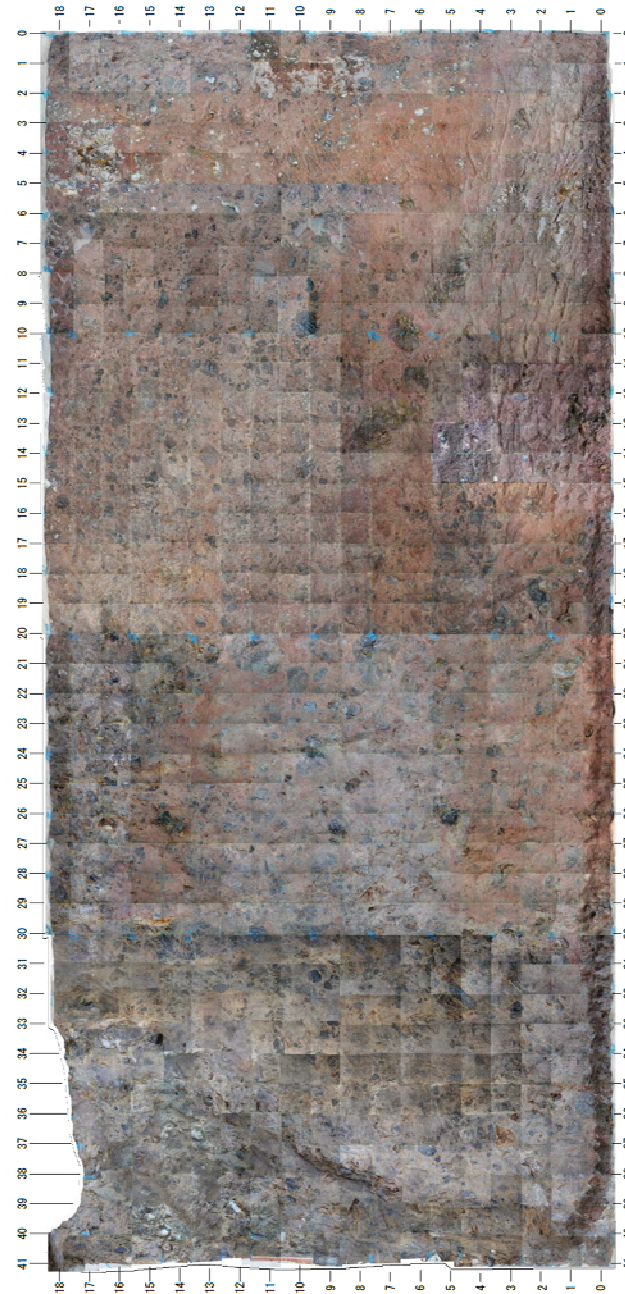
・代替所内電気設備建屋トレンチ底盤には、断層は認められない。

# 地下式軽油タンク(常設代替交流電源設備用)① 基礎底盤写真

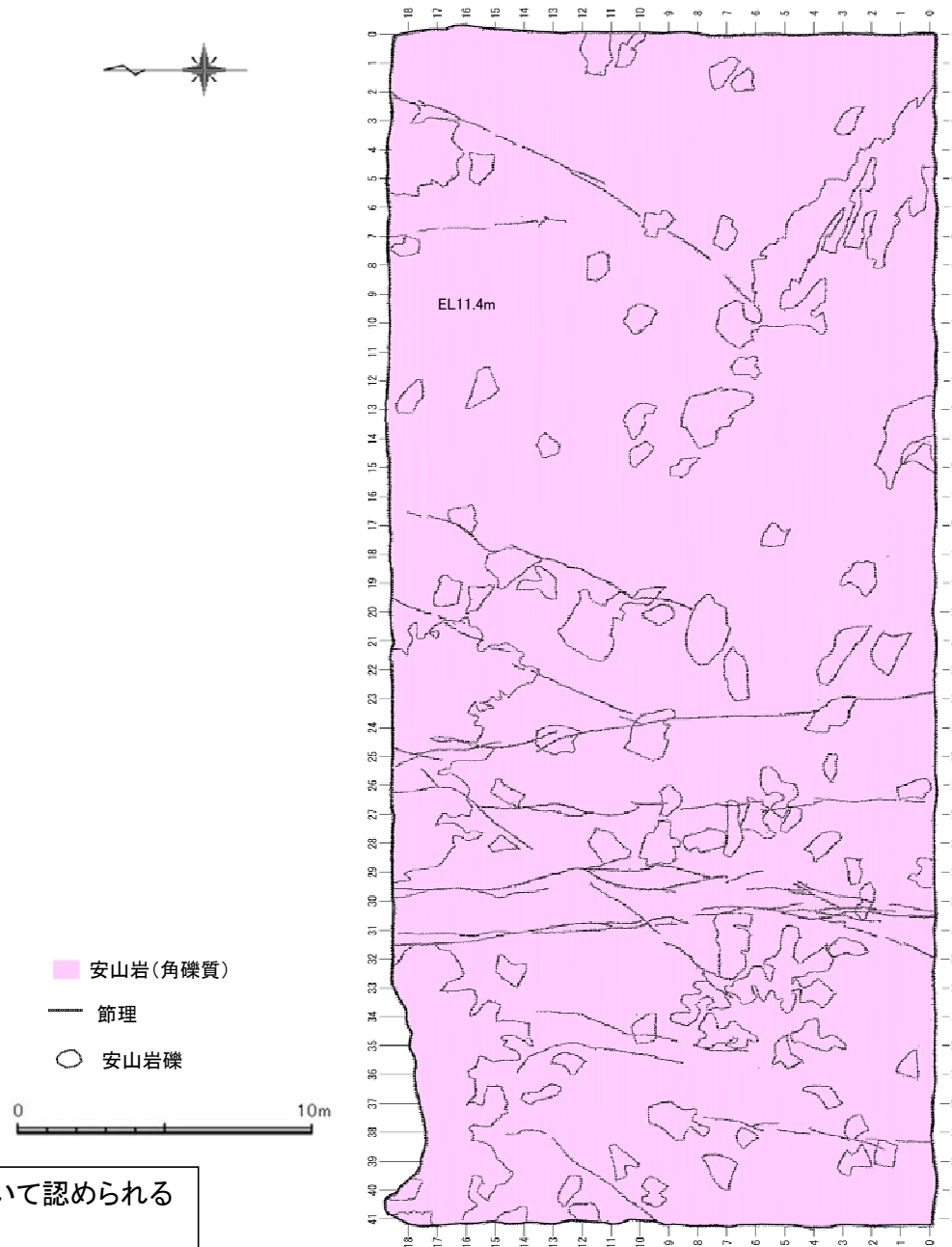


枠囲みの内容は商業機密又は防護上の観点から公開できません。

位置図



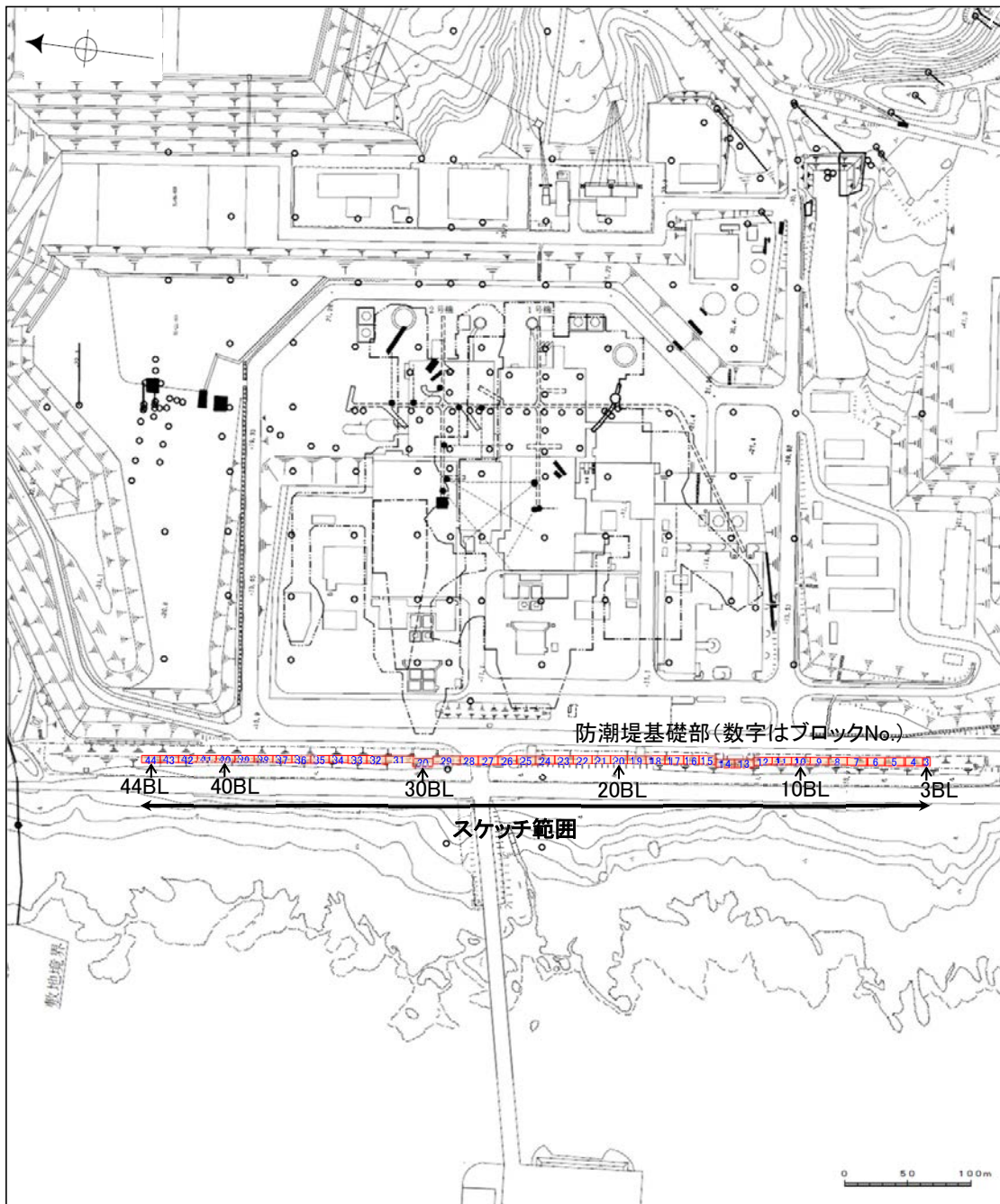
# 地下式軽油タンク(常設代替交流電源設備用)② 基礎底盤スケッチ



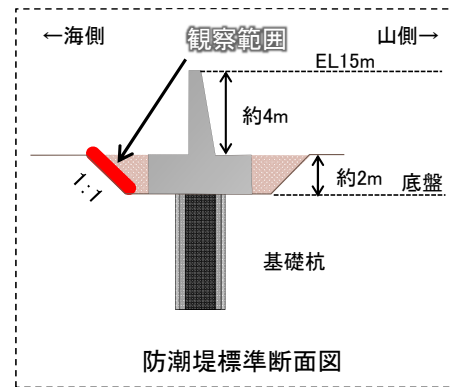
・地下式軽油タンク(常設代替交流電源設備用)基礎底盤において認められる割れ目は、いずれも密着しており、破碎部を伴わない。

・地下式軽油タンク(常設代替交流電源設備用)基礎底盤には、断層は認められない。

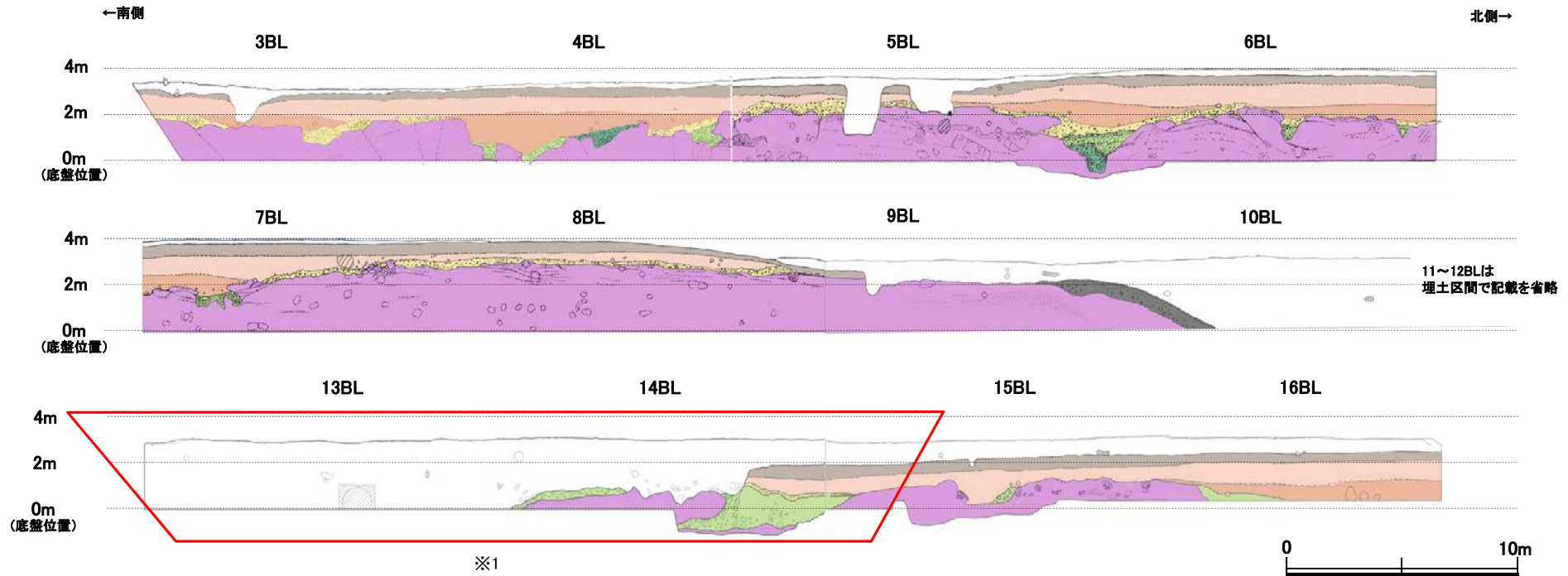
# 防潮堤基礎部 位置図



- 凡例
- 鉛直ボーリング孔
  - 水平ボーリング孔
  - ⌘ 斜めボーリング孔
  - トレンチ
  - 表土はぎ
  - - - 試掘坑・試験坑・斜坑
  - ⌘ 岩盤調査坑
  - - - 基礎掘削面(1,2号機建設時の掘削範囲)

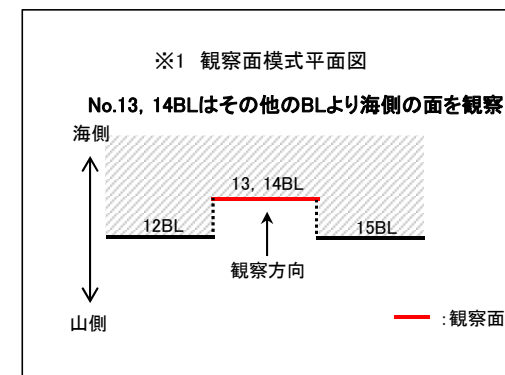


# 防潮堤基礎部スケッチ①(3BL~16BL)



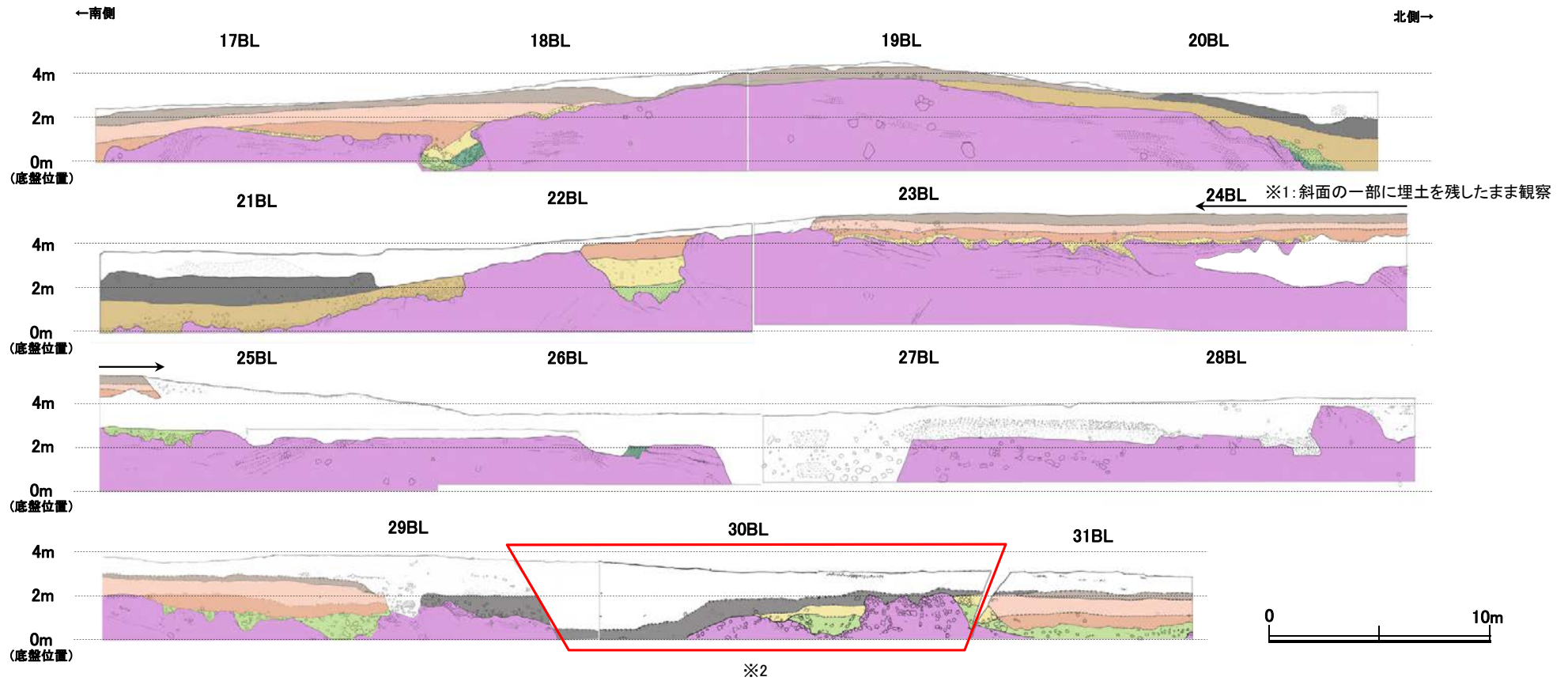
凡例

- |             |  |
|-------------|--|
| 埋土          | 礫層③(安山岩の歪円~角礫を含み, 基質は黄褐色~明褐色シルトでやや土壌化)         |
| 人工構造物       | 礫層②(安山岩の円~歪角礫を含み, 基質は黄褐色~黄白色シルト~粘土でギブサイトを多く含む) |
| 腐植質シルト~シルト層 | 礫層①(安山岩の円~歪角礫を含み, 基質は黄褐色砂質シルトで全体に固結)           |
| 暗褐色土壌       | 岩盤   |
| 明褐色土壌       | 節理   |
| 赤褐色土壌       |  |



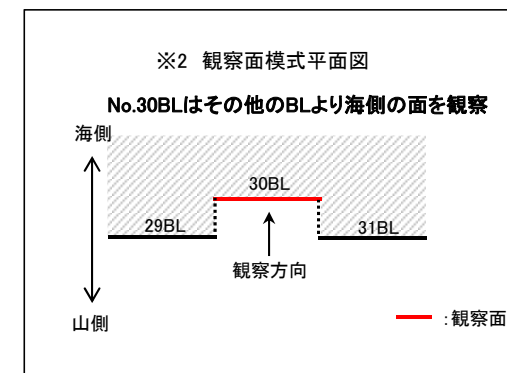


# 防潮堤基礎部スケッチ②(17BL~31BL)

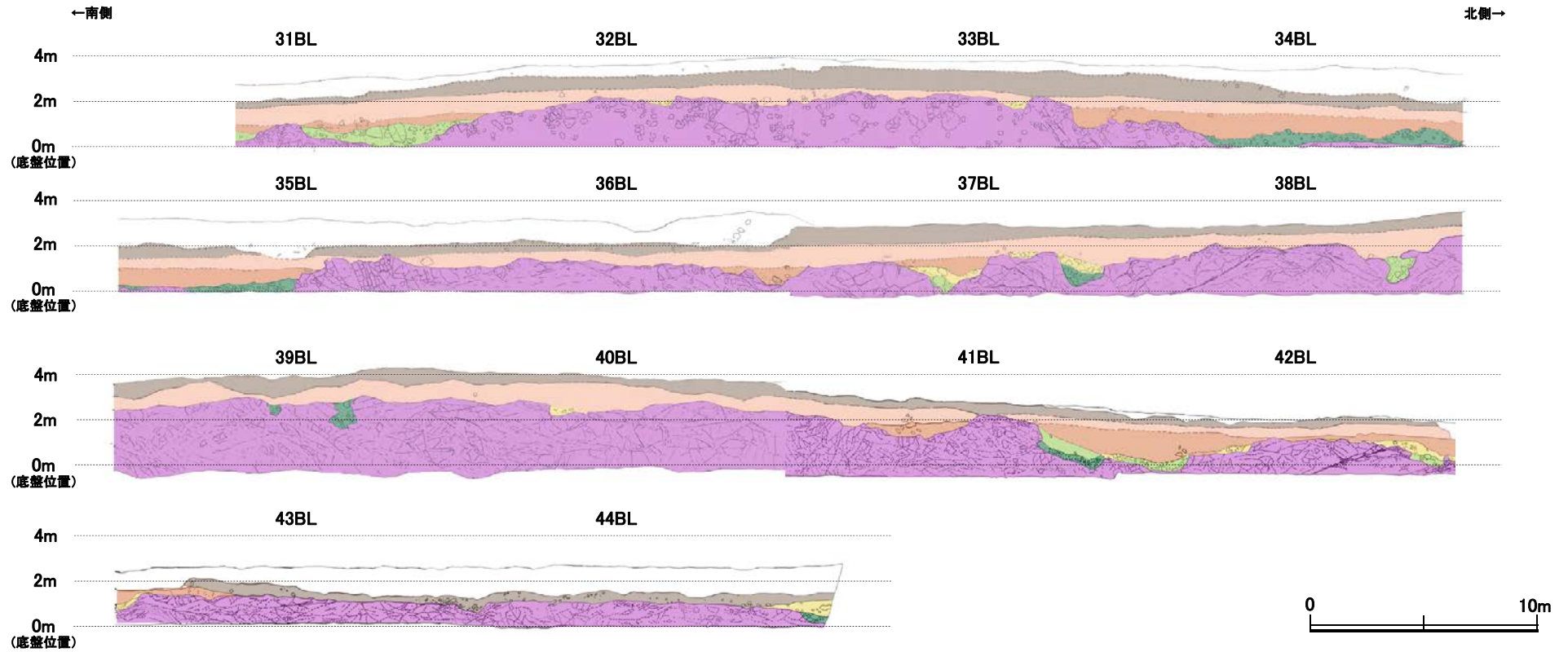


## 凡例










- |             |   |
|-------------|---|
| 埋土          | 礫層③(安山岩の垂円~角礫を含み、基質は黄褐色~明褐色シルトでやや土壌化)         |
| 人工構造物       | 礫層②(安山岩の円~垂角礫を含み、基質は黄褐色~黄白色シルト~粘土でギブサイトを多く含む) |
| 廣雑質シルト~シルト層 | 礫層①(安山岩の円~垂角礫を含み、基質は黄褐色砂質シルトで全体に固結)           |
| シルト~砂質シルト層  | 岩盤  |
| 暗褐色土壌       | 節理  |
| 明褐色土壌       |   |
| 赤褐色土壌       |   |



# 防潮堤基礎部スケッチ③(31BL~44BL)



凡例

- |   |       |   |   |
|---|-------|---|---|
|  | 埋土    |  | 礫層③(安山岩の歪円~角礫を含み、基質は黄褐色~明褐色シルトでやや土壌化)         |
|  | 暗褐色土壌 |  | 礫層②(安山岩の円~歪角礫を含み、基質は黄褐色~黄白色シルト~粘土でギブサイトを多く含む) |
|  | 明褐色土壌 |  | 礫層①(安山岩の円~歪角礫を含み、基質は黄褐色砂質シルトで全体に固結)           |
|  | 赤褐色土壌 |  | 岩盤  |
|  | 節理    |   |   |

・防潮堤基礎部において認められる割れ目は、いずれも破碎部を伴わない。

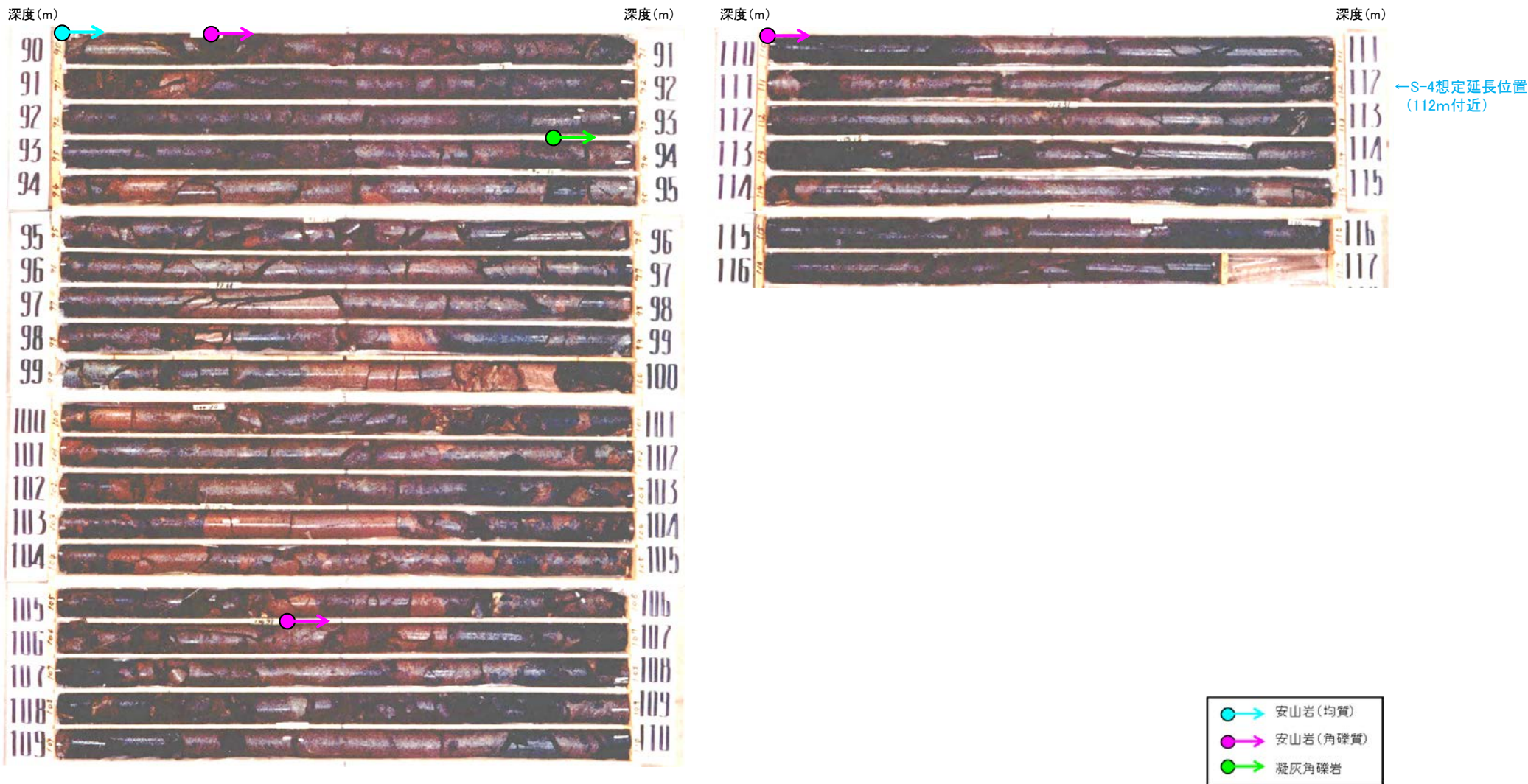
・防潮堤基礎部には、断層は認められない。

---

## データ集5

切り合い関係を確認したボーリングコア写真

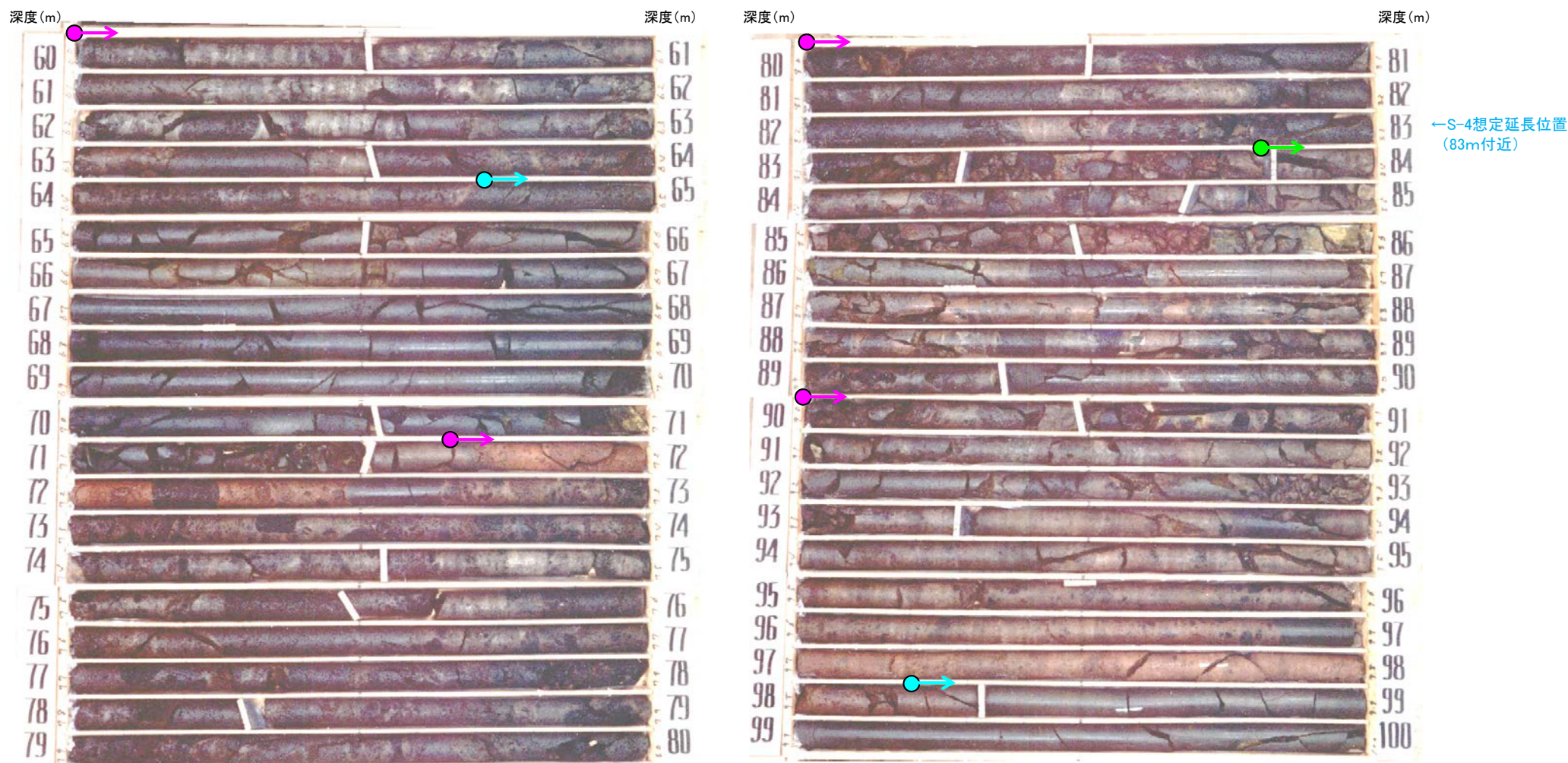
# S-4とS-1の切り合い関係 鉛直ボーリング(H-7孔)



コア写真(深度90~116.8m)

・H-7孔において想定延長位置付近にS-4は認められない。

# S-4とS-1の切り合い関係 鉛直ボーリング(I-7孔)

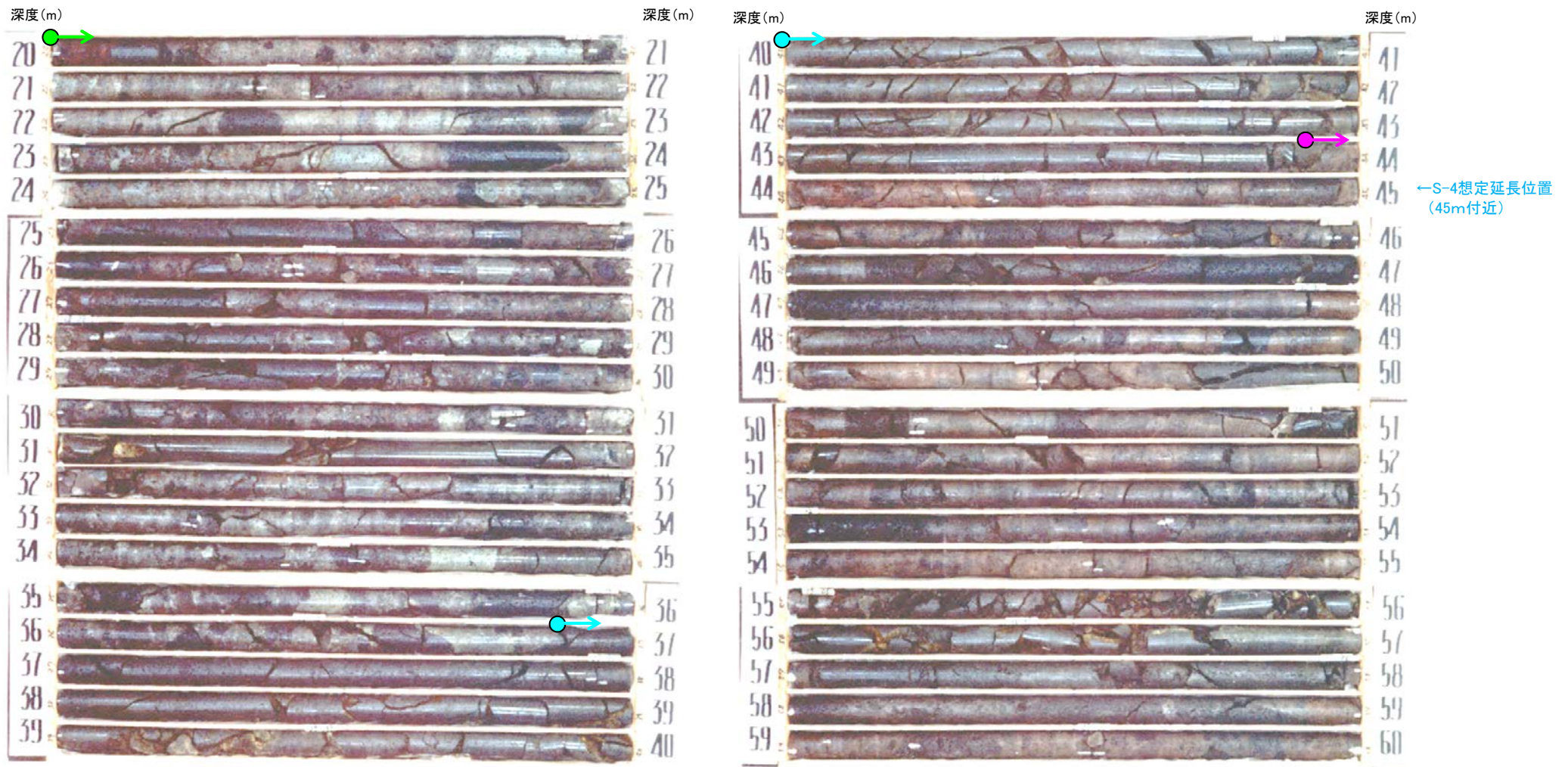


コア写真(深度60~100m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

・I-7孔において想定延長位置付近にS-4は認められない。

# S-4とS-1の切り合い関係 鉛直ボーリング(J-7孔)

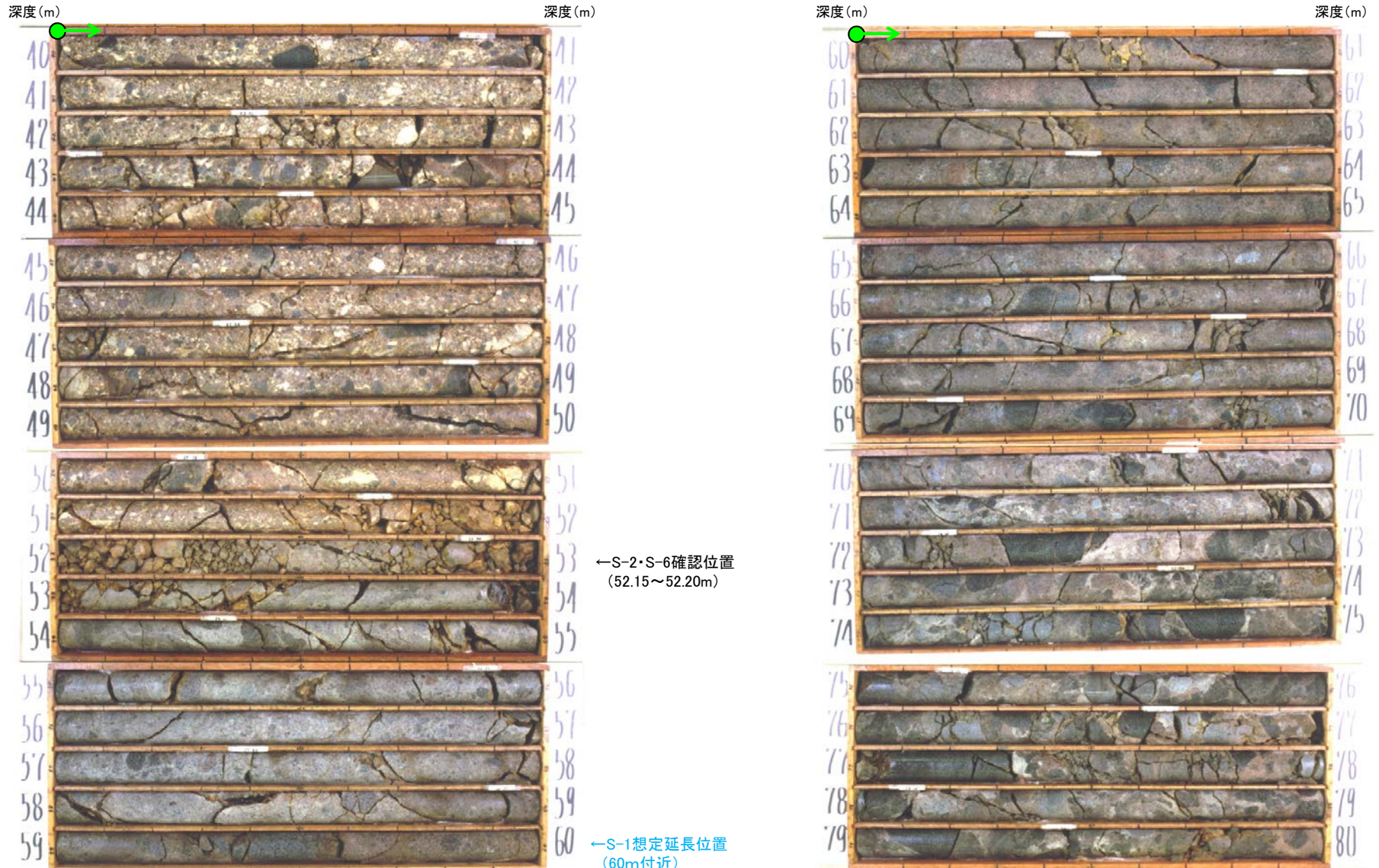


コア写真(深度20~60m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

・J-7孔において想定延長位置付近にS-4は認められない。

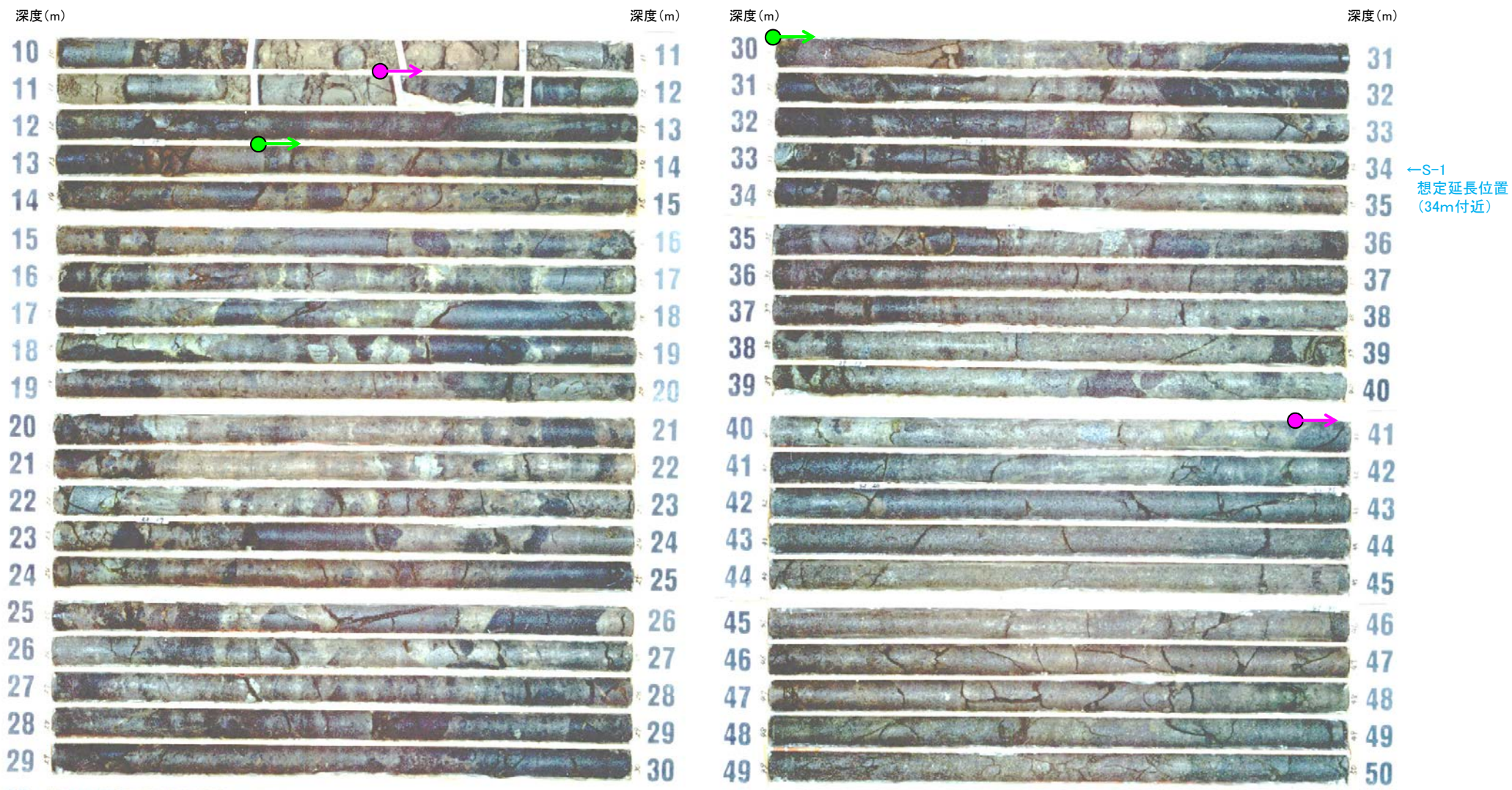
# S-1とS-2・S-6の切り合い関係 水平ボーリング(SE-2孔)



コア写真(深度40~80m)

・SE-2孔において想定延長位置付近にS-1は認められない。

# S-1とS-2・S-6の切り合い関係 鉛直ボーリング(R-6孔)



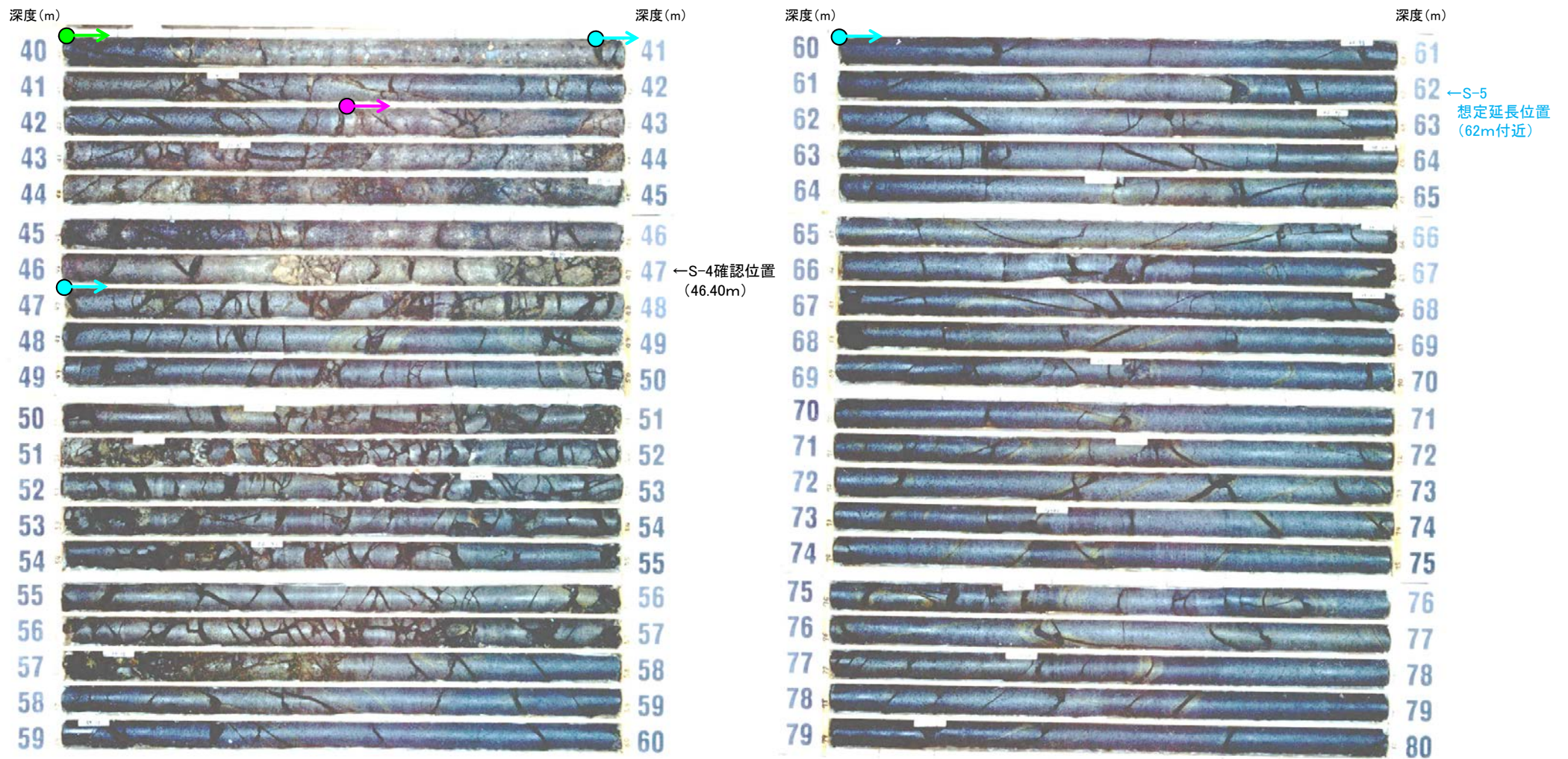
コア写真(深度10~50m)

- 安山岩(角礫質)
- 凝灰角礫岩

・R-6孔において想定延長位置付近にS-1は認められない。



# S-5とS-4の切り合い関係 鉛直ボーリング(2V-2孔)

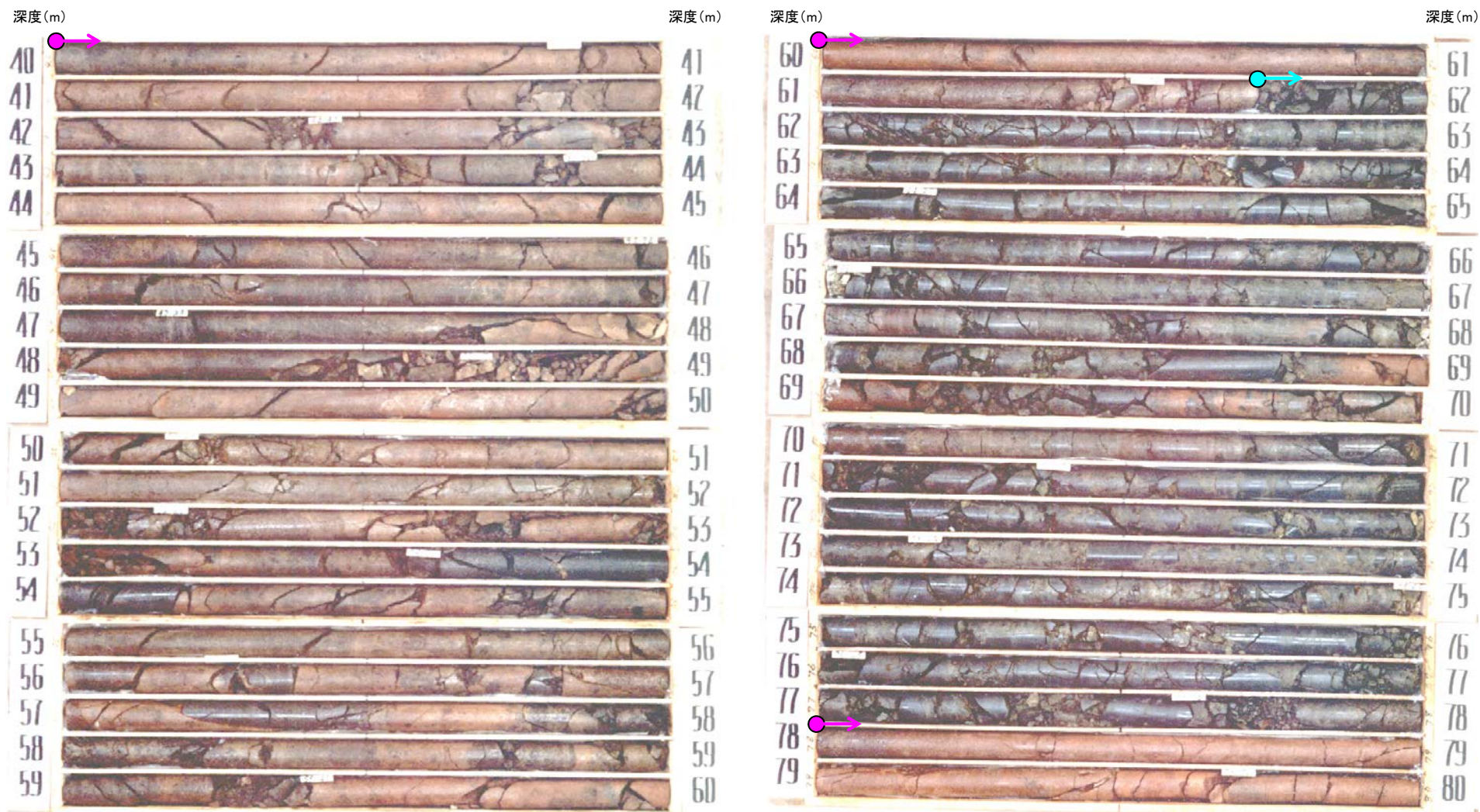


コア写真(深度40~80m)

- → 安山岩(均質)
- → 安山岩(角礫質)
- → 凝灰角礫岩

・2V-2孔において想定延長位置付近にS-5は認められない。

# S-7とS-2・S-6の切り合い関係 鉛直ボーリング(K-7孔)

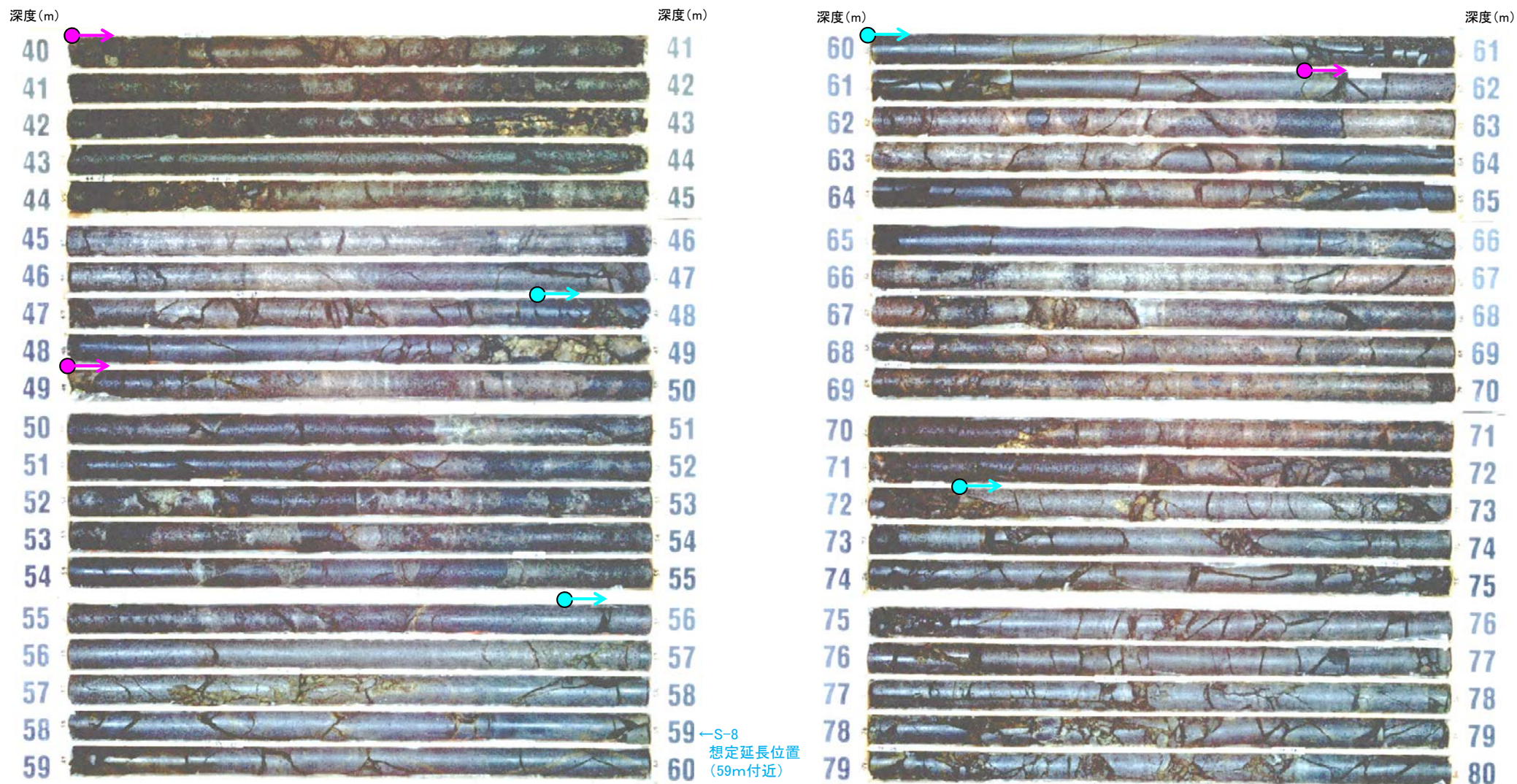


コア写真(深度40~80m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)

・K-7孔において想定延長位置付近にS-7は認められない。

# S-8とS-2・S-6の切り合い関係 鉛直ボーリング(R-7孔)



コア写真(深度40~80m)

- 安山岩(均質)
- 安山岩(角礫質)

・R-7孔において想定延長位置付近にS-8は認められない。

---

余白

---

データ集6-1

S-1の運動方向

---

(1) 最新面及び変位センスの認定方法について

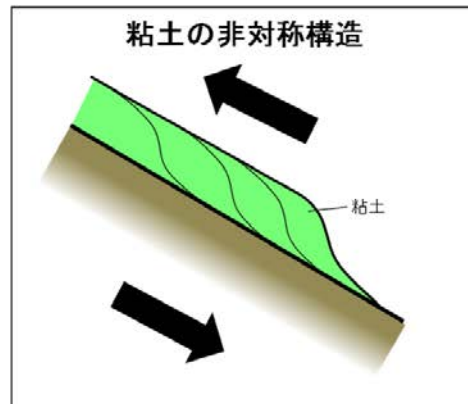
# 最新面及び変位センスの認定方法について

## a. ボーリングコア観察・BHTV観察・CT画像観察

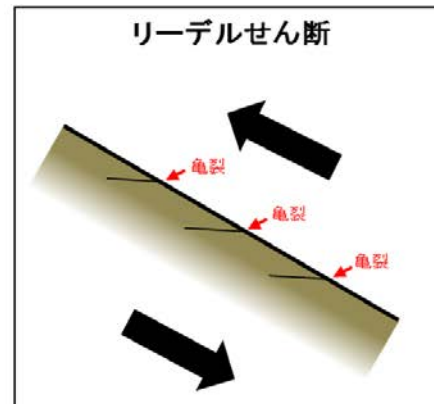
- ・他の構造に切られていない、相対的に**直線性・連続性のよいせん断面を抽出**。

## b. 条線観察

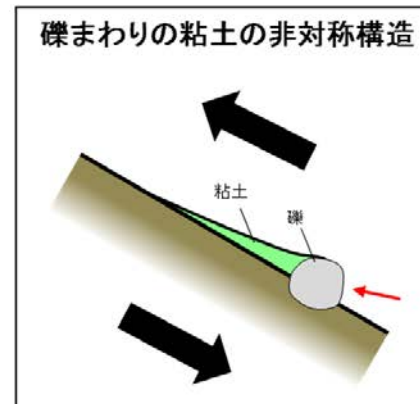
- ・条線方向を観察。
- ・複数の条線が確認される場合は、**条線同士の新旧関係について検討**。
- ・下記に示すリーデルせん断、礫まわりの粘土の非対称構造等から**変位センスを認定**。



- ・すべり面の摩擦による抵抗を受けたと考えられる引きずられた構造を抽出。
- ・粘土が引きずられた方向を変位方向とした。



- ・すべり面に対して、わずかに斜交し、魚のうろこのように分布する亀裂を抽出。亀裂の先端表面では透きとおってみえる。
- ・すべり面上の条線に沿ってひっかかる方向を変位方向とした。



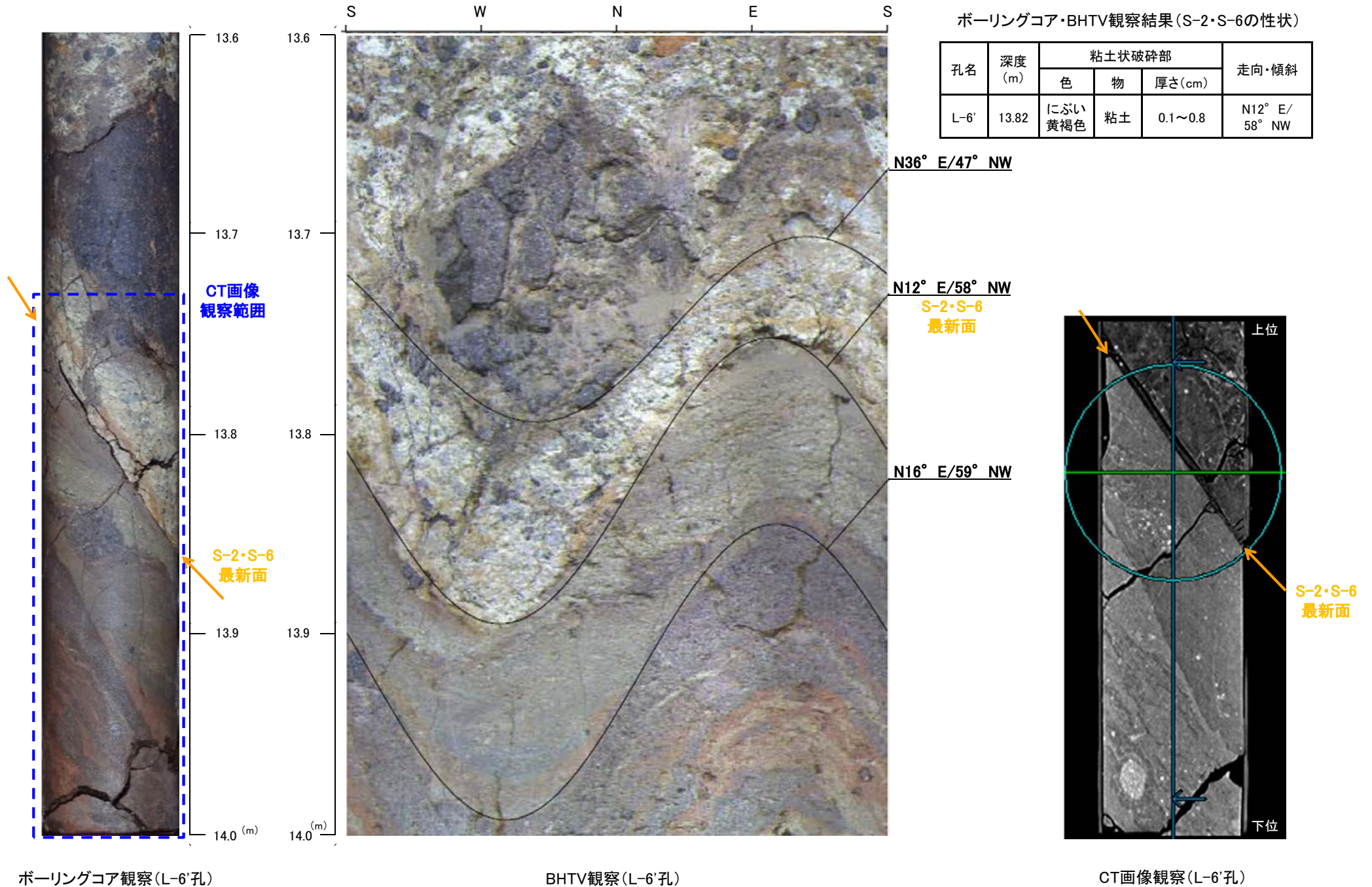
- ・すべり面に対して鋭角に立つ礫の表面が観察され、礫の背後に向かって、粘土が薄く引きのばされたような形状を抽出。
- ・粘土が薄く引きのばされた方向を変位方向とした。



## c. 薄片観察

- ・条線観察で確認した条線方向で薄片を作成。
- ・他の構造に切られていない、相対的に直線性・連続性のよいせん断面を抽出し、**最新面を認定**。
- ・リーデルせん断、粘土鉱物の配列等から**変位センスを認定または確認**。

# a. ボーリングコア観察・BHTV観察・CT画像観察例(L-6'孔)

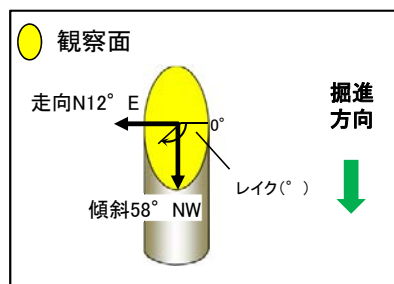


・粘土状破碎部の中で最も直線性・連続性のよい面は、下盤境界付近と考えられる。



## b. 条線観察例①(L-6'孔)

■前頁のボーリングコア・CT画像観察結果を踏まえ、下盤境界付近の最もはがれやすい面において、条線観察を実施。

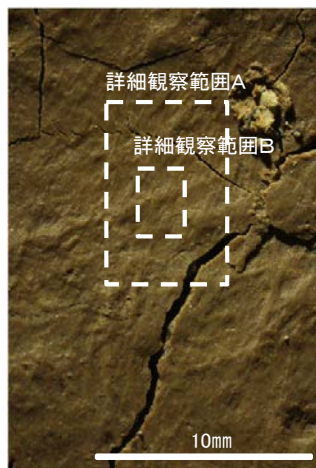


概念図

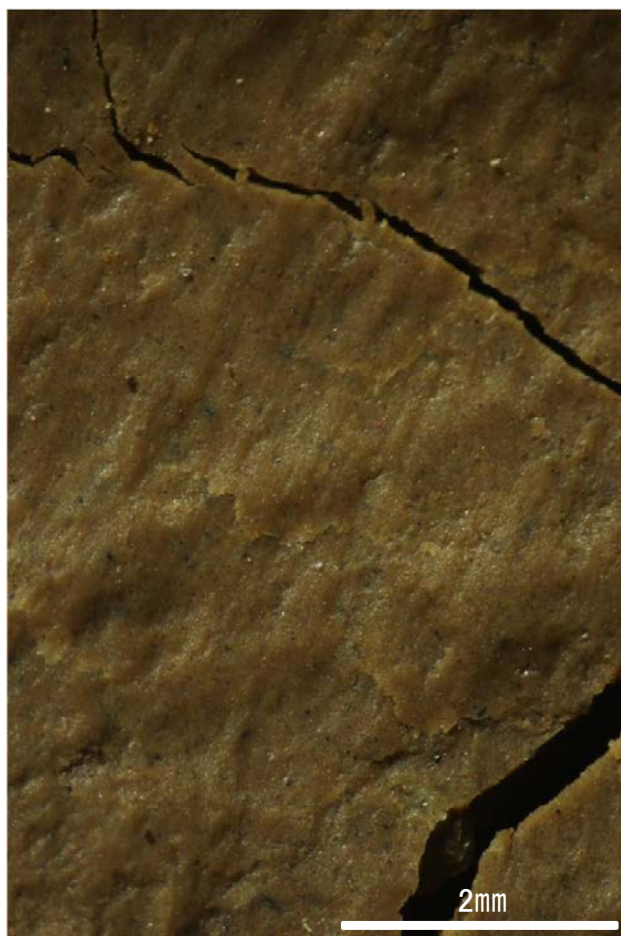
※走向は真北で示す。



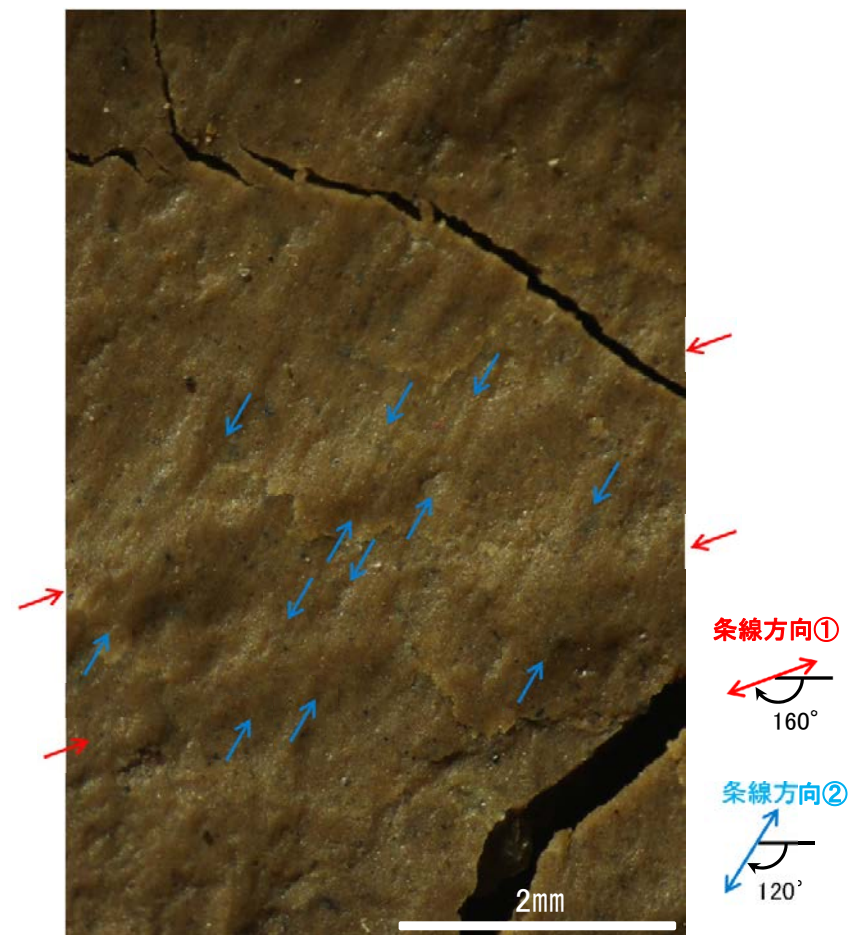
観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真A



詳細観察写真A(条線方向を加筆)

(条線方向)

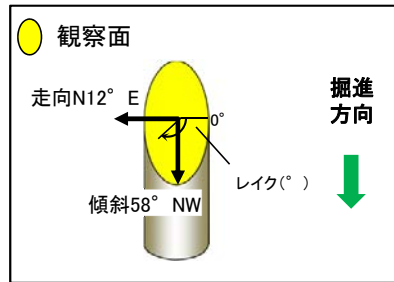
・2方向の条線が認められ、条線①のレイクは $160^{\circ}$  R、条線②のレイクは $120^{\circ}$  Rである。

(条線の新旧関係)

・不明瞭な条線①に重なって、明瞭な条線②が認められることから、条線①の後に条線②が形成されたと考え、条線②を当該位置で確認された条線(最新の条線方向)とする。

## b. 条線観察例②(L-6' 孔)

■前頁の観察結果を踏まえ、最新の活動方向だと考えられる120° R方向の条線について、変位センスを確認。

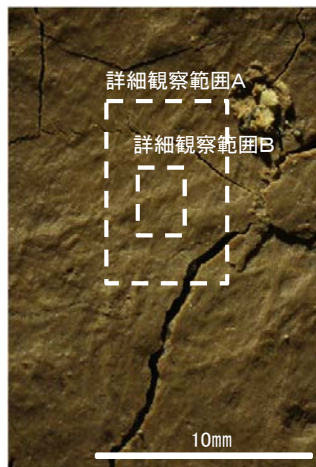


概念図

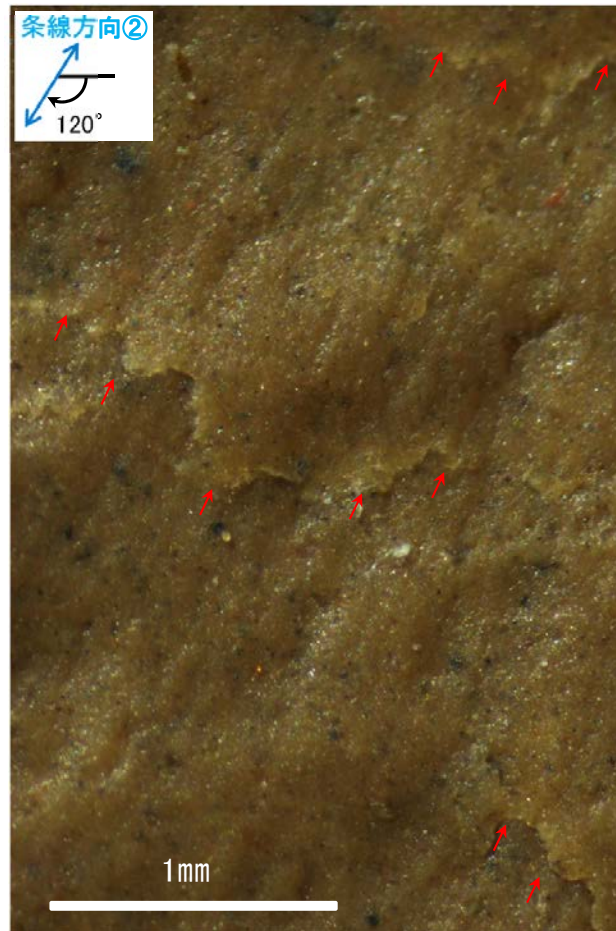
※走向は真北で示す。



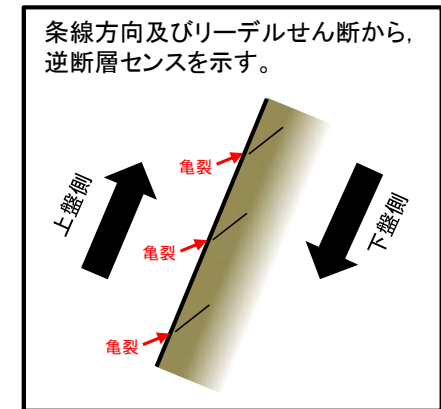
観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真B(亀裂を加筆)



条線方向及びリーデルせん断から、逆断層センスを示す。

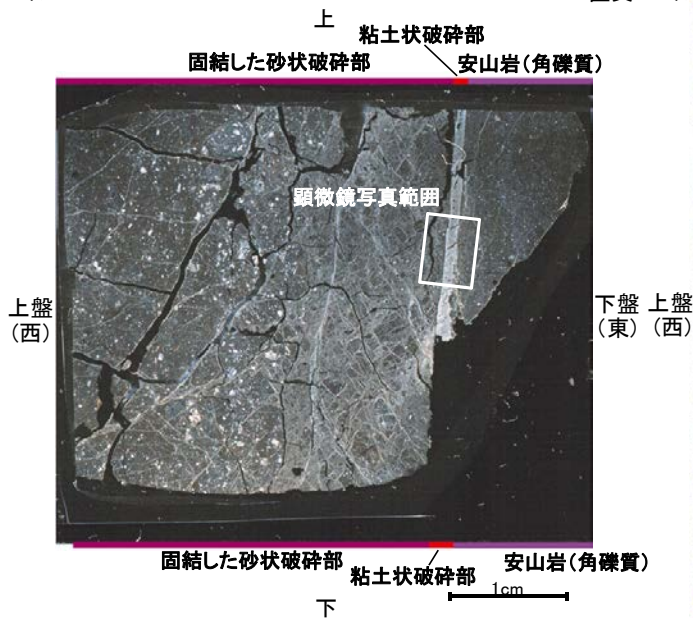
(運動方向)

・条線方向及びリーデルせん断から、上盤隆起の逆断層センスが推定される。

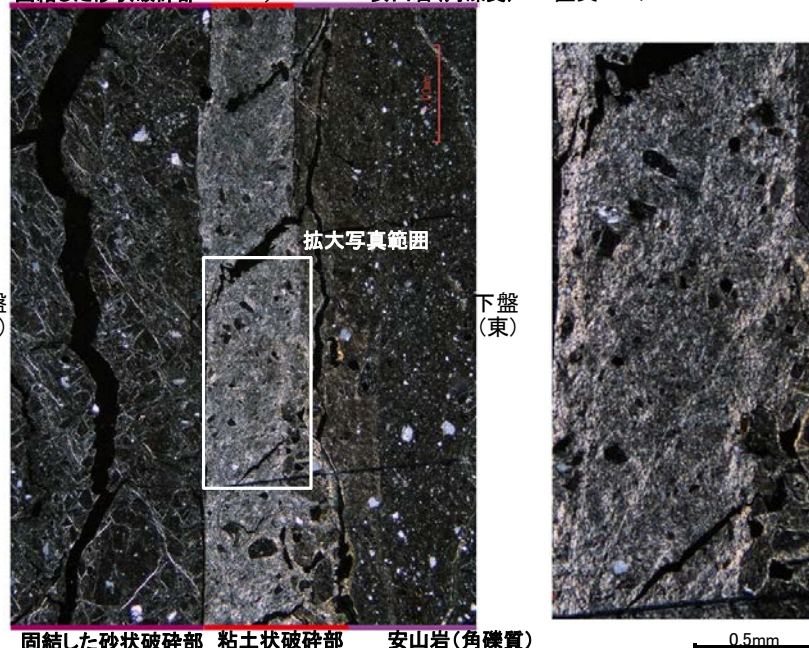
# c. 薄片観察例 (E-8.5-2\_160R)

■ 条線観察結果を踏まえ、条線方向のレイクでボーリングコアを切断し、薄片観察を実施。

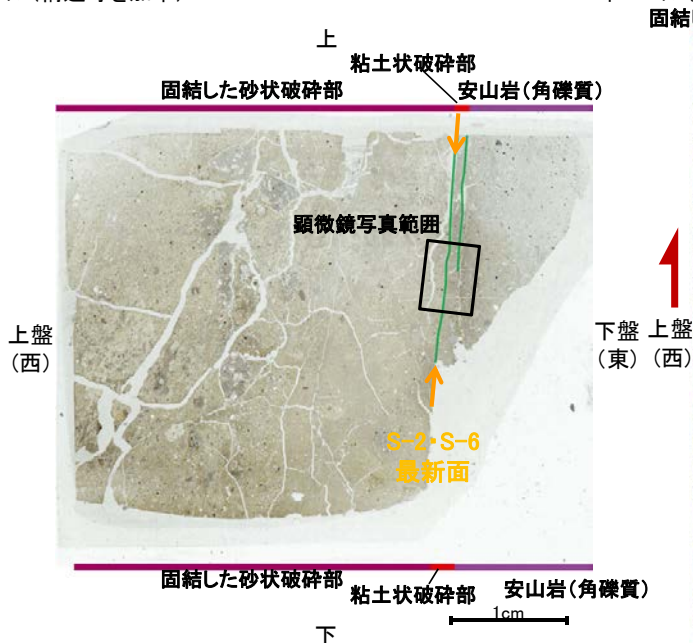
直交ニコル



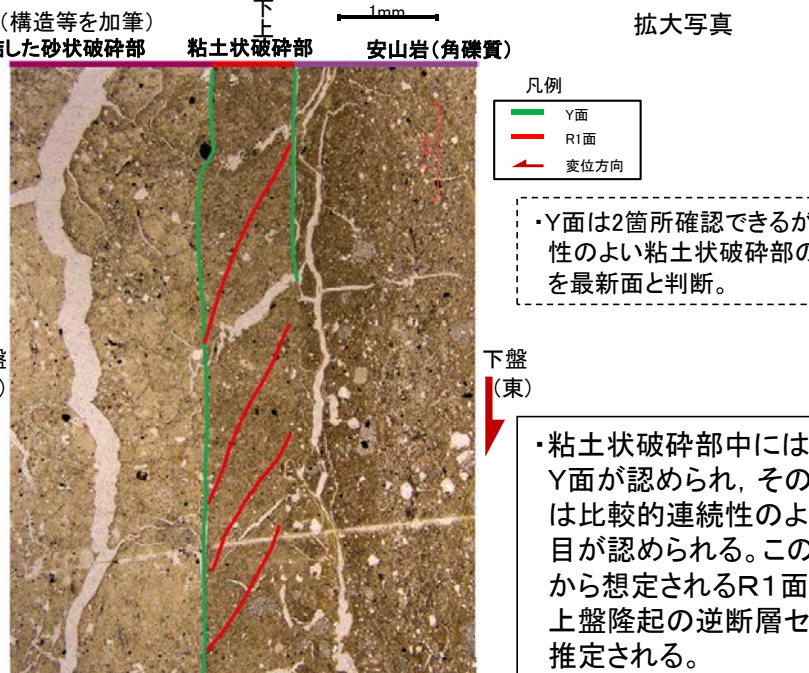
直交ニコル 固結した砂状破砕部 上 粘土状破砕部 安山岩(角礫質) 直交ニコル



単ニコル(構造等を加筆)



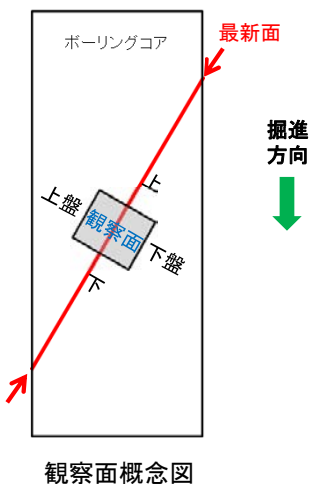
単ニコル(構造等を加筆)



凡例  
 緑線 Y面  
 赤線 R1面  
 赤矢 変位方向

・Y面は2箇所確認できるが、連続性のよい粘土状破砕部の上盤側を最新面と判断。

・粘土状破砕部中には明瞭なY面が認められ、その近傍では比較的連続性のよい割れ目が認められる。この割れ目から想定されるR1面より、上盤隆起の逆断層センスが推定される。



観察面概念図

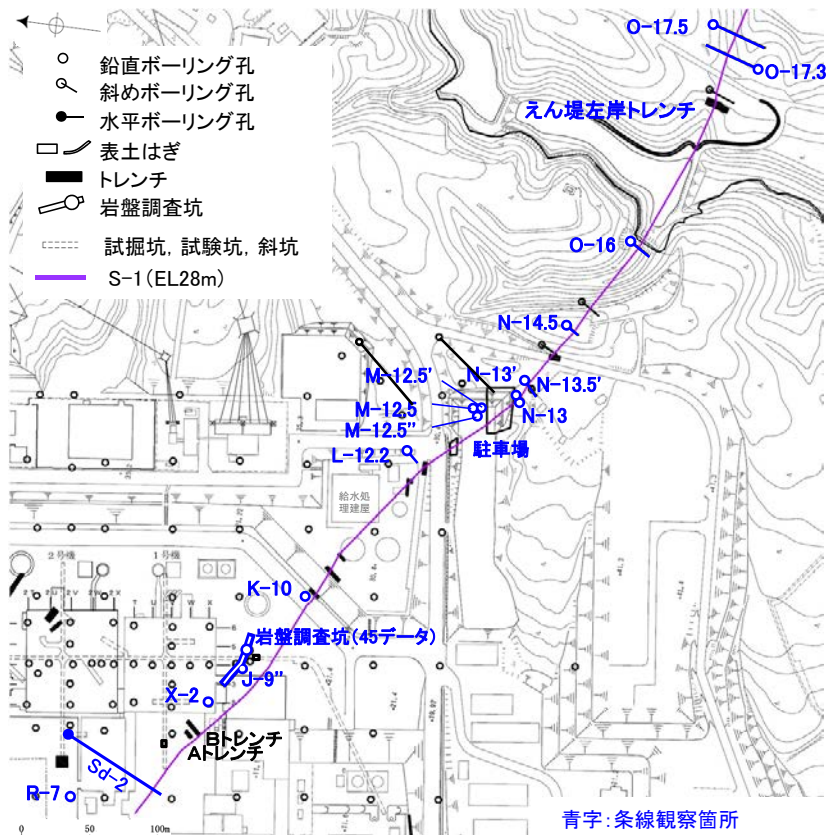
薄片写真 (E-8.5-2\_160R)

顕微鏡写真

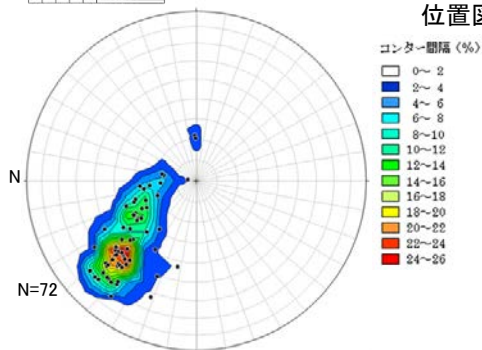
---

## (2) 条線觀察結果

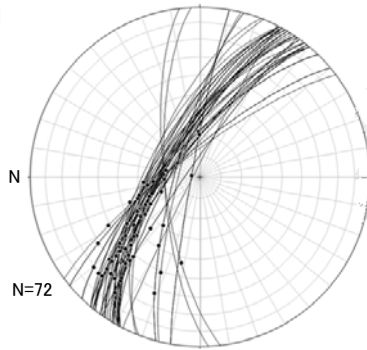
# S-1の条線観察結果



位置図



S-1の条線の姿勢(下半球等角投影図)  
(左側を北として表示)



S-1の運動方向(下半球等角投影図)  
(左側を北として表示)

調査地点	粘土の厚さ(cm)	走向/傾斜 (走向は真北)	条線のレイク※	変位センス (条線観察)	変位センス (薄片観察)
R-7 深度153.35m	0.3~0.7	N62° W/70° NE	55° R	右横ずれ逆断層	—
Sd-2(水平ボーリング)	1	N62° W/70° NE	63° R	右横ずれ逆断層	—
X-2 深度37.38m	フィルム状~0.1	N40° W/78° NE	30° R	(不明)	—
			80° R	(不明)	—
J-9' 深度29.33m	0.25	N83° E/73° NW	50° R	(不明)	—
K-10 深度16.95m	フィルム状	N69° W/66° NE	40° R	(不明)	—
L-12.2 深度41.93m	0.1~0.15	N38° W/79° NE	40° R	右横ずれ逆断層	—
			60° R	(不明)	—
M-12.5 深度63.43m	フィルム状~0.5	N62° W/72° NE	45° R	(不明)	—
			40° R	右横ずれ逆断層	右横ずれ逆断層
M-12.5' 深度51.65m	1.4~1.8	N51° W/76° NE	40° R	(不明)	右横ずれ逆断層
M-12.5'' 深度50.00m	0.7~0.9	N51° W/79° NE	65° R	(不明)	右横ずれ逆断層
駐車場底盤ボーリングNo.1	2.5~5	N50° W/77° NE	20° R	(不明)	—
			40° R	(不明)	—
駐車場底盤ボーリングNo.2	3.5~5	N46° W/74° NE	70° R	(不明)	—
			20° R	(不明)	—
			105° R	(不明)	—
N-13 深度11.10m	0.1~0.4	N50° W/75° NE	50° R	(不明)	—
N-13' 深度23.39m	フィルム状~0.2	N52° W/69° NE	60° R	(不明)	—
N-13.5' 深度10.90m	0.1~0.4	N87° E/73° NW	90°	逆断層	—
N-14.5 深度21.31m	0.1~0.2	N55° W/84° NE	56° R	(不明)	—
			26° R	(不明)	—
O-16 深度20.36m	0.6~1.4	N63° NW/87° NE	51° R	(不明)	—
			90° R	(不明)	—
えん堤左岸トレンチ 底盤	0.25~0.3	N80° W/86° NE	110° R	(不明)	—
			28° R	(不明)	—
O-17.3 深度41.82m	0.1~0.2	N75° W/78° NE	63° R	右横ずれ逆断層	—
			40° R	(不明)	—
O-17.5 深度25.29m	0.2~0.3	N76° W/80° NE	40° R	(不明)	—

※上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す

\*岩盤調査坑の45データについては、次頁に記載。

- ・S-1は、おもに北西-南東走向、北東傾斜であり、条線は北西方向の中角度である。
- ・変位センスが判読できるものは全て逆断層センスであり、条線のレイクを考慮すると、S-1の運動方向は右横ずれ逆断層センスとなる。

# S-1の条線観察結果(岩盤調査坑)

試料番号		走向/傾斜 (走向は真北)	条線の レイク*	変位センス (条線観察)	変位センス (薄片観察)
鉛直ボーリング No.6V	下盤側	N61° W/77° NE	40° R	右横ずれ逆断層	—
	上盤側		75° R	(不明)	—
			40° R	右横ずれ逆断層	—
鉛直ボーリング No.7V	上盤側	N62° W/68° NE	35° R	右横ずれ逆断層	—
鉛直ボーリング No.8V	下盤側	N59° W/76° NE	50° R	(不明)	—
	上盤側		55° R	(不明)	—
			25° R	(不明)	—
鉛直ボーリング No.10V	下盤側	N61° W/74° NE	85° R	右横ずれ逆断層	—
鉛直ボーリング No.11V	下盤側	N52° W/73° NE	30° R	(不明)	—
	上盤側		30° R	右横ずれ逆断層	—
鉛直ボーリング No.12V	下盤側	N56° W/71° NE	35° R	(不明)	—
鉛直ボーリング No.13V	下盤側	N59° W/74° NE	40° R	(不明)	—
	上盤側		40° R	(不明)	—
			60° R	(不明)	—
鉛直ボーリング No.15V	下盤側	N58° W/74° NE	35° R	(不明)	—
	上盤側		65° R	(不明)	—
鉛直ボーリング No.16V	下盤側	N60° W/73° NE	70° R	右横ずれ逆断層	—
	上盤側		35° R	(不明)	—
鉛直ボーリング No.17V	下盤側	N59° W/74° NE	35° R	右横ずれ逆断層	—
水平ボーリング No.13-2	下盤側	N55° W/70° NE	30° R	(不明)	—
			65° R	(不明)	—
水平ボーリング No.14	下盤側	N68° W/70° NE	80° R	右横ずれ逆断層	—
水平ボーリング No.18-1	下盤側	N50° W/72° NE	65° R	(不明)	—
	上盤側		20° R	右横ずれ逆断層	—
水平ボーリング No.19	下盤側	N52° W/74° NE	25° R	(不明)	—

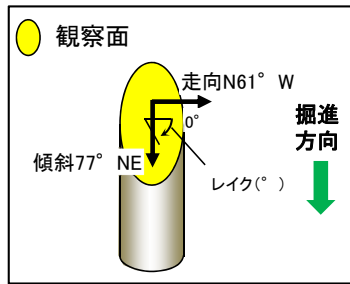
試料番号		走向/傾斜 (走向は真北)	条線の レイク*	変位センス (条線観察)	変位センス (薄片観察)
水平ボーリング No.20(1)	下盤側	N56° W/73° NE	60° R	(不明)	—
水平ボーリング No.20(2)	下盤側	N56° W/73° NE	25° R	(不明)	—
			40° R	右横ずれ逆断層	—
水平ボーリング No.22-1	下盤側	N62° W/72° NE	40° R	(不明)	—
	上盤側		50° R	右横ずれ逆断層	—
水平ボーリング No.23-1	下盤側	N57° W/72° NE	60° R	(不明)	右横ずれ逆断層
水平ボーリング No.25-1	下盤側	N54° W/78° NE	40° R	(不明)	—
			60° R	(不明)	—
水平ボーリング No.25-2	下盤側	N54° W/78° NE	40° R	右横ずれ逆断層	—
水平ボーリング No.26-1	下盤側	N56° W/71° NE	25° R	右横ずれ逆断層	—
			40° R	(不明)	—
水平ボーリング No.27-1	下盤側	N51° W/77° NE	40° R	右横ずれ逆断層	—
水平ボーリング No.27-2	上盤側	N51° W/77° NE	45° R	(不明)	—
			30° R	(不明)	—
No.24-2ブロック(1)	下盤側	N61° W/73° NE	35° R	(不明)	—
			45° R	右横ずれ逆断層	右横ずれ逆断層
No.24-2ブロック(2)	下盤側	N61° W/73° NE	40° R	右横ずれ逆断層	—
No.25-2ブロック(1)	下盤側	N54° W/78° NE	40° R	右横ずれ逆断層	右横ずれ逆断層
No.25-2ブロック(2)	下盤側	N54° W/78° NE	40° R	右横ずれ逆断層	—
水平ボーリングT-1 (深度3.34m)	下盤側	N60° W/68° NE	25° R	右横ずれ逆断層	—
水平ボーリングT-2 (深度2.85m)	下盤側	N62° W/65° NE	40° R	(不明)	—
水平ボーリングT-3 (深度2.55m)	下盤側	N61° W/67° NE	40° R	(不明)	—
			75° R	(不明)	—
			18° R	(不明)	—

※上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す。

■は、条線データが重複しているため、データ数に含めない。

\* ボーリング孔名の「No.○」は、切羽の番号を示す。南東側がNo.1切羽で北西側のNo.30切羽まで約1m間隔。

# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.6V(下盤側)①)

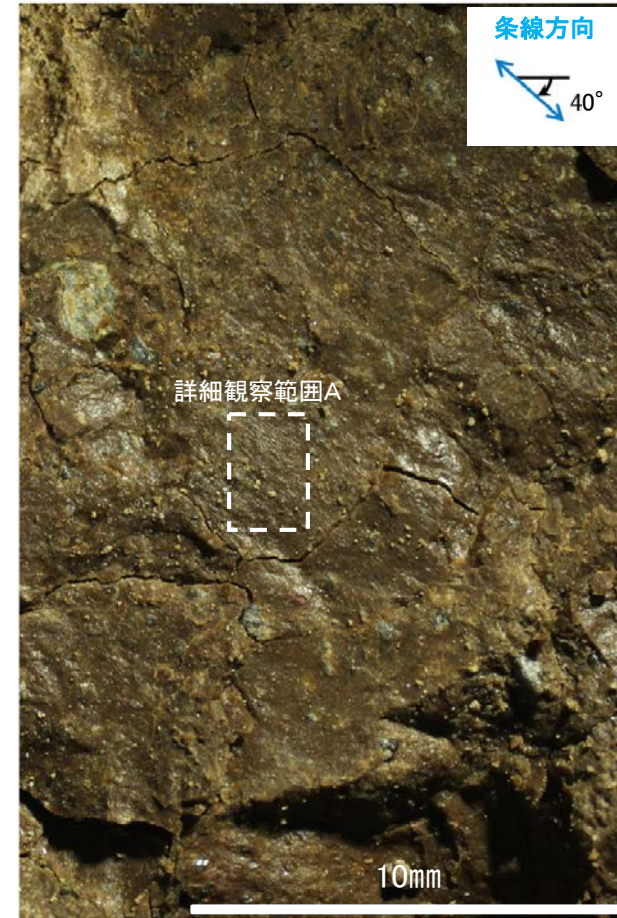


概念図

※走向は真北で示す。

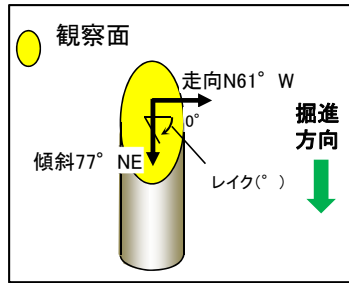


観察面写真



観察面拡大写真

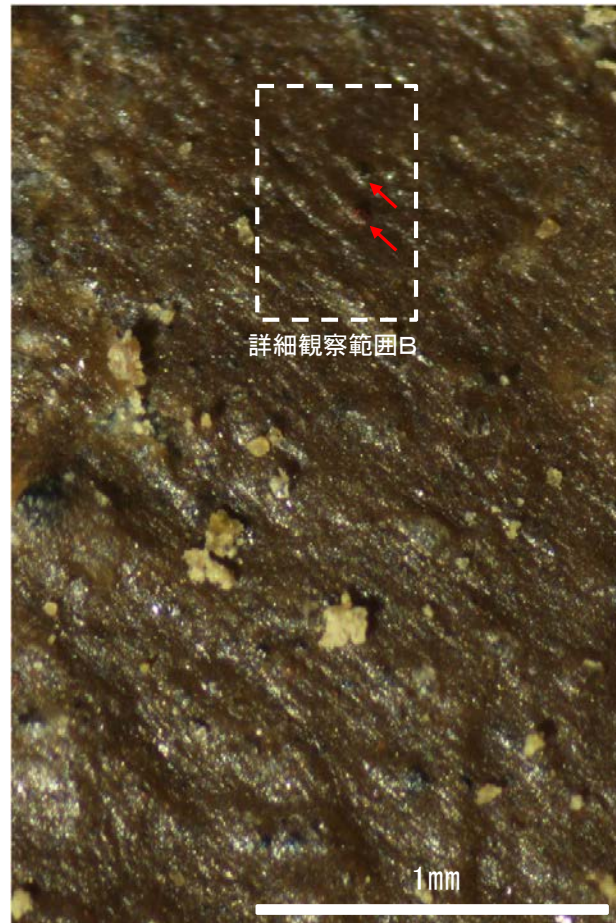
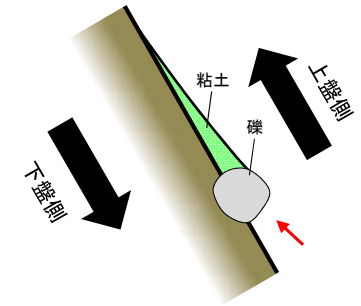
# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.6V(下盤側)②)



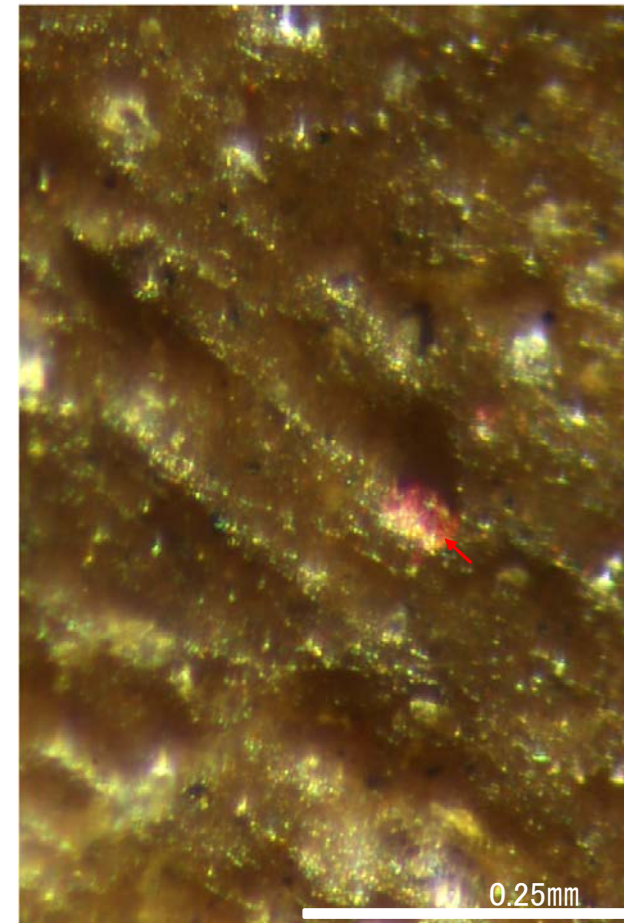
概念図

※走向は真北で示す。

条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



詳細観察写真A

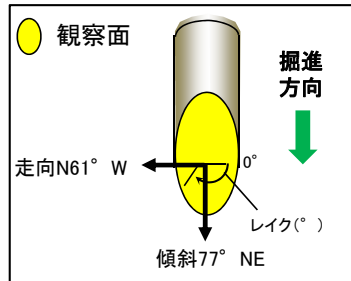


詳細観察写真B

・条線のレイクは40° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

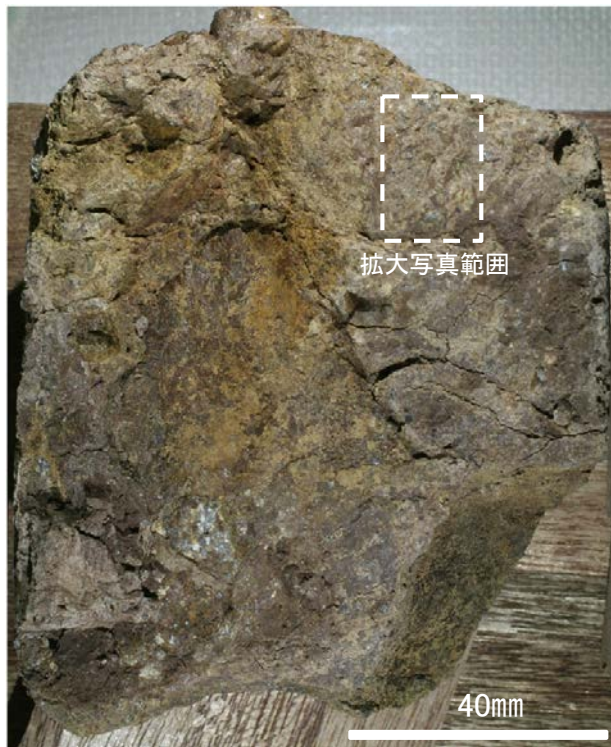


# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.6V(上盤側)①)

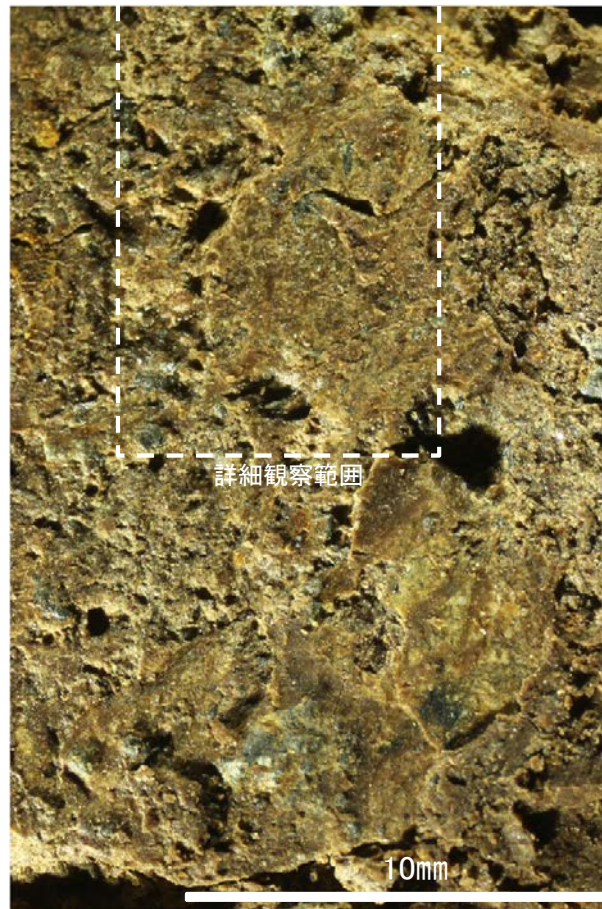


概念図

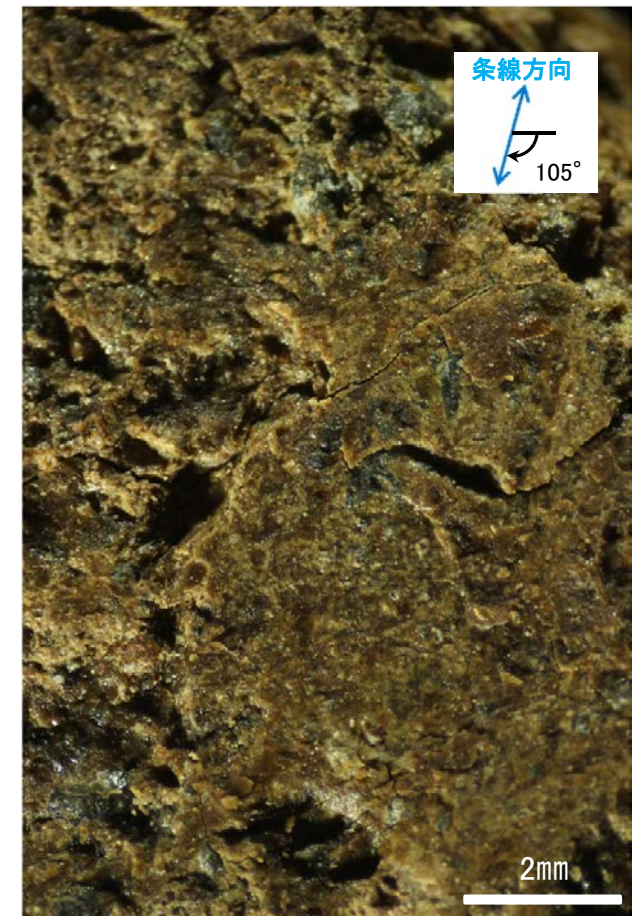
※走向は真北で示す。



観察面写真



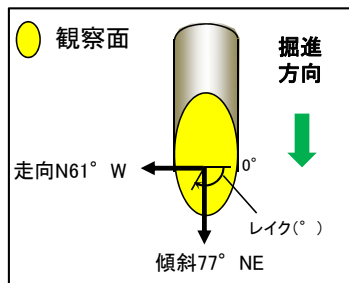
観察面拡大写真



詳細観察写真

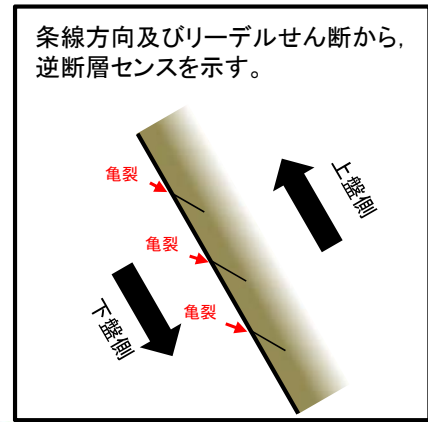
・条線のレイクは75° R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.6V(上盤側)②)

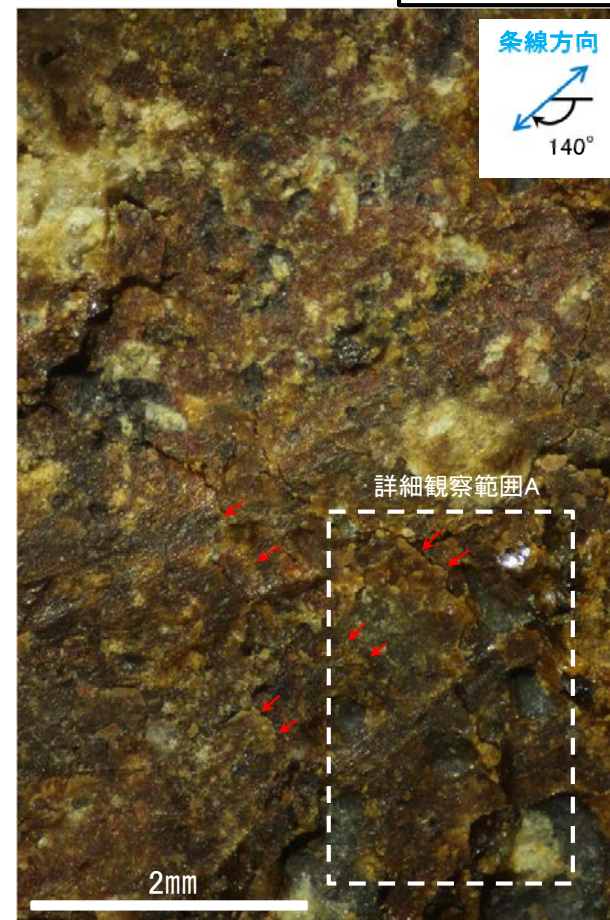


概念図

※走向は真北で示す。



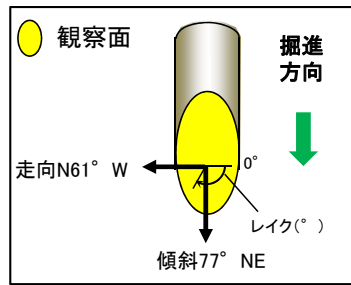
観察面写真



観察面拡大写真

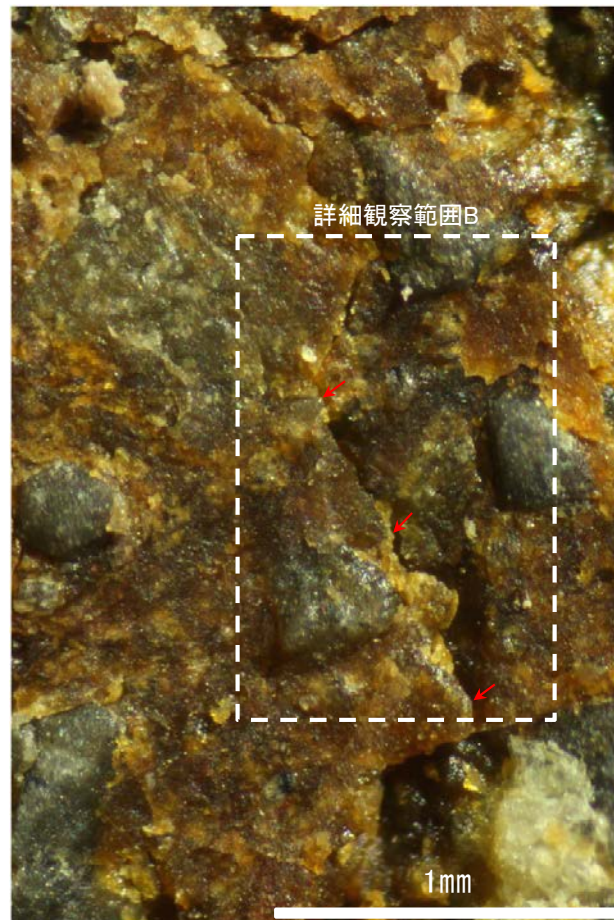
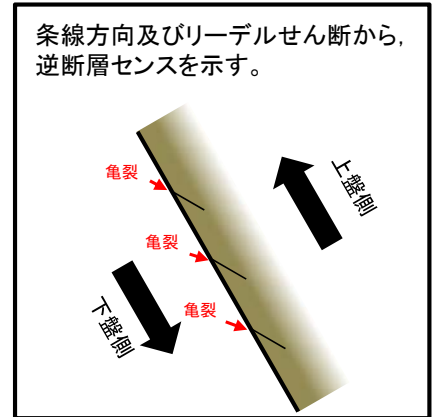
・条線のレイクは40° R (下盤側換算), 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.6V(上盤側)③)

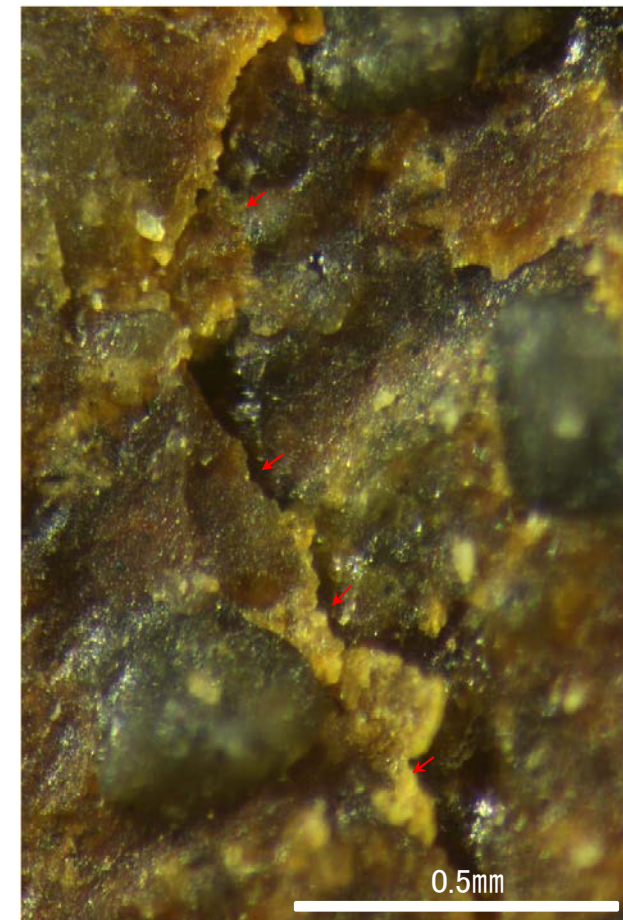


概念図

※走向は真北で示す。



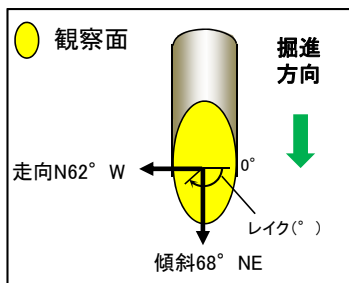
詳細観察写真A



詳細観察写真B

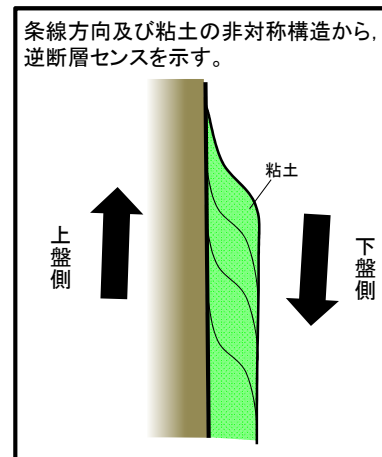
・条線のレイクは40° R(下盤側換算), 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.7V(上盤側))

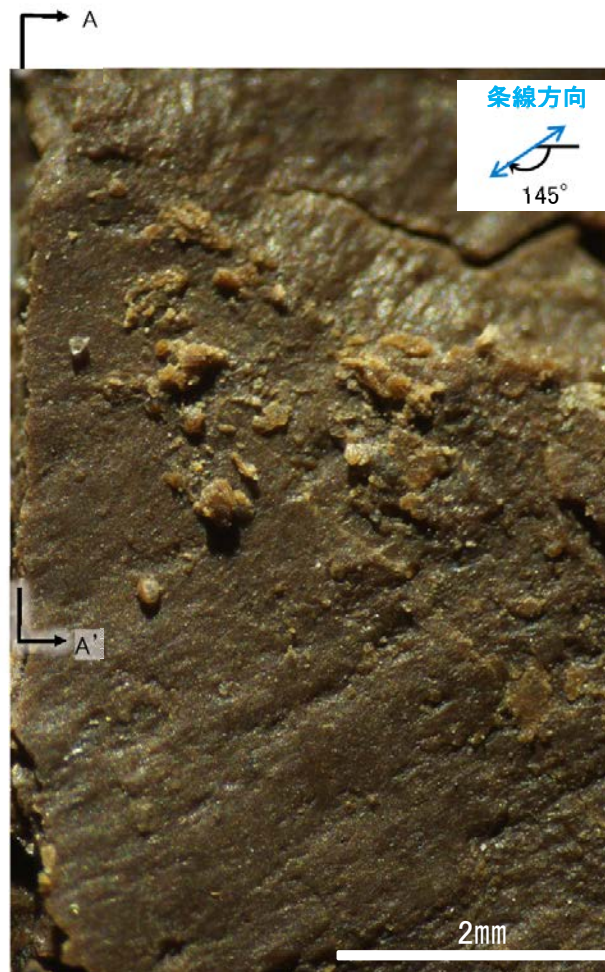


概念図

※走向は真北で示す。



観察面写真



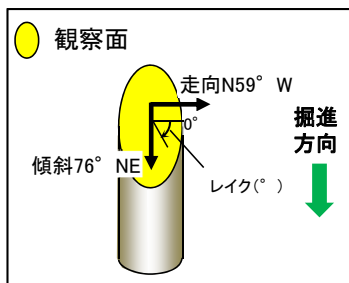
観察面拡大写真



詳細観察写真(A-A'断面)

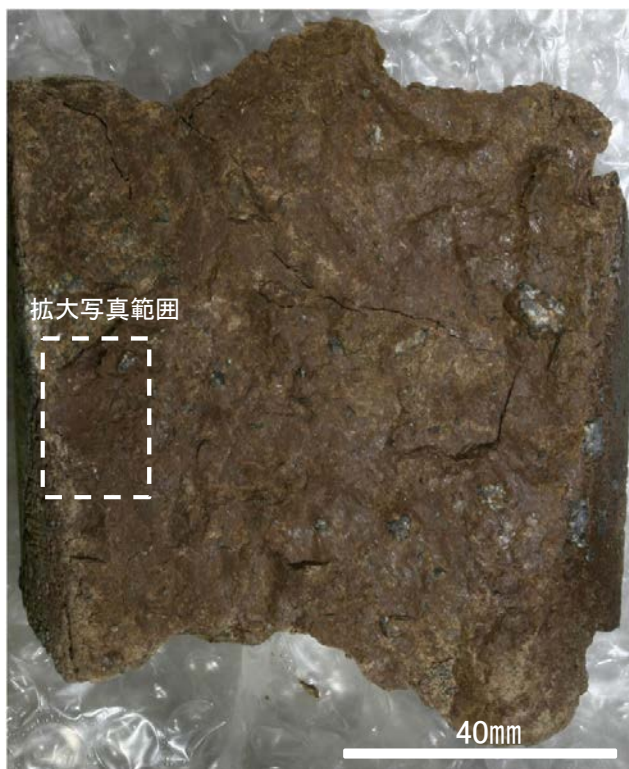
・条線のレイクは35° R(下盤側換算), 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.8V(下盤側))

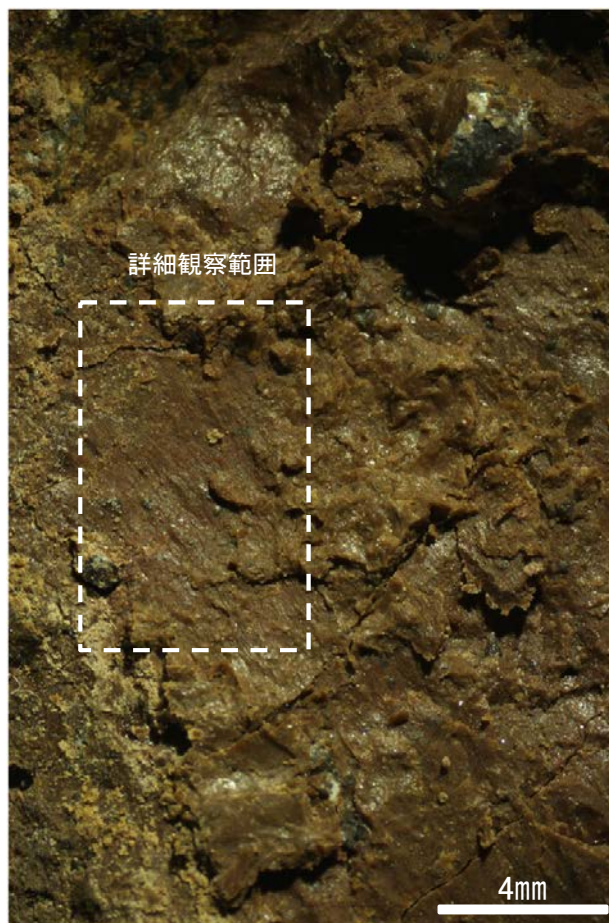


概念図

※走向は真北で示す。



観察面写真



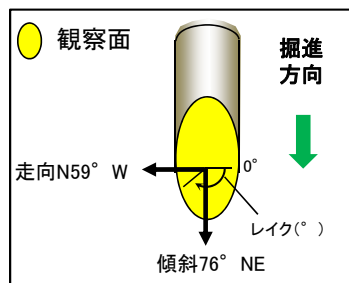
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは50° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.8V(上盤側))

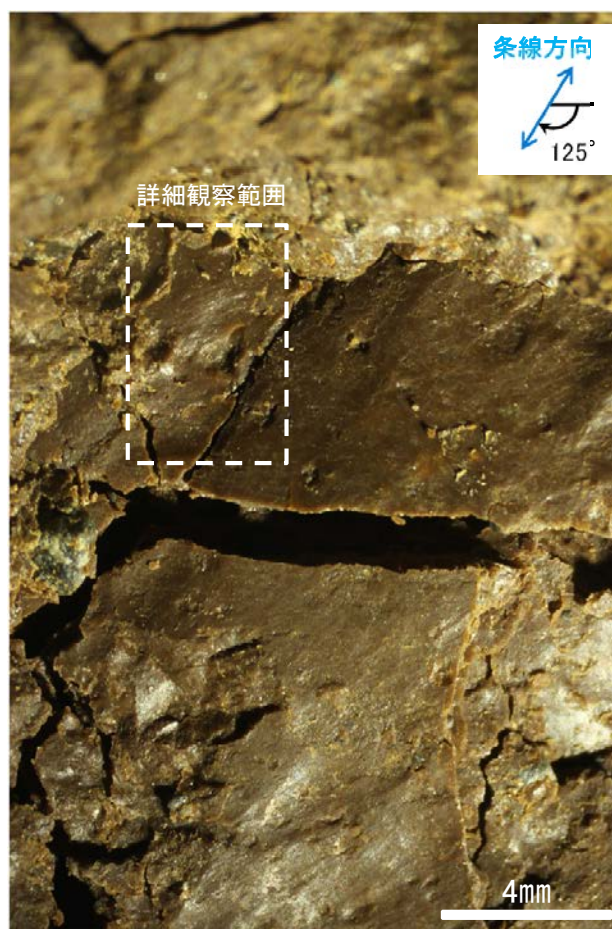


概念図

※走向は真北で示す。

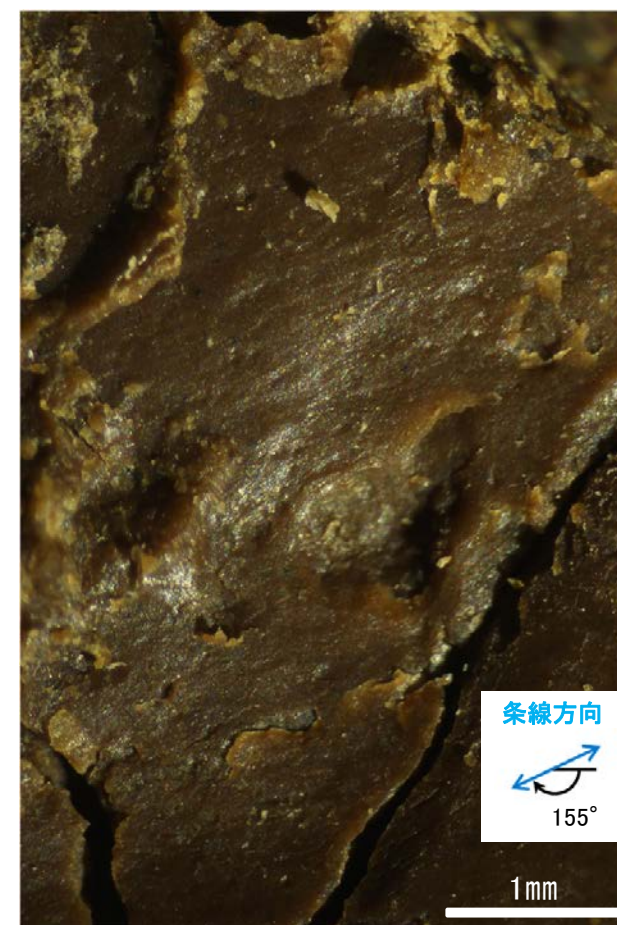


観察面写真



観察面拡大写真

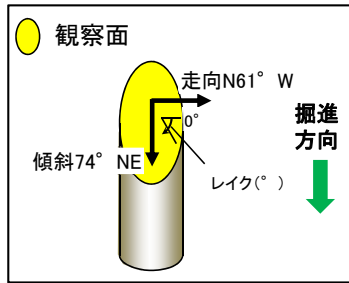
・条線のレイクは55° R (下盤側換算), 変位センスは不明



詳細観察写真

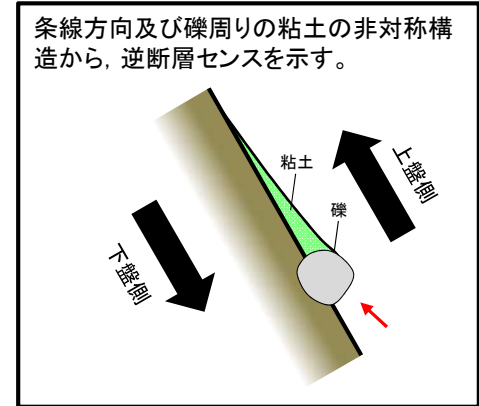
・条線のレイクは25° R (下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.10V(下盤側)①)

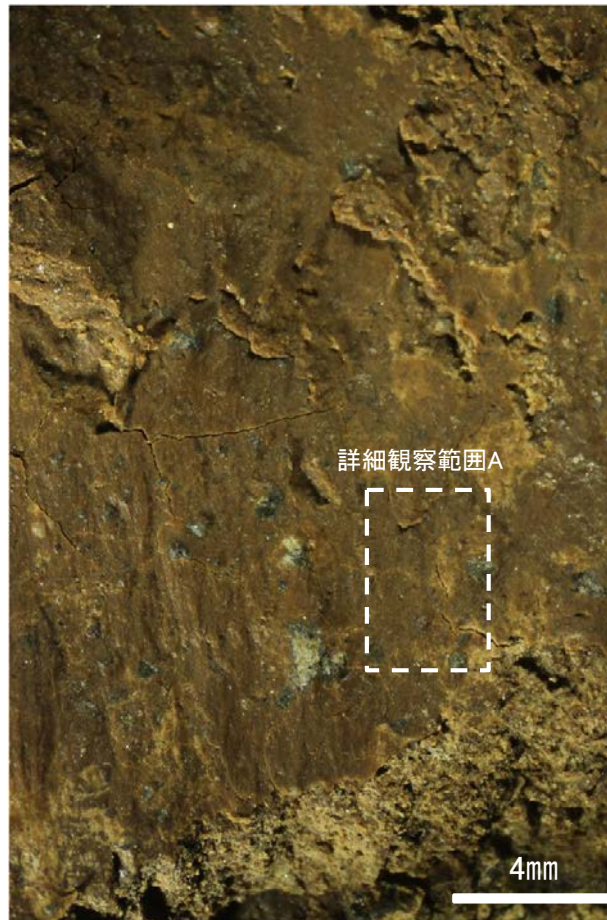


概念図

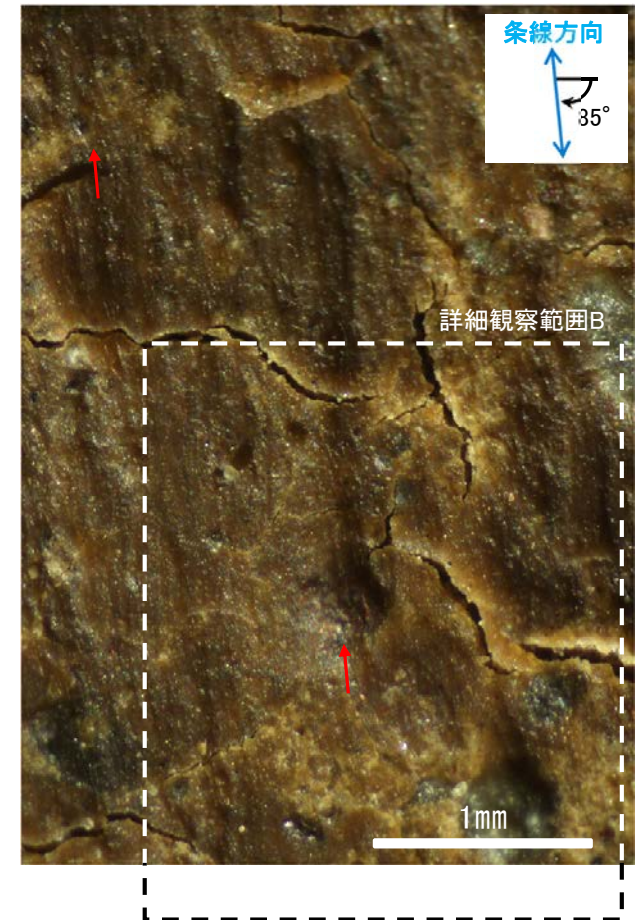
※走向は真北で示す。



観察面写真

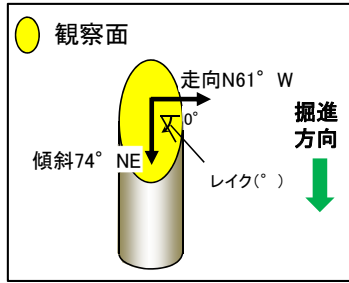


観察面拡大写真



詳細観察写真A

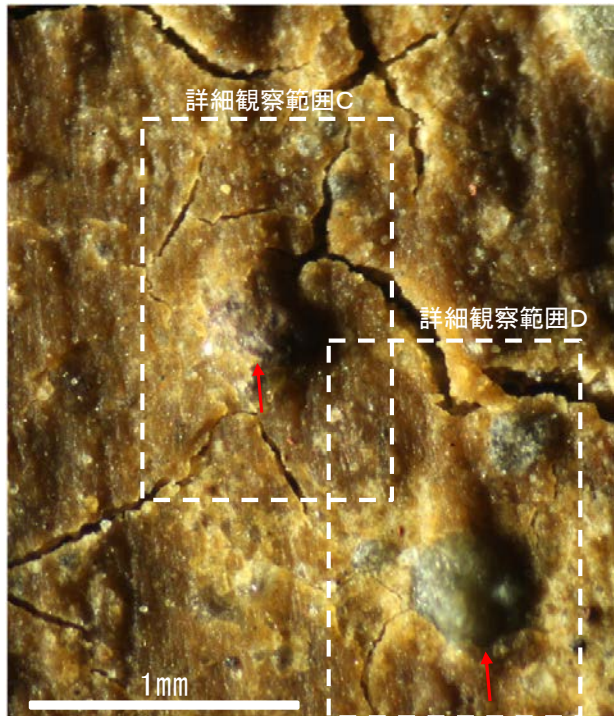
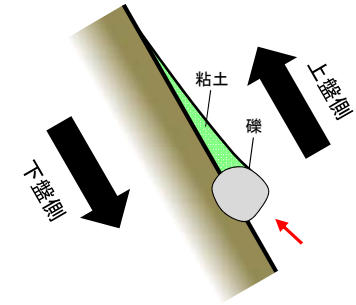
# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.10V(下盤側)②)



概念図

※走向は真北で示す。

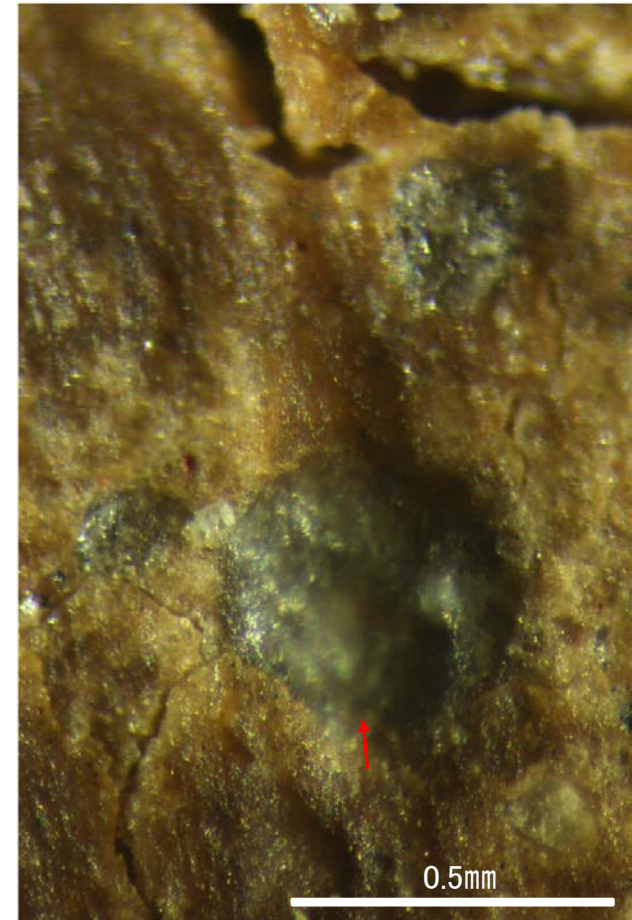
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



詳細観察写真B



詳細観察写真C

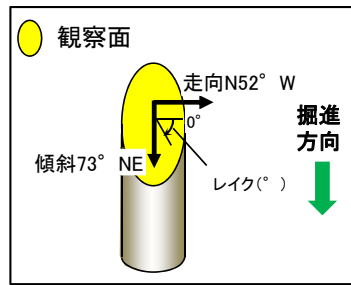


詳細観察写真D

・条線のレイクは85° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス



# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.11V(下盤側))

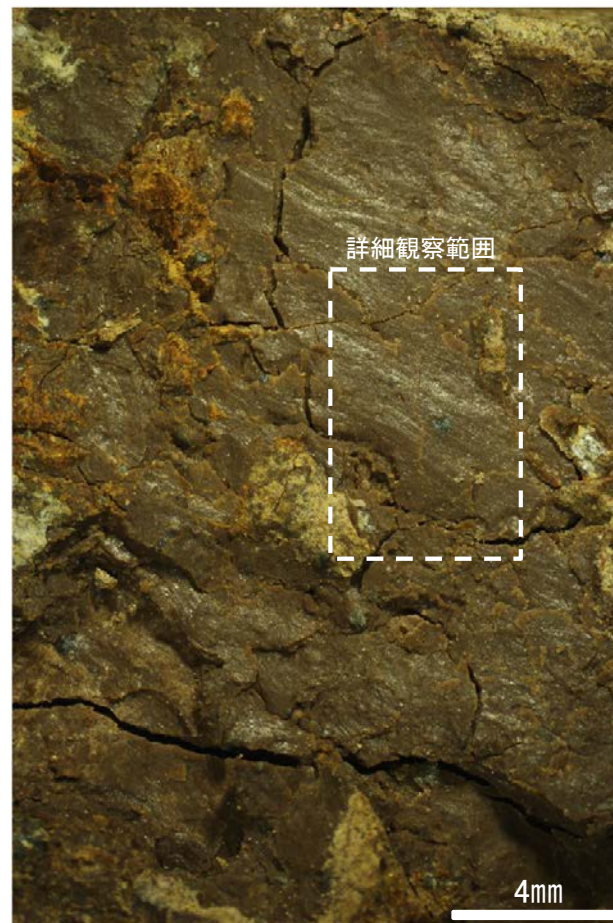


概念図

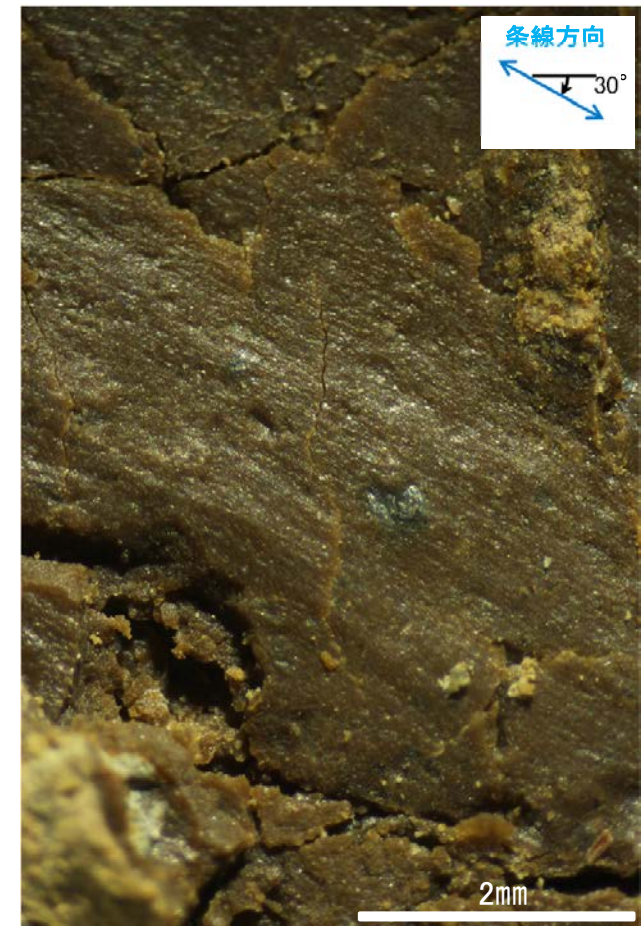
※走向は真北で示す。



観察面写真



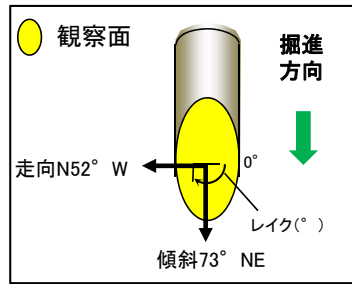
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは30° R, 変位センスは不明

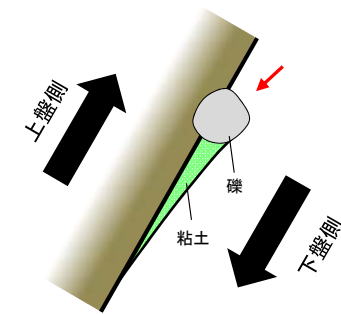
# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.11V(上盤側)①)



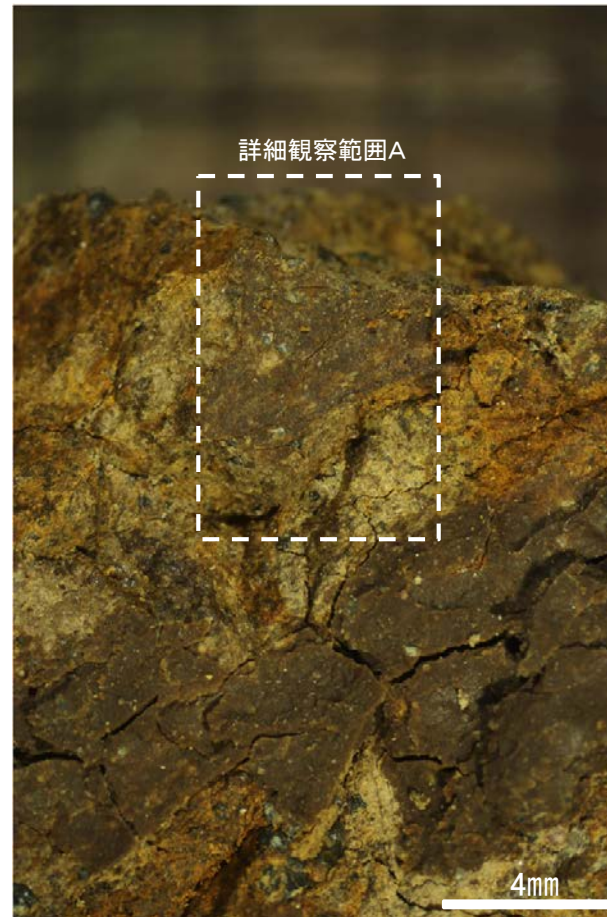
概念図

※走向は真北で示す。

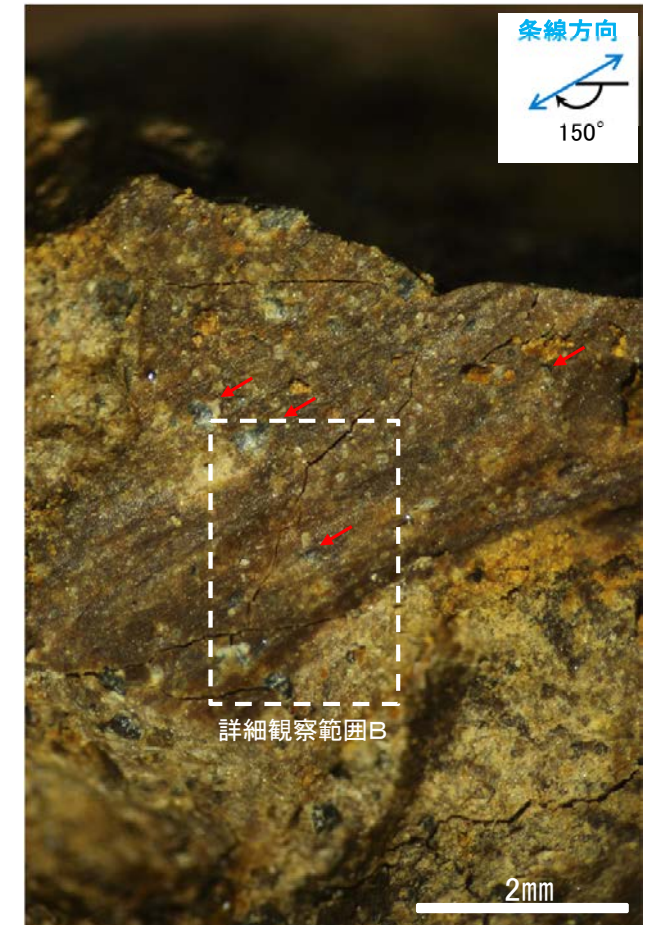
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



観察面写真

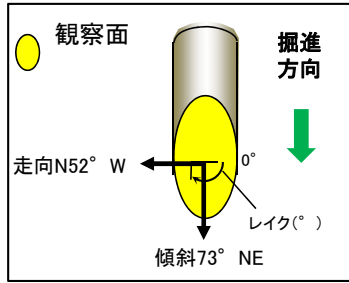


観察面拡大写真



詳細観察写真A

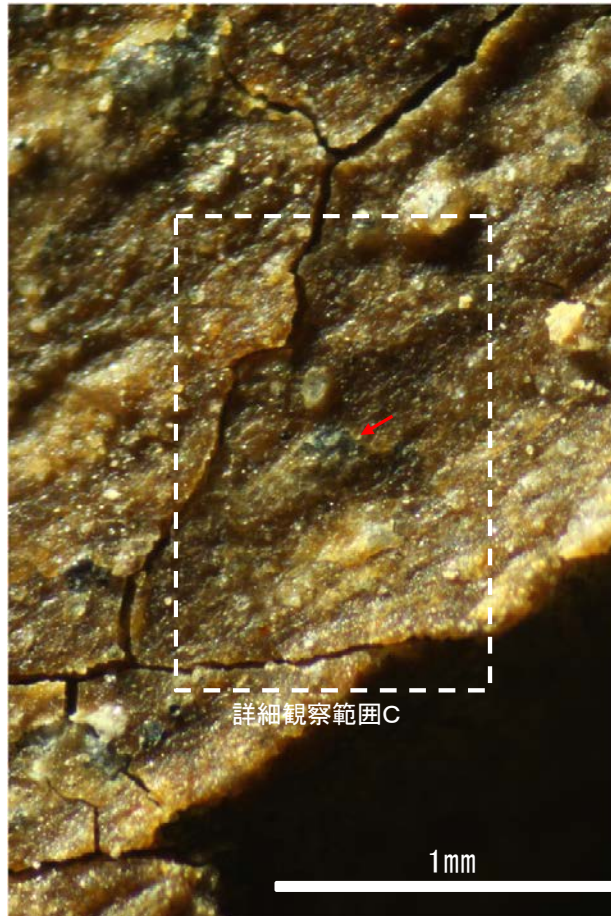
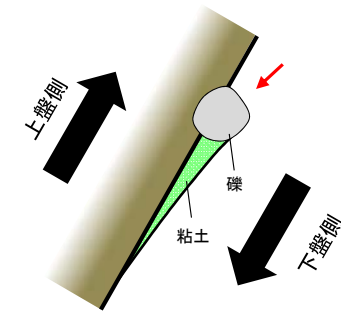
# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.11V(上盤側)②)



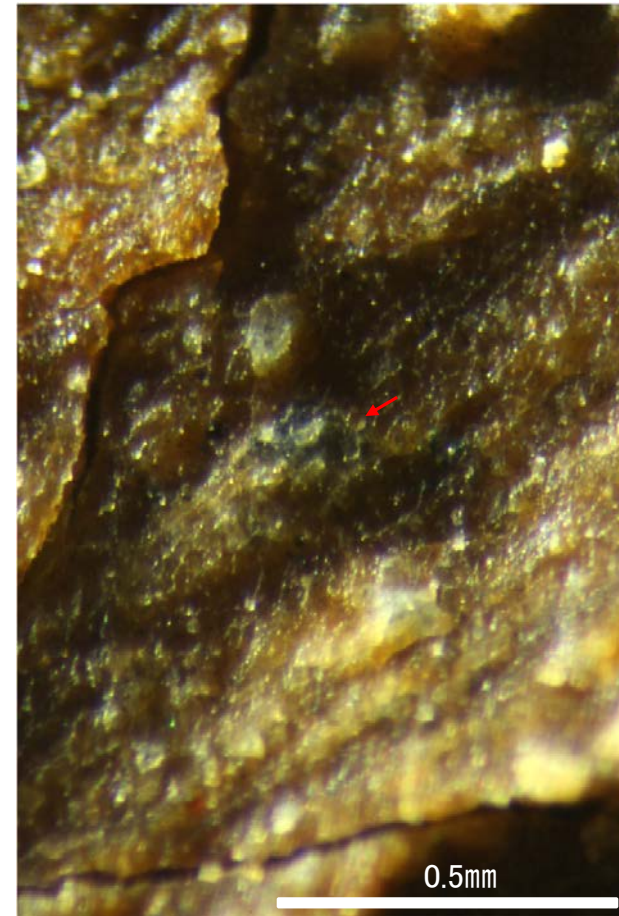
概念図

※走向は真北で示す。

条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



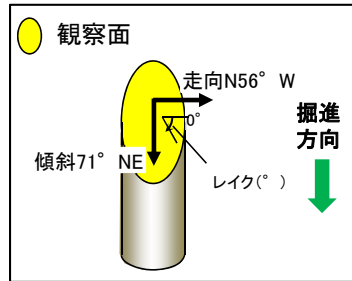
詳細観察写真B



詳細観察写真C

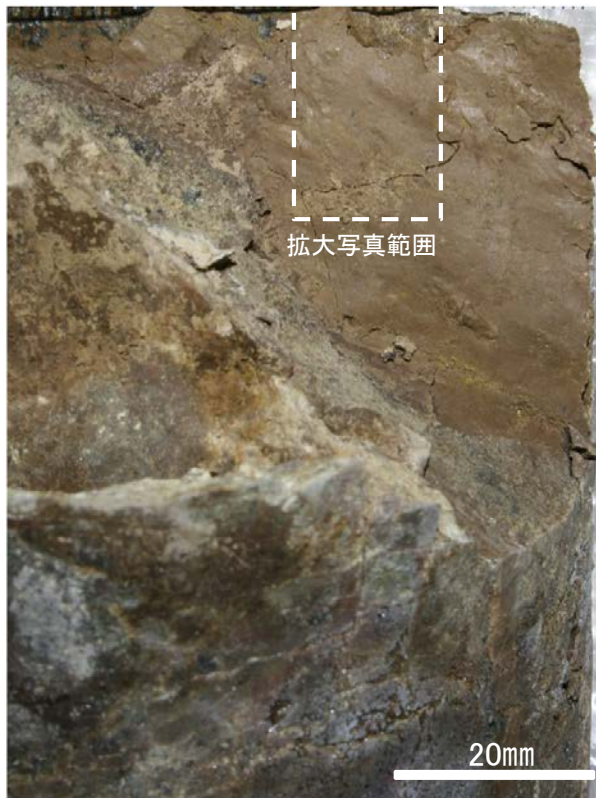
・条線のレイクは30° R (下盤側換算), 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.12V(下盤側))

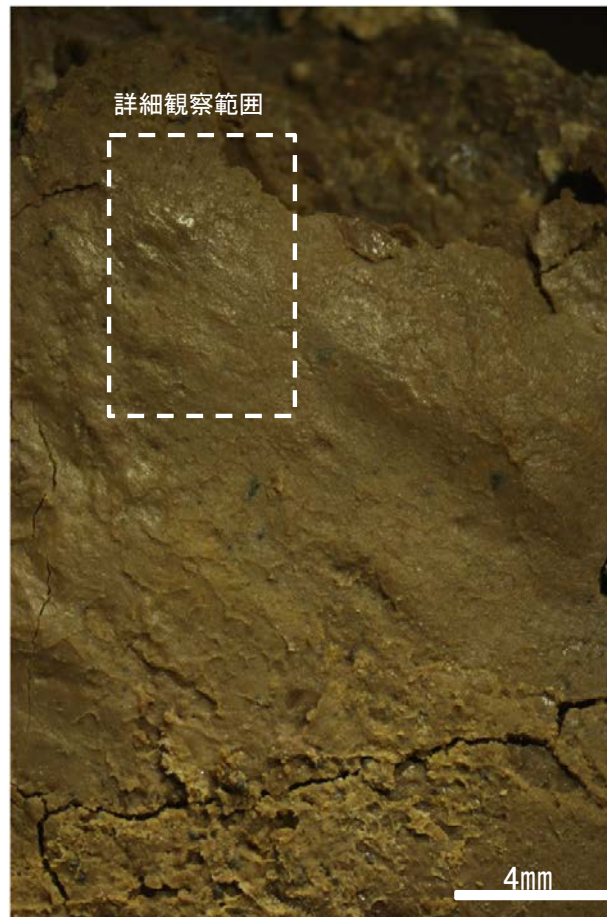


概念図

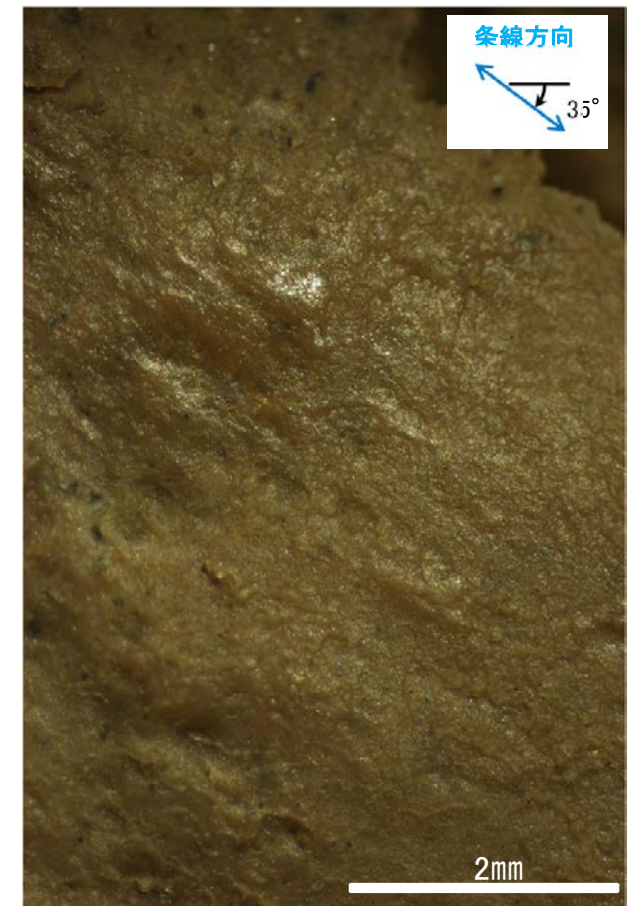
※走向は真北で示す。



観察面写真



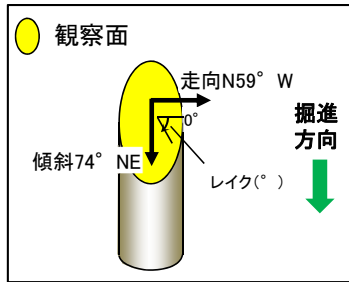
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは35° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.13V(下盤側))

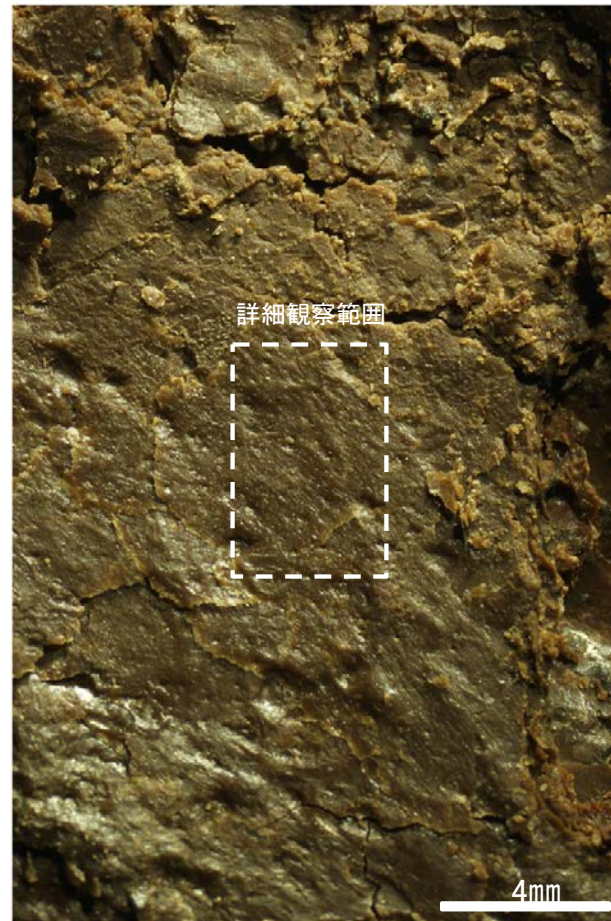


概念図

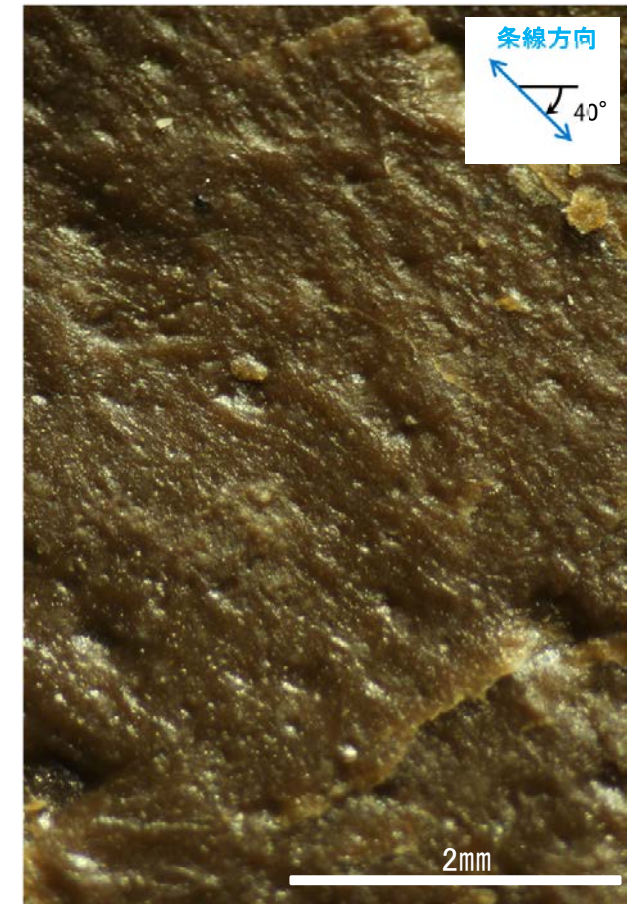
※走向は真北で示す。



観察面写真



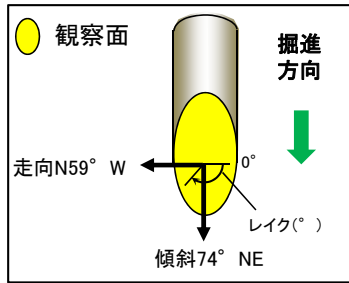
観察面拡大写真



詳細観察写真

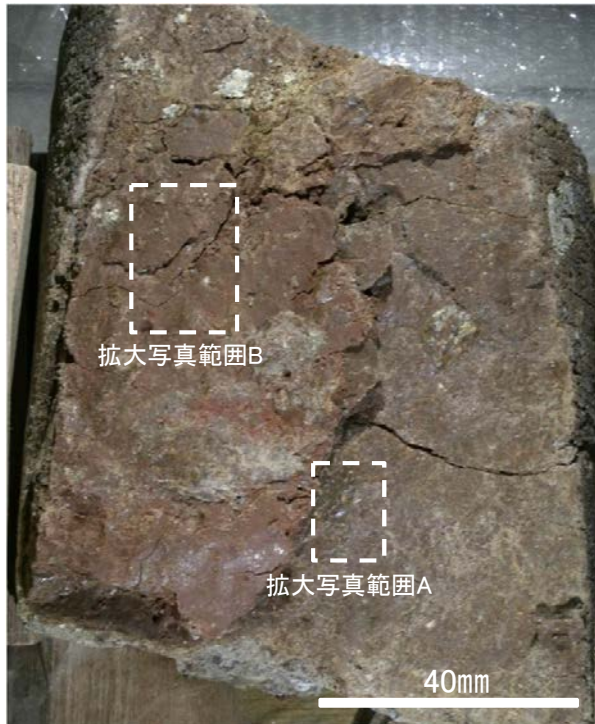
・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.13V(上盤側))

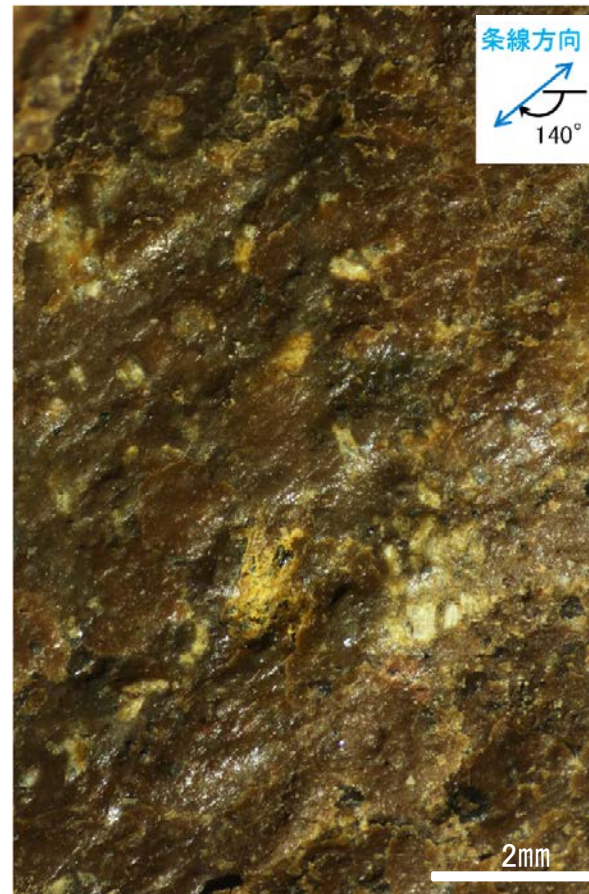


概念図

※走向は真北で示す。

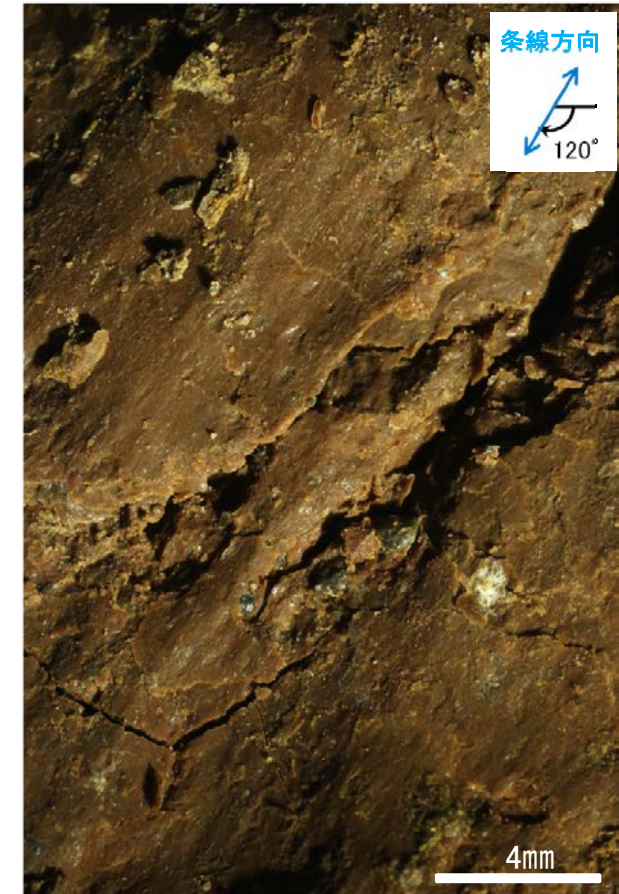


観察面写真



観察面拡大写真A

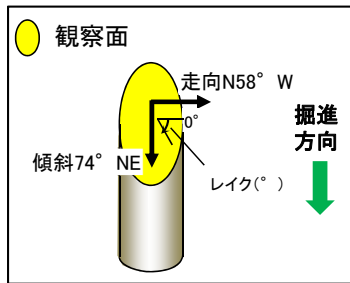
・条線のレイクは40° R(下盤側換算), 変位センスは不明



観察面拡大写真B

・条線のレイクは60° R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.15V(下盤側))

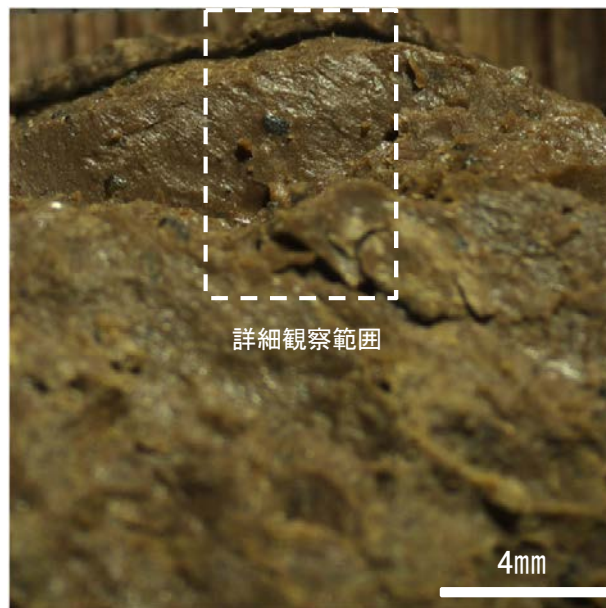


概念図

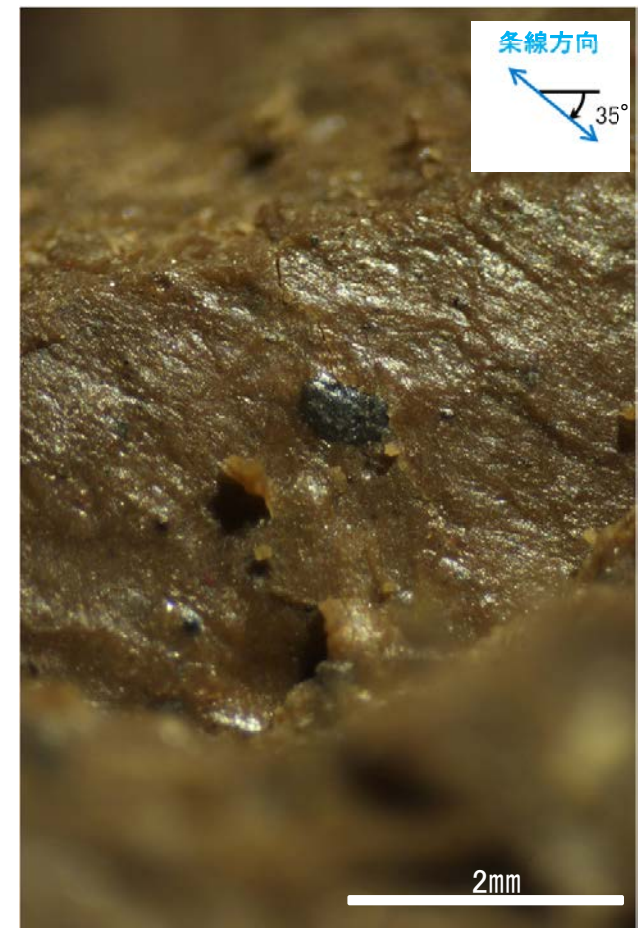
※走向は真北で示す。



観察面写真



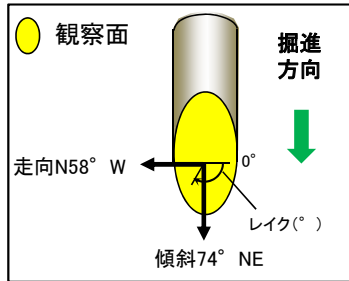
観察面拡大写真



詳細観察写真

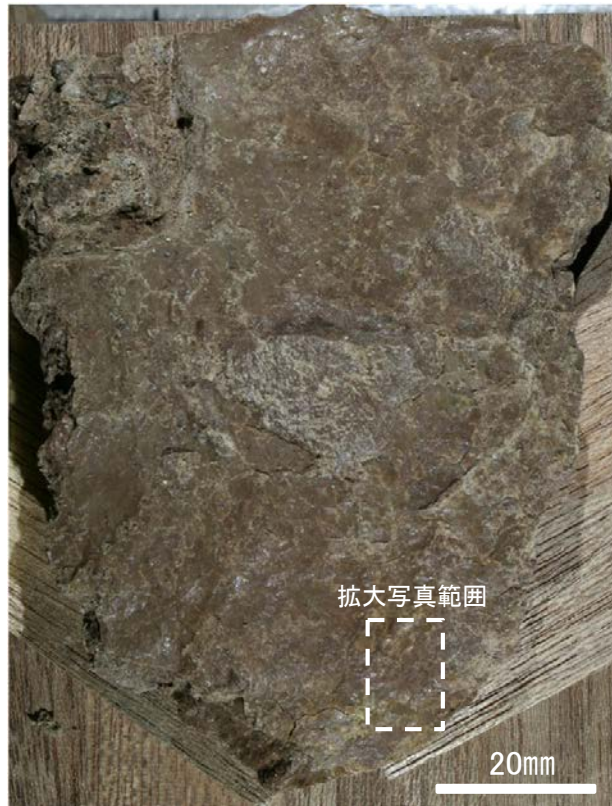
・条線のレイクは35° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.15V(上盤側))



概念図

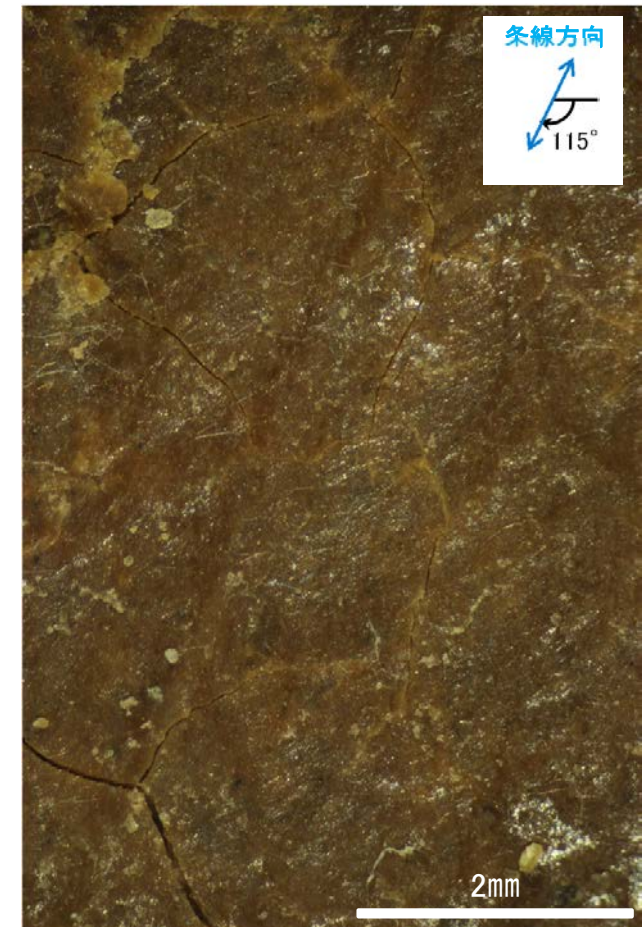
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

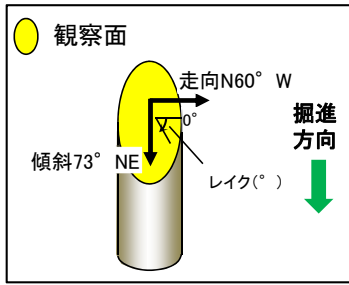


詳細観察写真

・条線のレイクは65° R(下盤側換算), 変位センスは不明



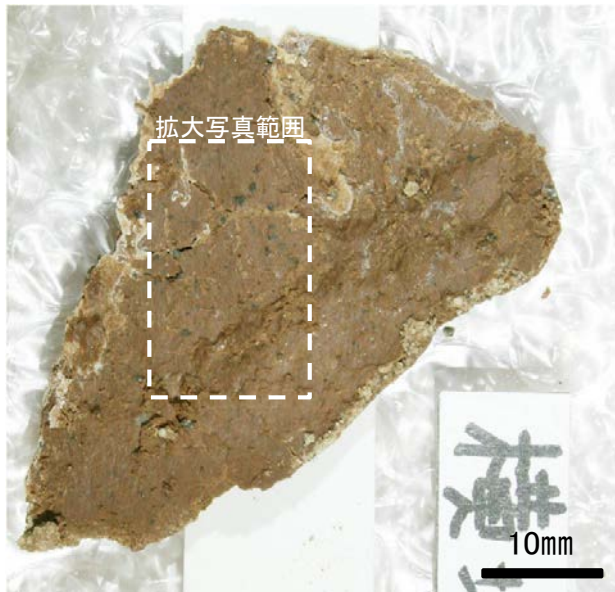
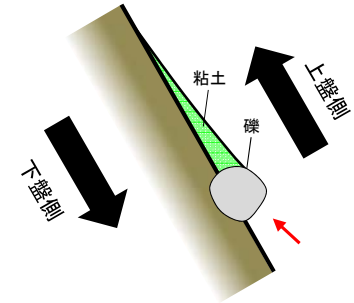
# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.16V(下盤側))



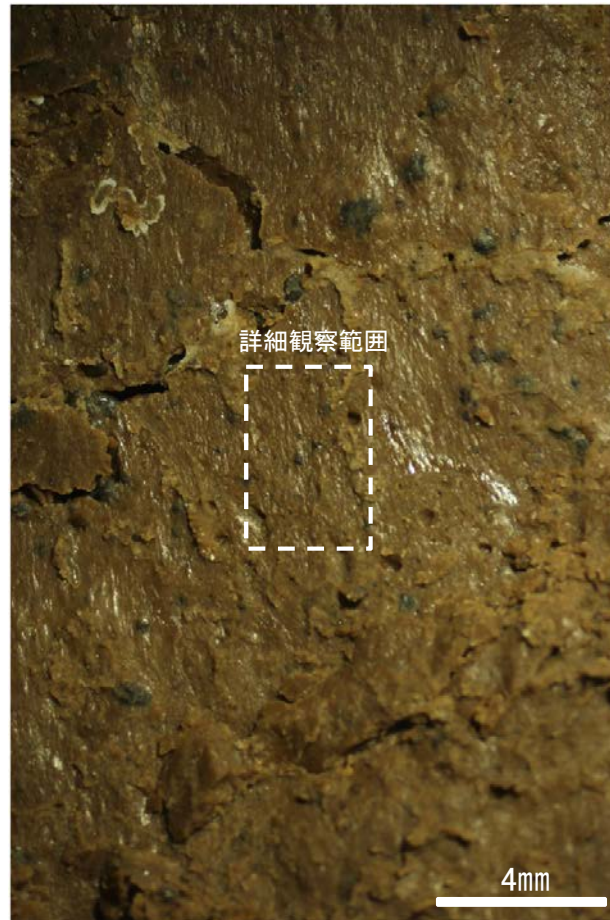
概念図

※走向は真北で示す。

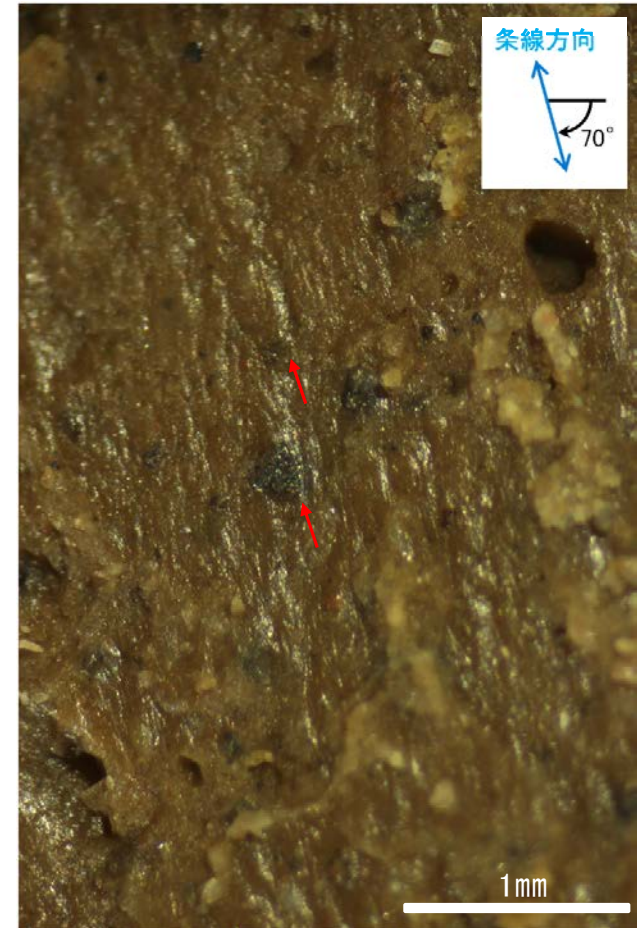
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



観察面写真



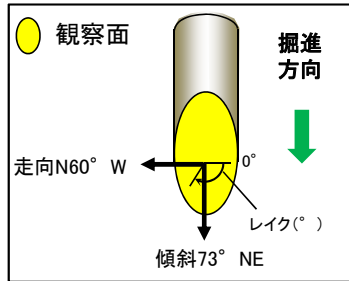
観察面拡大写真



詳細観察写真

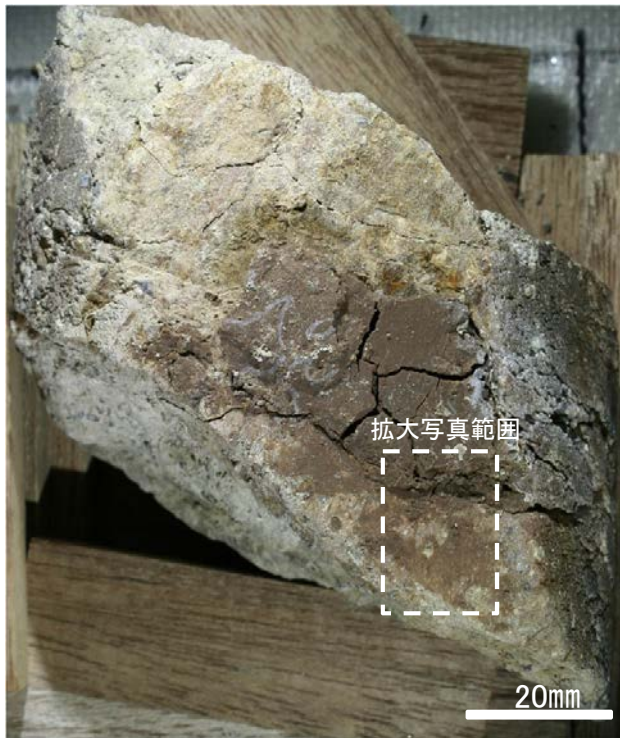
・条線のレイクは70° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.16V(上盤側))

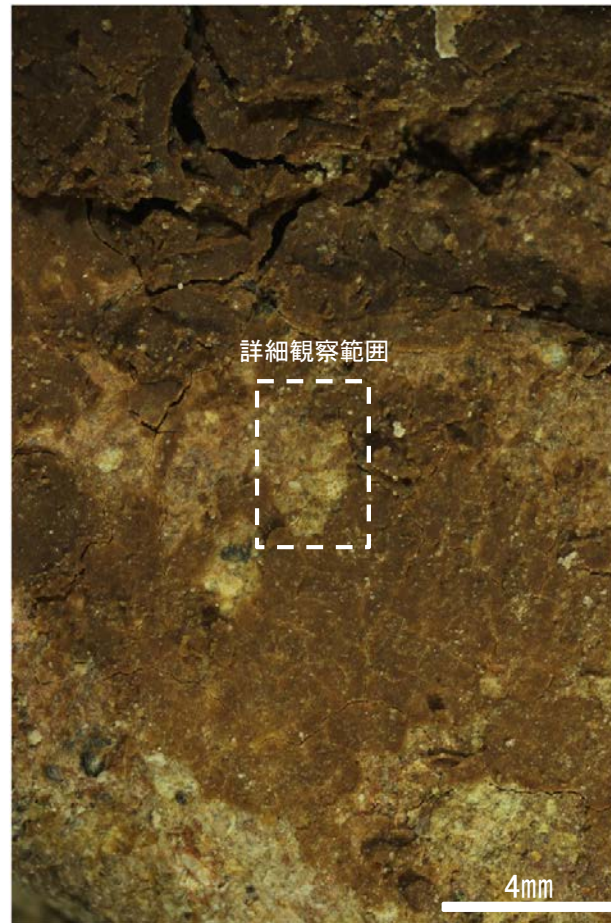


概念図

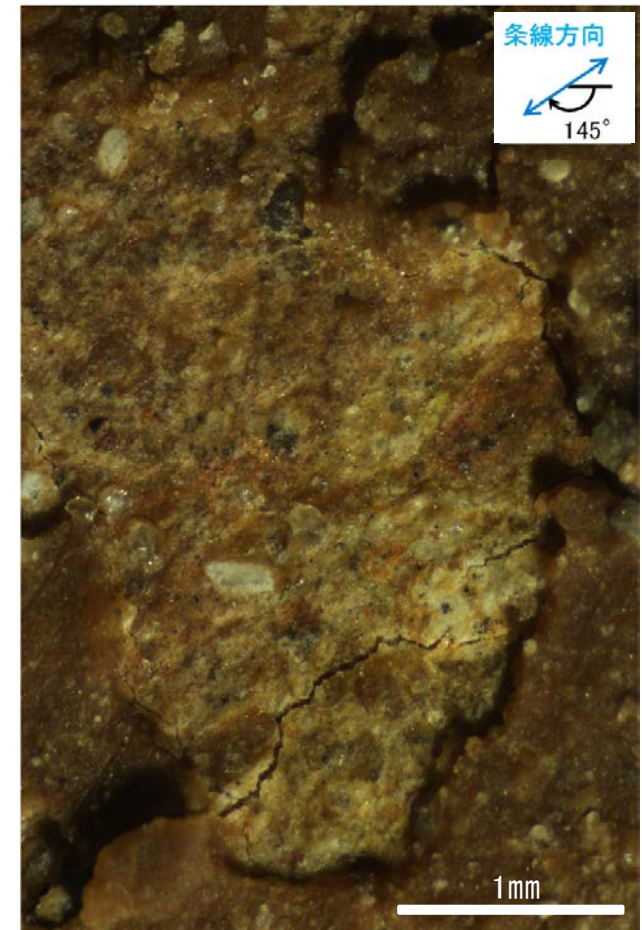
※走向は真北で示す。



観察面写真



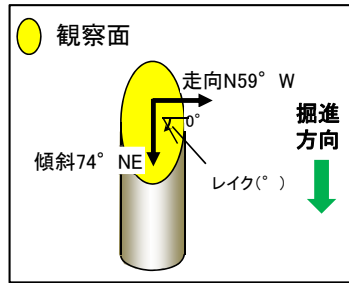
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは35° R(下盤側換算), 変位センスは不明

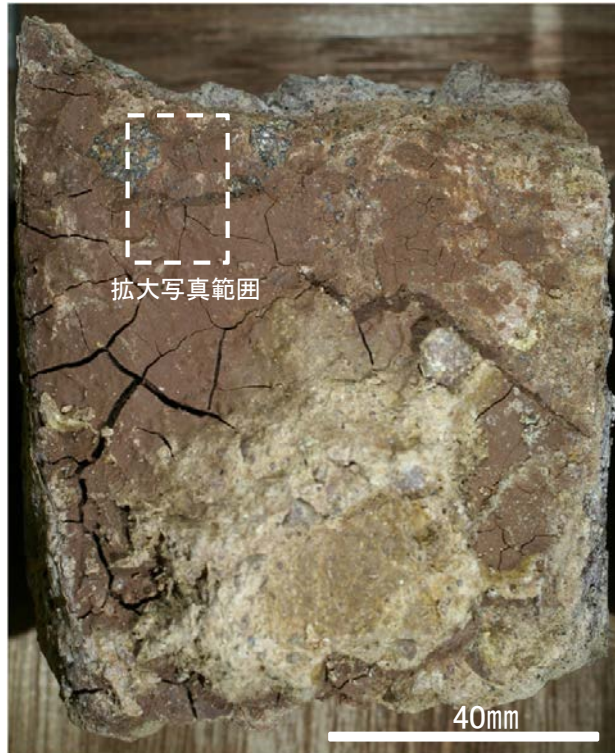
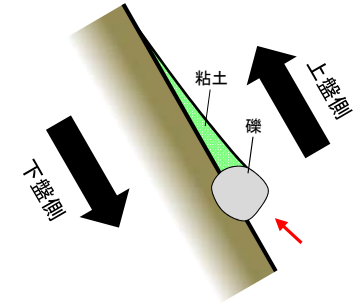
# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.17V(下盤側)①)



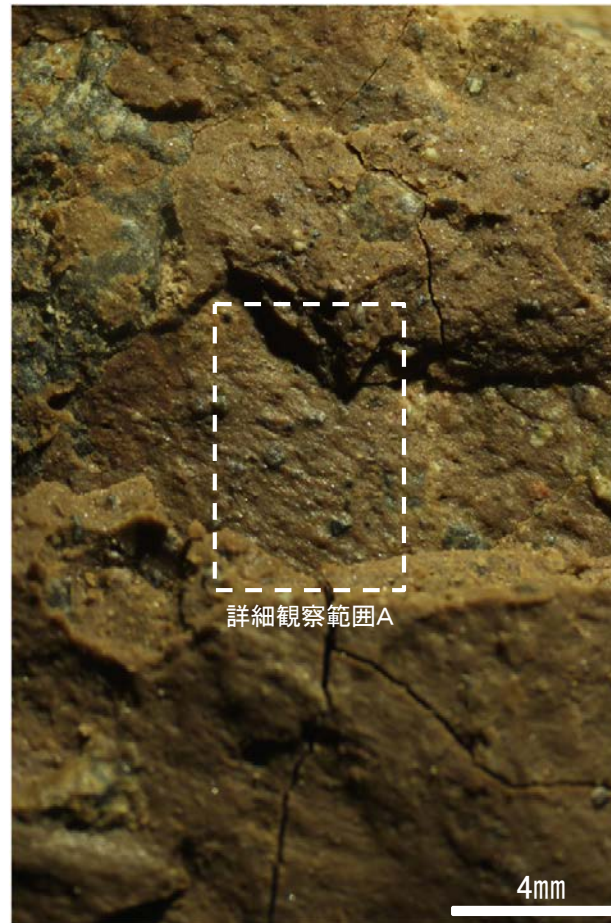
概念図

※走向は真北で示す。

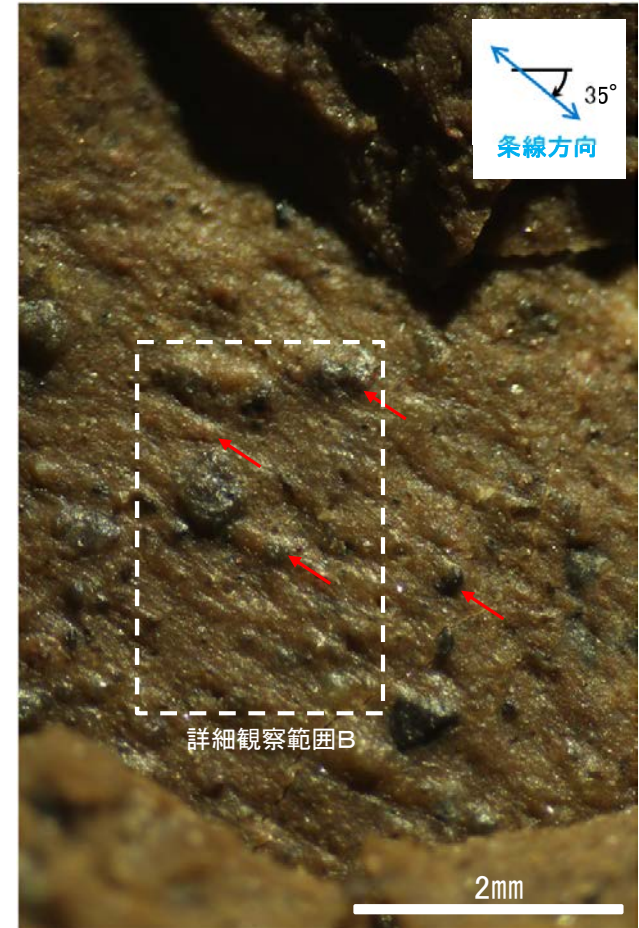
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



観察面写真

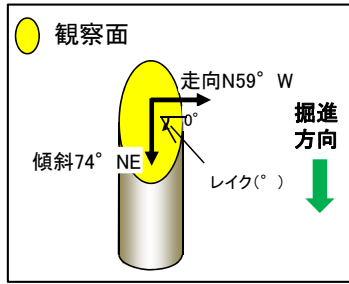


観察面拡大写真



詳細観察写真A

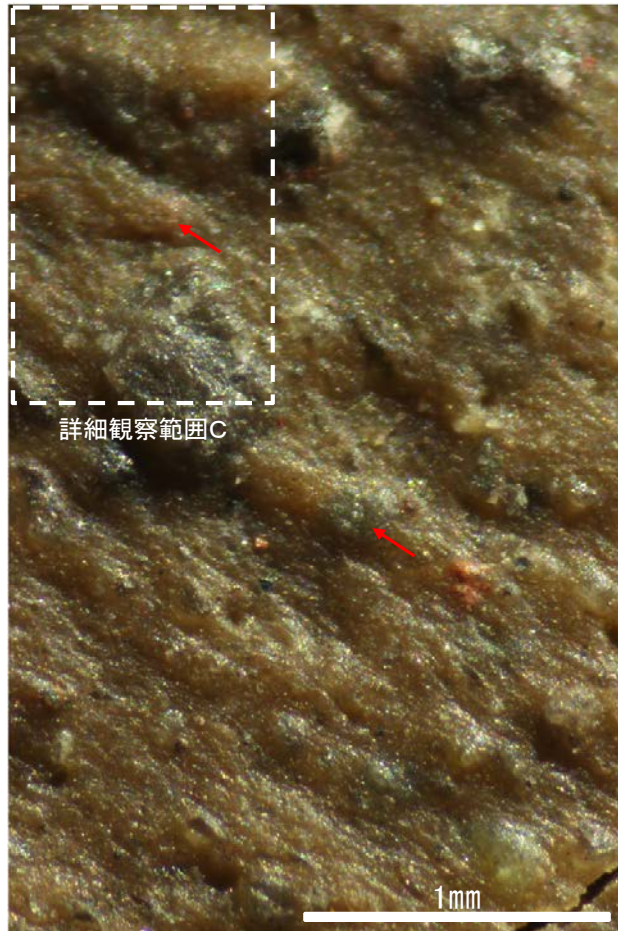
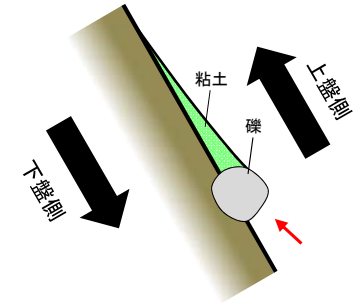
# 条線観察結果(岩盤調査坑 鉛直ボーリングNo.17V(下盤側)②)



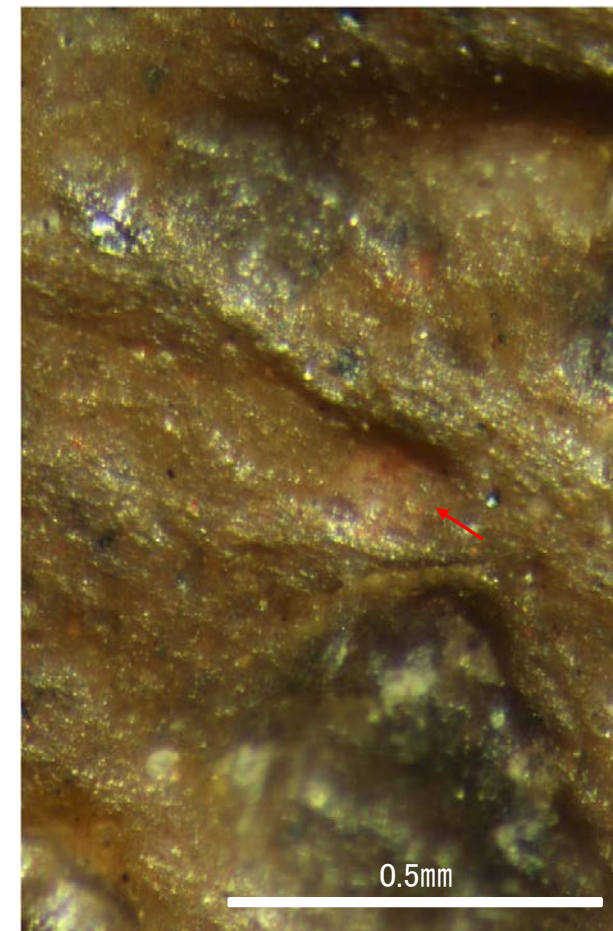
概念図

※走向は真北で示す。

条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



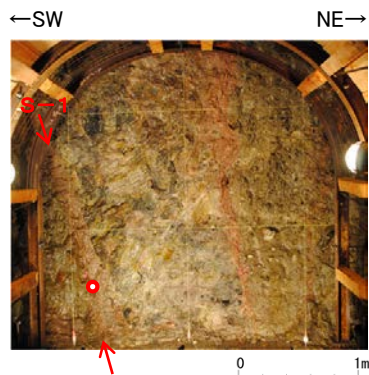
詳細観察写真B



詳細観察写真C

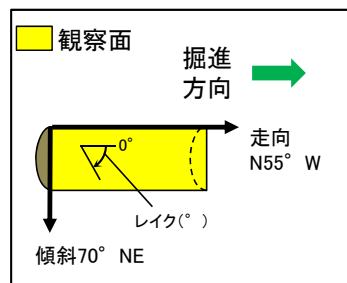
・条線のレイクは35° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.13-2(下盤側)①)

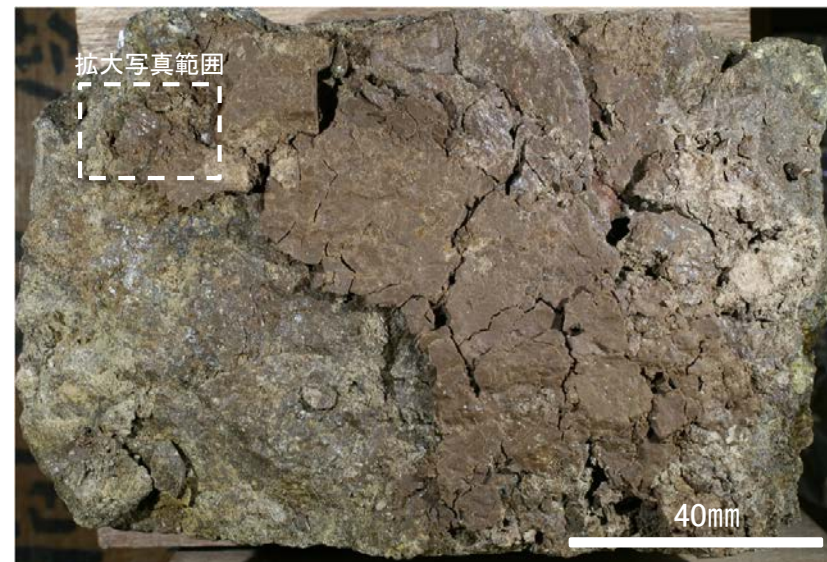


試料採取位置(No.13切羽)

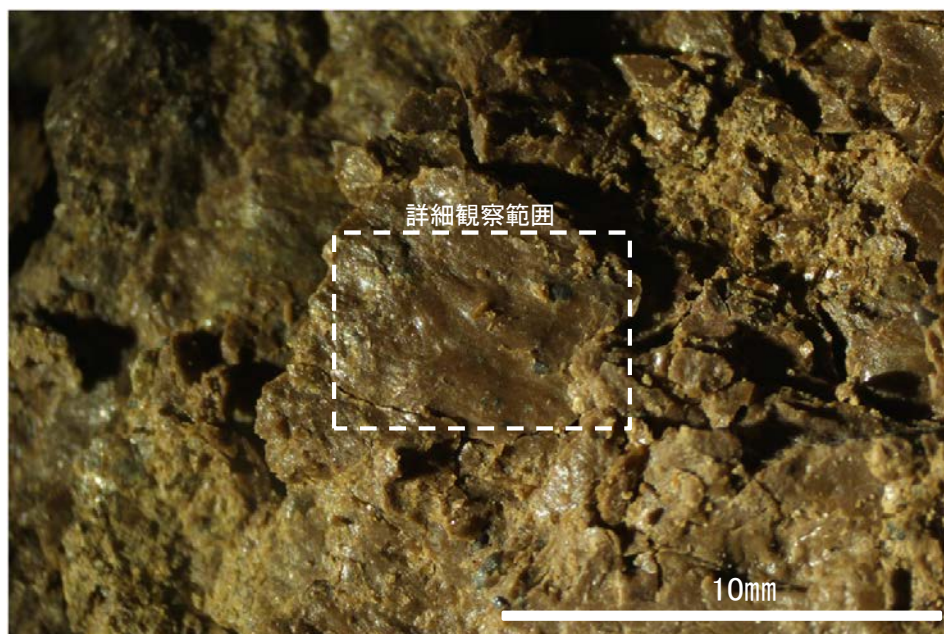
○ ボーリング箇所(No.13)



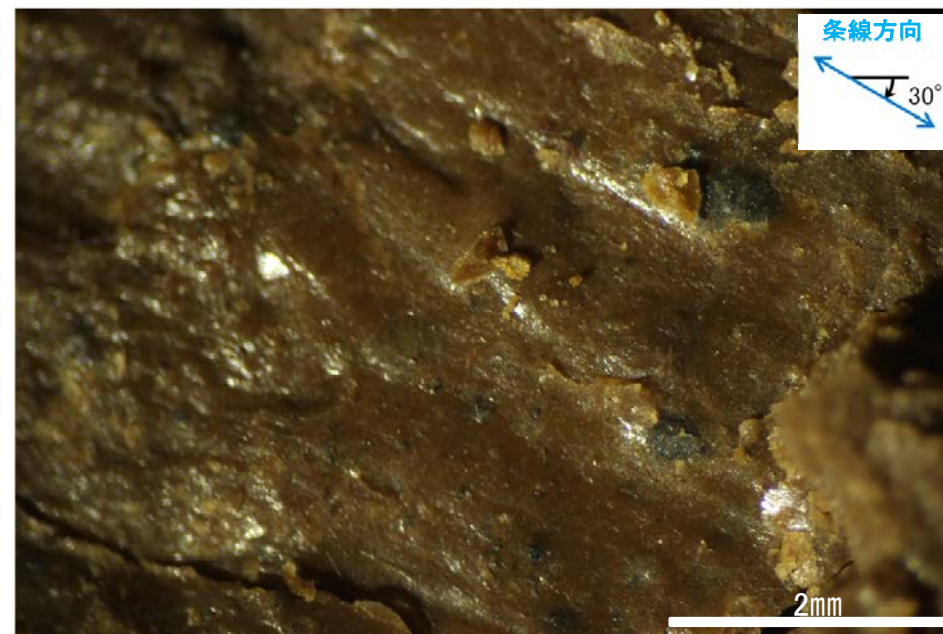
概念図 ※走向は真北で示す。



観察面写真



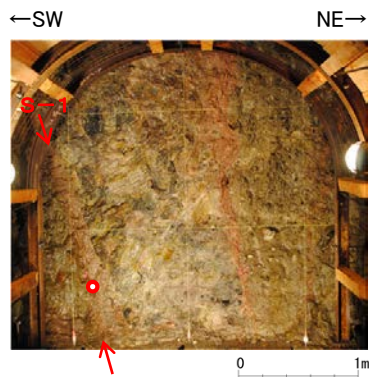
観察面拡大写真



詳細観察写真

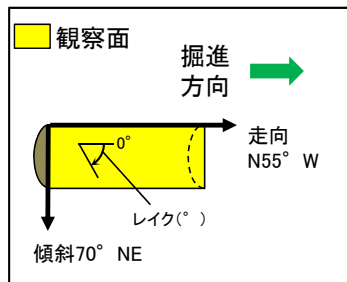
・条線のレイクは30° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.13-2(下盤側)②)



試料採取位置(No.13切羽)

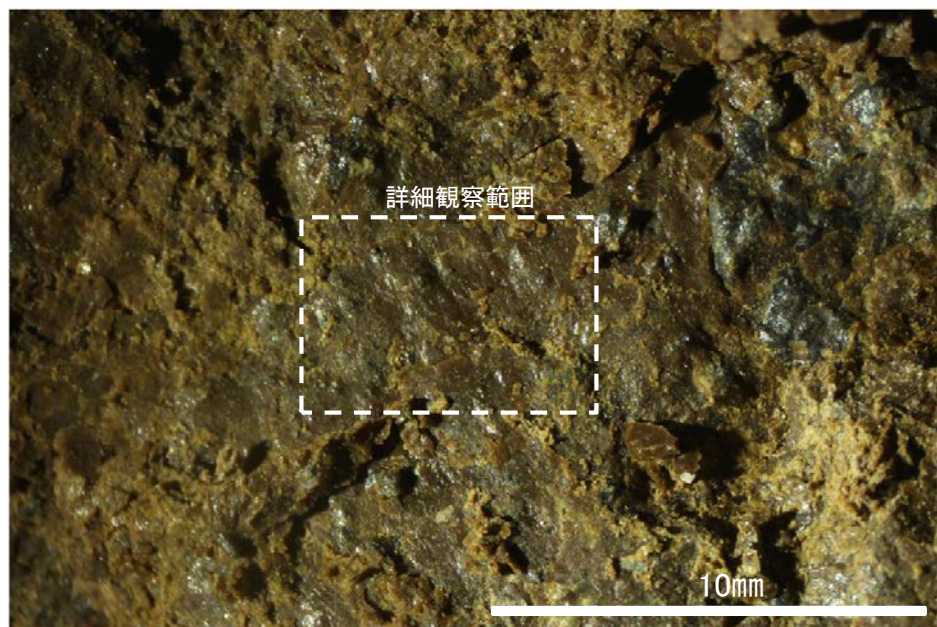
● ボーリング箇所(No.13)



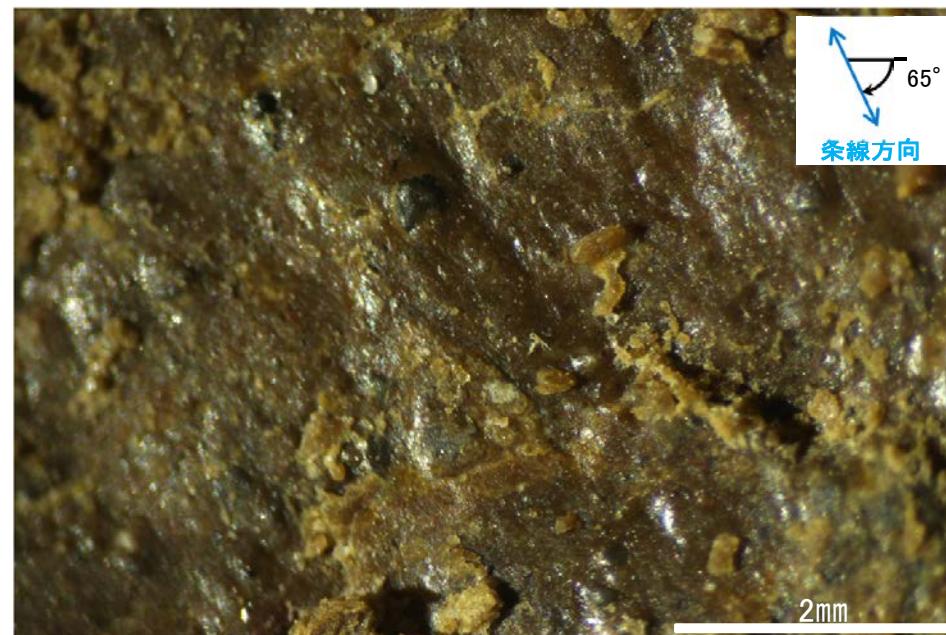
概念図 ※走向は真北で示す。



観察面写真



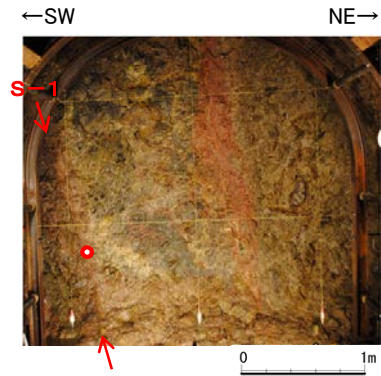
観察面拡大写真



詳細観察写真

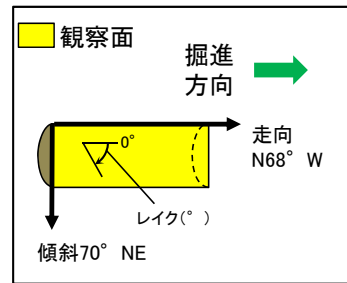
・条線のレイクは65° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.14(下盤側)①)

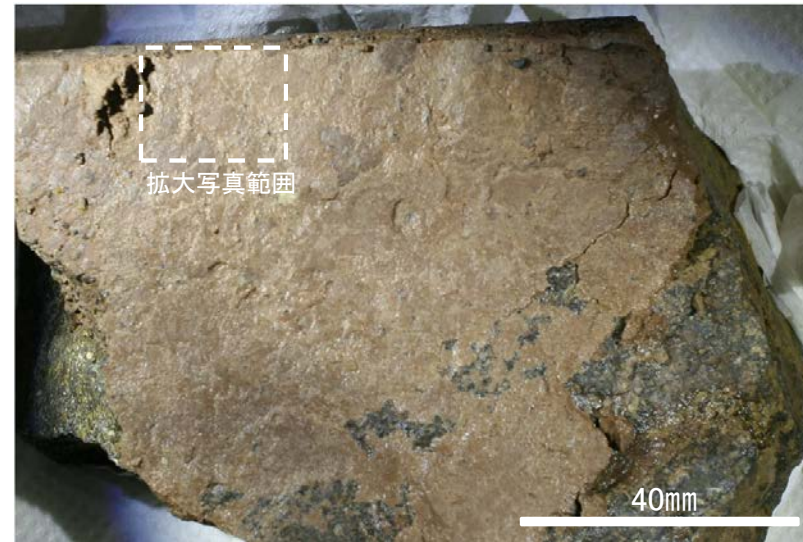


試料採取位置(No.14切羽)

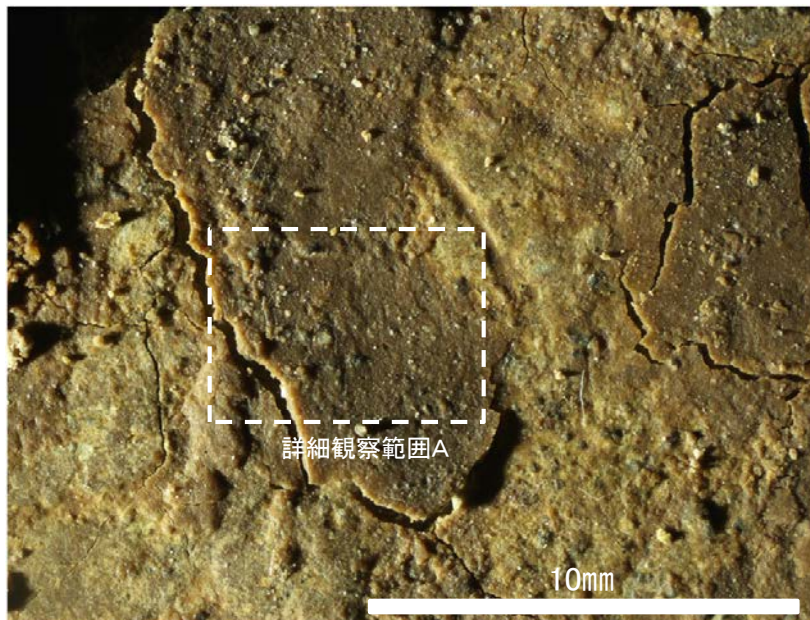
○ ボーリング箇所(No.14)



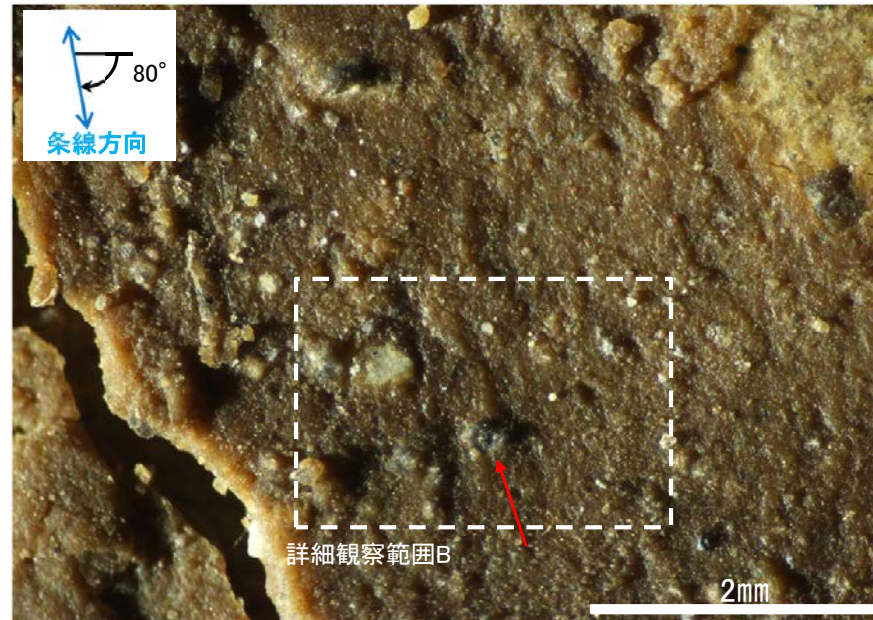
概念図 ※走向は真北で示す。



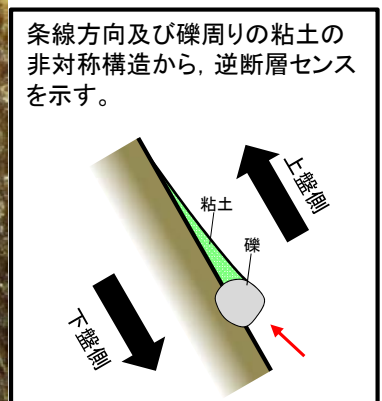
観察面写真



観察面拡大写真

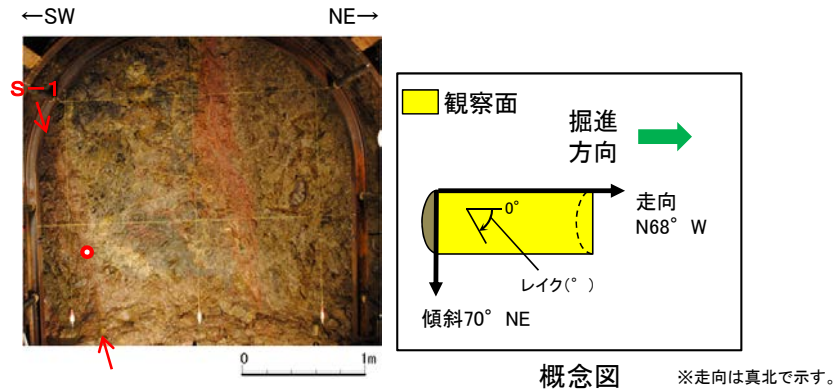


詳細観察写真A



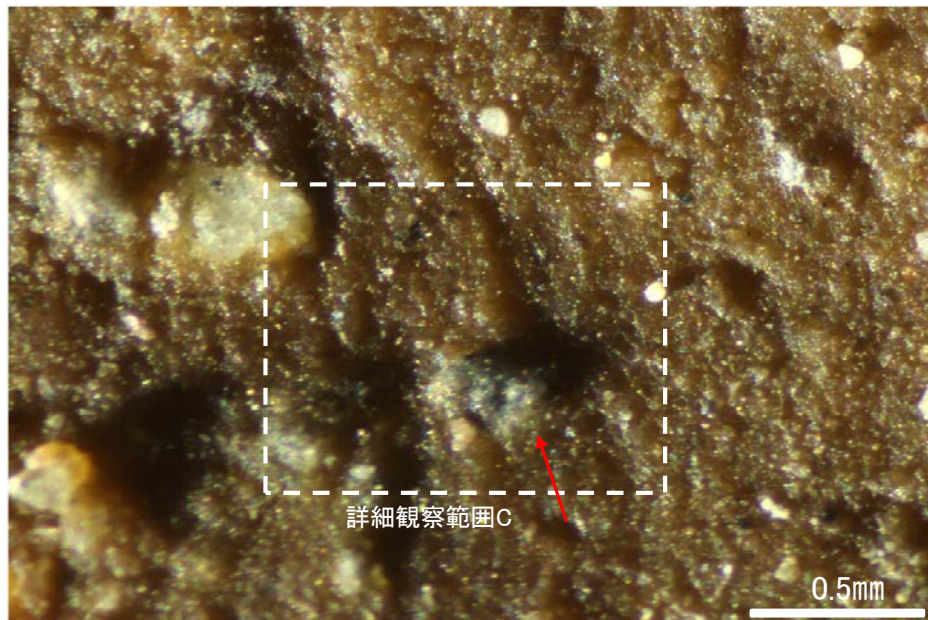
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.14(下盤側)②)

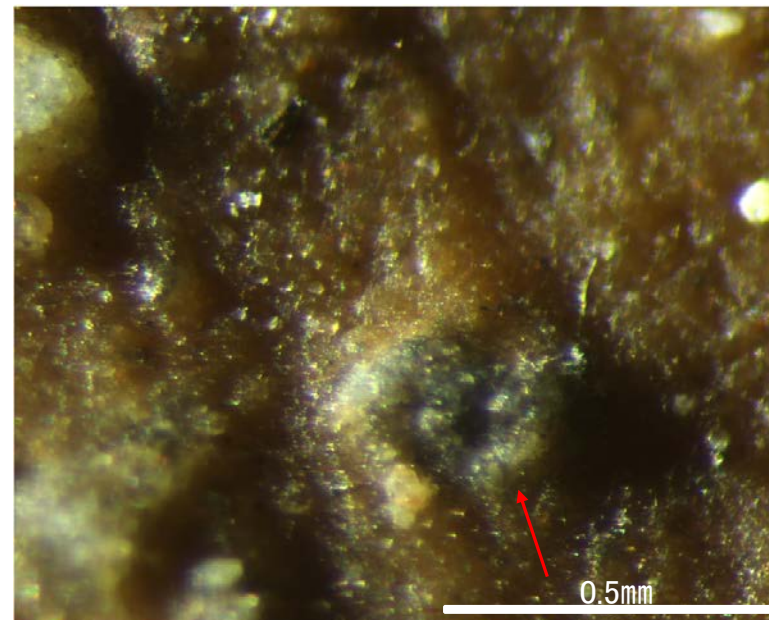


試料採取位置(No.14切羽)

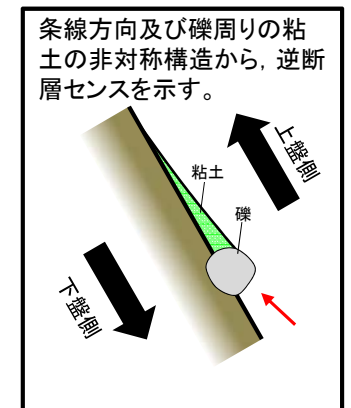
○ ボーリング箇所(No.14)



詳細観察写真B



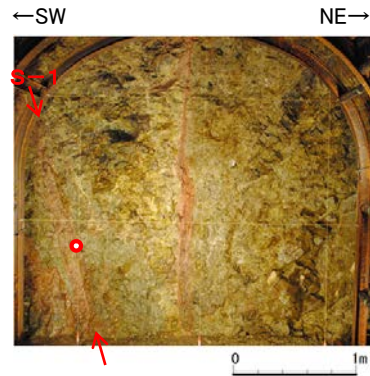
詳細観察写真C



・条線のレイクは80° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

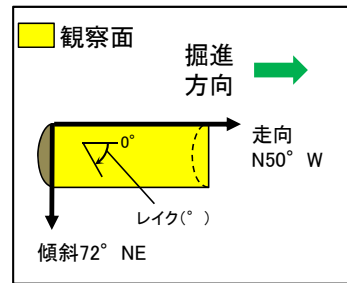


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.18-1(下盤側))

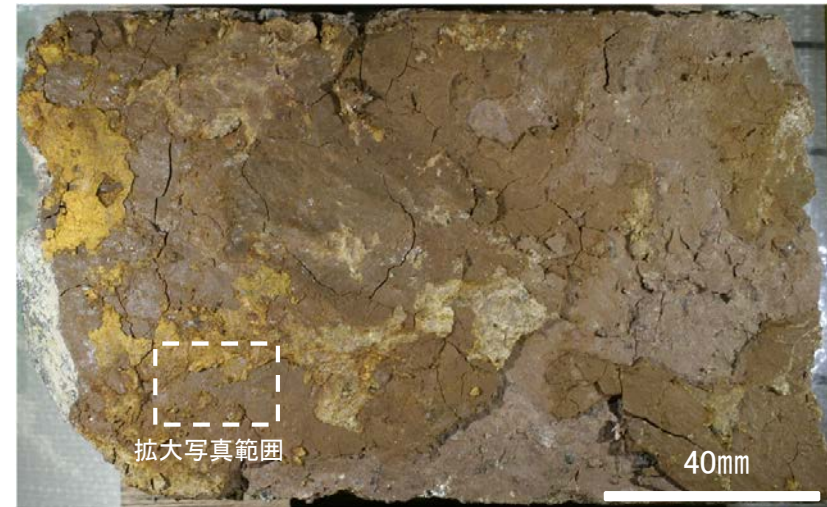


試料採取位置(No.18切羽)

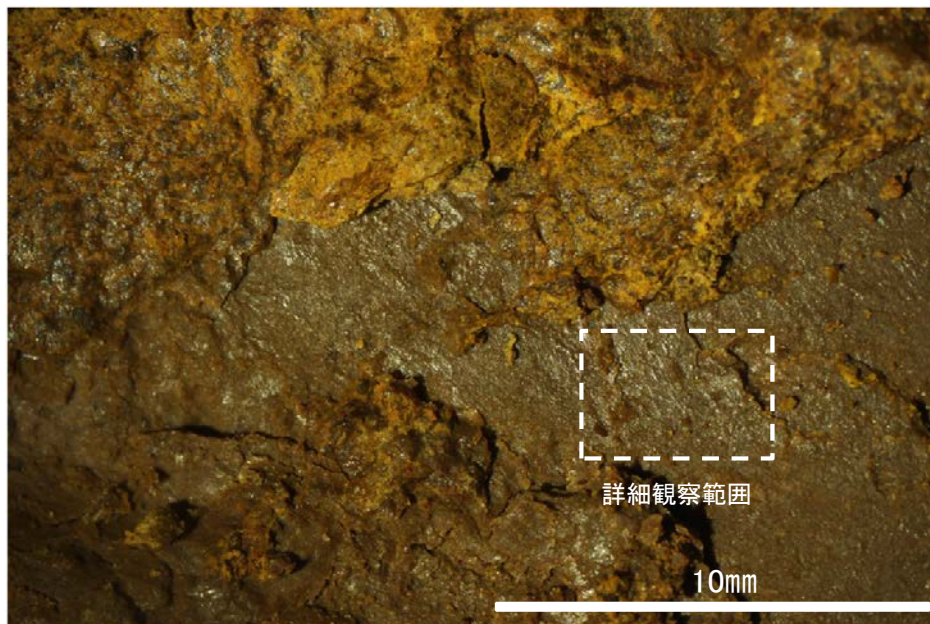
● ボーリング箇所(No.18-1)



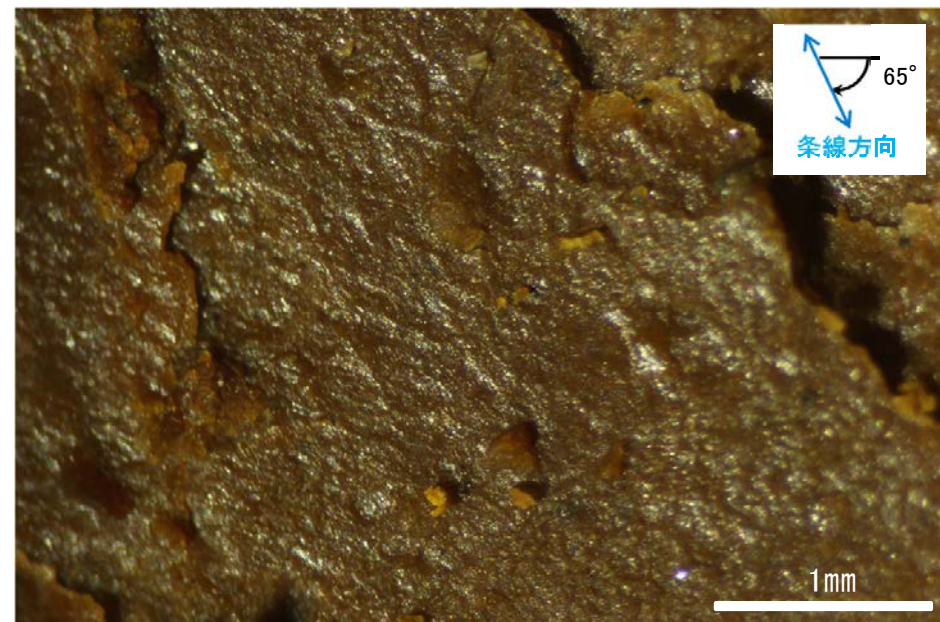
概念図 ※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

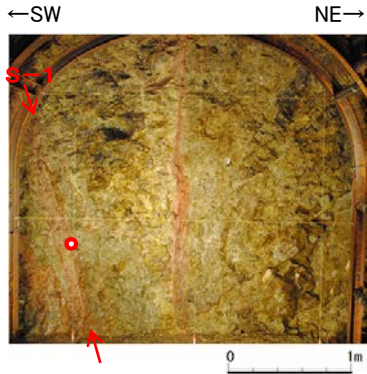


詳細観察写真

※低角度の条線は認められるものの、断続的であることから、人為的にできたものと考えられる。

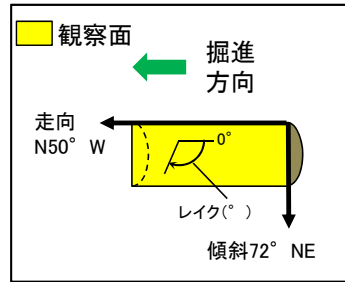
・条線のレイクは65° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.18-1(上盤側))

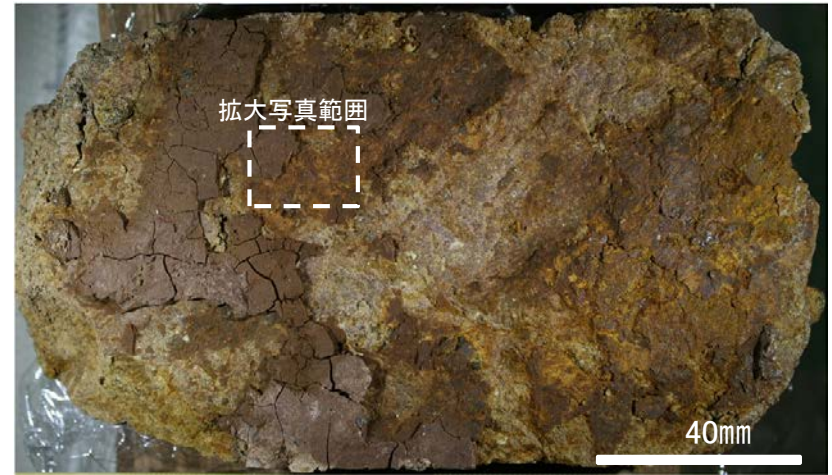


試料採取位置(No.18切羽)

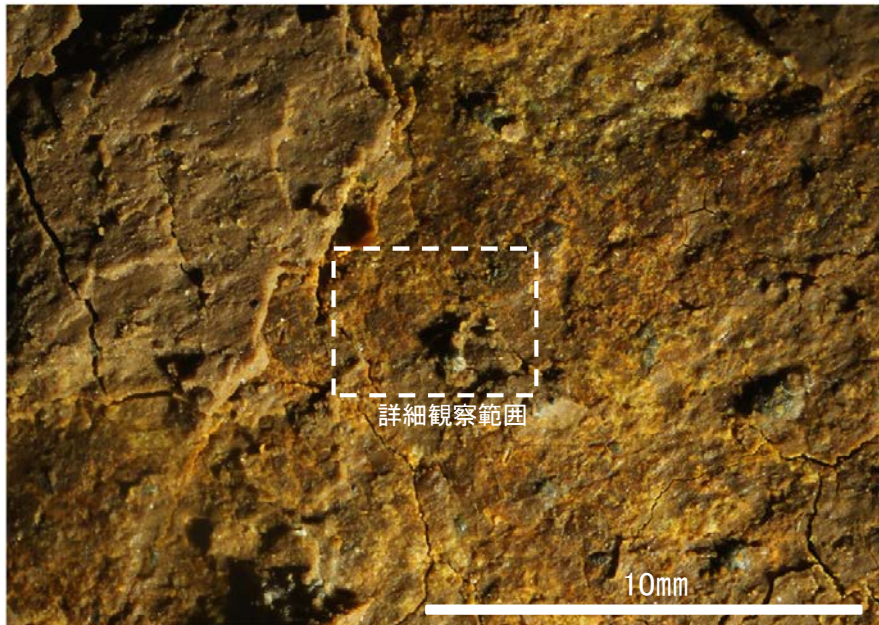
○ ボーリング箇所(No.18-1)



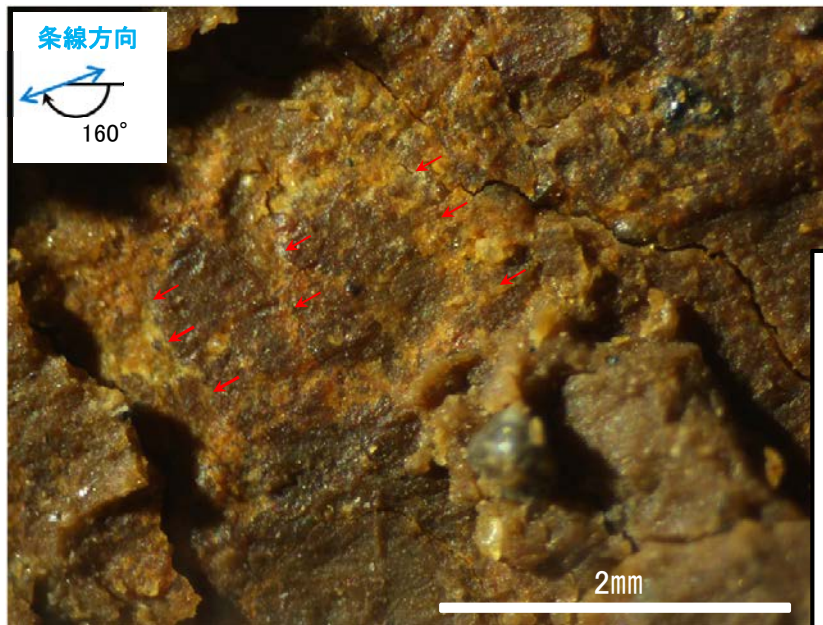
概念図 ※走向は真北で示す。



観察面写真

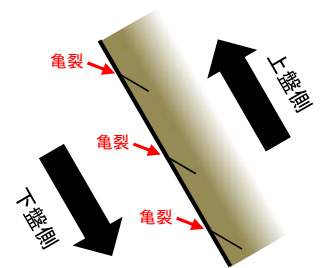


観察面拡大写真



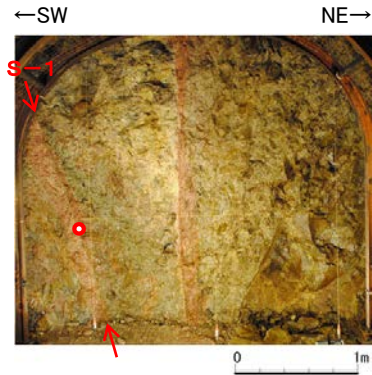
詳細観察写真

条線方向及びリーデルせん断から、逆断層センスを示す。



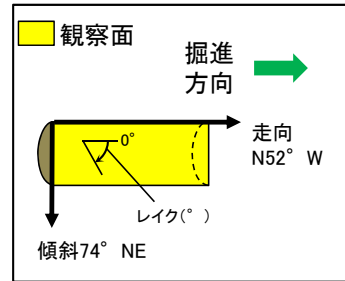
・条線のレイクは $20^{\circ}$  R(下盤側換算), 変位センスは右ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.19(下盤側))

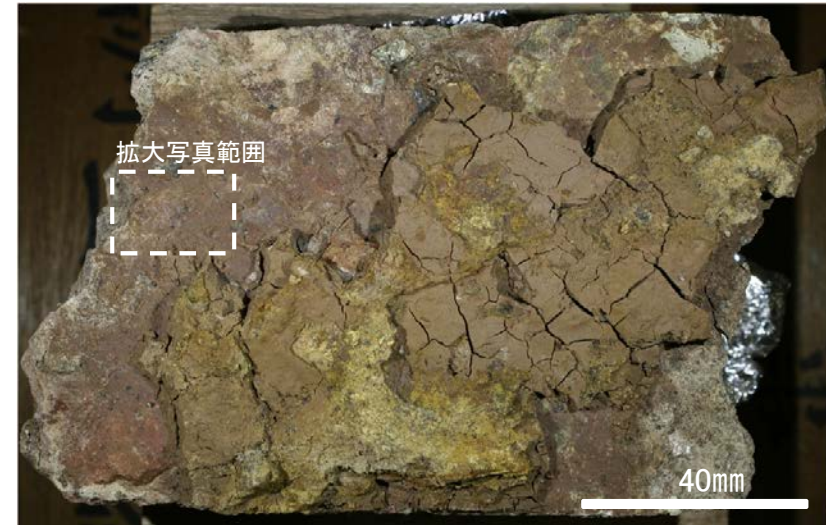


試料採取位置(No.19切羽)

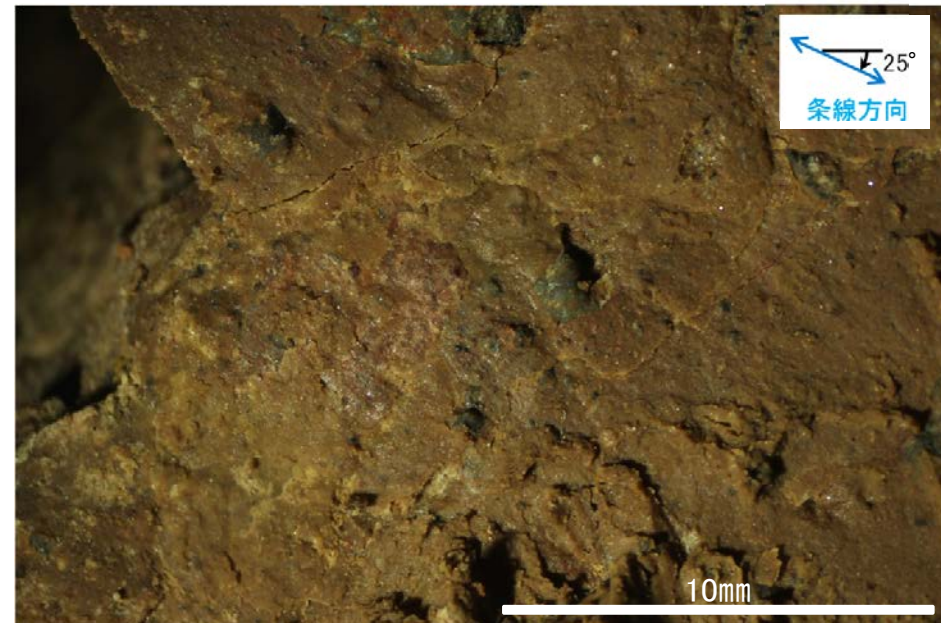
○ ボーリング箇所(No.19)



概念図 ※走向は真北で示す。



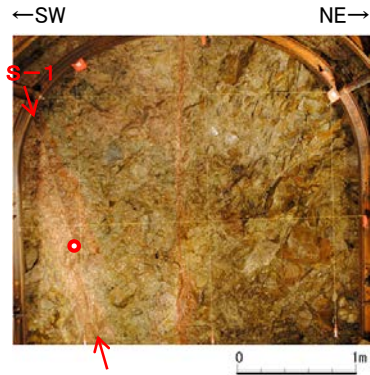
観察面写真



観察面拡大写真

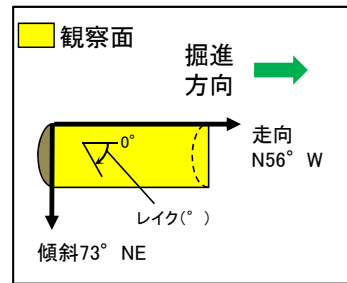
・条線のレイクは25° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.20(1)(下盤側))

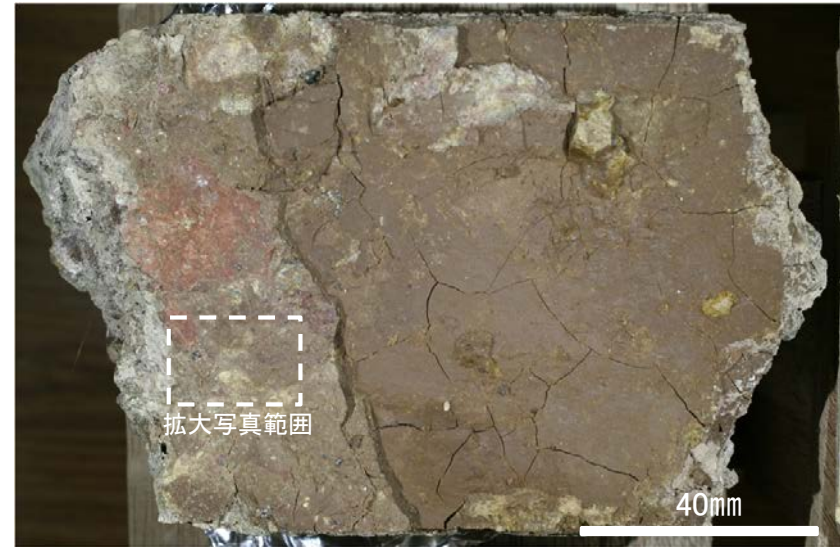


試料採取位置(No.20切羽)

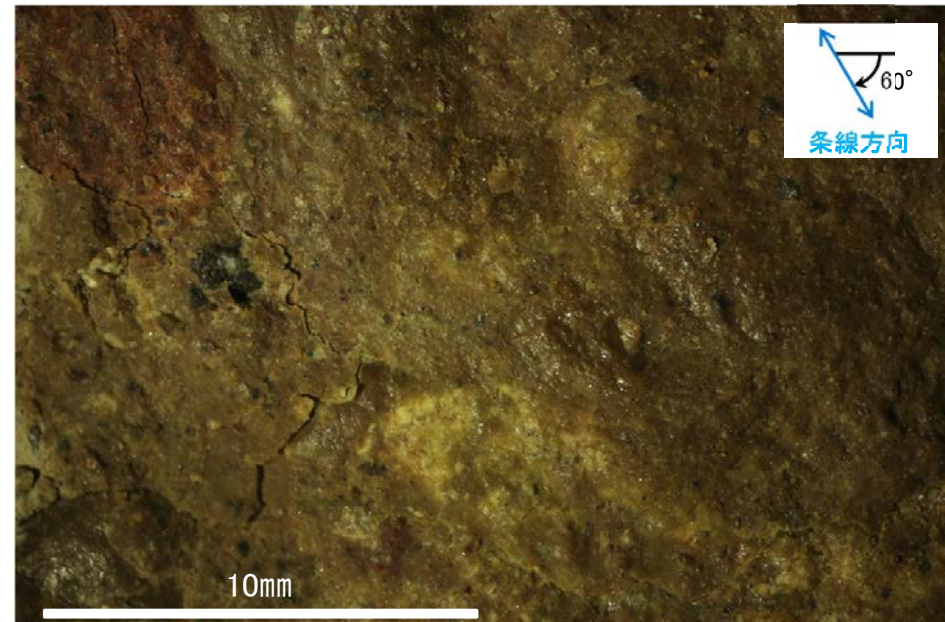
○ ボーリング箇所(No.20)



概念図 ※走向は真北で示す。



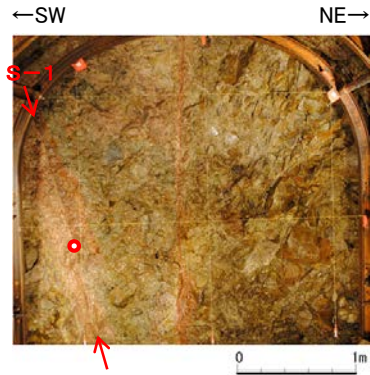
観察面写真



観察面拡大写真

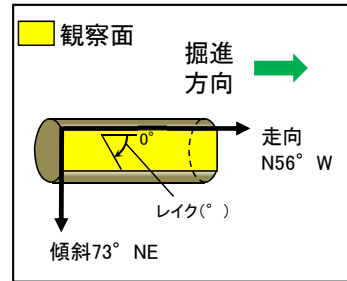
・条線のレイクは60° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.20(2)(下盤側)①)

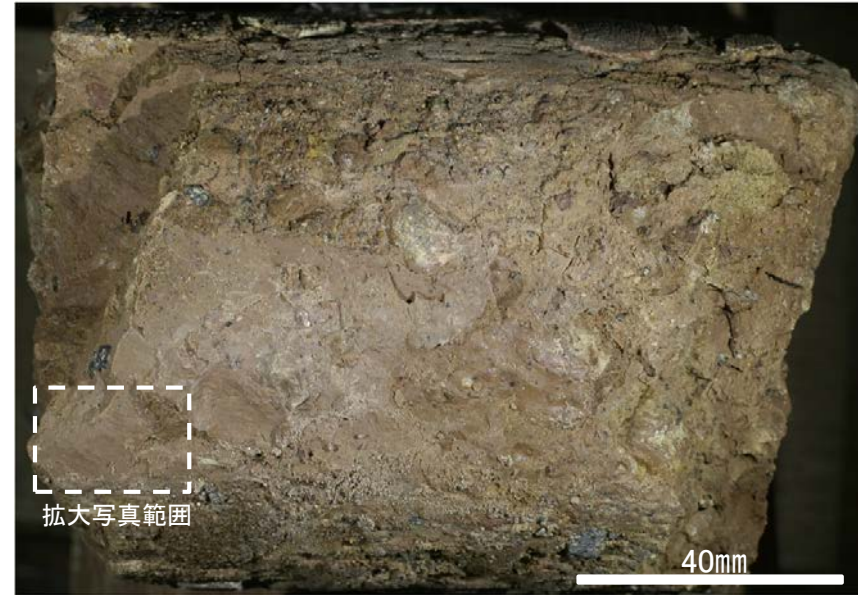


試料採取位置(No.20切羽)

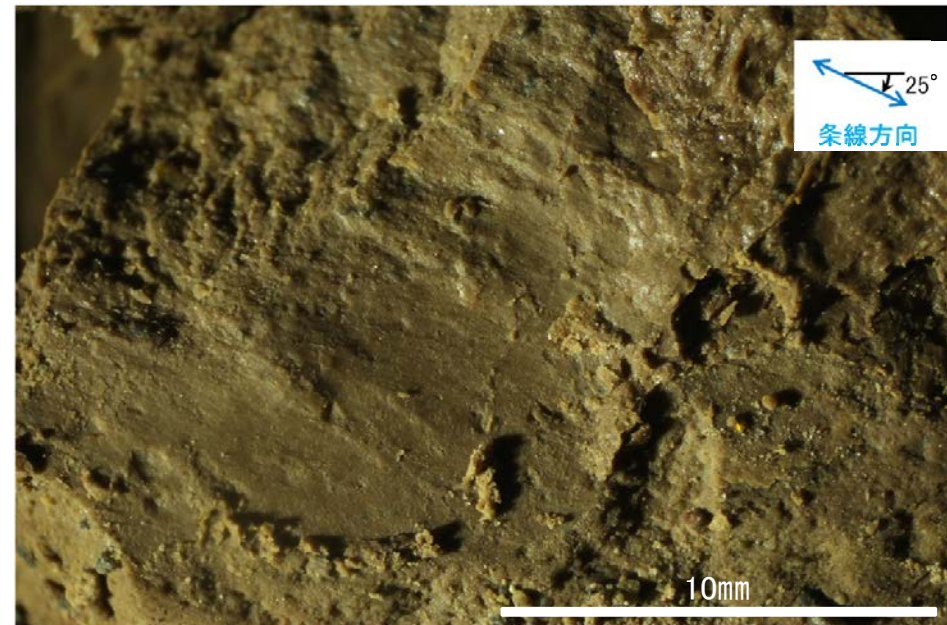
○ ボーリング箇所(No.20)



概念図 ※走向は真北で示す。



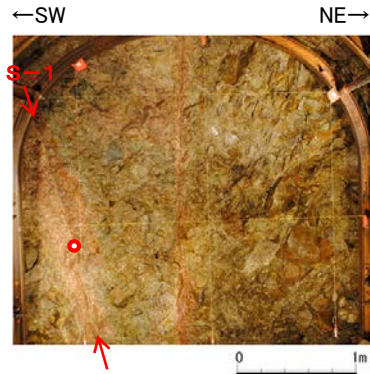
観察面写真



観察面拡大写真

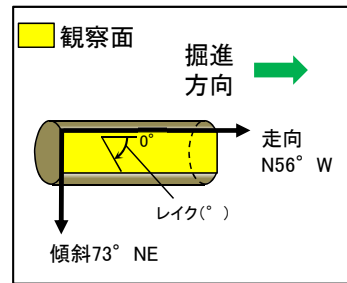
・条線のレイクは25° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.20(2)(下盤側)②)

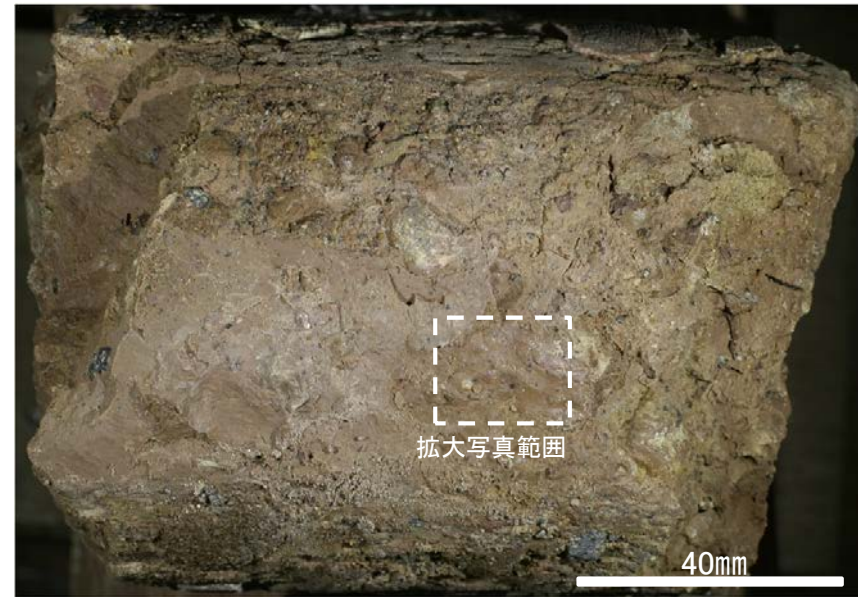


試料採取位置(No.20切羽)

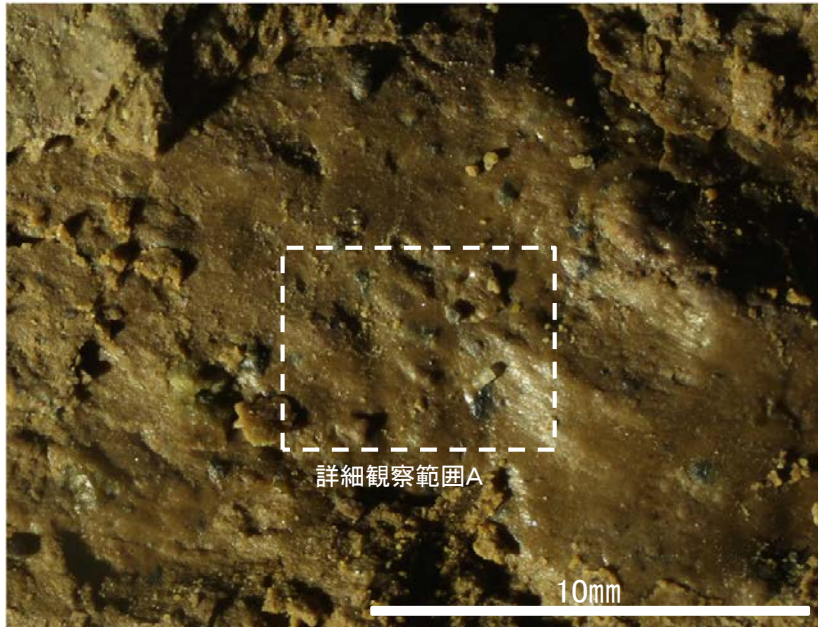
○ ボーリング箇所(No.20)



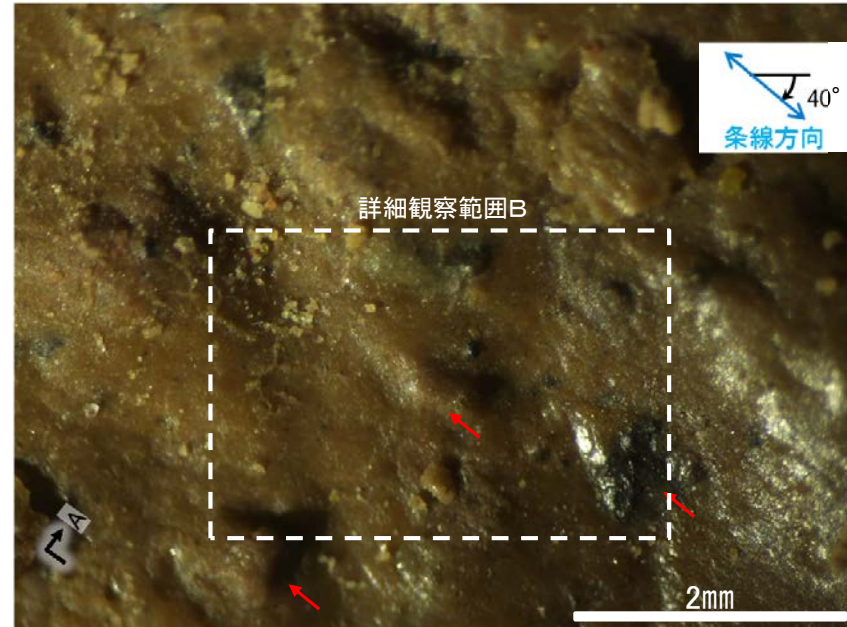
概念図 ※走向は真北で示す。



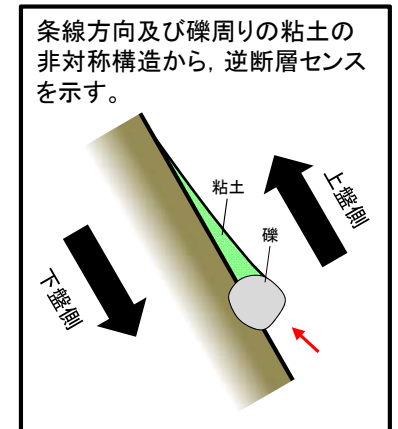
観察面写真



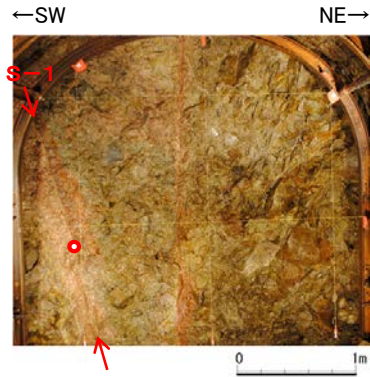
観察面拡大写真



詳細観察写真A

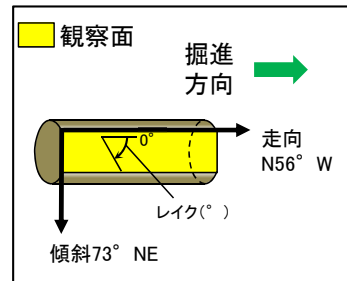


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.20(2)(下盤側)③)

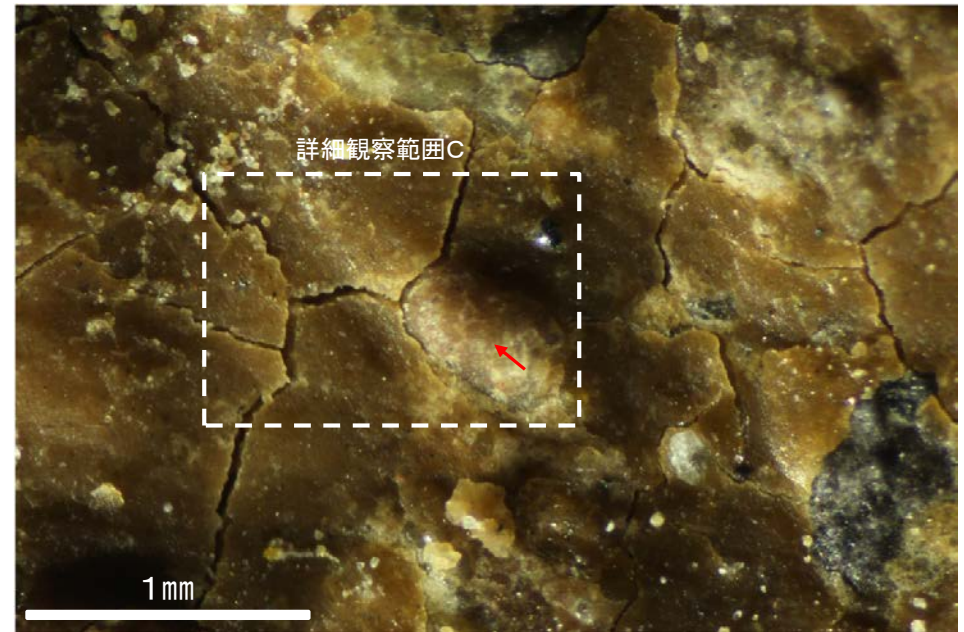


試料採取位置(No.20切羽)

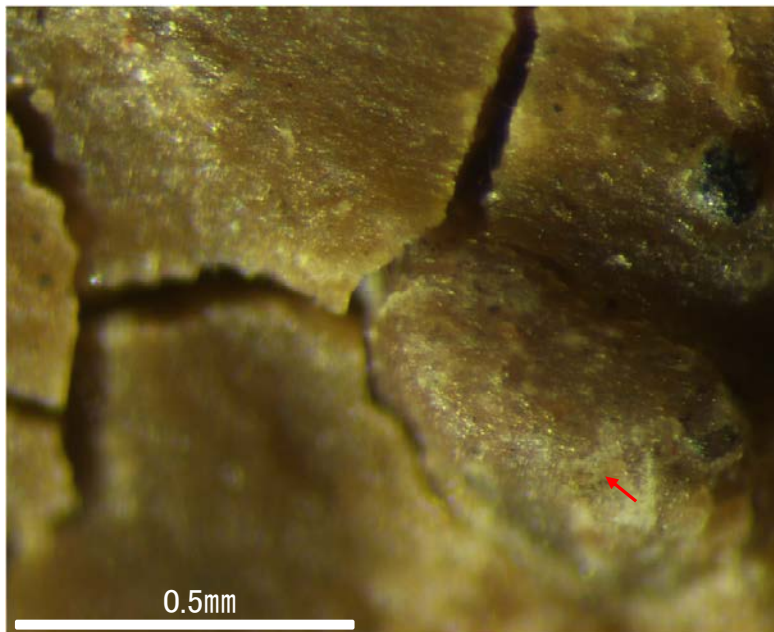
○ ボーリング箇所(No.20)



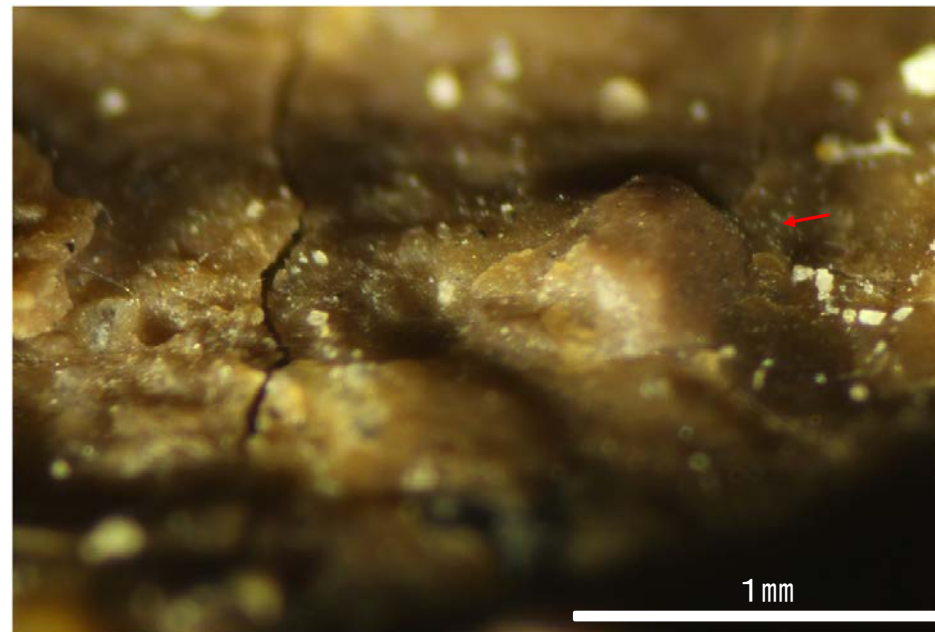
概念図 ※走向は真北で示す。



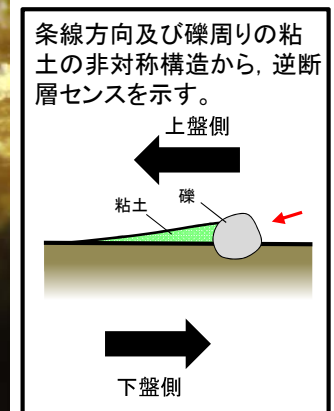
観察面写真B



詳細観察写真C



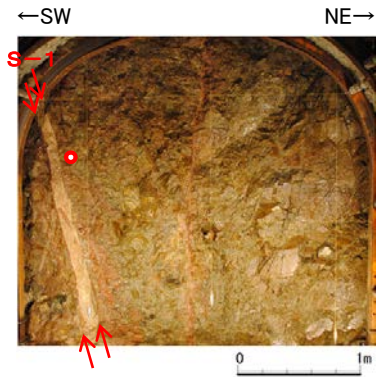
詳細観察写真(A-A'断面)



条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。

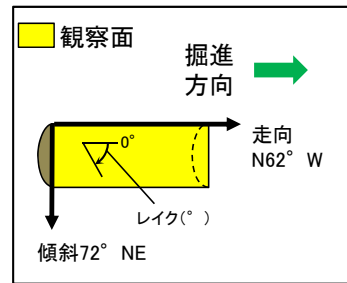
・条線のレイクは40° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.22-1(下盤側))

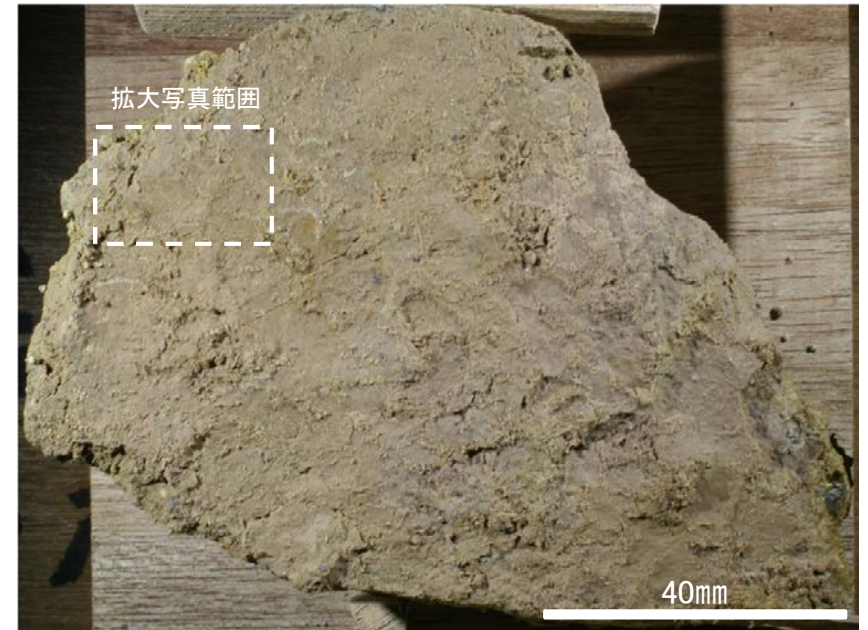


試料採取位置(No.22切羽)

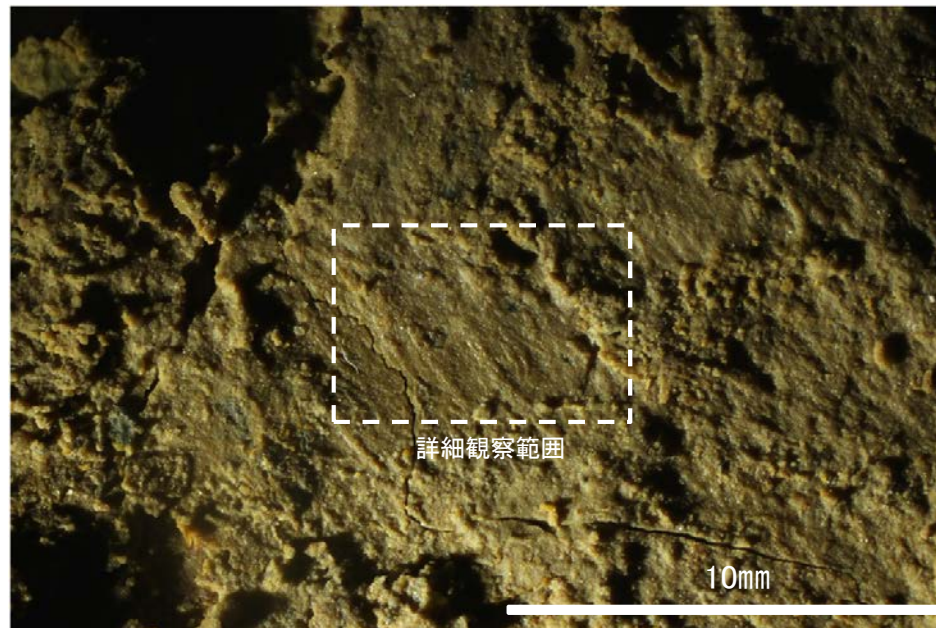
○ ボーリング箇所(No.22-1)



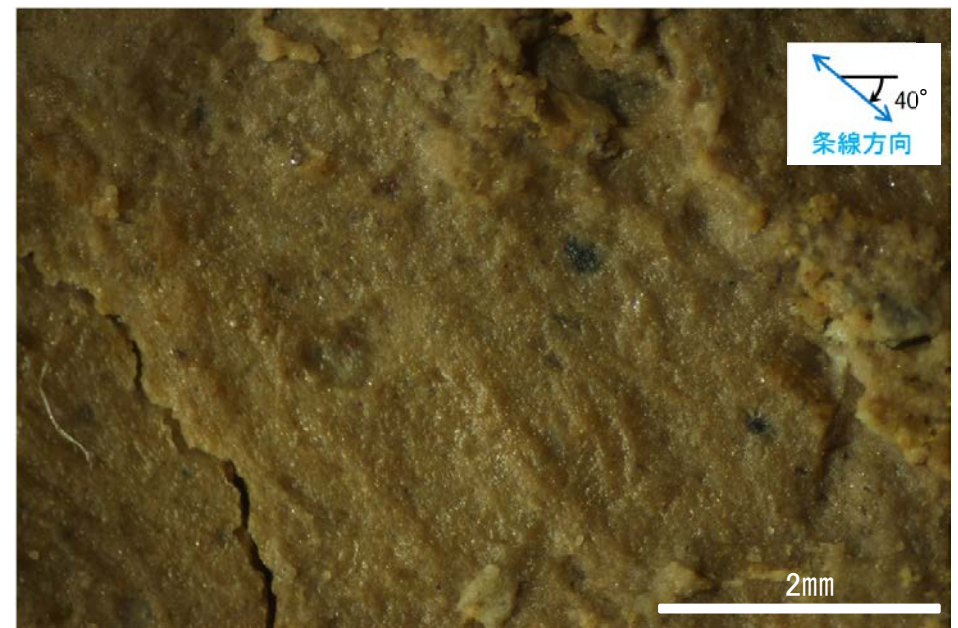
概念図 ※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

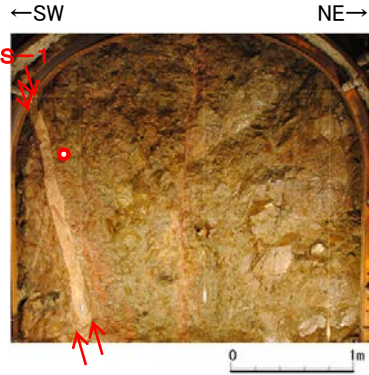


詳細観察写真

・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

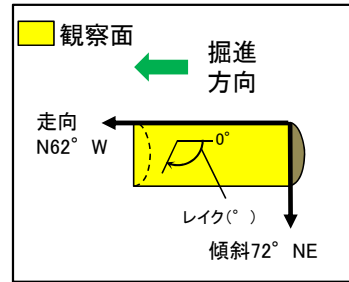


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.22-1(上盤側))

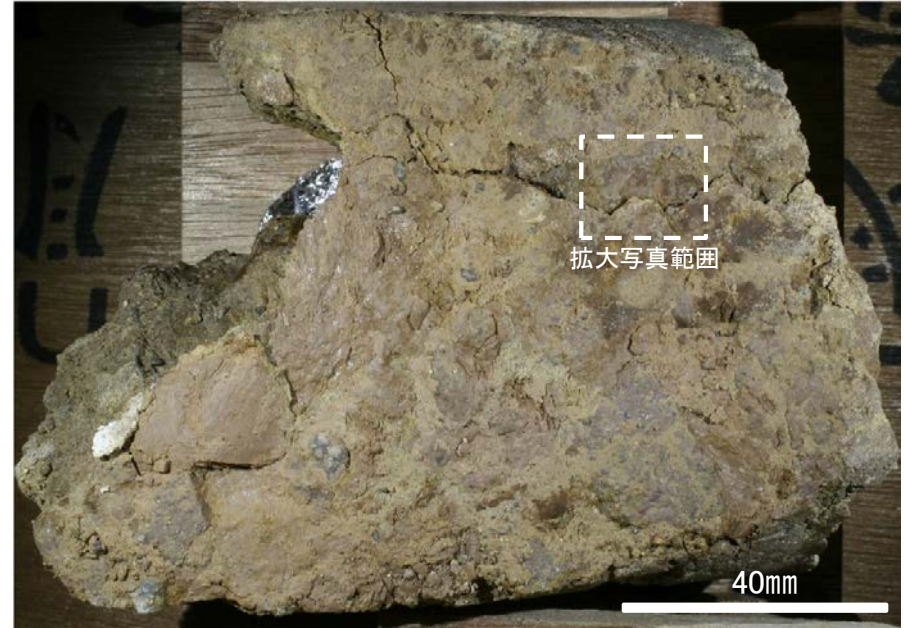


試料採取位置(No.22切羽)

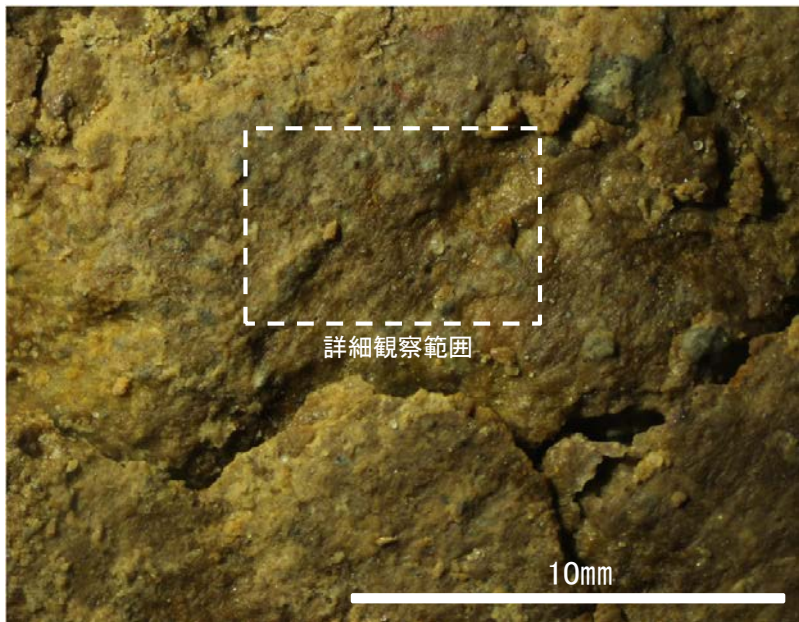
○ ボーリング箇所(No.22-1)



概念図 ※走向は真北で示す。



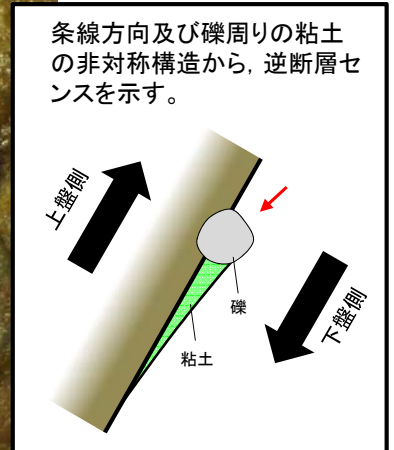
観察面写真



観察面拡大写真

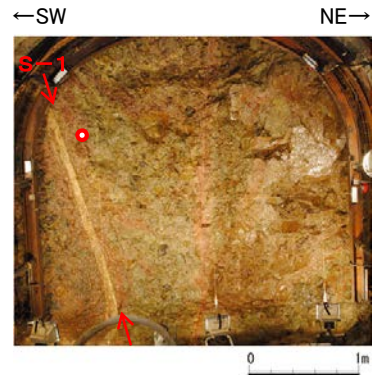


詳細観察写真



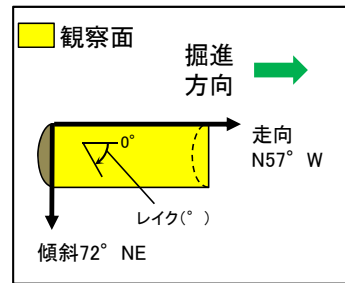
・条線のレイクは50° R(下盤側換算), 変位センスは右ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.23-1(下盤側))

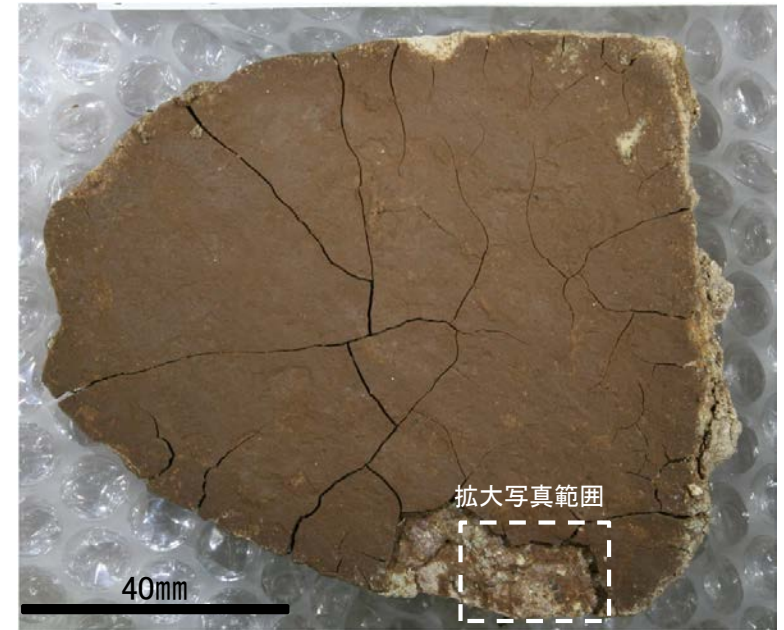


試料採取位置(No.23切羽)

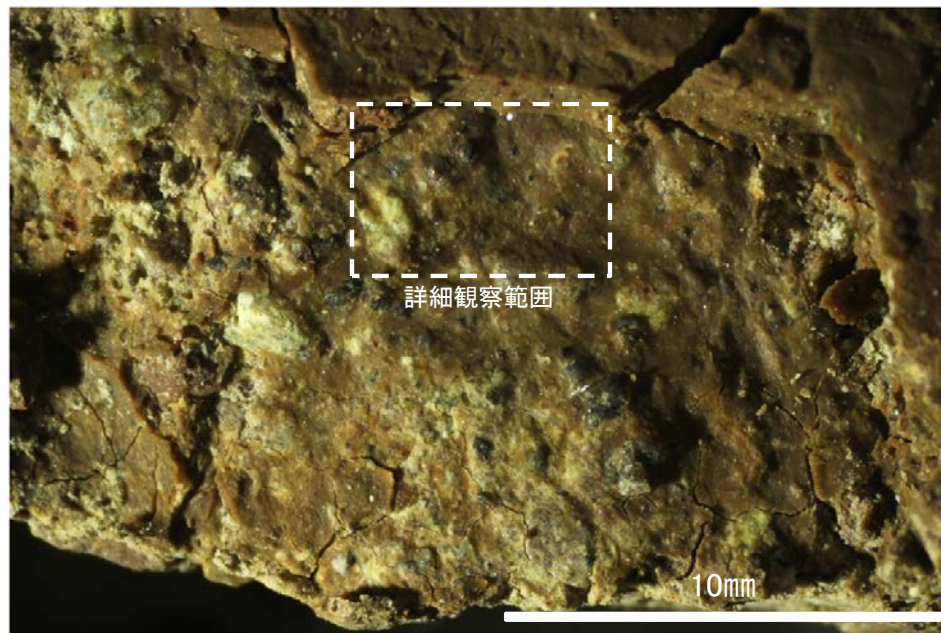
● ボーリング箇所(No.23-1)



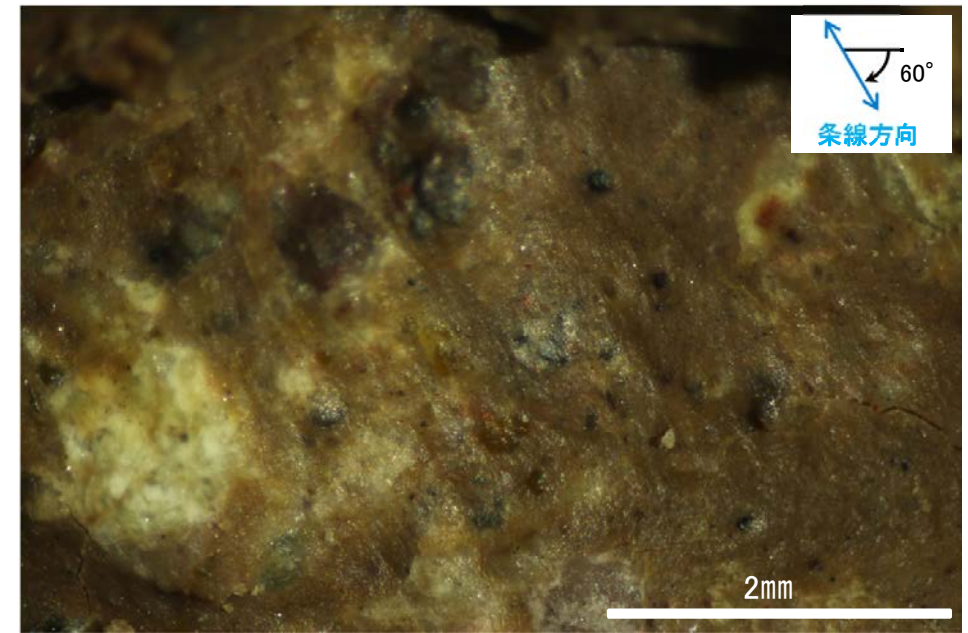
概念図 ※走向は真北で示す。



観察面写真



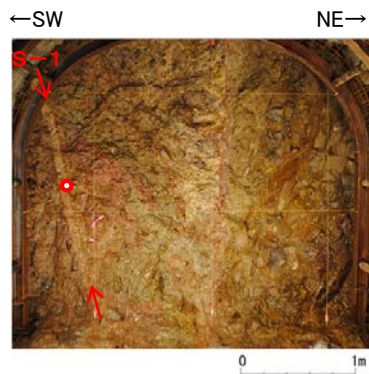
観察面拡大写真



詳細観察写真

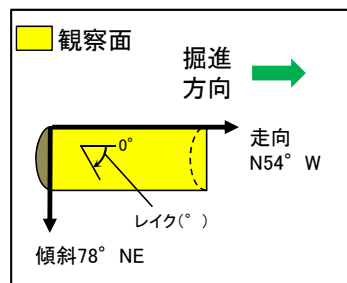
・条線のレイクは60° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.25-1(下盤側)①)

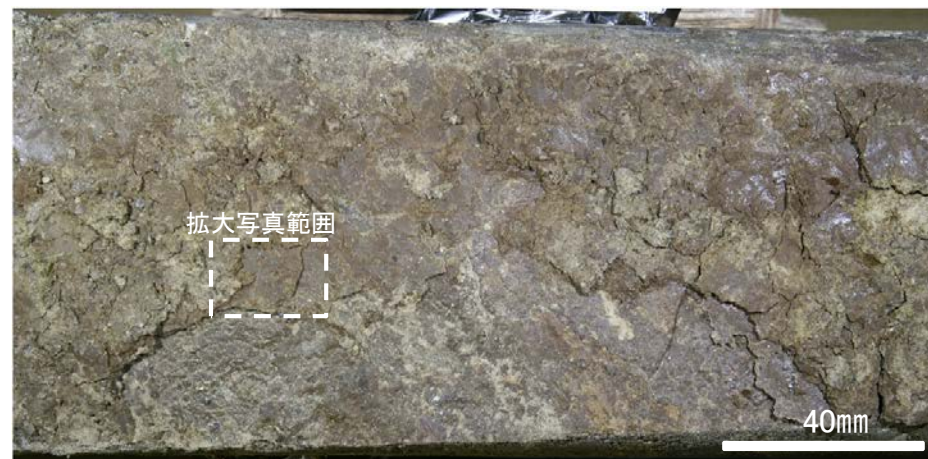


試料採取位置(No.25切羽)

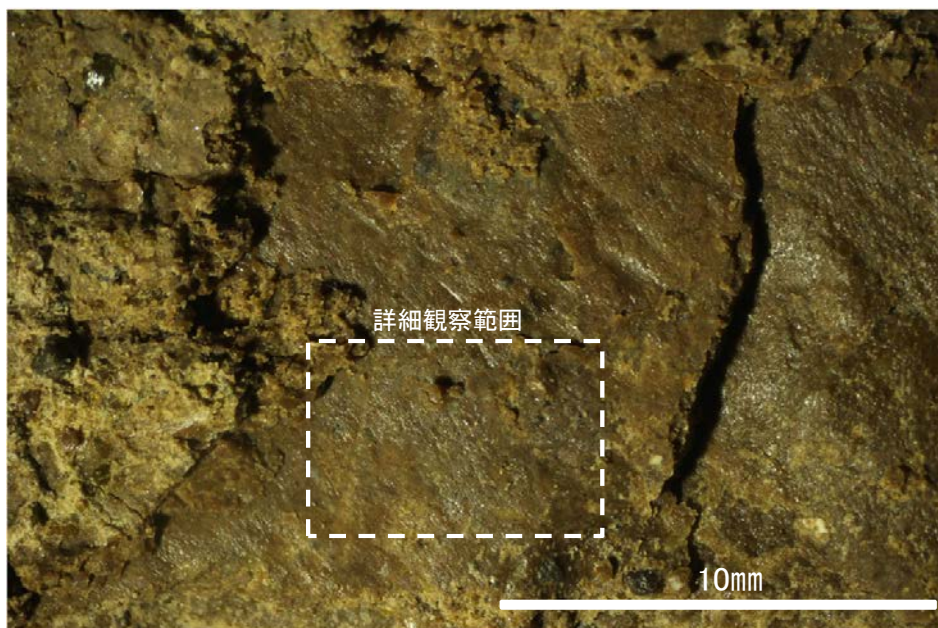
○ ボーリング箇所(No.25-1)



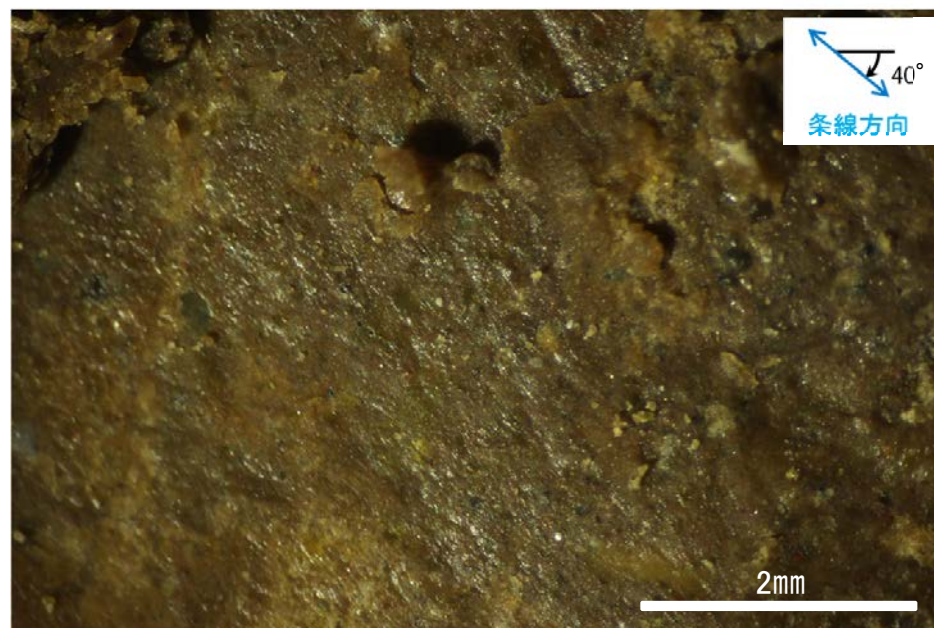
概念図 ※走向は真北で示す。



観察面写真



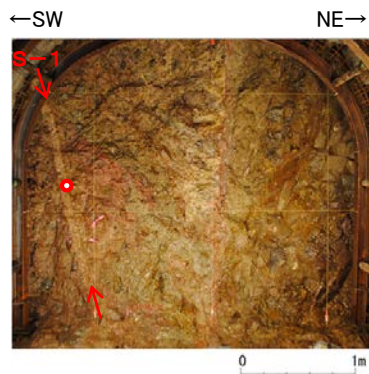
観察面拡大写真



詳細観察写真

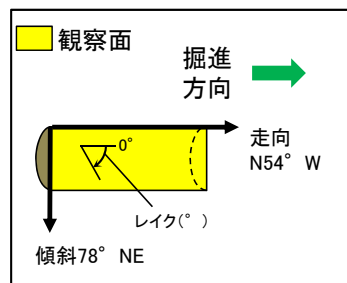
・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.25-1(下盤側)②)

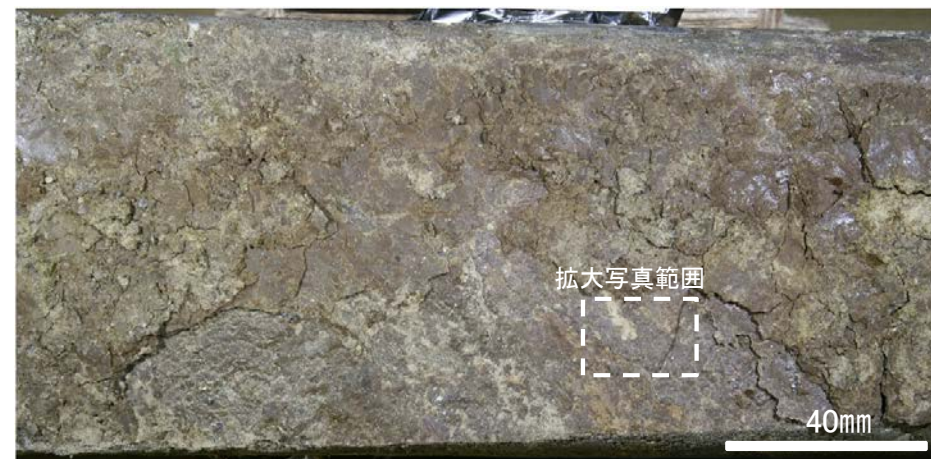


試料採取位置(No.25切羽)

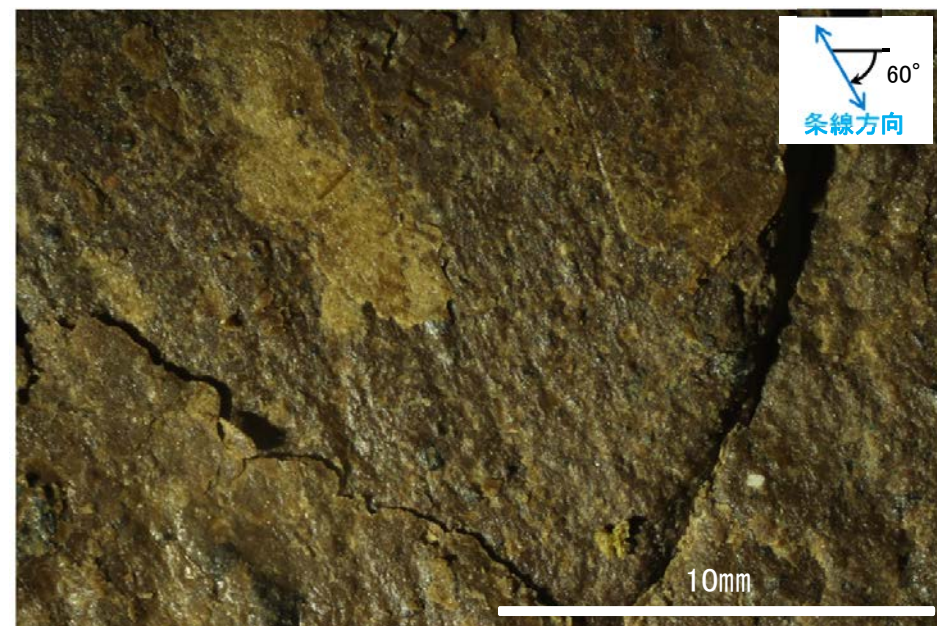
○ ボーリング箇所(No.25-1)



概念図 ※走向は真北で示す。



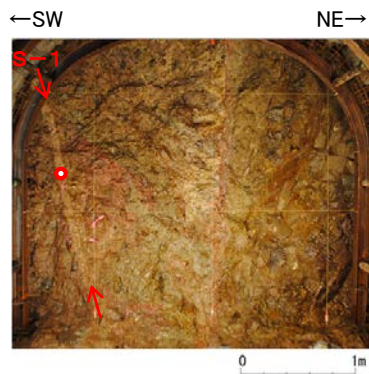
観察面写真



観察面拡大写真

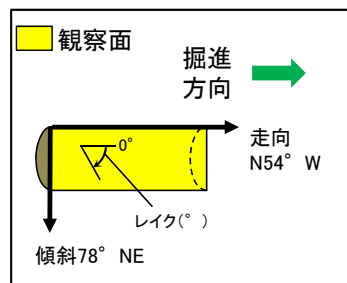
・条線のレイクは60° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.25-2(下盤側)①)



試料採取位置(No.25切羽)

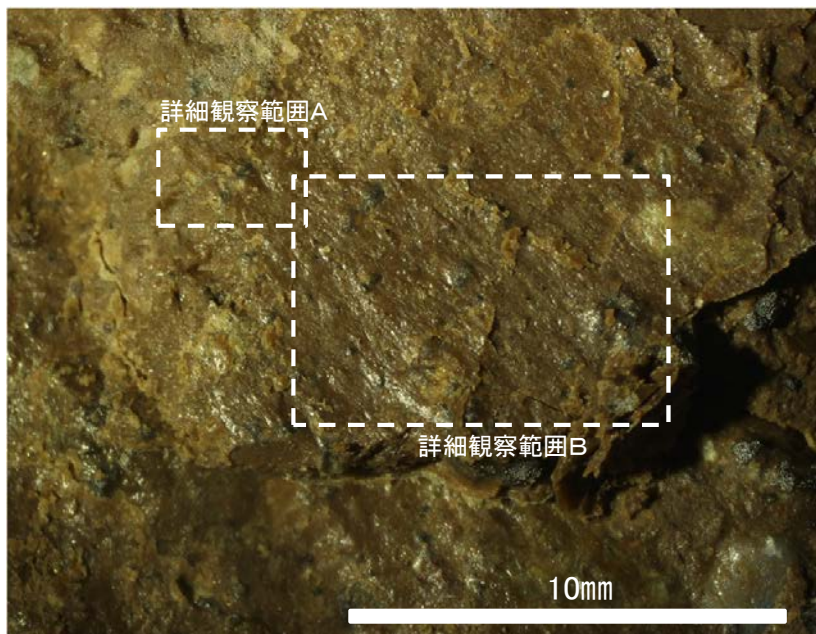
○ ボーリング箇所(No.25-2)



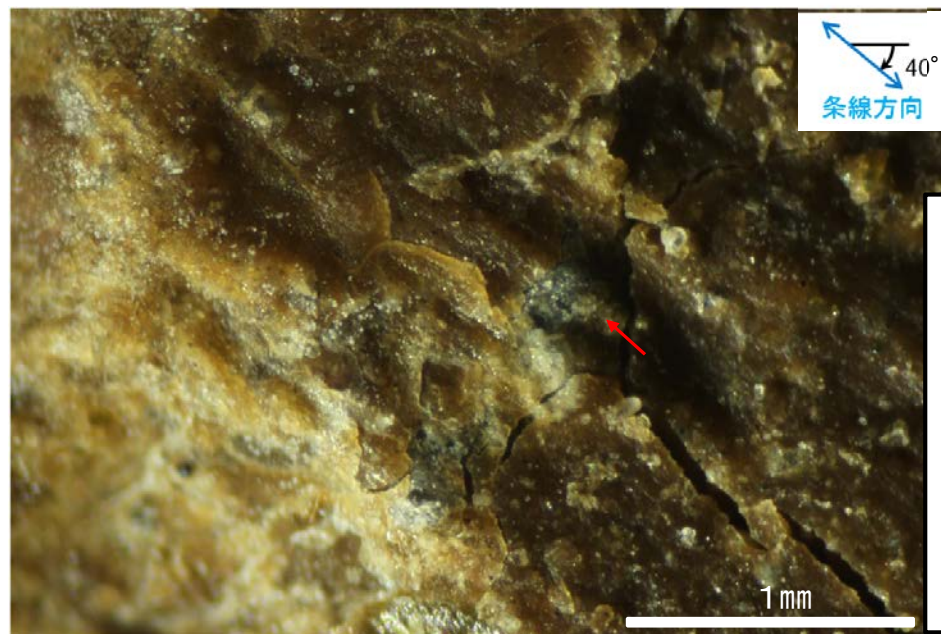
概念図 ※走向は真北で示す。



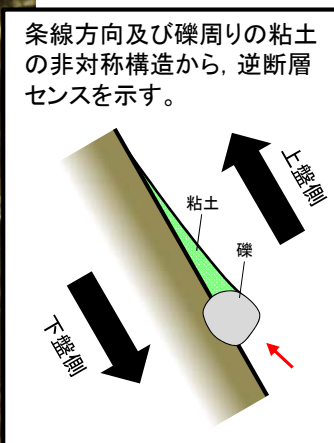
観察面写真



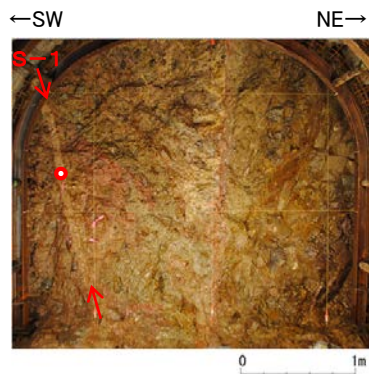
観察面拡大写真



詳細観察写真A

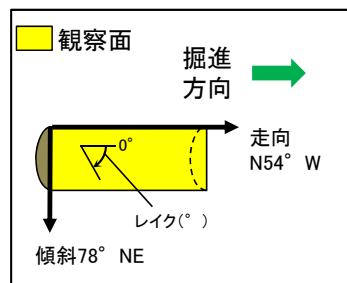


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.25-2(下盤側)②)

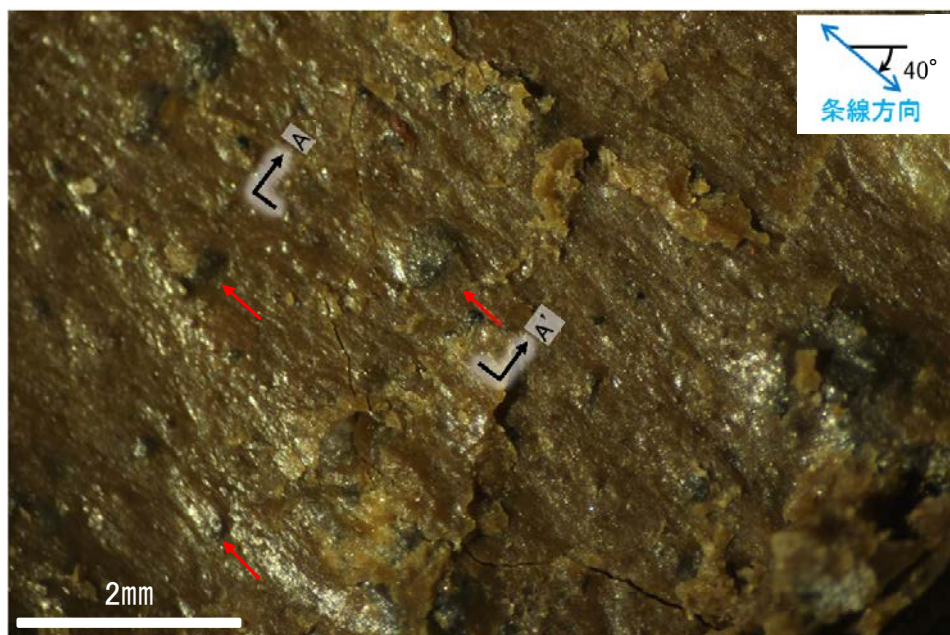
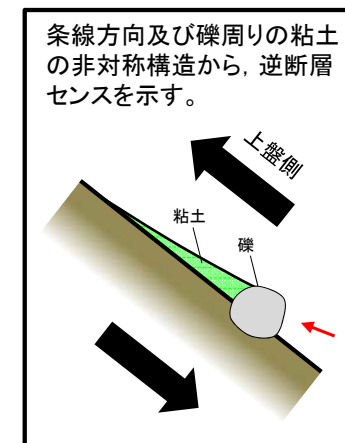


試料採取位置(No.25切羽)

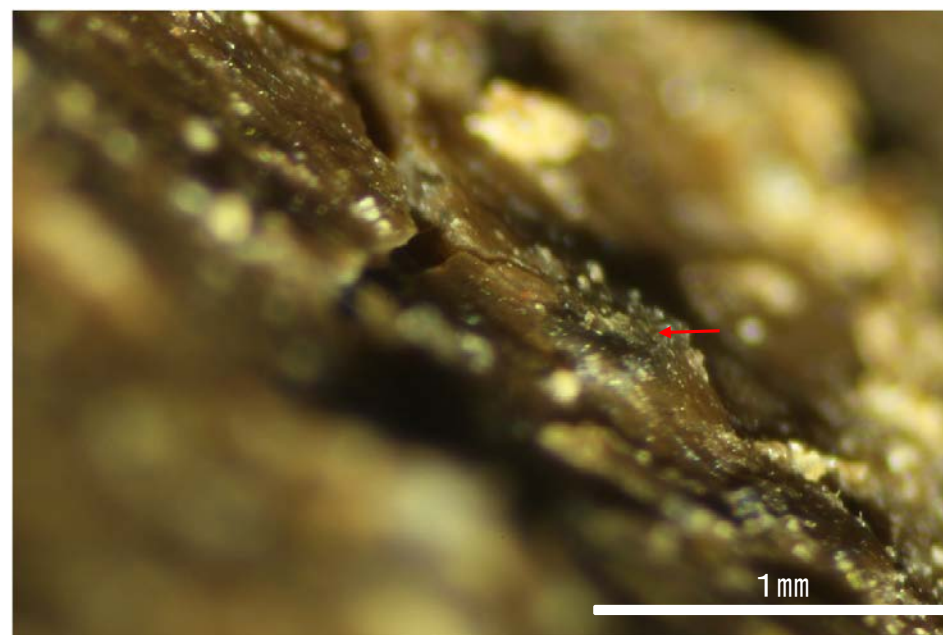
○ ボーリング箇所(No.25-2)



概念図



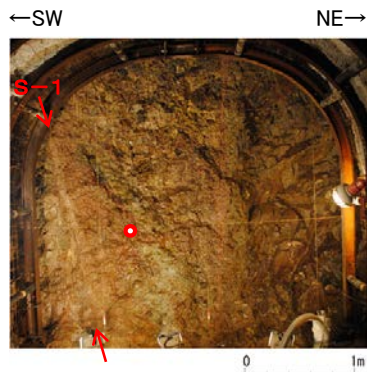
詳細観察写真B



詳細観察写真(A-A'断面)

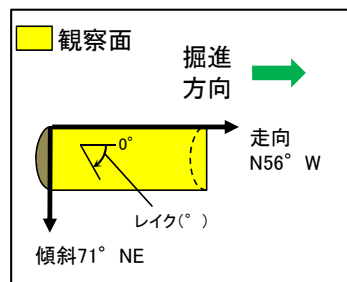
・条線のレイクは40° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.26-1(下盤側)①)

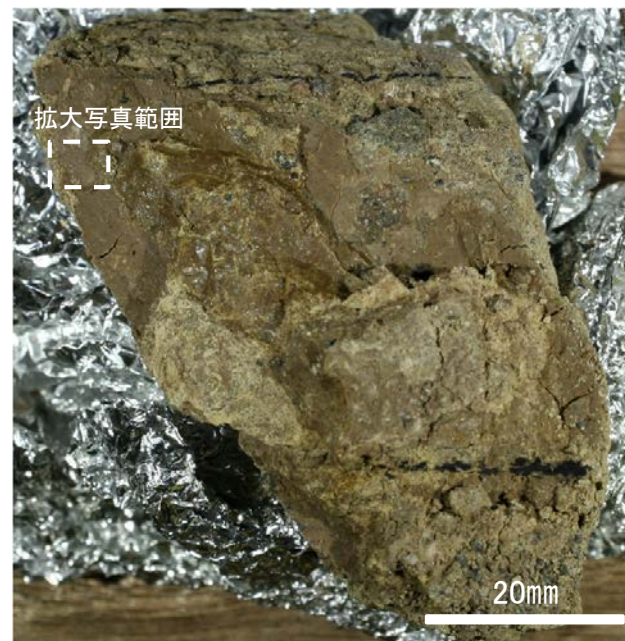


試料採取位置(No.26切羽)

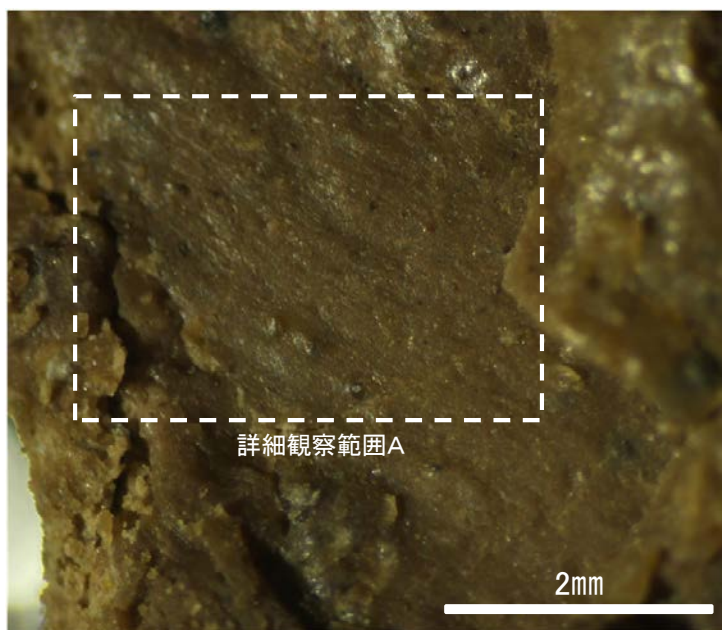
○ ボーリング箇所(No.26-1)



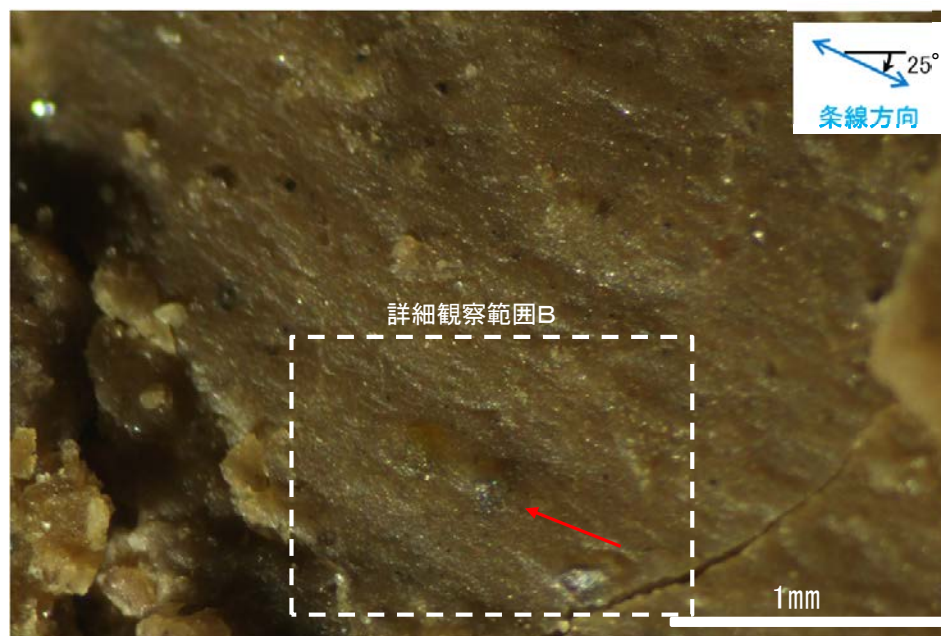
概念図



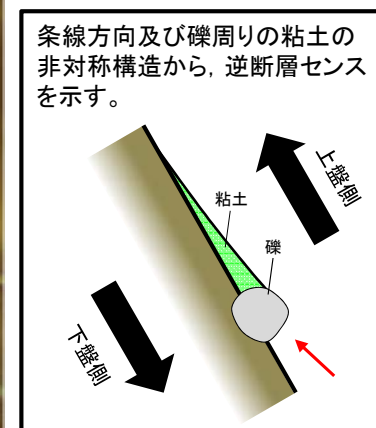
観察面写真



観察面拡大写真

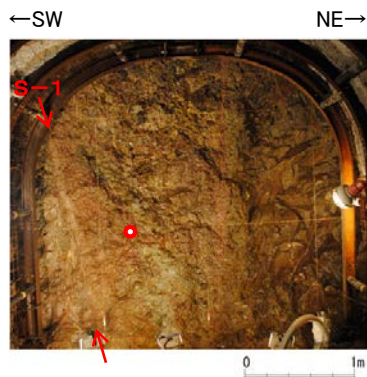


詳細観察写真A



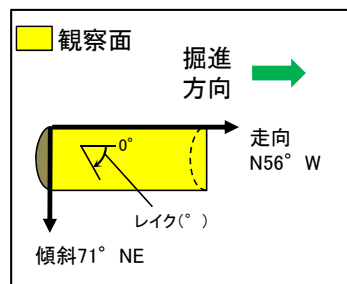
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.26-1(下盤側)②)

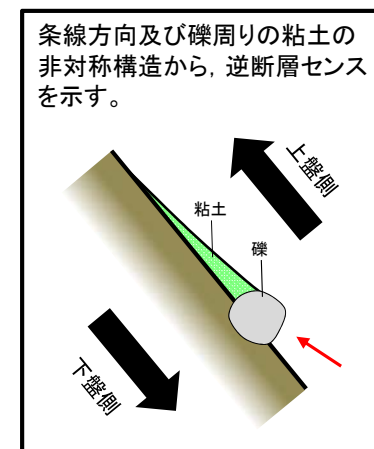


試料採取位置(No.26切羽)

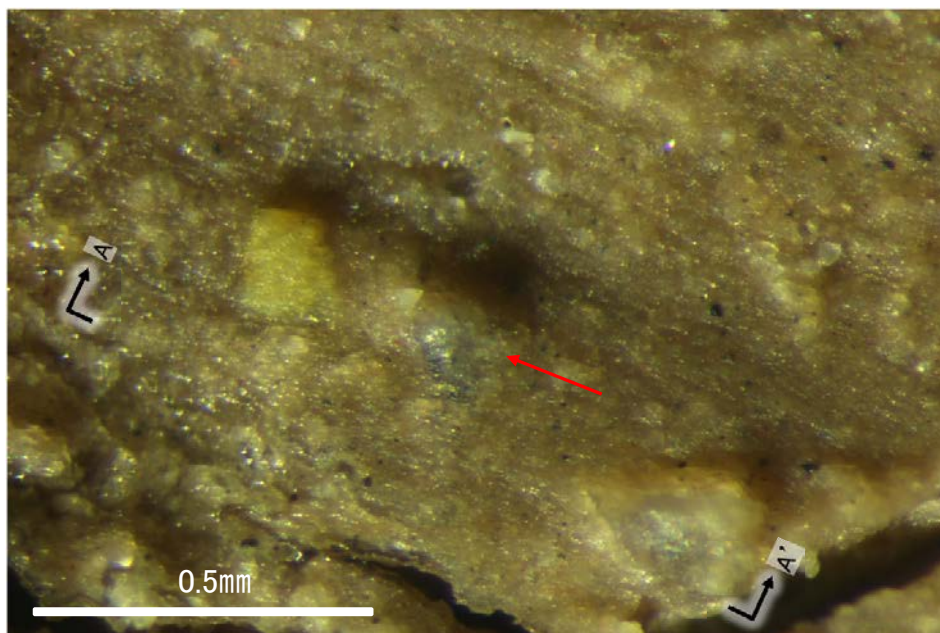
○ ボーリング箇所(No.26-1)



概念図 ※走向は真北で示す。



条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



詳細観察写真B

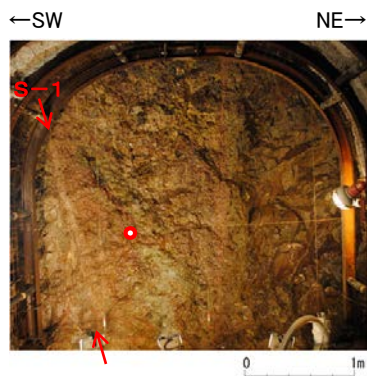


詳細観察写真(A-A'断面)

・条線のレイクは25° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

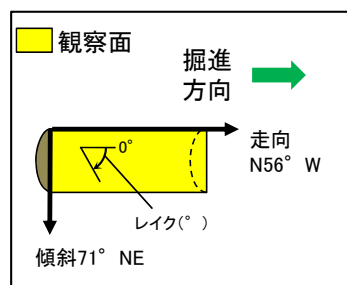


# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.26-1(下盤側)③)

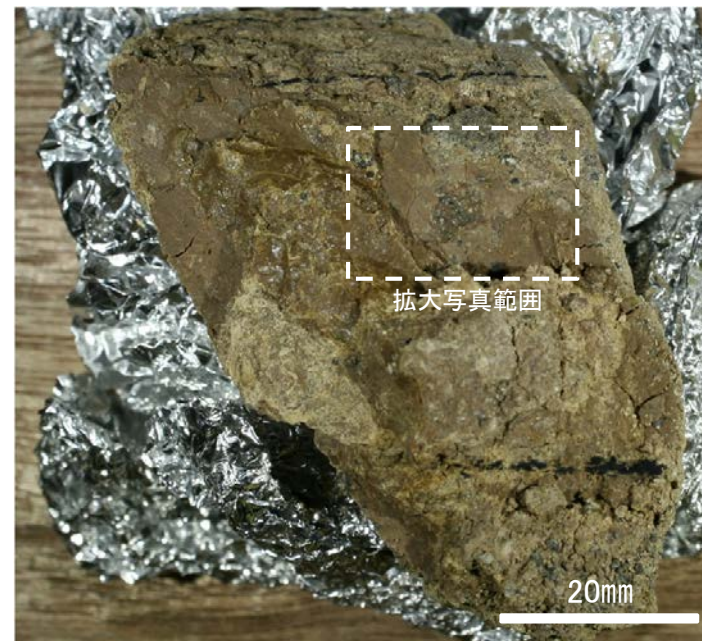


試料採取位置(No.26切羽)

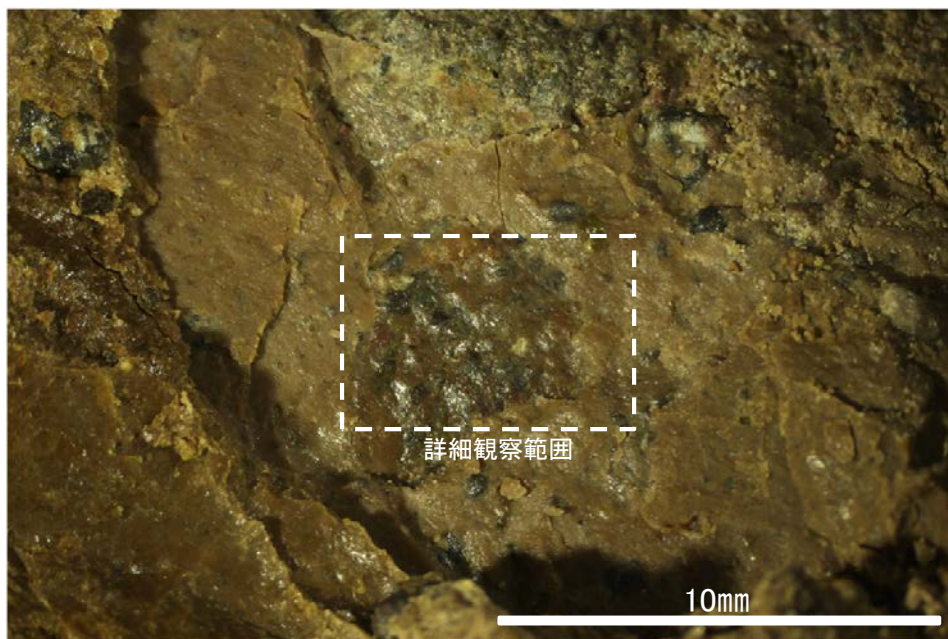
○ ボーリング箇所(No.26-1)



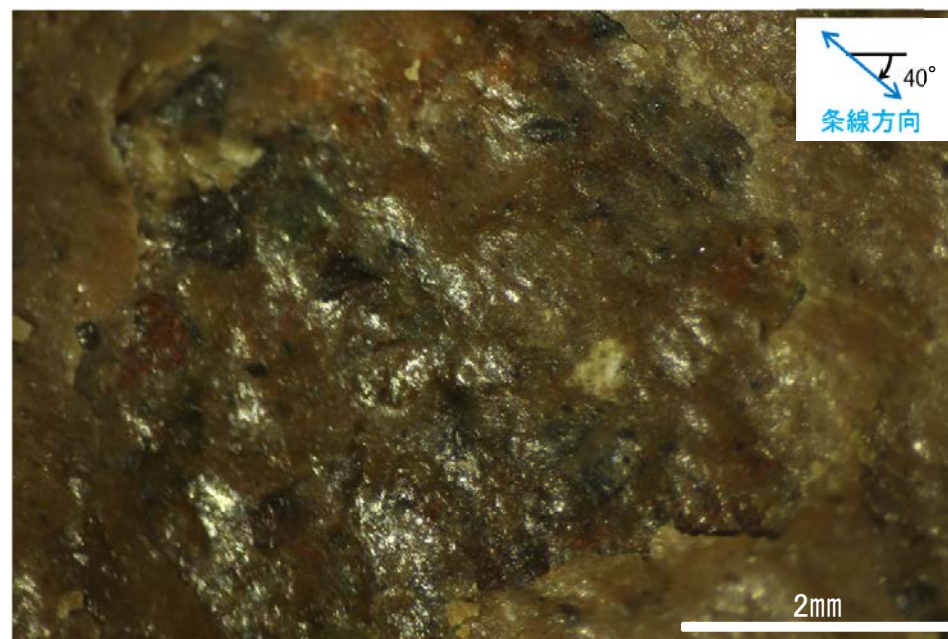
概念図 ※走向は真北で示す。



観察面写真

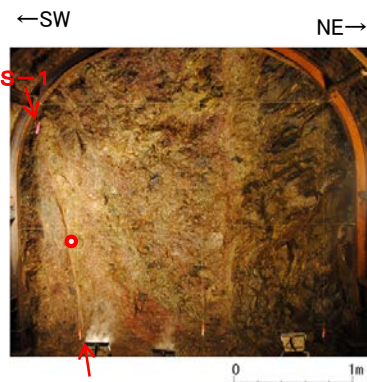


観察面拡大写真



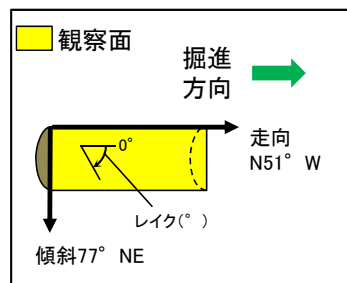
詳細観察写真

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.27-1(下盤側)①)

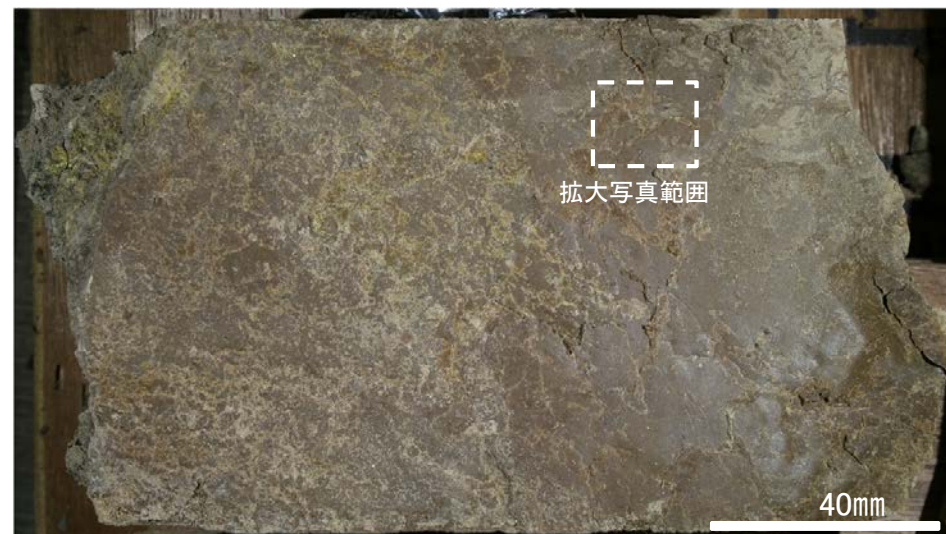


試料採取位置(No.27切羽)

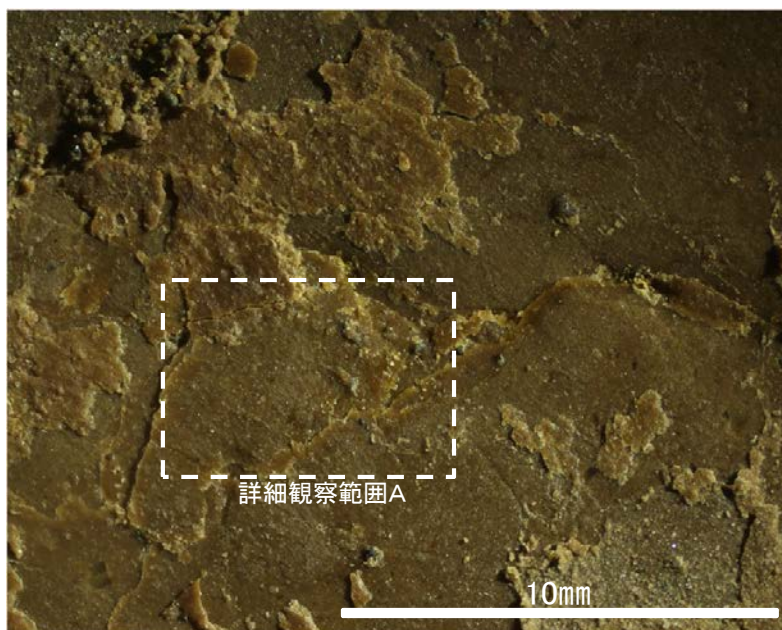
○ ボーリング箇所(No.27-1)



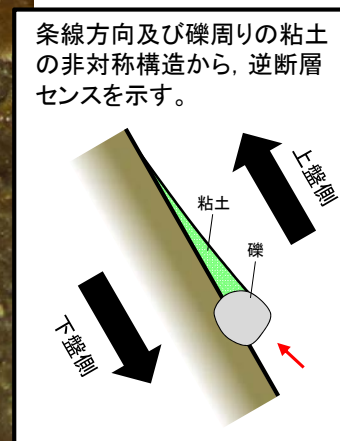
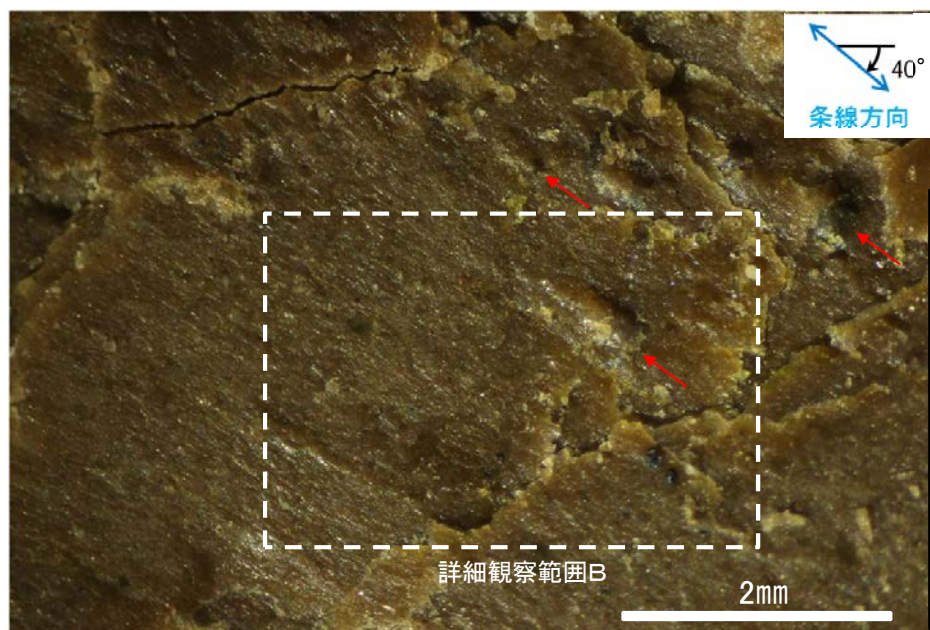
概念図 ※走向は真北で示す。



観察面写真

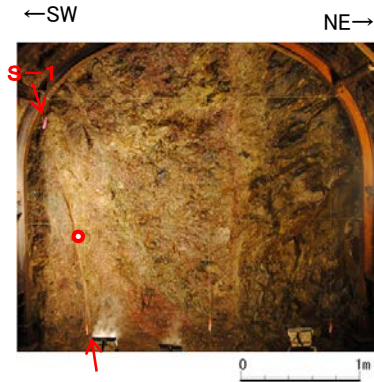


観察面拡大写真



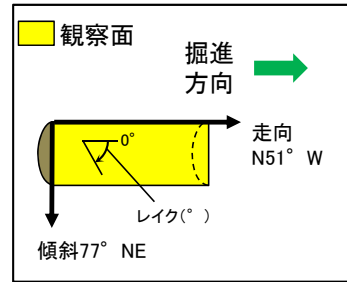
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.27-1(下盤側)②)

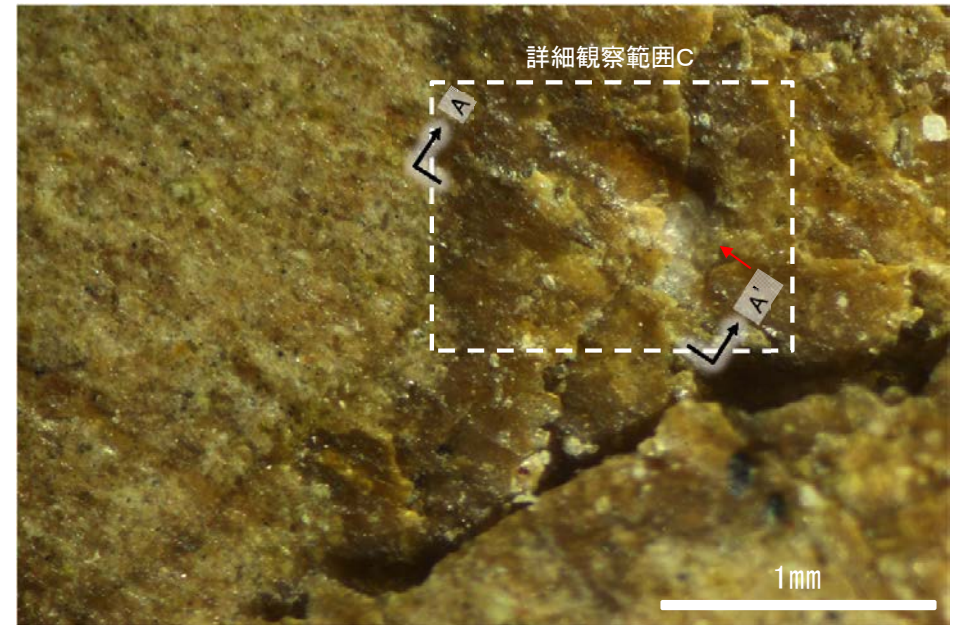


試料採取位置(No.27切羽)

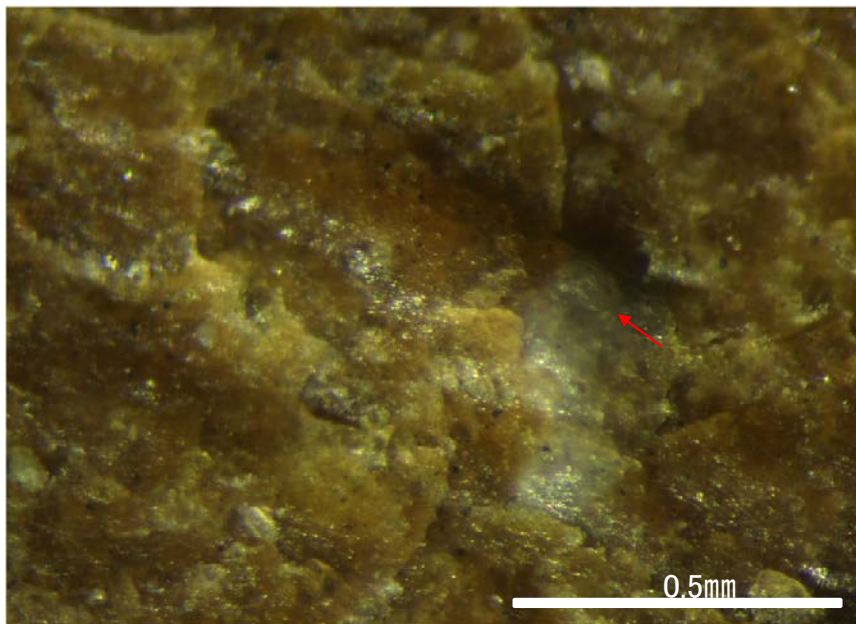
○ ボーリング箇所(No.27-1)



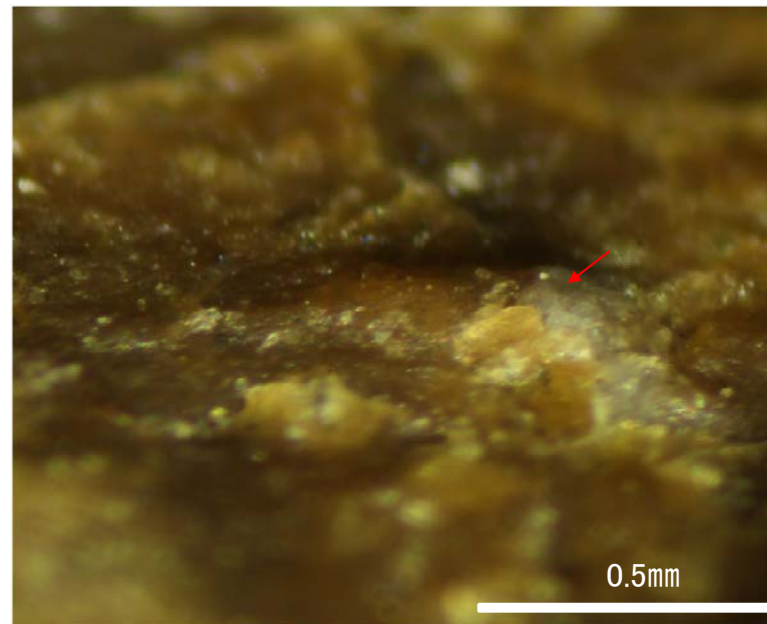
概念図 ※走向は真北で示す。



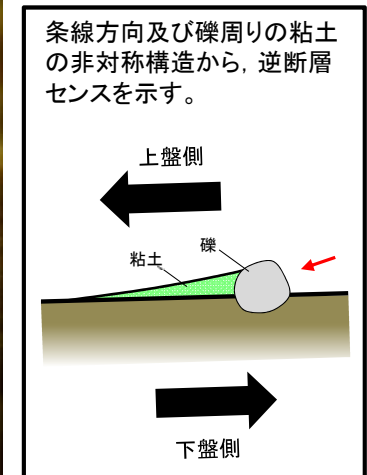
詳細観察写真B



詳細観察写真C

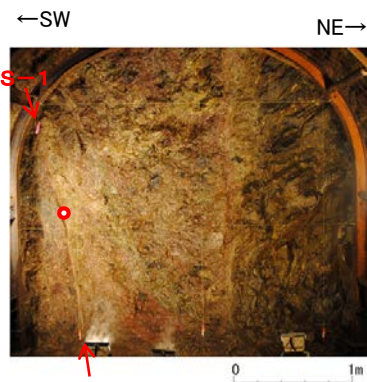


詳細観察写真(A-A'断面)



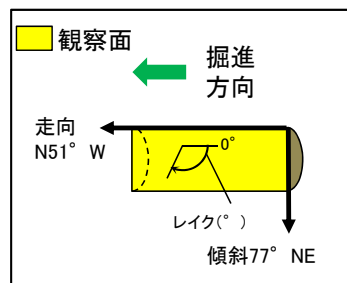
・条線のレイクは40° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.27-2(上盤側)①)

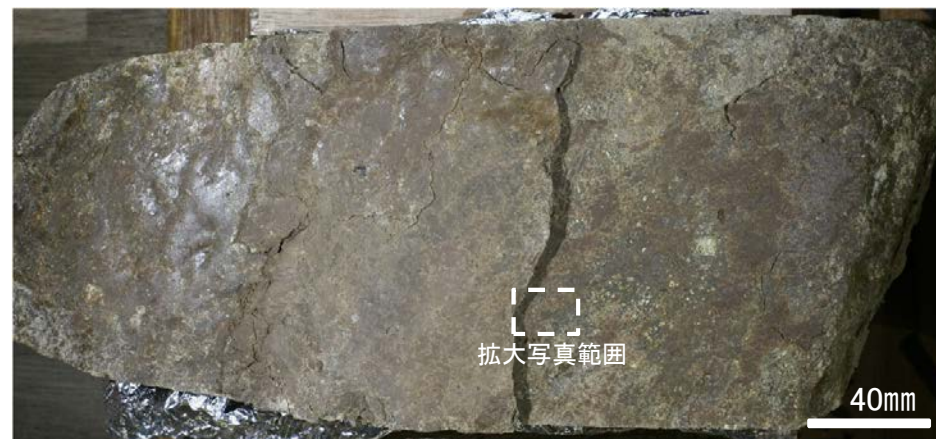


試料採取位置(No.27切羽)

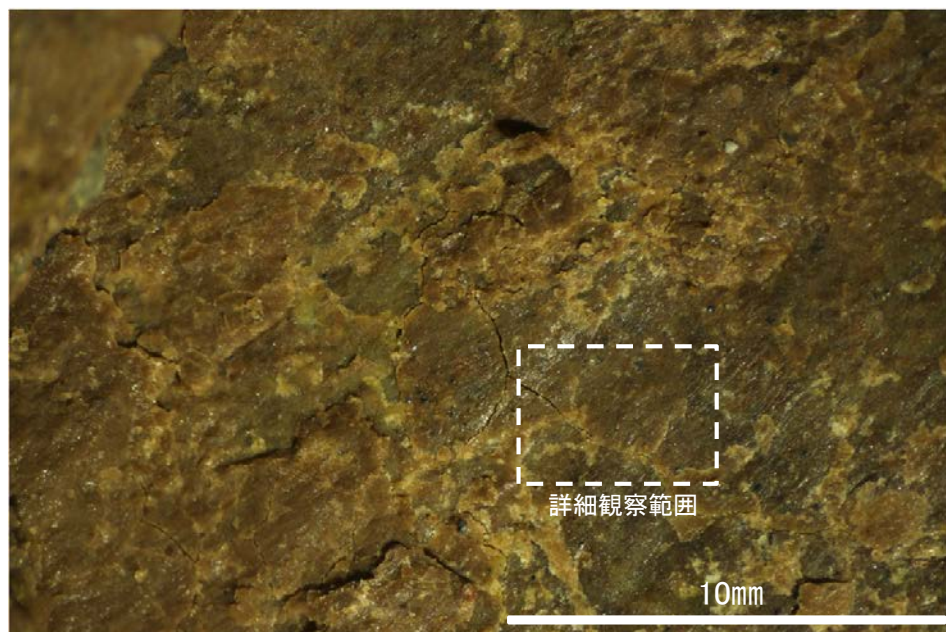
○ ボーリング箇所(No.27-2)



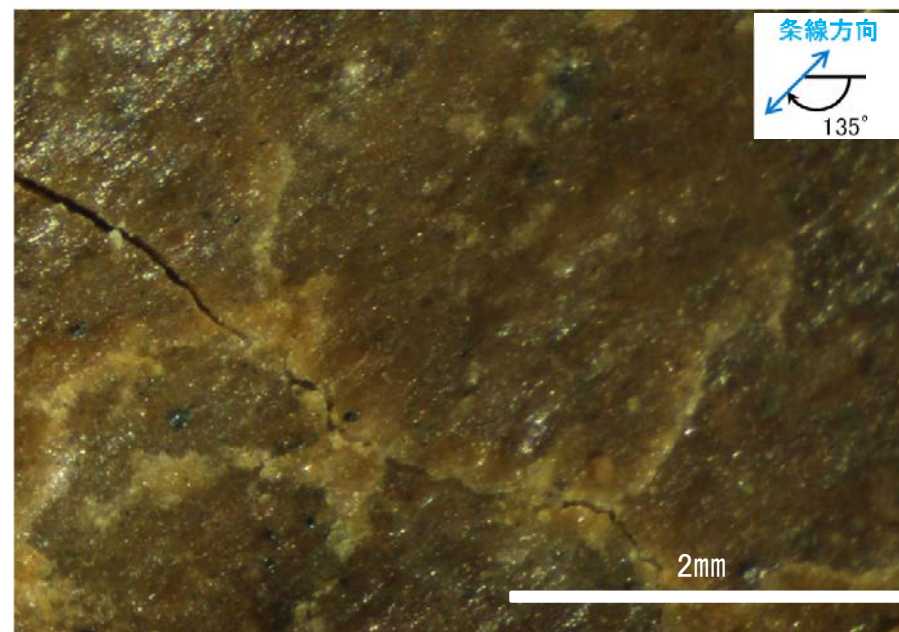
概念図 ※走向は真北で示す。



観察面写真



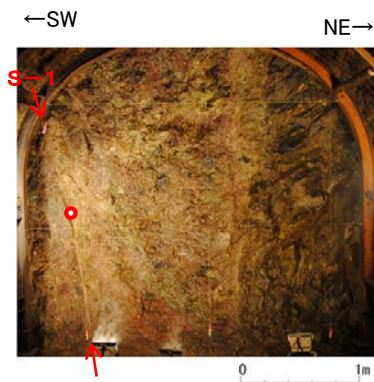
観察面拡大写真



詳細観察写真

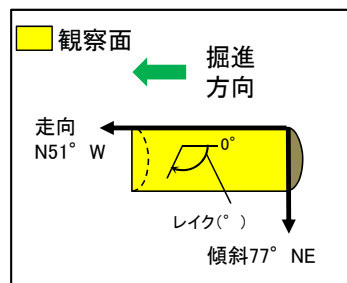
・条線のレイクは45° R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングNo.27-2(上盤側)②)



試料採取位置(No.27切羽)

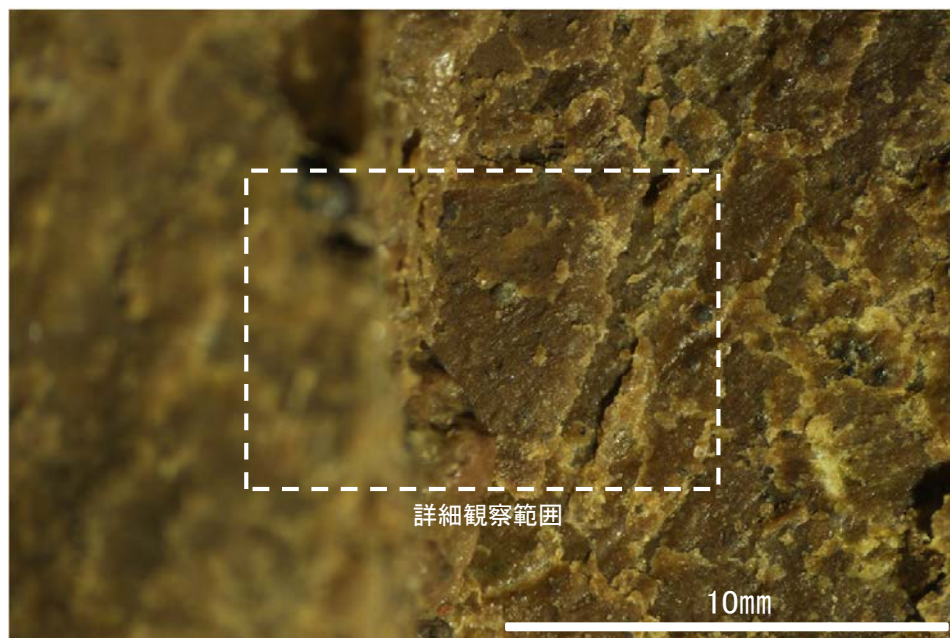
○ ボーリング箇所(No.27-2)



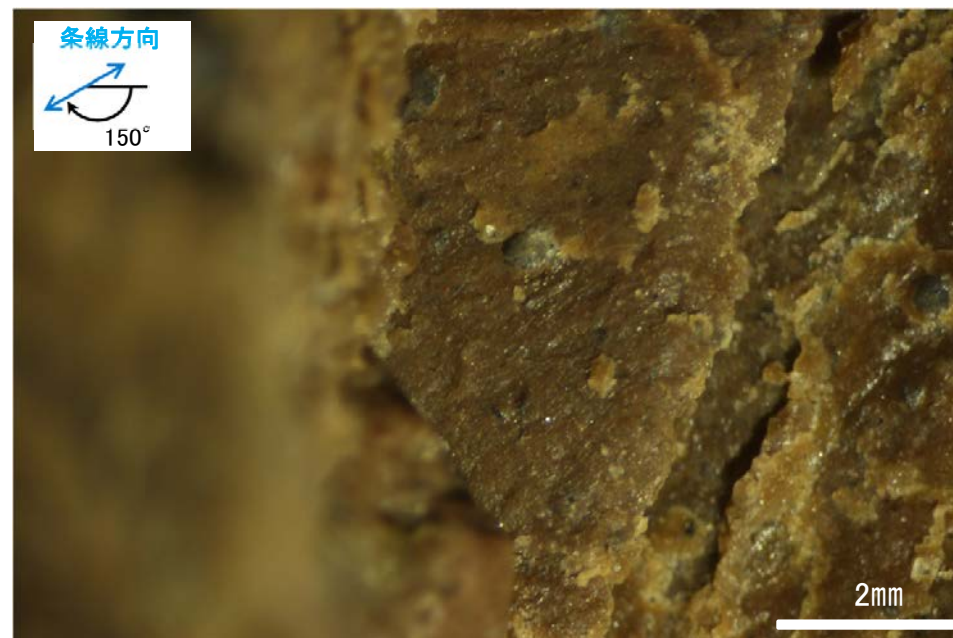
概念図 ※走向は真北で示す。



観察面写真



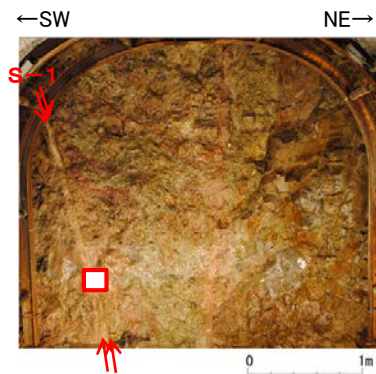
観察面拡大写真



詳細観察写真

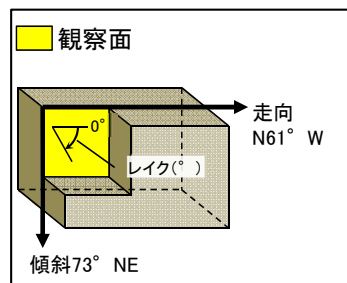
・条線のレイクは30° R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 No.24-2ブロック(1)(下盤側)①)

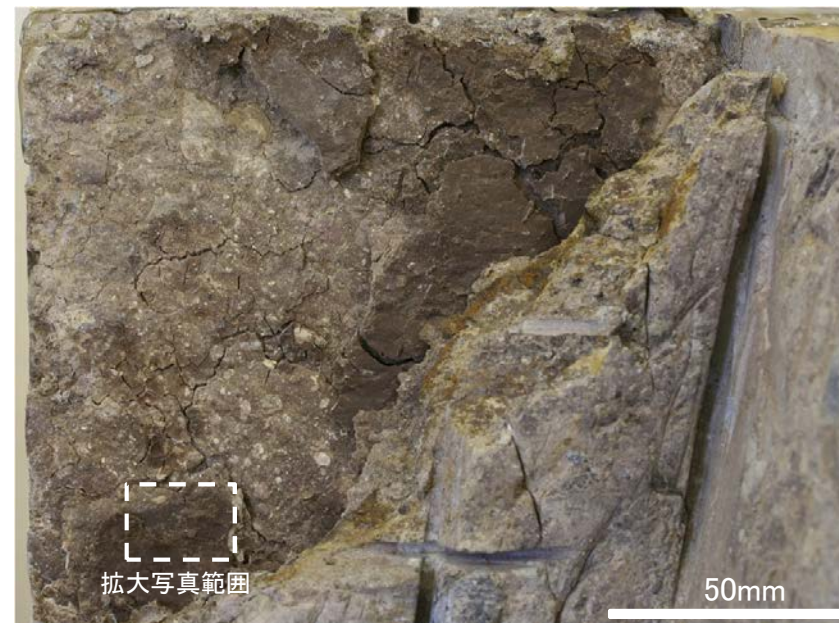


試料採取位置(No.24切羽)

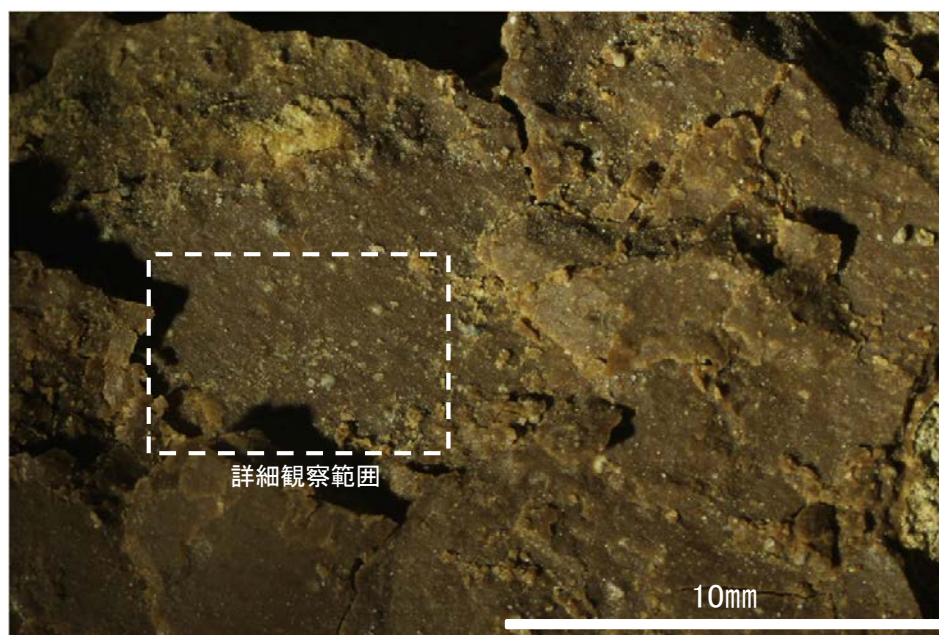
□ 試料採取箇所  
(No.24-2ブロック)



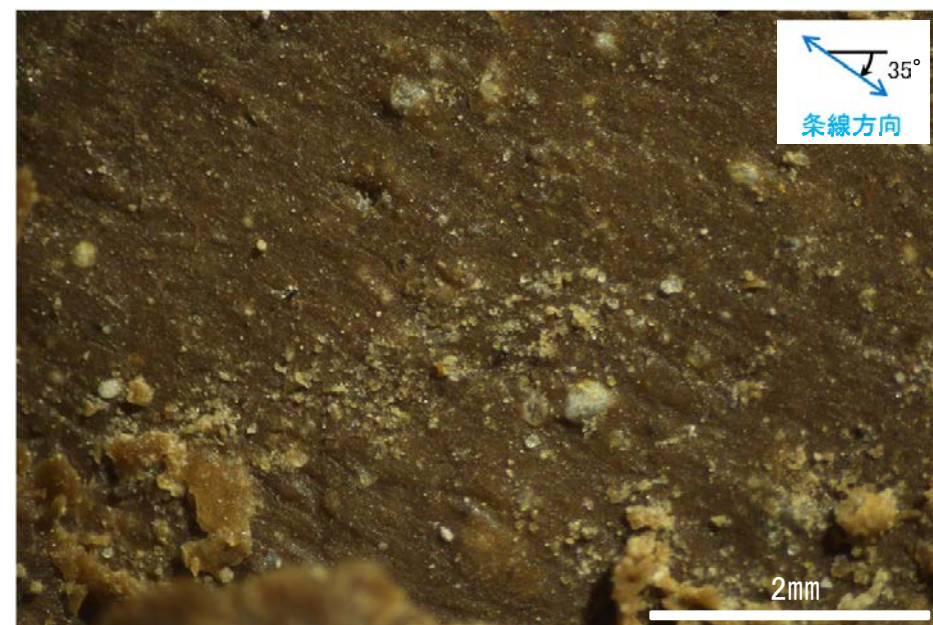
概念図 ※走向は真北で示す。  
※走向は真北で示す。



観察面写真



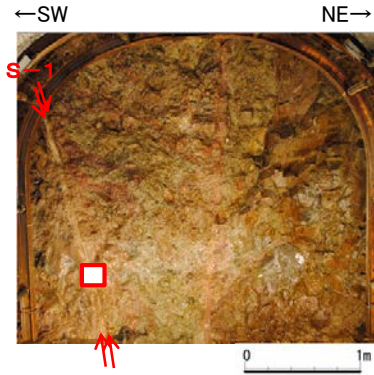
観察面拡大写真



詳細観察写真

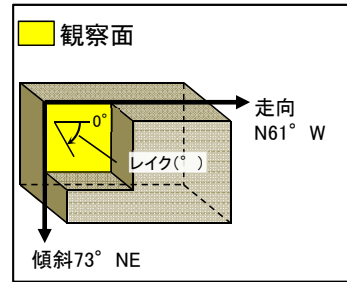
・条線のレイクは35° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 No.24-2ブロック(1)(下盤側)②)

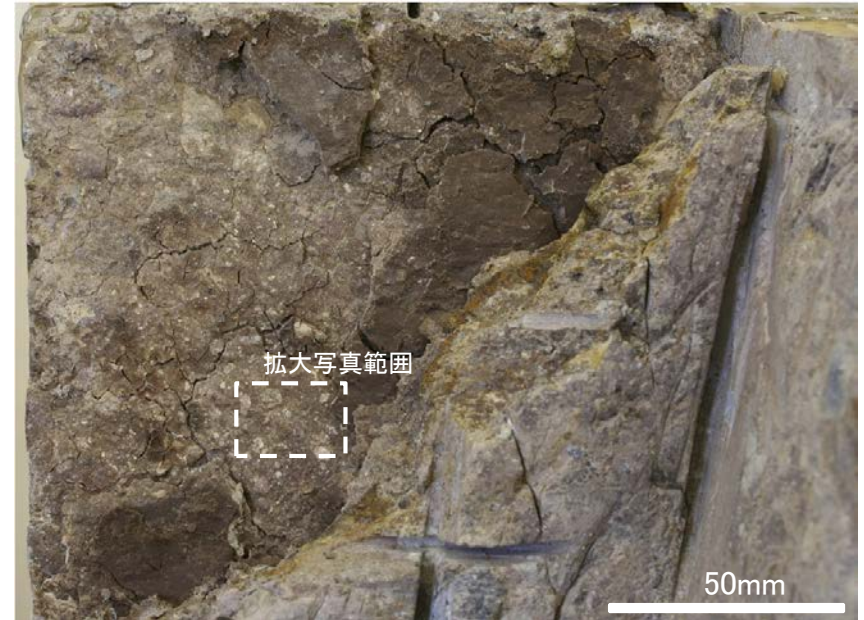


試料採取位置(No.24切羽)

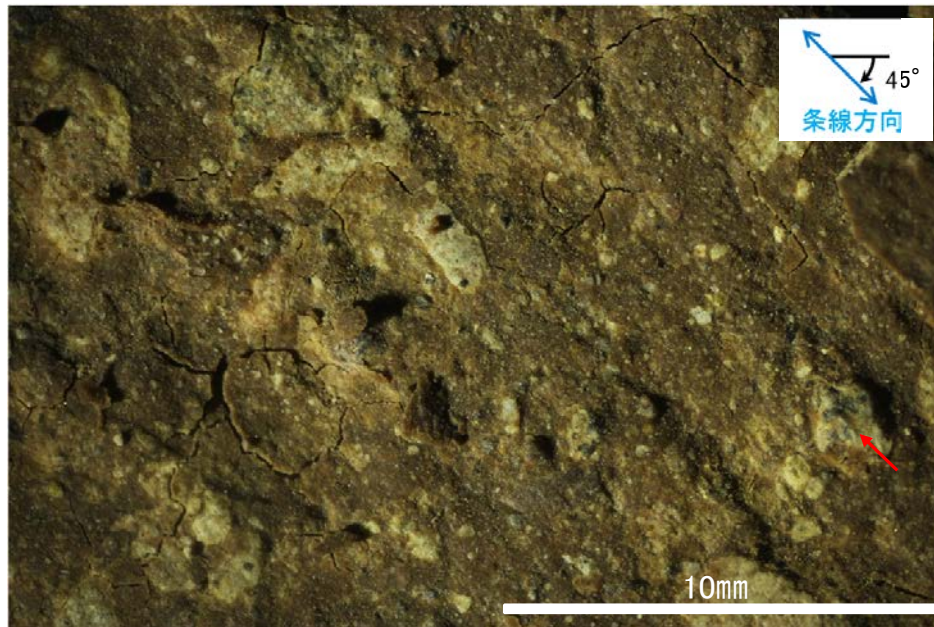
試料採取箇所  
(No.24-2ブロック)



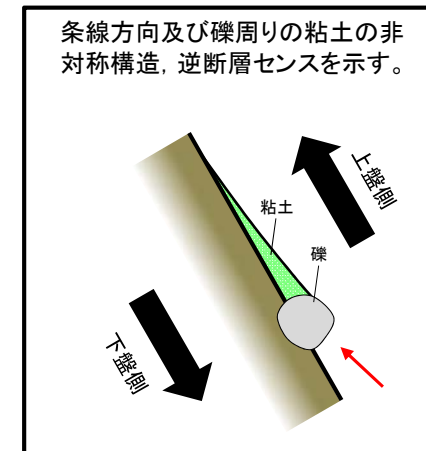
概念図 ※走向は真北で示す。  
※走向は真北で示す。



観察面写真

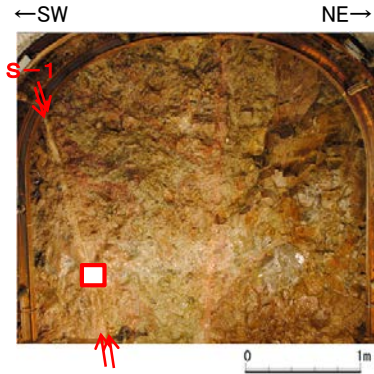


観察面拡大写真



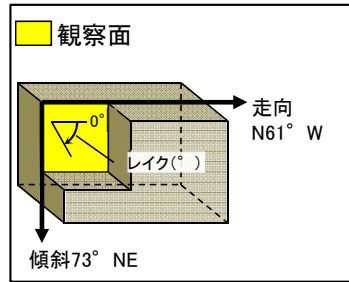
・条線のレイクは45° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑 No.24-2ブロック(2)(下盤側))



試料採取位置 (No.24切羽)

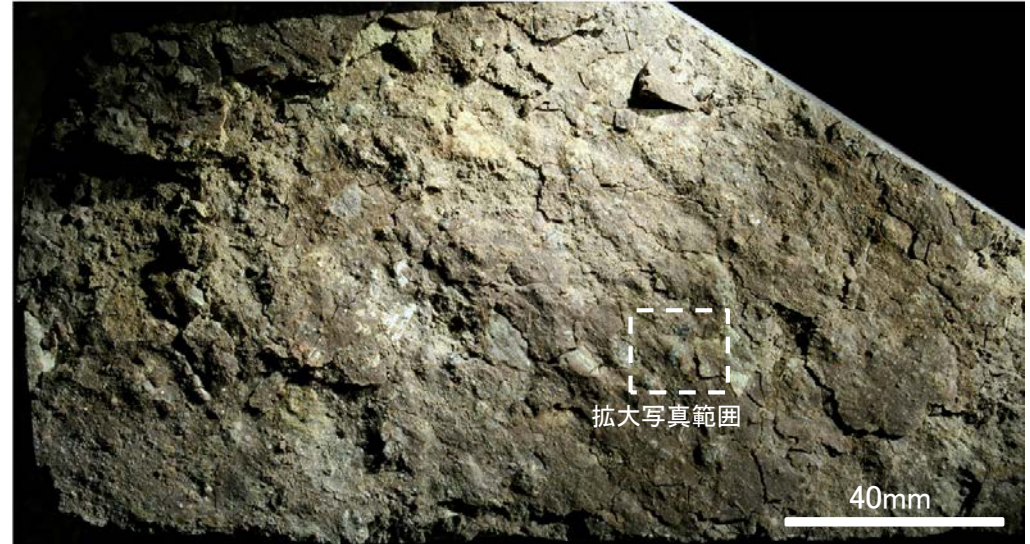
□ 試料採取箇所  
(No.24-2ブロック)



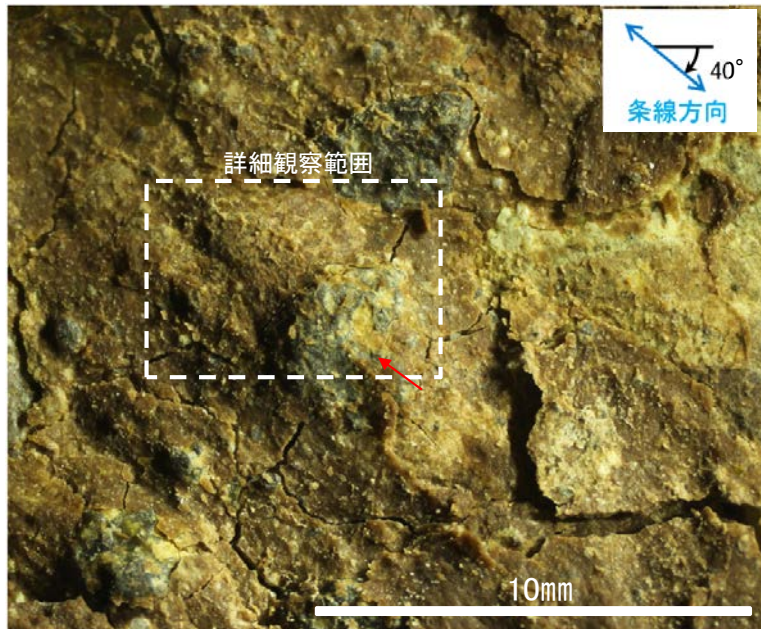
概念図

※走向は真北で示す。

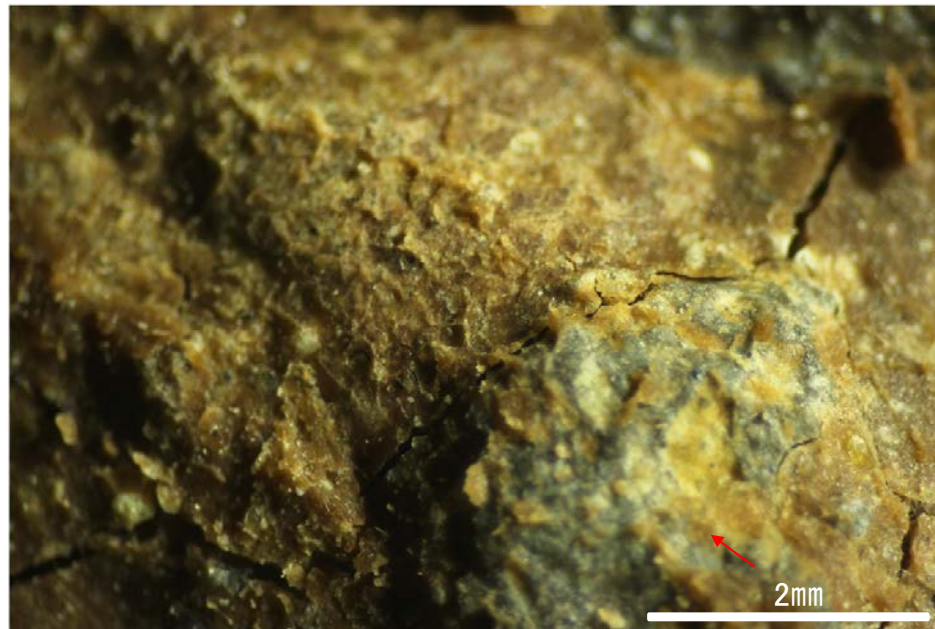
※走向は真北で示す。



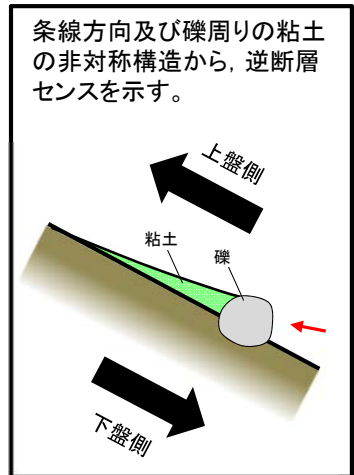
観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真

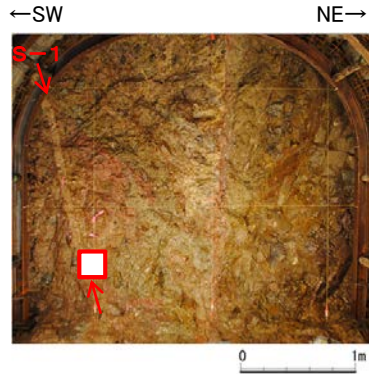


条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。

・条線のレイクは40° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

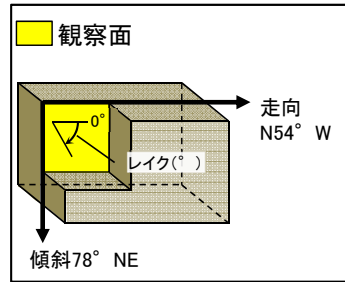


# 条線観察結果(岩盤調査坑 No.25-2ブロック(1)(下盤側))

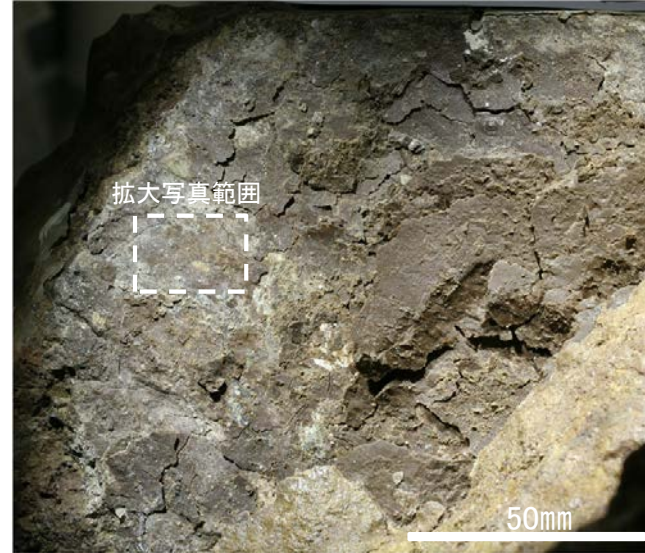


試料採取位置(No.25切羽)

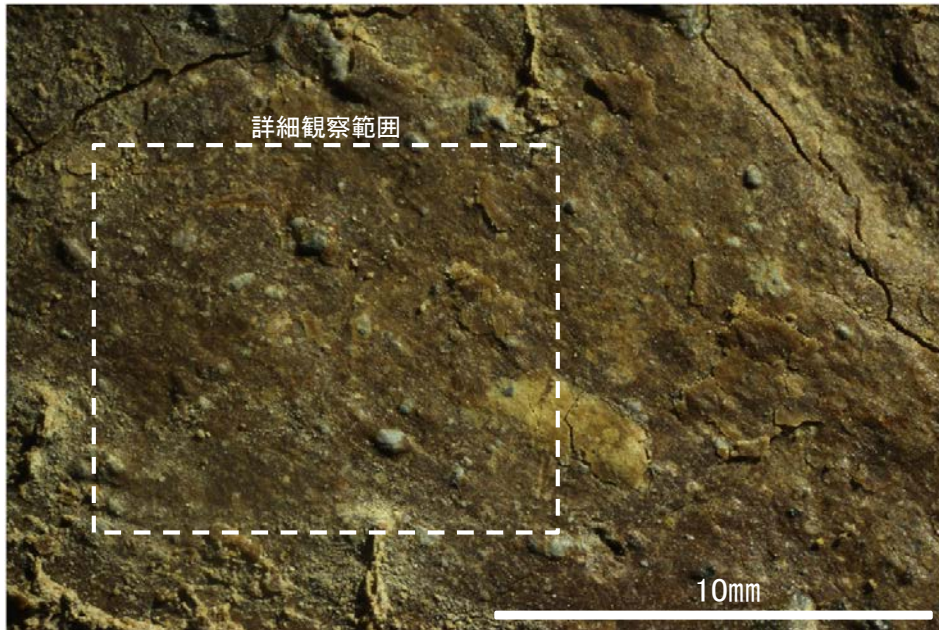
□ 試料採取箇所  
(No.25-2ブロック)



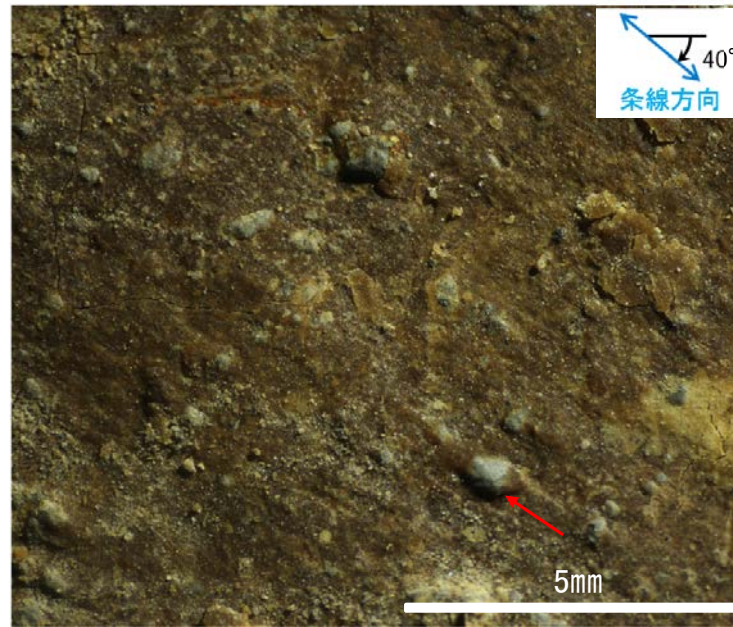
概念図 ※走向は真北で示す。  
※走向は真北で示す。



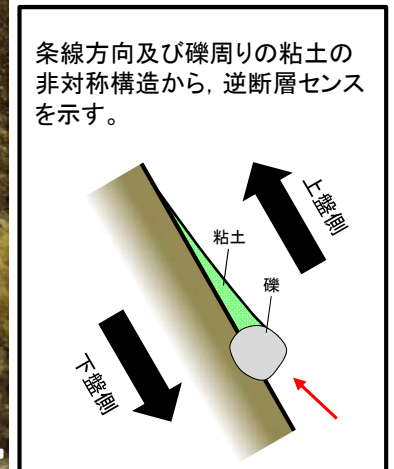
観察面写真



観察面拡大写真

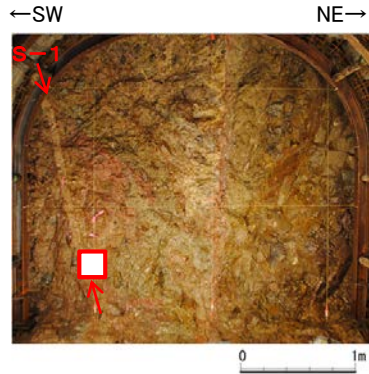


詳細観察写真



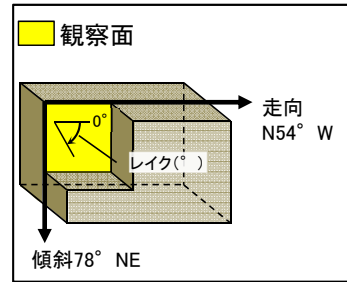
・条線のレイクは40° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑 No.25-2ブロック(2)(下盤側)①)



試料採取位置(No.25切羽)

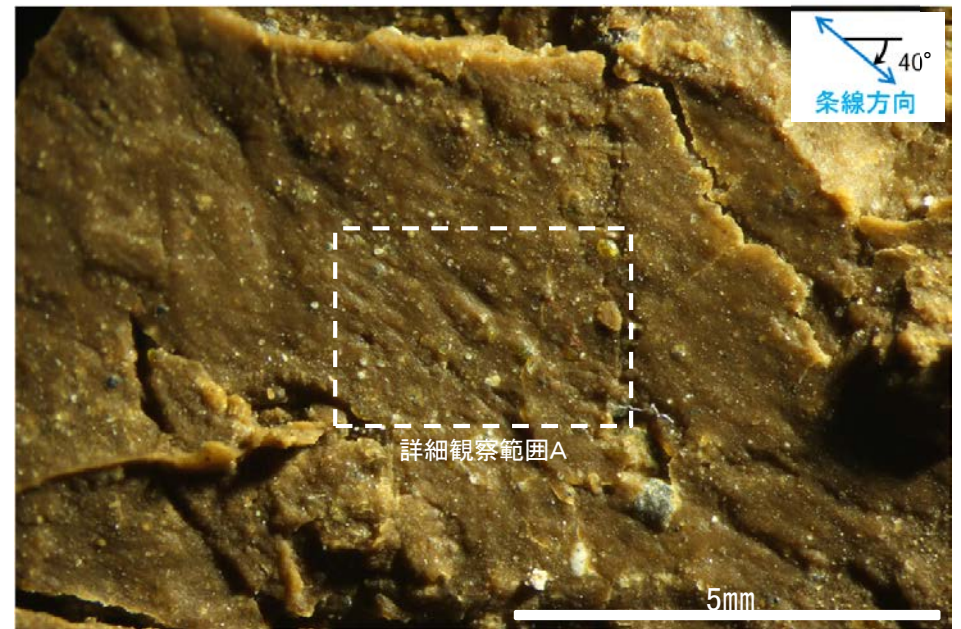
□ 試料採取箇所  
(No.25-2ブロック)



概念図 ※走向は真北で示す。  
※走向は真北で示す。

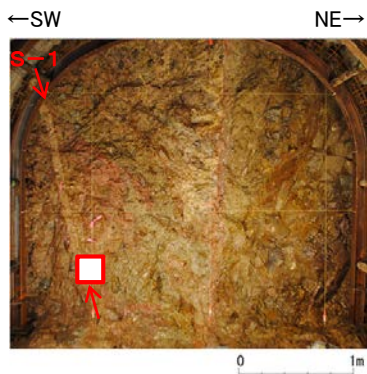


観察面写真



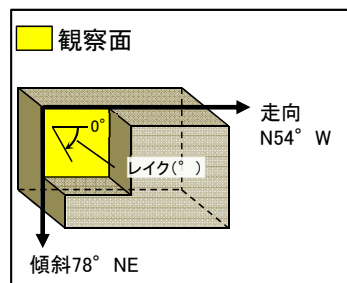
観察面拡大写真

# 条線観察結果(岩盤調査坑 No.25-2ブロック(2)(下盤側)②)

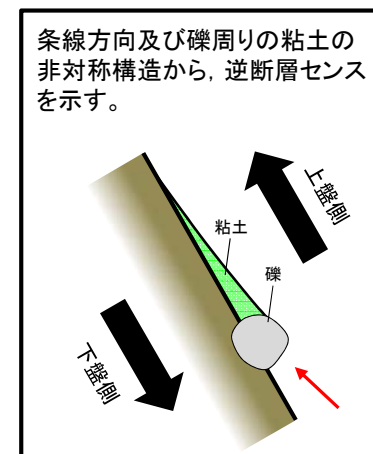


試料採取位置(No.25切羽)

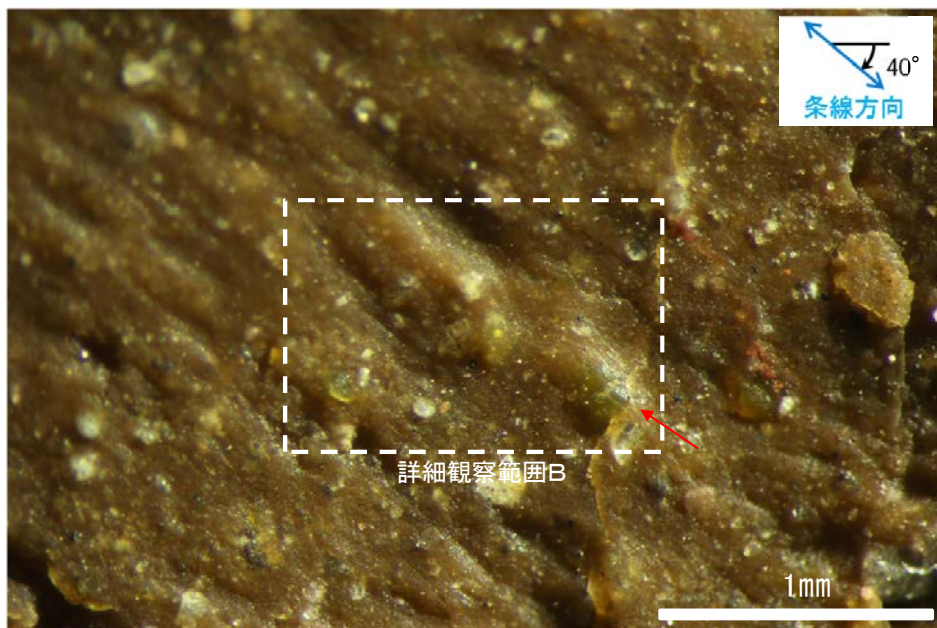
□ 試料採取箇所  
(No.25-2ブロック)



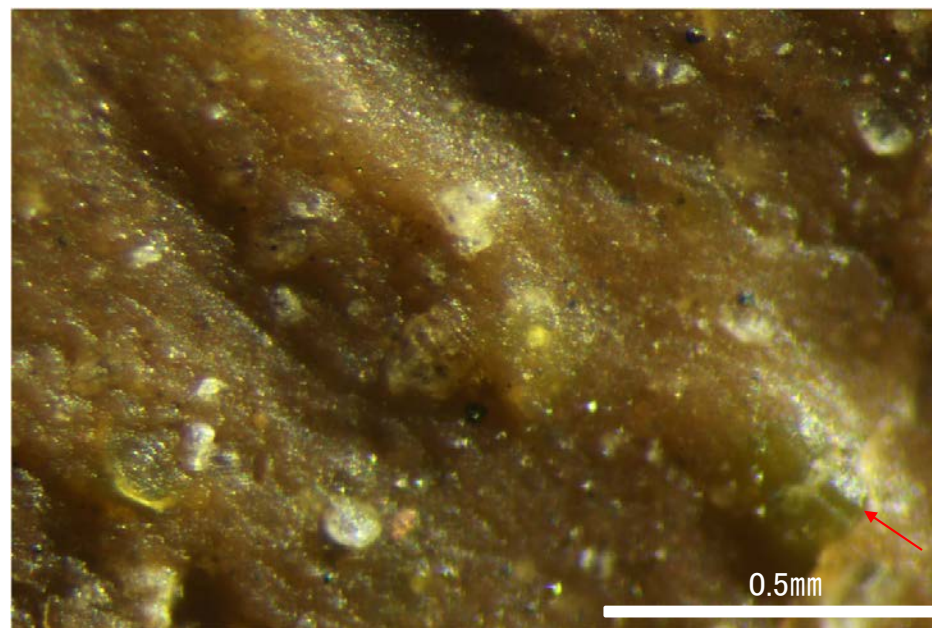
概念図 ※走向は真北で示す。  
※走向は真北で示す。



条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



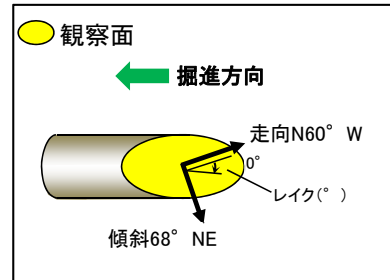
詳細観察写真A



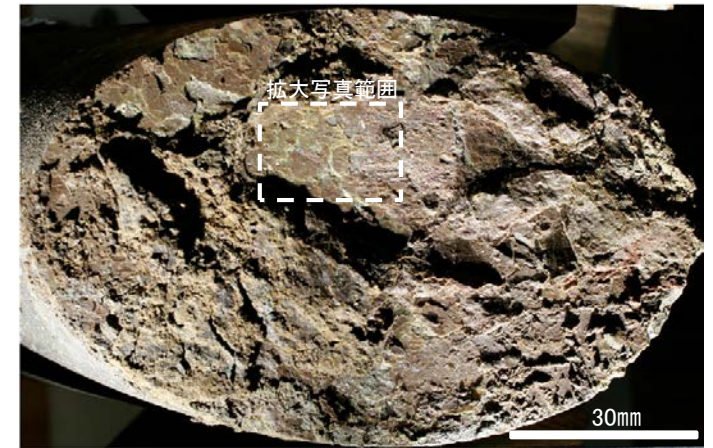
詳細観察写真B

・条線のレイクは40° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

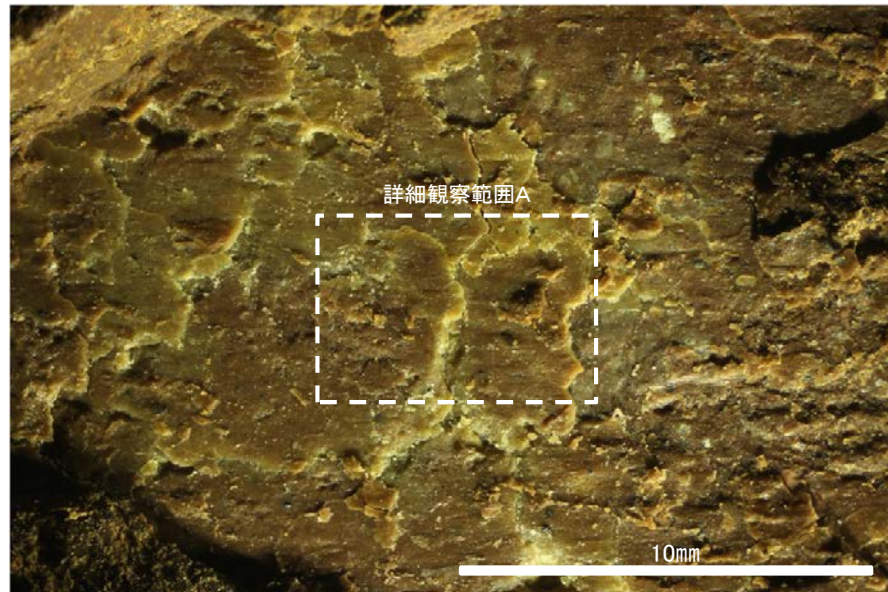
# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングT-1[深度3.34m](下盤側)①)



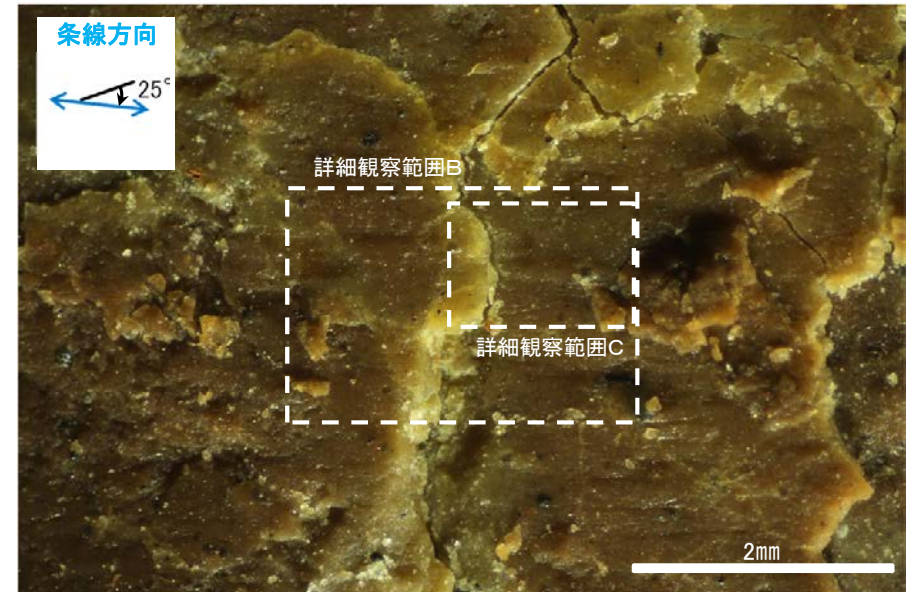
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真

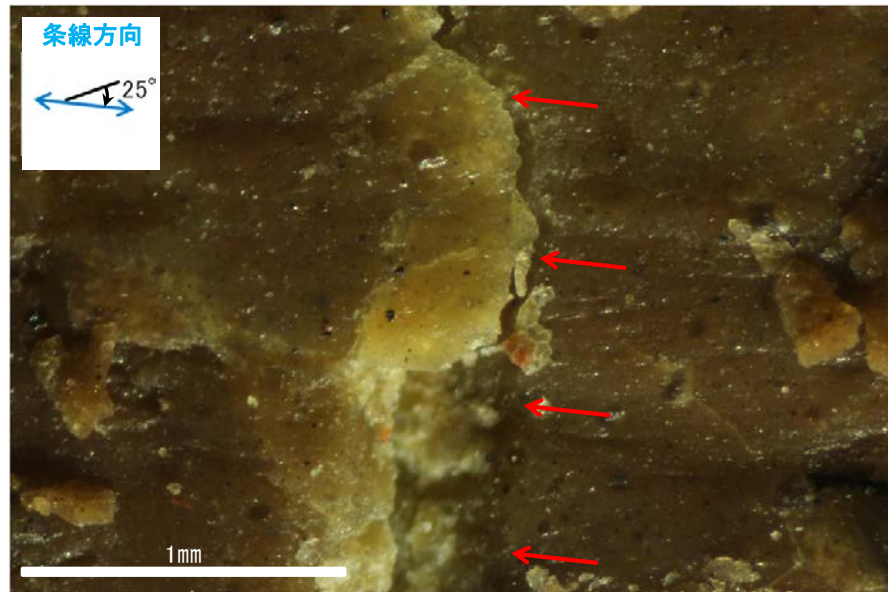
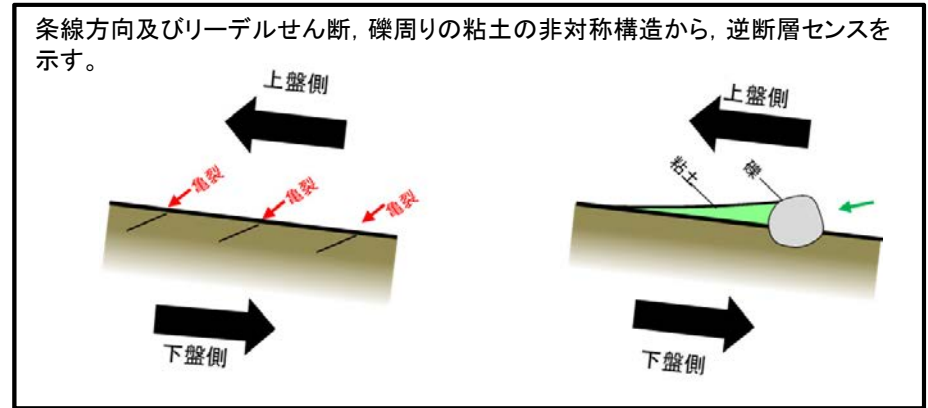
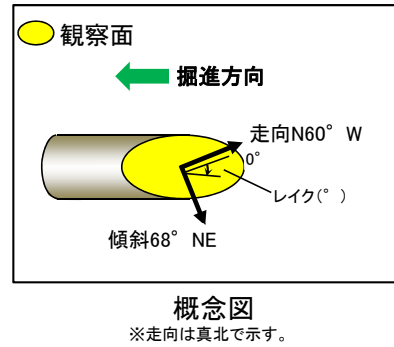


観察面拡大写真

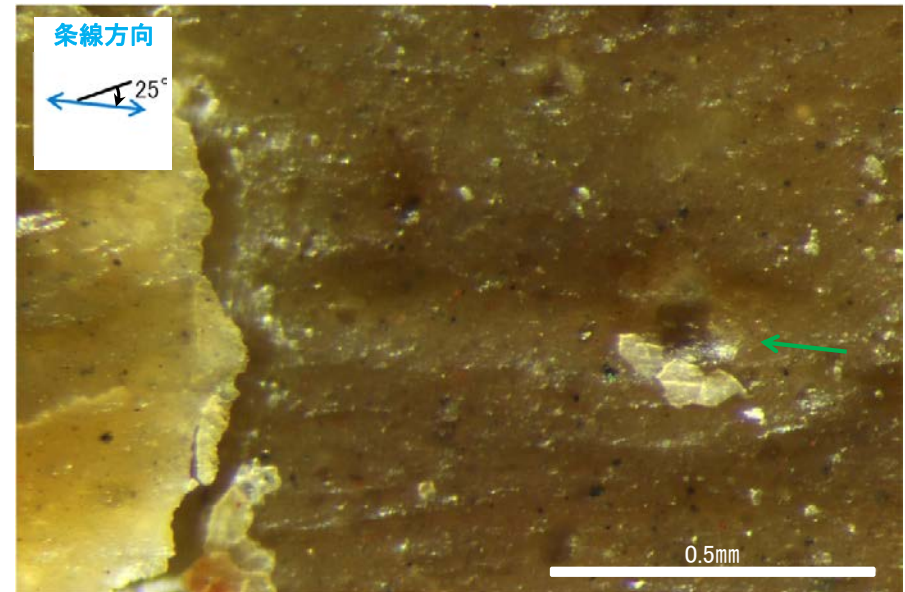


詳細観察写真A

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングT-1[深度3.34m](下盤側)②)



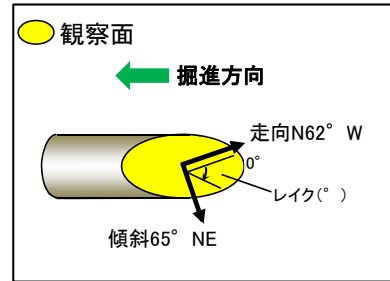
詳細観察写真B



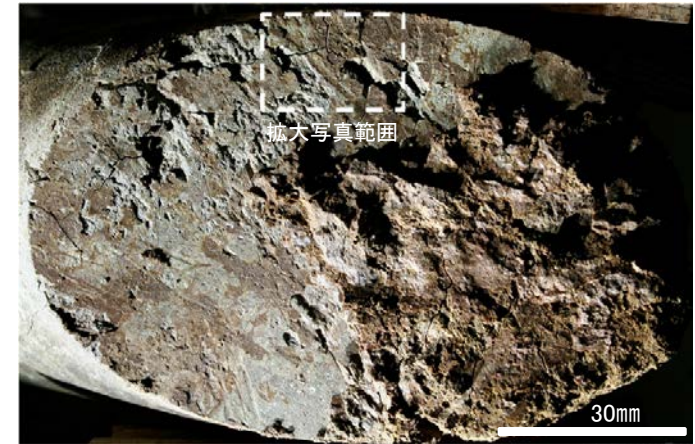
詳細観察写真C

・条線のレイクは25° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングT-2[深度2.85m](下盤側))

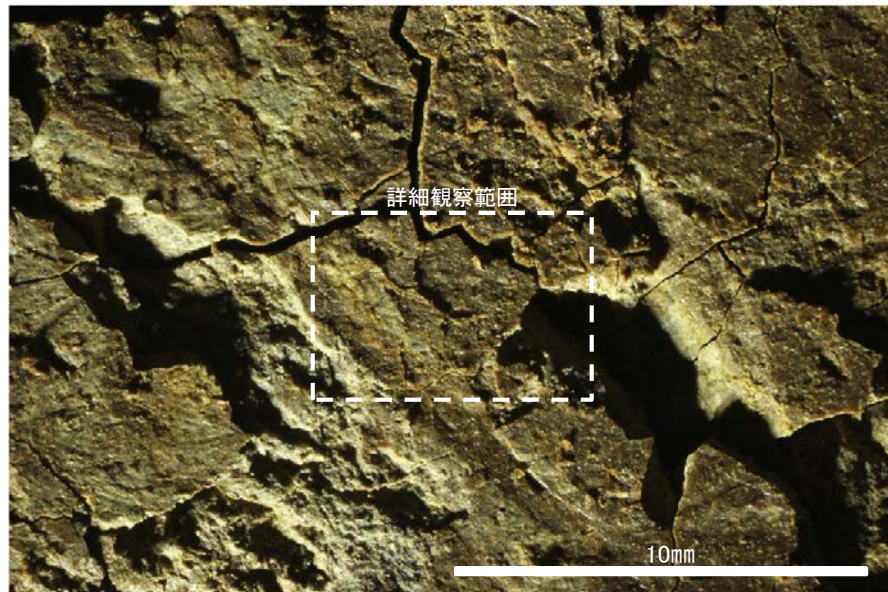


概念図  
※走向は真北で示す。

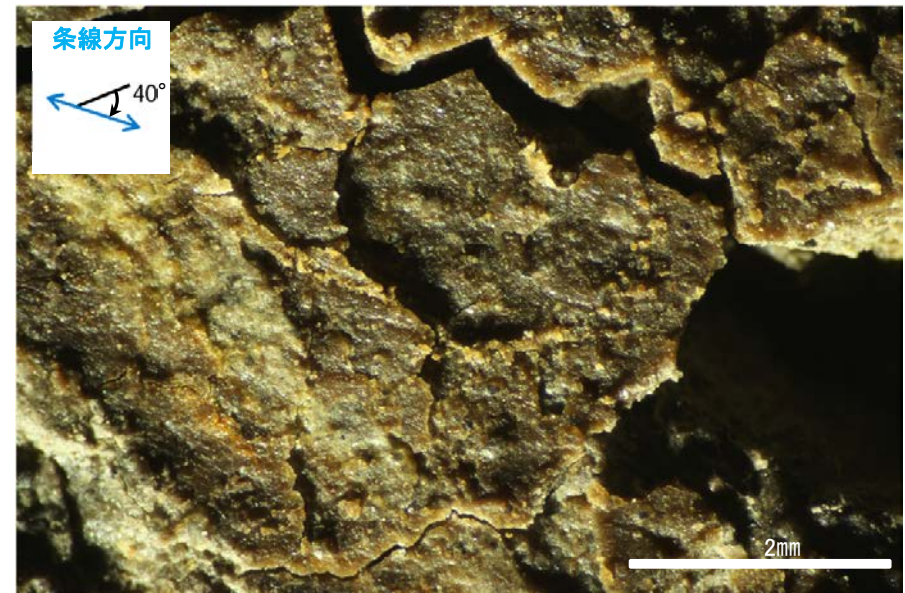


観察面写真

\* 高角度の条線が認められるものの、断続的であることから、人為的にできたものと考えられる。



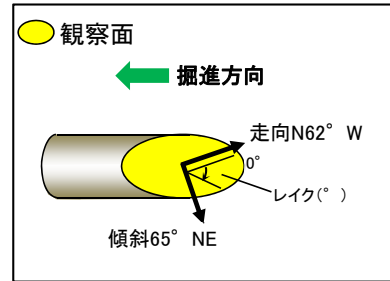
観察面拡大写真



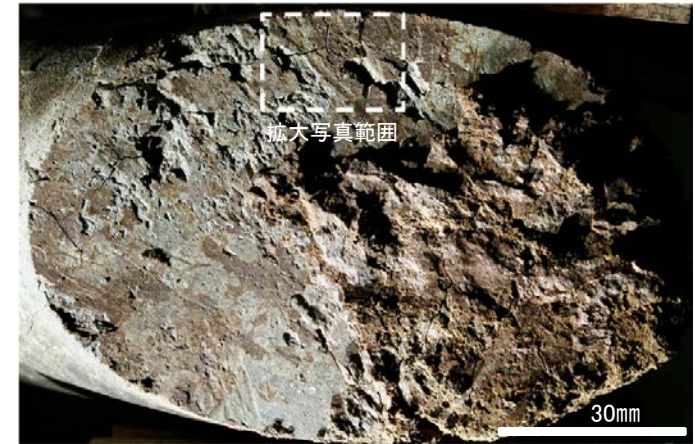
詳細観察写真

・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングT-2[深度2.85m](下盤側))

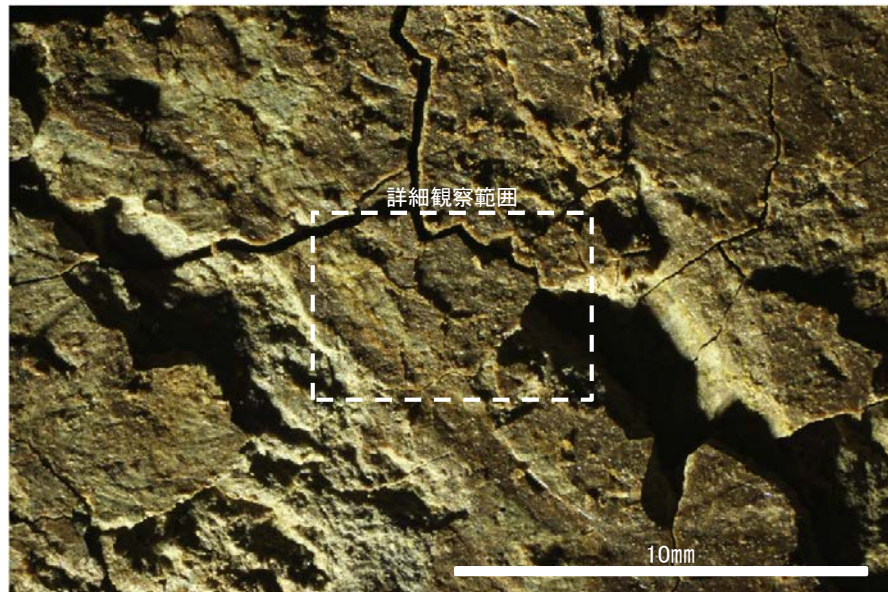


概念図  
※走向は真北で示す。

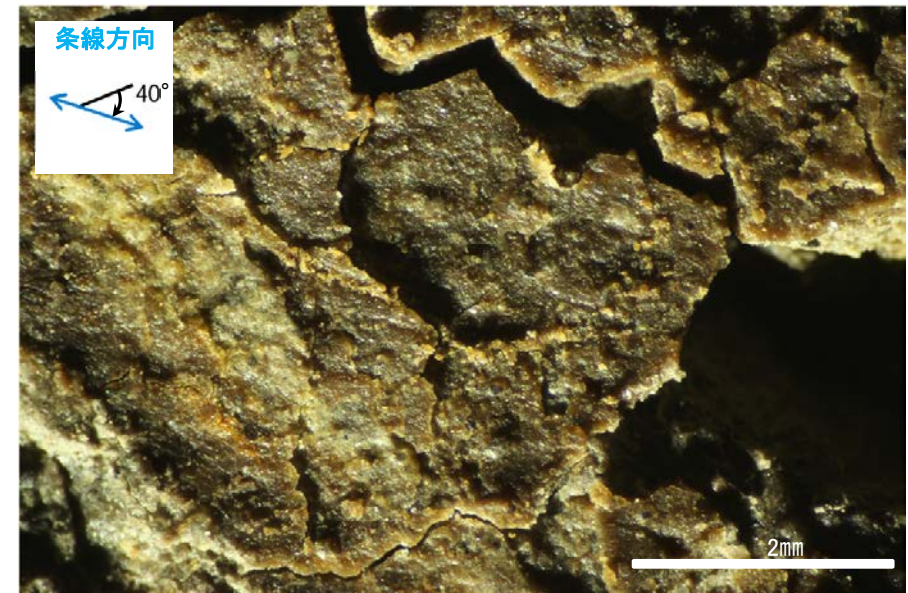


観察面写真

\* 高角度の条線が認められるものの、断続的であることから、人為的にできたものと考えられる。



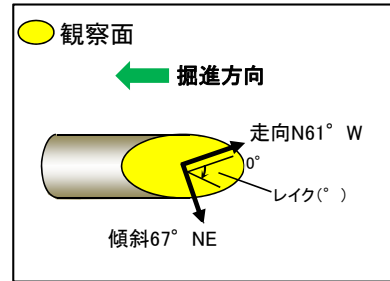
観察面拡大写真



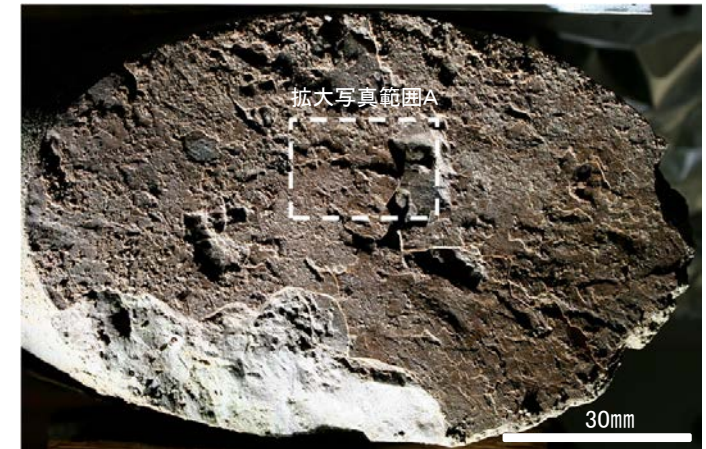
詳細観察写真

・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

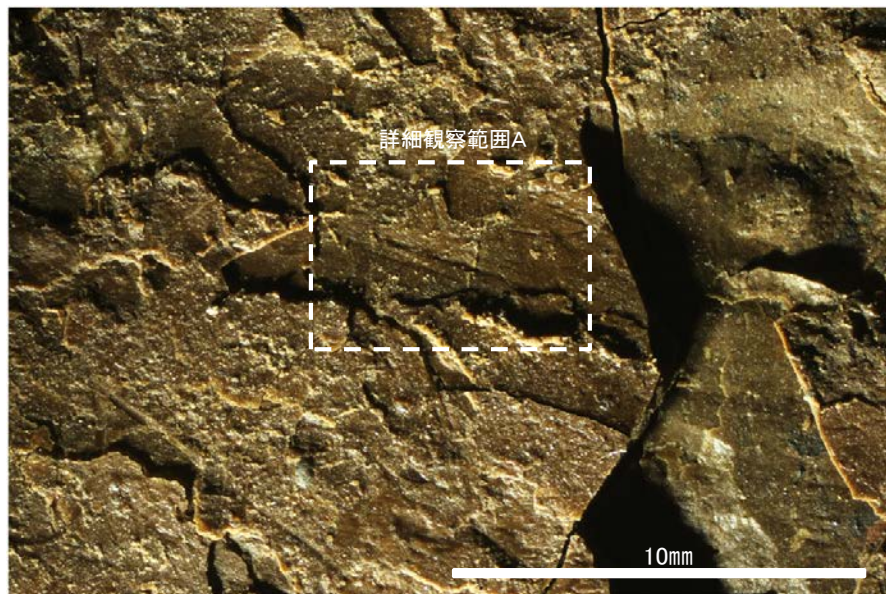
# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングT-3[深度2.55m](下盤側)①)



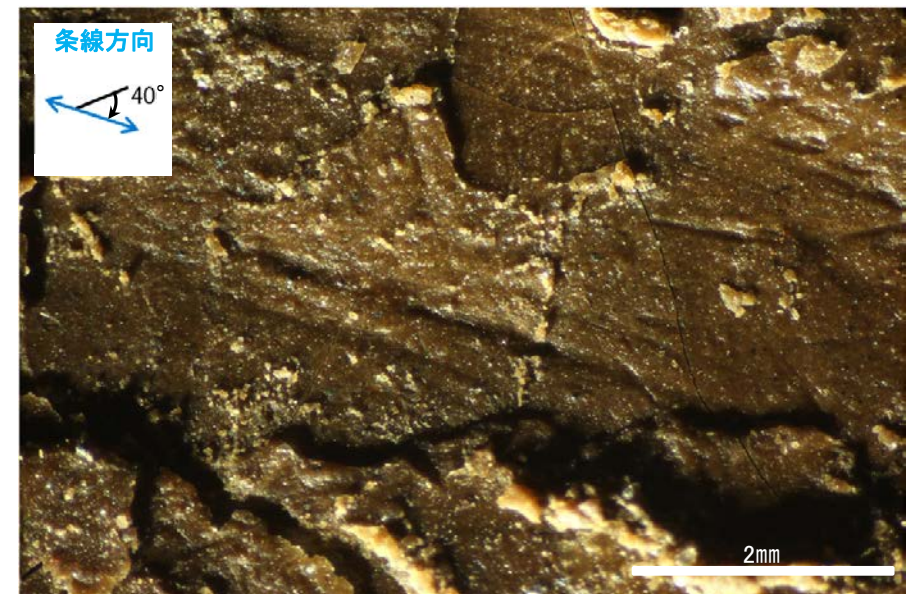
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真A

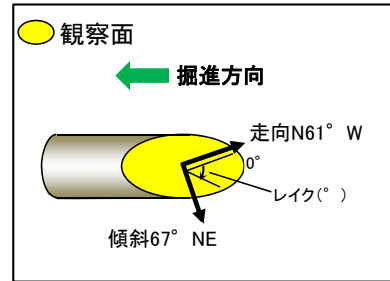


詳細観察写真A

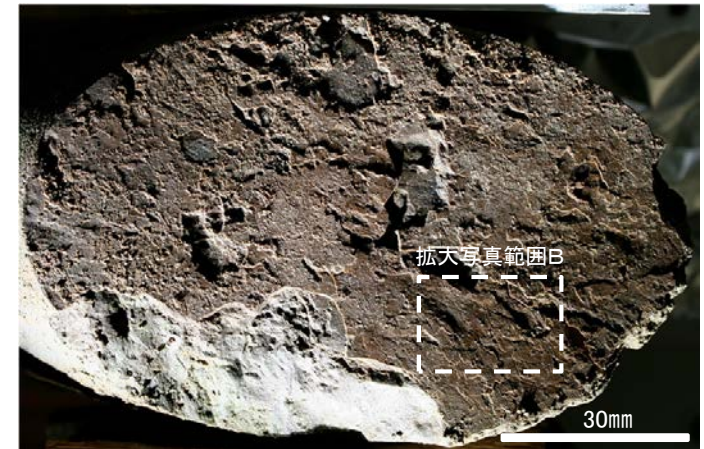
・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明



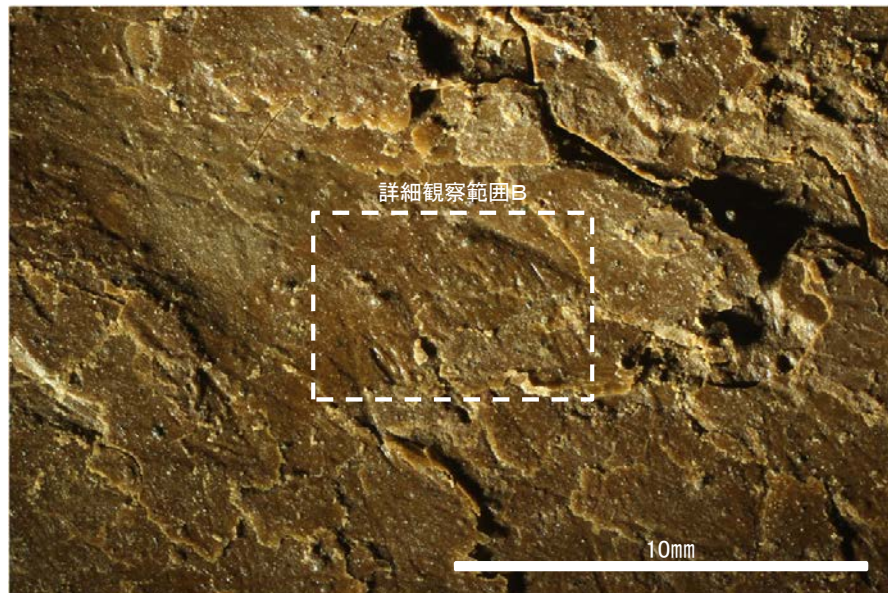
# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングT-3[深度2.55m](下盤側)②)



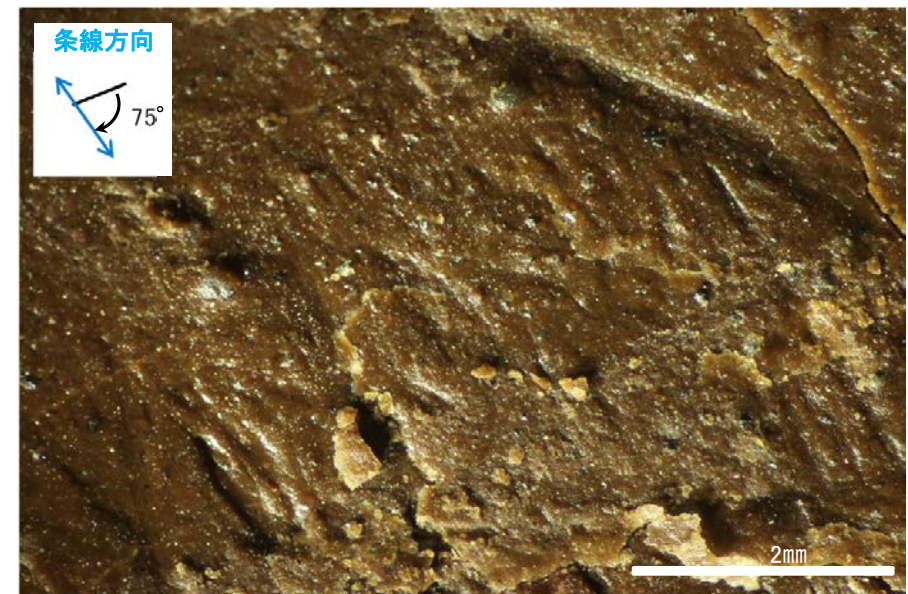
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



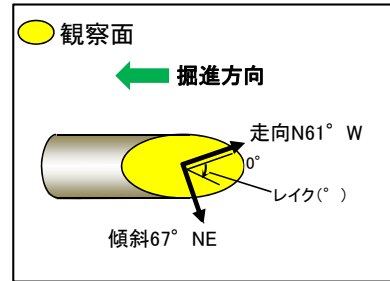
観察面拡大写真B



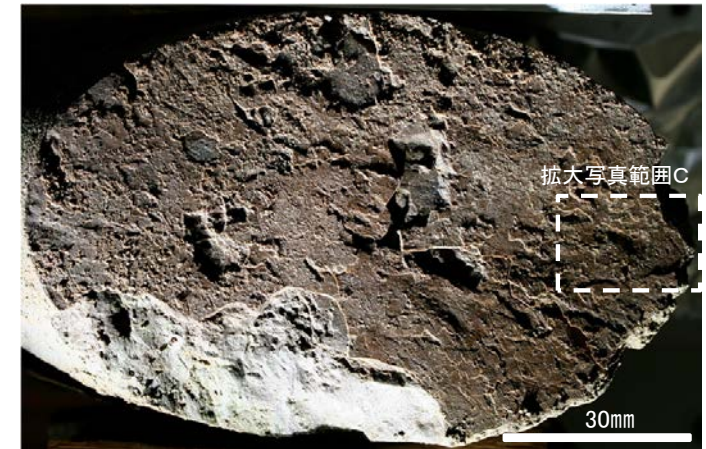
詳細観察写真B

・条線のレイクは75° R, 変位センスは不明

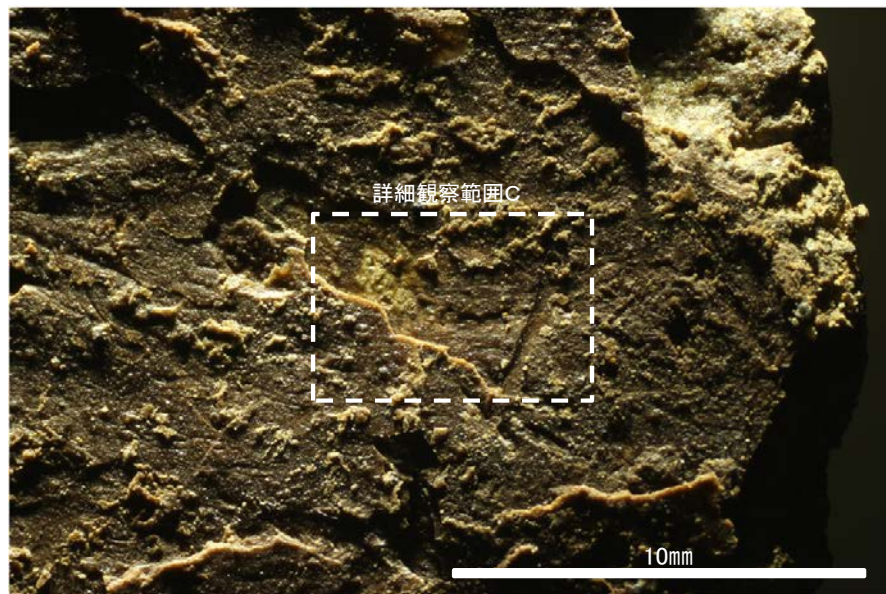
# 条線観察結果(岩盤調査坑 水平ボーリングT-3[深度2.55m](下盤側)③)



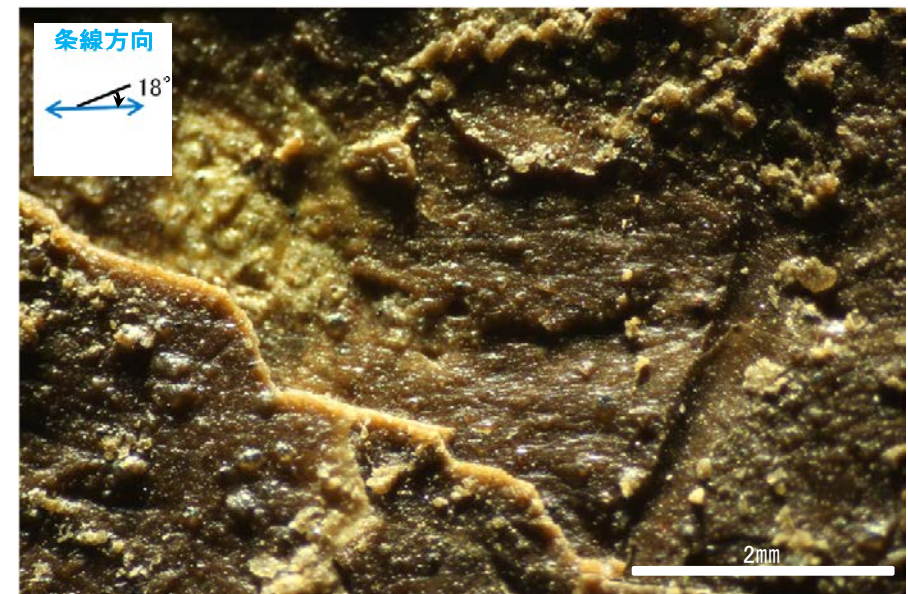
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



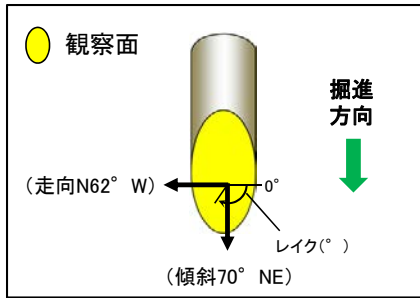
観察面拡大写真C



詳細観察写真C

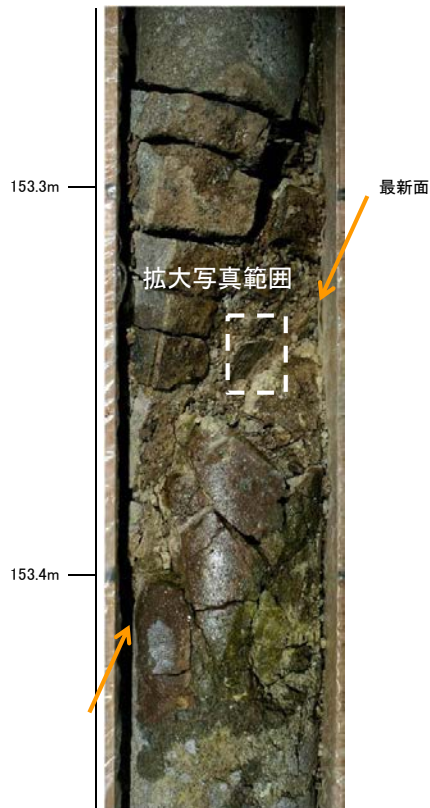
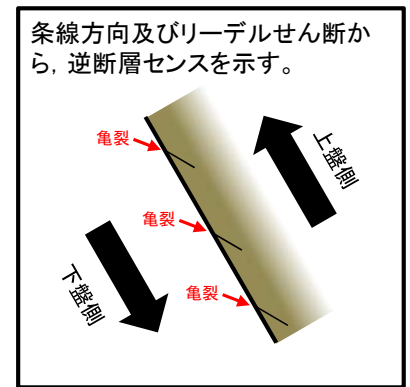
・条線のレイクは18° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(ボーリングR-7[深度153.35m](上盤側))

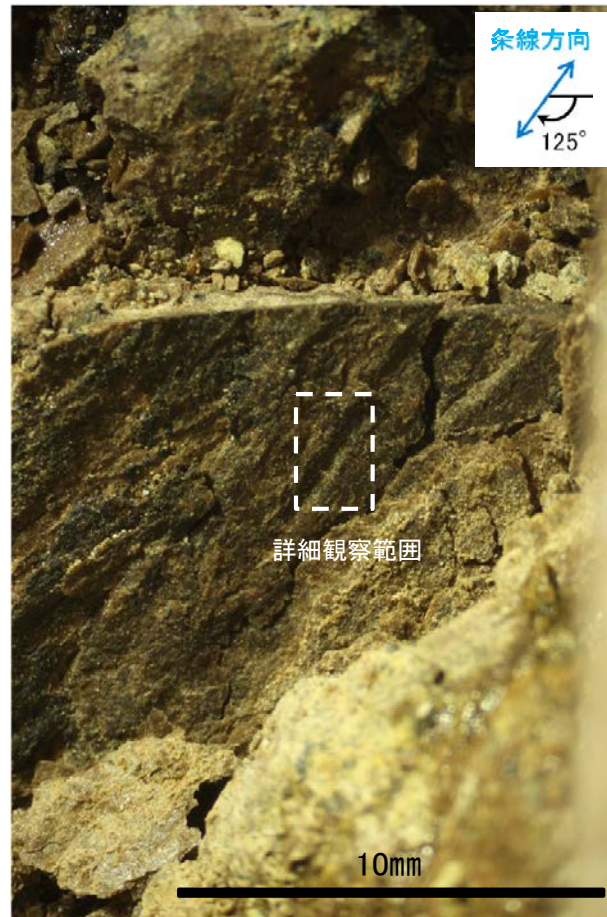


概念図

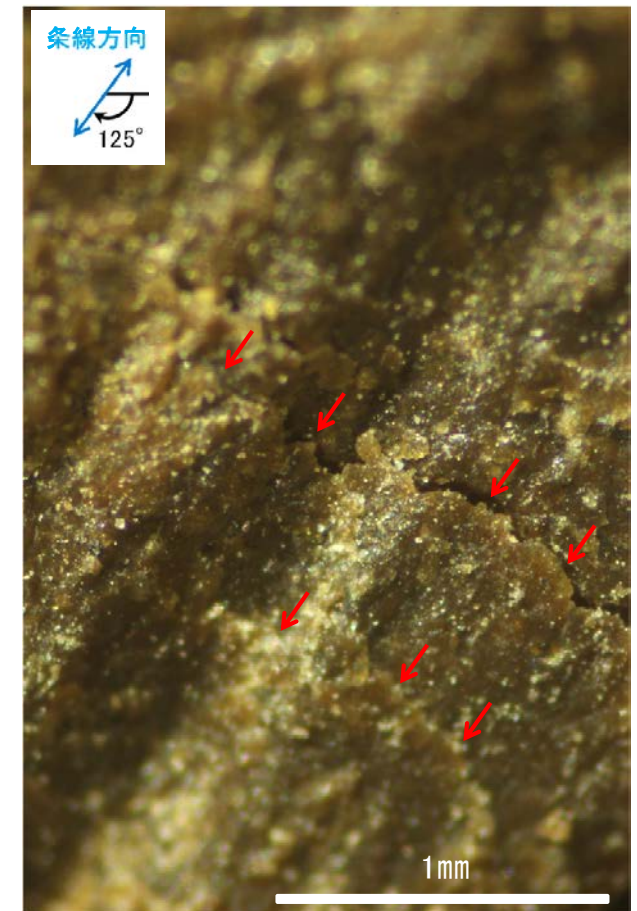
※S-1の走向は基礎掘削底盤の調査結果に基づきN62° Wと仮定した。走向は真北を示す。



コア写真(S-1付近)



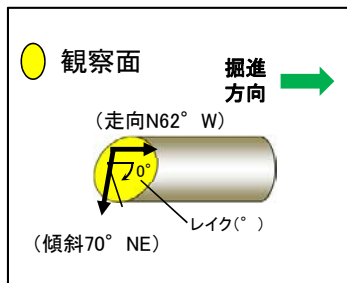
観察面拡大写真



詳細観察写真

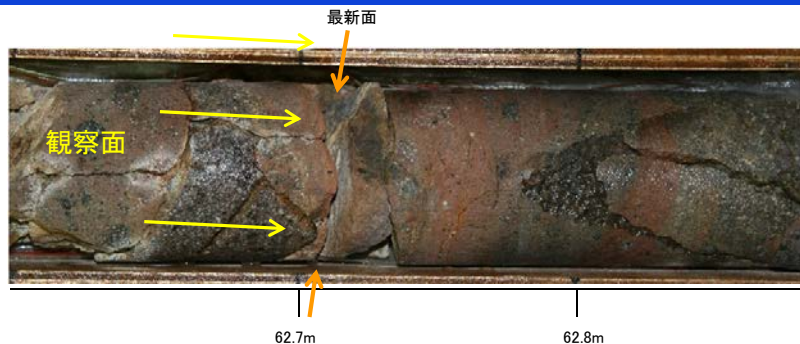
・条線のレイクは55° R(下盤側換算), 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(水平ボーリングSd-2[深度62.71m](下盤側))

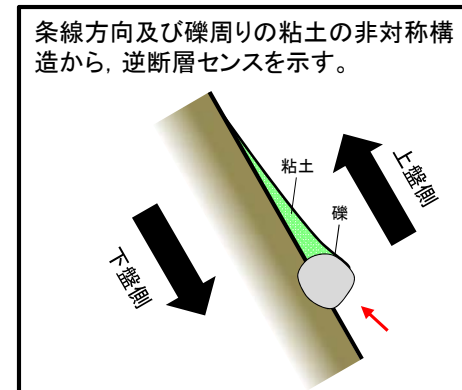


概念図

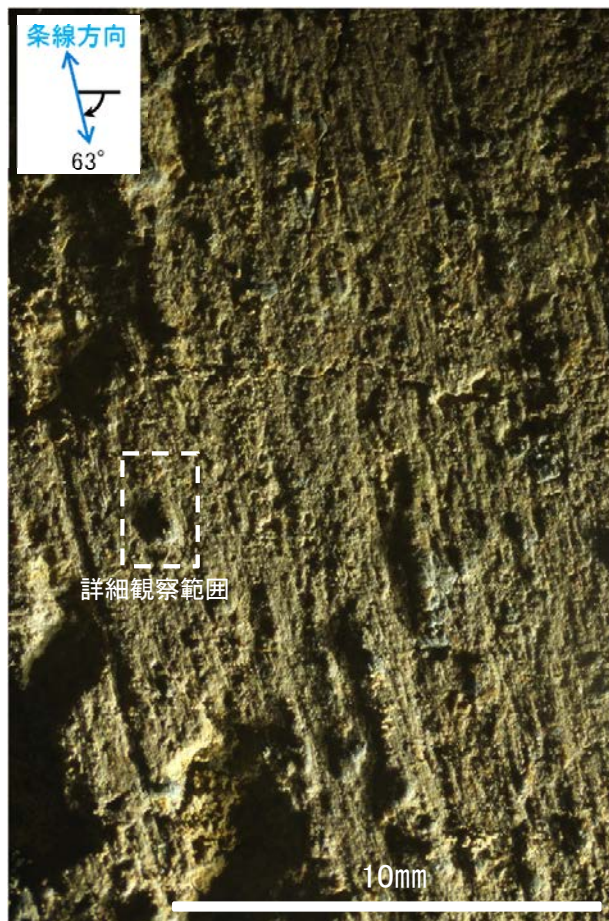
※S-1の走向は基礎掘削底盤の調査結果に基づきN62° Wと仮定した。走向は真北で示す。



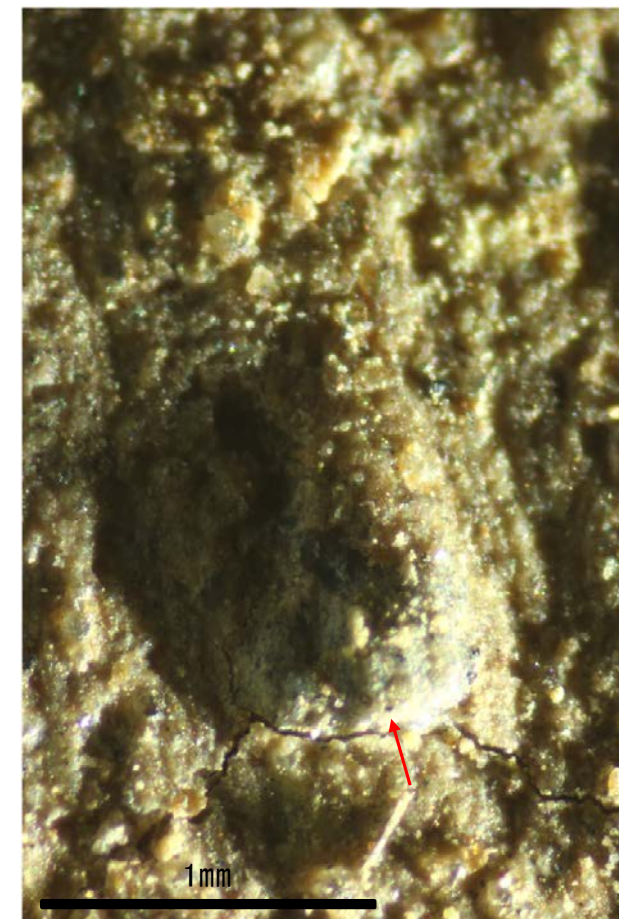
コア写真(S-1付近)



観察面写真



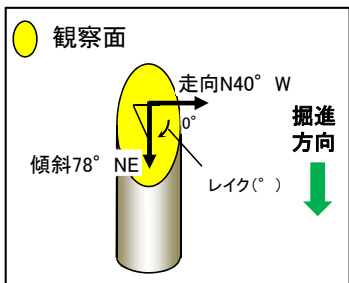
観察面拡大写真



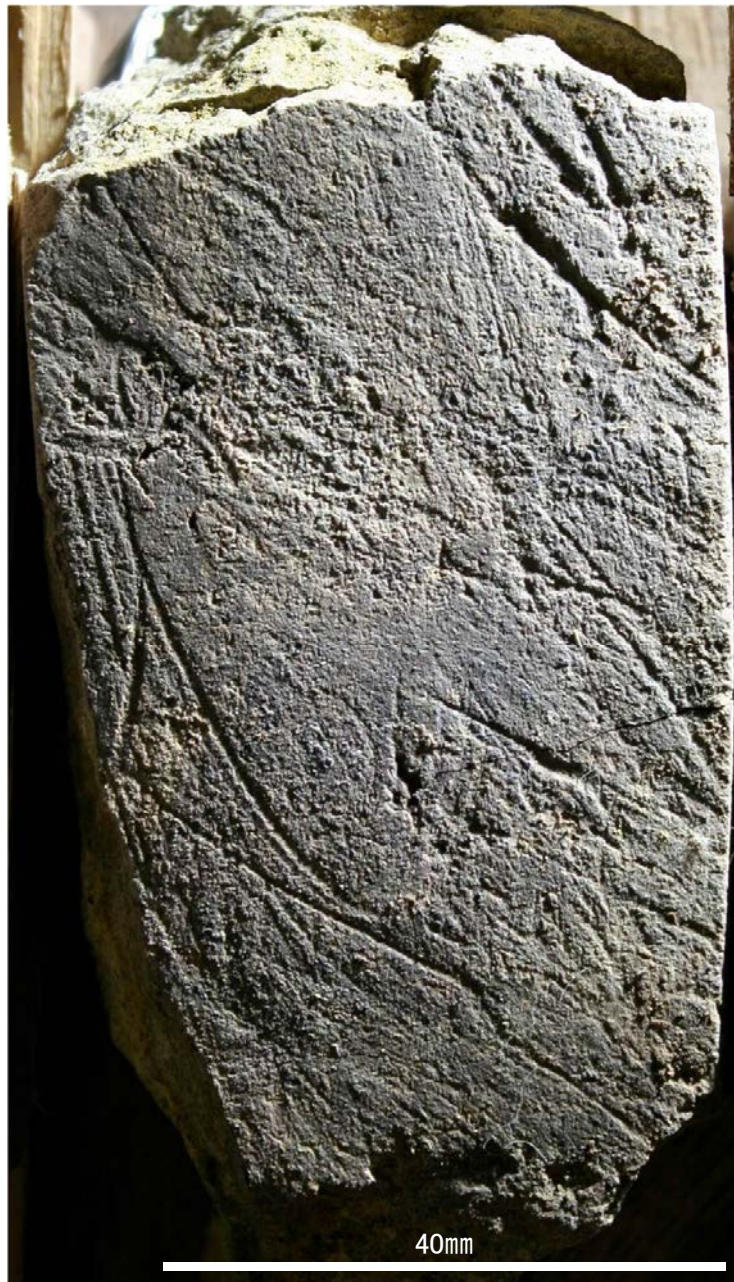
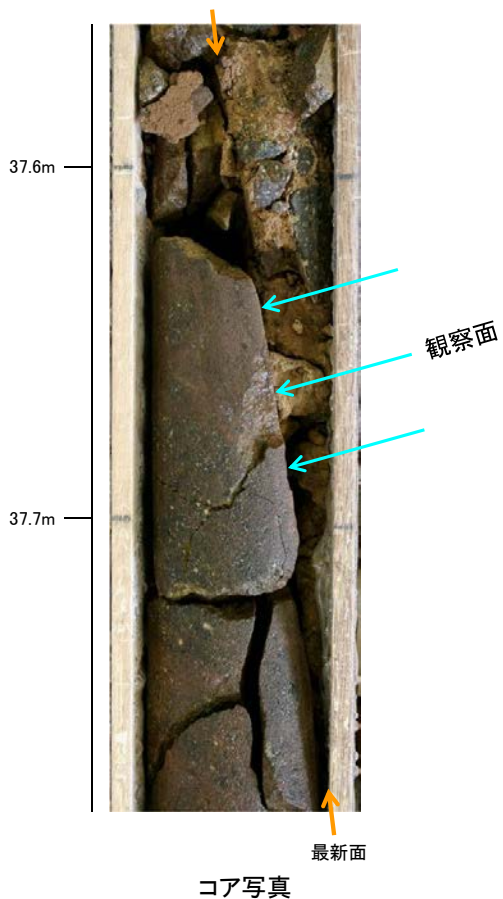
詳細観察写真

・条線のレイクは63° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(ボーリングX-2[深度37.38m](下盤側))



概念図  
※走向は真北で示す。

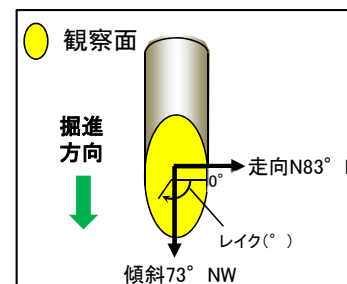


すべりによる条線とした場合: 80° R

すべりによる条線とした場合: 30° R

・人為的な情報(キズ)も含まれているものの、観察面で認められる条線については、左上から右下に向けて刻されている。

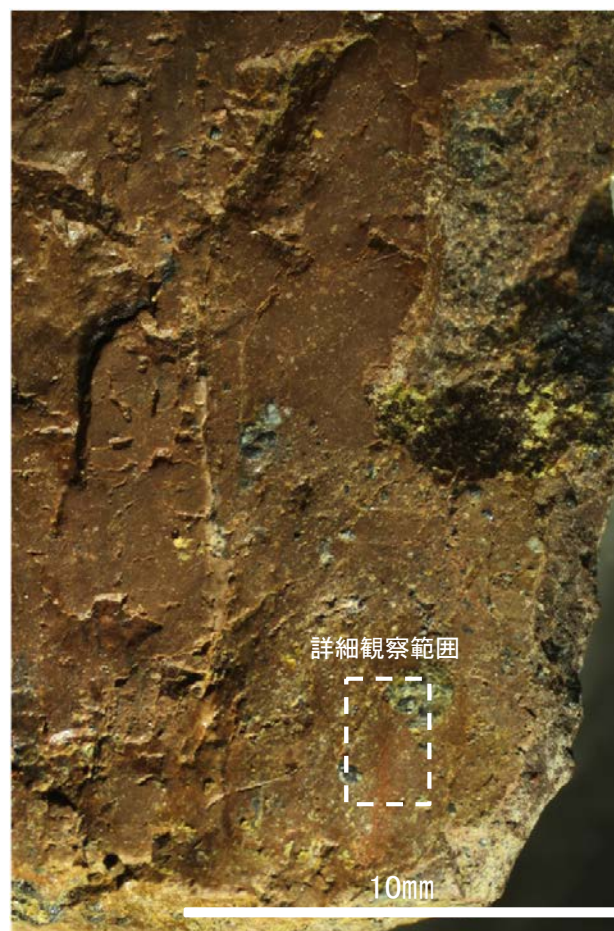
# 条線観察結果(ボーリングJ-9”[深度29.33m](上盤側))



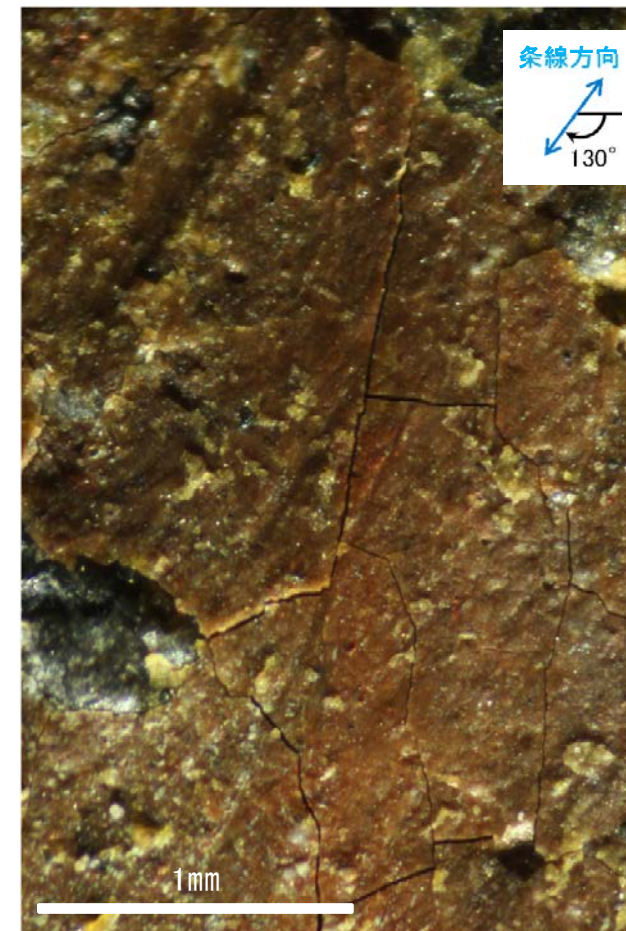
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



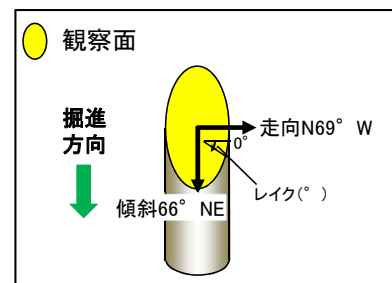
観察面拡大写真



詳細観察写真

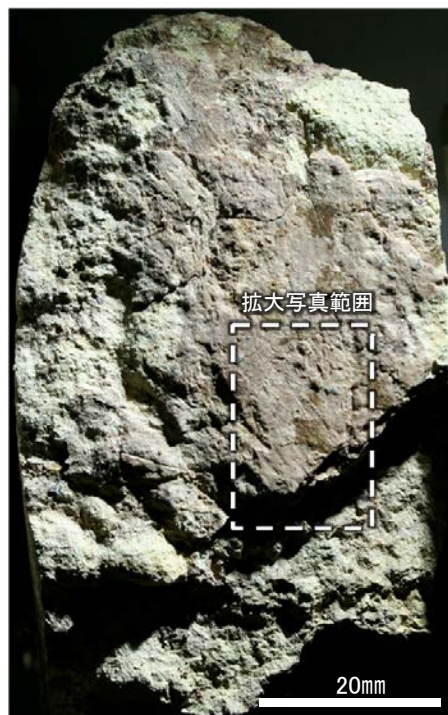
・条線のレイクは50° R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果(ボーリングK-10[深度16.95m](下盤側))

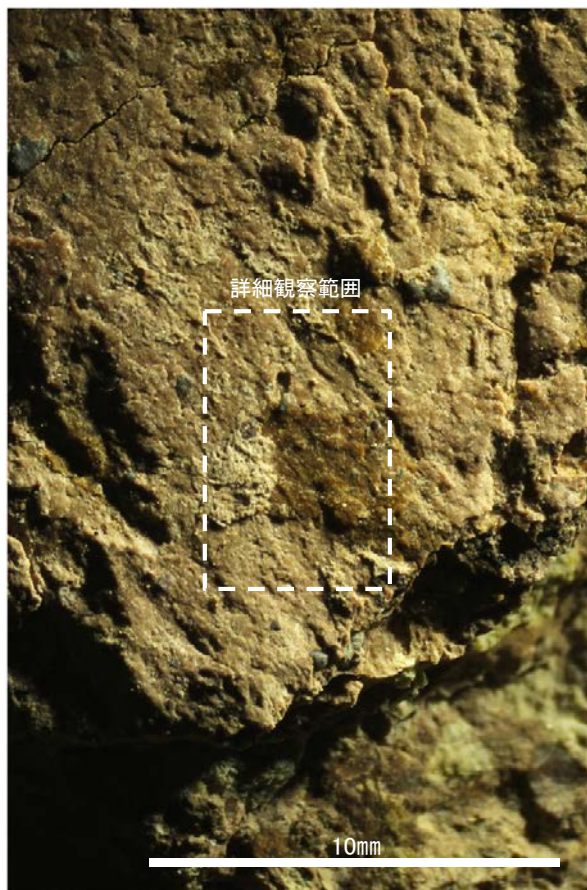


概念図

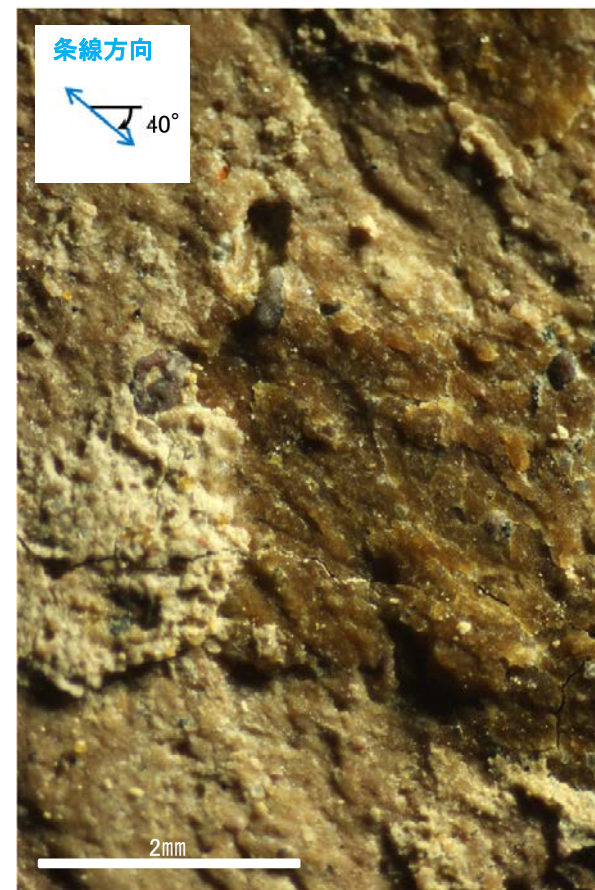
※走向は真北で示す。



観察面写真



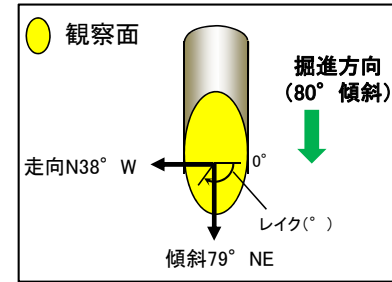
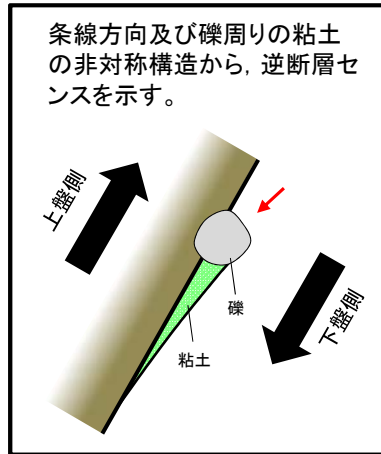
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

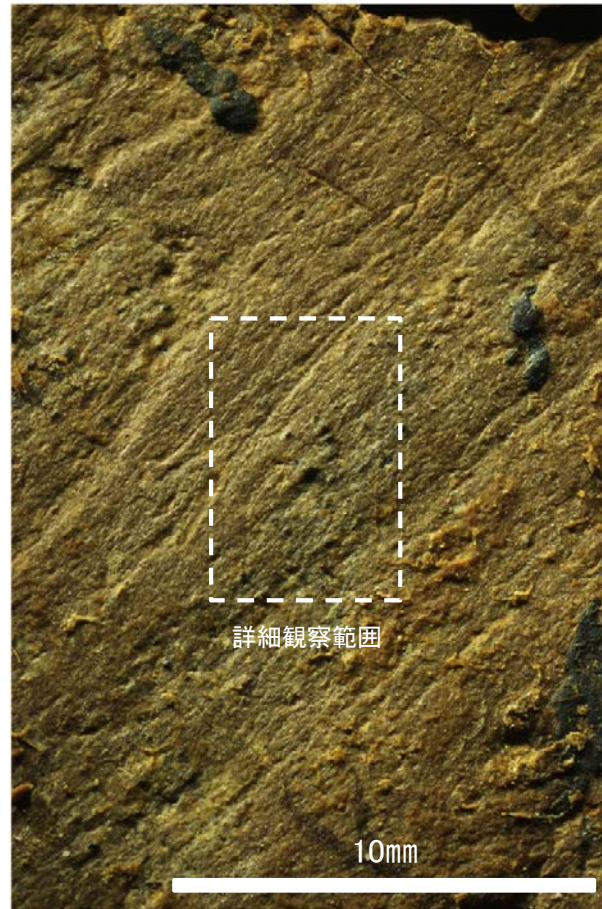
# 条線観察結果(ボーリングL-12.2 [深度41.93m](上盤側))



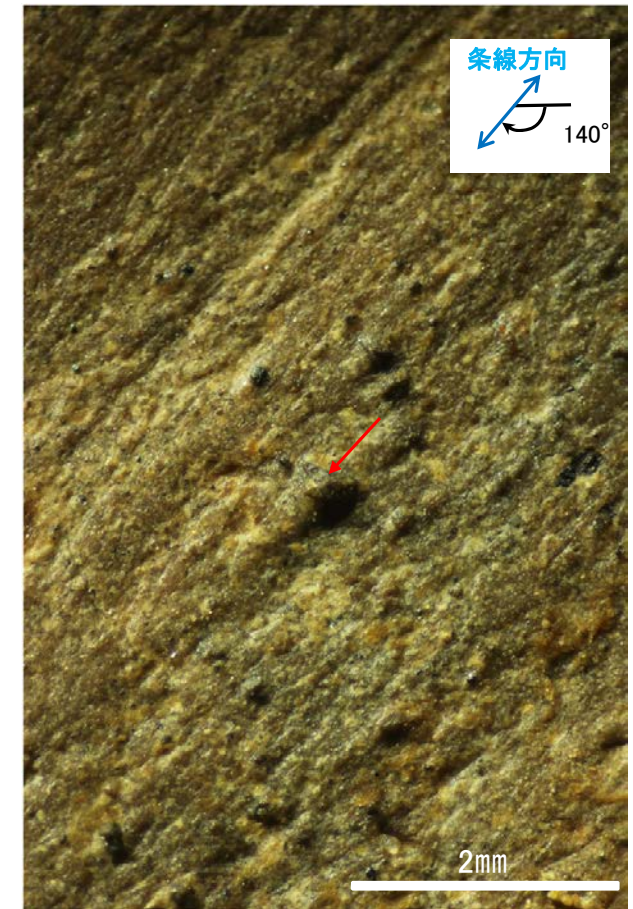
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

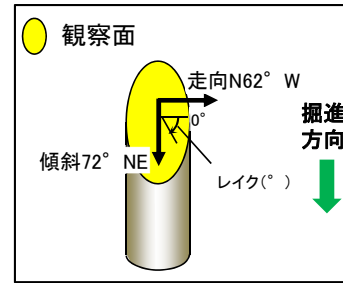


詳細観察写真

・条線のレイクは40° R(下盤側換算), 変位センスは右横ずれ逆断層センス



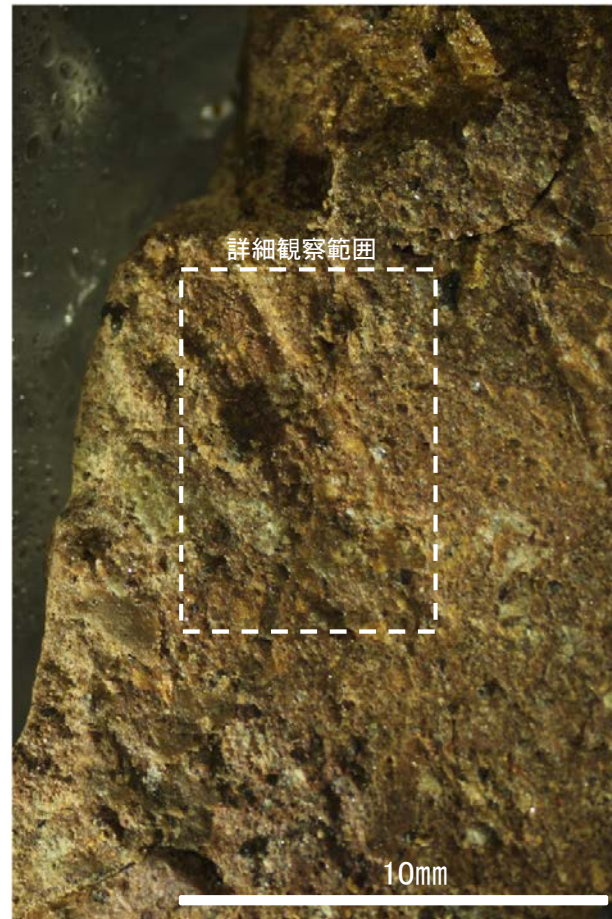
# 条線観察結果(ボーリングM-12.5[深度63.43m](下盤側)①)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



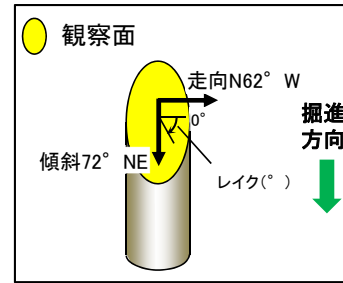
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは60° R, 変位センスは不明

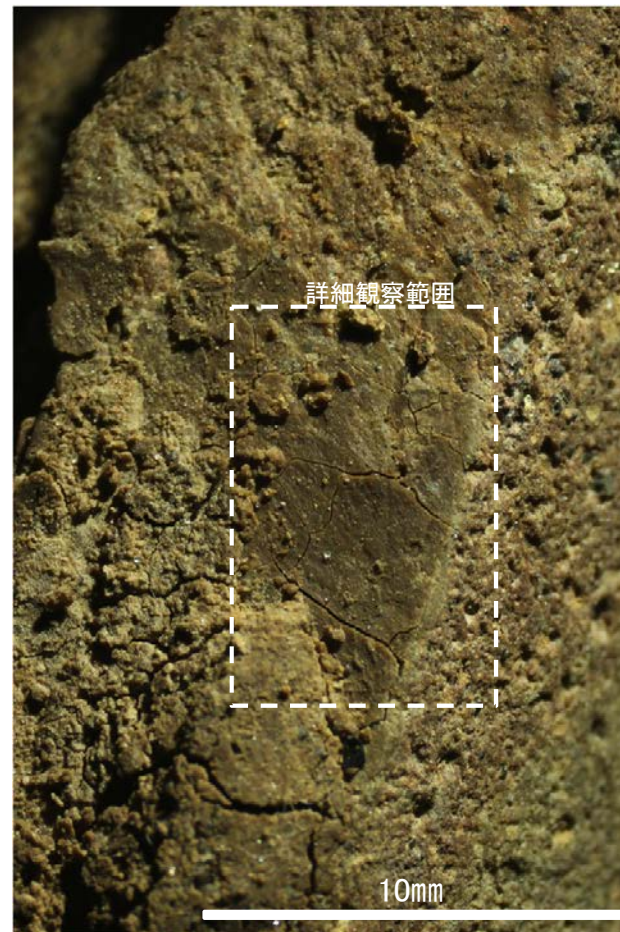
# 条線観察結果(ボーリングM-12.5[深度63.43m](下盤側)②)



概念図  
 ※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

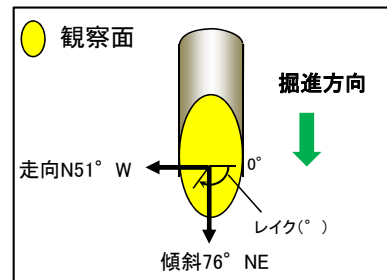
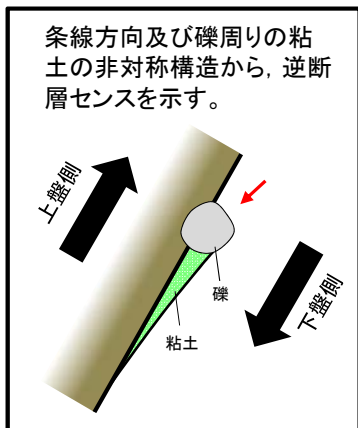


詳細観察写真

※高角度の条線は認められるものの、複数認められないため、人為的にできたものと考えられる。

・条線のレイクは45° R, 変位センスは不明

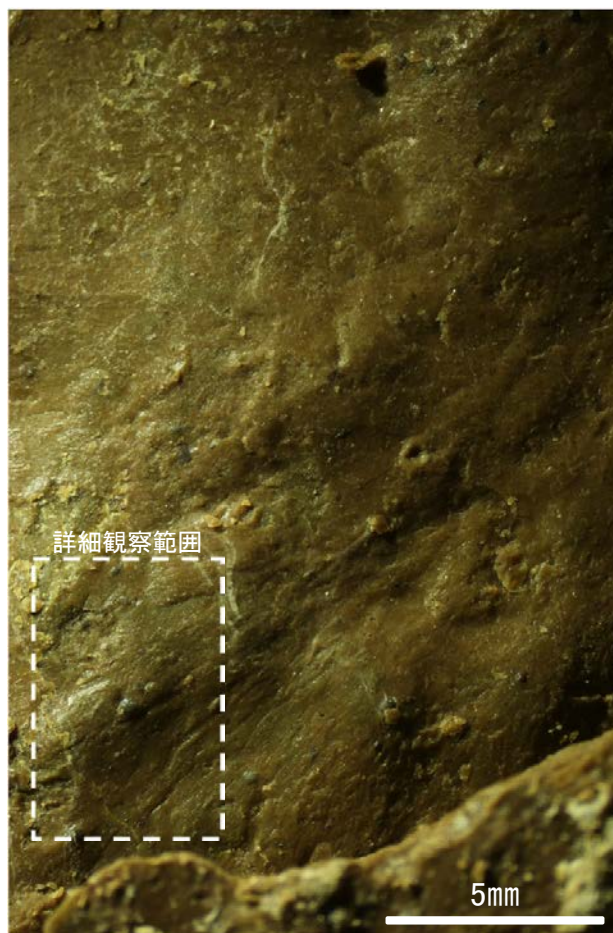
# 条線観察結果(ボーリングM-12.5' [深度51.65m](上盤側))



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



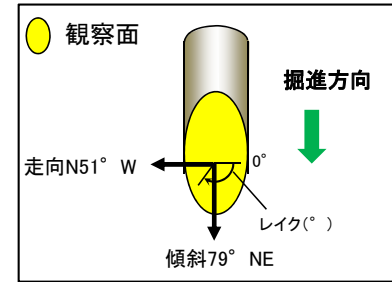
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは40° R(下盤側換算), 変位センスは右横ずれ逆断層センス

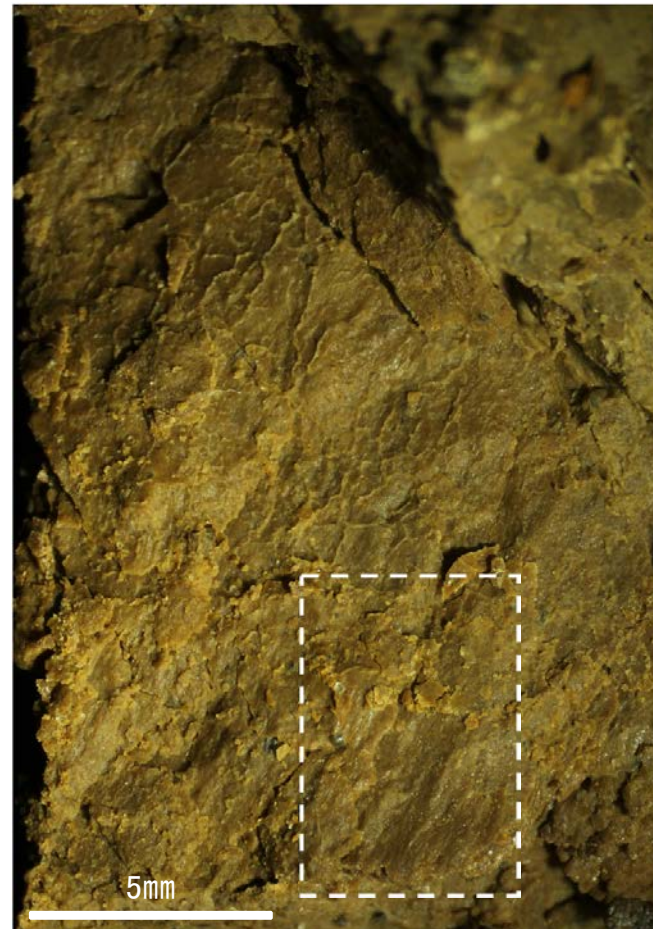
# 条線観察結果(ボーリングM-12.5'' [深度50.00m](上盤側))



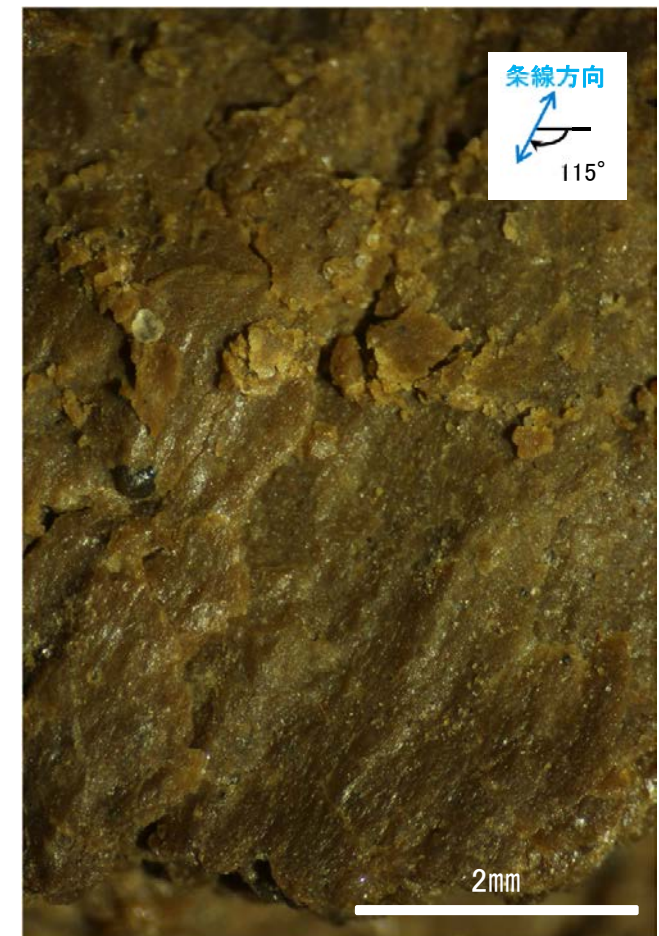
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



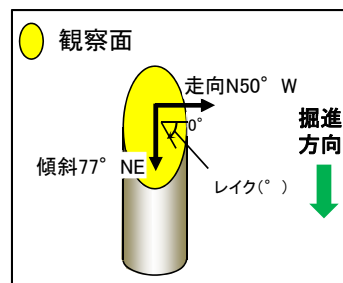
観察面拡大写真



詳細観察写真

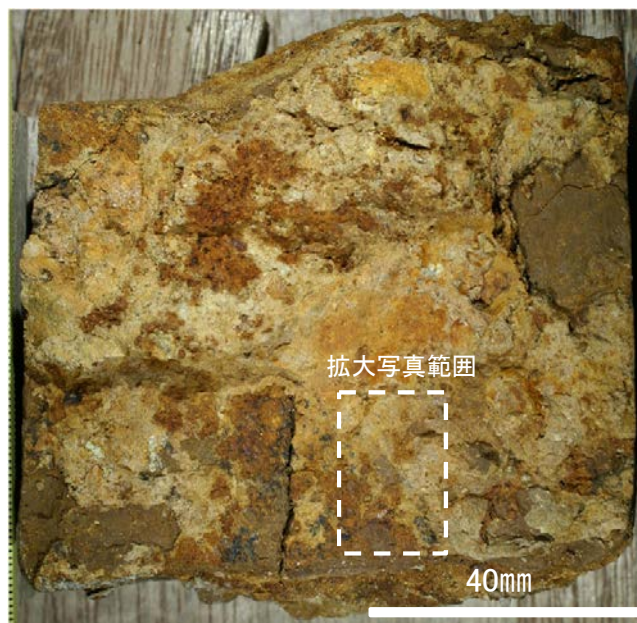
・条線のレイクは65° R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果(駐車場底盤ボーリングNo.1(下盤側))

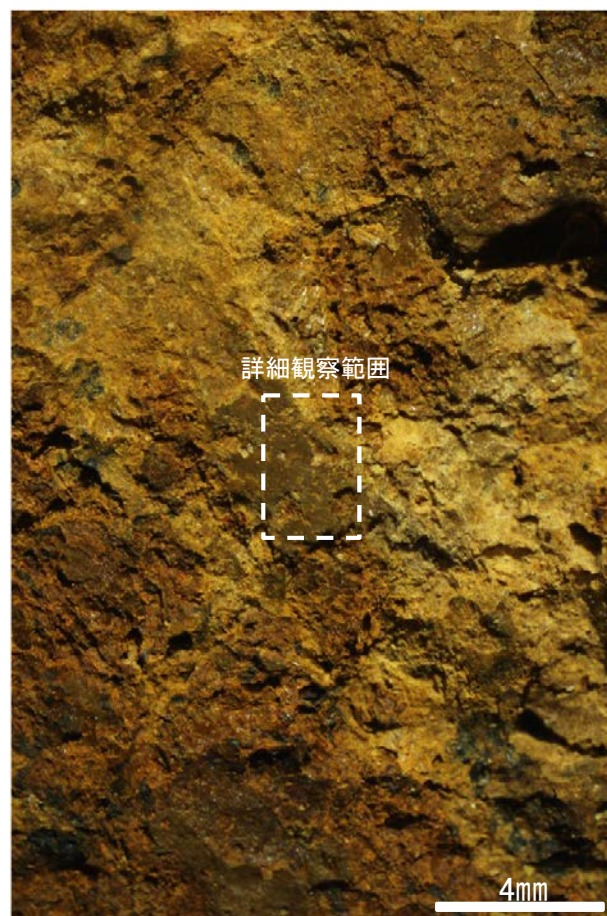


概念図

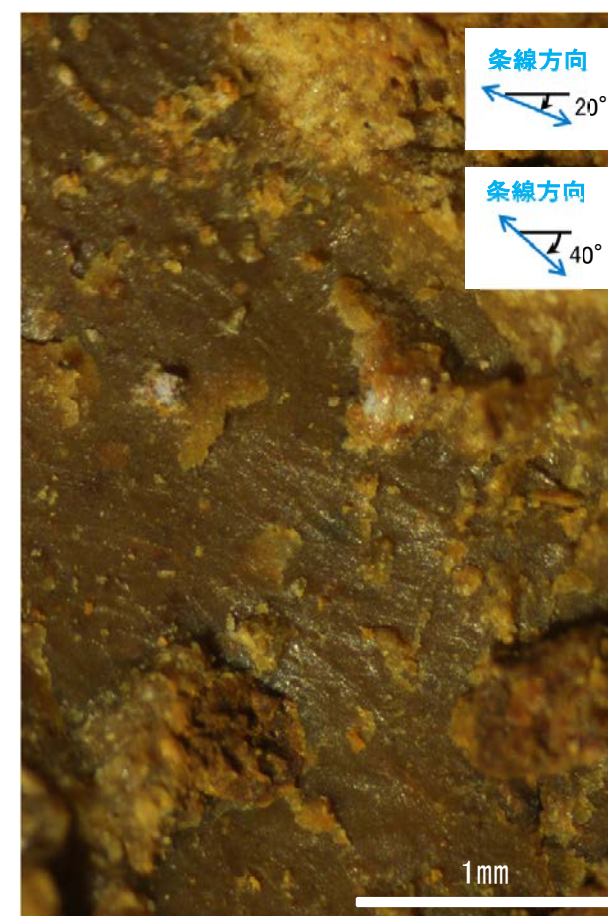
※走向は真北で示す。



観察面写真



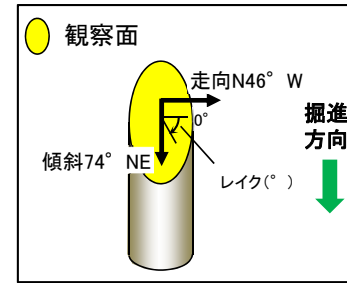
観察面拡大写真



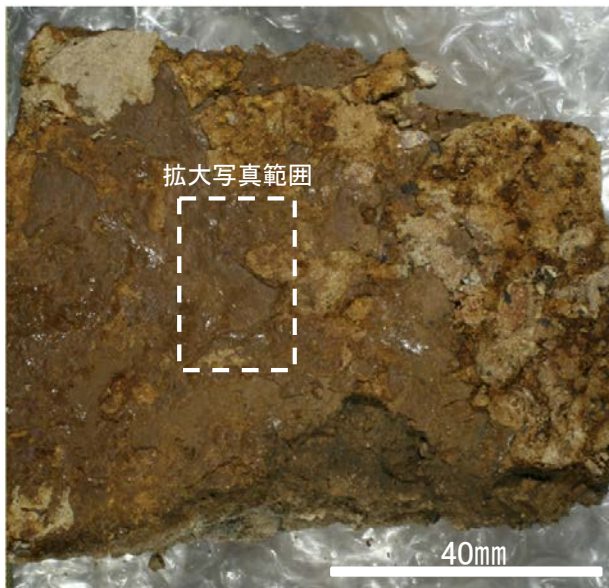
詳細観察写真

・条線のレイクは20° R及び40° R, それぞれ変位センスは不明

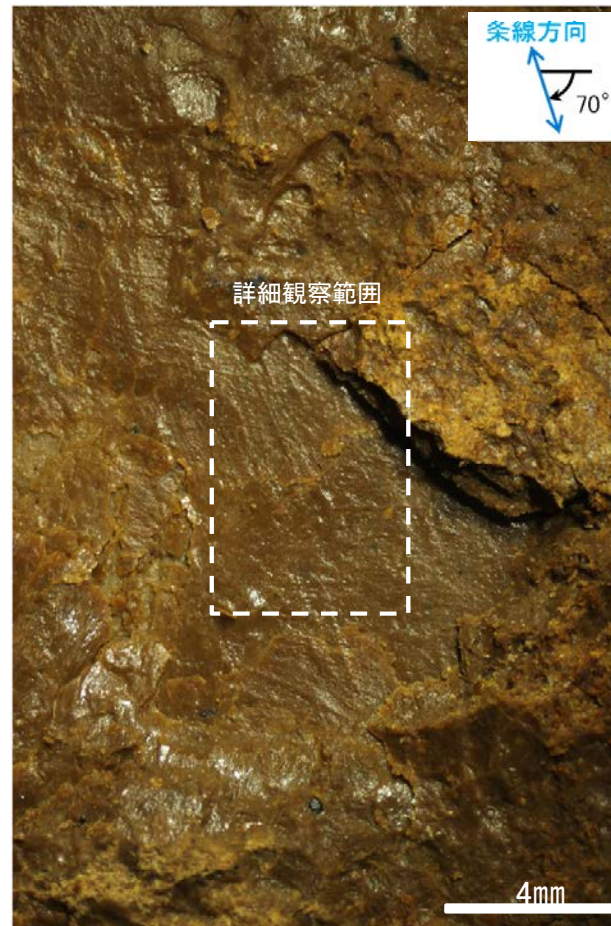
# 条線観察結果(駐車場底盤ボーリングNo.2(下盤側))



概念図  
※走向は真北で示す。

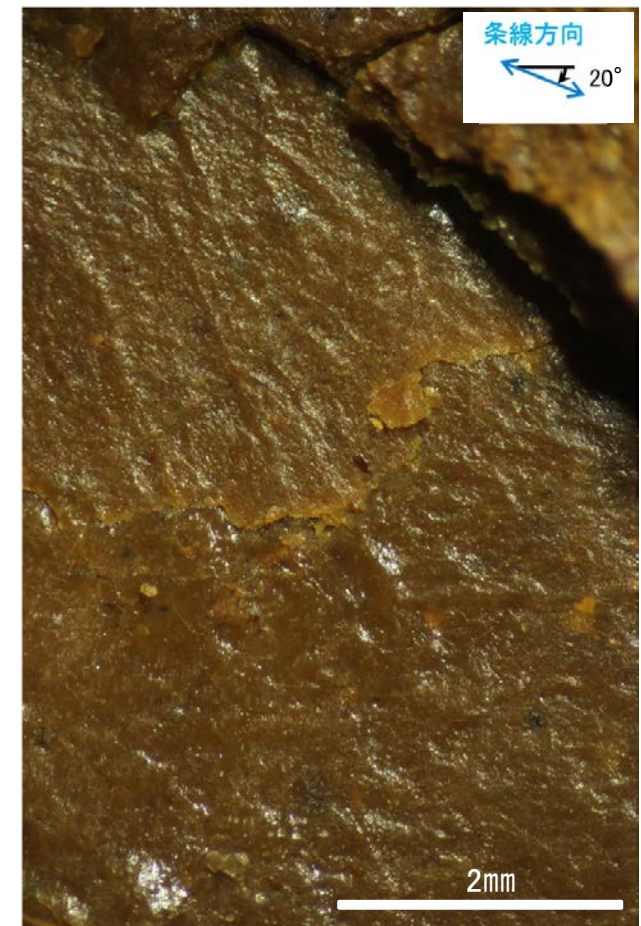


観察面写真



観察面拡大写真

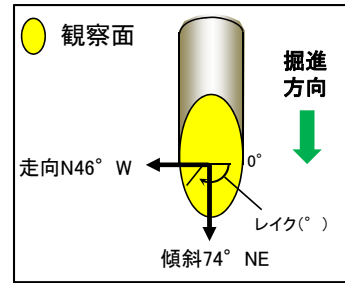
・条線のレイクは70° R, 変位センスは不明



詳細観察写真

・条線のレイクは20° R, 変位センスは不明

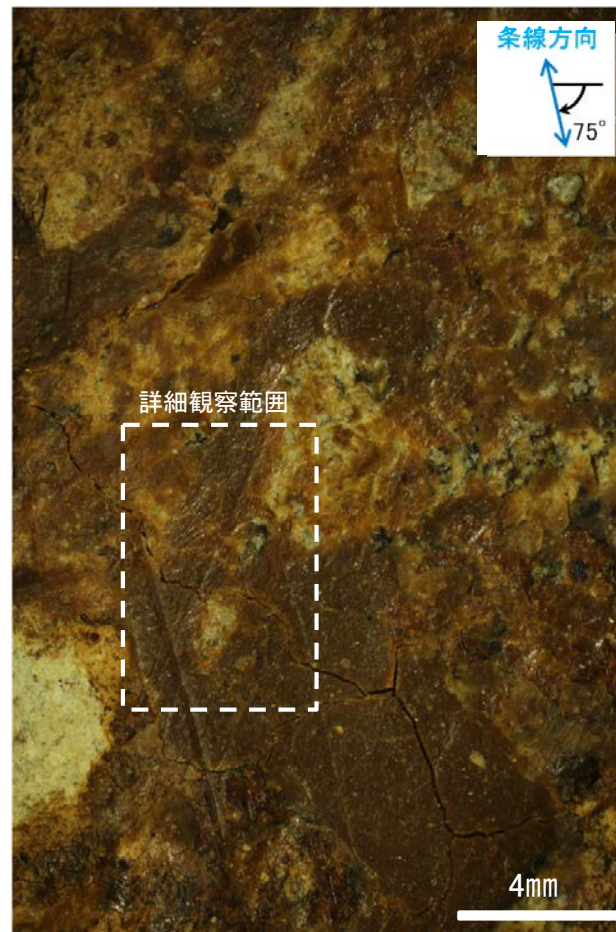
# 条線観察結果(駐車場底盤ボーリングNo.2(上盤側))



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

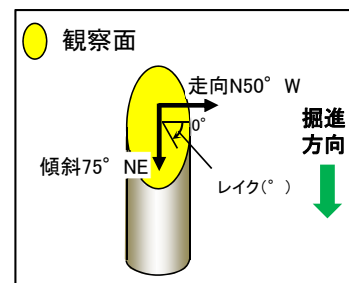
・条線のレイクは105° R(下盤側換算), 変位センスは不明



詳細観察写真

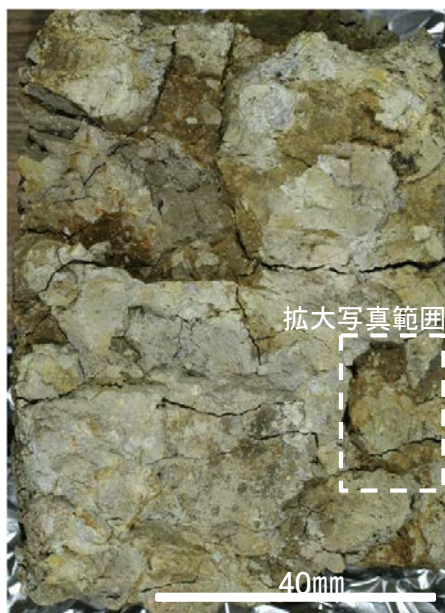
・条線のレイクは70° R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果(ボーリングN-13[深度11.10m](下盤側))

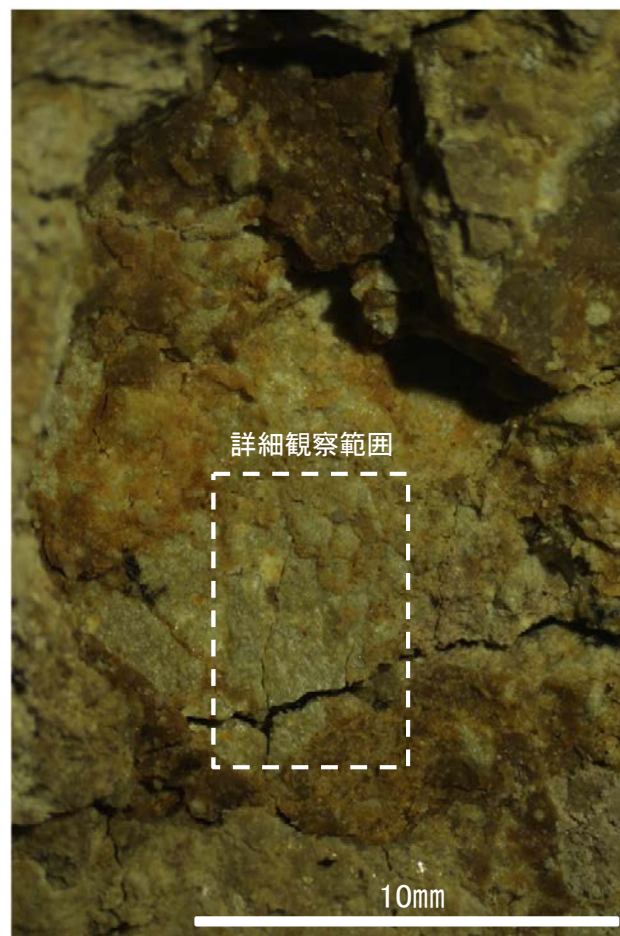


概念図

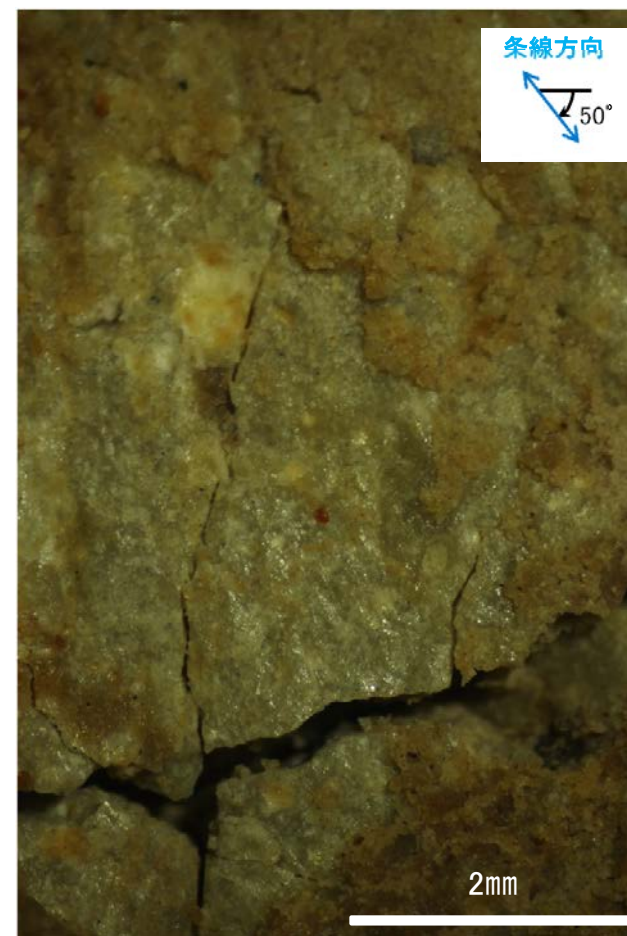
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

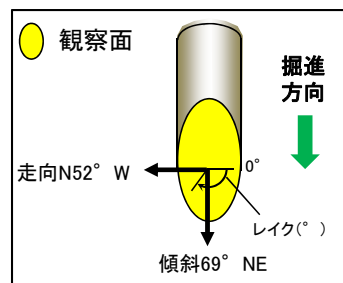


詳細観察写真

・条線のレイクは50° R, 変位センスは不明



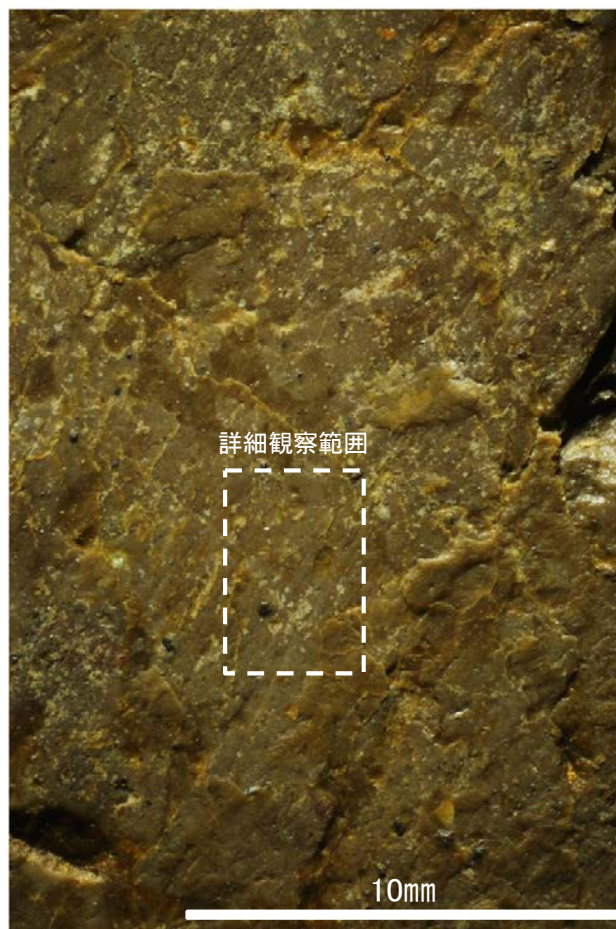
# 条線観察結果(ボーリングN-13' [深度23.39m](上盤側))



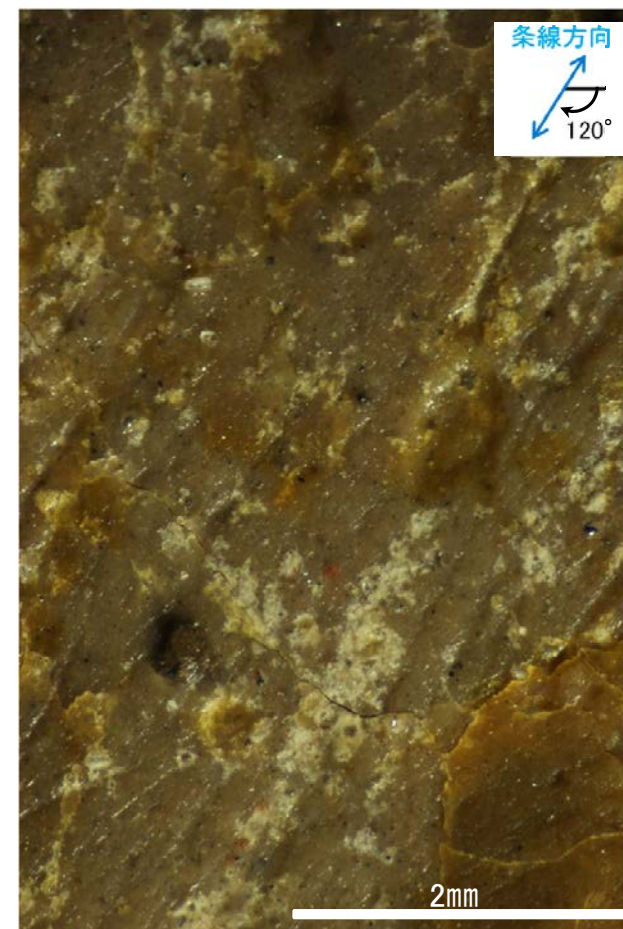
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



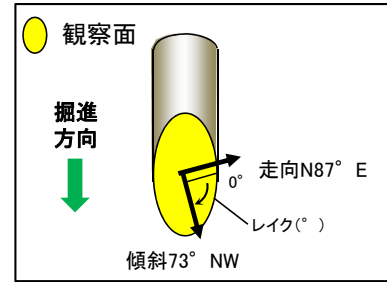
観察面拡大写真



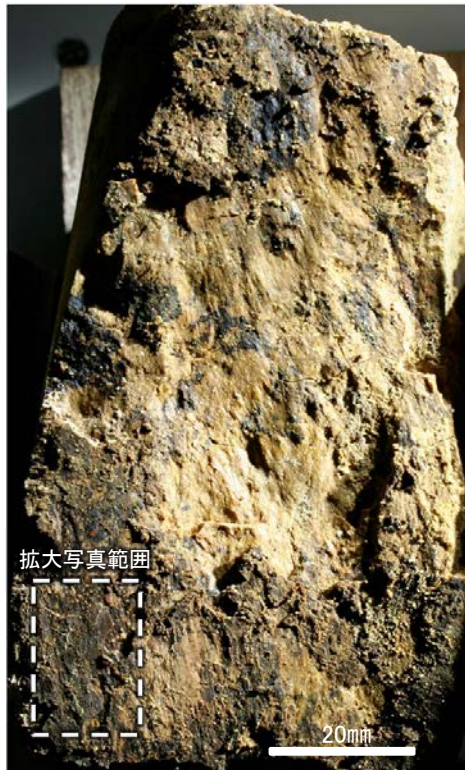
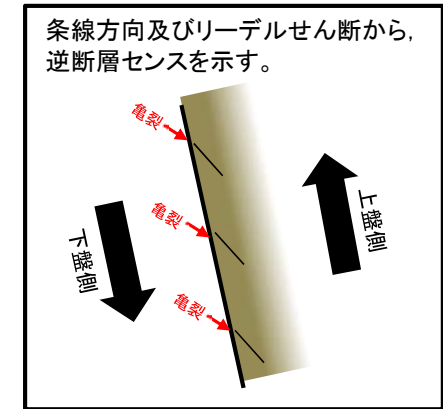
詳細観察写真

・条線のレイクは60° R(下盤側換算), 変位センスは不明

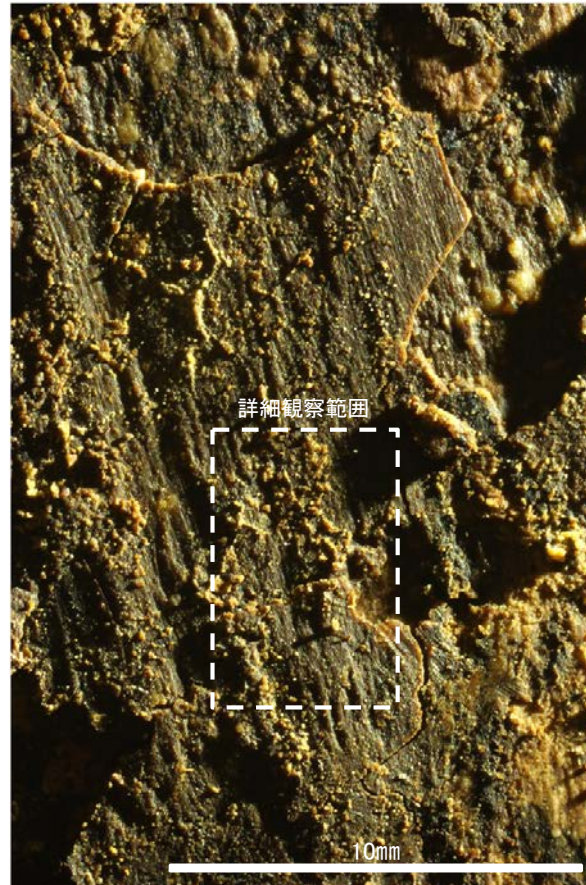
# 条線観察結果(ボーリングN-13.5'[深度10.90m](上盤側))



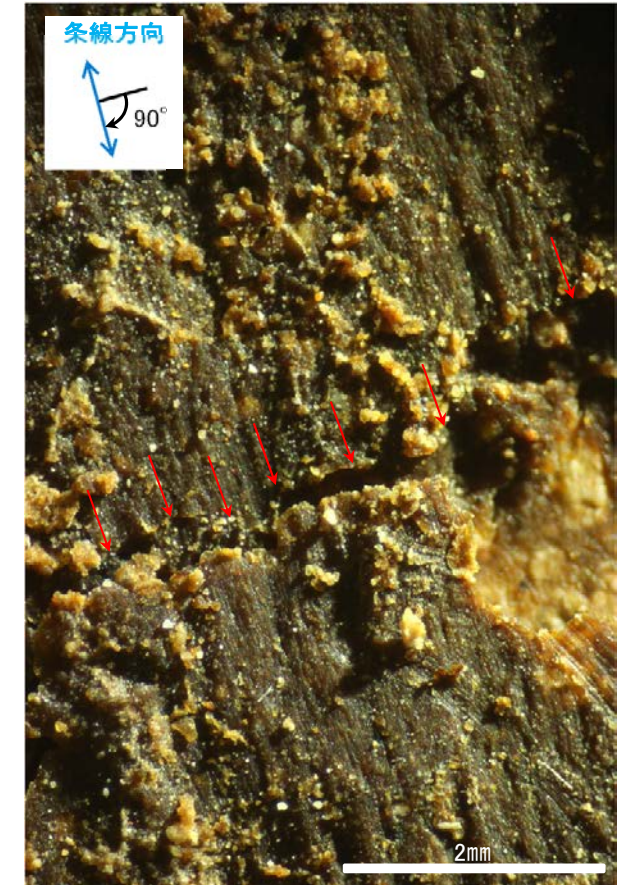
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



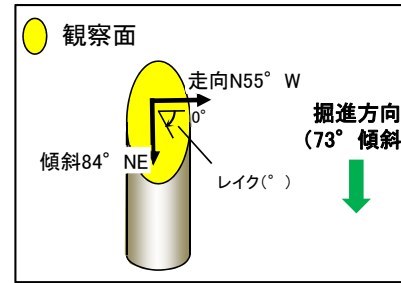
観察面拡大写真



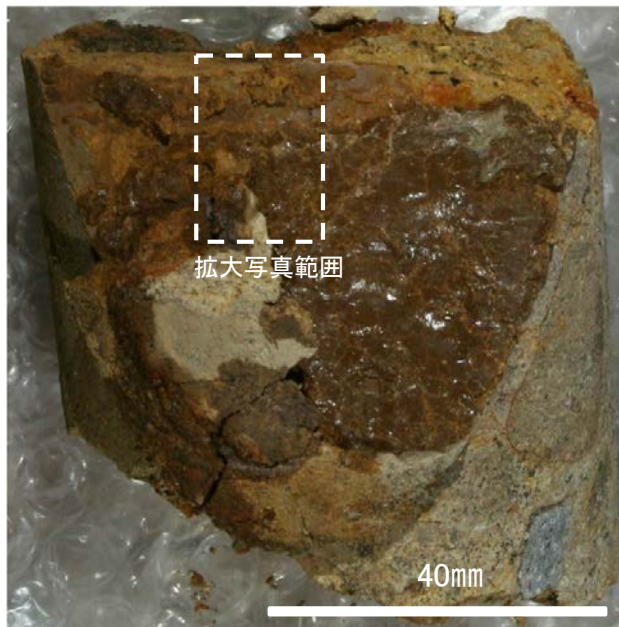
詳細観察写真

・条線のレイクは90° R(下盤側換算), 変位センスは逆断層センス

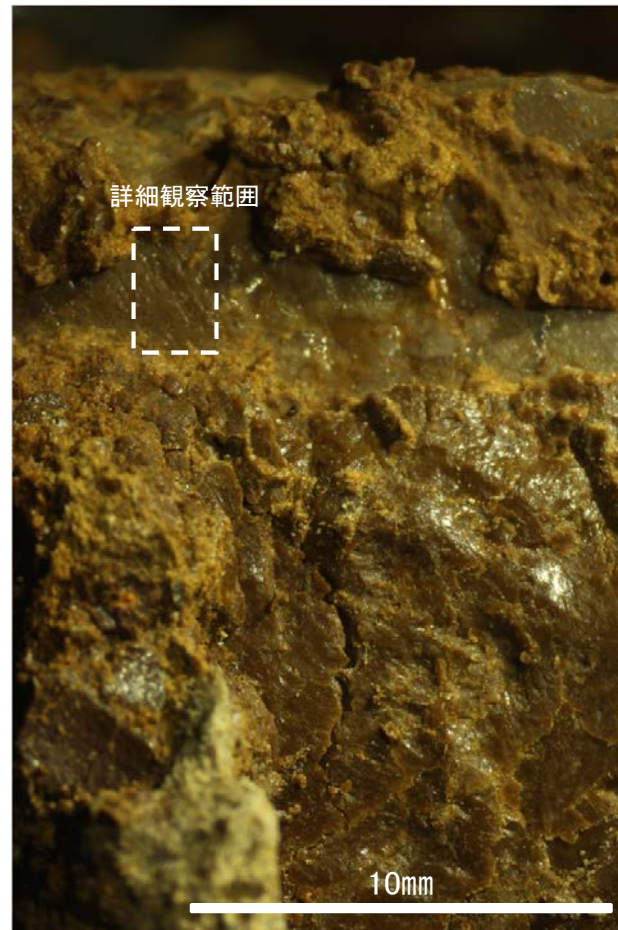
# 条線観察結果(ボーリングN-14.5[深度21.31m](下盤側)①)



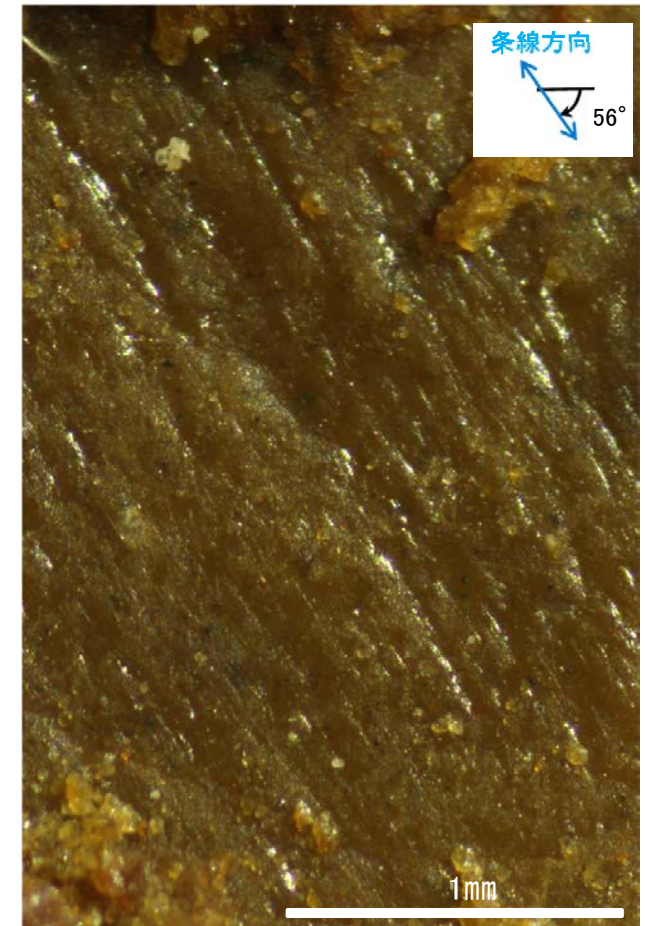
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



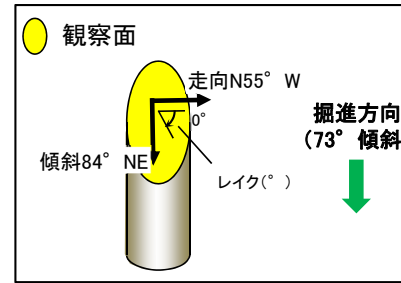
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは56° R, 変位センスは不明

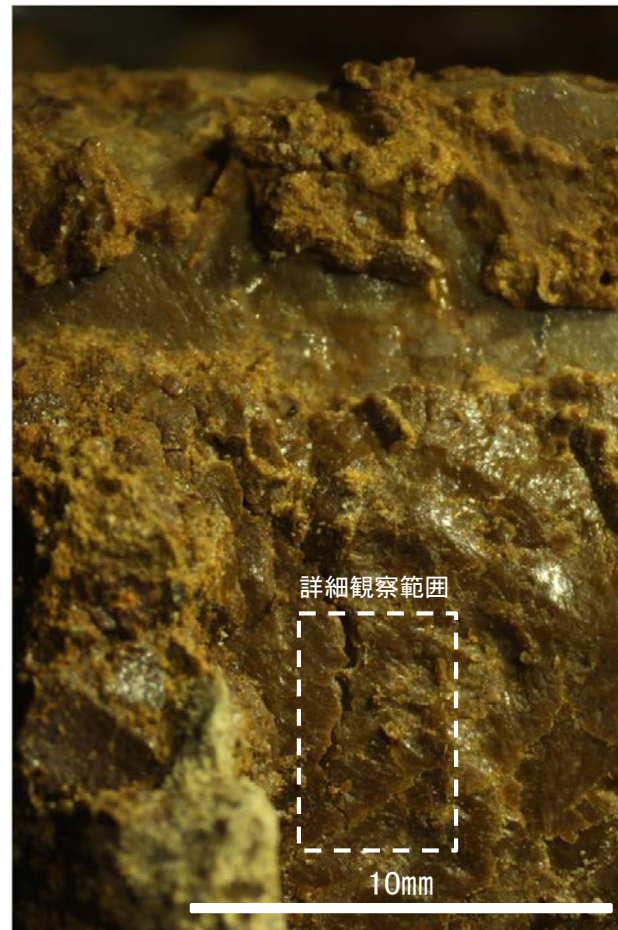
# 条線観察結果(ボーリングN-14.5[深度21.31m](下盤側)②)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



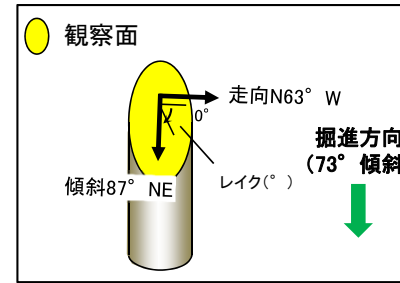
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは26° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(ボーリングO-16[深度20.36m](下盤側))



概念図

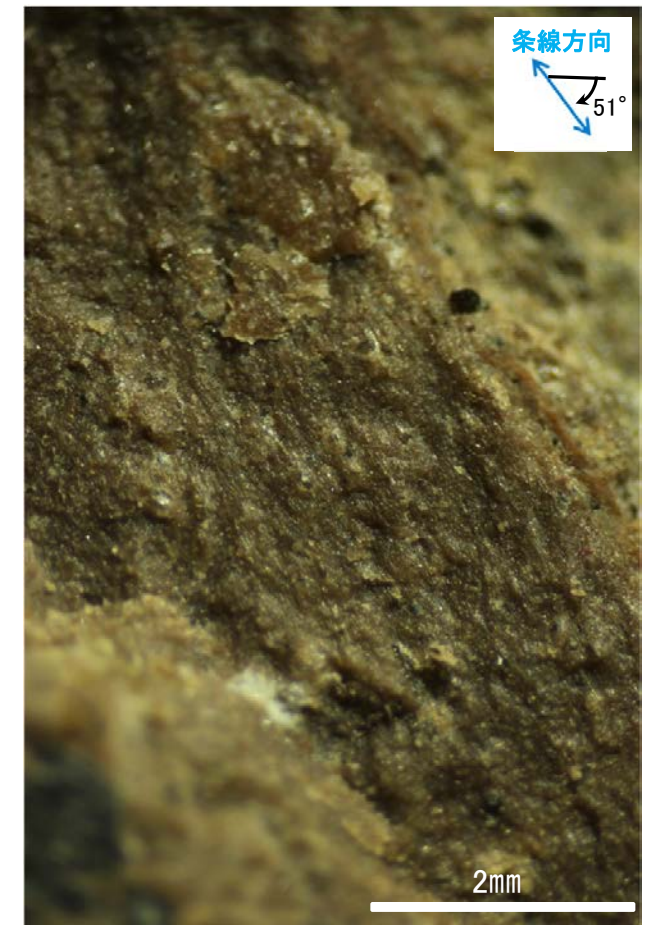
※走向は真北で示す。



観察面写真



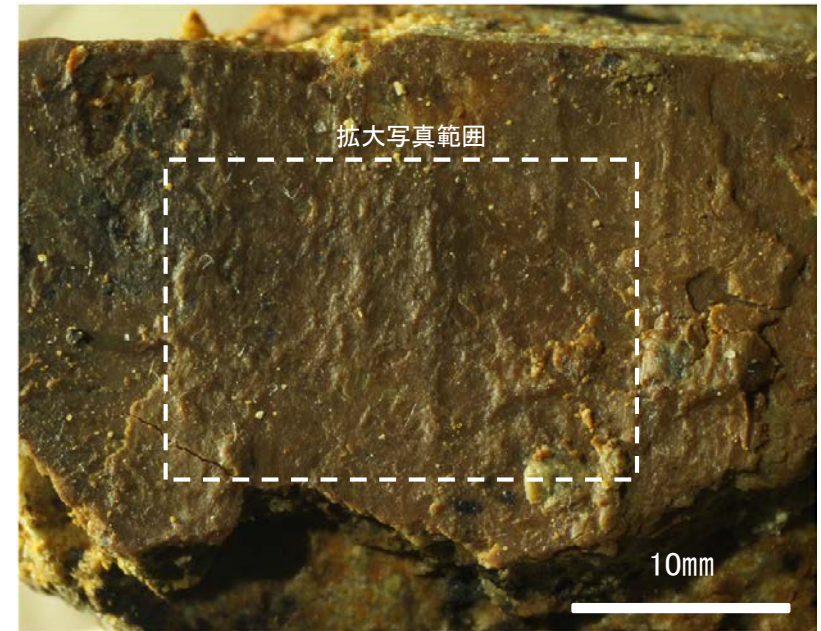
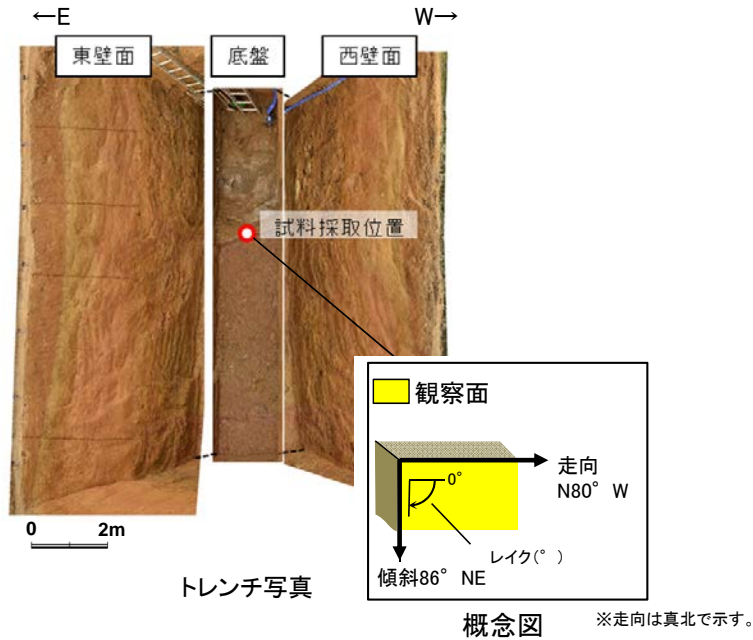
観察面拡大写真



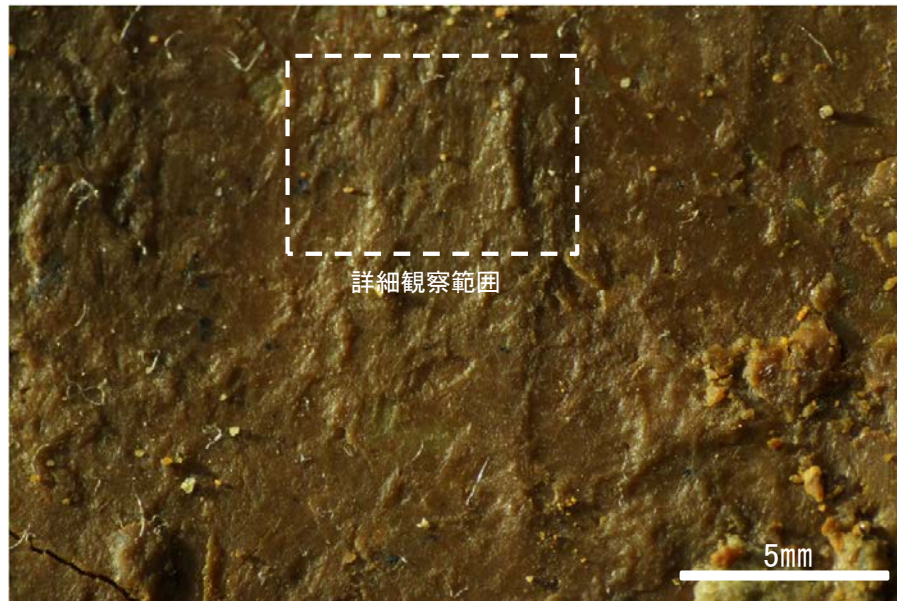
詳細観察写真

・条線のレイクは51° R, 変位センスは不明

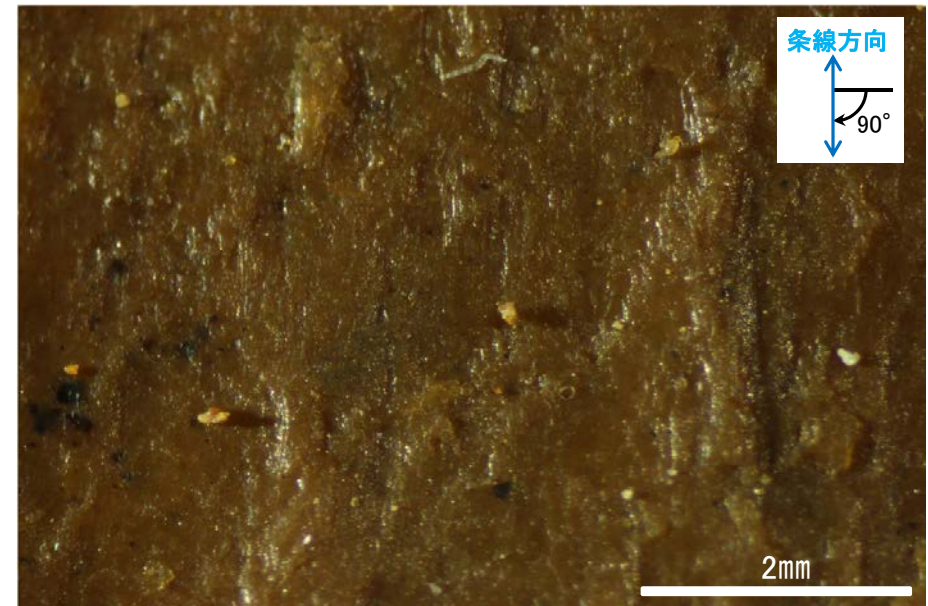
# 条線観察結果(えん堤左岸トレンチ底盤(下盤側)①)



観察面写真



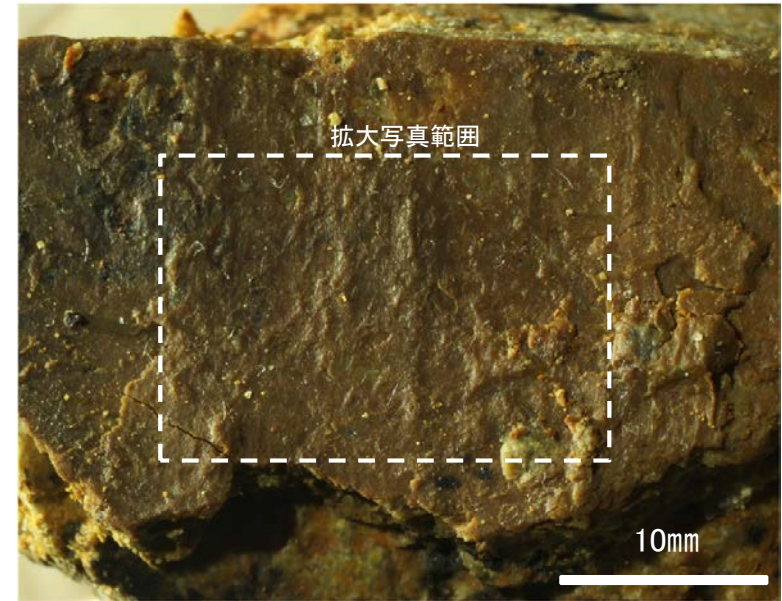
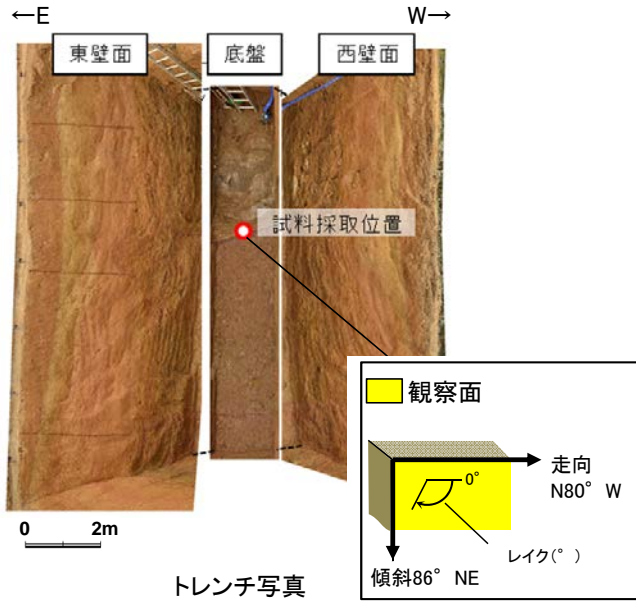
観察面拡大写真



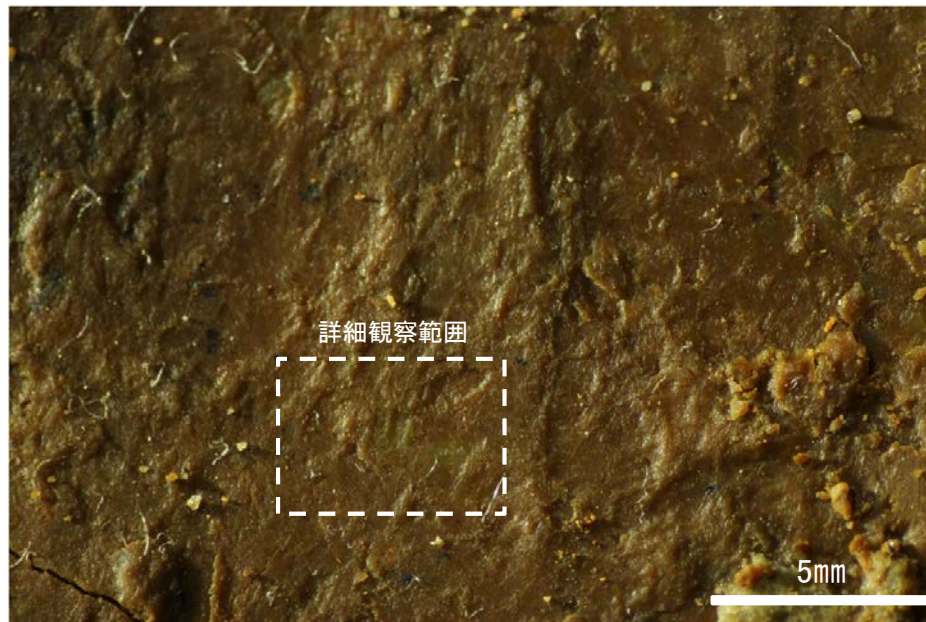
詳細観察写真

・条線のレイクは90° R, 変位センスは不明

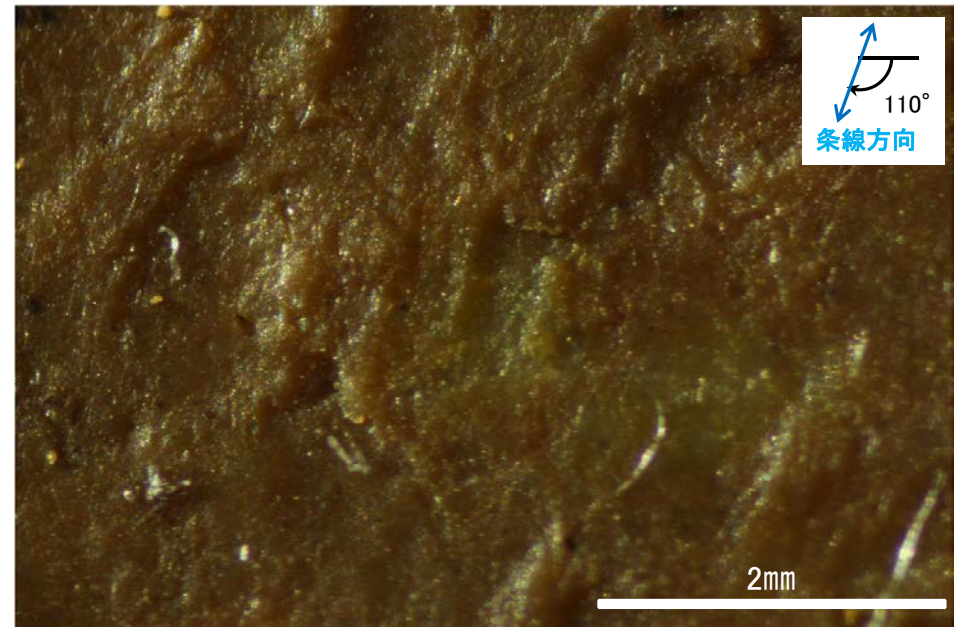
# 条線観察結果(えん堤左岸トレンチ底盤(下盤側)②)



観察面写真



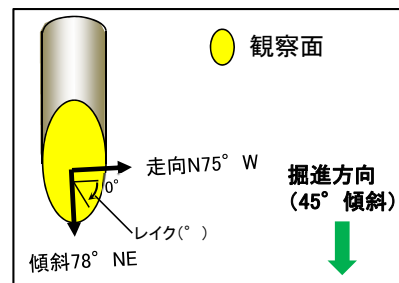
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは110° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(ボーリングO-17.3[深度41.82m](下盤側)①)

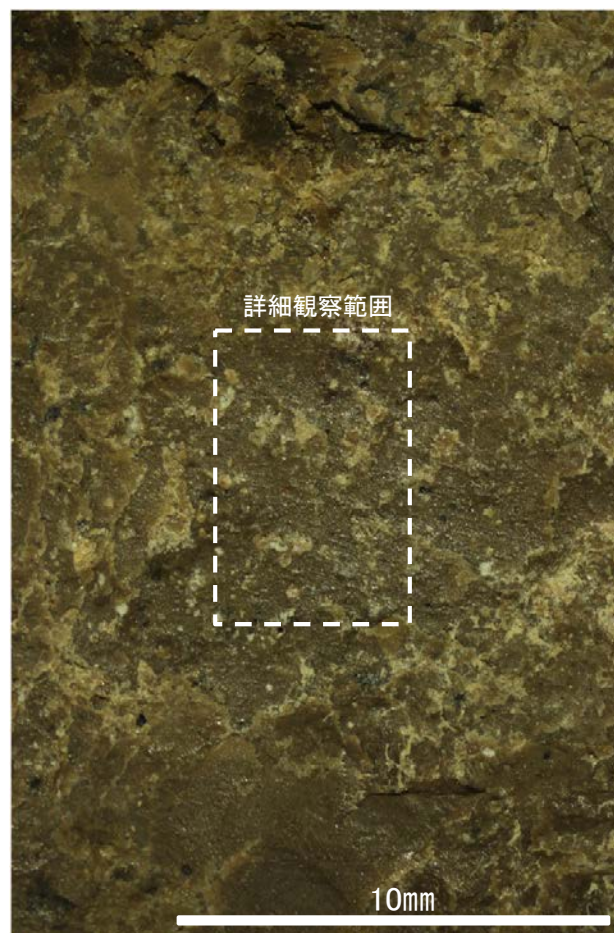


概念図

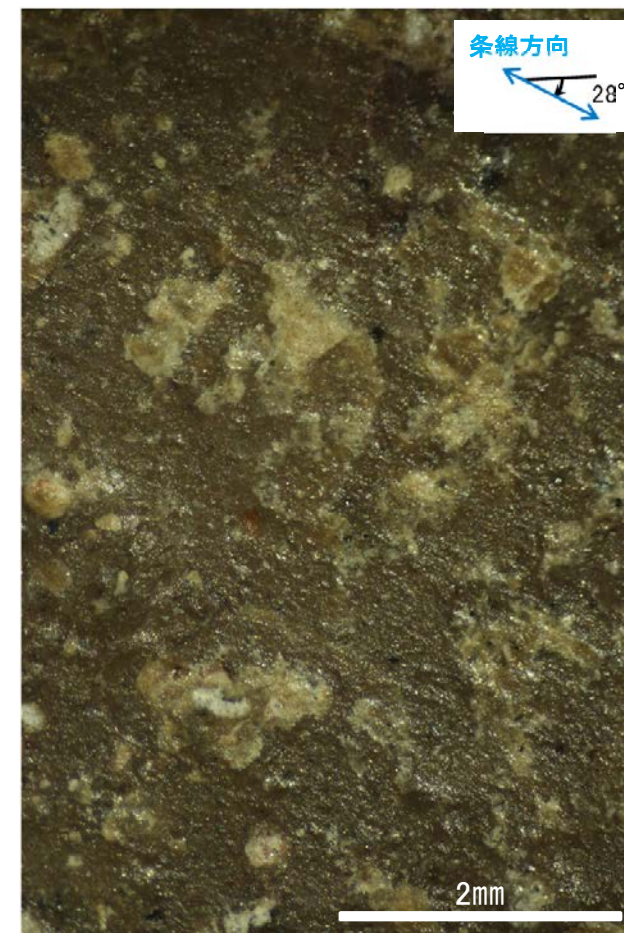
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

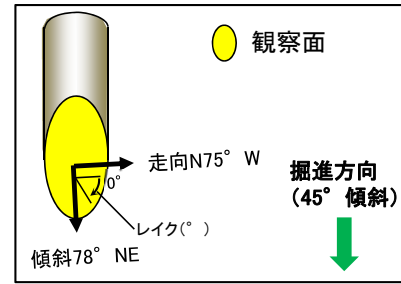
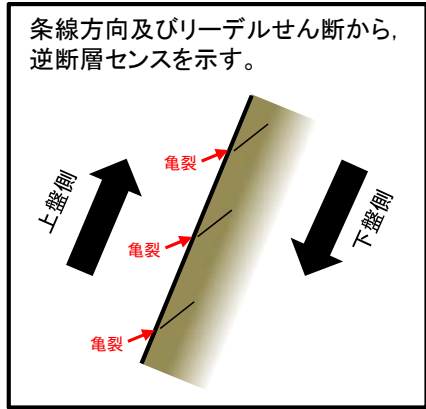


詳細観察写真

・条線のレイクは28° R, 変位センスは不明



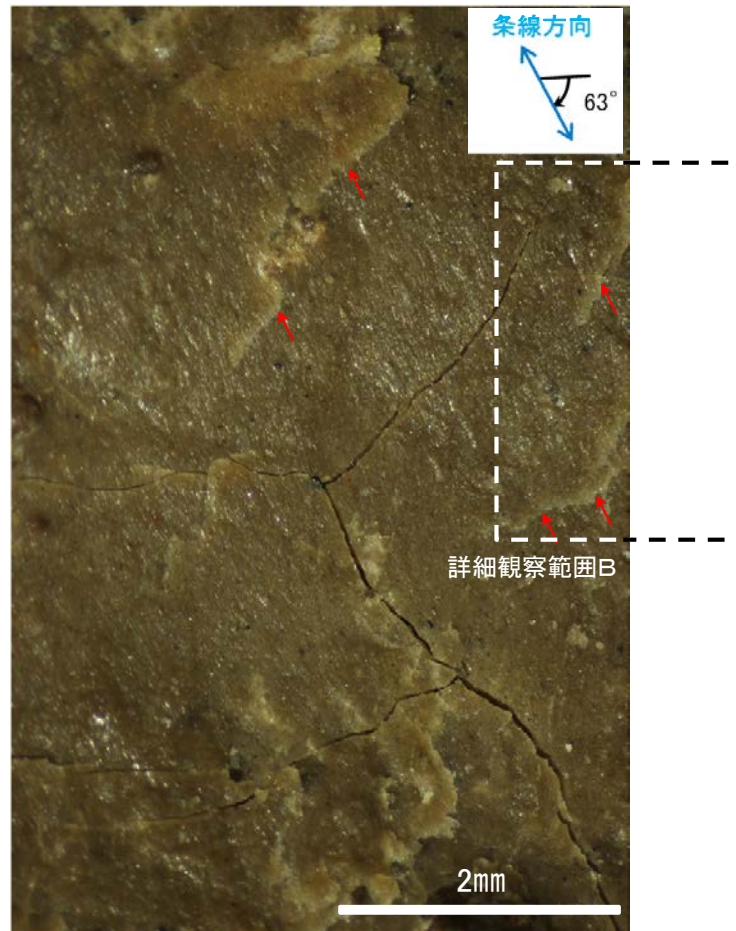
# 条線観察結果(ボーリングO-17.3[深度41.82m](下盤側)②)



概念図  
※走向は真北で示す。

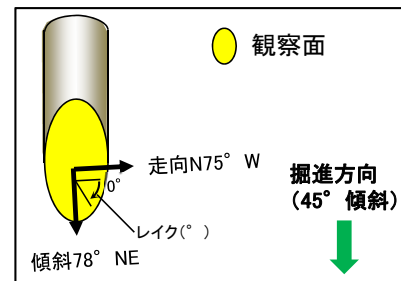
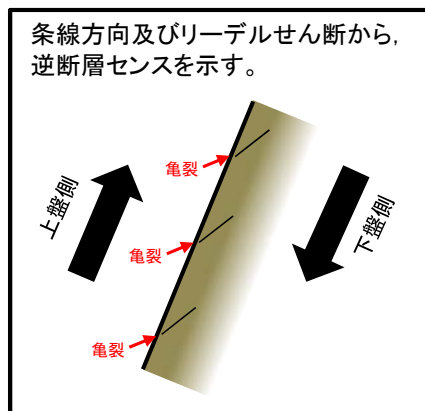


観察面写真



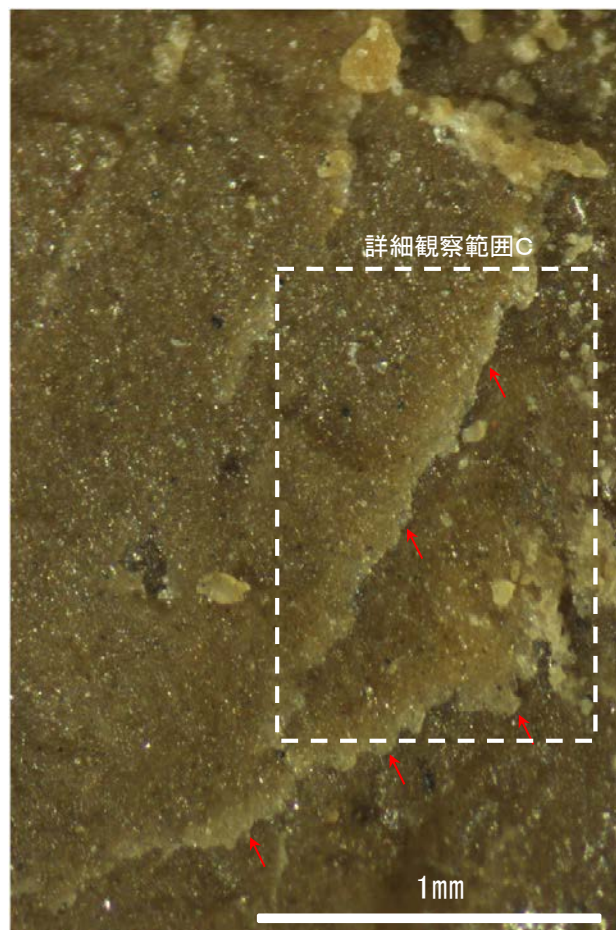
観察面拡大写真

# 条線観察結果(ボーリングO-17.3[深度41.82m](下盤側)③)

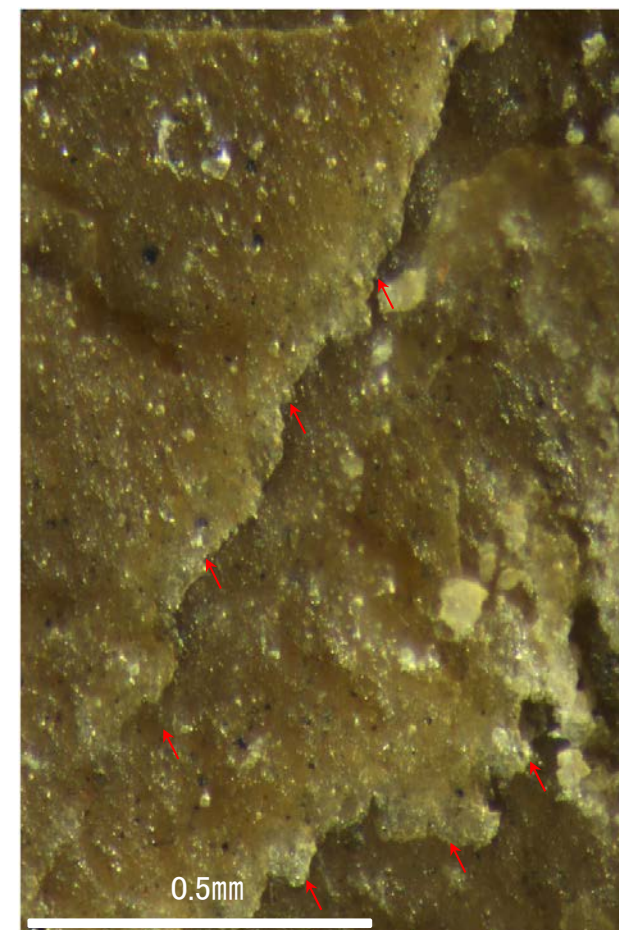


概念図

※走向は真北で示す。



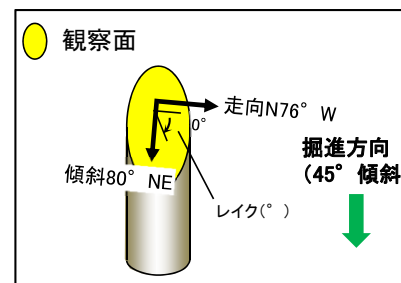
詳細観察写真B



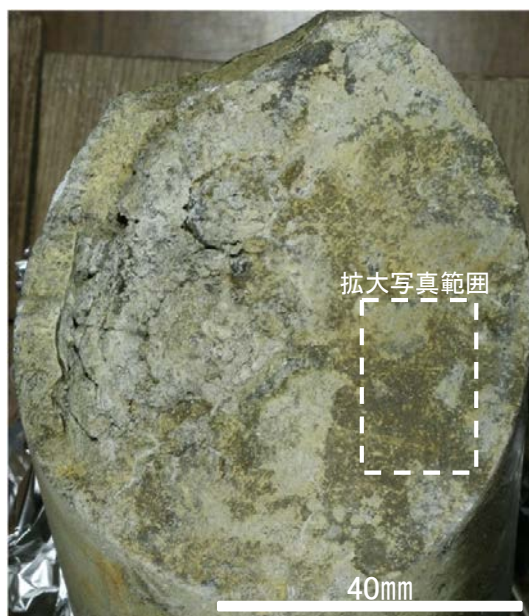
詳細観察写真C

・条線のレイクは63° R, 変位センスは右ずれ逆断層センス

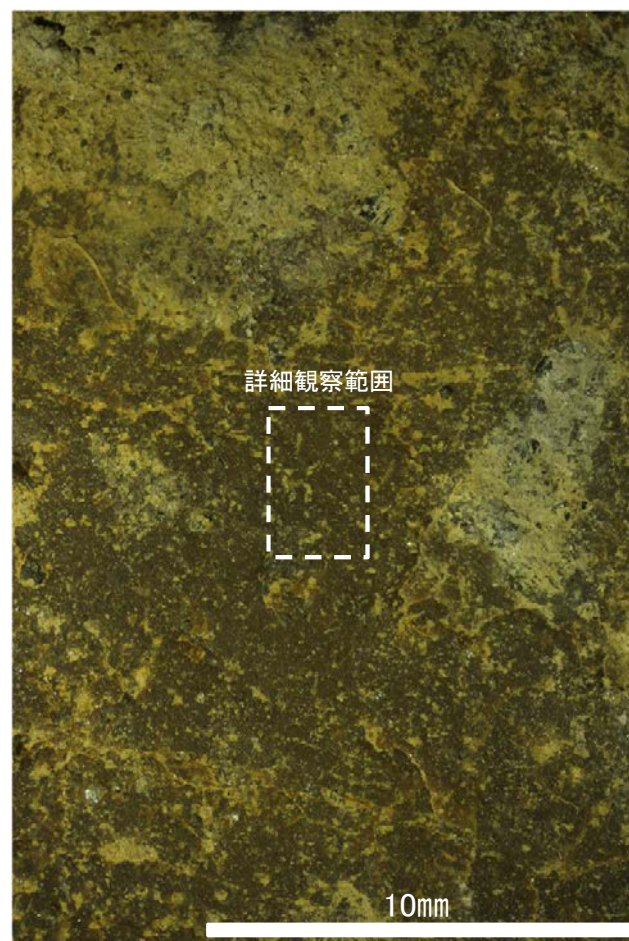
# 条線観察結果(ボーリングO-17.5[深度25.29m](下盤側))



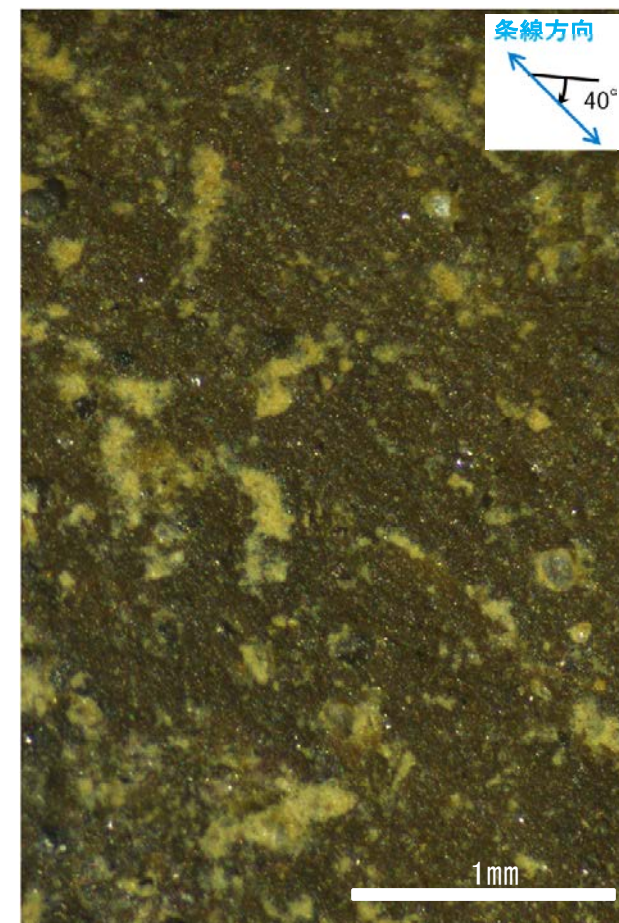
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



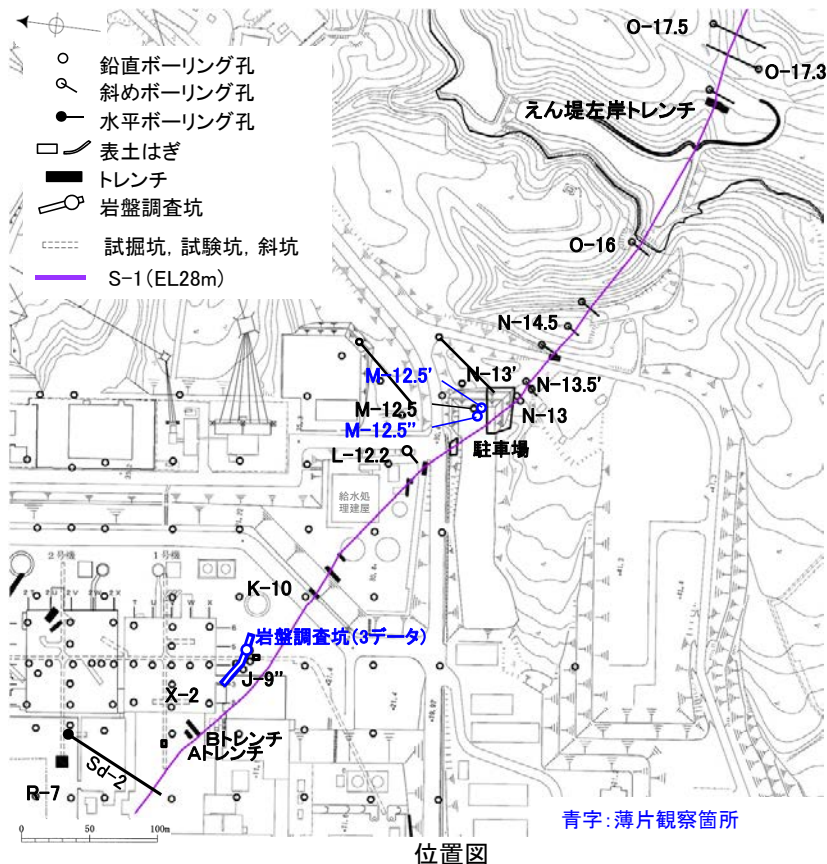
詳細観察写真

・条線のレイクは40° R, 変位センスは不明

---

### (3) 薄片觀察結果

# S-1の薄片観察結果

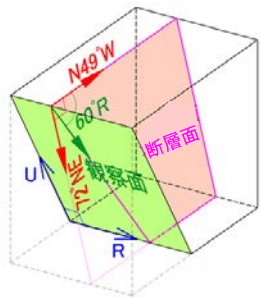
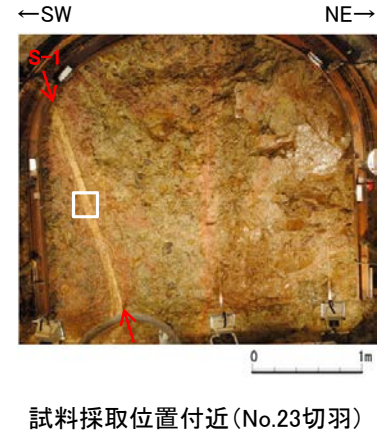


調査地点	粘土の厚さ(cm)	走向/傾斜 (走向は真北)	条線のレイク	変位センス (条線観察)	変位センス (薄片観察)
R-7 深度153.35m	0.3~0.7	N62° W/70° NE	55° R	右横ずれ逆断層	—
Sd-2(水平ボーリング)	1	N62° W/70° NE	63° R	右横ずれ逆断層	—
岩盤調査坑	水平ボーリングNo.23-1	N57° W/72° NE	60° R	(不明)	右横ずれ逆断層
	No.24-2ブロック(1)	N61° W/73° NE	45° R	右横ずれ逆断層	右横ずれ逆断層
	No.25-2ブロック(1)	N54° W/78° NE	40° R	右横ずれ逆断層	右横ずれ逆断層
X-2 深度37.38m	フィルム状~0.1	N40° W/78° NE	30° R 80° R	(不明)	—
J-9'' 深度29.33m	0.25	N83° E/73° NW	50° R	(不明)	—
K-10 深度16.95m	フィルム状	N69° W/66° NE	40° R	(不明)	—
L-12.2 深度41.93m	0.1~0.15	N38° W/79° NE	40° R	右横ずれ逆断層	—
M-12.5 深度63.43m	フィルム状~0.5	N62° W/72° NE	60° R	(不明)	—
			45° R	(不明)	—
M-12.5' 深度51.65m	1.4~1.8	N51° W/76° NE	40° R	右横ずれ逆断層	右横ずれ逆断層
M-12.5'' 深度50.00m	0.7~0.9	N51° W/79° NE	65° R	(不明)	右横ずれ逆断層
駐車場底盤ボーリングNo.1	2.5~5	N50° W/77° NE	20° R	(不明)	—
			40° R	(不明)	—
駐車場底盤ボーリングNo.2	3.5~5 1.5~4.5	N46° W/74° NE	70° R	(不明)	—
			20° R	(不明)	—
			105° R	(不明)	—
N-13 深度11.10m	0.1~0.4	N50° W/75° NE	50° R	(不明)	—
N-13' 深度23.39m	フィルム状~0.2	N52° W/69° NE	60° R	(不明)	—
N-13.5' 深度10.90m	0.1~0.4	N87° E/73° NW	90°	逆断層	—
N-14.5 深度21.31m	0.1~0.2	N55° W/84° NE	56° R	(不明)	—
			26° R	(不明)	—
O-16 深度20.36m	0.6~1.4	N63° NW/87° NE	51° R	(不明)	—
えん堤左岸トレンチ 底盤	0.25~0.3	N80° W/86° NE	90° R	(不明)	—
			110° R	(不明)	—
O-17.3 深度41.82m	0.1~0.2	N75° W/78° NE	28° R	(不明)	—
			63° R	右横ずれ逆断層	—
O-17.5 深度25.29m	0.2~0.3	N76° W/80° NE	40° R	(不明)	—

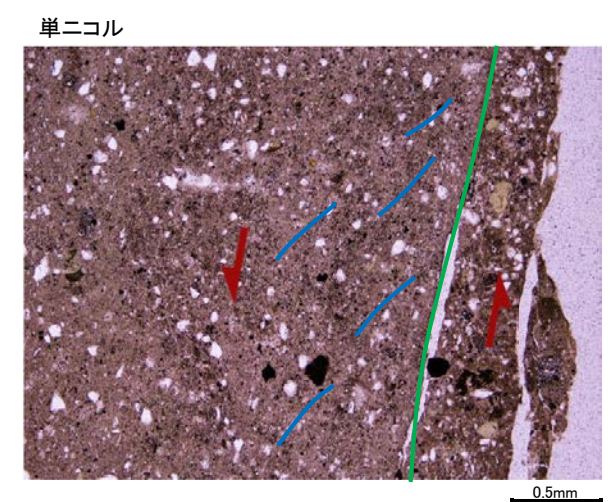
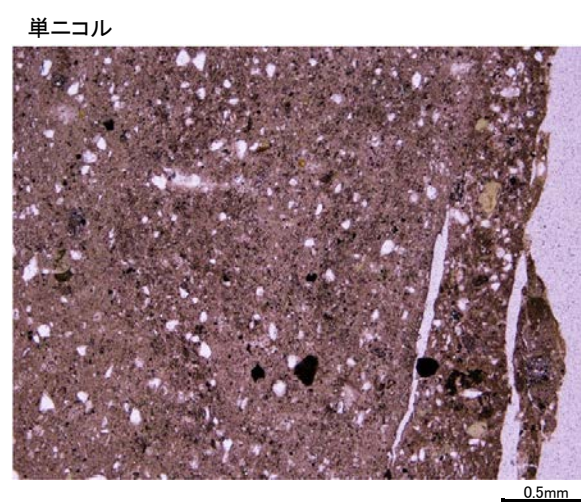
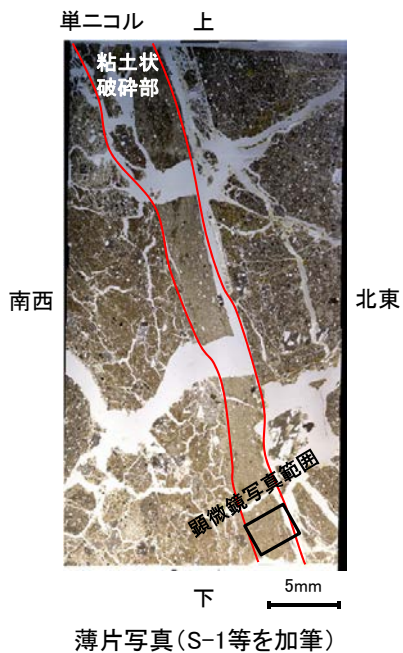
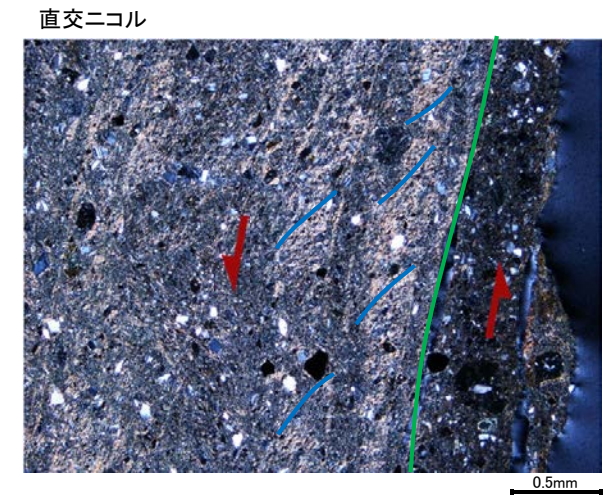
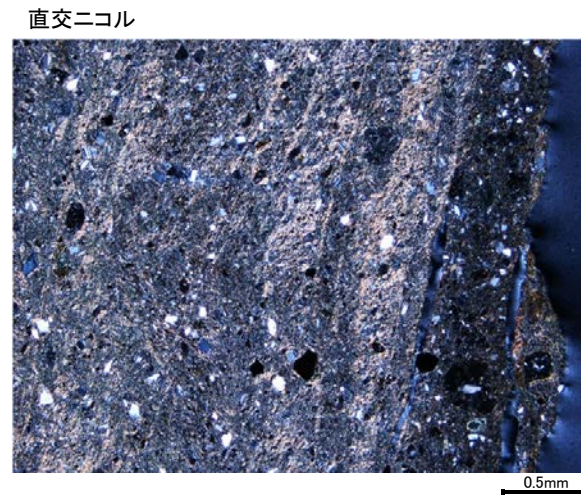
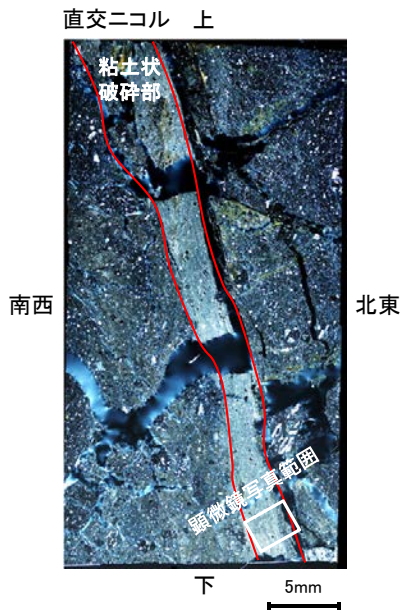
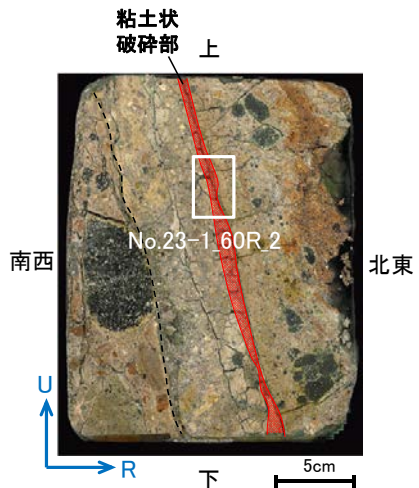
・変位センスが判読できるものは全て逆断層センスであり、条線のレイクを考慮すると、S-1の運動方向は右横ずれ逆断層センスとなる。

# S-1の運動方向(薄片観察結果) -岩盤調査坑水平ボーリングNo.23-1-

■ 条線観察を実施した水平ボーリングの近傍のブロックを条線観察結果のレイク(60° R)で切断して作成した薄片を観察した。



観察面概念図(No.23-1\_60R)



顕微鏡写真

顕微鏡写真(構造等を加筆)

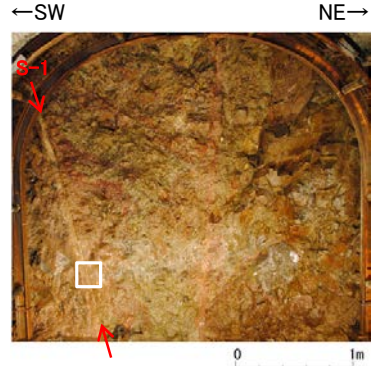
凡例

- Y面
- P面
- ↘ 変位方向

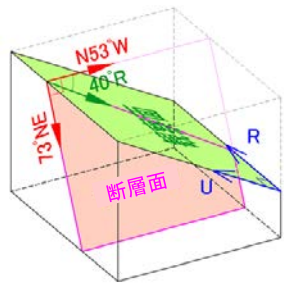
・スメクタイトの配列から想定されるP面より、逆断層センスが推定される。

# S-1の運動方向(薄片観察結果) -岩盤調査坑No.24-2ブロック(1)-

■条線観察を実施したブロックを条線観察結果のレイク(40° R)で切断して作成した薄片を観察した。

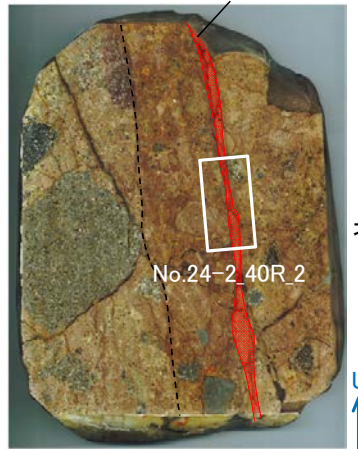


試料採取位置付近(No.24切羽)



観察面概念図(No.24-2\_40R)

粘土状  
破碎部

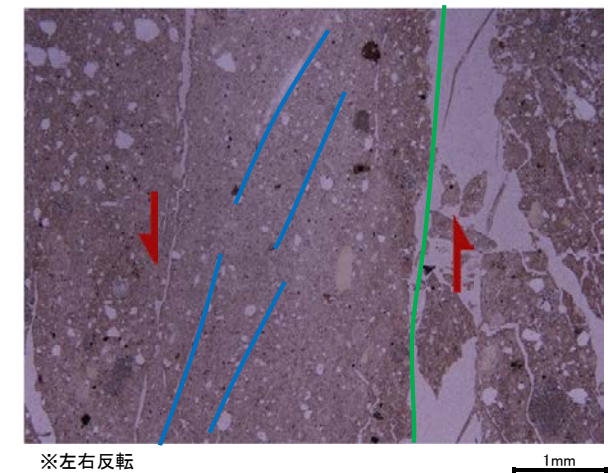
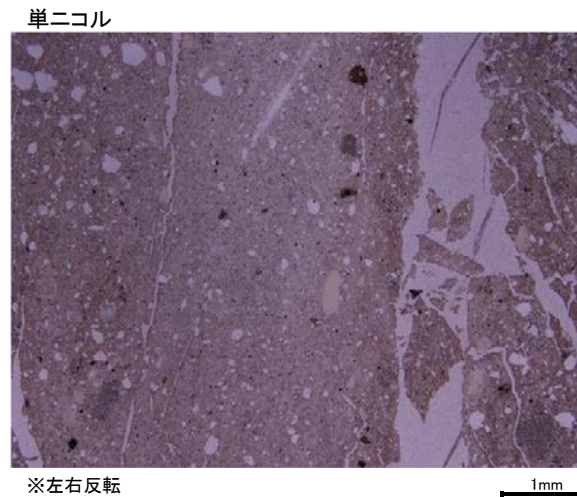
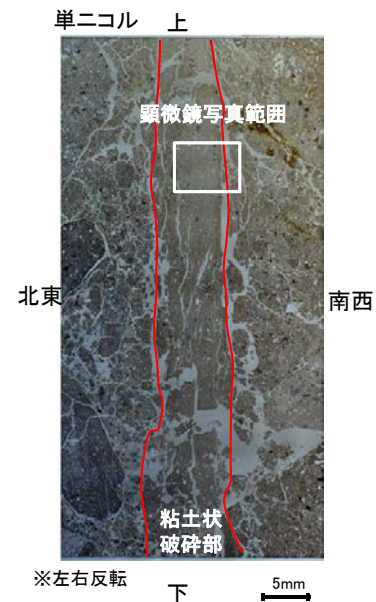
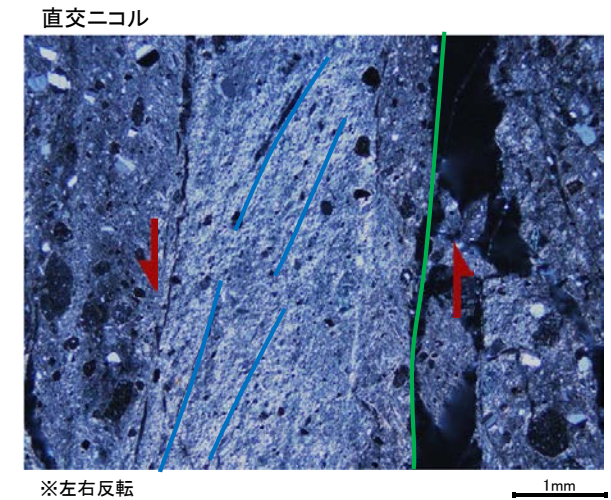
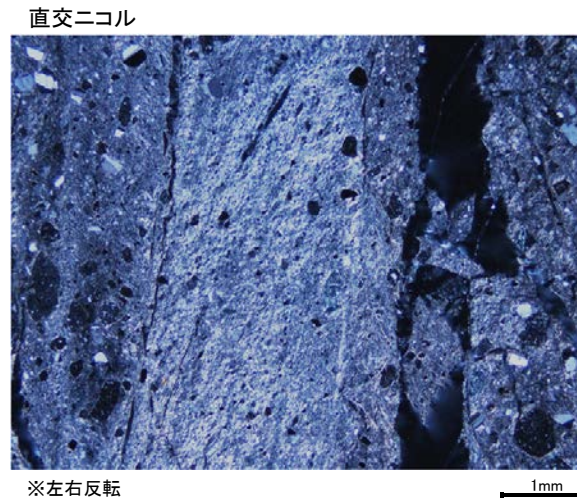
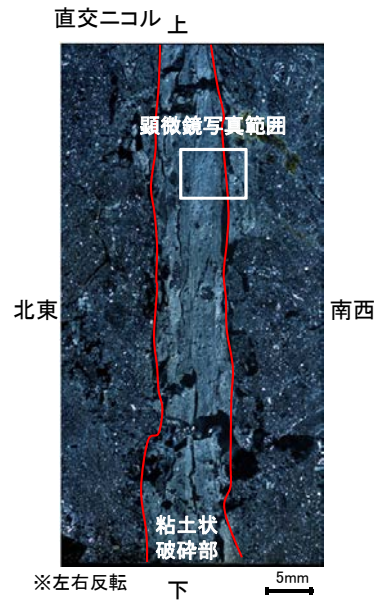


※左右反転

下

R

薄片作成位置付近(No.24-2\_40R)



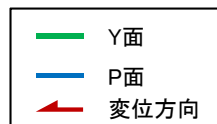
顕微鏡写真

顕微鏡写真(構造等を加筆)

薄片写真(S-1等を加筆)

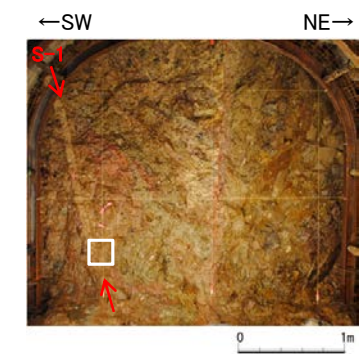
・スメクタイトの配列から想定されるP面より、逆断層センスが推定される。

凡 例

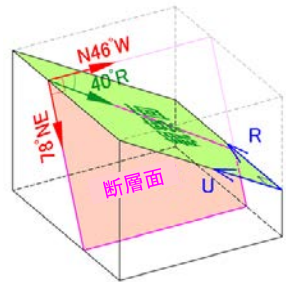


# S-1の運動方向(薄片観察結果) -岩盤調査坑No.25-2ブロック(1)-

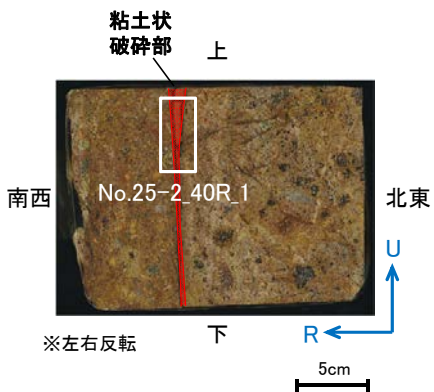
■ 条線観察を実施したブロックを条線観察結果のレイク(40° R)で切断して作成した薄片を観察した。



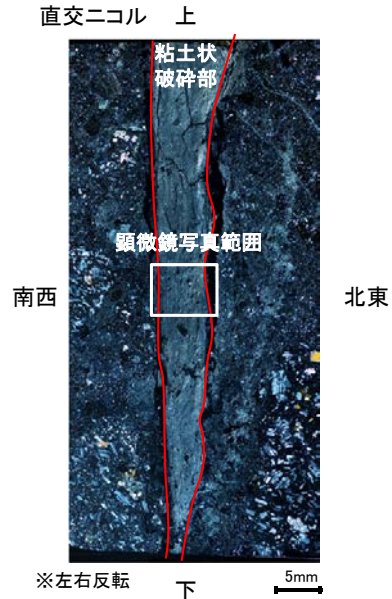
試料採取位置付近(No.25切羽)



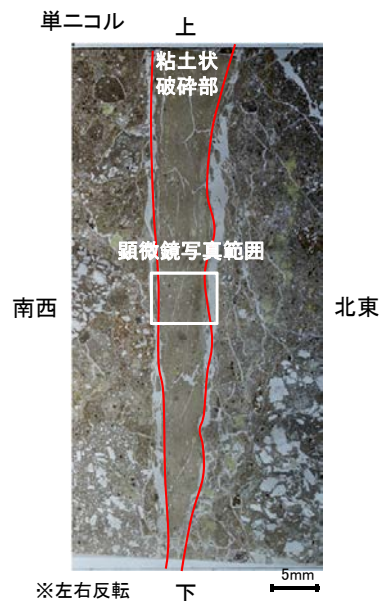
研磨片作成概念図(No.25-2\_40R)



薄片作成位置付近(No.25-2\_40R)

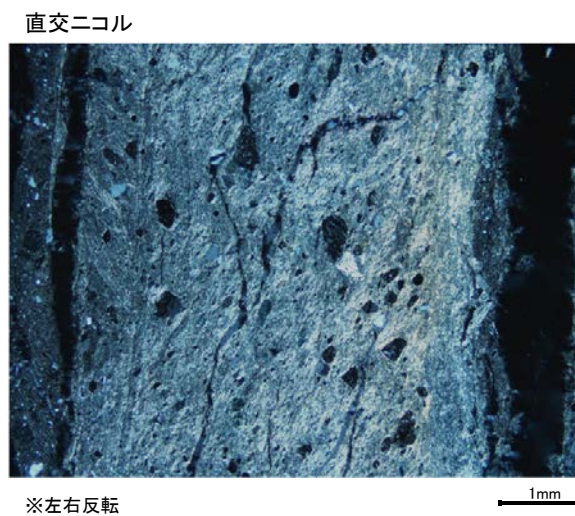


※左右反転 下 5mm

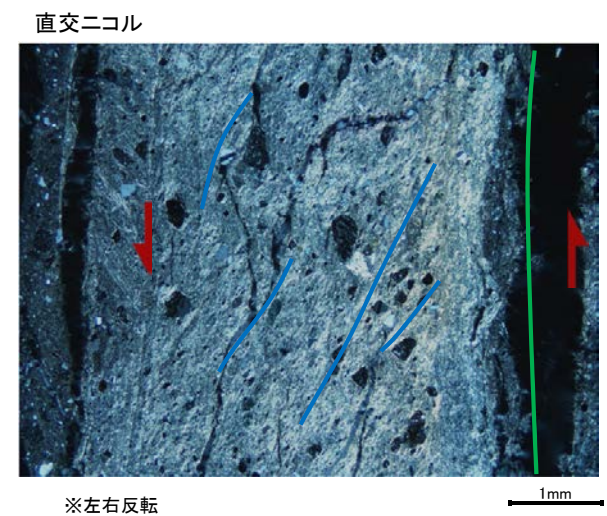


※左右反転 下 5mm

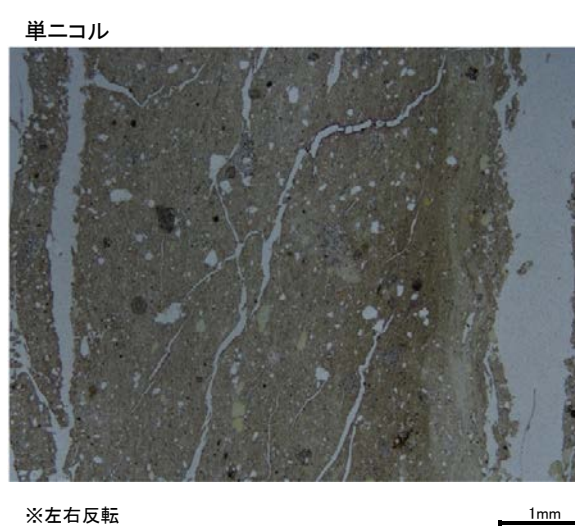
薄片写真(S-1等を加筆)



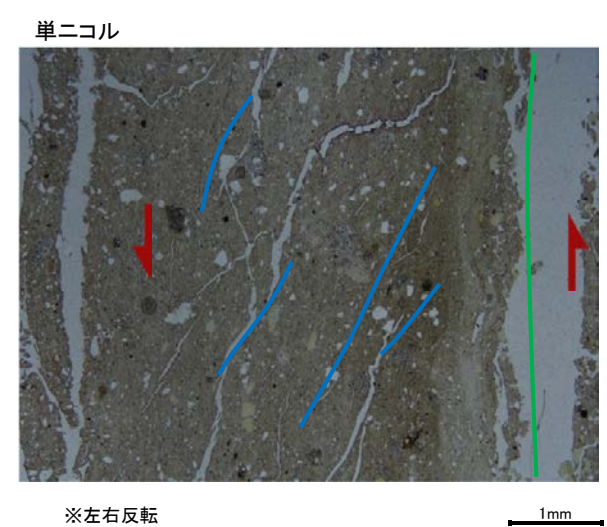
※左右反転



※左右反転



※左右反転

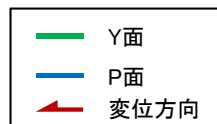


※左右反転

顕微鏡写真

顕微鏡写真(構造等を加筆)

凡例



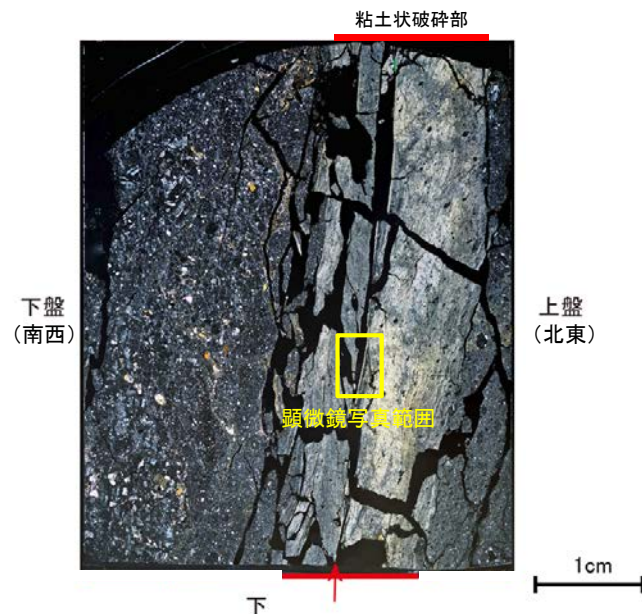
・スメクタイトの配列から想定されるP面より、逆断層センスが推定される。



# S-1の運動方向(薄片観察結果) -M-12.5'ボーリング-

■条線観察結果を踏まえ、40° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

直交ニコル

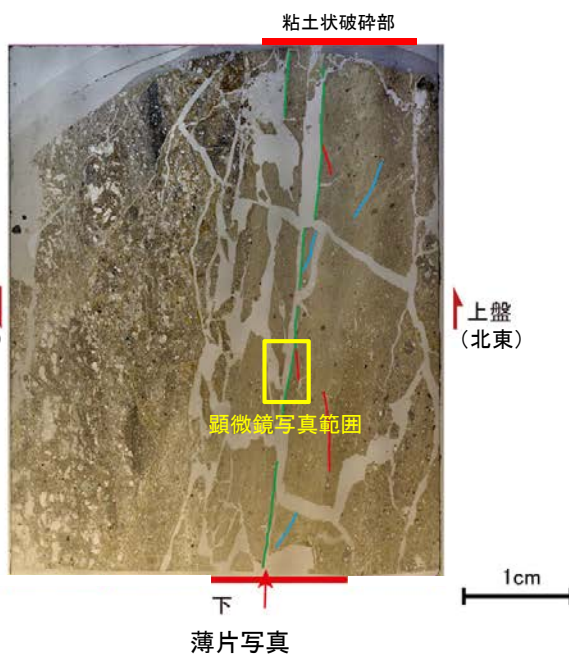


直交ニコル

粘土状破碎部

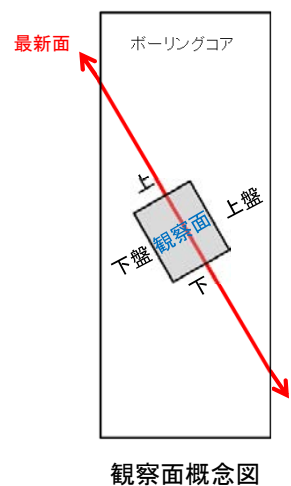


単ニコル



単ニコル

粘土状破碎部



・粘土状破碎部中には明瞭なY面が認められ、その近傍では粒子の配列や比較的連続性のよい割れ目が認められる。この粒子の配列から想定されるP面や割れ目から想定されるR1面より、上盤(北東側)隆起の逆断層センスが推定される。

- 凡例
- Y面
  - R1面
  - P面
  - ← 変位方向

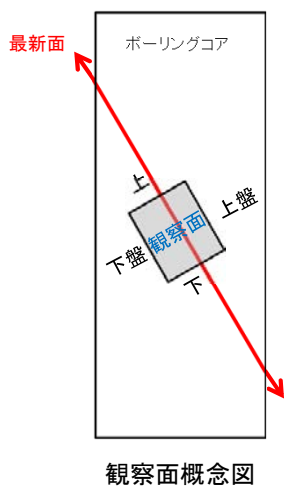
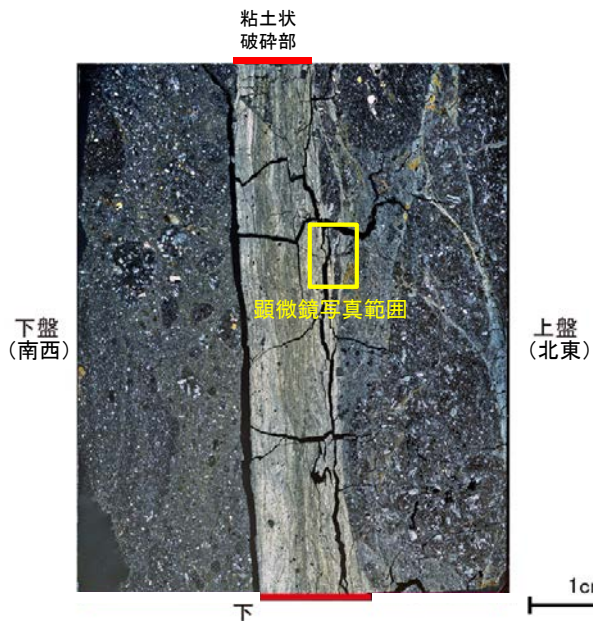
# S-1の運動方向(薄片観察結果) -M-12.5"ボーリング-

■条線観察結果を踏まえ、65° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

直交ニコル

直交ニコル

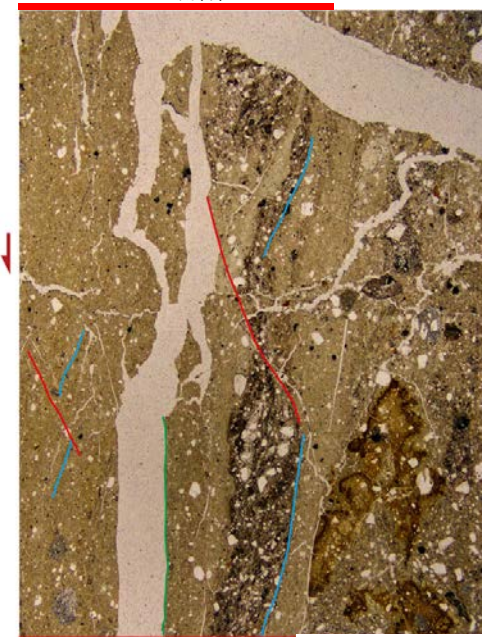
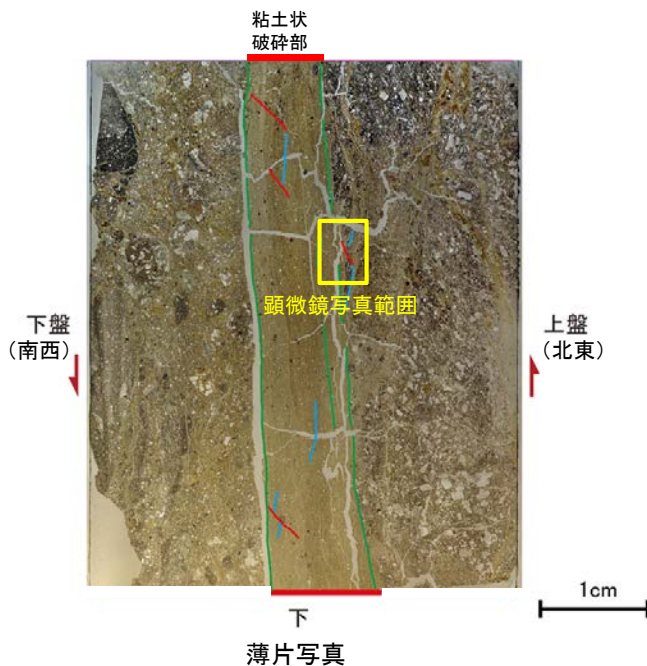
粘土状  
破碎部



単ニコル

単ニコル

粘土状  
破碎部



- 凡例
- Y面
  - R1面
  - P面
  - ← 変位方向

・粘土状破碎部に沿ってY面が認められ、その近傍では粒子の配列や比較的連続性のよい割れ目が認められる。この粒子の配列から想定されるP面や割れ目から想定されるR1面より、上盤(北東側)隆起の逆断層センスが推定される。

---

## データ集6-2

### S-2・S-6の運動方向

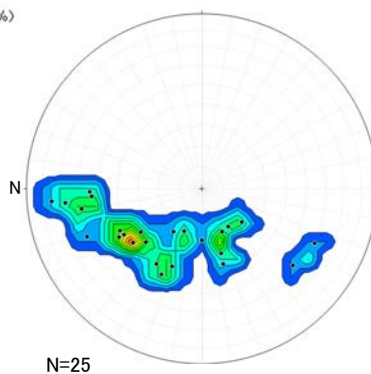
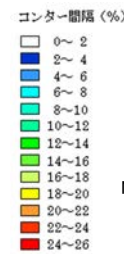
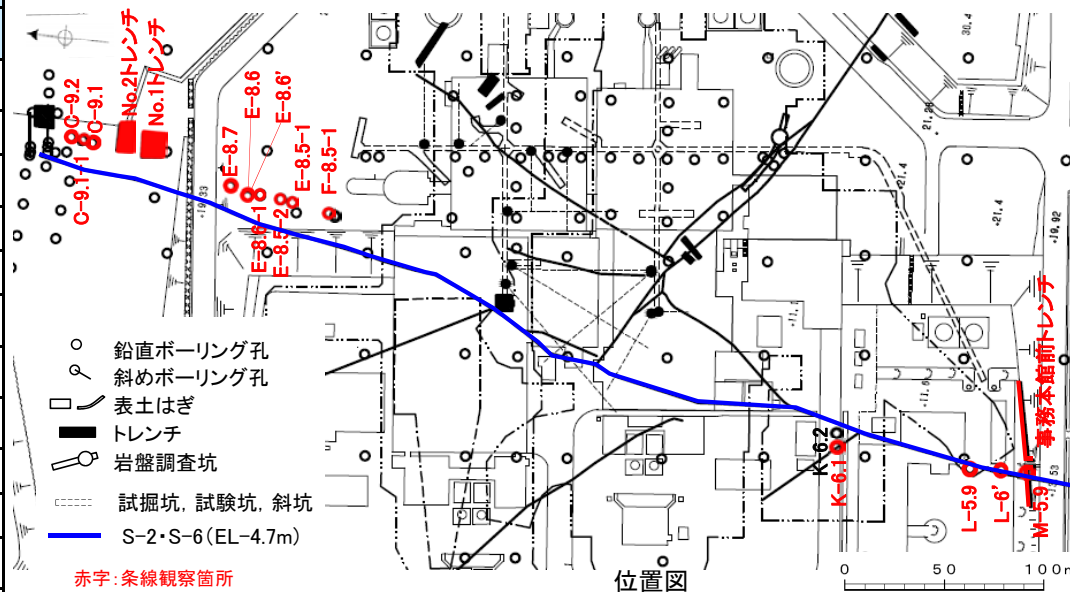
---

## (1) 条線觀察結果

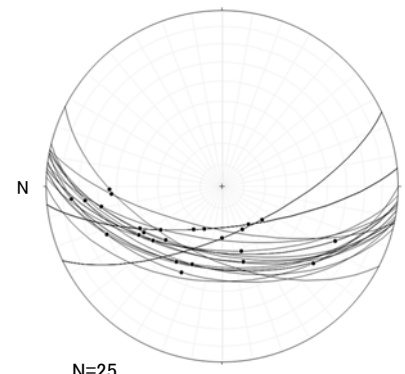
# S-2・S-6の条線観察結果

試料名	走向/傾斜 (走向は真北)	条線観察結果		薄片観察結果	
		条線の レイク※	変位センス	薄片番号	変位センス
ボーリングM-5.9 (深度7.80m)	下盤側 N3° E/60° NW	80° R	右横ずれ逆断層	-	-
事務本館前トレンチ	下盤側 N12° E/70° NW	140° R	(不明)	-	-
ボーリングL-6' (深度13.82m)	下盤側 N12° E/58° NW	120° R	左横ずれ逆断層	-	-
ボーリングL-5.9 (深度18.00m)	下盤側 N6° E/59° NW	125° R	左横ずれ逆断層	-	-
		35° R	(不明)	-	-
ボーリングK-6.1 (深度31.50m)	下盤側 N5° E/52° NW	100° R	(不明)	K-6.2_100R	左横ずれ逆断層
ボーリングF-8.5-1 (深度8.66m)	下盤側 N14° E/51° NW	150° R	左横ずれ逆断層	-	-
ボーリングE-8.5-1 (深度8.33m)	下盤側 N5° E/51° NW	140° R	左横ずれ逆断層	E-8.5-1_140R	左横ずれ逆断層
ボーリングE-8.5-2 (深度8.55m)	上盤側 N8° E/51° NW	105° R	(不明)	E-8.5-2_105R	(不明)
		160° R	(不明)	E-8.5-2_160R	左横ずれ逆断層
ボーリングE-8.6-1 (深度8.52m)	下盤側 N7° E/65° NW	145° R	(不明)	E-8.6-1_145R	左横ずれ逆断層
ボーリングE-8.6' (深度11.40m)	上盤側 N11° E/46° NW	100° R	(不明)	E-8.6'_100R	左横ずれ逆断層
ボーリングE-8.6 (深度11.70m)	上盤側 NS/45° W	50° R	(不明)	-	-
ボーリングE-8.7 (深度10.09m)	下盤側 N10° E/56° NW	75° R	(不明)	-	-
No.1トレンチ-1	下盤側 N6° W/71° SW	100° R	(不明)	-	-
		80° R	(不明)	-	-
		105° R	(不明)	-	-
No.1トレンチ-2	下盤側 N6° W/71° SW	100° R	(不明)	-	-
		105° R	(不明)	-	-
		130° R	(不明)	-	-
No.1トレンチ	下盤側 N6° W/71° SW	120° R	(不明)	No.1トレンチ_120R_TE1	(不明)
No.2トレンチ	下盤側 N25° W/68° SW	80° R	(不明)	No.2トレンチ_80R_TE2	(不明)
No.2トレンチ-1	上盤側 N25° W/68° SW	100° R	(不明)	-	-
No.2トレンチ-2	下盤側 N25° W/68° SW	90° R	(不明)	-	-
ボーリングC-9.1 (深度10.82m)	下盤側 N27° E/57° NW	135° R	(不明)	-	-
ボーリングC-9.1-1 (深度10.67m)	下盤側 N11° E/59° NW	110° R	(不明)	-	-
ボーリングC-9.2 (深度10.56m)	下盤側 N12° E/56° NW	115° R	(不明)	-	-

※ 上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す



S-2・S-6の条線の姿勢 (下半球等角投影図)  
(左側を北として表示)

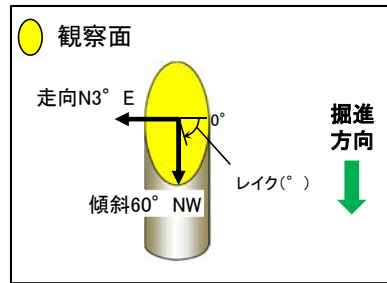


S-2・S-6の運動方向 (下半球等角投影図)  
(左側を北として表示)

・S-2・S-6は、おもに北北東-南南西走向、西傾斜であり、条線は北西方向の中角度である。  
 ・変位センスが判読できるものは全て逆断層センスであり、条線のレイクを考慮すると、S-2・S-6の運動方向は概ね左横ずれ逆断層センスとなる。

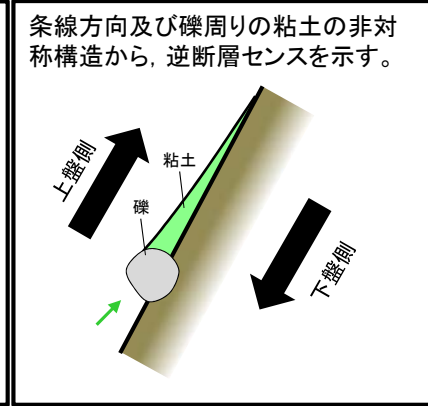
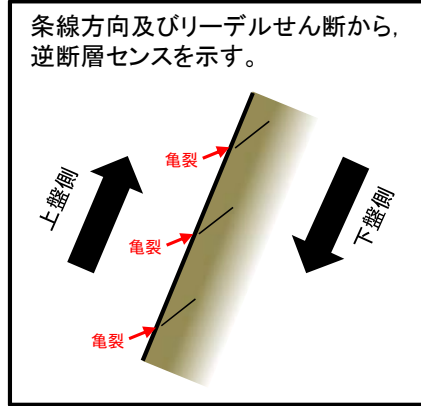
・S-2・S-6の運動方向は、概ね左横ずれ逆断層センスである。

# 条線観察結果(ボーリングM-5.9[深度7.80m])(下盤側)

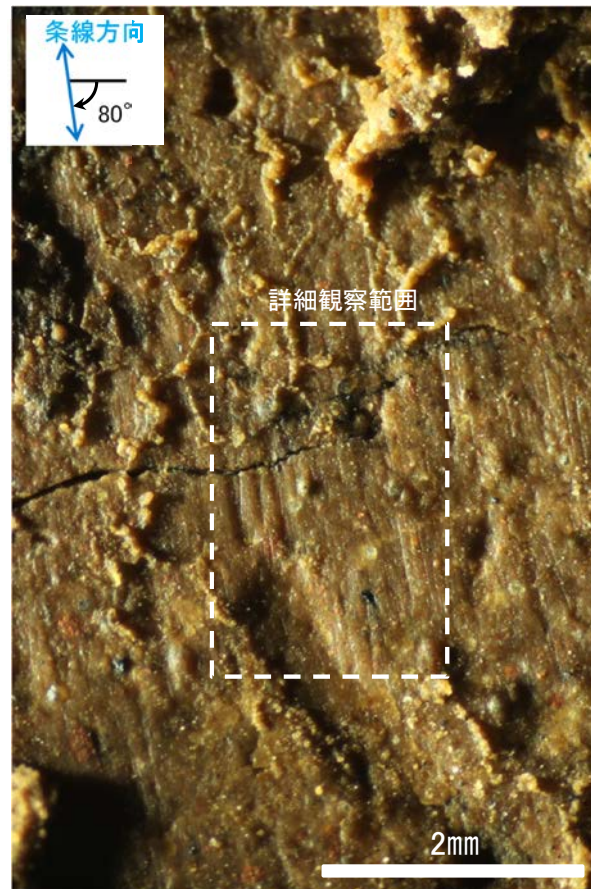


概念図

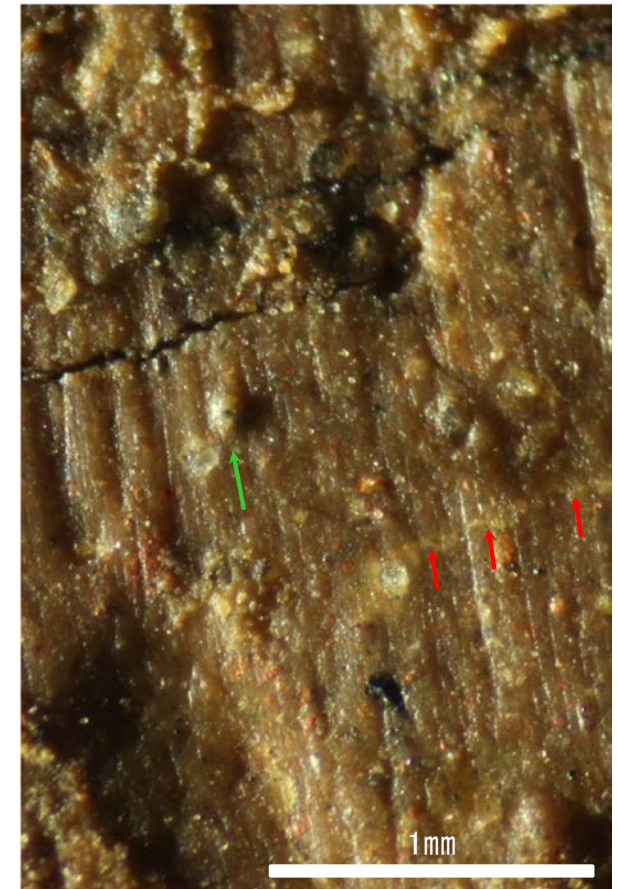
※走向は真北で示す。



観察面写真



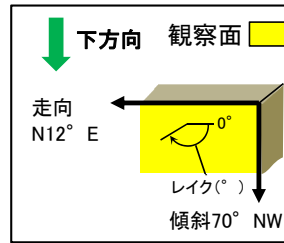
観察面拡大写真



詳細観察写真

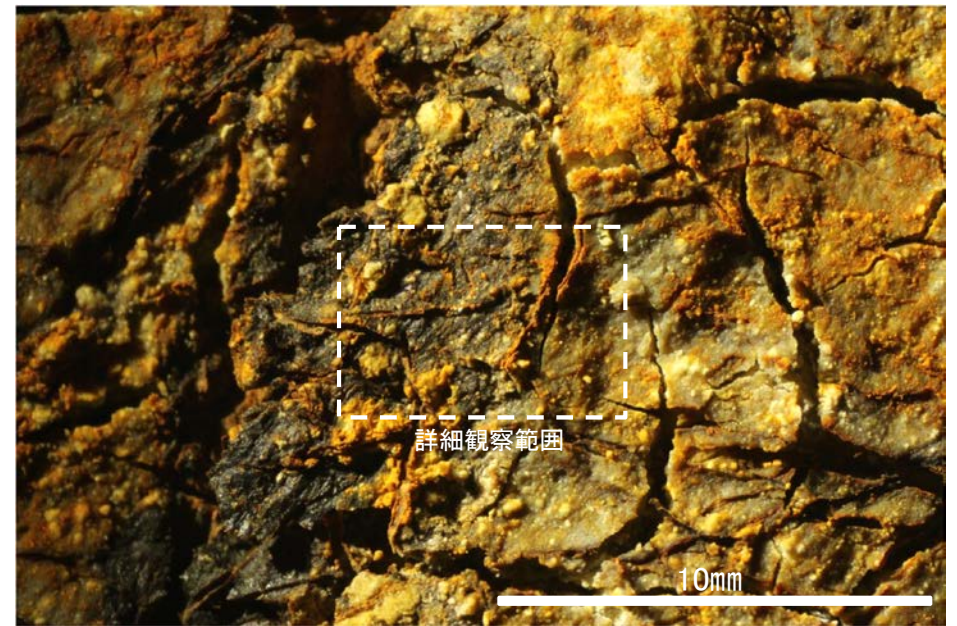
・条線のレイクは80° R, 変位センスは右横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(事務本館前トレンチ)(下盤側)

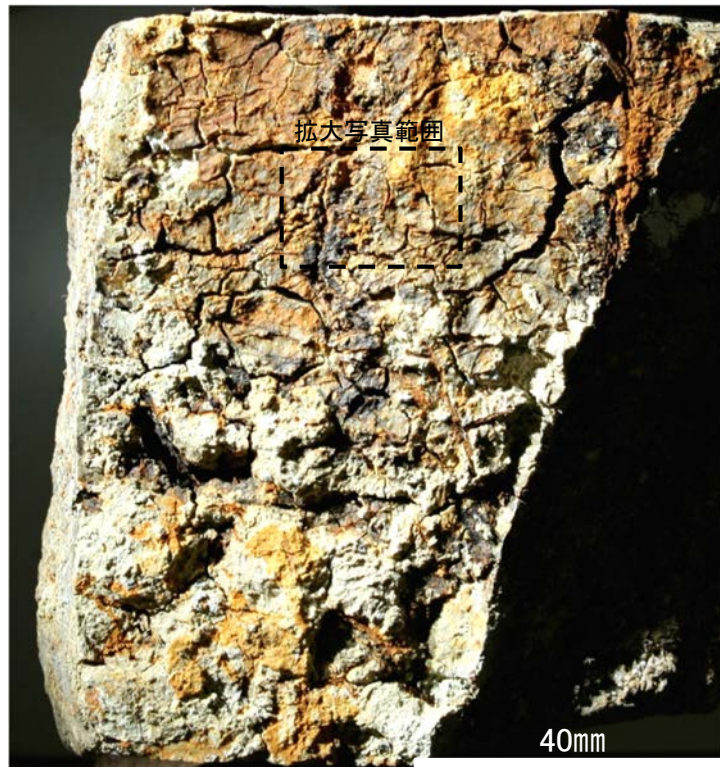


概念図

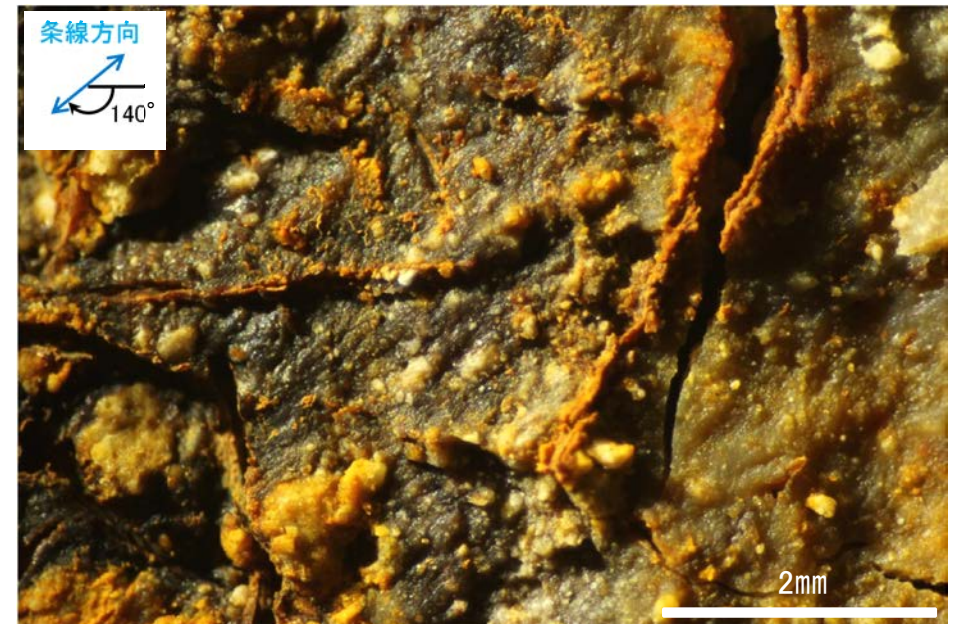
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



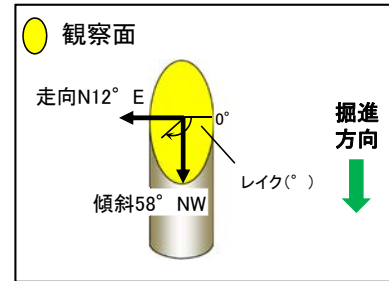
観察面写真



詳細観察写真

・条線のレイクは140° R, 変位センスは不明

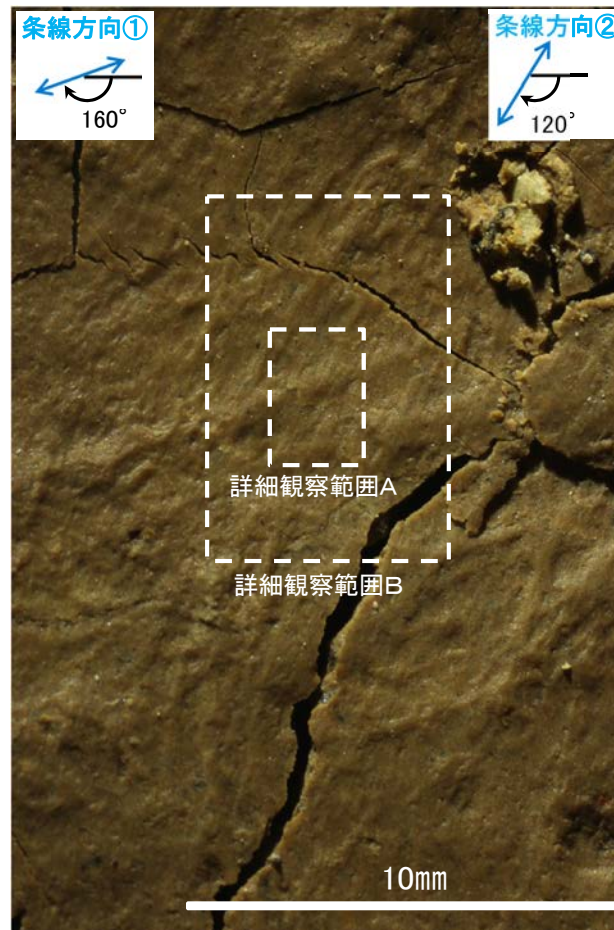
# 条線観察結果(ボーリングL-6' [深度13.82m])(下盤側)①



概念図  
※走向は真北で示す。



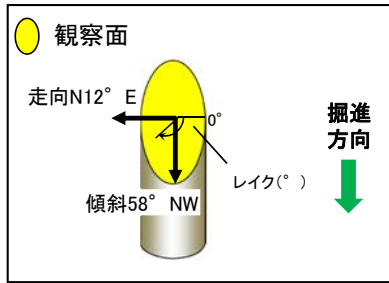
観察面写真



観察面拡大写真

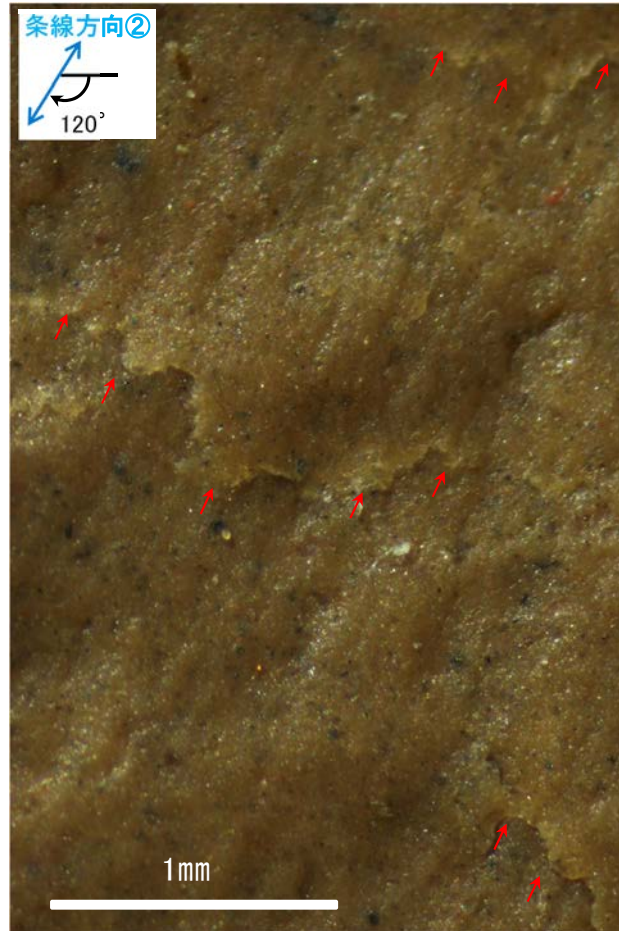
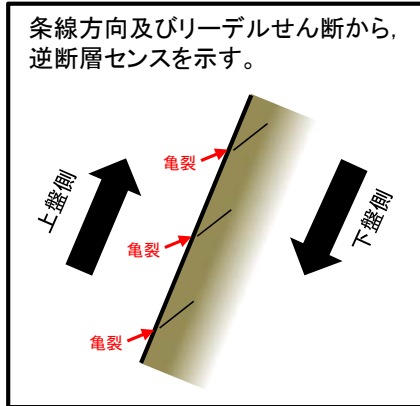


# 条線観察結果(ボーリングL-6' [深度13.82m])(下盤側)②

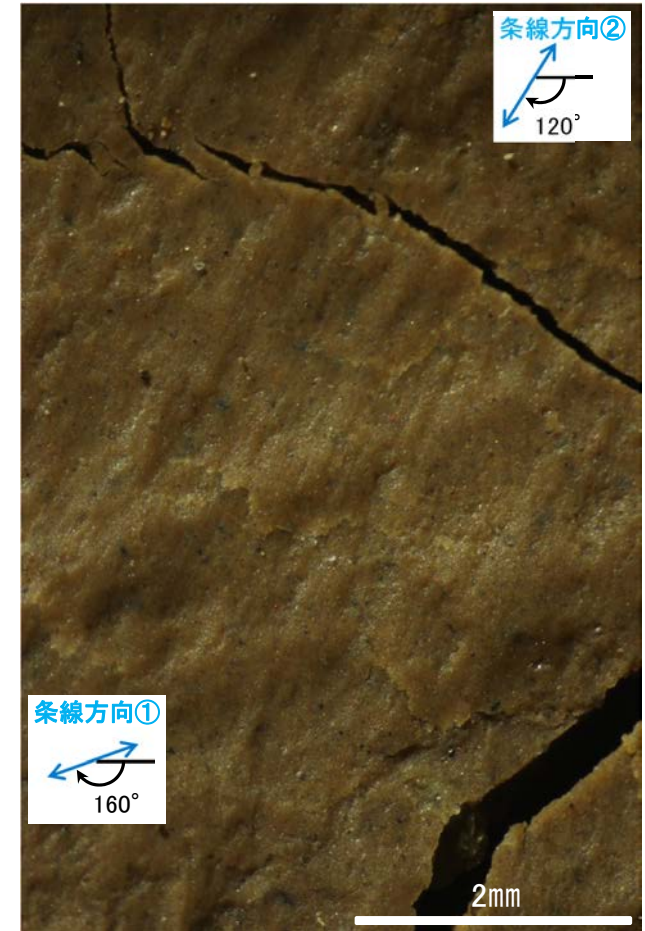


概念図

※走向は真北で示す。



詳細観察写真A

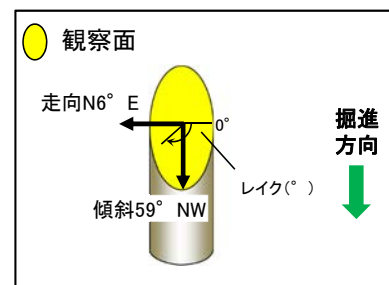


詳細観察写真B

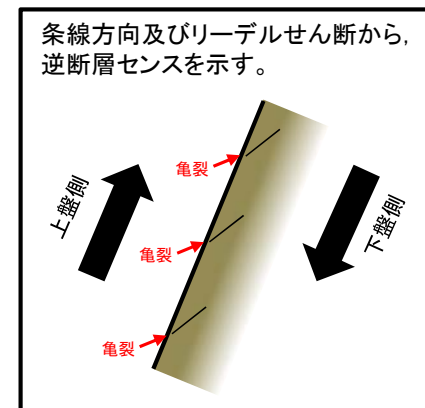
- ・条線①のレイクは160° R, 変位センスは不明
- ・条線②のレイクは120° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス

- ・条線①のレイクは160° R, 条線②のレイクは120° R
- ・不明瞭な条線①に重なって, 明瞭な条線②が認められることから, 条線①の後に条線②が形成されたと考えられる。

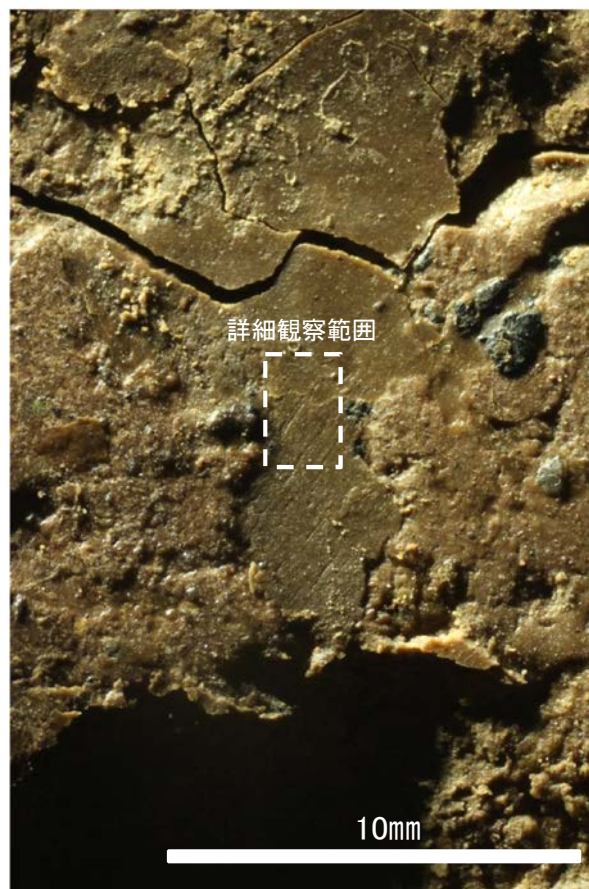
# 条線観察結果(ボーリングL-5.9[深度18.00m])(下盤側)①



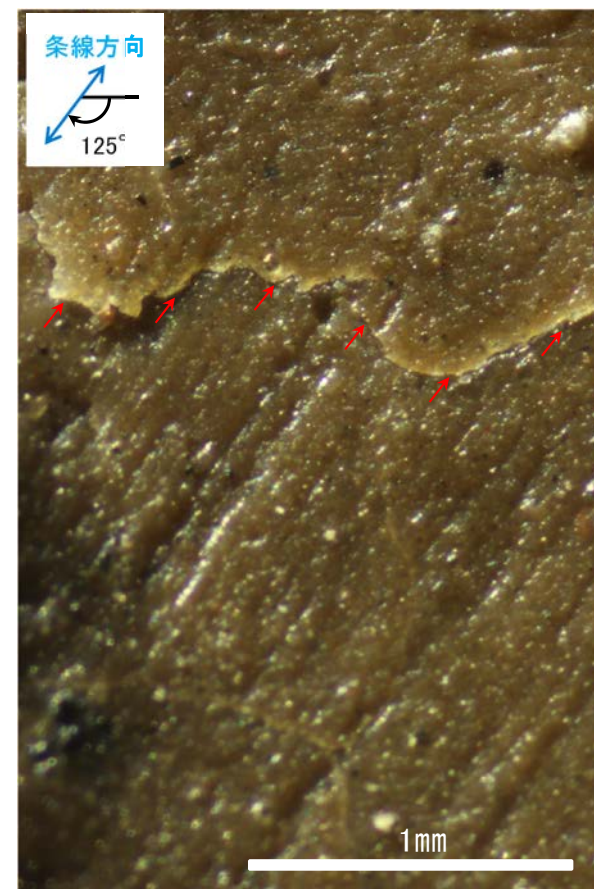
概念図  
 ※走向は真北で示す。



観察面写真



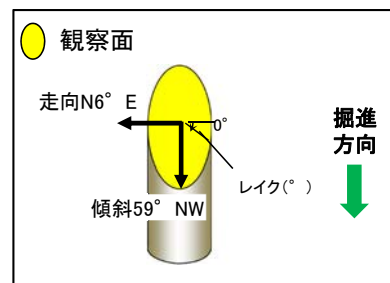
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは125° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス

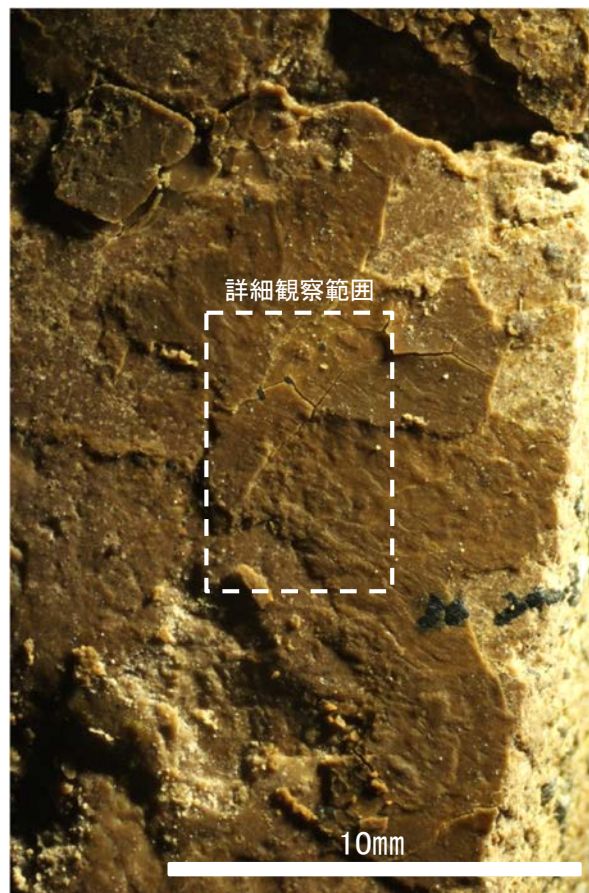
# 条線観察結果(ボーリングL-5.9[深度18.00m])(下盤側)②



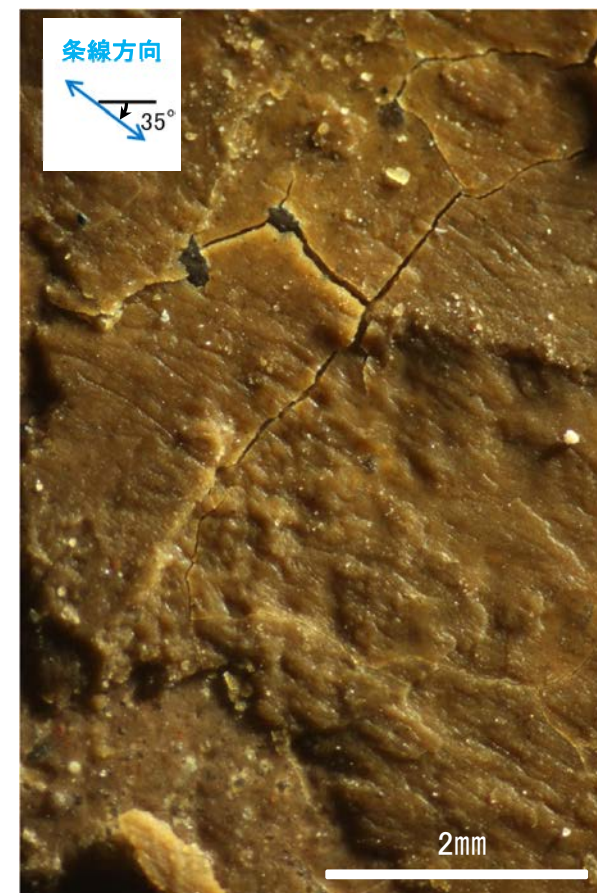
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



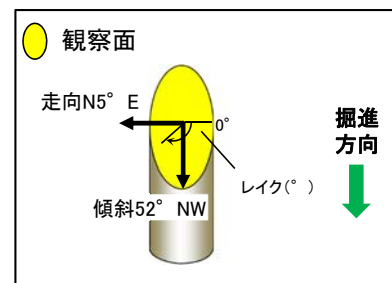
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは35° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果(ボーリングK-6.1[深度31.50m])(下盤側)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



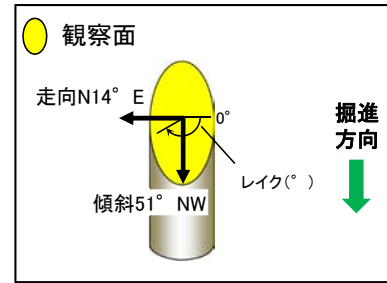
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは100° R, 変位センスは不明

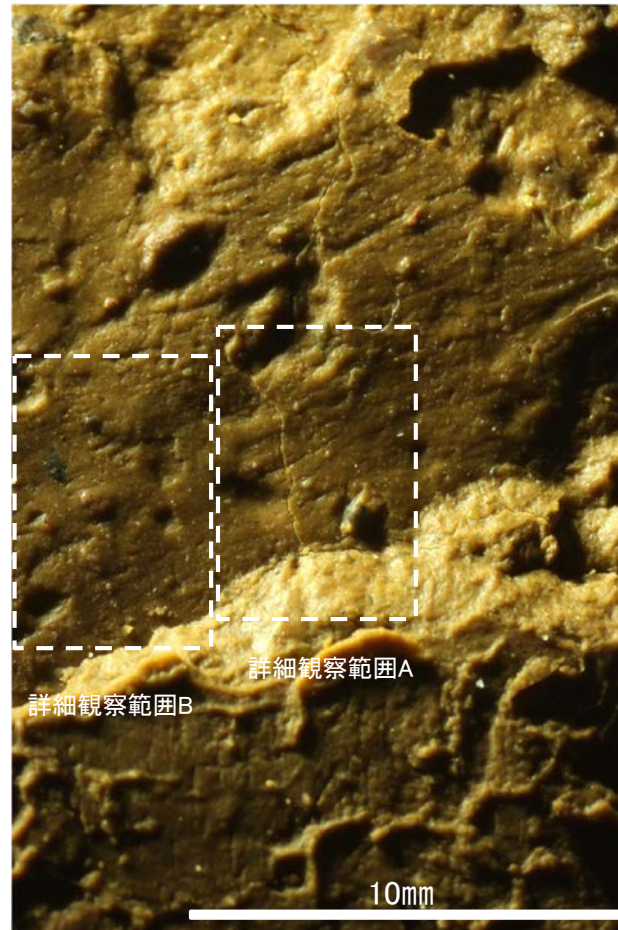
# 条線観察結果(ボーリングF-8.5-1[深度8.66m])(下盤側)①



概念図  
※走向は真北で示す。

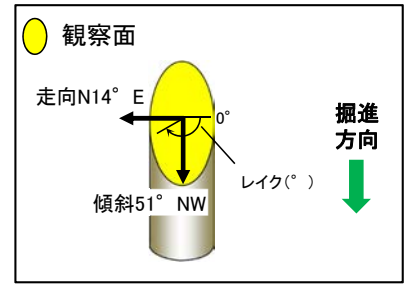


観察面写真

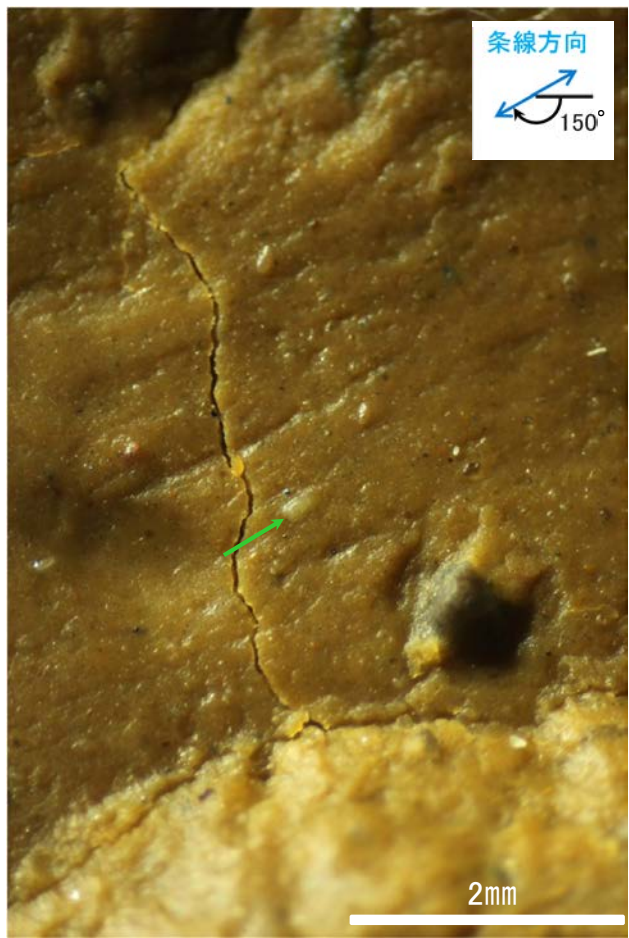
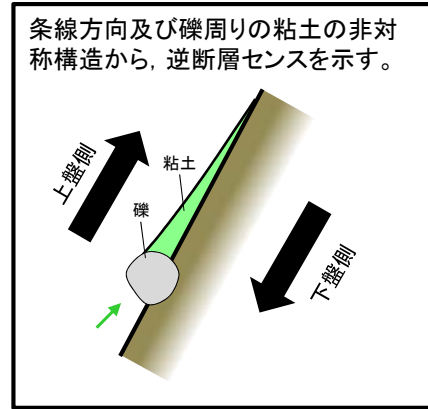


観察面拡大写真

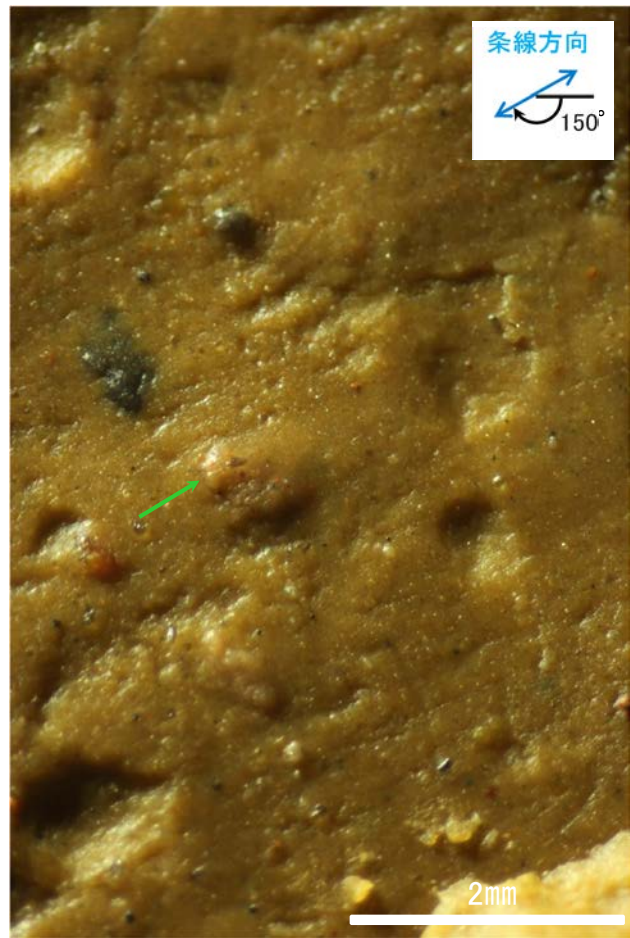
# 条線観察結果(ボーリングF-8.5-1[深度8.66m])(下盤側)②



概念図  
※走向は真北で示す。



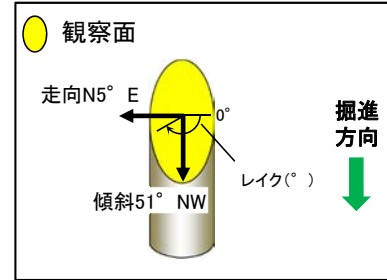
詳細観察写真A



詳細観察写真B

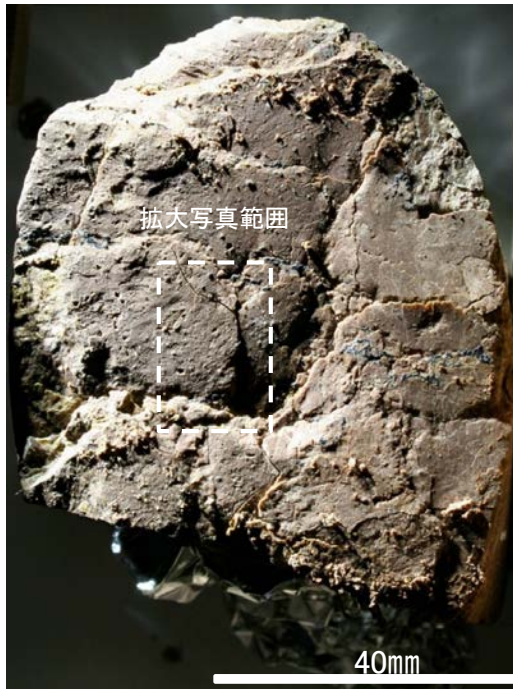
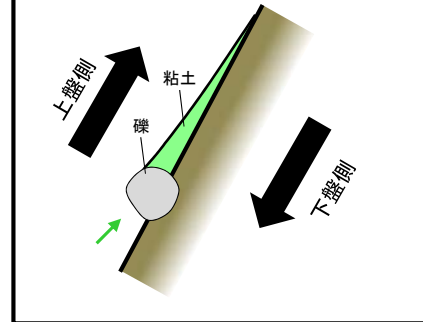
・条線のレイクは150° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス

# 条線観察結果(ボーリングE-8.5-1[深度8.33m])(下盤側)

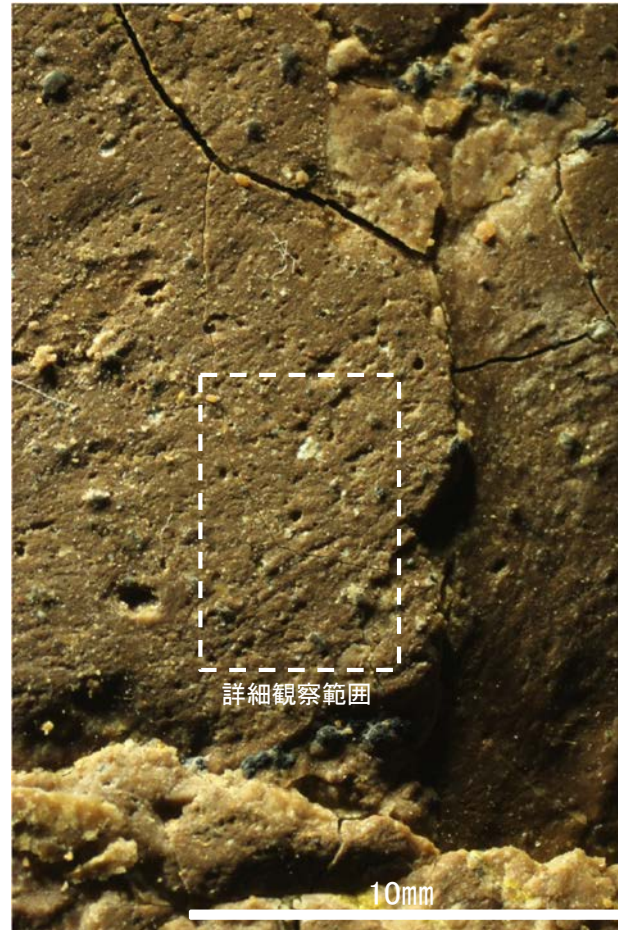


概念図  
※走向は真北で示す。

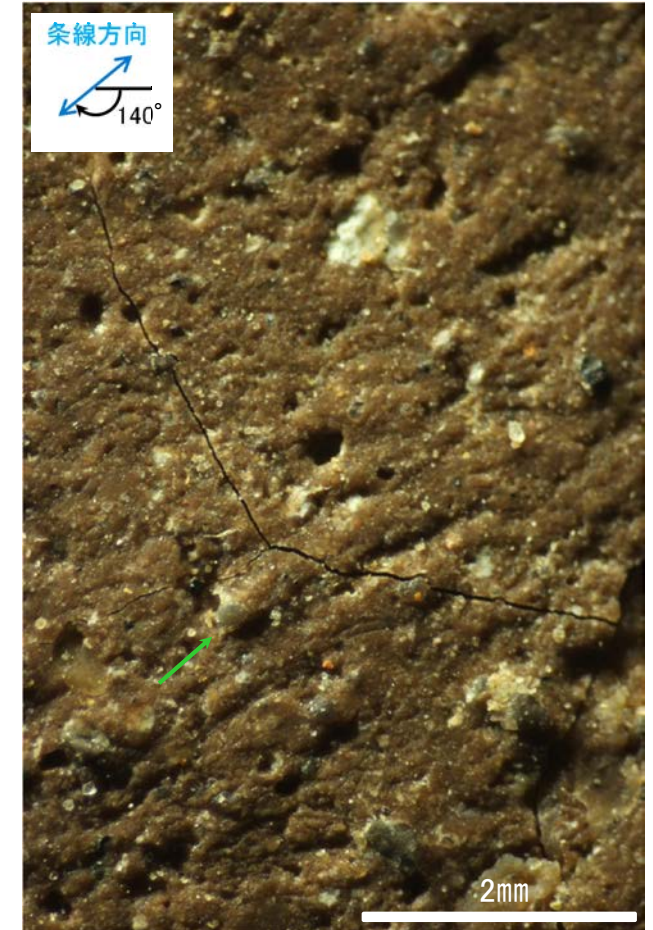
条線方向及び礫周りの粘土の非対称構造から、逆断層センスを示す。



観察面写真



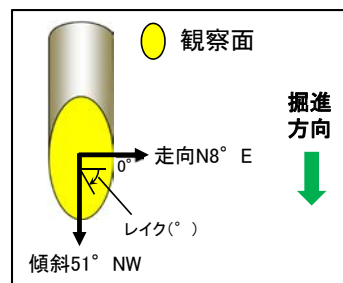
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは140° R, 変位センスは左横ずれ逆断層センス

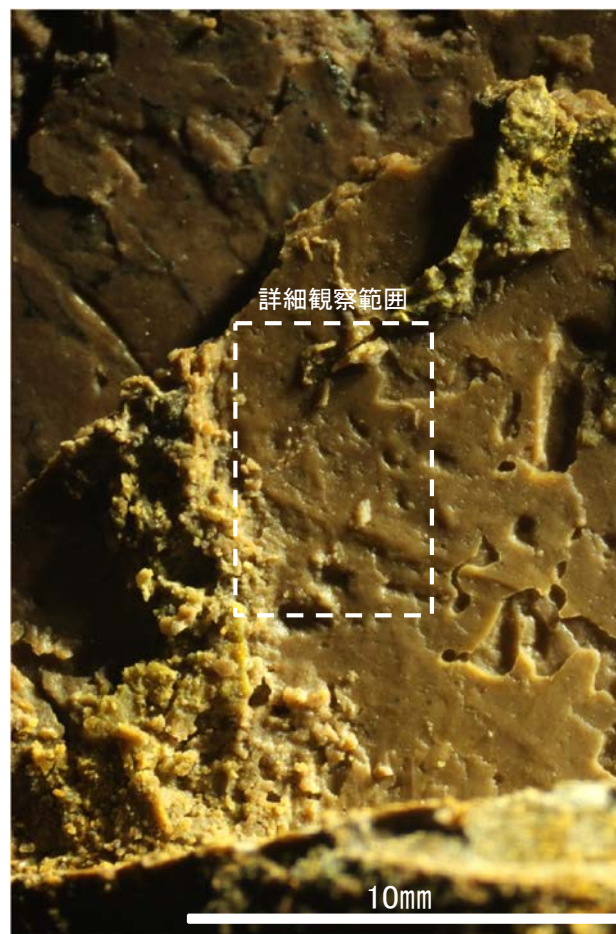
# 条線観察結果(ボーリングE-8.5-2[深度8.55m])(上盤側)



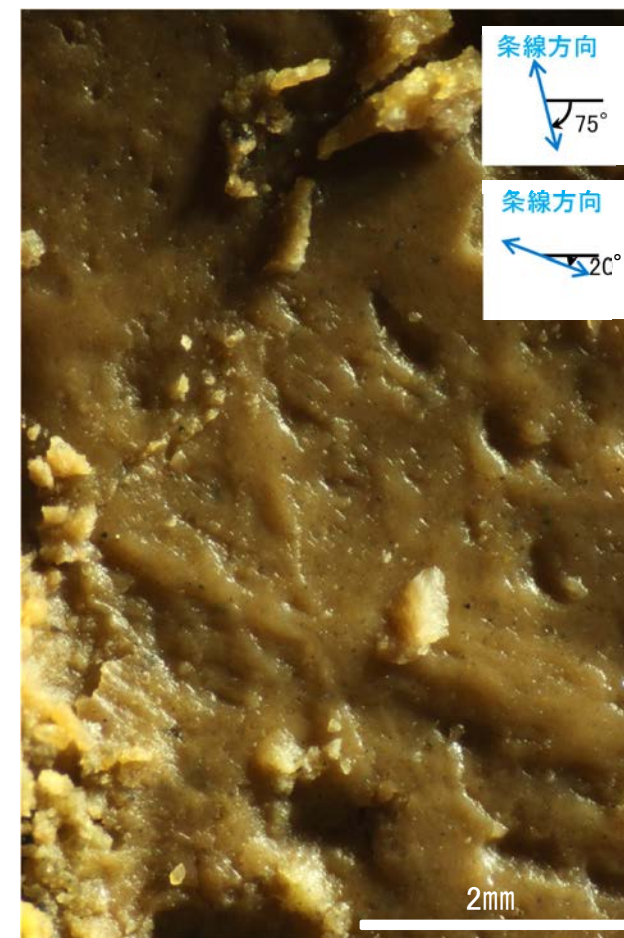
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真

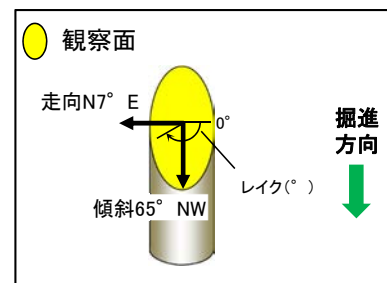


詳細観察写真

・条線のレイクは105° R(下盤側換算), 160° R(下盤側換算), 変位センスは不明



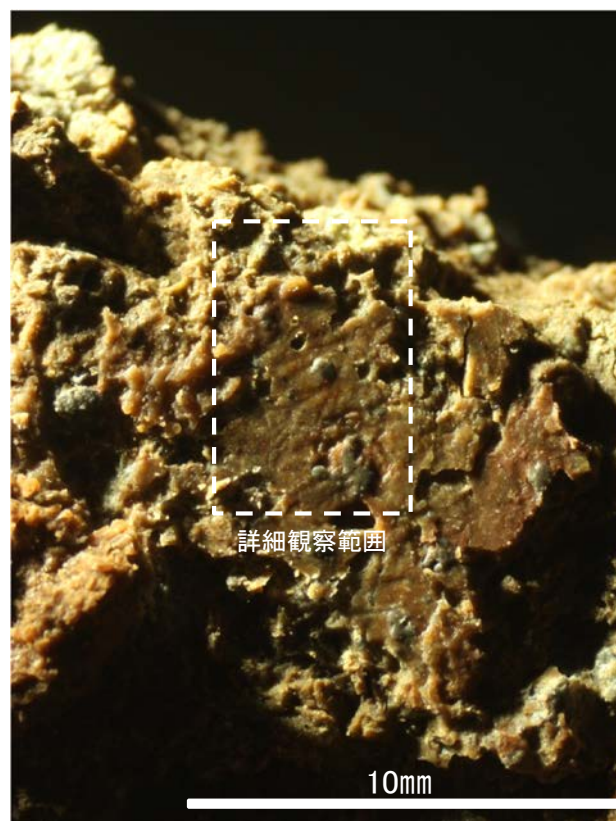
# 条線観察結果(ボーリングE-8.6-1[深度8.52m])(下盤側)



概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



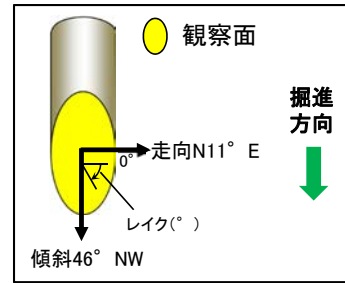
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは145° R, 変位センスは不明

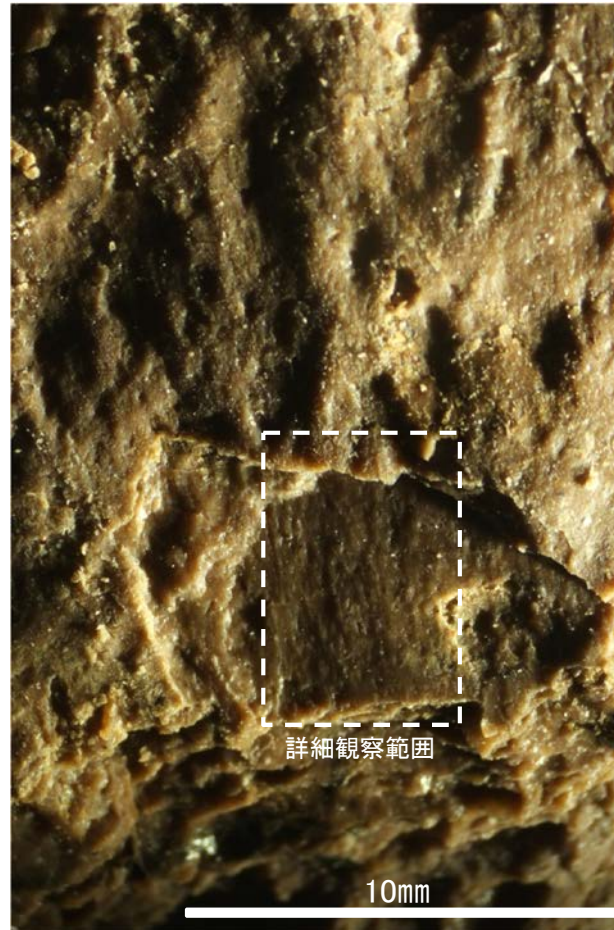
# 条線観察結果(ボーリングE-8.6'[深度11.40m])(上盤側)



概念図  
 ※走向は真北で示す。



観察面写真



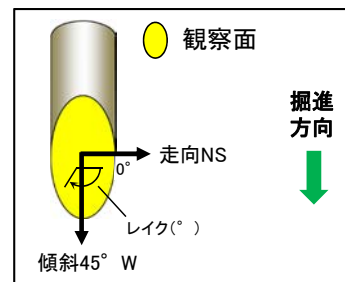
観察面拡大写真



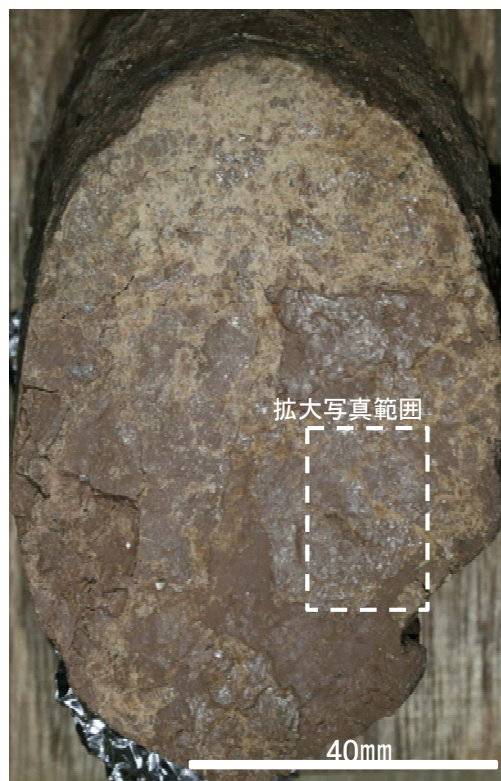
詳細観察写真

・条線のレイクは100° R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果(ボーリングE-8.6[深度11.70m])(上盤側)



概念図  
※走向は真北で示す。



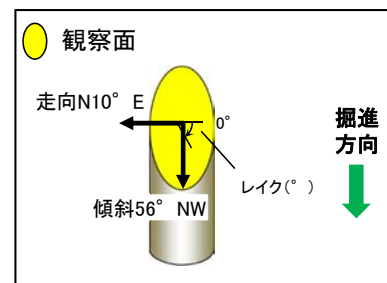
観察面写真



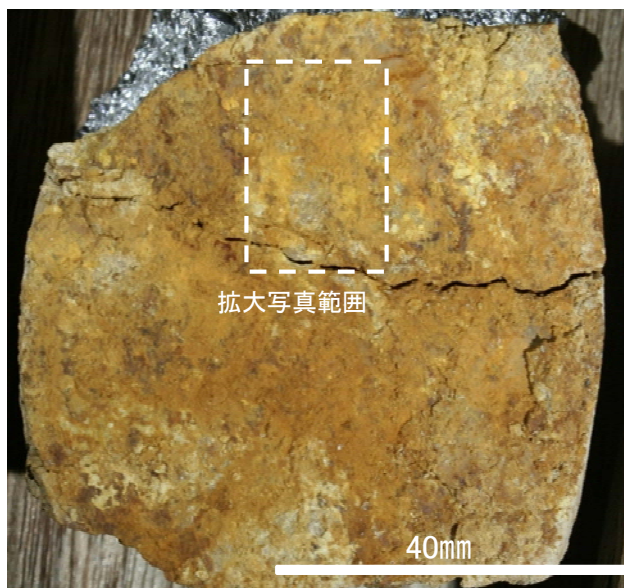
観察面拡大写真

・条線のレイクは50° R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果(ボーリングE-8.7[深度10.09m])(下盤側)



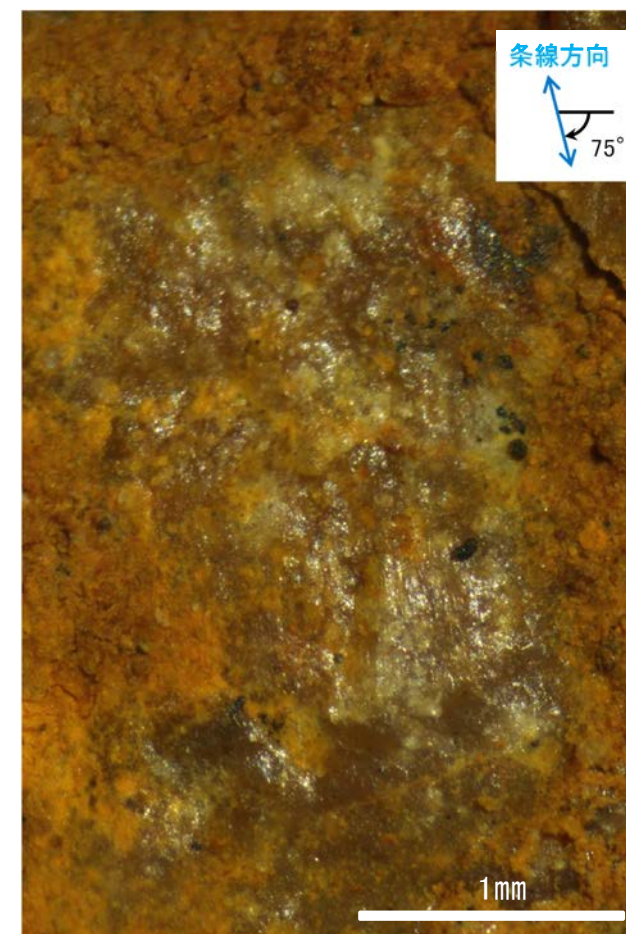
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



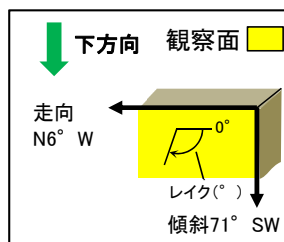
観察面拡大写真



詳細観察写真

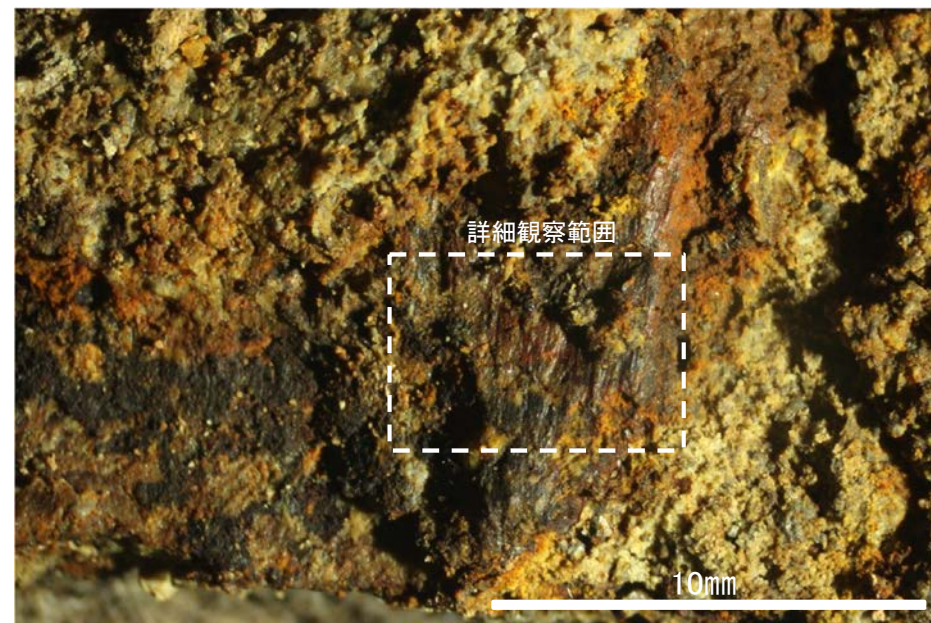
・条線のレイクは75° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 (No.1トレンチ-1) (下盤側)

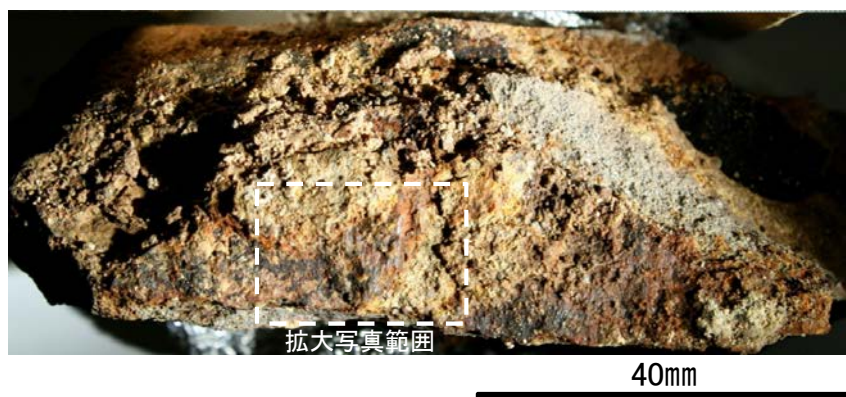


概念図

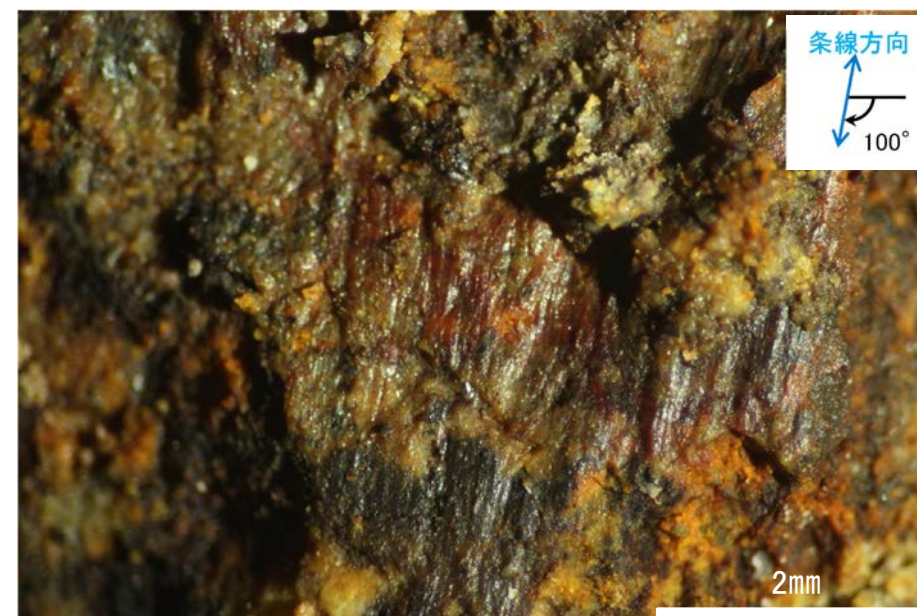
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



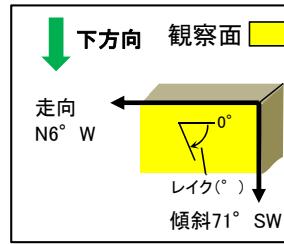
観察面写真



詳細観察写真

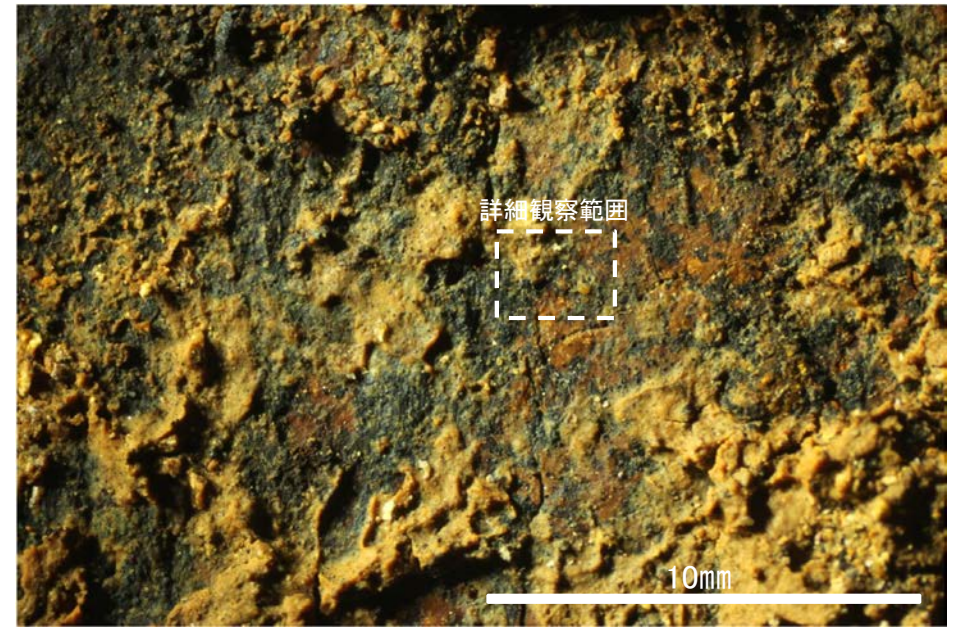
・条線のレイクは100° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 (No.1トレンチ-2) (下盤側) ①



概念図

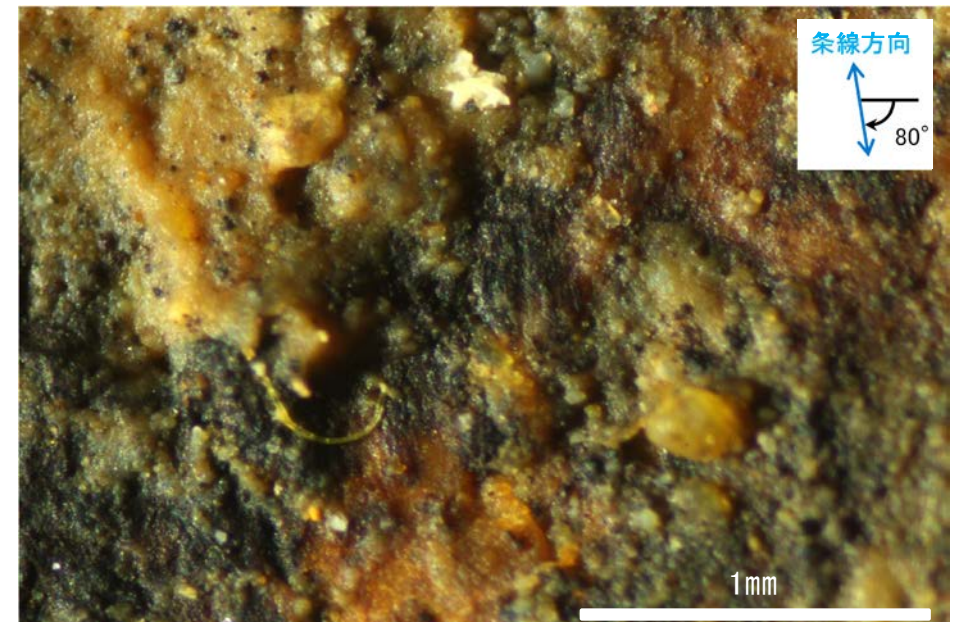
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



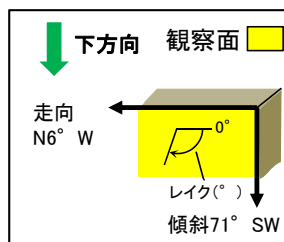
観察面写真



詳細観察写真

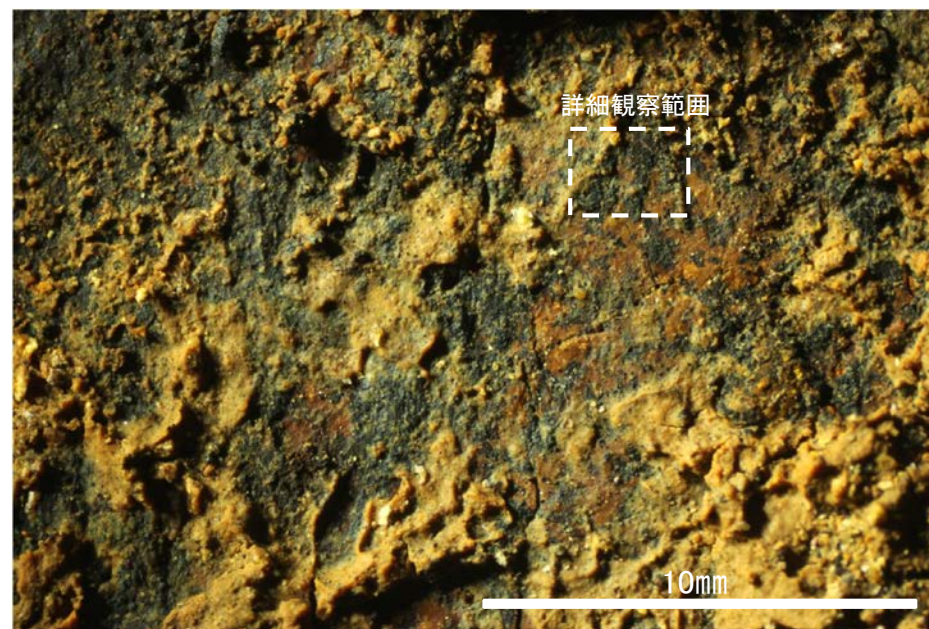
・条線のレイクは80° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 (No.1トレンチ-2) (下盤側) ②



概念図

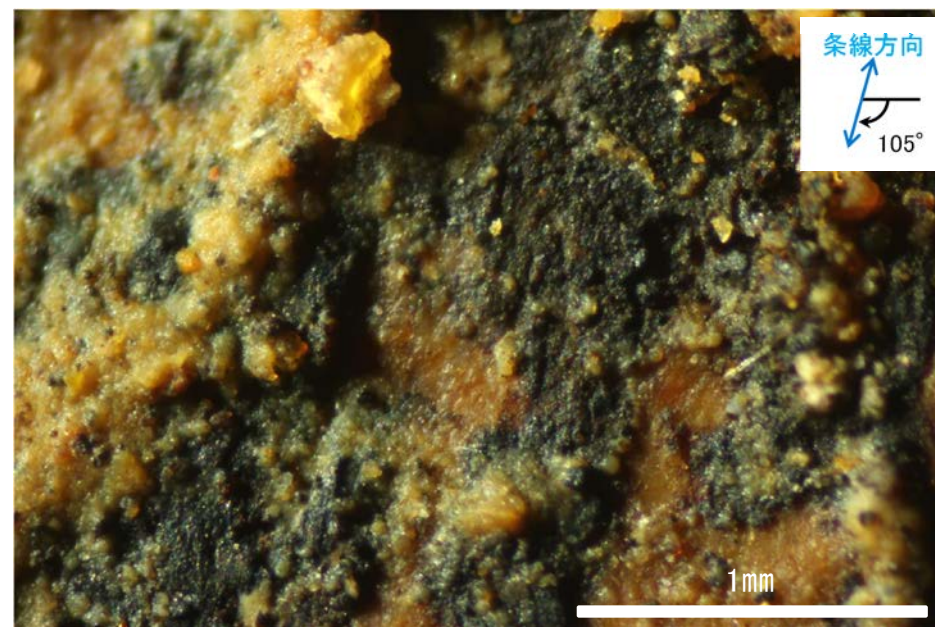
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



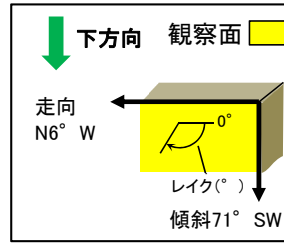
観察面写真



詳細観察写真

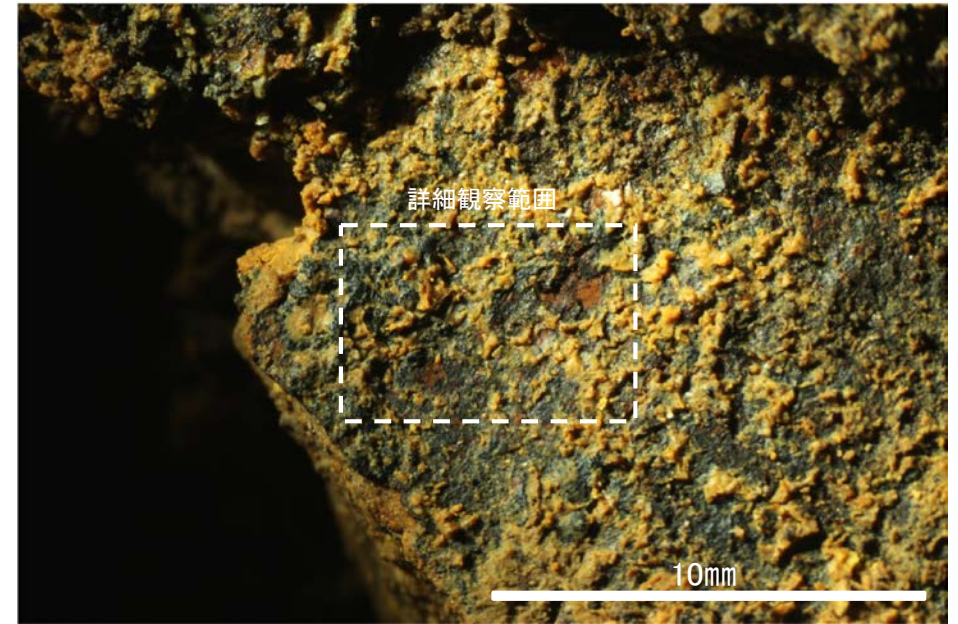
・条線のレイクは $105^\circ$  R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 (No.1トレンチ-2) (下盤側) ③

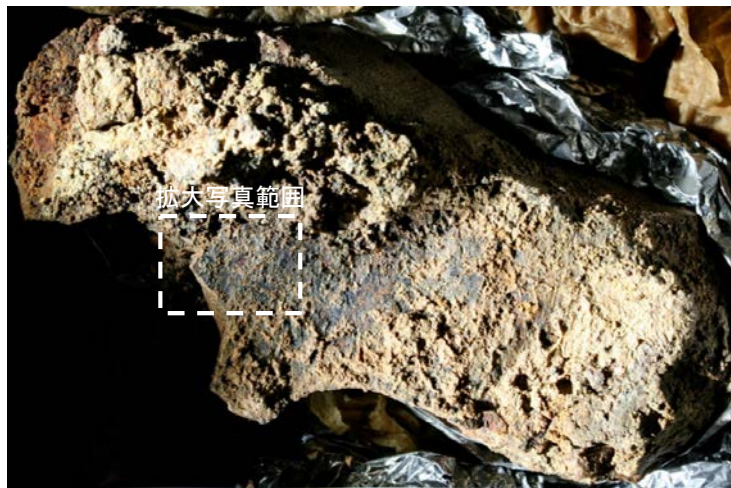


概念図

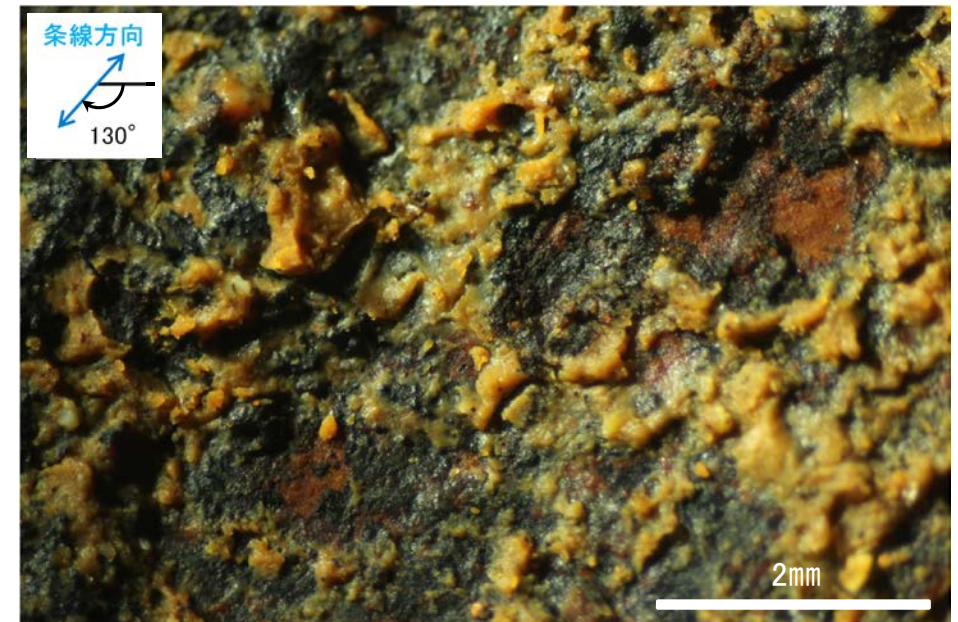
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



観察面写真

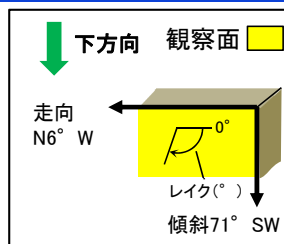


詳細観察写真

・条線のレイクは130° R, 変位センスは不明

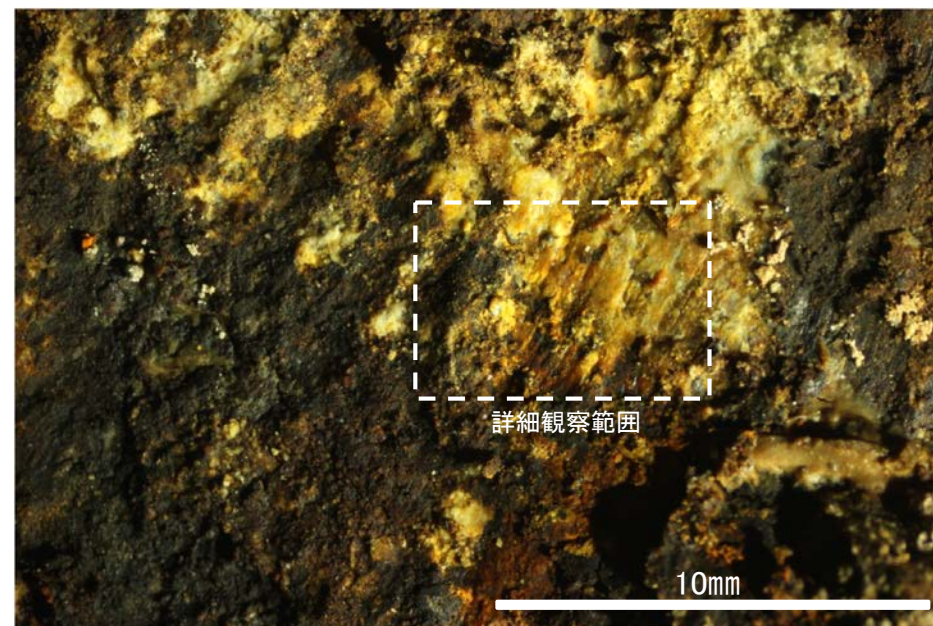


# 条線観察結果 (No.1トレンチ) (下盤側)

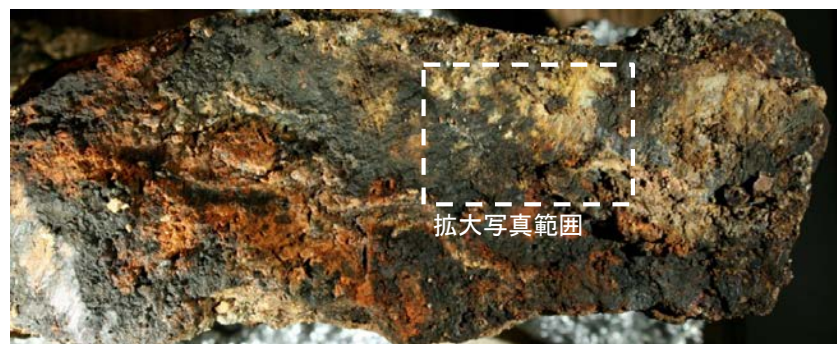


概念図

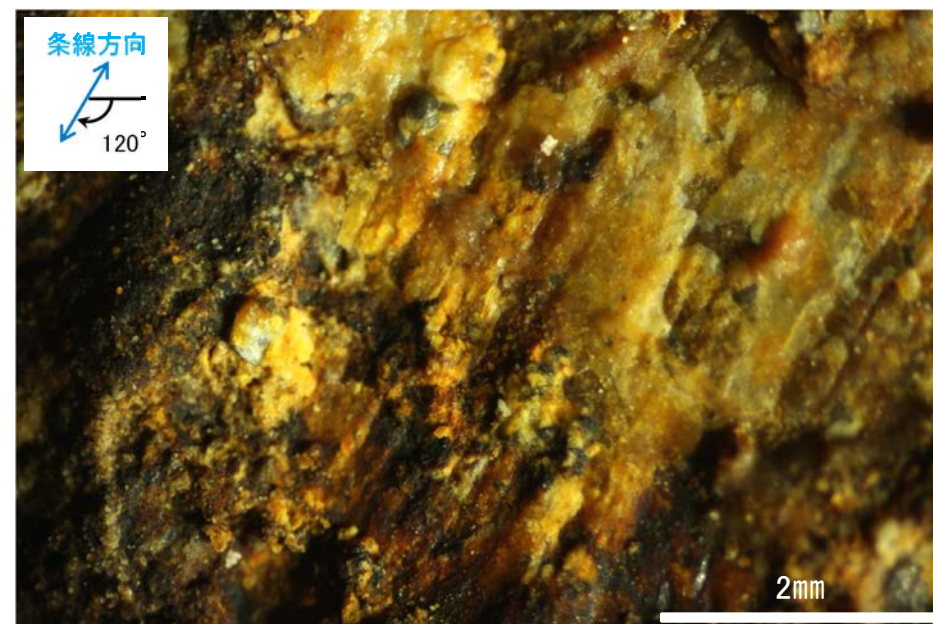
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



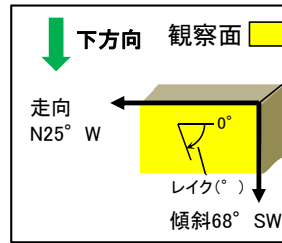
観察面写真



詳細観察写真

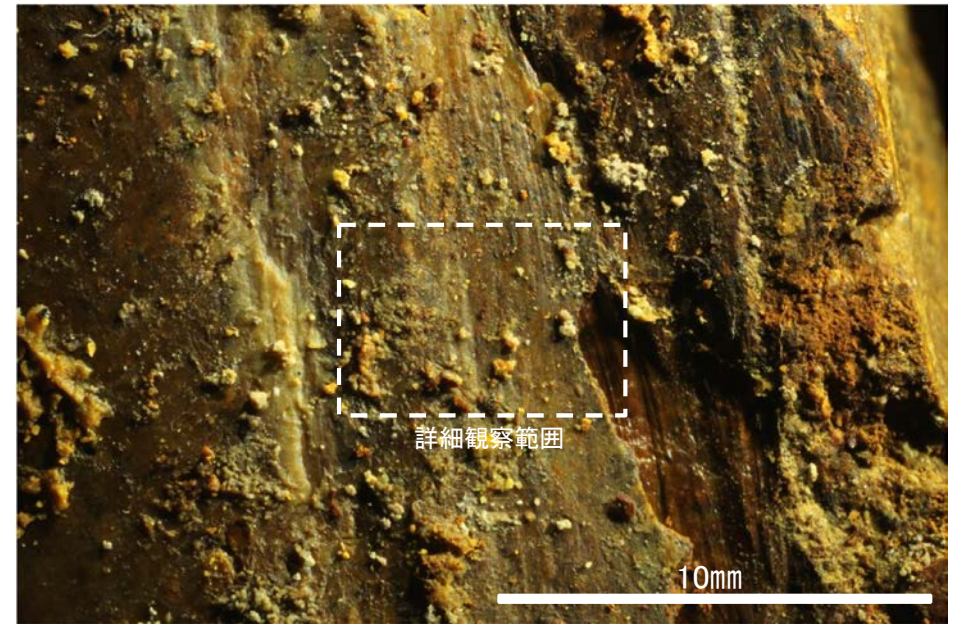
・条線のレイクは120° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 (No.2トレンチ) (下盤側) ①



概念図

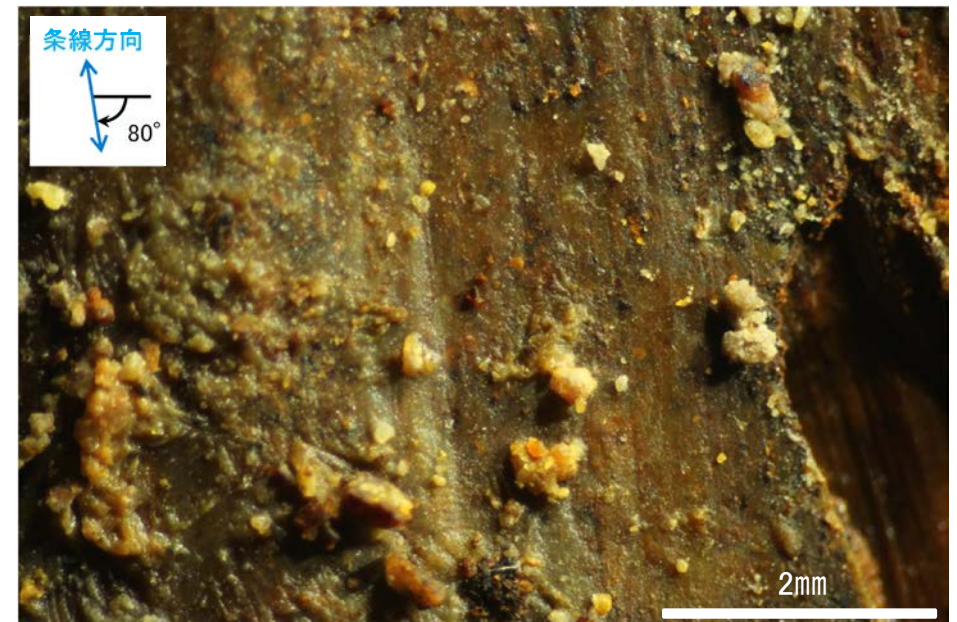
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真

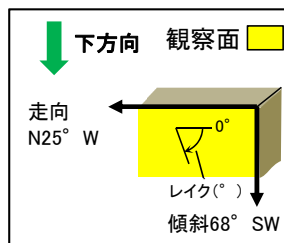


観察面写真



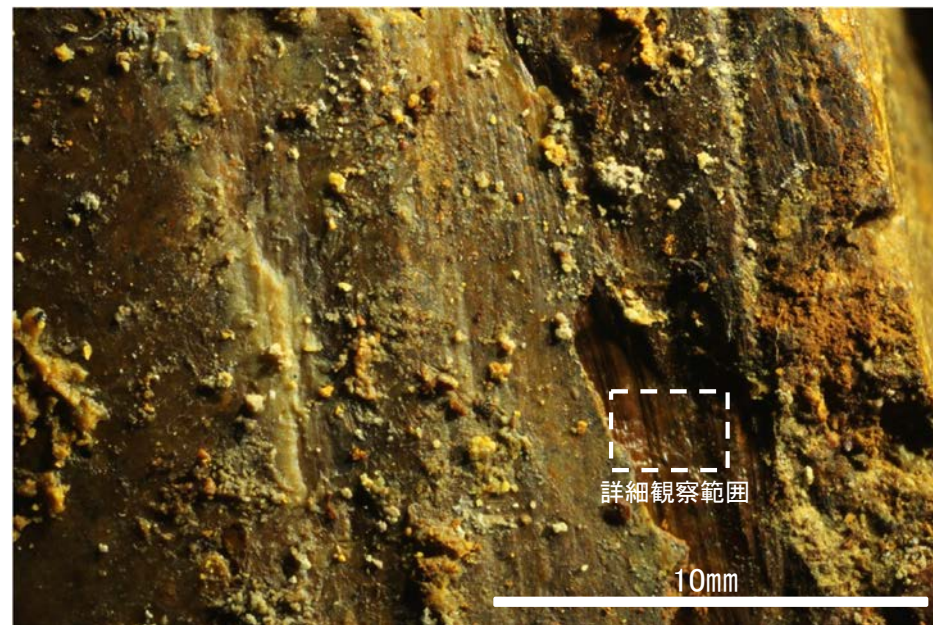
詳細観察写真

# 条線観察結果 (No.2トレンチ) (下盤側) ②



概念図

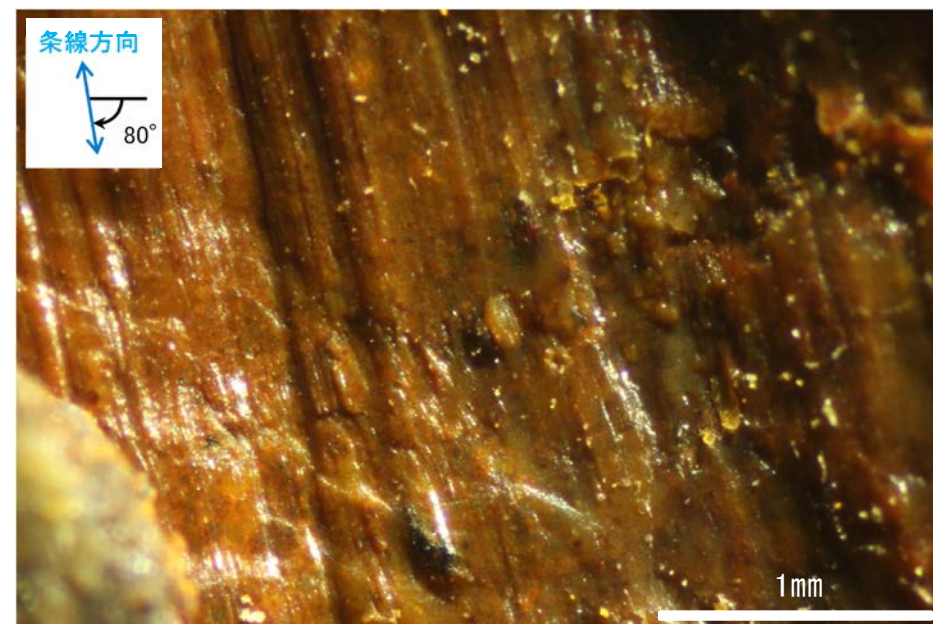
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



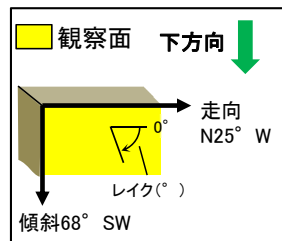
観察面写真



詳細観察写真

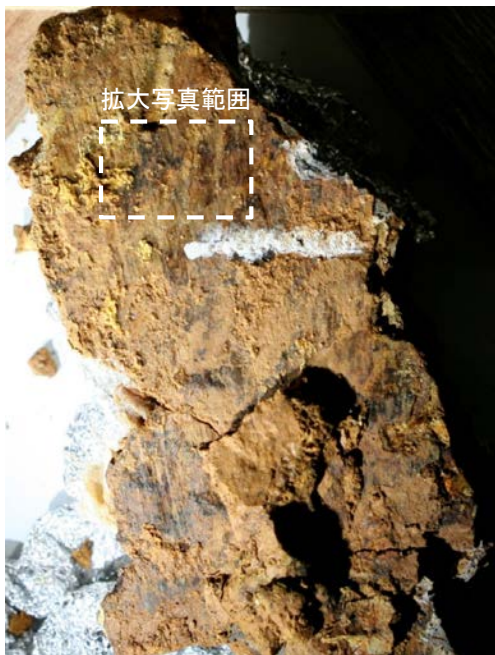
・条線のレイクは80° R, 変位センスは不明

# 条線観察結果 (No.2トレンチ-1) (上盤側)



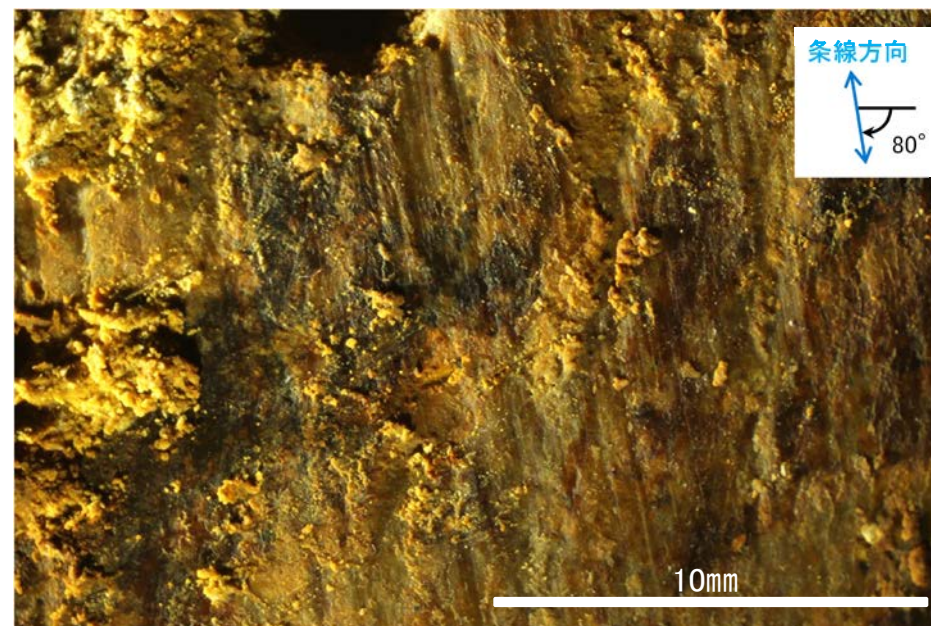
概念図

※走向は真北で示す。



60mm

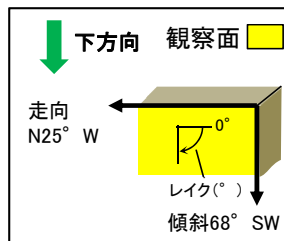
観察面写真



観察面拡大写真

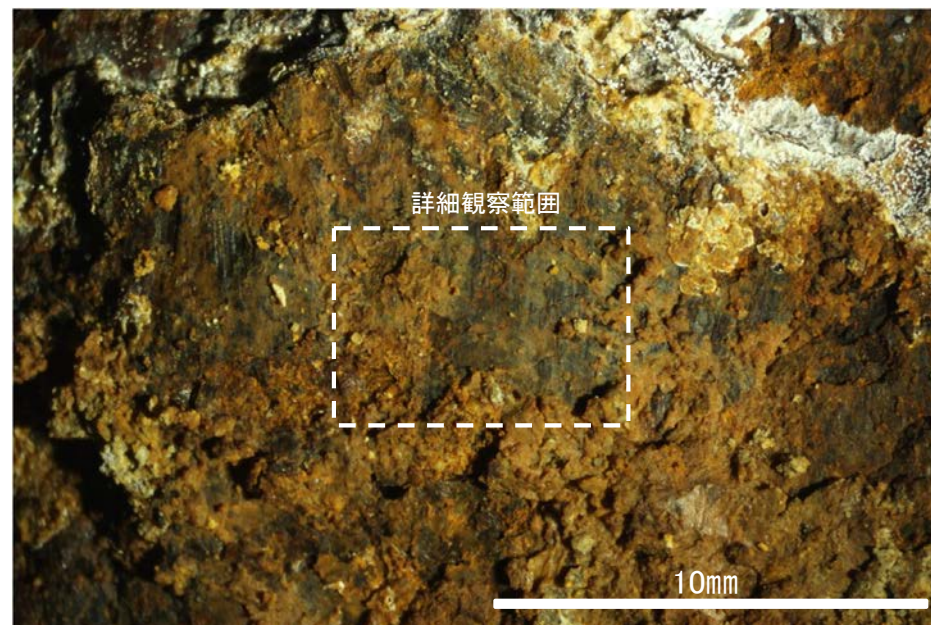
・条線のレイクは $100^{\circ}$  R(下盤側換算), 変位センスは不明

# 条線観察結果 (No.2トレンチ-2) (下盤側)

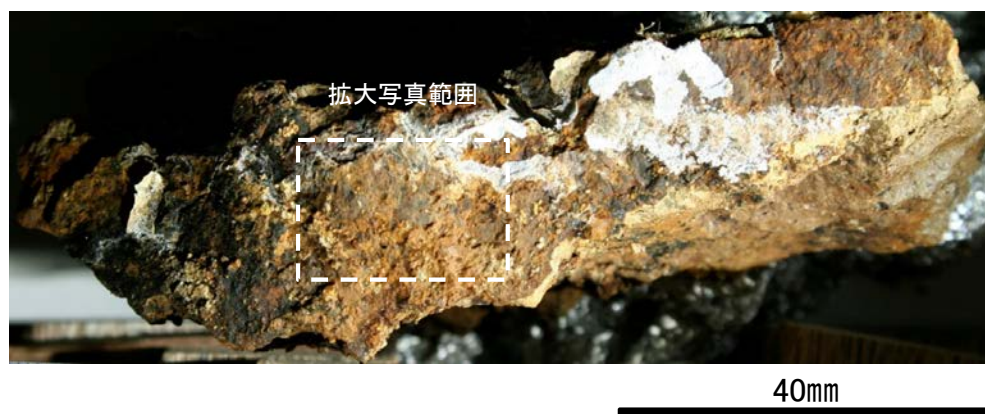


概念図

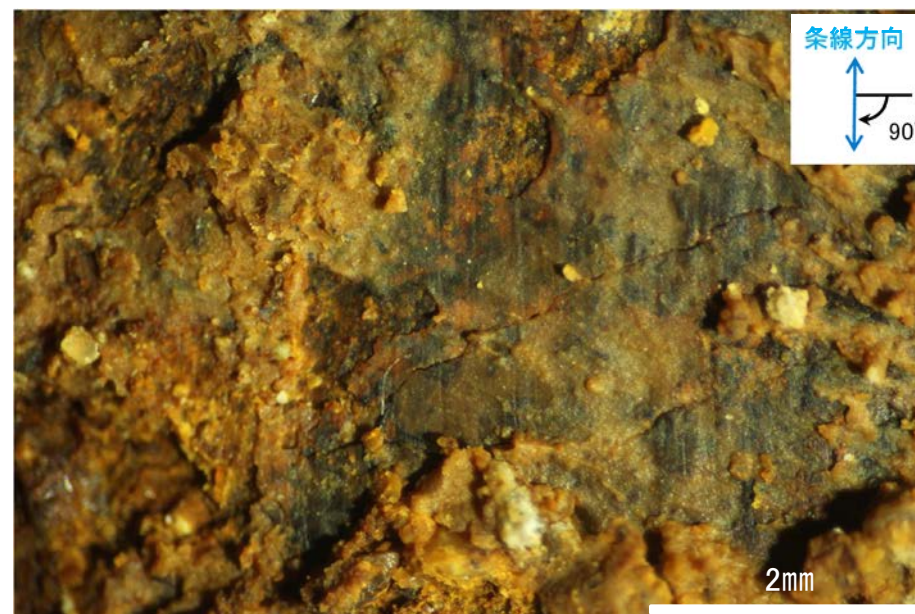
※走向は真北で示す。



観察面拡大写真



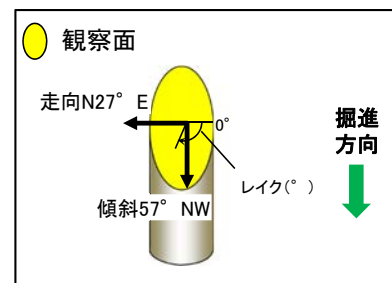
観察面写真



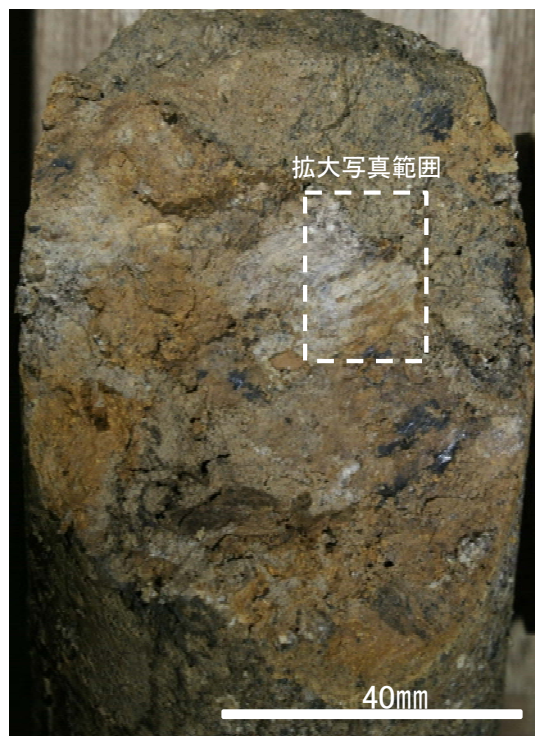
詳細観察写真

・条線のレイクは90° R, 変位センスは不明

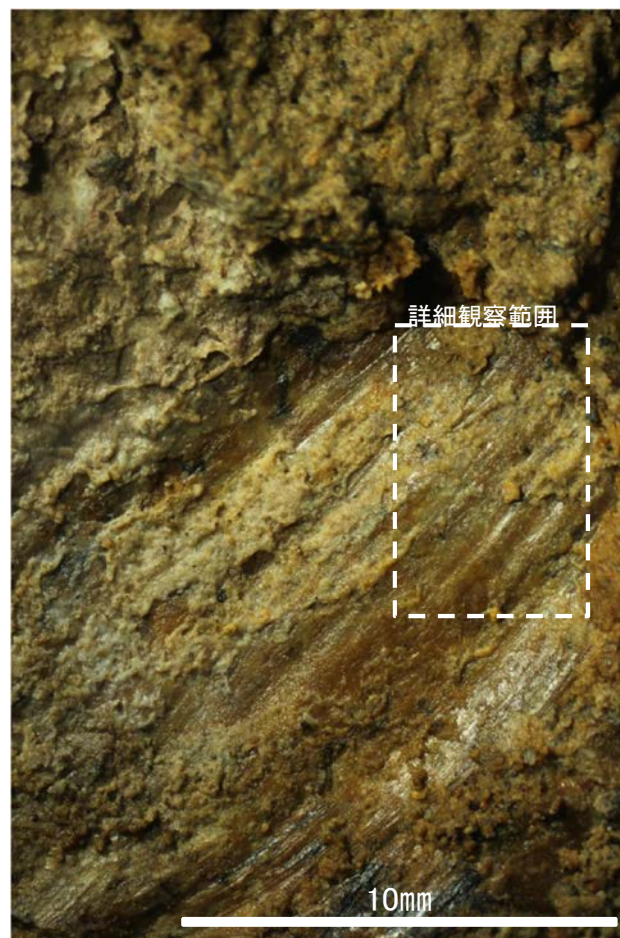
# 条線観察結果(ボーリングC-9.1[深度10.82m])(下盤側)



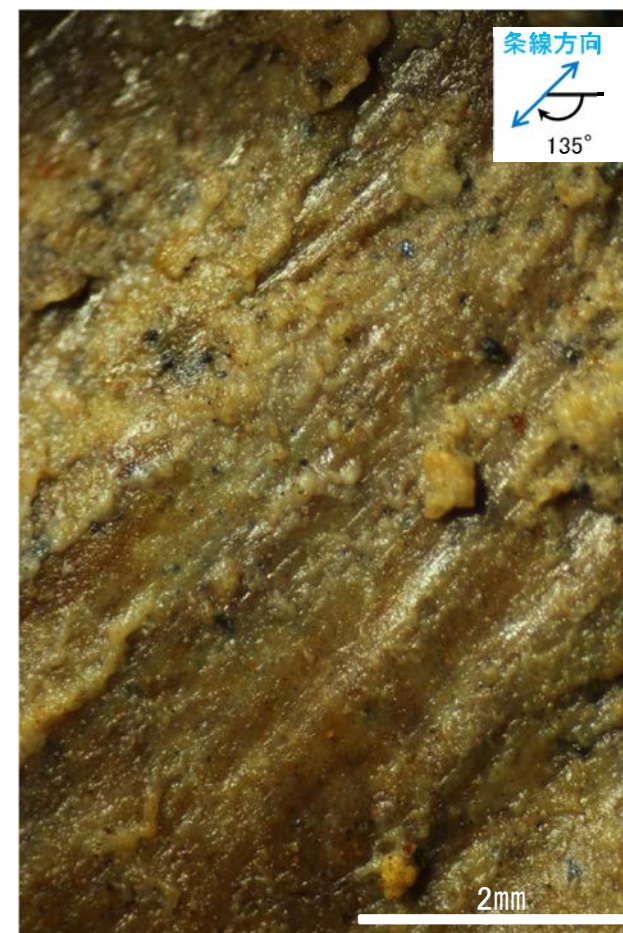
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



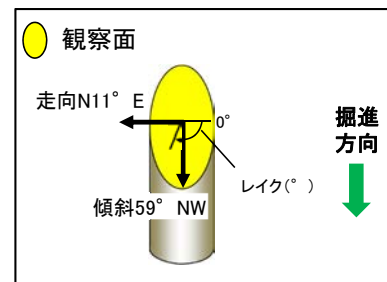
観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは135° R, 変位センスは不明

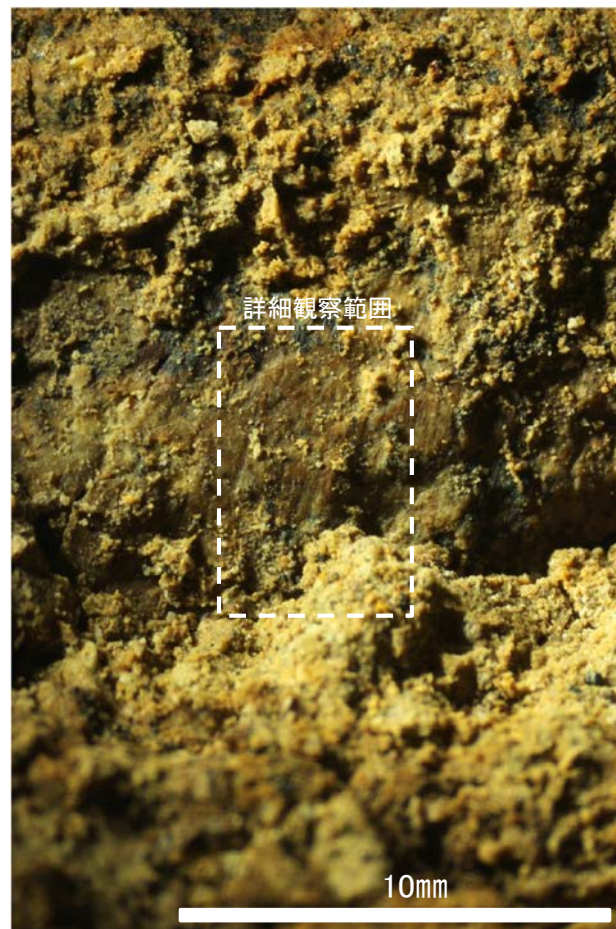
# 条線観察結果(ボーリングC-9.1-1[深度10.67m])(下盤側)



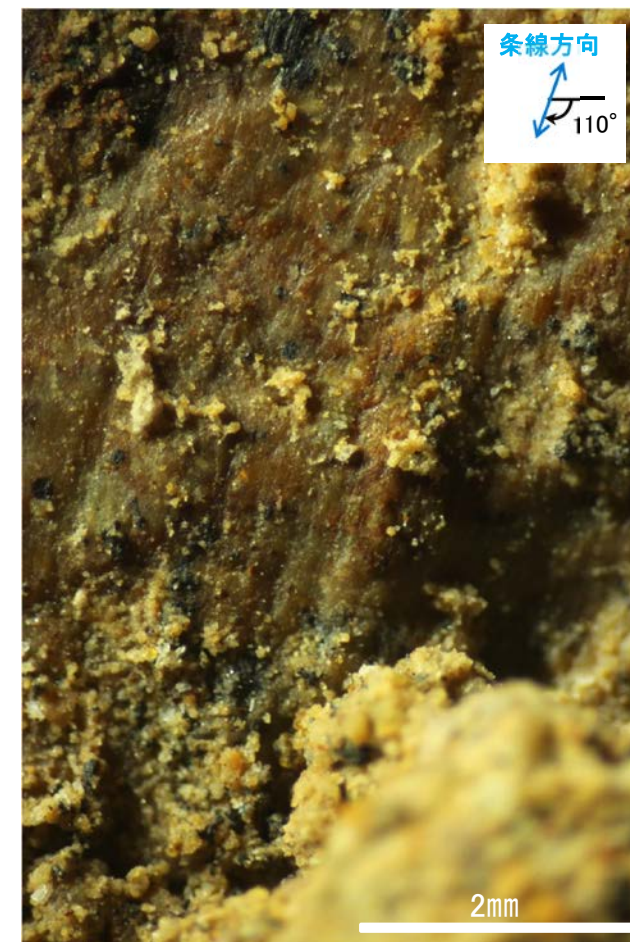
概念図  
 ※走向は真北で示す。



観察面写真



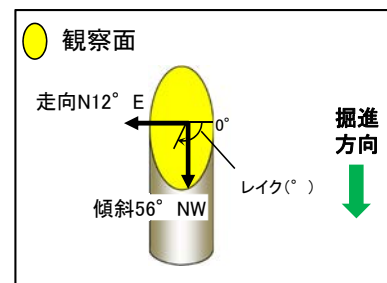
観察面拡大写真



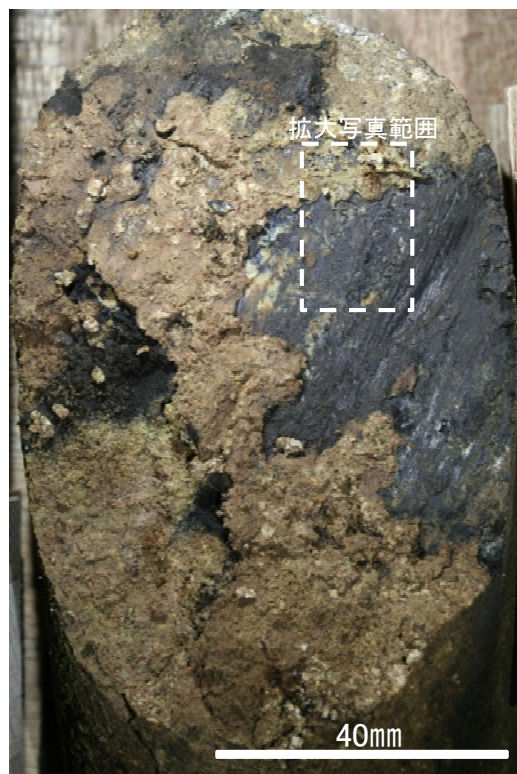
詳細観察写真

・条線のレイクは110° R, 変位センスは不明

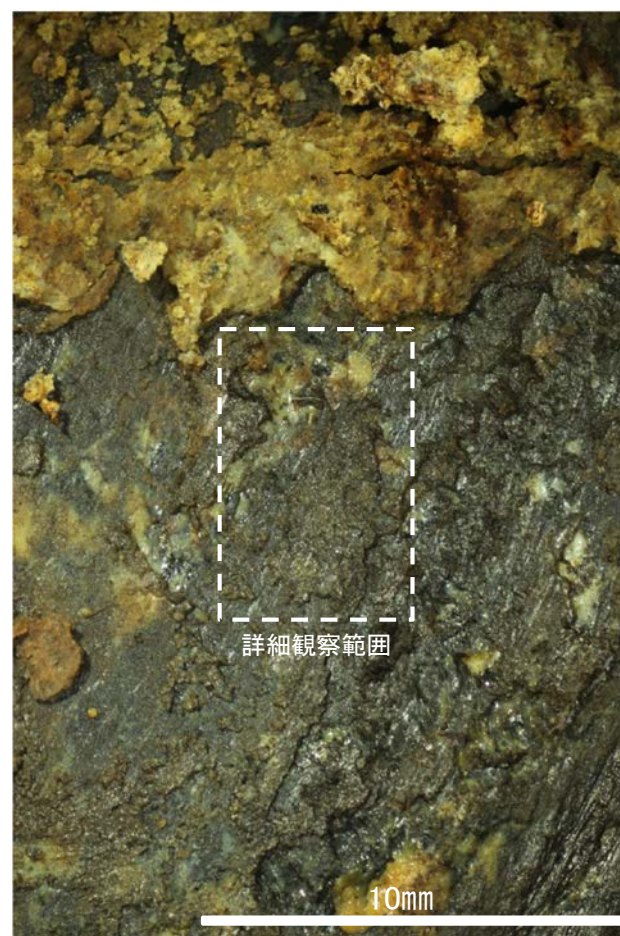
# 条線観察結果(ボーリングC-9.2[深度10.56m])(下盤側)



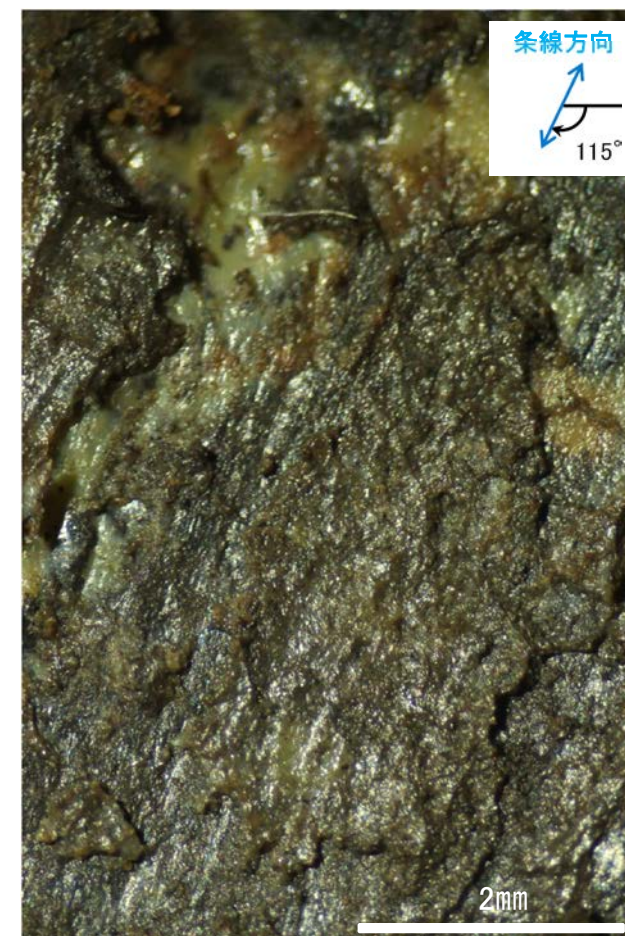
概念図  
※走向は真北で示す。



観察面写真



観察面拡大写真



詳細観察写真

・条線のレイクは115° R, 変位センスは不明



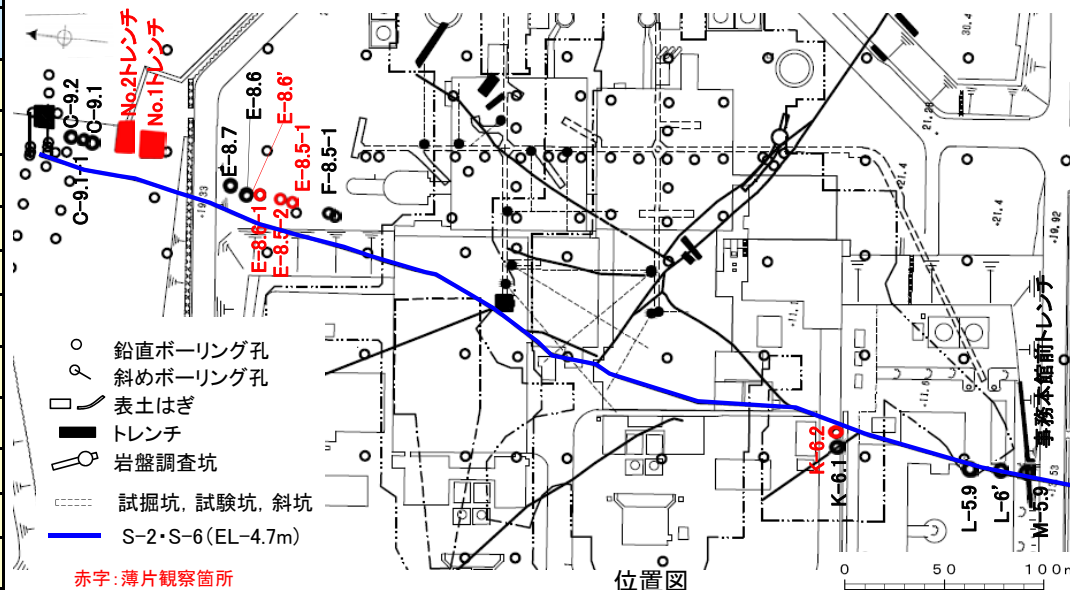
---

## (2) 薄片觀察結果

# S-2・S-6の薄片観察結果

試料名	走向/傾斜 (走向は真北)	条線観察結果		薄片観察結果	
		条線の レイク※	変位センス	薄片番号	変位センス
ボーリングM-5.9 (深度7.80m)	下盤側 N3° E/60° NW	80° R	右横ずれ逆断層	-	-
事務本館前トレンチ	下盤側 N12° E/70° NW	140° R	(不明)	-	-
ボーリングL-6' (深度13.82m)	下盤側 N12° E/58° NW	120° R	左横ずれ逆断層	-	-
ボーリングL-5.9 (深度18.00m)	下盤側 N6° E/59° NW	125° R	左横ずれ逆断層	-	-
		35° R	(不明)	-	-
ボーリングK-6.1 (深度31.50m)	下盤側 N5° E/52° NW	100° R	(不明)	K-6.2_100R	左横ずれ逆断層
ボーリングF-8.5-1 (深度8.66m)	下盤側 N14° E/51° NW	150° R	左横ずれ逆断層	-	-
ボーリングE-8.5-1 (深度8.33m)	下盤側 N5° E/51° NW	140° R	左横ずれ逆断層	E-8.5-1_140R	左横ずれ逆断層
ボーリングE-8.5-2 (深度8.55m)	上盤側 N8° E/51° NW	105° R	(不明)	E-8.5-2_105R	(不明)
		160° R	(不明)	E-8.5-2_160R	左横ずれ逆断層
ボーリングE-8.6-1 (深度8.52m)	下盤側 N7° E/65° NW	145° R	(不明)	E-8.6-1_145R	左横ずれ逆断層
ボーリングE-8.6' (深度11.40m)	上盤側 N11° E/46° NW	100° R	(不明)	E-8.6'_100R	左横ずれ逆断層
ボーリングE-8.6 (深度11.70m)	上盤側 NS/45° W	50° R	(不明)	-	-
ボーリングE-8.7 (深度10.09m)	下盤側 N10° E/56° NW	75° R	(不明)	-	-
No.1トレンチ-1	下盤側 N6° W/71° SW	100° R	(不明)	-	-
No.1トレンチ-2	下盤側 N6° W/71° SW	80° R	(不明)	-	-
		105° R	(不明)	-	-
		130° R	(不明)	-	-
No.1トレンチ	下盤側 N6° W/71° SW	120° R	(不明)	No.1トレンチ_120R_TE1	(不明)
No.2トレンチ	下盤側 N25° W/68° SW	80° R	(不明)	No.2トレンチ_80R_TE2	(不明)
No.2トレンチ-1	上盤側 N25° W/68° SW	100° R	(不明)	-	-
No.2トレンチ-2	下盤側 N25° W/68° SW	90° R	(不明)	-	-
ボーリングC-9.1 (深度10.82m)	下盤側 N27° E/57° NW	135° R	(不明)	-	-
ボーリングC-9.1-1 (深度10.67m)	下盤側 N11° E/59° NW	110° R	(不明)	-	-
ボーリングC-9.2 (深度10.56m)	下盤側 N12° E/56° NW	115° R	(不明)	-	-

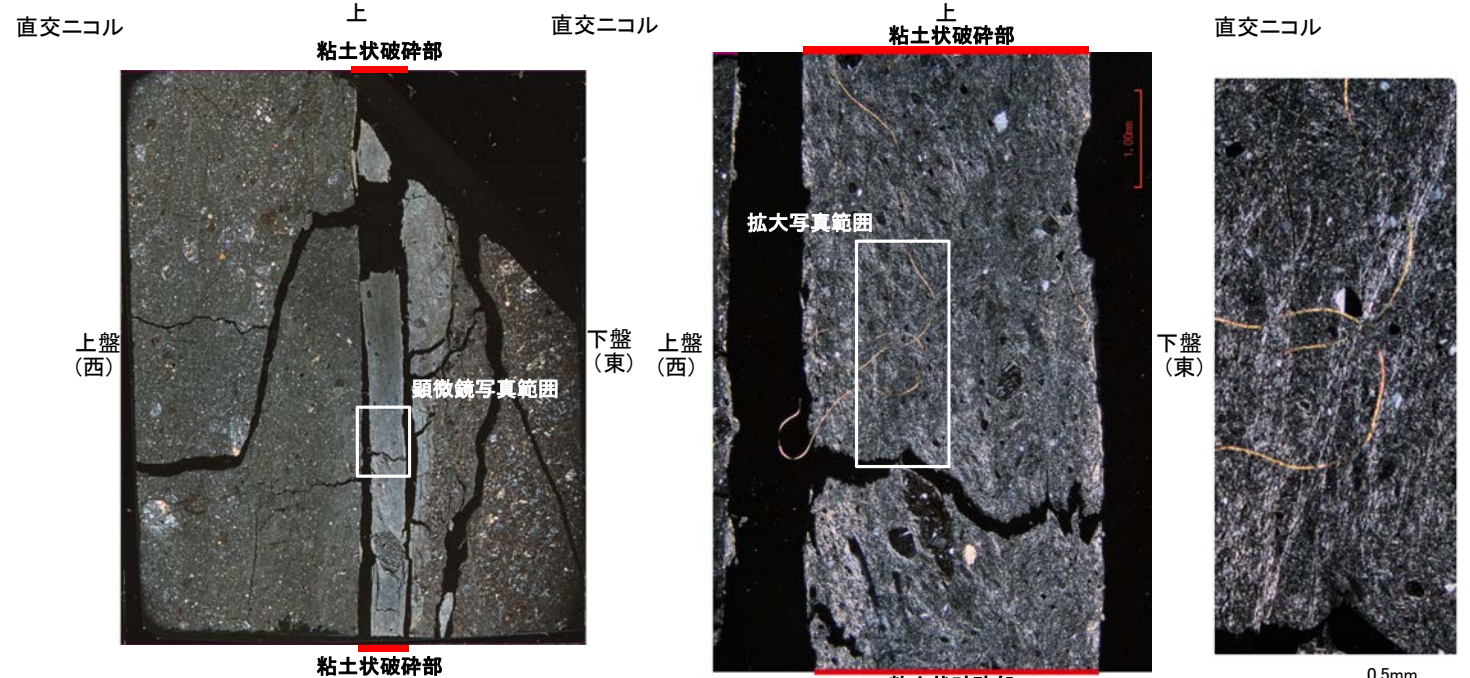
※ 上盤側で確認したレイクは下盤側に換算して示す。



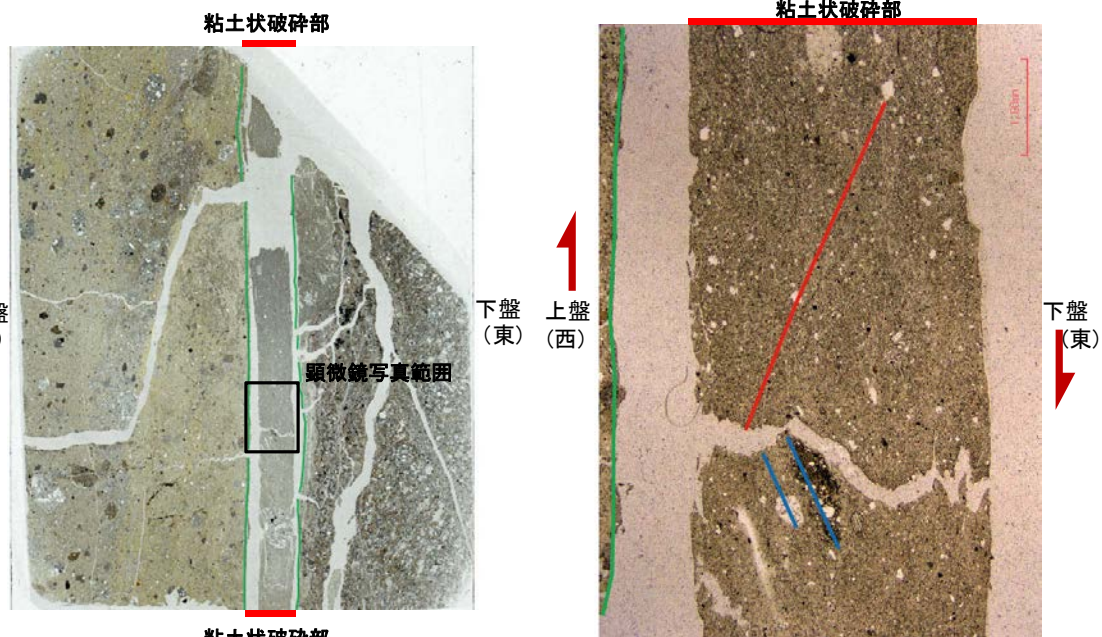
・変位センスが判読できるものは全て逆断層センスであり, 条線のレイクを考慮すると, S-2・S-6の運動方向は概ね左横ずれ逆断層センスとなる。

# 薄片観察結果 (K-6.2\_100R)

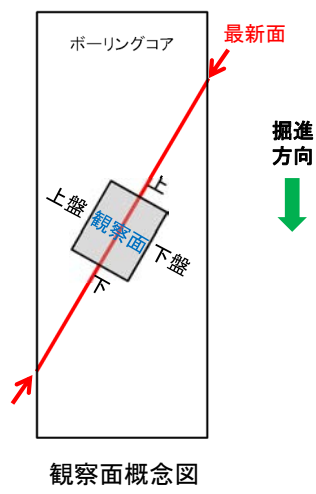
■ 条線観察結果を踏まえ、100° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。



単ニコル (構造等を加筆) 1cm 単ニコル (構造等を加筆)



粘土状破碎部 顕微鏡写真範囲 1mm 粘土状破碎部 顕微鏡写真範囲 1mm



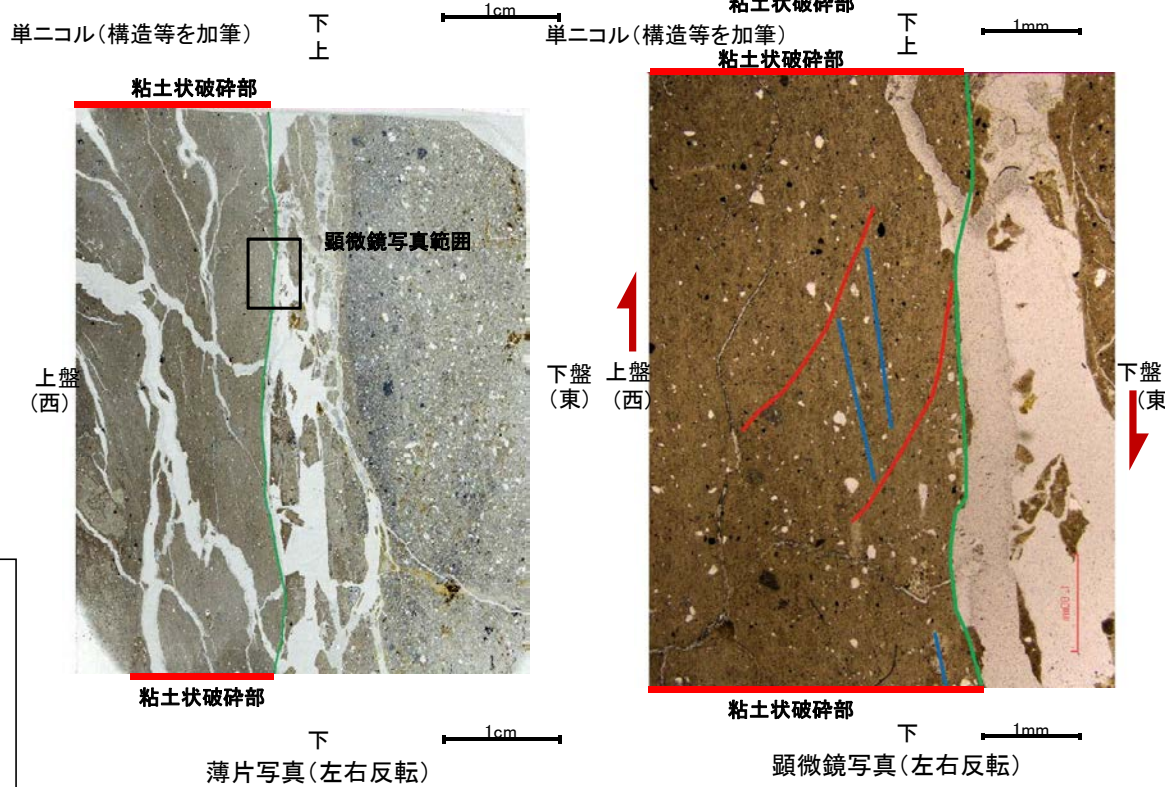
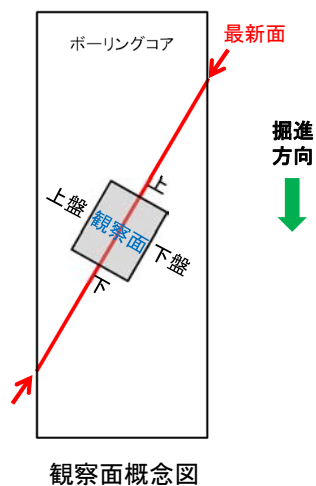
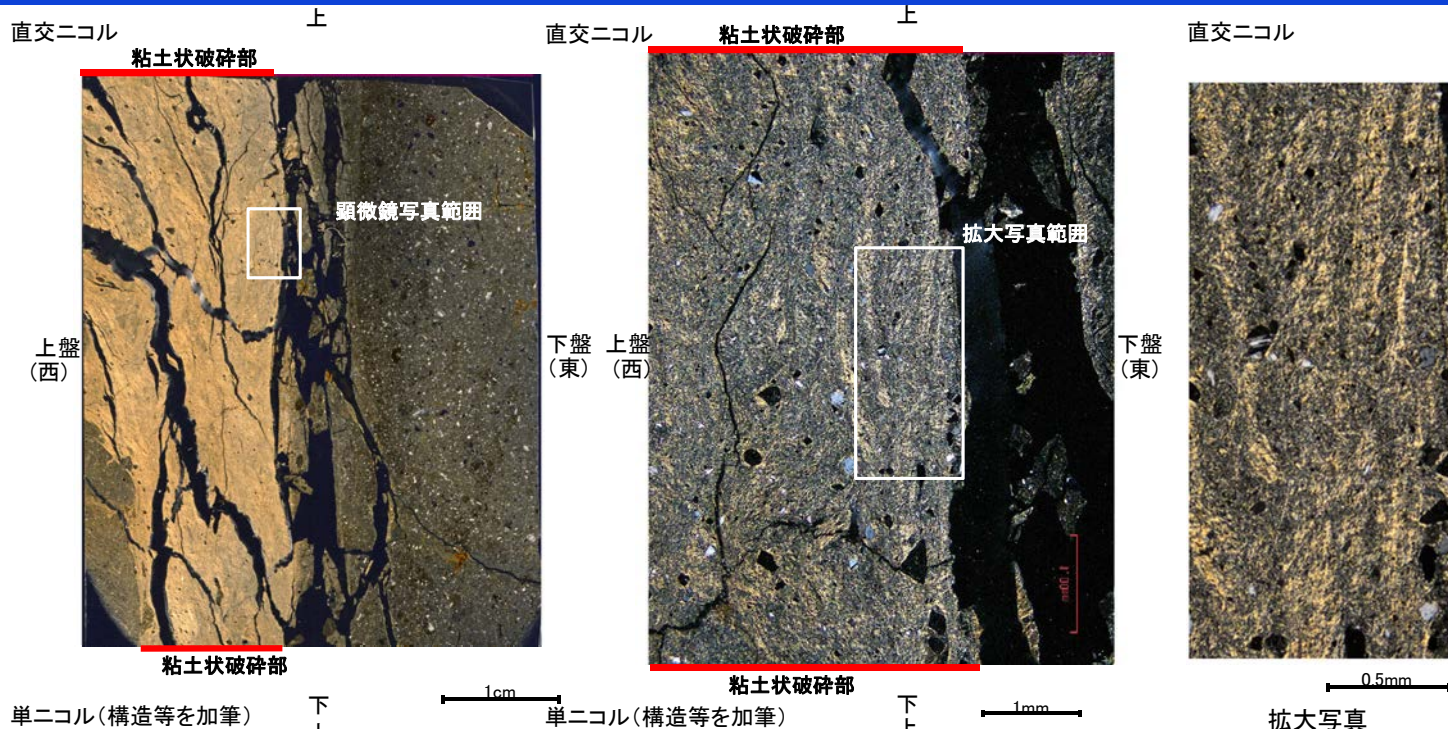
・粘土状破碎部中には明瞭なY面が認められ、その近傍では粒子の長軸の並びや比較的連続性のよい割れ目が認められる。この粒子の長軸の並びから想定されるP面や割れ目から想定されるR1面より、上盤(西側)隆起の逆断層センスが推定される。

凡例

	Y面
	R1面
	P面
	変位方向

# 薄片観察結果 (E-8.5-1\_140R)

■ 条線観察結果を踏まえ、140° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。



凡例

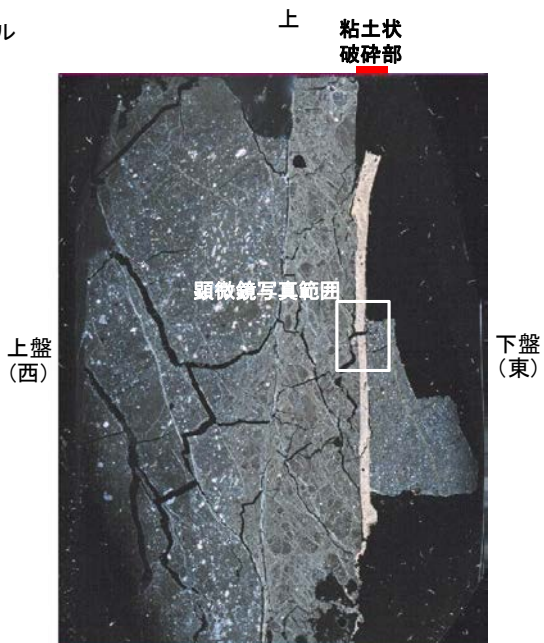
<span style="color: green;">—</span>	Y面
<span style="color: red;">—</span>	R1面
<span style="color: blue;">—</span>	P面
<span style="color: red;">↗</span>	変位方向

・粘土状破碎部中には明瞭なY面が認められ、その近傍では粒子の配列や比較的連続性のよい割れ目が認められる。この粒子の配列から想定されるP面や割れ目から想定されるR1面より、上盤(西側)隆起の逆断層センスが推定される。

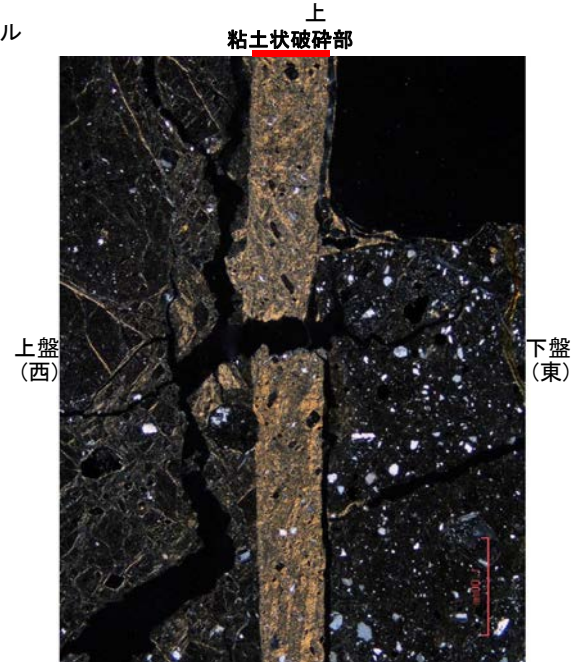
# 薄片観察結果 (E-8.5-2\_105R)

■ 条線観察結果を踏まえ、105° R  
のレイクでボーリングコアを切断して  
作成した薄片を観察した。

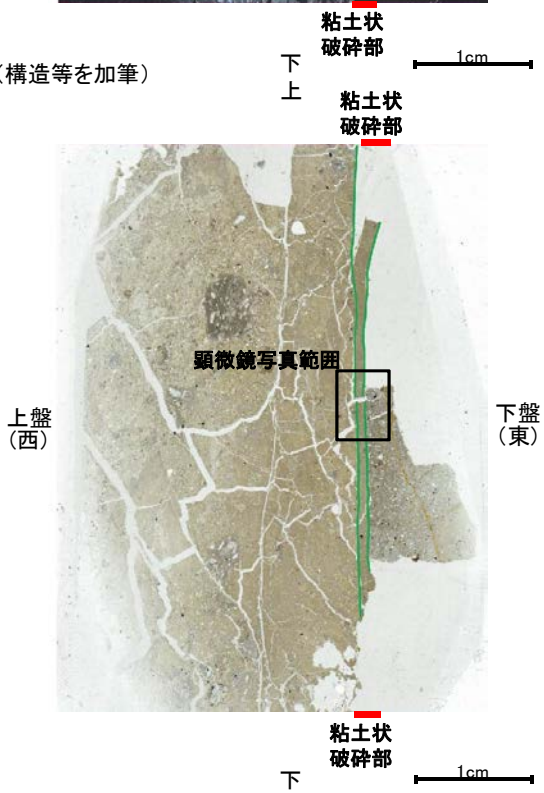
直交ニコル



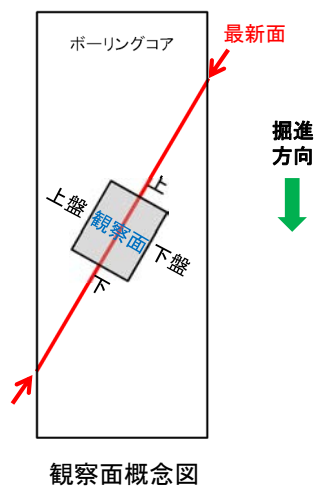
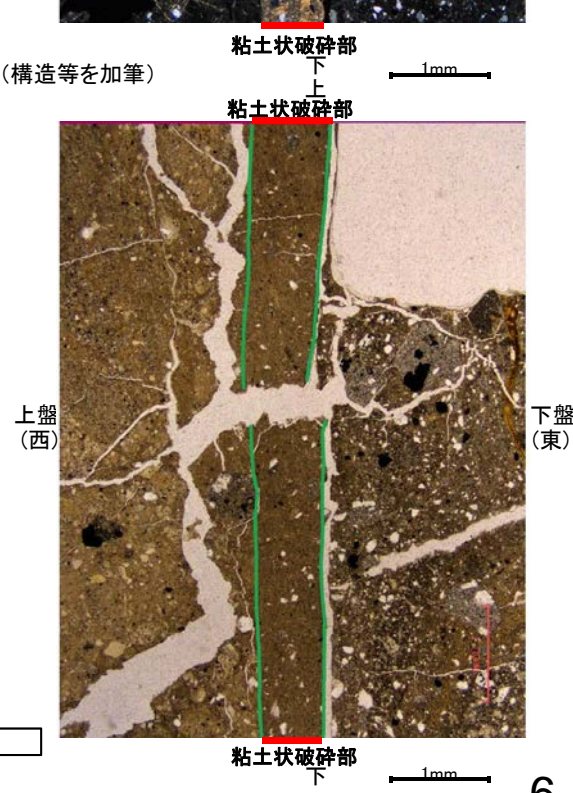
直交ニコル



単ニコル(構造等を加筆)



単ニコル(構造等を加筆)



・粘土状破碎部中には粒子の長軸の並びや粒子の配列がY面と斜交するように分布する箇所が認められるものの、特定方向には並んでおらず、変位センスを認定できるような構造は認められない。

凡例  
— Y面

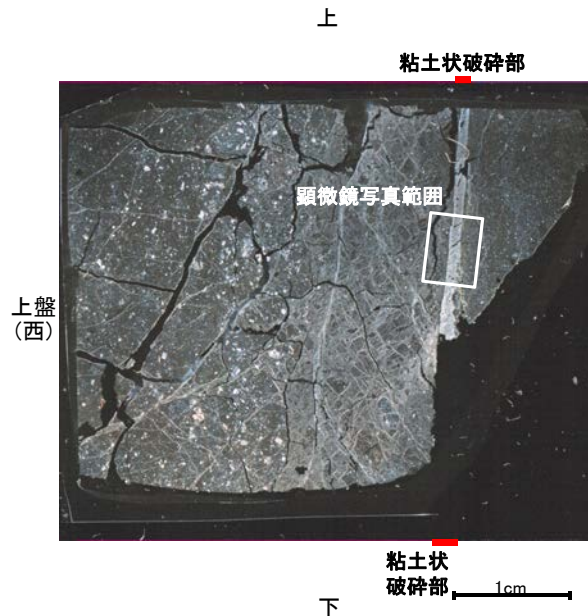
薄片写真(左右反転)

顕微鏡写真(左右反転)

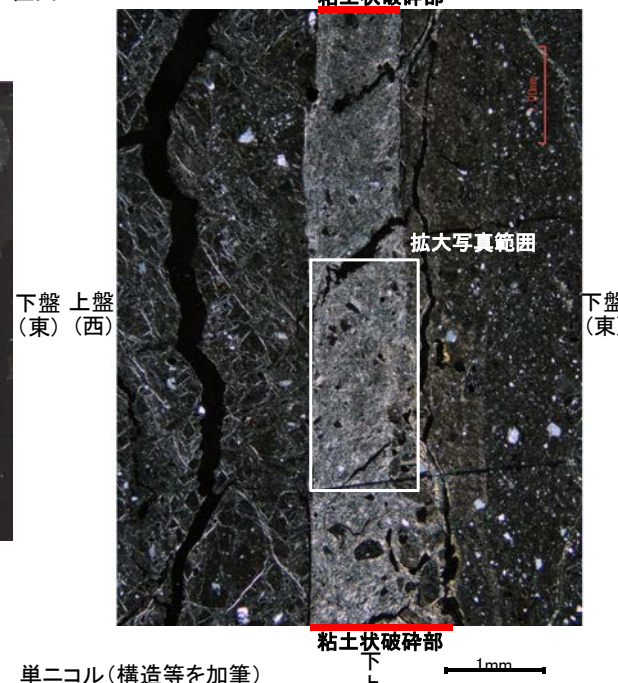
# 薄片観察結果 (E-8.5-2\_160R)

■ 条線観察結果を踏まえ、160° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

直交ニコル



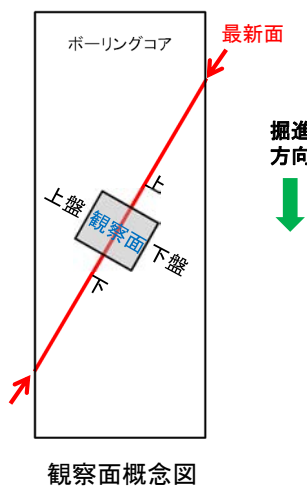
直交ニコル



直交ニコル

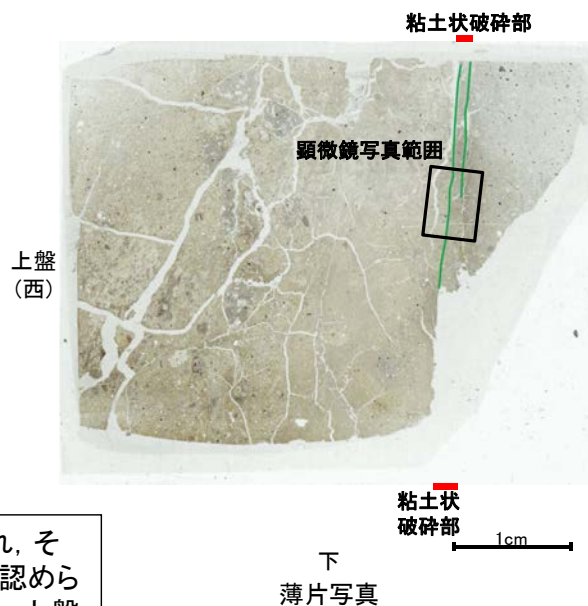


単ニコル (構造等を加筆)

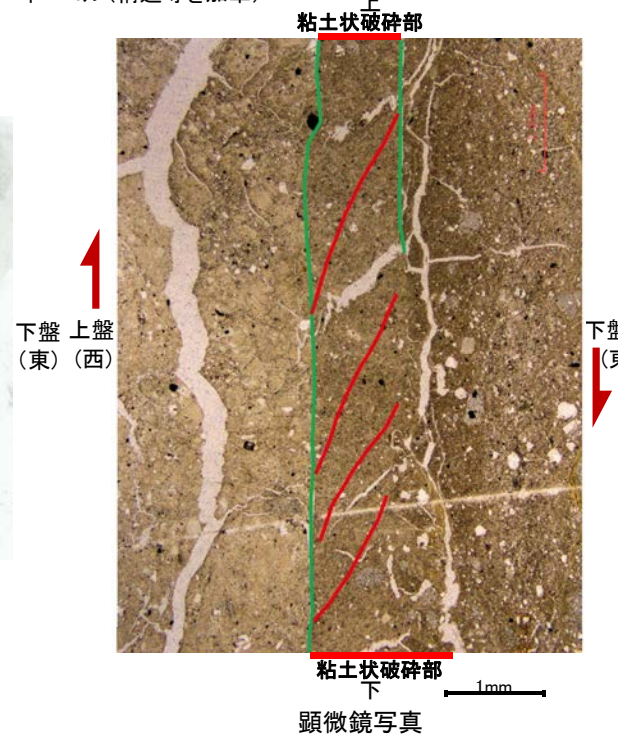


観察面概念図

上



単ニコル (構造等を加筆)



凡例

<span style="color: green;">—</span>	Y面
<span style="color: red;">—</span>	R1面
<span style="color: red;">↗</span>	変位方向

・粘土状破碎部中には明瞭なY面が認められ、その近傍では比較的連続性のよい割れ目が認められる。この割れ目から想定されるR1面より、上盤(西側)隆起の逆断層センスが推定される。

# 薄片観察結果 (E-8.6-1\_145R)

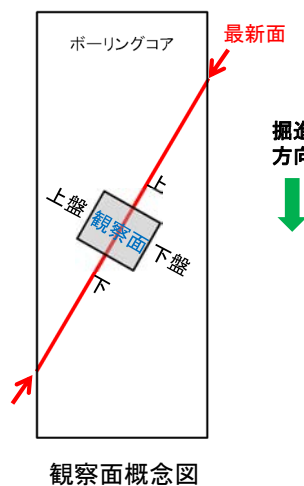
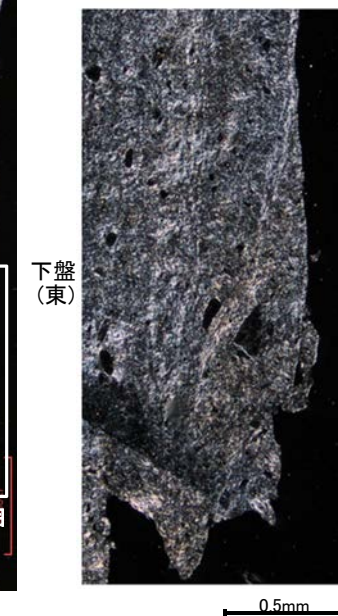
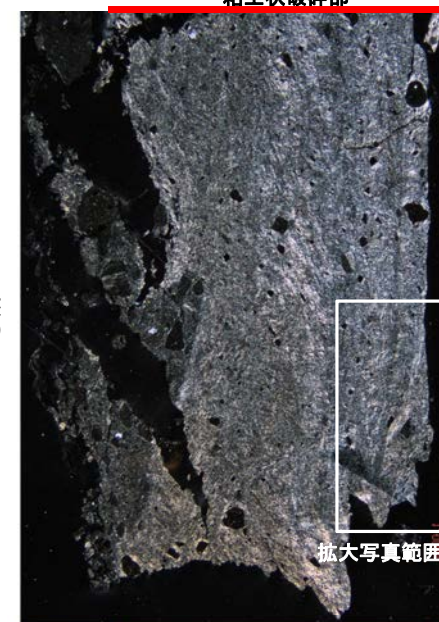
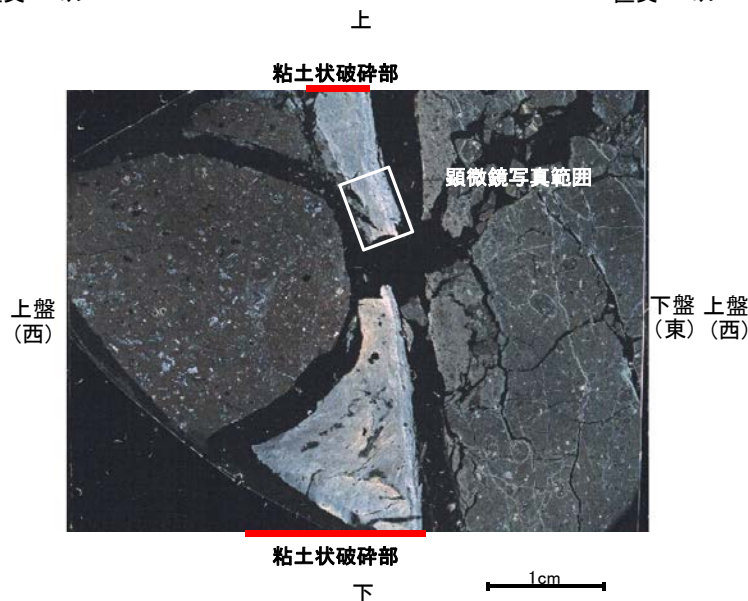
■ 条線観察結果を踏まえ、145° Rのレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

直交ニコル

直交ニコル

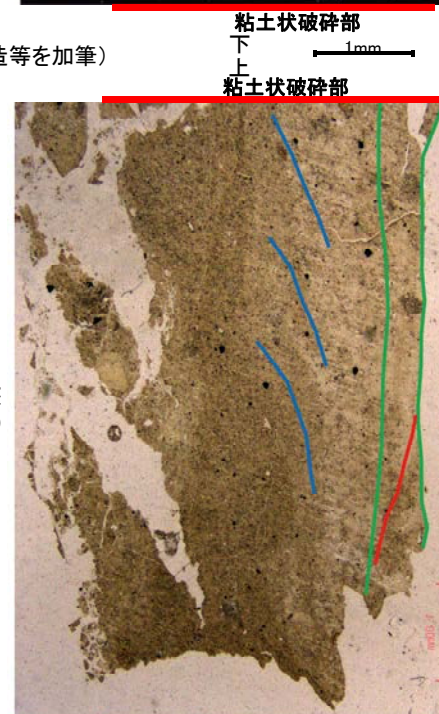
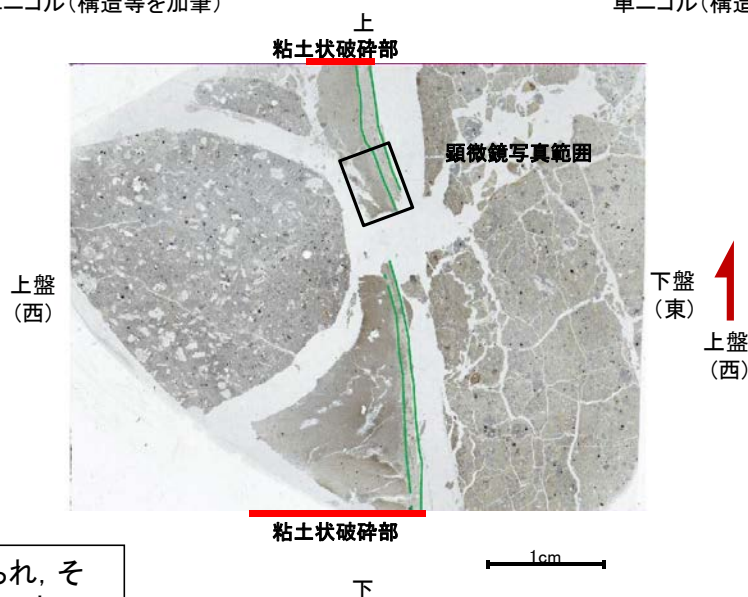
上  
粘土状破砕部

直交ニコル



単ニコル (構造等を加筆)

単ニコル (構造等を加筆)



凡例

<span style="color: green;">—</span>	Y面
<span style="color: red;">—</span>	R1面
<span style="color: blue;">—</span>	P面
<span style="color: red;">↗</span>	変位方向

・粘土状破砕部中には明瞭なY面が認められ、その近傍では粒子の配列や比較的連続性のよい割れ目が認められる。この粒子の配列から想定されるP面や割れ目から想定されるR1面より、上盤(西側)隆起の逆断層センスが推定される。

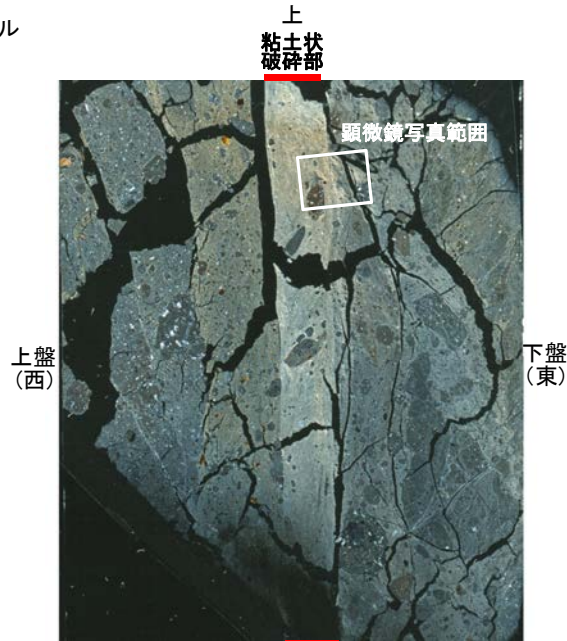
薄片写真(左右反転)

顕微鏡写真(左右反転)

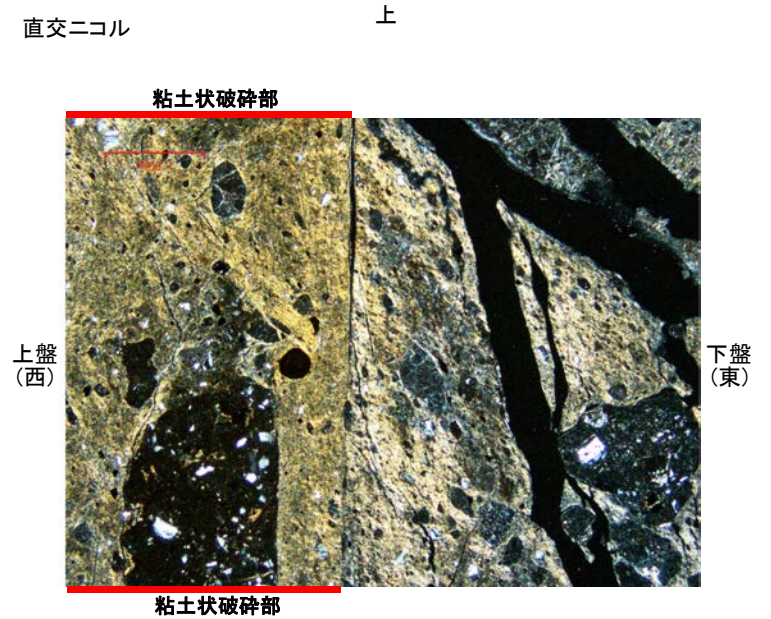
# 薄片観察結果 (E-8.6'\_100R)

■ 条線観察結果を踏まえ、100° R のレイクでボーリングコアを切断して作成した薄片を観察した。

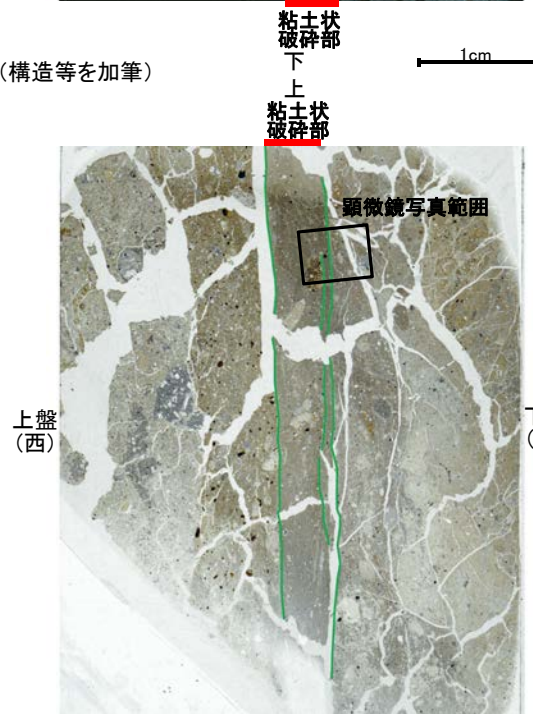
直交ニコル



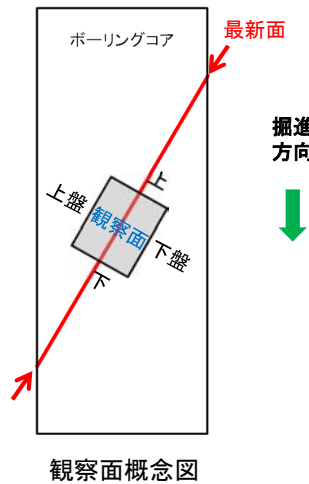
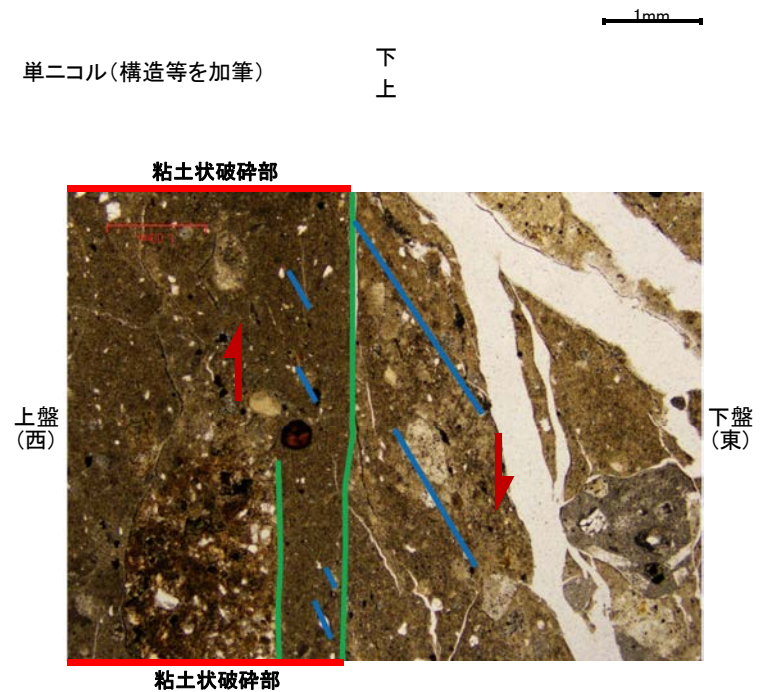
直交ニコル



単ニコル (構造等を加筆)

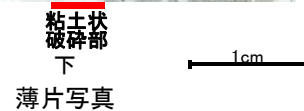


単ニコル (構造等を加筆)



・粘土状破碎部中には明瞭なY面が認められ、その近傍では粒子が配列する。この粒子の配列から想定されるP面より、上盤(西側)隆起の逆断層センスが推定される。

凡例

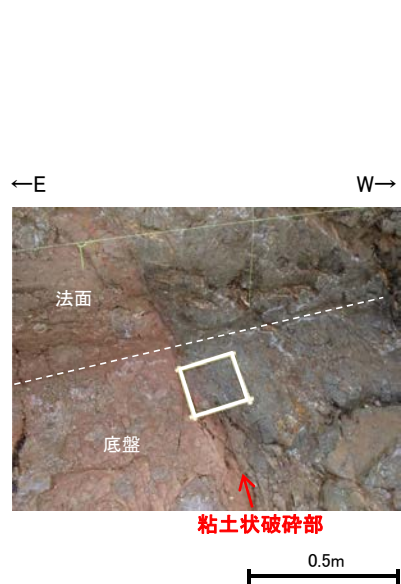


下  
顕微鏡写真

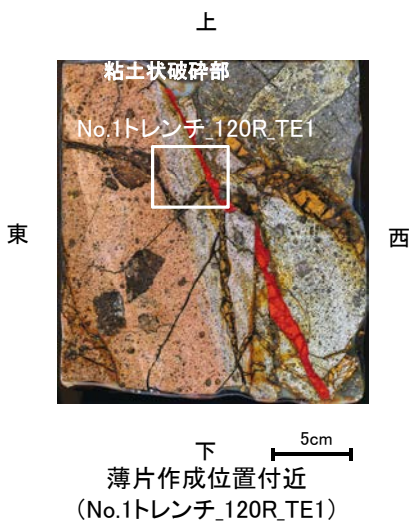


# 薄片観察結果 (No.1トレンチ\_120R\_TE1)

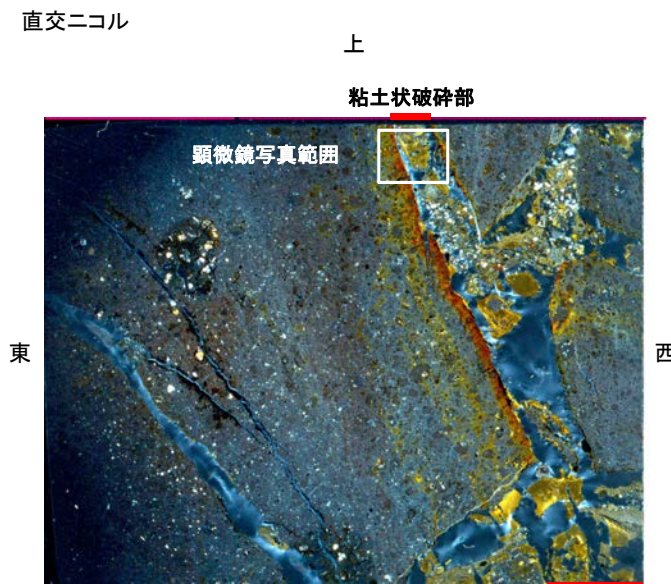
■ 条線観察結果を踏まえ、120° R のレイクでブロックを切断して作成した薄片を観察した。



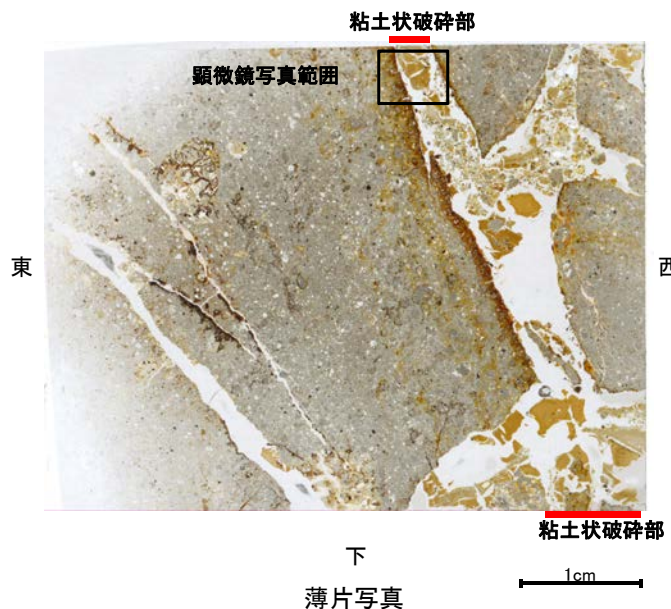
試料採取位置付近 (No.1トレンチ)



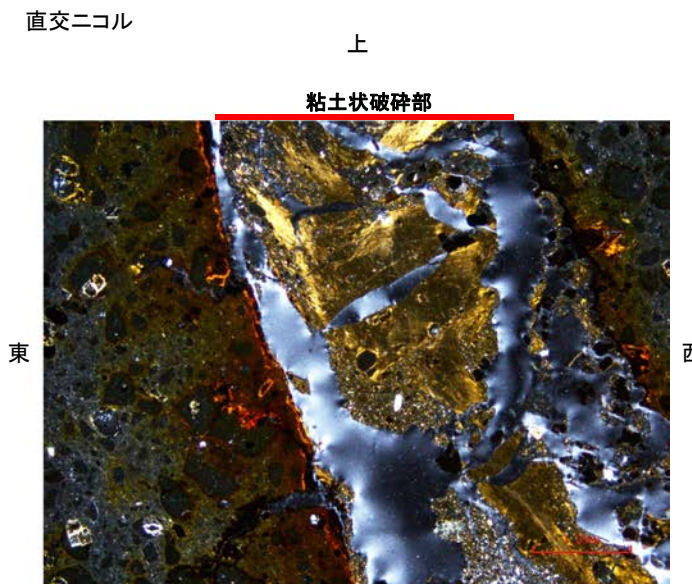
薄片作成位置付近 (No.1トレンチ\_120R\_TE1)



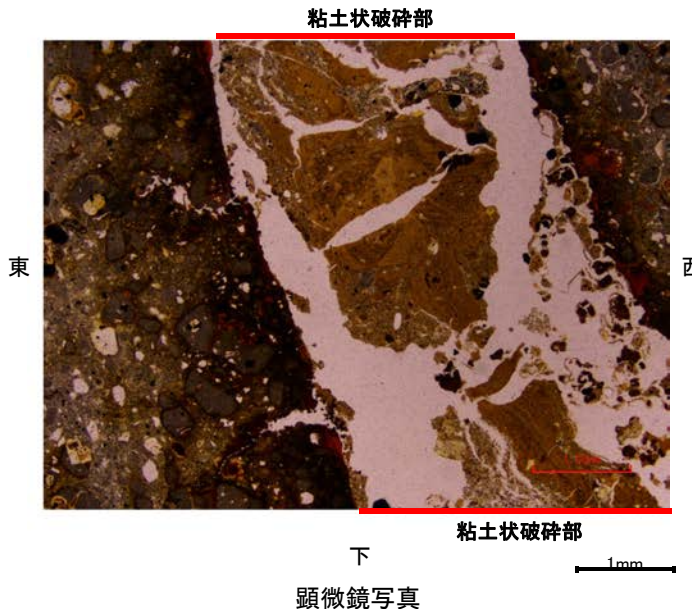
単ニコル  
下 1cm  
上



薄片写真  
下 1cm  
上



単ニコル  
下 1mm  
上

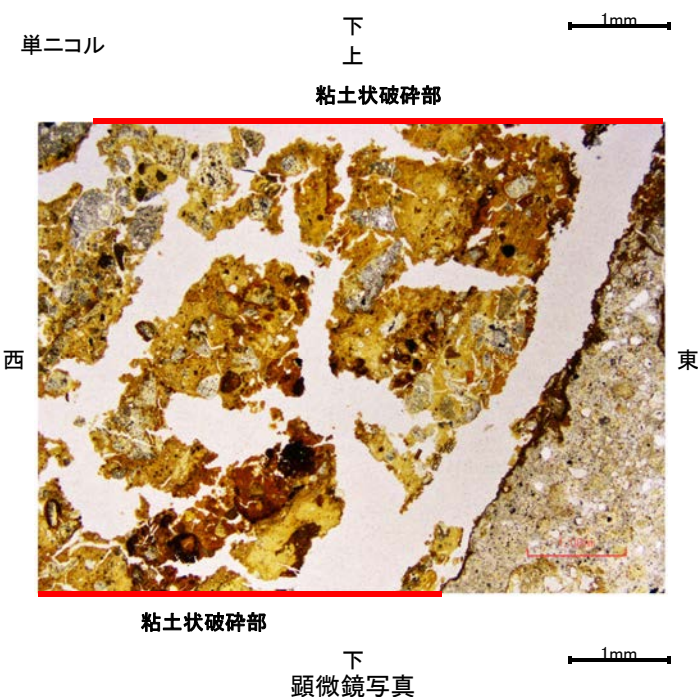
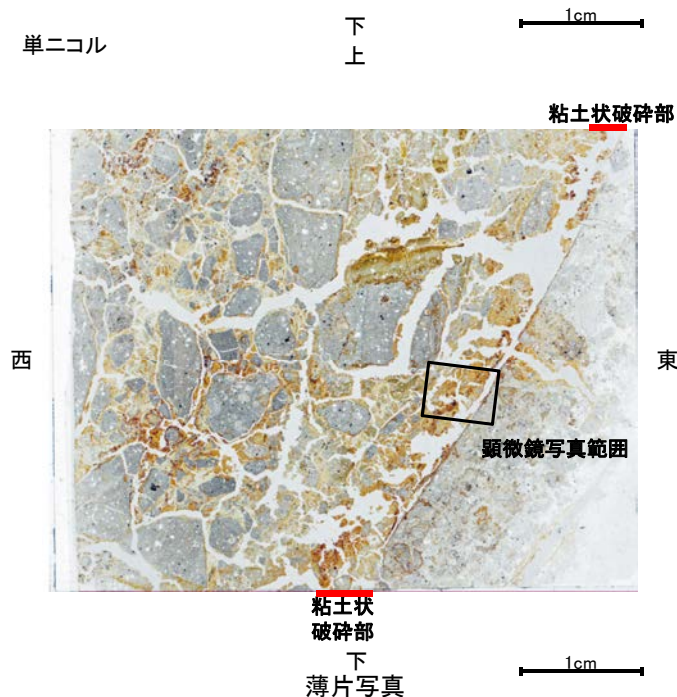
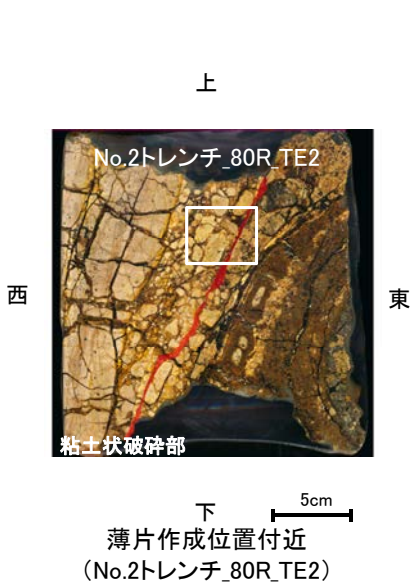
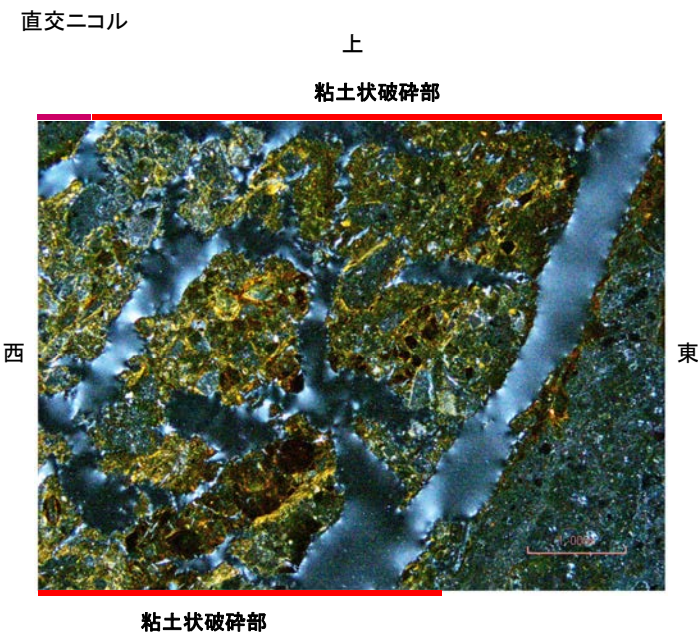
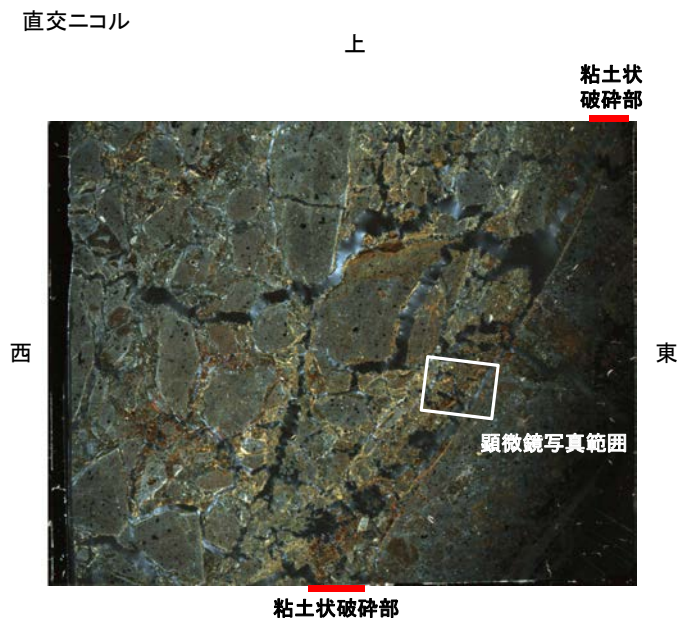
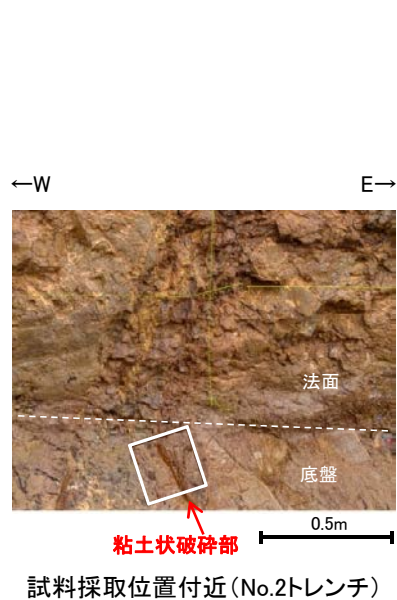


顕微鏡写真  
下 1mm  
上

・粘土状破碎部内部及びその周辺には、変位センスを認定できるような明瞭な構造は認められない。

# 薄片観察結果 (No.2トレンチ\_80R\_TE2)

■ 条線観察結果を踏まえ、80° Rのレイクでブロックを切断して作成した薄片を観察した。



・粘土状破砕部内部及びその周辺には、変位センスを認定できるような明瞭な構造は認められない。